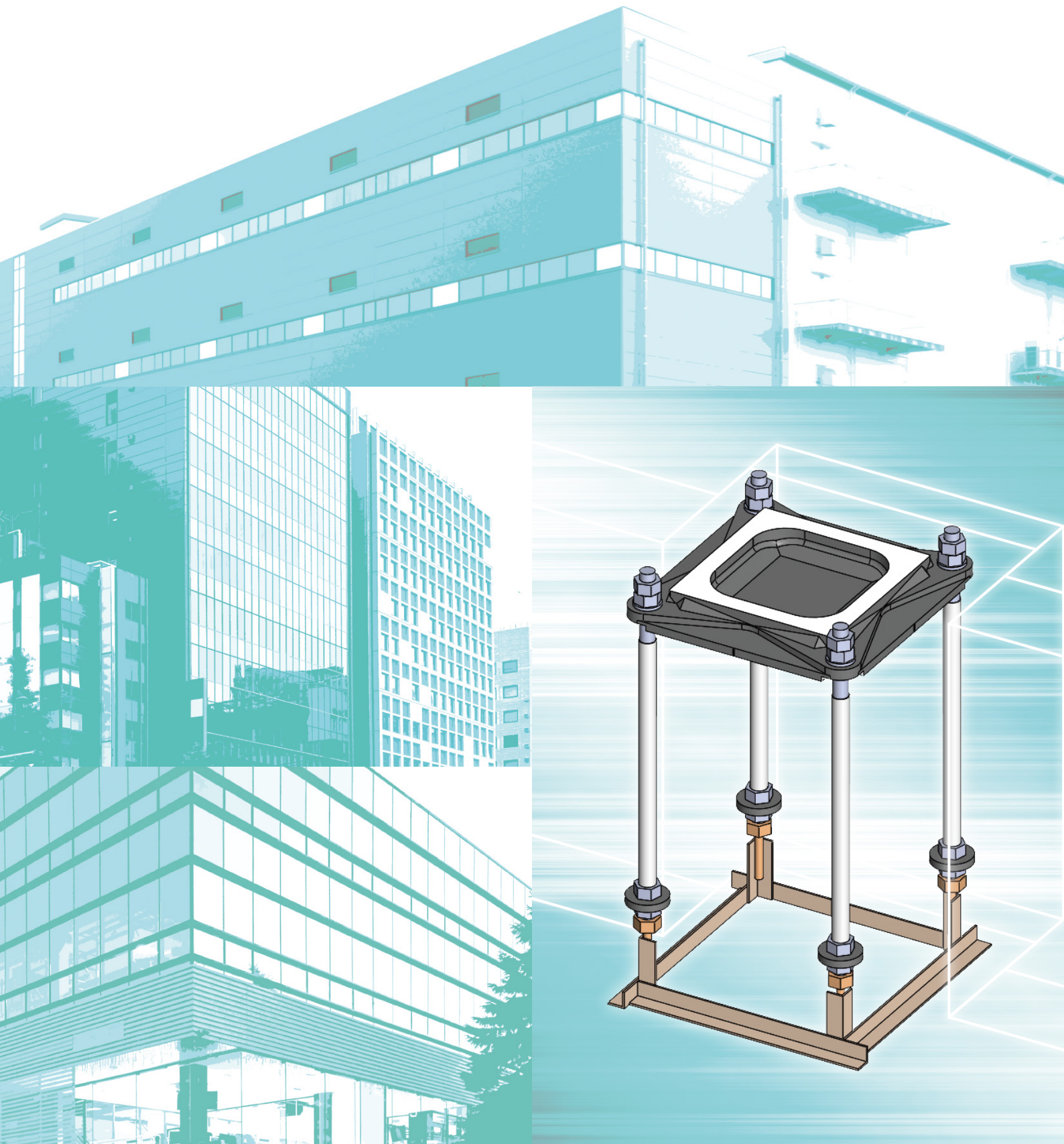


ハイベースNEO工法 スーパーハイベース工法(偏心タイプ) 設計ハンドブック



ご使用にあたって

この設計ハンドブックは、建築設計事務所様、建築施工会社様、鉄骨加工業者様において、ハイベース NEO 工法およびスーパーハイベース工法偏心タイプを用いた建築物を設計される際および施工・監理をされる際に、安全かつ効果的にご使用いただくためのものです。

なお、施工時の留意点については、別冊の「ハイベース工法総合カタログ」もあわせてご参照くださいますようお願いいたします。

設計事務所様へ

本工法を用いた建築物の設計図書には「ハイベース NEO 工法設計施工標準」、スーパーハイベース工法偏心タイプを用いた建築物の設計図書には「スーパーハイベース工法設計施工標準」を添付のうえ、その資料をもとに監理くださいますようお願いいたします。

表示の定義

このハンドブックの中で特に注意していただきたい事項については、以下の警告表示を記載しております。



注意

：一般的な注意を喚起する表示



警告

：取扱いを誤った場合に、人が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定される場合の表示



警告

- ① ハイベース NEO 工法およびスーパーハイベース工法は国土交通大臣認定取得材料を用いた日本建築センター認定取得工法です。本設計ハンドブックに基づく設計がなされないで生じたトラブルについては責任を負いかねます。ご使用になる前に必ず本ハンドブックをご一読の上、内容を遵守してください。
- ② アンカーボルトの設置・後詰めモルタルの施工はセンクシアまたはその認定施工業者が行います。(詳細はセンクシアにお問い合わせください。)

- ・本書は、設計ハンドブックであり、保証書や契約書ではありません。
- ・製品仕様変更等により、「ハイベース NEO 工法・スーパーハイベース工法偏心タイプ設計ハンドブック」の内容を予告なく変更することがありますのでご了承ください。最新版をセンクシアホームページに掲載していますのでご確認ください。
- ・このハンドブックの内容で、疑問点や不明な点がございましたら、センクシアにお問い合わせください。(問い合わせ先の詳細は裏表紙を参照ください)

目 次

ご使用にあたって	1
概要	3
第 1 章 総則	4
1.1 適用範囲	4
1.2 構成	5
第 2 章 使用材料	6
2.1 材質	6
2.1.1 ベースプレート	6
2.1.2 アンカーボルト、ナット、座金および定着板	6
2.1.3 ベースプレート下面のモルタル	6
2.2 形状・寸法と回転バネ定数	7
2.2.1 ベースプレート（ハイベース NEO 工法角形鋼管柱用）	7
2.2.2 ベースプレート（ハイベース NEO 工法円形鋼管柱用）	11
2.2.3 ベースプレート（ハイベース NEO 工法 H 形柱用）	12
2.2.4 ベースプレート（スーパーハイベース工法、角形鋼管柱用一方向偏心タイプ）	13
2.2.5 ベースプレート（スーパーハイベース工法、角形鋼管柱用二方向偏心タイプ）	14
2.2.6 アンカーボルト・部品	15
2.2.7 ベースプレートのアンカーボルト孔径	17
第 3 章 ハイベース NEO・スーパーハイベース工法偏心タイプを用いた柱脚部の設計	18
3.1 設計指針	18
3.2 柱脚部の設計フロー	19
3.3 ハイベース NEO 型式の仮定	22
3.4 曲げ耐力の検討方法	30
3.5 せん断耐力の検討方法	31
3.5.1 ハイベース NEO 工法のせん断耐力（(ア)、(イ) および (ウ) の方法）	32
3.5.2 スーパーハイベース工法偏心タイプのせん断耐力（(ア) (ウ) の方法）	35
3.5.3 コンクリートスラブへの埋め込みによる支圧抵抗に期待する方法（(エ) の方法）	36
第 4 章 基礎柱形の設計（各工法共通）	37
4.1 基礎柱形の検討	37
4.1.1 基礎柱形の設計例	37
4.1.2 独立基礎等における基礎柱形部の設計	38
4.1.3 許容、終局曲げ耐力	38
4.1.4 基礎柱形主筋による定着	38
4.2 コーン耐力により応力を伝達する場合	39
第 5 章 ブレース付柱脚の設計（各工法共通）	40
5.1 ブレースが取り付く場合の検討フロー	40
5.2 ブレースの偏心	41
5.3 ブレース応力を考慮した柱脚検討用応力の算出	41
5.3.1 曲げモーメントに対する検討	42
5.3.2 せん断力に対する検討	43
付録 ハイベース NEO 工法の耐力図・基礎柱形の設計例の注意事項	44
基礎はり端部納まり例について	45
耐力図・基礎柱形設計例（Fc24の場合）	46
角形鋼管柱用	46
円形鋼管柱用	156
H 形柱用	192
角形鋼管柱偏心用	217
一方向偏心タイプ（BS 型式）の基礎柱形の一覧表	228
二方向偏心タイプ（BS 型式）の基礎柱形の一覧表	234
エコタイプと G タイプの違い	235
構造計算支援ソフト【ハイベース検討システム(Windows 版)】	237
ダウンロードサービス	237

概要

ハイベース工法は半世紀を超える販売実績を有する露出型柱脚工法です。センクシアでは、多様化するユーザーのニーズに応えるために研究・開発を重ね、ハイベース工法は「ハイベース NEO 工法」にリファインされました。

ハイベース NEO 工法では、材料に関する国土交通大臣認定と工法に関する日本建築センター評定を取得しています。また、アンカーボルト設置、無収縮モルタル充填等の施工をセンクシアの認定施工業者が行うことにより、柱脚の品質と構造性能の信頼性を高めています。



ハイベース NEO 工法イメージ
(GB型式【アンカーボルト8本タイプ】)

国土交通大臣認定

	材質	認定番号
ベースプレート (Gタイプ・偏心タイプ)	HCW490B	MSTL-0566
アンカー用ボルトセット	HAB	MBLT-0042~0044,0046,0231

日本建築センター評定

	評定番号
ハイベース NEO 工法 エコタイプ	BCJ 評定 -ST0059
ハイベース NEO 工法 Gタイプ スーパーハイベース工法 偏心タイプ	BCJ 評定 -ST0058

適用範囲

ハイベース NEO

適用柱	□150 □175 □200 □250 □300 □350 □400 □450 □500 □550 □600 □650 □700 □750 □800 □850 □900 □950 □1000 □1050 □1100 □1150 □1200
角形 鋼管柱	エコタイプ 《EB型式》
	Gタイプ 《GB型式》
	高強度柱適用タイプ 《KB型式》

適用柱	φ190 φ216 φ250 φ300 φ350 φ400 φ450 φ500 φ550 φ600 φ650 φ700 φ750 φ800 φ850 φ900 φ950 φ1000
円形 鋼管柱	エコタイプ 《EM型式》
	Gタイプ 《GM型式》

適用柱	H150 × H150 シリーズ ~ H900 × 400 シリーズ (※)
H形柱	エコタイプ 《EH型式》
	Gタイプ 《GH型式》

※H形柱用の適用可能な柱サイズの詳細については、P.25～28「H形柱用適用可能柱サイズ」一覧をご参照ください。

スーパーハイベース偏心タイプ

適用柱	□200 □250 □300 □350 □400 □450 □500 □550 □600 □650 □700
角形 鋼管柱 偏心 タイプ	一方向偏心タイプ 《BS型式》
	二方向偏心タイプ 《BC型式》

第1章 総則

1.1 適用範囲

この『ハイベース NEO 工法・スーパーハイベース工法偏心タイプ設計ハンドブック』は、鉄筋コンクリート構造上に建つ鋼構造および鋼管コンクリート構造(CFT 構造を含む)骨組(建築物の高さ 60m 以下)の脚部に使用するハイベース NEO 工法およびスーパーハイベース工法偏心タイプ(以下、偏心タイプ)の設計方法に関するものである。

この設計ハンドブックに示されない事項は

- 「2020 年版 建築物の構造関係技術基準解説書」
- 「2018 年版冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」
- 「鋼構造許容応力度設計規準(2019)」
- 「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説(2018)」
- 「鉄筋コンクリート造建物の終局強度型耐震設計指針・同解説(1990)」
- 「鉄筋コンクリート造建物の靱性保証型耐震設計指針・同解説(1999)」
- 「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説(2021)」
- 「鉄骨鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説(2014)」
- 「鋼管構造設計施工指針・同解説(1990)」
- 「鋼構造限界状態設計指針・同解説(2010)」
- 「コンクリート充填鋼管構造設計施工指針(2008)」
- 「建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 鉄筋コンクリート工事(2022)」
- 「鋼構造接合部設計指針(2021)」
- 「各種合成構造設計指針・同解説(2021)」
- 「建築工事標準仕様書 JASS6 鉄骨工事(2018)」
- 「鉄骨工事技術指針(2018)」

による。

1.2 構成

ハイベース NEO 工法（含むスーパーハイベース工法偏心タイプ）は下図に示すように、

- ①ベースプレート（エコタイプ・高強度柱適用タイプ：鋼板製、Gタイプ・偏心タイプ（BS型式）およびBC型式）：鋳鋼製）
- ②アンボンド（コンクリートとの付着を切った）アンカーボルト、③定着板
- ④ナット（エコタイプ・高強度柱適用タイプ：エコナット（一重）、Gタイプ・一方向偏心タイプ（BS型式）：ナット（二重）、二方向偏心タイプ（BC型式）：ナット（一重））
- ⑤座金、⑥ベースプレート下面モルタル、
- ⑦被覆コンクリート（エコタイプ・高強度柱適用タイプおよび二方向偏心タイプ（BC型式））

より構成される。

エコタイプ・高強度柱適用タイプおよび二方向偏心タイプ（BC型式）は、④ナット（またはエコナット）のゆるみ止めのため、ナット部分をコンクリートに埋め込むものとする。やむを得ずコンクリートによる埋め込みができない場合は二重ナット等のゆるみ止め処置を施す（二重ナットとする場合はセンクシアへお問合せください）。

Gタイプおよび一方向偏心タイプ（BS型式）は、締結ナットのゆるみ止めのため、二重ナットを標準とする。なお一重ナットとする場合はコンクリートによる被覆等のゆるみ止めの処置が必要である（一重ナットとする場合はセンクシアへお問合せください）。

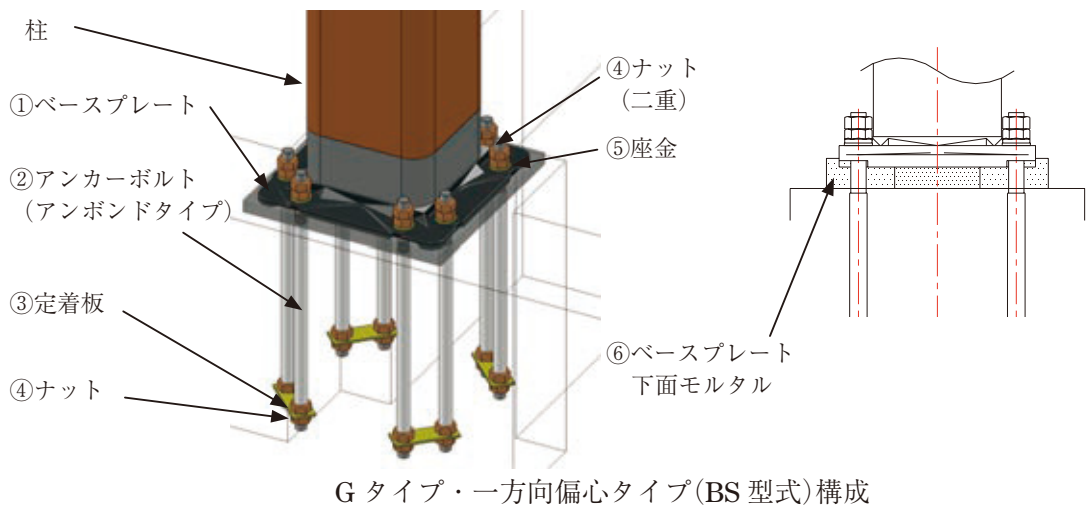
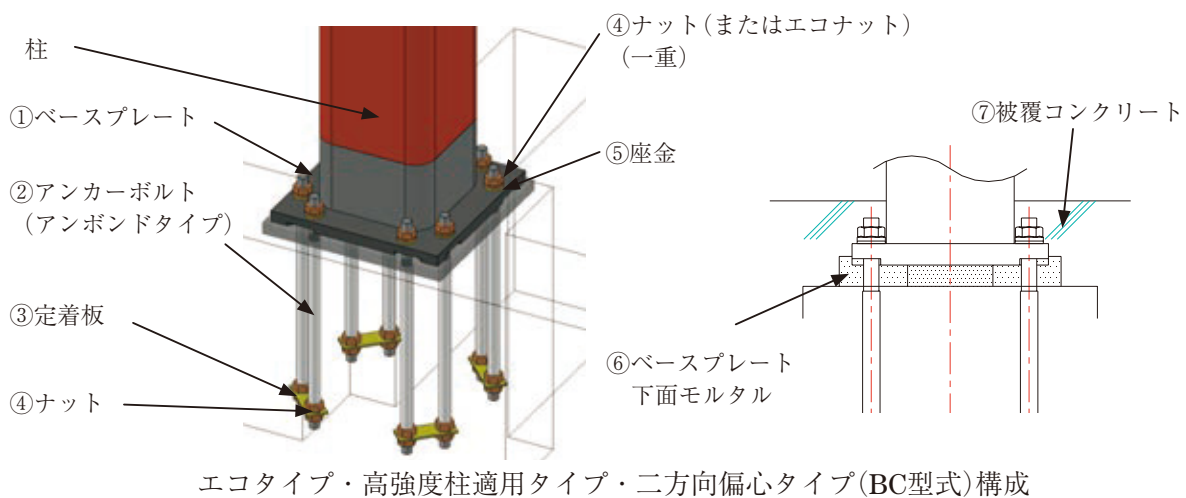


図 1.1 構成

《施工手順》

- 1) アンカーボルトは精度保持のための形板を用いて所定の位置にセットする。
- 2) 配筋後、アンカーボルト位置を確認しコンクリートの打設を行う。
- 3) レベル調整用の中心塗り部分モルタルを設置する。
- 4) ベースプレートを工場溶接した鉄骨柱を所定の位置にセットし、ナットの締付を行う。
- 5) ベースプレート下面に無収縮モルタルを充填する。

第2章 使用材料

2.1 材質

2.1.1 ベースプレート

ベースプレートは、エコタイプおよび高強度柱適用タイプは鋼板製、Gタイプおよび偏心タイプは鋳鋼製のベースプレートを用いる。

	材質	規格	備考
エコタイプ (鋼板製)	SN490B	JIS G 3136 建築構造用圧延鋼材	ベースプレート板厚 40mm 以下
	TMCP 鋼	SN490 相当 国土交通大臣認定取得材	ベースプレート板厚 40mm を超える
高強度柱適用タイプ (鋼板製)	TMCP385	国土交通大臣認定取得材	
Gタイプ 偏心タイプ (鋳鋼製)	HCW490B	国土交通大臣認定(MSTL-0566)	

鋳鋼製ベースプレートの材質は、JIS G 5102 に定められる溶接構造用鋳鋼 SCW480 をベースとして改良したもので、建築基準法第 37 条第二号に基づく国土交通大臣認定を得ており、SN490B と同等に扱うことができる。

なお、本資料中の寸法表に示す以外のベースプレートでセンクシアの技術員が設計したベースプレートについても同様に SN490B と同等に扱うことができる。

2.1.2 アンカーボルト、ナット、座金および定着板

エコタイプ・高強度柱適用タイプ

	アンカーボルト ^{*1}	エコナット ^{*1}	ナット ^{*1}	座金 ^{*1}	定着板
規格	大臣認定取得材 (HAB)	大臣認定 取得材	JIS B 1181 (六角ナット)	JIS G 3106	JIS G 3101
ねじの種類	メートル並目	メートル並目		-	-
備考	降伏比 0.7 以下	-	強度区分 5	SM490A	SS400

エコタイプおよび高強度柱適用タイプのベースプレート上のナットはエコナットを使用する

Gタイプ・偏心タイプ

	アンカーボルト ^{*1}	ナット ^{*1}	座金 ^{*1}	定着板
規格	大臣認定取得材 (HAB)	JIS B 1181 (六角ナット)	JIS G 3106	JIS G 3101
ねじの種類	メートル並目 ^{*2}	メートル並目 ^{*2}		-
備考	降伏比 0.7 以下	強度区分 5(二重ナット用)	SM490A	SS400
		強度区分 8(一重ナット用)		

※ 1:国土交通大臣認定 (MBLT-0042~0044,0046,0231) ※ 2:M72 はメートル細目ねじ

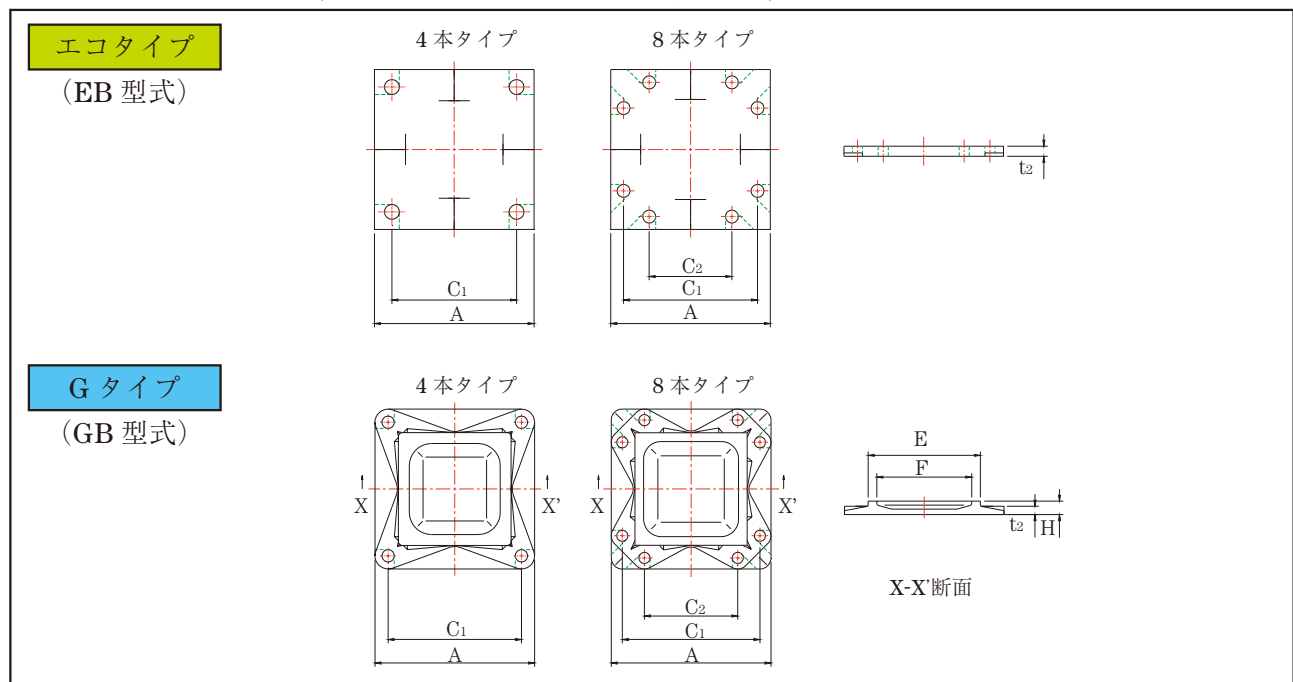
2.1.3 ベースプレート下面モルタル

後詰め無収縮モルタルは、無収縮性と施工性を備えたハイベース工法無収縮モルタル NX-2000、クイック 3 を使用する。

レベル調整用の中心塗り部分モルタルは無収縮性モルタルパッド用(固練り)又は普通モルタルとし、強度はこれに接するコンクリートの強度以上とする。中心塗り部分モルタルには NX-2000 及びクイック 3 を使用できない。なお、中心塗り部分モルタルの厚さは原則として 50mm とする。

2.2 形状・寸法と回転バネ定数

2.2.1 ベースプレート (ハイベース NEO 工法角形鋼管柱用)



型式表示例

E : エコタイプ
 G : Gタイプ

EB 300 - 4 - 30

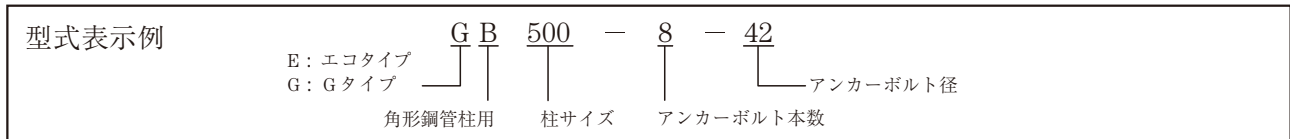
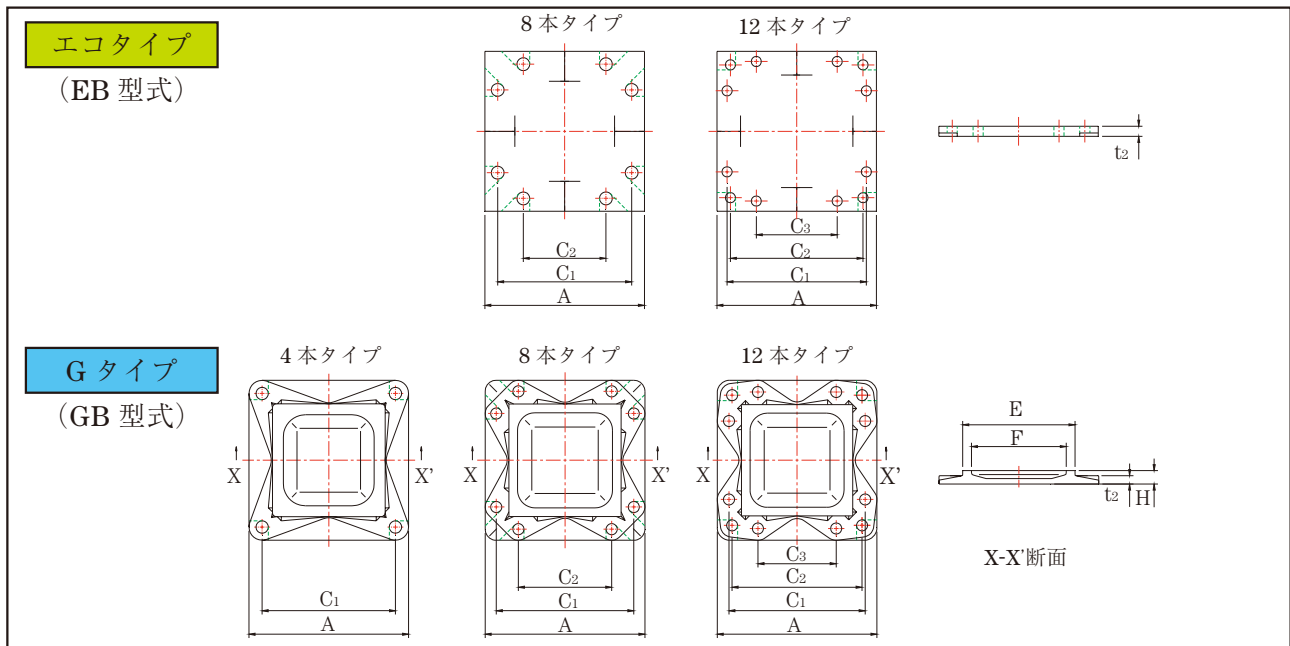
角形鋼管柱用 柱サイズ アンカーボルト本数 アンカーボルト径

適用柱		ハイベース NEO 型式		アンカーボルト本数	回転ばね定数 ($\times 10^3 \text{kN} \cdot \text{m/rad}$)	寸法 (mm)							質量 (kg)		セット質量 (kg)	
サイズ	板厚範囲	エコタイプ	Gタイプ			A	C1	C2	C3	E	F	H	t2	ベースプレート		部品
□ 150	4.5 ~ 12	EB150-4-24		4	14.0	290	210	-	-	-	-	25	17	14	31	
□ 175	4.5 ~ 12	EB175-4-24		4	17.9	310	230	-	-	-	-	25	19	14	33	
□ 200	6 ~ 12	EB200-4-24		4	21.9	340	260	-	-	-	-	25	23	14	37	
		EB200-4-30		4	35.4	360	270	-	-	-	-	32	33	23	56	
		EB200-4-36		4	41.4	360	270	-	-	-	-	40	41	36	77	
□ 250	6 ~ 16	EB250-4-24		4	32.2	390	310	-	-	-	-	25	30	15	45	
		EB250-4-30		4	51.3	410	320	-	-	-	-	32	43	23	66	
		EB250-4-36		4	59.7	410	320	-	-	-	-	40	53	36	89	
		EB250-8-30		8	51.1	450	360	190	-	-	-	40	64	51	115	
□ 300	6 ~ 22	EB300-4-30		4	70.1	460	370	-	-	-	-	32	54	24	78	
		EB300-4-36		4	82.9	460	370	-	-	-	-	40	67	37	104	
		EB300-8-30		8	69.4	500	410	240	-	-	-	36	71	51	122	
		EB300-8-36		8	84.0	510	420	220	-	-	-	44	90	82	172	
□ 350	9 ~ 22	EB350-4-30		4	93.1	510	420	-	-	-	-	32	66	24	90	
		EB350-8-30		8	89.5	550	460	290	-	-	-	36	86	52	138	
		EB350-8-36		8	105	560	470	270	-	-	-	40	99	83	182	
		EB350-8-42		8	133	590	480	260	-	-	-	48	132	131	263	
	9 ~ 25	GB350-4-42		4	128	550	440	-	-	356	280	75	50	107	72	179
		GB350-4-48		4	156	590	460	-	-	356	280	90	61	142	113	255
		GB350-8-30		8	150	540	450	280	-	356	280	55	28	77	52	129
		GB350-8-36		8	188	560	470	270	-	356	280	65	36	95	83	178
	GB350-8-42		8	216	590	480	260	-	356	280	70	45	118	131	249	
□ 400	9 ~ 25	EB400-8-30		8	111	600	510	340	-	-	-	36	102	52	154	
		EB400-8-36		8	127	610	520	320	-	-	-	40	117	83	200	
		EB400-8-42		8	175	640	530	310	-	-	-	48	155	131	286	
	9 ~ 32	GB400-4-42		4	163	600	490	-	-	408	320	75	49	129	73	202
		GB400-4-48		4	194	640	510	-	-	408	320	85	59	165	114	279
		GB400-8-36		8	234	610	520	320	-	408	320	60	34	110	83	193
		GB400-8-42		8	282	640	530	310	-	408	320	70	42	136	131	267
		GB400-8-48		8	321	680	550	300	-	408	320	80	52	176	211	387

部品の質量はアンカーボルト部品と形板を合わせた質量を、セット質量はベースプレートと部品の総質量を表します。

Gタイプは、表中に無い柱サイズについても対応可能です。センクシアにお問い合わせ下さい。

溶断組立箱形断面柱は、GB型式および高強度柱適用タイプに適用可能です (EB型式は適用不可)。

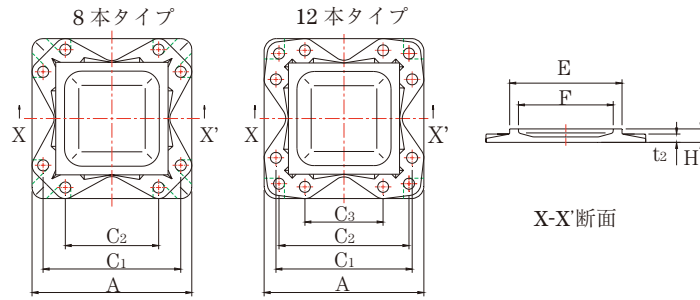


適用柱		ハイベース NEO 型式		アンカーボルト本数	回転ばね定数 ($\times 10^3 \text{kN} \cdot \text{m/rad}$)	寸法 (mm)								質量 (kg)		セット質量 (kg)	
サイズ	板厚範囲	エコタイプ	G タイプ			A	C1	C2	C3	E	F	H	t2	ベースプレート	部品		
□ 450	9 ~ 25	EB450-8-36		8	169	660	570	370	—	—	—	—	44	150	84	234	
		EB450-8-42		8	199	690	580	360	—	—	—	—	48	180	132	312	
	9 ~ 36		GB450-4-42		4	199	650	540	—	—	458	360	75	48	153	73	226
			GB450-4-48		4	236	690	560	—	—	458	360	85	58	192	116	308
			GB450-8-36		8	296	660	570	370	—	458	360	60	32	130	84	214
			GB450-8-42		8	348	690	580	360	—	458	360	65	40	158	132	290
	GB450-8-48		8	413	730	600	350	—	458	360	75	49	196	213	409		
□ 500	9 ~ 28	EB500-8-36		8	210	710	620	420	—	—	—	—	44	173	89	262	
		EB500-8-42		8	238	740	630	410	—	—	—	—	48	207	133	340	
		EB500-12-42		12	396	740	630	600	350	—	—	—	60	258	197	455	
	9 ~ 40		GB500-4-42		4	244	700	590	—	—	508	400	80	47	183	74	257
			GB500-4-48		4	290	740	610	—	—	508	400	90	57	226	127	353
			GB500-8-36		8	354	710	620	420	—	508	400	65	30	154	89	243
			GB500-8-42		8	421	740	630	410	—	508	400	70	37	181	133	314
			GB500-8-48		8	489	780	650	400	—	508	400	80	46	225	215	440
			GB500-8-64		8	659	850	690	390	—	508	400	105	68	346	464	810
			GB500-12-48		12	695	780	650	610	320	508	400	90	57	265	304	569
	GB500-12-56		12	771	810	670	630	300	508	400	105	72	342	455	797		
□ 550	9 ~ 28	EB550-8-42		8	317	800	690	470	—	—	—	—	48	242	133	375	
		EB550-12-42		12	475	790	680	650	400	—	—	—	60	294	198	492	
	9 ~ 40		GB550-4-48		4	339	790	660	—	—	558	450	90	56	257	129	386
			GB550-4-56		4	408	820	680	—	—	558	450	100	69	308	187	495
			GB550-8-36		8	419	760	670	470	—	558	450	65	29	180	90	270
			GB550-8-42		8	498	790	680	460	—	558	450	70	36	207	133	340
			GB550-8-48		8	580	830	700	450	—	558	450	75	45	250	217	467
			GB550-8-64		8	806	900	740	440	—	558	450	95	65	367	467	834
			GB550-12-48		12	817	830	700	660	370	558	450	85	55	288	306	594
	GB550-12-56		12	923	860	720	680	350	558	450	100	69	366	458	824		
□ 600	9 ~ 40		GB600-8-42		8	598	840	730	510	—	610	500	70	35	238	134	372
			GB600-8-48		8	682	880	750	500	—	610	500	75	43	284	219	503
			GB600-8-64		8	987	960	800	500	—	610	500	95	64	417	470	887
			GB600-12-48		12	953	880	750	710	420	610	500	85	52	318	309	627
			GB600-12-56		12	1140	910	770	730	400	610	500	100	66	408	460	868
			GB600-12-64		12	1240	950	790	740	370	610	500	110	80	499	667	1166

部品の質量はアンカーボルト部品と形板を合わせた質量を、セット質量はベースプレートと部品の総質量を表します。
 Gタイプは、表中に無い柱サイズについても対応可能です。センクシアに問い合わせ下さい。
 溶断組立箱形断面柱は、GB型式および高強度柱適用タイプに適用可能です (EB型式は適用不可)。

G タイプ

(GB 型式)



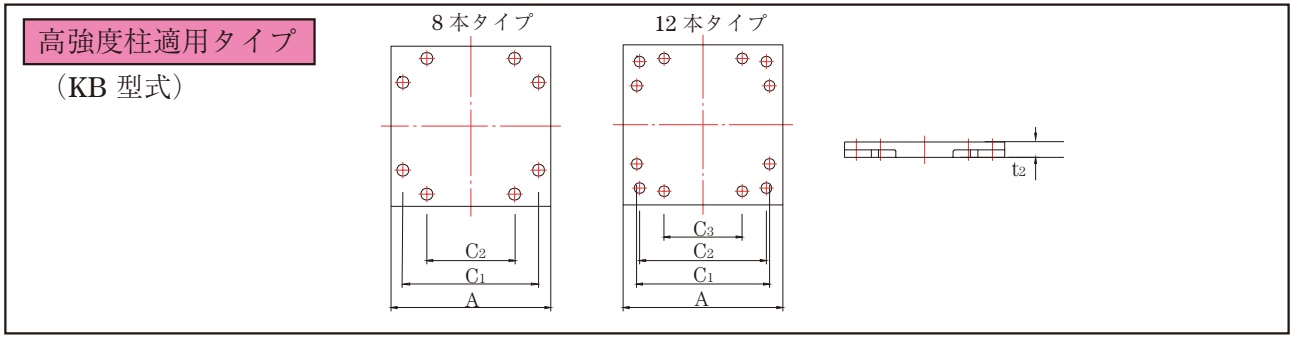
型式表示例

E: エコタイプ
 G: Gタイプ
 角形鋼管柱用 柱サイズ アンカーボルト径

G B 700 - 12 - 56

適用柱		ハイベース NEO 型式		アンカーボルト本数	回転ばね定数 ($\times 10^3 \text{ kN} \cdot \text{m/rad}$)	寸法 (mm)								質量 (kg)		セット質量 (kg)
サイズ	板厚範囲	エコタイプ	G タイプ			A	C1	C2	C3	E	F	H	t2	ベースプレート	部品	
□ 650	12 ~ 40		GB650-8-42	8	680	890	780	560	—	660	550	75	34	277	139	416
			GB650-8-48	8	782	930	800	550	—	660	550	75	42	316	221	537
			GB650-8-56	8	939	960	820	540	—	660	550	85	51	370	328	698
			GB650-8-64	8	1080	990	830	530	—	660	550	95	58	428	472	900
			GB650-8-72	8	1220	1020	850	520	—	660	550	105	69	498	698	1196
			GB650-12-64	12	1460	1000	840	790	420	660	550	110	77	536	670	1206
□ 700	12 ~ 40		GB700-8-42	8	782	940	830	610	—	710	600	70	32	316	139	455
			GB700-8-48	8	899	980	850	600	—	710	600	75	41	363	223	586
			GB700-8-56	8	1070	1010	870	590	—	710	600	80	50	414	330	744
			GB700-8-64	8	1280	1050	890	590	—	710	600	95	58	489	475	964
			GB700-8-72	8	1430	1070	900	570	—	710	600	105	67	552	703	1255
			GB700-12-64	12	1710	1050	890	840	470	710	600	105	74	572	673	1245
□ 750	16 ~ 40		GB750-8-48	8	1010	1030	900	650	—	760	650	85	39	415	225	640
			GB750-12-48	12	1460	1030	900	860	570	760	650	85	47	437	316	753
			GB750-12-56	12	1700	1060	920	880	550	760	650	90	60	510	468	978
			GB750-12-64	12	1980	1100	940	890	520	760	650	105	72	620	676	1296
□ 800	16 ~ 40		GB750-12-72	12	2110	1120	950	900	490	760	650	115	84	713	982	1695
			GB800-8-56	8	1380	1110	970	690	—	810	700	90	47	522	335	857
			GB800-12-56	12	1930	1110	970	930	600	810	700	90	58	556	471	1027
			GB800-12-64	12	2210	1150	990	940	570	810	700	100	70	662	679	1341
□ 850	16 ~ 40		GB800-12-72	12	2410	1170	1000	950	540	810	700	115	81	761	987	1748
			GB850-12-56	12	2160	1160	1020	980	650	860	750	100	56	646	473	1119
			GB850-12-64	12	2480	1200	1040	990	620	860	750	100	68	739	682	1421
□ 900	16 ~ 40		GB850-12-72	12	2740	1220	1050	1000	590	860	750	110	79	833	992	1825
			GB900-12-56	12	2430	1210	1070	1030	700	910	800	105	55	719	476	1195
			GB900-12-64	12	2770	1250	1090	1040	670	910	800	105	66	810	685	1495
□ 950	16 ~ 40		GB900-12-72	12	3100	1270	1100	1050	640	910	800	110	77	898	996	1894
			GB950-12-56	12	2700	1260	1120	1080	750	960	850	110	54	796	479	1275
			GB950-12-64	12	3000	1300	1140	1090	720	960	850	110	61	870	688	1558
□ 1000	16 ~ 40		GB950-12-72	12	3430	1320	1150	1100	690	960	850	110	75	967	1001	1968
			GB1000-12-56	12	3020	1310	1170	1130	800	1010	900	115	52	888	481	1369
			GB1000-12-64	12	3390	1340	1180	1130	760	1010	900	110	59	943	691	1634
□ 1050	16 ~ 40		GB1000-12-72	12	3770	1340	1180	1130	720	1010	900	115	66	985	1006	1991
			GB1050-12-64	12	3730	1400	1240	1190	820	1060	950	120	62	1083	694	1777
□ 1100	16 ~ 40		GB1050-12-72	12	4120	1420	1250	1200	790	1060	950	120	71	1158	1011	2169
			GB1100-12-64	12	4110	1450	1290	1240	870	1110	1000	125	60	1184	697	1881
□ 1150	16 ~ 40		GB1100-12-72	12	4550	1470	1300	1250	840	1110	1000	125	70	1266	1016	2282
			GB1150-12-64	12	4490	1500	1340	1290	920	1160	1050	130	59	1300	700	2000
□ 1200	16 ~ 40		GB1150-12-72	12	5000	1520	1350	1300	890	1160	1050	130	68	1378	1020	2398
			GB1200-12-64	12	4910	1550	1390	1340	970	1210	1100	135	58	1437	703	2140
			GB1200-12-72	12	5480	1570	1400	1350	940	1210	1100	135	67	1518	1025	2543

部品の質量はアンカーボルト部品と形板を合わせた質量を、セット質量はベースプレートと部品の総質量を表します。
 G タイプは、表中に無い柱サイズについても対応可能です。センクシアにお問い合わせ下さい。
 溶断組立箱形断面柱は、GB 型式および高強度柱適用タイプに適用可能です (EB 型式は適用不可)。



型式表示例

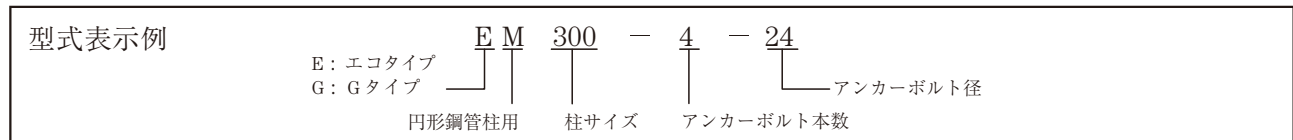
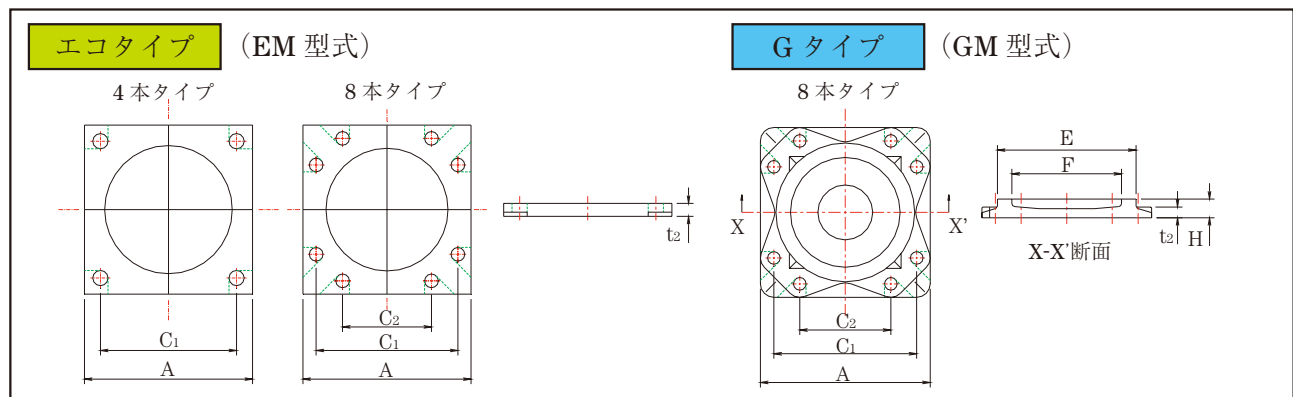
K
B
550
-
12
-
42

高強度柱適用タイプ 角形鋼管柱用 柱サイズ アンカーボルト本数 アンカーボルト径

適用柱		ハイベース NEO 型式	アンカーボルト本数	回転ばね定数 ($\times 10^3 \text{kN} \cdot \text{m/rad}$)	寸法 (mm)							質量 (kg)		セット質量 (kg)	
サイズ	板厚範囲	高強度柱適用タイプ			A	C1	C2	C3	-	-	-	t2	ベースプレート		部品
□ 450	9~40	KB450-8-42	8	297	730	620	400	—	—	—	—	70	293	141	434
□ 500	9~40	KB500-12-42	12	467	820	680	650	400	—	—	—	70	370	207	577
□ 550	9~40	KB550-12-42	12	606	870	730	700	450	—	—	—	70	416	208	624

部品の質量はアンカーボルト部品と形板を合わせた質量を、セット質量はベースプレートと部品の総重量を表します。

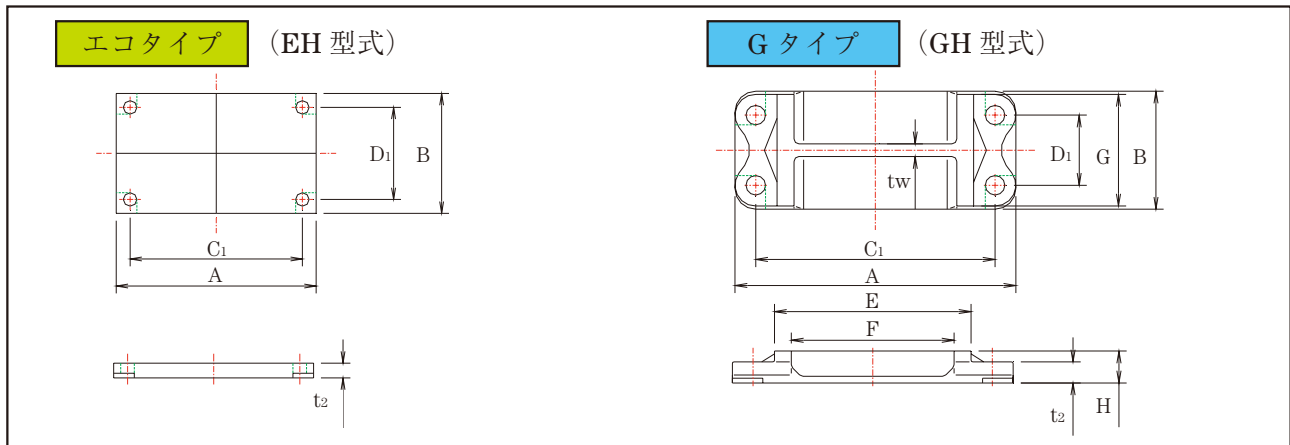
2.2.2 ベースプレート (ハイベース NEO 工法円形鋼管柱用)



適用柱		ハイベース NEO 型式		アンカーボルト本数	回転ばね定数 ($\times 10^3 \text{KN} \cdot \text{m/rad}$)	寸法 (mm)							質量 (kg)		セット質量 (kg)
サイズ	最大板厚	エコタイプ	Gタイプ			A	C1	C2	E	F	H	t2	ベースプレート	部品	
φ 190.7	40	EM190-4-24		4	13.8	290	210	-	-	-	-	32	22	14	36
φ 216.3	40	EM216-4-24		4	19.9	310	230	-	-	-	-	32	25	14	39
φ 267.4	40	EM250-4-24		4	28.4	370	290	-	-	-	-	32	35	14	49
φ 300	40	EM300-4-24		4	38.3	420	340	-	-	-	-	32	45	15	60
φ 318.5		EM300-4-30		4	61.0	430	340	-	-	-	-	40	59	23	82
φ 350	40	EM350-4-30		4	65.1	420	330	-	-	-	-	32	45	23	68
φ 355.6		EM350-8-30		8	86.3	500	410	240	-	-	-	40	79	50	129
φ 400 φ 406.4	40	EM400-8-30		8	119	540	450	280	-	-	-	40	92	51	143
		EM400-8-36		8	148	560	470	270	-	-	-	48	119	81	200
		EM400-8-42		8	194	610	500	280	-	-	-	60	176	127	303
φ 450 φ 457.2	40	EM450-8-30		8	146	580	490	320	-	-	-	40	106	51	157
		EM450-8-36		8	182	600	510	310	-	-	-	48	136	81	217
		EM450-8-42		8	249	650	540	320	-	-	-	60	199	127	326
φ 500 φ 508	40	EM500-8-36		8	231	640	550	350	-	-	-	48	155	82	237
		EM500-8-42		8	301	700	590	370	-	-	-	60	231	128	359
	40		GM500-8-48	8	405	710	580	330	518	390	90	57	229	207	436
			GM500-8-56	8	470	740	600	320	518	390	100	69	282	308	590
φ 550 φ 558.8	40	EM550-8-36		8	269	680	590	390	-	-	-	48	175	82	257
		EM550-8-42		8	350	740	630	410	-	-	-	60	258	128	386
	40		GM550-8-48	8	468	740	610	360	568	430	85	54	244	208	452
			GM550-8-56	8	543	770	630	350	568	430	100	65	301	310	611
φ 600 φ 609.6	40		GM600-8-36	8	421	700	610	410	620	480	70	36	192	85	277
			GM600-8-48	8	563	780	650	400	620	480	85	52	273	210	483
			GM600-8-64	8	747	850	690	390	620	480	110	75	408	449	857
φ 650 φ 660.4	40		GM650-8-48	8	661	820	690	440	670	530	90	52	316	211	527
			GM650-8-64	8	846	880	720	420	670	530	110	71	432	451	883
φ 700 φ 711.2	40		GM700-8-48	8	750	850	720	470	720	570	80	48	330	212	542
			GM700-8-64	8	958	920	760	460	720	570	105	70	471	453	924
φ 750 φ 762	40		GM750-8-48	8	865	890	760	510	770	620	85	48	381	214	595
			GM750-8-64	8	1100	960	800	500	770	620	110	69	527	455	982
φ 800 φ 812.8	40		GM800-8-48	8	961	920	790	540	820	660	90	45	426	215	641
			GM800-8-64	8	1240	990	830	530	820	660	100	66	550	456	1006
φ 850	40		GM850-8-64	8	1410	1030	870	570	870	710	105	65	616	459	1075
φ 900 φ 914.4	40		GM900-8-64	8	1660	1100	940	640	920	760	105	70	734	462	1196
φ 950	40		GM950-8-64	8	1750	1100	940	640	970	810	105	61	735	462	1197
φ 1000 φ 1016	40		GM1000-8-64	8	1970	1140	980	680	1030	870	110	59	827	465	1292

部品の質量はアンカーボルト部品と形板を合わせた質量を、セット質量はベースプレートと部品の総質量を表します。
Gタイプは、表中に無い柱サイズについても対応可能です。センクシアに問い合わせ下さい。

2.2.3 ベースプレート (ハイベース NEO 工法 H 形柱用)



型式表示例

E: エコタイプ
 G: Gタイプ

E H 150 × 150 - 4 - 24
 H形柱用 柱サイズ アンカーボルト径
 アンカーボルト本数

適用柱 シリーズ	ハイベース NEO 型式		アンカー ボルト 本数	回転ばね定数 ($\times 10^3 \text{ kN} \cdot \text{m/rad}$)		寸法 (mm)										質量 (kg)		セット 質量 (kg)
	エコタイプ	Gタイプ		強軸	弱軸	A	B	C1	D1	E	F	G	tw	H	t2	ベース プレート	部品	
H-150×150	EH150×150-4-24		4	14.0	6.0	330	230	250	150	-	-	-	-	-	44	27	16	43
H-175×175	EH175×175-4-24		4	18.0	7.9	360	250	280	170	-	-	-	-	-	44	32	16	48
H-200×150 H-200×200	EH200×200-4-24		4	22.7	11.1	390	280	310	200	-	-	-	-	-	48	42	17	59
H-250×175	EH250×250-4-24		4	31.0	18.0	440	340	350	250	-	-	-	-	-	48	57	18	75
H-250×250	EH250×250-4-30		4	36.7	20.3	440	340	350	250	-	-	-	-	-	48	57	29	86
H-300×200	EH300×300-4-30		4	49.6	30.0	490	390	400	300	-	-	-	-	-	48	73	30	103
H-300×300	EH300×300-4-36		4	69.2	35.6	540	390	450	300	-	-	-	-	-	60	100	45	145
H-350×250	EH350×250-4-30		4	59.2	39.1	540	440	450	350	-	-	-	-	-	48	90	30	120
H-350×250 H-350×350	EH350×350-4-42		4	93.7	52.6	610	460	500	350	-	-	-	-	-	65	144	76	220
H-400×200	EH400×300-4-30		4	74.3	30.1	600	390	510	300	-	-	-	-	-	48	89	30	119
H-400×300	EH400×300-4-36		4	102	33.9	650	390	560	300	-	-	-	-	-	60	120	46	166
H-400×300 H-400×400	EH400×400-4-42		4	118	67.3	660	510	550	400	-	-	-	-	-	60	159	78	237
H-450×200 H-450×250 H-450×300	GH400×400-4-56		4	265	138	760	490	620	330	468	340	470	60	100	71	176	200	376
H-450×200 H-450×250	EH450×300-4-30		4	94.1	30.8	650	390	560	300	-	-	-	-	-	48	96	31	127
H-450×300	EH450×300-4-42		4	135	38.9	690	410	580	300	-	-	-	-	-	65	145	77	222
H-500×200 H-500×250 H-500×300	EH500×300-4-30		4	112	30.5	700	390	610	300	-	-	-	-	-	48	103	31	134
H-500×200 H-500×250 H-500×300	EH500×300-4-42		4	154	40.8	740	410	630	300	-	-	-	-	-	65	155	78	233
H-600×200 H-600×250 H-600×300	EH600×300-4-36		4	189	39.1	830	390	740	300	-	-	-	-	-	60	153	51	204
H-600×200 H-600×250 H-600×300	GH600×300-4-48		4	342	71.4	880	370	750	220	616	510	350	40	100	66	127	128	255
H-700×300	EH700×300-4-42		4	287	45.1	950	410	840	300	-	-	-	-	-	65	199	86	285
H-700×300 H-700×350	GH700×300-4-56		4	540	97.6	1020	440	880	220	720	600	420	40	120	84	204	207	411
H-800×300	GH800×300-4-42		4	478	82.1	1050	390	940	220	820	690	330	40	90	56	136	89	225
H-800×300 H-800×350 H-800×400	GH800×300-4-56		4	668	110	1120	440	980	220	820	690	420	40	120	84	219	212	431
H-900×300	GH900×300-4-42		4	606	96.8	1150	390	1040	220	920	790	330	40	90	56	150	91	241
H-900×300 H-900×350 H-900×400	GH900×300-4-56		4	828	118	1220	440	1080	220	920	790	420	40	120	84	237	217	454

部品の質量はアンカーボルト部品と形板を合わせた質量を、セット質量はベースプレートと部品の総質量を表します。
 各型式の適用柱フランジ幅はエンドタブの大きさを考慮して表中の G 寸法でご確認ください。また、適用柱せいおよびフランジ厚は
 フランジ溶接用の裏あて金の厚さを考慮して表中の E、F 寸法でご確認ください。

適用可能な柱サイズの詳細については、P.26～29の表 3.7～表 3.8 に示す適用可能柱一覧を参照してください。

* EH400 × 400-4-42 は、H-414 × 405 × 18 × 28 まで対応可能です。上記サイズを超える H 形柱には使用できません。

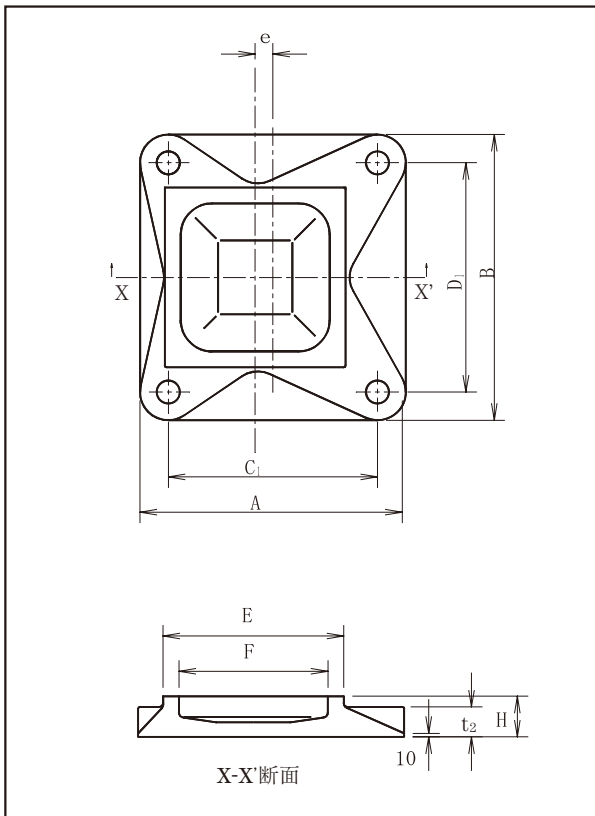
* EH700 × 300-4-42 は、H-708 × 302 × 15 × 28 まで対応可能です。上記サイズを超える H 形柱には使用できません。

* 本表に記載の無い H-700 × 200, H-700 × 250, H-800 × 250, H-900 × 250 シリーズは、GH 型式のみ対応可能です (EH 型式は適用不可)。

* 溶接組立 H 形断面柱は、GH 型式のみ適用可能です (EH 型式は適用不可)。

2.2.4 ベースプレート（スーパーハイベース工法、角形鋼管柱用一方向偏心タイプ）

一方向偏心タイプ（BS 型式）



型式表示例

BS 250 - S1 - 30

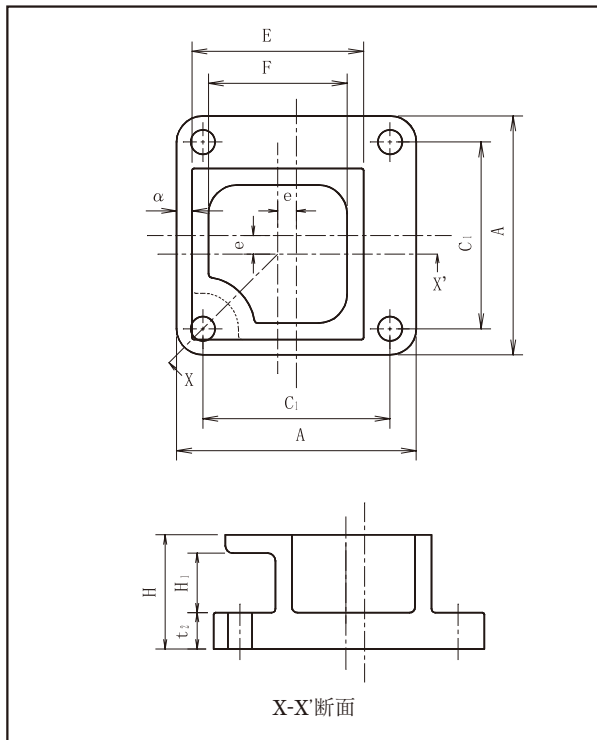
- アンカーボルト径
- ハイベースのタイプ
- 柱サイズ
- 角形鋼管柱用一方向偏心タイプ

適用柱		スーパーハイベース型式	偏心量 e (mm)	回転ばね定数 (× 10 ⁴ kN・m/rad)		寸法 (mm)								質量 (kg)		セット質量 (kg)	
サイズ	板厚範囲			偏心方向	非偏心方向	A	B	C ₁	D ₁	E	F	H	t ₂	ベースプレート	部品		
□ 200×200	6 ~ 12	BS200-S1	24	30	19.9	21.3	310	330	250	270	210	160	70	47	35	20	55
□ 250×250	6 ~ 16	BS250-S1	30	40	35.7	46.3	380	460	280	360	256	200	85	67	72	33	105
			36	43.1	56.5	51										123	
			42	54.4	75.5	53										165	
□ 300×300	6 ~ 22	BS300-S1	42	40	54.4	75.5	450	530	340	420	306	240	95	77	112	88	200
			48	79.8	115	91										246	
□ 350×350	9 ~ 22	BS350-S1	48	50	79.8	115	500	600	380	480	356	290	105	86	155	124	279
			54	103	134	128										368	
□ 400×400	9 ~ 28	BS400-S1	56	50	126	172	590	690	450	550	408	328	120	100	240	201	441
			62	154	204	131										408	
□ 450×450	9 ~ 32	BS450-S1	62	50	154	204	640	740	500	600	458	370	115	97	277	205	482
			68	182	242	133										443	
□ 500×500	9 ~ 32	BS500-S1	68	60	177	241	670	790	530	650	508	420	115	95	310	209	519
			74	207	283	136										491	
□ 550×550	12 ~ 32	BS550-S1	74	60	220	281	720	840	580	700	558	470	115	93	355	214	569
			80	251	330	139										549	
□ 600×600	12 ~ 32	BS600-S1	80	60	249	326	770	890	630	750	610	520	110	91	410	219	629
			86	295	385	224										752	
□ 650×650	12 ~ 32	BS650-S1	86	60	350	448	840	960	690	810	660	570	125	105	528	294	822
			92	404	516	229										823	
□ 700×700	12 ~ 32	BS700-S1	92	60	405	506	890	1010	740	860	710	620	120	102	594	299	893
			98	463	583	299										893	

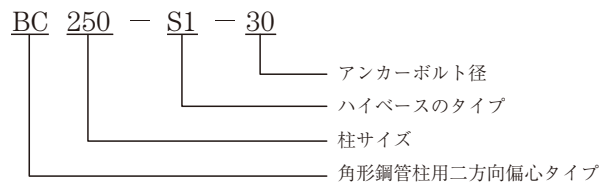
部品の質量はアンカーボルト部品と形板を合わせた質量を、セット質量はベースプレートと部品の総質量を表します。

2.2.5 ベースプレート（スーパーハイベース工法、角形鋼管柱用二方向偏心タイプ）

二方向偏心タイプ（BC 型式）



型式表示例



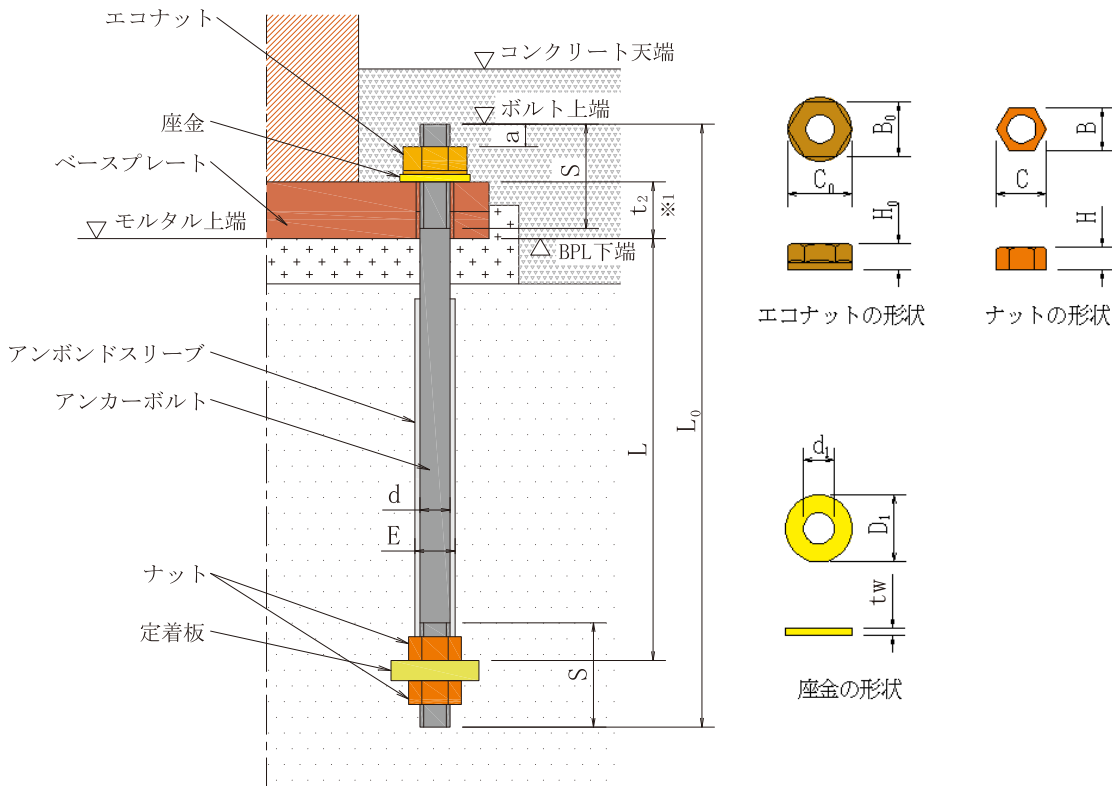
適用柱		スーパーハイベース型式	偏心量 e (mm)	回転ばね定数 ($\times 10^3 \text{kN} \cdot \text{m/rad}$)	寸法 (mm)								質量 (kg)		セット質量 (kg)
サイズ	板厚範囲				A	C ₁	E	F	α	H ₁	H	t ₂	ベースプレート	部品	
□ 250×250	6 ~ 16	BC250-S1	-30	35.7	380	280	256	200	25	131	230	67	120	32	152
			-36	43.1										50	170
□ 300×300	6 ~ 22	BC300-S1	-36	54.4	450	340	306	240	35	141	260	77	192	51	243
			-42	73.0										85	277
□ 350×350	9 ~ 22	BC350-S1	-42	79.8	500	380	356	290	25	149	280	86	263	88	351
			-48	103										121	384
□ 400×400	9 ~ 28	BC400-S1	-48	126	590	450	408	328	45	160	310	100	411	125	536
			-56	158										196	607
□ 450×450	9 ~ 32	BC450-S1	-48	154	640	500	458	370	45	159	305	97	478	128	606
			-56	182										200	678
□ 500×500	9 ~ 32	BC500-S1	-48	177	670	530	508	420	25	158	300	95	523	130	653
			-56	207										203	726
□ 550×550	12 ~ 32	BC550-S1	-48	220	720	580	558	470	25	158	300	93	588	133	721
			-56	251										208	796
□ 600×600	12 ~ 32	BC600-S1	-48	249	770	630	610	520	25	159	300	91	657	136	793
			-56	295										212	869
□ 650×650	12 ~ 32	BC650-S1	-56	350	840	690	660	570	35	171	325	105	859	218	1077
			-64	404										289	1148
□ 700×700	12 ~ 32	BC700-S1	-56	405	890	740	710	620	35	173	325	102	936	223	1159
			-64	463										293	1229

部品の質量はアンカーボルト部品と形板を合わせた質量を、セット質量はベースプレートと部品の総質量を表します。

2.2.6 アンカーボルト・部品

エコタイプ
(EB,EM,EH 型式)

高強度柱適用タイプ
(KB型式)



(mm)

ねじの呼び	アンカーボルト						アンボンドスリーブ	エコナット			ナット			座金		
	軸径	ねじ		余長	定着長さ	全長	外径	高さ	二面幅	対角距離	高さ	二面幅	対角距離	厚さ	内径	外径
		ピッチ	長さ													
	d	P	S ^{*3}	a ^{*2}	L ^{*3}	L ₀ ^{*3}	E	H ₀	B ₀	C ₀	H	B	C	tw	d ₁	D ₁
M24	24	3	95	10	400	550	29	22	46	53	19	36	42	6	25	56
			105		480	645										
M30	30	3.5	110	13	400	580	35	27	50	58	24	46	53	6	31	60
			130		600	800										
M36	36	4	130	16	480	690	41	33	55	64	29	55	64	6	37	66
			720		925											
M42	42	4.5	155	18	840	1080	48	38	65	75	34	65	75	9	43	78
			165			1110										

※1 t₂はベースプレート厚を示します。寸法はP.7~P.14をご参照ください。

※2 a寸法は設置誤差を考慮した設計時の最小寸法です。施工時は、ねじが最低3山以上ナットの外に出るように余長を確保してください。

※3 M24、M30、M36の上段はEB型式およびEM型式の4本タイプの場合、下段は8本、12本タイプのエコタイプの場合の寸法です。M42の上段はエコタイプの場合、下段はKBタイプの場合の寸法です。



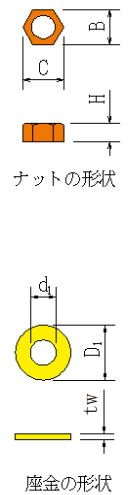
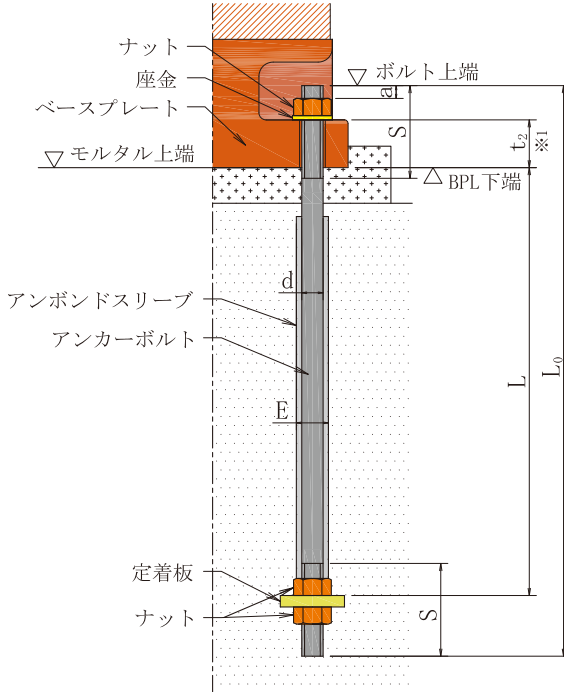
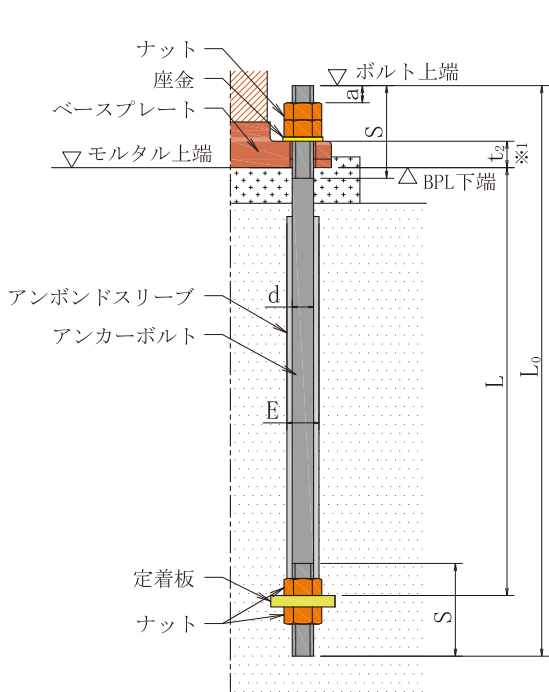
注意

エコタイプのアンカーボルトは一重ナットが標準です。ゆるみ止めのためコンクリートスラブへの埋め込みが必要です。コンクリートスラブによる埋め込み高さは基礎柱形設計例のhc寸法以上必要です。コンクリートスラブによる埋め込みができない場合はせん断耐力が変わる可能性がありますのでセクシアへ必ずお問合せください。

Gタイプ
(GB、GM、GH型式)

一方向偏心タイプ
(BS型式)

二方向偏心タイプ
(BC型式^{※4})



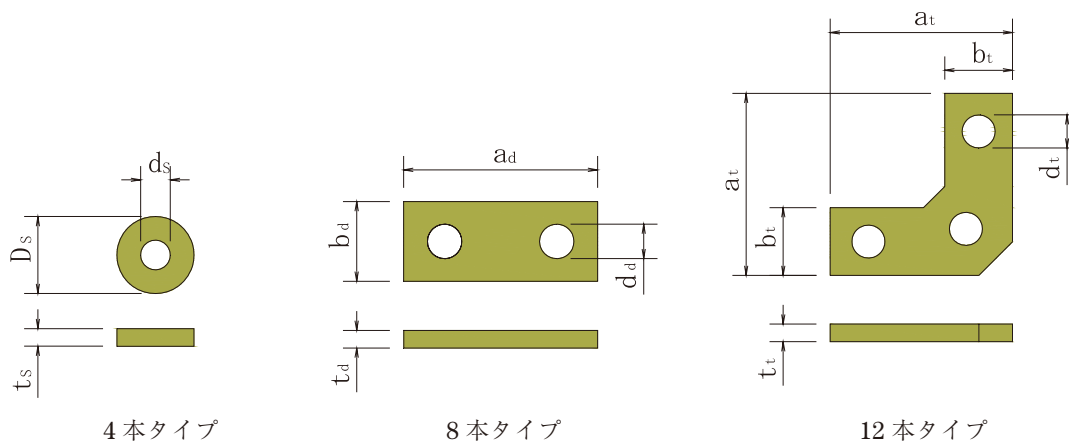
(mm)

ねじの呼び	アンカーボルト						アンボンドスリーブ 外径	ナット			座金		
	軸径	ねじ		余長	定着長さ	全長		高さ	二面幅	対角距離	厚さ	内径	外径
		ピッチ	長さ										
d	P	S ^{※2}	a ^{※3}	L	L ₀ ^{※2}	E	H	B	C	tw	d ₁	D ₁	
M24	24	3	105	10	480	645	29	19	36	42	6	25	44
M30	30	3.5	130	13	600	800	35	24	46	53	6	31	56
M36	36	4	130	16	720	925	41	29	55	64	6	37	66
			150			955							
M42	42	4.5	155	18	840	1080	48	34	65	75	9	43	78
			165			1110							
M48	48	5	175	22	960	1235	54	38	75	87	9	50	92
			190			1270							
M56	56	5.5	185	24	1120	1420	62	45	85	98	9	58	105
			210			1470							
M64	64	6	200	28	1280	1610	70	51	95	110	12	66	115
			230			1660							
M72	72	6	250	30	1440	1850	79	58	105	121	12	74	125

※1 t₂はベースプレート台座厚を示します。寸法はP.7～P.14をご参照ください。
 ※2 上段はGB型式、GM型式およびBC型式の場合、下段はGH型式およびBS型式の場合の寸法です。
 ※3 a寸法は設置誤差を考慮した設計時の最小寸法です。施工時は、ねじが最低3山以上ナットの外に出るように余長を確保してください。
 ※4 BC型式のアンカーボルトは一重ナットです。コンクリートに埋め込む等のゆるみ止め処置を行ってください。

 注意	<ul style="list-style-type: none"> ・アンカーボルトは二重ナットを標準としていますが、一重ナットでも適用可能です。 ・一重ナットとする場合は、コンクリートに埋め込む等のゆるみ止め処置が必要です。(一重ナットとする場合は、センクシアにご相談ください) ・BC型式はコンクリートに埋め込む等のゆるみ止め処置をお願いします。
---------------	---

定着板の形状・寸法（エコタイプ、Gタイプ、高強度柱適用タイプ、偏心タイプ共通）



(mm)

ねじの呼び	4本タイプ用			8本タイプ用				12本タイプ用			
	厚さ	外径	内径	厚さ	長さ	幅	内径	厚さ	長さ	幅	内径
	t_s	D_s	d_s	t_d	a_d	b_d	d_d	t_t	a_t	b_t	d_t
M24	16	70	27	-				-			
M30	16	90	33	9	180	65	33				
M36	19	100	39	9	215	75	39				
M42	22	120	45	9	240	85	45	9	225	85	45
M48	25	140	52	9	270	95	52	9	260	95	52
M56	28	160	60	9	305	110	60	9	295	110	60
M64	32	180	68	12	330	130	68	12	340	130	68
M72	-			16	380	145	76	16	375	145	76

2.2.7 ベースプレートのアンカーボルト孔径

(mm)

ねじの呼び	M24	M30	M36	M42	M48	M56	M64	M72
エコタイプ孔径	38	44	50	57	-	-	-	-
Gタイプ孔径	-	38	45	53	61	70	79	87
偏心タイプ孔径	29	36	43	49	56	65	74	-

3.1 設計指針

1. 基本事項

本設計指針は鉄筋コンクリート造上に建つ鉄骨造骨組の柱脚部に使用されるハイベース NEO 工法およびスーパーハイベース工法偏心タイプ(以下本工法とする)の設計方法ならびに施工方法に関するものである。本設計指針に示されない事項は「鋼構造許容応力度設計規準(日本建築学会)」や「鉄筋コンクリート構造計算規準同解説(日本建築学会)」等の規準・指針による。本工法を適用する建物は、柱脚の回転剛性を評価した設計とする(フレームの応力解析は下図に示すようにベースプレート下端位置に回転ばねを仮定する)。本柱脚の短期許容曲げ耐力および終局曲げ耐力を耐力線図で示す。許容応力度設計において柱脚の発生曲げ応力が柱および柱脚の耐力線図を超える場合は、本工法は適用できない。

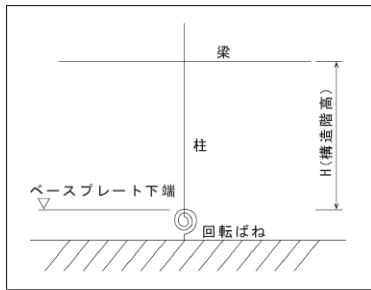


図 3.1 応力解析モデル図

2. 使用材料等

①柱

本工法は下記柱に適用する。

表 3.1 適用柱

型式	適用柱
EB,GB, BS*,BC*	角形鋼管柱 (BCP325,BCR295 等)
KB	角形鋼管柱 (UBCR365,JBCR385 等)
EM, GM	円形鋼管柱 (STKN400,STKN490 等)
EH, GH	H 形柱 (SS400,SS490,SN490B 等)

*スーパーハイベース工法偏心タイプ

- ・EB、GB、KB型式は高強度鋼 (UBCR365、JBCR385等、基準強度が325N/mm²を超える柱) に適用可能である。ただし通常の検討方法と異なるためセンクシアへ問合せをすること。
- ・熱間成形角形鋼管柱にも対応可能である。(EB 型式に使用する場合に柱の角部外側の曲率半径が BCR295 または BCP325 と同じであることを確認すること)
- ・Gタイプおよび高強度柱適用タイプは、溶接組立箱形断面柱、溶接組立H形断面柱に適用可能である (エコタイプは適用不可)。
- ・コンクリート充填鋼管(CFT) 構造にも適用可能である。
- ・柱とベースプレートとの溶接は完全溶込み溶接とする。(建築工事標準仕様書 JASS6 鉄骨工事による)
- ・柱を斜めに取付ける場合はお問合せください。

②鉄筋

基礎柱形に使用する鉄筋は JIS G 3112「鉄筋コンクリート用棒鋼」に定められる熱間圧延異形棒鋼とする。

③コンクリート

基礎柱形、基礎ばりに使用するコンクリートは「建築工事標準仕様書 JASS5 鉄筋コンクリート工事」に適合する普通コンクリートとする (21 ~ 36N/mm²)。ただし、P.46 ~ P.233 に示す標準型式の耐力を算定する時のコンクリート設計基準強度は 24N/mm² を上限とする (これ以上の場合はセンクシアに問い合わせをする)。

④コンクリートスラブ (被覆コンクリート)

P.31(エ)の方法による検討を行う場合やエコタイプをコンクリートスラブへ埋め込む場合に使用するコンクリートは「建築工事標準仕様書 JASS5 鉄筋コンクリート工事」に適合する普通コンクリートとする (18 ~ 36N/mm²)。

3. 基礎柱形

基礎柱形が基礎ばりと基礎ばりの交点の位置に存在し(含む側、隅柱)、かつその天端が基礎ばり天端と一致する場合、その詳細は「基礎柱形設計例(P.46 ~ P.233 参照)」による。このとき、基礎柱形主筋の頂部にはフックを設けなくても良い。本設計ハンドブックに示す基礎柱形設計例はコンクリート設計基準強度が 24N/mm² の場合における計算例である。コンクリート設計基準強度が異なる場合は、「構造計算支援ソフト【ハイベース検討システム】」にて設計が可能である。なお、これによらない場合は、基礎柱形に発生する応力(軸力、曲げ、せん断)を考慮した設計を行う(「鉄筋コンクリート構造計算規準同解説」「建築物の構造関係技術基準解説書」等に準拠)。(詳細は 4.1.1 項参照)

4. 基礎ばりおよび基礎

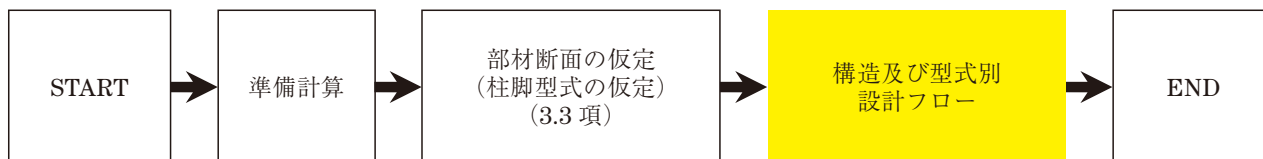
基礎ばりの下端は、アンカーボルト定着板の上面よりも下側とする。柱脚部に発生する曲げモーメントは、原則として全て基礎ばりへ負担させる。このとき、基礎ばりの剛性は柱脚部の剛性よりも十分に高いものとする。ただし、基礎ばりを設けずに基礎から直接地盤へ曲げモーメントを伝達する場合はその剛性が柱脚部よりも十分に高い基礎を設計する。

5. 異種構造との併用

下層が鉄筋コンクリート造、または鉄骨鉄筋コンクリート造の場合は、下層および上層との剛性と柱脚の回転剛性を考慮した適切な設計を行う。柱脚部の形状、寸法、配筋等の仕様は柱脚詳細図と同等以上とする。

3.2 柱脚部の設計フロー

ハイベース NEO 工法を用いた露出型柱脚の検討フロー



* 冷間成形角形鋼管柱を用いる場合、柱脚(ベースプレートとアンカーボルトで構成される部分)の検討に際して応力の割増はしない。

ハイベース NEO 工法を使った建築物の設計フロー(角形鋼管柱用・円形鋼管柱用)

【ルート①-1、ルート①-2、ルート②の場合】

「2020 年版 建築物の構造関係技術基準解説書 付図 1.2-25 露出型柱脚を使った建築物の計算ルート別の設計フロー」(P.21 図 3.4 参照)に基づき検討を行う。

【ルート③の場合】

建築物の構造(純ラーメン構造またはブレース構造)^{*1}により、建築物の設計フローが異なる。

純ラーメン構造の場合

⇒ 「ハイベース NEO 工法を使った建築物の設計フロー」(P.20 図 3.2参照)に基づき検討を行う。

保有水平耐力の確認方法^{*2}

1 階 D_s の割増不要^{*3}、 $Q_u \geq 1.1 \times Q_{un}$

ブレース構造の場合

⇒ 「2020 年版 建築物の構造関係技術基準解説書 付図 1.2-25 露出型柱脚を使った建築物の計算ルート別の設計フロー」(P.21 図 3.4参照)に基づき検討を行う。

保有水平耐力の確認方法^{*2}

1 階 D_s を 0.05 割増、 $Q_u \geq Q_{un}$

建築物の構造による設計フローの違い

Q_u : 1 階の保有水平耐力、 Q_{un} : 1 階の必要保有水平耐力

⚠ ハイベース NEO 工法 H 形柱用 (EH, GH 型式) 及びスーパーハイベース工法偏心タイプを使用する場合は、「2020 年版 建築物の構造関係技術基準解説書 付図 1.2-25 露出型柱脚を使った建築物の計算ルート別の設計フロー」(P.21 図 3.4 参照)に基づき検討を行う(詳細は P.21)。

⚠ 1 階 D_s の割増が必要な柱脚 (EH, GH, BS, BC 型式、在来工法等) と、1 階 D_s の割増が不要な柱脚 (EB, GB, KB, EM, GM 型式) が同一の層に混在する場合は、1 階 D_s を 0.05 割増する必要がある。

*1 : 構造の判定は、柱脚のある層において、構造計算時の荷重方向に配置されるブレースの有無で判断する。なお、柱脚のある層以外に配置されるブレースは考慮しない(建築物の構造判定の一例は P.20 図 3.3 参照)。

*2 : 柱及びはりの部材群としての種別が D の場合は P.20 表 3.2 の方法による。

*3 : ハイベース NEO 工法を使用する層を示す。

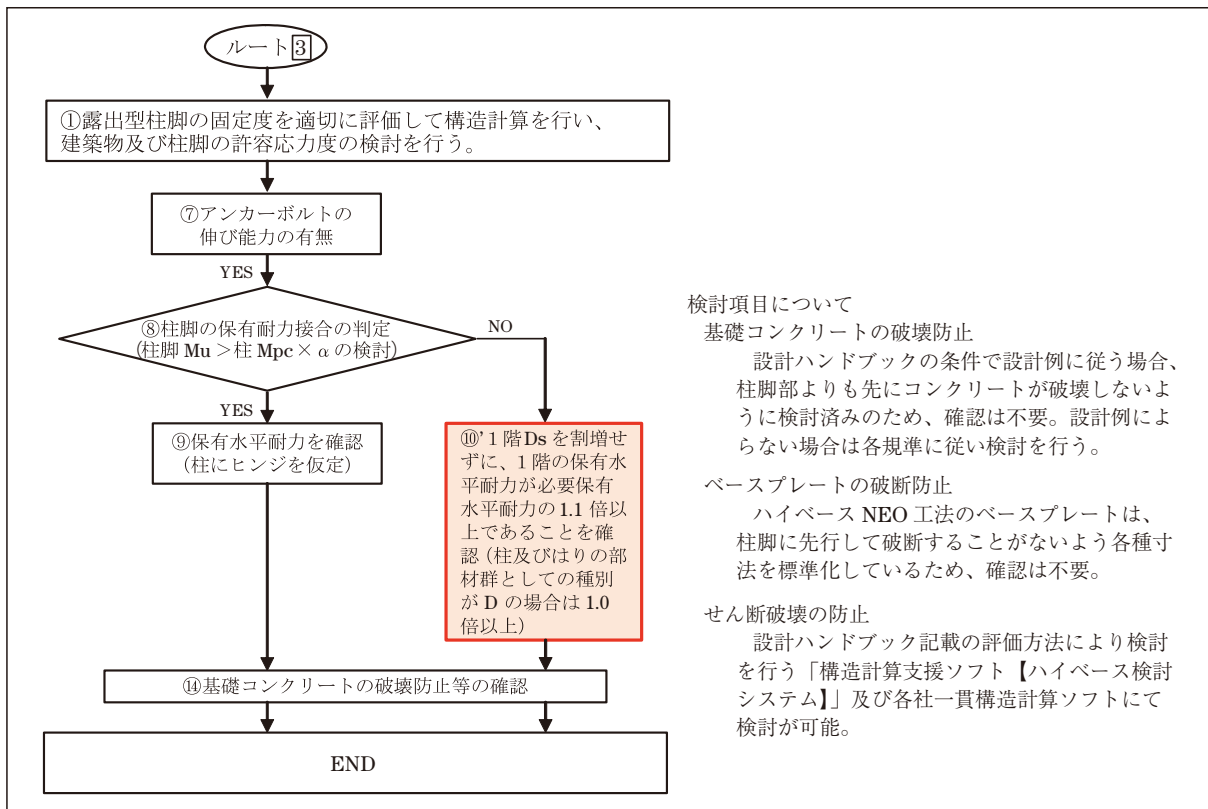


図 3.2 ハイベース NEO 工法(角形鋼管柱用、円形鋼管柱用)を使った建築物の設計フロー (ルート③、純ラーメン構造の場合)

表 3.2 ハイベース NEO 工法 構造別保有水平耐力の確認方法

建築物の構造	柱形状	ハイベース NEO 工法		設計フロー⑩' 保有水平耐力の確認方法	
		タイプ	型式	右記以外	柱及びはりの部材群としての種別がDの場合
純ラーメン構造	角形鋼管柱	エコタイプ	EB	1階Dsの割増不要 $Q_u \geq 1.1 \times Q_{un}$	1階Dsの割増不要 $Q_u \geq Q_{un}$
		Gタイプ	GB		
		高強度柱適用タイプ	KB		
	円形鋼管柱	エコタイプ	EM		
Gタイプ		GM			
ブレース構造	角形鋼管柱	エコタイプ	EB	1階Dsを0.05割増 $Q_u \geq Q_{un}$	1階Dsの割増不要 $Q_u \geq Q_{un}$
		Gタイプ	GB		
		高強度柱適用タイプ	KB		
	円形鋼管柱	エコタイプ	EM		
Gタイプ		GM			

* Q_u : 1階の保有水平耐力、 Q_{un} : 1階の必要保有水平耐力

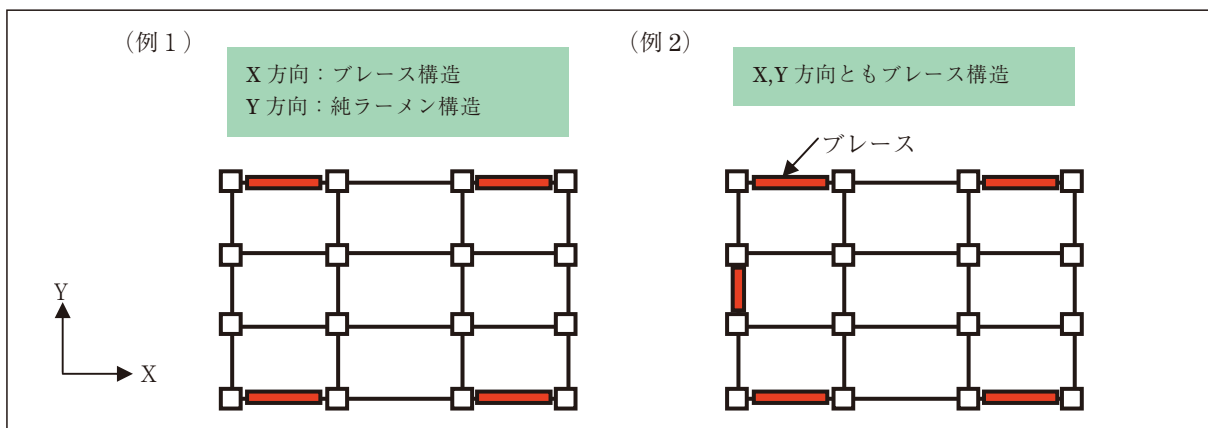


図 3.3 建築物の構造判定の一例

ハイベース NEO 工法(ルート1-1、1-2、2、H 形柱用、ブレース構造の場合)およびスーパーハイベース工法偏心タイプを使った建築物の設計フロー

「2020 年版 建築物の構造関係技術基準解説書 付図 1.2-25 露出型柱脚を使った建築物の計算ルート別の設計フロー」に基づき検討を行う。

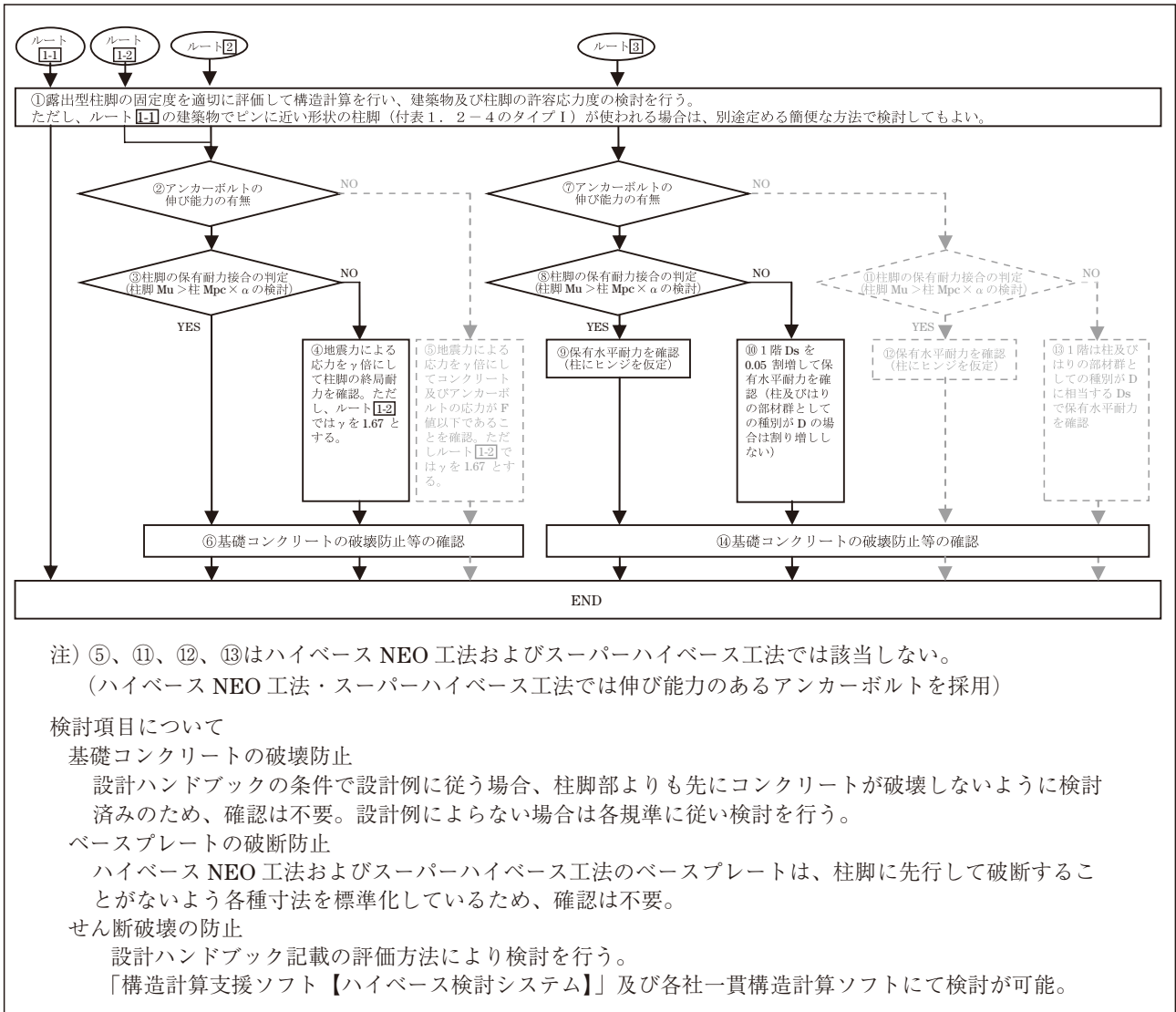


図 3.4 「2020 年版 建築物の構造関係技術基準解説書」に則して表したハイベース NEO 工法(ルート1-1、1-2、2、H 形柱用、ブレース構造の場合)およびスーパーハイベース工法偏心タイプを使った建築物の設計フロー

3.3 ハイベース NEO 型式の仮定

表 3.3 柱サイズと柱脚部型式の組合せの仮定（角形鋼管柱、BCR295）

柱材質		BCR295 (F=295N/mm ²)			
		エコタイプ		Gタイプ	
柱サイズ	板厚	型式名	回転ばね定数 × 10 ³ kN・m/rad	型式名	回転ばね定数 × 10 ³ kN・m/rad
□ 150	6	EB150-4-24	14.0		
	9	EB150-4-24	14.0		
	12	EB150-4-24	14.0		
□ 175	6	EB175-4-24	17.9		
	9	EB175-4-24	17.9		
	12	EB175-4-24	17.9		
□ 200	6	EB200-4-24	21.9		
	8	EB200-4-24	21.9		
	9	EB200-4-24	21.9		
	12	EB200-4-30	35.4		
□ 250	6	EB250-4-24	32.2		
	8	EB250-4-24	32.2		
	9	EB250-4-30	51.3		
	12	EB250-4-30	51.3		
	14	EB250-4-30	51.3		
□ 300	16	EB250-4-36	59.7		
	6	EB300-4-30	70.1		
	8	EB300-4-30	70.1		
	9	EB300-4-30	70.1		
	12	EB300-4-36	82.9		
	14	EB300-4-36	82.9		
□ 350	16	EB300-8-30	69.4		
	19	EB300-8-30	69.4		
	9	EB350-8-30	89.5	GB350-8-30	150
	12	EB350-8-30	89.5	GB350-8-30	150
	14	EB350-8-30	89.5	GB350-8-30	150
	16	EB350-8-30	89.5	GB350-8-30	150
□ 400	19	EB350-8-36	105	GB350-8-36	188
	22	EB350-8-36	105	GB350-8-36	188
	9	EB400-8-30	111	GB400-8-36	234
	12	EB400-8-30	111	GB400-8-36	234
	14	EB400-8-30	111	GB400-8-36	234
	16	EB400-8-36	127	GB400-8-36	234
□ 450	19	EB400-8-36	127	GB400-8-36	234
	22	EB400-8-42	175	GB400-8-42	282
	25	EB400-8-42	175	GB400-8-42	282
	9	EB450-8-36	169	GB450-8-36	296
	12	EB450-8-36	169	GB450-8-36	296
	14	EB450-8-36	169	GB450-8-36	296
□ 500	16	EB450-8-36	169	GB450-8-36	296
	19	EB450-8-42	199	GB450-8-42	348
	22	EB450-8-42	199	GB450-8-42	348
	25	EB450-8-42	199	GB450-8-42	348
	9	EB500-8-36	210	GB500-8-36	354
	12	EB500-8-36	210	GB500-8-36	354
□ 550	14	EB500-8-36	210	GB500-8-36	354
	16	EB500-8-42	238	GB500-8-42	421
	19	EB500-8-42	238	GB500-8-42	421
	22	EB500-8-42	238	GB500-8-42	421
	25	EB500-12-42	396	GB500-8-48	489
	28	EB500-12-42	396	GB500-8-48	489
□ 550	12	EB550-8-42	317	GB550-8-36	419
	14	EB550-8-42	317	GB550-8-36	419
	16	EB550-8-42	317	GB550-8-42	498
	19	EB550-8-42	317	GB550-8-42	498
	22	EB550-12-42	475	GB550-8-48	580
	25	EB550-12-42	475	GB550-8-48	580
28	EB550-12-42	475	GB550-8-48	580	

* 上記は組合せの一例です。上記以外の柱材質及び柱サイズの組合せも使用可能です。
「構造計算支援ソフト【ハイベース検討システム】」にて別途検討をお願いします。



- i) 耐力図（付録参照）を用いて応力確認を行ってください。
・本表は、柱脚ヒンジ(柱脚 $M_u \leq$ 柱 M_p)を基本とした柱と柱脚の組合せの目安です。この他の組合せも可能です。
- ii) ハイベース NEO 工法の設計フロー（P.19～21）に基づき設計を行ってください。
・ルート2の設計の場合
回転ばねを考慮した応力計算結果による柱脚応力を、耐力図（付録参照）を基に確認ください。
・ルート3の設計の場合
柱の脚部、ハイベース NEO 柱脚部の内、小さい方の終局耐力を用いて保有水平耐力の検討を行ってください。
- iii) 鋼管コンクリート構造(CFT構造を含む)の場合は本表に拠らず、別途検討ください。

表 3.4 柱サイズと柱脚部型式の組合せの仮定 (角形鋼管柱、BCP325)

柱材質		BCP325 (F=325N/mm ²)			
柱サイズ	板厚	エコタイプ		Gタイプ	
		型式名	回転ばね定数 × 10 ³ kN・m/rad	型式名	回転ばね定数 × 10 ³ kN・m/rad
□ 300	9	EB300-4-30	70.1		
	12	EB300-4-30	70.1		
	16	EB300-4-36	82.9		
	19	EB300-8-30	69.4		
□ 350	9	EB350-8-30	89.5	GB350-8-30	150
	12	EB350-8-30	89.5	GB350-8-30	150
	16	EB350-8-30	89.5	GB350-8-30	150
	19	EB350-8-30	89.5	GB350-8-30	150
	22	EB350-8-36	105	GB350-8-36	188
□ 400	9	EB400-8-30	111	GB400-8-36	234
	12	EB400-8-30	111	GB400-8-36	234
	16	EB400-8-30	111	GB400-8-36	234
	19	EB400-8-36	127	GB400-8-36	234
	22	EB400-8-36	127	GB400-8-36	234
□ 450	9	EB450-8-36	169	GB450-8-36	296
	12	EB450-8-36	169	GB450-8-36	296
	16	EB450-8-36	169	GB450-8-36	296
	19	EB450-8-36	169	GB450-8-36	296
	22	EB450-8-36	169	GB450-8-36	296
	25	EB450-8-42	199	GB450-8-42	348
□ 500	9	EB500-8-36	210	GB500-8-36	354
	12	EB500-8-36	210	GB500-8-36	354
	16	EB500-8-36	210	GB500-8-36	354
	19	EB500-8-36	210	GB500-8-36	354
	22	EB500-8-42	238	GB500-8-42	421
	25	EB500-8-42	238	GB500-8-42	421
	28	EB500-12-42	396	GB500-8-48	489
	32			GB500-8-48	489
□ 550	9	EB550-8-42	317	GB550-8-36	419
	12	EB550-8-42	317	GB550-8-36	419
	16	EB550-8-42	317	GB550-8-36	419
	19	EB550-8-42	317	GB550-8-42	498
	22	EB550-8-42	317	GB550-8-42	498
	25	EB550-12-42	475	GB550-8-48	580
	28	EB550-12-42	475	GB550-8-48	580
	32			GB550-8-48	580
	36			GB550-12-48	817
	38			GB550-12-48	817
□ 600	9			GB600-8-42	598
	12			GB600-8-42	598
	16			GB600-8-42	598
	19			GB600-8-42	598
	22			GB600-8-48	682
	25			GB600-8-48	682
	28			GB600-8-48	682
	32			GB600-12-48	953
□ 650	12			GB650-8-42	680
	16			GB650-8-42	680
	19			GB650-8-42	680
	22			GB650-8-48	782
	25			GB650-8-48	782
	28			GB650-8-56	939
	32			GB650-8-56	939
	36			GB650-8-56	939
	38			GB650-8-56	939
	40			GB650-12-56	1320

柱材質		BCP325 (F=325N/mm ²)			
柱サイズ	板厚	エコタイプ		Gタイプ	
		型式名	回転ばね定数 × 10 ³ kN・m/rad	型式名	回転ばね定数 × 10 ³ kN・m/rad
□ 700	12			GB700-8-42	782
	16			GB700-8-42	782
	19			GB700-8-48	899
	22			GB700-8-48	899
	25			GB700-8-56	1070
	28			GB700-8-56	1070
	32			GB700-8-56	1070
	36			GB700-12-56	1490
□ 750	16			GB750-8-48	1010
	19			GB750-8-48	1010
	22			GB750-12-48	1460
	25			GB750-12-48	1460
	28			GB750-12-48	1460
	32			GB750-12-48	1460
	36			GB750-12-56	1700
	40			GB750-12-56	1700
□ 800	16			GB800-8-56	1380
	19			GB800-8-56	1380
	22			GB800-8-56	1380
	25			GB800-8-56	1380
	28			GB800-8-56	1380
	32			GB800-12-56	1930
	36			GB800-12-56	1930
	38			GB800-12-56	1930
□ 850	16			GB850-12-56	2160
	19			GB850-12-56	2160
	22			GB850-12-56	2160
	25			GB850-12-56	2160
	28			GB850-12-56	2160
	32			GB850-12-56	2160
	36			GB850-12-56	2160
	38			GB850-12-56	2160
□ 900	16			GB900-12-56	2430
	19			GB900-12-56	2430
	22			GB900-12-56	2430
	25			GB900-12-56	2430
	28			GB900-12-56	2430
	32			GB900-12-56	2430
	36			GB900-12-56	2430
	38			GB900-12-64	2770
□ 950	19			GB950-12-56	2700
	22			GB950-12-56	2700
	25			GB950-12-56	2700
	28			GB950-12-56	2700
	32			GB950-12-56	2700
	36			GB950-12-64	3000
	38			GB950-12-64	3000
	40			GB950-12-64	3000
□ 1000	19			GB1000-12-56	3020
	22			GB1000-12-56	3020
	25			GB1000-12-56	3020
	28			GB1000-12-56	3020
	32			GB1000-12-56	3020
	36			GB1000-12-64	3390
	38			GB1000-12-64	3390
	40			GB1000-12-72	3770
□ 1050	□ 1050 ~ □ 1200 に対応可能なハイベース型式 (Gタイプ) も御用意しています。構造計算支援ソフト【ハイベース検討システム】にて別途検討をお願いします。				
□ 1100					
□ 1150					
□ 1200					

* 上記は組合せの一例です。上記以外の柱材質及び柱サイズの組合せも使用可能です。
「構造計算支援ソフト【ハイベース検討システム】」にて別途検討をお願いします。



- i) 耐力図 (付録参照) を用いて応力確認を行ってください。
・本表は、柱脚ヒンジ (柱脚 $M_u \leq$ 柱 M_p) を基本とした柱と柱脚の組合せの目安です。この他の組合せも可能です。
- ii) ハイベース NEO 工法の設計フロー (P.19 ~ 21) に基づき設計を行ってください。
・ルート 2 の設計の場合
 回転ばねを考慮した応力計算結果による柱脚応力を、耐力図 (付録参照) を基に確認してください。
・ルート 3 の設計の場合
 柱の脚部、ハイベース NEO 柱脚部の内、小さい方の終局耐力を用いて保有水平耐力の検討を行ってください。
- iii) 鋼管コンクリート構造 (CFT 構造を含む) の場合は本表に拠らず、別途検討ください。

表 3.5 柱サイズと柱脚部型式の組合せの仮定 (円形鋼管柱、STKN)

柱材質		F=235N/mm ² (STKN400)			
柱サイズ	板厚	エコタイプ		Gタイプ	
		型式名	回転ばね定数 × 10 ³ kN・m/rad	型式名	回転ばね定数 × 10 ³ kN・m/rad
φ 190.7		EM190-4-24	13.8		
φ 216.3		EM216-4-24	19.9		
φ 267.4		EM250-4-24	28.4		
φ 318.5	6.9	EM300-4-24	38.3		
φ 318.5	7.9	EM300-4-24	38.3		
φ 318.5	10.3	EM300-4-30	61.0		
φ 318.5	12.7	EM300-4-30	61.0		
φ 355.6	9.5	EM350-4-30	65.1		
φ 355.6	11.1	EM350-4-30	65.1		
φ 355.6	12.7	EM350-8-30	86.3		
φ 355.6	16	EM350-8-30	86.3		
φ 355.6	19	EM350-8-30	86.3		
φ 406.4	9.5	EM400-8-30	119		
φ 406.4	12.7	EM400-8-30	119		
φ 406.4	16	EM400-8-30	119		
φ 406.4	19	EM400-8-30	119		
φ 450	19	EM450-8-30	146		
φ 457.2	12.7	EM450-8-30	146		
φ 457.2	16	EM450-8-30	146		
φ 457.2	19	EM450-8-30	146		
φ 500	19	EM500-8-36	231		
φ 500	22	EM500-8-36	231		
φ 508	12.7	EM500-8-36	231		
φ 508	16	EM500-8-36	231		
φ 508	19	EM500-8-36	231		
φ 508	22	EM500-8-36	231		
φ 550	19	EM550-8-36	269		
φ 550	22	EM550-8-36	269		
φ 558.8	12.7	EM550-8-36	269		
φ 558.8	16	EM550-8-36	269		
φ 558.8	19	EM550-8-36	269		
φ 558.8	22	EM550-8-42	350		
φ 600	19			GM600-8-36	421
φ 600	22			GM600-8-48	563
φ 600	25			GM600-8-48	563
φ 600	28			GM600-8-48	563
φ 600	32			GM600-8-48	563
φ 600	36			GM600-8-48	563
φ 600	40			GM600-8-64	747
φ 609.6	12.7			GM600-8-36	421
φ 609.6	16			GM600-8-36	421
φ 609.6	19			GM600-8-36	421
φ 609.6	22			GM600-8-48	563

柱材質		F=325N/mm ² (STKN490)			
柱サイズ	板厚	エコタイプ		Gタイプ	
		型式名	回転ばね定数 × 10 ³ kN・m/rad	型式名	回転ばね定数 × 10 ³ kN・m/rad
φ 190.7		EM190-4-24	13.8		
φ 216.3		EM216-4-24	19.9		
φ 267.4		EM250-4-24	28.4		
φ 318.5	6.9	EM300-4-24	38.3		
φ 318.5	7.9	EM300-4-30	61.0		
φ 318.5	10.3	EM300-4-30	61.0		
φ 318.5	12.7	EM300-4-30	61.0		
φ 355.6	9.5	EM350-8-30	86.3		
φ 355.6	11.1	EM350-8-30	86.3		
φ 355.6	12.7	EM350-8-30	86.3		
φ 355.6	16	EM350-8-30	86.3		
φ 355.6	19	EM350-8-30	86.3		
φ 406.4	9.5	EM400-8-30	119		
φ 406.4	12.7	EM400-8-30	119		
φ 406.4	16	EM400-8-36	148		
φ 406.4	19	EM400-8-36	148		
φ 450	19	EM450-8-36	182		
φ 457.2	12.7	EM450-8-30	146		
φ 457.2	16	EM450-8-36	182		
φ 457.2	19	EM450-8-36	182		
φ 500	19	EM500-8-42	301		
φ 500	22	EM500-8-42	301		
φ 508	12.7	EM500-8-36	231		
φ 508	16	EM500-8-36	231		
φ 508	19	EM500-8-42	301		
φ 508	22	EM500-8-42	301		
φ 550	19	EM550-8-42	350		
φ 550	22	EM550-8-42	350		
φ 558.8	12.7	EM550-8-42	350		
φ 558.8	16	EM550-8-42	350		
φ 558.8	19	EM550-8-42	350		
φ 558.8	22	EM550-8-42	350		
φ 600	19			GM600-8-48	563
φ 600	22			GM600-8-48	563
φ 600	25			GM600-8-48	563
φ 600	28			GM600-8-64	747
φ 600	32			GM600-8-64	747
φ 600	36			GM600-8-64	747
φ 600	40			GM600-8-64	747
φ 609.6	12.7			GM600-8-36	421
φ 609.6	16			GM600-8-48	563
φ 609.6	19			GM600-8-48	563
φ 609.6	22			GM600-8-48	563

* 上記は組合せの一例です。上記以外の柱材質及び柱サイズの組合せも使用可能です。
「構造計算支援ソフト【ハイベース検討システム】」にて別途検討をお願いします。



- i) 耐力図 (付録参照) を用いて応力確認を行ってください。
・本表は、柱脚ヒンジ (柱脚 $M_u \leq$ 柱 M_p) を基本とした柱と柱脚の組合せの目安です。この他の組合せも可能です。
- ii) ハイベース NEO 工法の設計フロー (P.19 ~ 21) に基づき設計を行ってください。
・ルート 2 の設計の場合
回転ばねを考慮した応力計算結果による柱脚応力を、耐力図 (付録参照) を基に確認してください。
・ルート 3 の設計の場合
柱の脚部、ハイベース NEO 柱脚部の内、小さい方の終局耐力を用いて保有水平耐力の検討を行ってください。
- iii) 鋼管コンクリート構造 (CFT 構造を含む) の場合は本表に拠らず、別途検討ください。

表 3.6 柱サイズと柱脚部型式の組合せの仮定 (円形鋼管柱、STKN)

柱材質		F=235N/mm ² (STKN400)			
柱サイズ	板厚	エコタイプ		Gタイプ	
		型式名	回転ばね定数 × 10 ³ kN・m/rad	型式名	回転ばね定数 × 10 ³ kN・m/rad
φ 650	16			GM650-8-48	661
φ 650	19			GM650-8-48	661
φ 650	22			GM650-8-48	661
φ 650	25			GM650-8-48	661
φ 650	28			GM650-8-48	661
φ 650	32			GM650-8-48	661
φ 650	36			GM650-8-64	846
φ 650	40			GM650-8-64	846
φ 660.4	22			GM650-8-48	661
φ 660.4	28			GM650-8-48	661
φ 660.4	36			GM650-8-64	846
φ 700	16			GM700-8-48	750
φ 700	19			GM700-8-48	750
φ 700	22			GM700-8-48	750
φ 700	25			GM700-8-48	750
φ 700	28			GM700-8-48	750
φ 700	32			GM700-8-64	958
φ 700	36			GM700-8-64	958
φ 700	40			GM700-8-64	958
φ 711.2	22			GM700-8-48	750
φ 711.2	25			GM700-8-48	750
φ 711.2	28			GM700-8-48	750
φ 750	16			GM750-8-48	865
φ 750	19			GM750-8-48	865
φ 750	22			GM750-8-48	865
φ 750	25			GM750-8-48	865
φ 750	28			GM750-8-64	1100
φ 750	32			GM750-8-64	1100
φ 750	36			GM750-8-64	1100
φ 750	40			GM750-8-64	1100
φ 762	16			GM750-8-48	865
φ 762	22			GM750-8-48	865
φ 762	28			GM750-8-64	1100
φ 800	16			GM800-8-48	961
φ 800	19			GM800-8-48	961
φ 800	22			GM800-8-48	961
φ 800	25			GM800-8-48	961
φ 800	28			GM800-8-64	1240
φ 800	32			GM800-8-64	1240
φ 800	36			GM800-8-64	1240
φ 800	40			GM800-8-64	1240
φ 812.8	19			GM800-8-48	961
φ 812.8	22			GM800-8-48	961
φ 812.8	25			GM800-8-48	961
φ 850				GM850-8-64	1410
φ 900				GM900-8-64	1660
φ 950				GM950-8-64	1750
φ 1000				GM1000-8-64	1970

柱材質		F=325N/mm ² (STKN490)			
柱サイズ	板厚	エコタイプ		Gタイプ	
		型式名	回転ばね定数 × 10 ³ kN・m/rad	型式名	回転ばね定数 × 10 ³ kN・m/rad
φ 650	16			GM650-8-48	661
φ 650	19			GM650-8-48	661
φ 650	22			GM650-8-48	661
φ 650	25			GM650-8-64	846
φ 650	28			GM650-8-64	846
φ 650	32			GM650-8-64	846
φ 650	36			GM650-8-64	846
φ 650	40			GM650-8-64	846
φ 660.4	22			GM650-8-48	661
φ 660.4	28			GM650-8-64	846
φ 660.4	36			GM650-8-64	846
φ 700	16			GM700-8-48	750
φ 700	19			GM700-8-48	750
φ 700	22			GM700-8-64	958
φ 700	25			GM700-8-64	958
φ 700	28			GM700-8-64	958
φ 700	32			GM700-8-64	958
φ 700	36			GM700-8-64	958
φ 700	40			GM700-8-64	958
φ 711.2	22			GM700-8-64	958
φ 711.2	25			GM700-8-64	958
φ 711.2	28			GM700-8-64	958
φ 750	16			GM750-8-48	865
φ 750	19			GM750-8-48	865
φ 750	22			GM750-8-64	1100
φ 750	25			GM750-8-64	1100
φ 750	28			GM750-8-64	1100
φ 750	32			GM750-8-64	1100
φ 750	36			GM750-8-64	1100
φ 750	40			GM750-8-64	1100
φ 762	16			GM750-8-48	865
φ 762	22			GM750-8-64	1100
φ 762	28			GM750-8-64	1100
φ 800	16			GM800-8-48	961
φ 800	19			GM800-8-64	1240
φ 800	22			GM800-8-64	1240
φ 800	25			GM800-8-64	1240
φ 800	28			GM800-8-64	1240
φ 800	32			GM800-8-64	1240
φ 800	36			GM800-8-64	1240
φ 800	40			GM800-8-64	1240
φ 812.8	19			GM800-8-64	1240
φ 812.8	22			GM800-8-64	1240
φ 812.8	25			GM800-8-64	1240
φ 850				GM850-8-64	1410
φ 900				GM900-8-64	1660
φ 950				GM950-8-64	1750
φ 1000				GM1000-8-64	1970

* 上記は組合せの一例です。上記以外の柱材質及び柱サイズの組合せも使用可能です。
「構造計算支援ソフト【ハイベース検討システム】」にて別途検討をお願いします。



- i) 耐力図 (付録参照) を用いて応力確認を行ってください。
・本表は、柱脚ヒンジ (柱脚 $M_u \leq$ 柱 M_p) を基本とした柱と柱脚の組合せの目安です。この他の組合せも可能です。
- ii) ハイベース NEO 工法の設計フロー (P.19 ~ 21) に基づき設計を行ってください。
・ルート 2 の設計の場合
回転ばねを考慮した応力計算結果による柱脚応力を、耐力図 (付録参照) を基に確認してください。
・ルート 3 の設計の場合
柱の脚部、ハイベース NEO 柱脚部の内、小さい方の終局耐力を用いて保有水平耐力の検討を行ってください。
- iii) 鋼管コンクリート構造 (CFT 構造を含む) の場合は本表に拠らず、別途検討ください。

H 形柱用 (EH 型式・GH 型式) は、表 3.7 ~ 表 3.8 に示す H 形柱に対応する。

表 3.7 H 形柱用 (EH 型式、GH 型式) 適用可能柱サイズ (柱: F=235N/mm²)

(a) H-150 × 150 ~ H-400 × 400

ハイベース NEO 型式	適用可能柱		
	シリーズ	サイズ (内法一定)	サイズ (外法一定)
EH150 × 150-4-24	150 × 150	H-150 × 150 × 7 × 10	
	175 × 175	H-175 × 175 × 7.5 × 11	
EH200 × 200-4-24	200 × 150	H-194 × 150 × 6 × 9	
	200 × 200	H-200 × 200 × 8 × 12	
		H-200 × 204 × 12 × 12	
EH250 × 250-4-24	250 × 175	H-208 × 202 × 10 × 16	
		H-244 × 175 × 7 × 11	
	250 × 250	H-244 × 252 × 11 × 11	
		H-248 × 249 × 8 × 13	
EH250 × 250-4-30	250 × 175	H-250 × 250 × 9 × 14	
		H-250 × 255 × 14 × 14	
	250 × 250	H-244 × 175 × 7 × 11	
		H-244 × 252 × 11 × 11	
EH300 × 300-4-30	300 × 200	H-248 × 249 × 8 × 13	
		H-294 × 200 × 8 × 12	
	300 × 300	H-298 × 201 × 9 × 14	
		H-294 × 302 × 12 × 12	
EH300 × 300-4-36	300 × 200	H-298 × 299 × 9 × 14	
		H-300 × 300 × 10 × 15	
	300 × 300	H-300 × 305 × 15 × 15	
		H-304 × 301 × 11 × 17	
EH350 × 250-4-30	350 × 250	H-294 × 200 × 8 × 12	
	350 × 250	H-298 × 201 × 9 × 14	
EH350 × 350-4-42	350 × 250	H-294 × 302 × 12 × 12	
		H-298 × 299 × 9 × 14	
		H-300 × 300 × 10 × 15	
	350 × 350	H-300 × 305 × 15 × 15	
		H-304 × 301 × 11 × 17	
		H-336 × 249 × 8 × 12	
EH400 × 300-4-30	400 × 200	H-340 × 250 × 9 × 14	
		H-396 × 199 × 7 × 11	H-400 × 200 × 9 × 12
	400 × 300	H-400 × 200 × 8 × 13	H-400 × 200 × 9 × 16
		H-404 × 201 × 9 × 15	H-400 × 200 × 9 × 19
EH400 × 300-4-36	400 × 200	H-400 × 200 × 9 × 22	
		H-400 × 200 × 12 × 22	
	400 × 300	H-386 × 299 × 9 × 14	
		H-390 × 300 × 10 × 16	
EH400 × 400-4-42	400 × 200	H-396 × 199 × 7 × 11	H-400 × 200 × 9 × 12
		H-400 × 200 × 8 × 13	H-400 × 200 × 9 × 16
	400 × 300	H-404 × 201 × 9 × 15	H-400 × 200 × 9 × 19
		H-386 × 299 × 9 × 14	H-400 × 200 × 9 × 22
GH400 × 400-4-56	400 × 300	H-400 × 200 × 9 × 22	
		H-400 × 200 × 12 × 22	
	400 × 400	H-386 × 299 × 9 × 14	
		H-390 × 300 × 10 × 16	
		H-388 × 402 × 15 × 15	
		H-394 × 398 × 11 × 18	
GH400 × 400-4-56	400 × 300	H-394 × 405 × 18 × 18	
		H-400 × 400 × 13 × 21	
	400 × 400	H-400 × 408 × 21 × 21	
		H-406 × 403 × 16 × 24	
		H-414 × 405 × 18 × 28	
		H-428 × 407 × 20 × 35	
		H-458 × 417 × 30 × 50	

(b) H-450 × 200 ~ H-500 × 300

ハイベース NEO 型式	適用可能柱		
	シリーズ	サイズ (内法一定)	サイズ (外法一定)
EH450 × 300-4-30	450 × 200	H-446 × 199 × 8 × 12	H-450 × 200 × 9 × 12
		H-450 × 200 × 9 × 14	H-450 × 200 × 9 × 16
		H-456 × 201 × 10 × 17	H-450 × 200 × 9 × 19
			H-450 × 200 × 9 × 22
			H-450 × 200 × 12 × 19
			H-450 × 200 × 12 × 22
	450 × 250		H-450 × 200 × 12 × 25
			H-450 × 250 × 9 × 16
			H-450 × 250 × 9 × 19
			H-450 × 250 × 9 × 22
			H-450 × 250 × 9 × 22
			H-450 × 250 × 12 × 22
450 × 300		H-434 × 299 × 10 × 15	
		H-440 × 300 × 11 × 18	
		H-446 × 302 × 13 × 21	
EH450 × 300-4-42	450 × 200	H-446 × 199 × 8 × 12	H-450 × 200 × 9 × 12
		H-450 × 200 × 9 × 14	H-450 × 200 × 9 × 16
		H-456 × 201 × 10 × 17	H-450 × 200 × 9 × 19
			H-450 × 200 × 9 × 22
			H-450 × 200 × 12 × 19
			H-450 × 200 × 12 × 22
	450 × 250		H-450 × 200 × 12 × 25
			H-450 × 250 × 9 × 16
			H-450 × 250 × 9 × 19
			H-450 × 250 × 9 × 22
			H-450 × 250 × 12 × 22
			H-450 × 250 × 12 × 25
450 × 300		H-434 × 299 × 10 × 15	
		H-440 × 300 × 11 × 18	
		H-446 × 302 × 13 × 21	
EH500 × 300-4-30	500 × 200	H-496 × 199 × 9 × 14	H-500 × 200 × 9 × 12
		H-500 × 200 × 10 × 16	H-500 × 200 × 9 × 16
		H-506 × 201 × 11 × 19	H-500 × 200 × 9 × 19
			H-500 × 200 × 9 × 22
			H-500 × 200 × 12 × 19
			H-500 × 200 × 12 × 22
	500 × 250		H-500 × 200 × 12 × 25
			H-500 × 250 × 9 × 16
			H-500 × 250 × 9 × 19
			H-500 × 250 × 9 × 22
			H-500 × 250 × 9 × 22
			H-500 × 250 × 12 × 22
500 × 300		H-482 × 300 × 11 × 15	
		H-488 × 300 × 11 × 18	
		H-494 × 302 × 13 × 21	
EH500 × 300-4-42	500 × 200	H-500 × 300 × 12 × 16	
		H-500 × 300 × 12 × 19	
		H-500 × 300 × 12 × 22	
		H-500 × 300 × 12 × 25	
		H-500 × 300 × 16 × 25	
		H-500 × 300 × 16 × 28	
	500 × 250		H-496 × 199 × 9 × 14
			H-500 × 200 × 10 × 16
			H-506 × 201 × 11 × 19
			H-500 × 200 × 9 × 12
			H-500 × 200 × 9 × 16
			H-500 × 200 × 9 × 19
500 × 300		H-500 × 200 × 9 × 22	
		H-500 × 200 × 12 × 19	
		H-500 × 200 × 12 × 22	
		H-500 × 200 × 12 × 25	
		H-500 × 200 × 12 × 28	
		H-500 × 250 × 9 × 16	
	H-500 × 250 × 9 × 19		
	H-500 × 250 × 9 × 22		
	H-500 × 250 × 12 × 22		
	H-500 × 250 × 12 × 25		
	H-500 × 250 × 12 × 28		

- * 本表の適用柱組合せは、柱とハイベースの終局耐力比 (軸力 0 のとき) が 0.45 以上となる組合せです。本表に記載以外の組合せでは、ハイベース耐力が柱耐力に比べ小さいため注意が必要です。また、本表に記載以外の組合せを使用する場合、センクシアにお問い合わせください。
- * 本表に記載のない H-700 × 200, H-700 × 250, H-800 × 250, H-900 × 250 シリーズは、GH 型式のみ対応可能です (EH 型式は適用不可)。
- * 溶接組立 H 形断面柱を使用する場合は、センクシアまでお問い合わせください。



- i) 耐力図 (付録参照) を用いて応力確認を行ってください。
 - ・本表に記載以外の組合せも可能な場合があります。センクシアにお問い合わせください。
- ii) ハイベース NEO 工法の設計フロー (P.21) に基づき設計を行ってください。
 - ・ルート 2 の設計の場合
回転ばねを考慮した応力計算結果による柱脚応力を、耐力図 (付録参照) を基に確認してください。
 - ・ルート 3 の設計の場合
柱の脚部、ハイベース NEO 柱脚部の内、小さい方の終局耐力を用いて保有水平耐力の検討を行ってください。

表 3.7 H 形柱用 (EH 型式、GH 型式) 適用可能柱サイズ (柱 : F=235N/mm²)

(c) H-600 × 200 ~ H-700 × 350

ハイベース NEO 型式	適用可能柱			
	シリーズ	サイズ (内法一定)	サイズ (外法一定)	
EH600 × 300-4-36	600 × 200	H-596 × 199 × 10 × 15	H-600 × 200 × 9 × 12	
		H-600 × 200 × 11 × 17	H-600 × 200 × 9 × 16	
		H-606 × 201 × 12 × 20	H-600 × 200 × 9 × 19	
		H-612 × 202 × 13 × 23	H-600 × 200 × 9 × 22	
			H-600 × 200 × 12 × 16	
			H-600 × 200 × 12 × 19	
			H-600 × 200 × 12 × 22	
			H-600 × 200 × 12 × 25	
			H-600 × 200 × 12 × 28	
			H-600 × 250 × 9 × 16	
			H-600 × 250 × 9 × 19	
			H-600 × 250 × 12 × 19	
	600 × 250		H-600 × 250 × 12 × 22	
			H-600 × 250 × 12 × 25	
			H-600 × 250 × 12 × 28	
			H-600 × 250 × 16 × 25	
			H-600 × 250 × 16 × 28	
		600 × 300	H-582 × 300 × 12 × 17	H-600 × 300 × 12 × 19
			H-588 × 300 × 12 × 20	H-600 × 300 × 12 × 22
			H-594 × 302 × 14 × 23	H-600 × 300 × 12 × 25
				H-600 × 300 × 12 × 28
				H-600 × 300 × 14 × 22
				H-600 × 300 × 14 × 25
		GH600 × 300-4-48	600 × 200	H-596 × 199 × 10 × 15
H-600 × 200 × 11 × 17	H-600 × 200 × 9 × 16			
H-606 × 201 × 12 × 20	H-600 × 200 × 9 × 19			
H-612 × 202 × 13 × 23	H-600 × 200 × 9 × 22			
	H-600 × 200 × 12 × 16			
	H-600 × 200 × 12 × 19			
	H-600 × 200 × 12 × 22			
	H-600 × 200 × 12 × 25			
	H-600 × 200 × 12 × 28			
	H-600 × 250 × 9 × 16			
	H-600 × 250 × 9 × 19			
	H-600 × 250 × 12 × 19			
600 × 250			H-600 × 250 × 12 × 22	
			H-600 × 250 × 12 × 25	
			H-600 × 250 × 12 × 28	
			H-600 × 250 × 16 × 25	
			H-600 × 250 × 16 × 28	
	600 × 300		H-582 × 300 × 12 × 17	H-600 × 300 × 12 × 19
			H-588 × 300 × 12 × 20	H-600 × 300 × 12 × 22
			H-594 × 302 × 14 × 23	H-600 × 300 × 12 × 25
				H-600 × 300 × 12 × 28
				H-600 × 300 × 14 × 22
				H-600 × 300 × 14 × 25
	EH700 × 300-4-42		700 × 300	H-692 × 300 × 13 × 20
H-700 × 300 × 13 × 24		H-700 × 300 × 12 × 22		
H-708 × 302 × 15 × 28		H-700 × 300 × 12 × 25		
		H-700 × 300 × 14 × 22		
		H-700 × 300 × 14 × 25		
		H-700 × 300 × 14 × 28		
		H-700 × 300 × 14 × 32		
		H-700 × 300 × 16 × 22		
		H-700 × 300 × 16 × 25		
		H-700 × 300 × 16 × 28		
		H-700 × 300 × 16 × 32		
700 × 350		H-692 × 300 × 13 × 20		H-700 × 300 × 12 × 19
		H-700 × 300 × 13 × 24	H-700 × 300 × 12 × 22	
		H-708 × 302 × 15 × 28	H-700 × 300 × 12 × 25	
			H-700 × 300 × 14 × 22	
			H-700 × 300 × 14 × 25	
			H-700 × 300 × 14 × 28	
			H-700 × 300 × 14 × 32	
			H-700 × 300 × 16 × 22	
			H-700 × 300 × 16 × 25	
			H-700 × 300 × 16 × 28	
			H-700 × 300 × 16 × 32	
		GH700 × 300-4-56	700 × 300	
				H-700 × 300 × 16 × 28
	H-700 × 300 × 16 × 32			
	H-700 × 350 × 12 × 22			
	H-700 × 350 × 12 × 25			
	H-700 × 350 × 14 × 22			
	H-700 × 350 × 14 × 25			
	H-700 × 350 × 14 × 28			
	H-700 × 350 × 14 × 32			
	H-700 × 350 × 16 × 25			
	H-700 × 350 × 16 × 28			
700 × 350				H-700 × 350 × 16 × 32
			H-700 × 350 × 16 × 36	

(d) H-800 × 300 ~ H-900 × 400

ハイベース NEO 型式	適用可能柱		
	シリーズ	サイズ (内法一定)	サイズ (外法一定)
GH800 × 300-4-42	800 × 300	H-792 × 300 × 14 × 22	H-800 × 300 × 14 × 22
		H-800 × 300 × 14 × 26	H-800 × 300 × 14 × 25
		H-808 × 302 × 16 × 30	H-800 × 300 × 14 × 28
			H-800 × 300 × 16 × 22
			H-800 × 300 × 16 × 25
			H-800 × 300 × 16 × 28
			H-800 × 300 × 16 × 32
			H-800 × 300 × 14 × 22
			H-800 × 300 × 14 × 26
			H-800 × 300 × 14 × 28
			H-800 × 300 × 14 × 25
		GH800 × 300-4-56	800 × 350
	H-800 × 300 × 16 × 25		
	H-800 × 300 × 16 × 28		
	H-800 × 300 × 16 × 32		
	H-800 × 350 × 14 × 25		
	H-800 × 350 × 14 × 28		
	H-800 × 350 × 16 × 25		
	H-800 × 350 × 16 × 28		
	H-800 × 350 × 16 × 32		
	H-800 × 350 × 16 × 36		
	H-800 × 350 × 19 × 25		
	H-800 × 350 × 19 × 28		
	H-800 × 350 × 19 × 32		
	H-800 × 350 × 19 × 36		
	H-800 × 350 × 19 × 40		
800 × 400			H-800 × 400 × 14 × 25
			H-800 × 400 × 14 × 28
			H-800 × 400 × 16 × 25
			H-800 × 400 × 16 × 28
			H-800 × 400 × 16 × 32
			H-800 × 400 × 16 × 36
			H-800 × 400 × 19 × 28
			H-800 × 400 × 19 × 32
			H-800 × 400 × 19 × 36
		H-800 × 400 × 19 × 40	
		H-900 × 300 × 16 × 19	
	GH900 × 300-4-42	900 × 300	H-890 × 299 × 15 × 23
H-900 × 300 × 16 × 28			H-900 × 300 × 16 × 25
H-912 × 302 × 18 × 34			H-900 × 300 × 16 × 28
			H-900 × 300 × 16 × 32
			H-900 × 300 × 19 × 22
			H-900 × 300 × 19 × 25
			H-900 × 300 × 19 × 28
			H-900 × 300 × 19 × 32
			H-900 × 300 × 19 × 36
			H-900 × 300 × 19 × 40
			H-900 × 300 × 16 × 19
			H-900 × 300 × 16 × 22
GH900 × 300-4-56	900 × 300		H-900 × 300 × 16 × 25
			H-900 × 300 × 16 × 28
			H-900 × 300 × 16 × 32
			H-900 × 300 × 16 × 36
			H-900 × 300 × 19 × 22
			H-900 × 300 × 19 × 25
			H-900 × 300 × 19 × 28
			H-900 × 300 × 19 × 32
			H-900 × 300 × 19 × 36
			H-900 × 300 × 19 × 40
			H-900 × 350 × 16 × 25
			H-900 × 350 × 16 × 28
	900 × 350		H-900 × 350 × 16 × 32
			H-900 × 350 × 16 × 36
			H-900 × 350 × 19 × 25
			H-900 × 350 × 19 × 28
			H-900 × 350 × 19 × 32
			H-900 × 350 × 19 × 36
			H-900 × 350 × 19 × 40
			H-900 × 400 × 16 × 25
			H-900 × 400 × 16 × 28
			H-900 × 400 × 16 × 32
			H-900 × 400 × 16 × 36
			H-900 × 400 × 19 × 28
	H-900 × 400 × 19 × 32		
	H-900 × 400 × 19 × 36		
	H-900 × 400 × 19 × 40		

* 本表の適用柱組合せは、柱とハイベースの終局耐力比 (軸力 0 のとき) が 0.45 以上となる組合せです。 本表に記載以外の組合せでは、ハイベース耐力が柱耐力に比べ小さいため注意が必要です。また、本表に記載以外の組合せを使用する場合、センクシアにお問い合わせください。

* 本表に記載の無い H-700 × 200, H-700 × 250, H-800 × 250, H-900 × 250 シリーズは、GH 型式のみ対応可能です (EH 型式は適用不可)。

* 溶接組立 H 形断面柱を使用する場合は、センクシアまでお問い合わせください。



注意

- i) 耐力図 (付録参照) を用いて応力確認を行ってください。
 - ・ 本表に記載以外の組合せも可能な場合があります。センクシアにお問い合わせください。
- ii) ハイベース NEO 工法の設計フロー (P.21) に基づき設計を行ってください。
 - ・ ルート 2 の設計の場合
回転ばねを考慮した応力計算結果による柱脚応力を、耐力図 (付録参照) を基に確認してください。
 - ・ ルート 3 の設計の場合
柱の脚部、ハイベース NEO 柱脚部の内、小さい方の終局耐力を用いて保有水平耐力の検討を行ってください。

表 3.8 H 形柱用 (EH 型式、GH 型式) 適用可能柱サイズ (柱 : F=325N/mm²)

(a) H-150 × 150 ~ H-400 × 400

ハイベース NEO 型式	適用可能柱		
	シリーズ	サイズ (内法一定)	サイズ (外法一定)
EH150 × 150-4-24	150 × 150	H-150 × 150 × 7 × 10	
EH175 × 175-4-24	175 × 175	H-175 × 175 × 7.5 × 11	
EH200 × 200-4-24	200 × 200	H-194 × 150 × 6 × 9	
		H-200 × 200 × 8 × 12	
		H-200 × 204 × 12 × 12	
EH250 × 250-4-24	250 × 250	H-208 × 202 × 10 × 16	
		H-244 × 175 × 7 × 11	
		H-244 × 252 × 11 × 11	
		H-248 × 249 × 8 × 13	
EH250 × 250-4-30	250 × 250	H-250 × 250 × 9 × 14	
		H-250 × 255 × 14 × 14	
		H-244 × 175 × 7 × 11	
		H-244 × 252 × 11 × 11	
EH300 × 300-4-30	300 × 300	H-248 × 249 × 8 × 13	
		H-294 × 200 × 8 × 12	
		H-298 × 201 × 9 × 14	
		H-294 × 302 × 12 × 12	
EH300 × 300-4-36	300 × 300	H-298 × 299 × 9 × 14	
		H-300 × 300 × 10 × 15	
		H-300 × 305 × 15 × 15	
		H-304 × 301 × 11 × 17	
EH350 × 250-4-30	350 × 250	H-294 × 200 × 8 × 12	
		H-298 × 201 × 9 × 14	
		H-294 × 302 × 12 × 12	
EH350 × 350-4-42	350 × 350	H-298 × 299 × 9 × 14	
		H-300 × 300 × 10 × 15	
		H-300 × 305 × 15 × 15	
		H-304 × 301 × 11 × 17	
		H-336 × 249 × 8 × 12	
		H-340 × 250 × 9 × 14	
EH400 × 300-4-30	400 × 300	H-336 × 249 × 8 × 12	
		H-340 × 250 × 9 × 14	
		H-396 × 199 × 7 × 11	H-400 × 200 × 9 × 12
		H-400 × 200 × 8 × 13	H-400 × 200 × 9 × 16
EH400 × 300-4-36	400 × 300	H-404 × 201 × 9 × 15	H-400 × 200 × 9 × 19
			H-400 × 200 × 9 × 22
			H-400 × 200 × 12 × 22
EH400 × 400-4-42	400 × 400	H-386 × 299 × 9 × 14	
		H-390 × 300 × 10 × 16	
		H-396 × 199 × 7 × 11	H-400 × 200 × 9 × 12
		H-400 × 200 × 8 × 13	H-400 × 200 × 9 × 16
GH400 × 400-4-56	400 × 400	H-404 × 201 × 9 × 15	H-400 × 200 × 9 × 19
			H-400 × 200 × 9 × 22
			H-400 × 200 × 12 × 22

(b) H-450 × 200 ~ H-500 × 300

ハイベース NEO 型式	適用可能柱		
	シリーズ	サイズ (内法一定)	サイズ (外法一定)
EH450 × 300-4-30	450 × 200	H-446 × 199 × 8 × 12	H-450 × 200 × 9 × 12
		H-450 × 200 × 9 × 14	H-450 × 200 × 9 × 16
		H-456 × 201 × 10 × 17	H-450 × 200 × 9 × 19
			H-450 × 200 × 9 × 22
			H-450 × 200 × 12 × 19
	450 × 250		H-450 × 200 × 12 × 25
			H-450 × 250 × 9 × 16
			H-450 × 250 × 9 × 19
			H-450 × 250 × 9 × 22
			H-450 × 250 × 12 × 22
450 × 300	H-434 × 299 × 10 × 15		
	H-440 × 300 × 11 × 18		
EH450 × 300-4-42	450 × 200	H-446 × 199 × 8 × 12	H-450 × 200 × 9 × 12
		H-450 × 200 × 9 × 14	H-450 × 200 × 9 × 16
		H-456 × 201 × 10 × 17	H-450 × 200 × 9 × 19
			H-450 × 200 × 9 × 22
			H-450 × 200 × 12 × 19
	450 × 250		H-450 × 200 × 12 × 25
			H-450 × 250 × 9 × 16
			H-450 × 250 × 9 × 19
			H-450 × 250 × 9 × 22
			H-450 × 250 × 12 × 22
450 × 300	H-434 × 299 × 10 × 15		
	H-440 × 300 × 11 × 18		
	H-446 × 302 × 13 × 21		
EH500 × 300-4-30	500 × 200	H-496 × 199 × 9 × 14	H-500 × 200 × 9 × 12
		H-500 × 200 × 10 × 16	H-500 × 200 × 9 × 16
		H-506 × 201 × 11 × 19	H-500 × 200 × 9 × 19
			H-500 × 200 × 9 × 22
			H-500 × 200 × 12 × 19
	500 × 250		H-500 × 200 × 12 × 25
			H-500 × 250 × 9 × 16
			H-500 × 250 × 9 × 19
			H-500 × 250 × 9 × 22
			H-500 × 250 × 12 × 22
500 × 300	H-482 × 300 × 11 × 15	H-500 × 300 × 12 × 16	
	H-488 × 300 × 11 × 18		
EH500 × 300-4-42	500 × 200	H-496 × 199 × 9 × 14	H-500 × 200 × 9 × 12
		H-500 × 200 × 10 × 16	H-500 × 200 × 9 × 16
		H-506 × 201 × 11 × 19	H-500 × 200 × 9 × 19
			H-500 × 200 × 9 × 22
			H-500 × 200 × 12 × 19
	500 × 250		H-500 × 200 × 12 × 25
			H-500 × 250 × 9 × 16
			H-500 × 250 × 9 × 19
			H-500 × 250 × 9 × 22
			H-500 × 250 × 12 × 22
500 × 300	H-482 × 300 × 11 × 15	H-500 × 300 × 12 × 16	
	H-488 × 300 × 11 × 18	H-500 × 300 × 12 × 19	
	H-494 × 302 × 13 × 21	H-500 × 300 × 12 × 22	
		H-500 × 300 × 12 × 25	
		H-500 × 300 × 16 × 22	

- * 本表の適用柱組合せは、柱とハイベースの終局耐力比 (軸力 0 のとき) が 0.45 以上となる組合せです。本表に記載以外の組合せでは、ハイベース耐力が柱耐力に比べ小さいため注意が必要です。また、本表に記載以外の組合せを使用する場合、センクシアにお問い合わせください。
- * 本表に記載のない H-700 × 200, H-700 × 250, H-800 × 250, H-900 × 250 シリーズは、GH 型式のみ対応可能です (EH 型式は適用不可)。
- * 溶接組立 H 形断面柱を使用する場合は、センクシアまでお問い合わせください。



注意

- i) 耐力図 (付録参照) を用いて応力確認を行ってください。
 - ・本表に記載以外の組合せも可能な場合があります。センクシアにお問い合わせください。
- ii) ハイベース NEO 工法の設計フロー (P.21) に基づき設計を行ってください。
 - ・ルート 2 の設計の場合
回転ばねを考慮した応力計算結果による柱脚応力を、耐力図 (付録参照) を基に確認してください。
 - ・ルート 3 の設計の場合
柱の脚部、ハイベース NEO 柱脚部の内、小さい方の終局耐力を用いて保有水平耐力の検討を行ってください。

表 3.8 H 形柱用 (EH 型式、GH 型式) 適用可能柱サイズ (柱 : F=325N/mm²)

(c) H-600 × 200 ~ H-700 × 350

ハイベース NEO 型式	適用可能柱		
	シリーズ	サイズ (内法一定)	サイズ (外法一定)
EH600 × 300-4-36	600 × 200	H-596 × 199 × 10 × 15	H-600 × 200 × 9 × 12
		H-600 × 200 × 11 × 17	H-600 × 200 × 9 × 16
		H-606 × 201 × 12 × 20	H-600 × 200 × 9 × 19
		H-612 × 202 × 13 × 23	H-600 × 200 × 9 × 22
			H-600 × 200 × 12 × 16
			H-600 × 200 × 12 × 19
			H-600 × 200 × 12 × 22
			H-600 × 200 × 12 × 25
			H-600 × 200 × 12 × 28
			H-600 × 250 × 9 × 16
			H-600 × 250 × 9 × 19
			H-600 × 250 × 12 × 19
	600 × 250		H-600 × 250 × 12 × 22
			H-600 × 250 × 12 × 25
			H-600 × 250 × 12 × 28
			H-600 × 250 × 12 × 25
			H-600 × 250 × 12 × 28
			H-600 × 250 × 16 × 25
			H-600 × 250 × 16 × 28
			H-600 × 250 × 12 × 19
			H-600 × 250 × 12 × 22
			H-600 × 250 × 12 × 25
			H-600 × 250 × 12 × 28
		600 × 300	H-582 × 300 × 12 × 17
H-588 × 300 × 12 × 20	H-600 × 300 × 12 × 22		
H-594 × 302 × 14 × 23	H-600 × 300 × 12 × 25		
	H-600 × 300 × 14 × 22		
	H-600 × 300 × 14 × 25		
	H-600 × 300 × 14 × 25		
GH600 × 300-4-48	600 × 200	H-596 × 199 × 10 × 15	H-600 × 200 × 9 × 12
		H-600 × 200 × 11 × 17	H-600 × 200 × 9 × 16
		H-606 × 201 × 12 × 20	H-600 × 200 × 9 × 19
		H-612 × 202 × 13 × 23	H-600 × 200 × 9 × 22
			H-600 × 200 × 12 × 16
			H-600 × 200 × 12 × 19
			H-600 × 200 × 12 × 22
			H-600 × 200 × 12 × 25
			H-600 × 200 × 12 × 28
			H-600 × 250 × 9 × 16
			H-600 × 250 × 9 × 19
			H-600 × 250 × 12 × 19
	600 × 250		H-600 × 250 × 12 × 22
			H-600 × 250 × 12 × 25
			H-600 × 250 × 12 × 28
			H-600 × 250 × 16 × 25
			H-600 × 250 × 16 × 28
			H-600 × 250 × 16 × 32
			H-600 × 300 × 12 × 19
			H-600 × 300 × 12 × 22
			H-600 × 300 × 12 × 25
			H-600 × 300 × 12 × 28
			H-600 × 300 × 14 × 22
		600 × 300	H-582 × 300 × 12 × 17
H-588 × 300 × 12 × 20	H-600 × 300 × 12 × 22		
H-594 × 302 × 14 × 23	H-600 × 300 × 12 × 25		
	H-600 × 300 × 14 × 22		
	H-600 × 300 × 14 × 25		
	H-600 × 300 × 14 × 28		
EH700 × 300-4-42	700 × 300	H-692 × 300 × 13 × 20	H-700 × 300 × 12 × 19
		H-700 × 300 × 13 × 24	H-700 × 300 × 12 × 22
		H-708 × 302 × 15 × 28	H-700 × 300 × 12 × 25
			H-700 × 300 × 14 × 22
			H-700 × 300 × 14 × 25
			H-700 × 300 × 14 × 28
		H-700 × 300 × 14 × 32	
		H-700 × 300 × 16 × 22	
		H-700 × 300 × 16 × 25	
		H-700 × 300 × 16 × 28	
		H-700 × 300 × 16 × 32	
		H-700 × 300 × 16 × 32	
GH700 × 300-4-56	700 × 300	H-692 × 300 × 13 × 20	H-700 × 300 × 12 × 19
		H-700 × 300 × 13 × 24	H-700 × 300 × 12 × 22
		H-708 × 302 × 15 × 28	H-700 × 300 × 12 × 25
			H-700 × 300 × 14 × 22
			H-700 × 300 × 14 × 25
			H-700 × 300 × 14 × 28
			H-700 × 300 × 14 × 32
			H-700 × 300 × 16 × 22
			H-700 × 300 × 16 × 25
			H-700 × 300 × 16 × 28
			H-700 × 300 × 16 × 32
			H-700 × 300 × 16 × 32
	700 × 350		H-700 × 350 × 12 × 22
			H-700 × 350 × 12 × 25
			H-700 × 350 × 14 × 22
			H-700 × 350 × 14 × 25
			H-700 × 350 × 14 × 28
			H-700 × 350 × 14 × 32
			H-700 × 350 × 16 × 25
			H-700 × 350 × 16 × 28
			H-700 × 350 × 16 × 32
			H-700 × 350 × 16 × 32
			H-700 × 350 × 16 × 36

(d) H-800 × 300 ~ H-900 × 400

ハイベース NEO 型式	適用可能柱			
	シリーズ	サイズ (内法一定)	サイズ (外法一定)	
GH800 × 300-4-42	800 × 300	H-792 × 300 × 14 × 22	H-800 × 300 × 14 × 22	
		H-800 × 300 × 14 × 26	H-800 × 300 × 14 × 25	
			H-800 × 300 × 14 × 28	
			H-800 × 300 × 16 × 22	
			H-800 × 300 × 16 × 25	
			H-800 × 300 × 16 × 28	
	800 × 300		H-792 × 300 × 14 × 22	H-800 × 300 × 14 × 22
			H-800 × 300 × 14 × 26	H-800 × 300 × 14 × 25
			H-808 × 302 × 16 × 30	H-800 × 300 × 14 × 28
				H-800 × 300 × 16 × 22
				H-800 × 300 × 16 × 25
				H-800 × 300 × 16 × 28
800 × 350			H-800 × 250 × 9 × 16	H-800 × 250 × 9 × 19
			H-800 × 250 × 12 × 19	H-800 × 250 × 12 × 22
			H-800 × 250 × 12 × 25	H-800 × 250 × 12 × 28
			H-800 × 250 × 12 × 25	H-800 × 250 × 12 × 28
			H-800 × 250 × 16 × 25	H-800 × 250 × 16 × 28
			H-800 × 250 × 16 × 28	H-800 × 250 × 16 × 28
		H-800 × 300 × 12 × 19	H-800 × 300 × 12 × 22	
		H-800 × 300 × 12 × 25	H-800 × 300 × 12 × 28	
		H-800 × 300 × 14 × 22	H-800 × 300 × 14 × 25	
		H-800 × 300 × 14 × 25	H-800 × 300 × 14 × 28	
		H-800 × 300 × 14 × 28	H-800 × 300 × 14 × 28	
	GH800 × 300-4-56	800 × 400		H-800 × 350 × 14 × 25
			H-800 × 350 × 14 × 28	
			H-800 × 350 × 16 × 25	
			H-800 × 350 × 16 × 28	
			H-800 × 350 × 16 × 32	
			H-800 × 350 × 16 × 32	
			H-800 × 350 × 16 × 36	
			H-800 × 350 × 19 × 25	
			H-800 × 350 × 19 × 28	
			H-800 × 350 × 19 × 32	
			H-800 × 350 × 19 × 32	
			H-800 × 350 × 19 × 36	
900 × 300		H-890 × 299 × 15 × 23	H-900 × 300 × 16 × 19	
		H-900 × 300 × 16 × 28	H-900 × 300 × 16 × 22	
			H-900 × 300 × 16 × 25	
			H-900 × 300 × 16 × 28	
			H-900 × 300 × 16 × 32	
			H-900 × 300 × 19 × 22	
			H-900 × 300 × 19 × 25	
			H-900 × 300 × 19 × 28	
			H-900 × 300 × 19 × 32	
			H-900 × 300 × 19 × 32	
			H-900 × 300 × 19 × 36	
			H-900 × 300 × 19 × 36	
900 × 350		H-890 × 299 × 15 × 23	H-900 × 300 × 16 × 19	
		H-900 × 300 × 16 × 28	H-900 × 300 × 16 × 22	
		H-912 × 302 × 18 × 34	H-900 × 300 × 16 × 25	
			H-900 × 300 × 16 × 28	
			H-900 × 300 × 16 × 32	
			H-900 × 300 × 19 × 22	
			H-900 × 300 × 19 × 25	
			H-900 × 300 × 19 × 28	
			H-900 × 300 × 19 × 32	
			H-900 × 300 × 19 × 32	
			H-900 × 300 × 19 × 36	
	900 × 400		H-900 × 350 × 16 × 28	H-900 × 350 × 16 × 28
			H-900 × 350 × 16 × 27	
			H-900 × 350 × 19 × 25	
			H-900 × 350 × 19 × 28	
			H-900 × 350 × 19 × 32	
			H-900 × 350 × 19 × 32	
			H-900 × 350 × 19 × 36	
			H-900 × 350 × 19 × 40	
			H-900 × 400 × 16 × 25	
			H-900 × 400 × 16 × 28	
			H-900 × 400 × 16 × 32	
			H-900 × 400 × 19 × 28	

* 本表の適用柱組合せは、柱とハイベースの終局耐力比 (軸力 0 のとき) が 0.45 以上となる組合せです。本表に記載以外の組合せでは、ハイベース耐力が柱耐力に比べ小さいため注意が必要です。また、本表に記載以外の組合せを使用する場合、センクシアにお問い合わせください。

* 本表に記載の無い H-700×200, H-700×250, H-800×250, H-900×250 シリーズは、GH 型式のみ対応可能です (EH 型式は適用不可)。

* 溶接組立 H 形断面柱を使用する場合は、センクシアまでお問い合わせください。



- i) 耐力図 (付録参照) を用いて応力確認を行ってください。
 - ・本表に記載以外の組合せも可能な場合があります。センクシアにお問い合わせください。
- ii) ハイベース NEO 工法の設計フロー (P.21) に基づき設計を行ってください。
 - ・ルート 2 の設計の場合
回転ばねを考慮した応力計算結果による柱脚応力を、耐力図 (付録参照) を基に確認してください。
 - ・ルート 3 の設計の場合
柱の脚部、ハイベース NEO 柱脚部の内、小さい方の終局耐力を用いて保有水平耐力の検討を行ってください。

3.4 曲げ耐力の検討方法

柱脚部の耐力がハイベース NEO またはスーパーハイベースの耐力により決定される場合の設計例を示す（ハイベース NEO 型式：GB350-8-30 の場合）。

短期許容耐力時

曲げモーメント、軸力の数値を耐力図中にプロットし、柱脚の耐力曲線に包括されるかを確認。

型式：GB350-8-30

● 計算応力 ≤ ハイベース NEO 耐力 ∴ OK

▲ 計算応力 ≥ ハイベース NEO 耐力 ∴ NG

⇒ NG の場合、OK となる型式（例では GB350-8-36）を再度選択する。

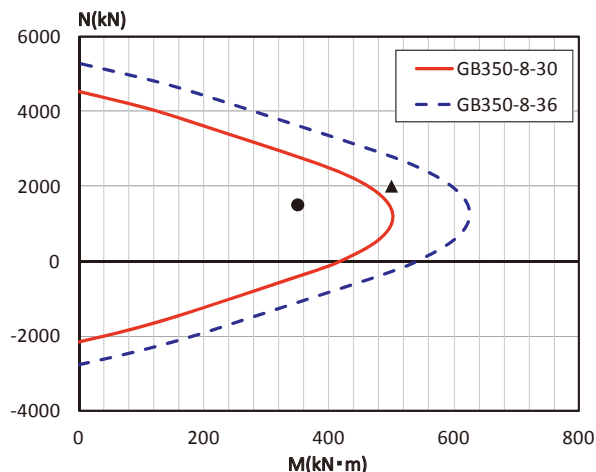


図 3.5 短期許容時耐力図

終局耐力時

設計軸力とハイベース NEO の耐力曲線の交点の数値で保有水平耐力の検討を行う。

■ 設計軸力 800kN の場合、耐力曲線と交点の曲げ耐力 636kN・m で保有水平耐力を検討。

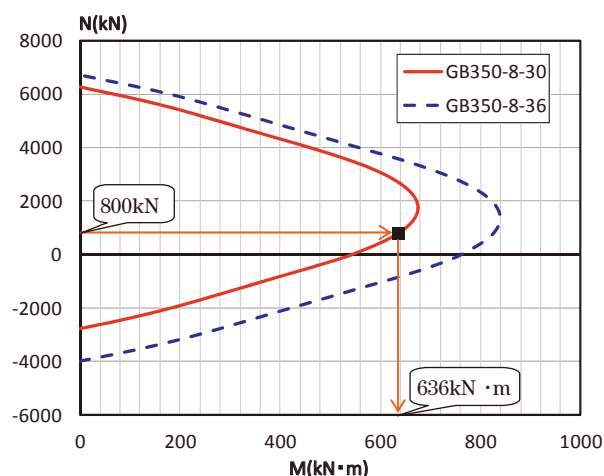


図 3.6 終局時耐力図

各型式の耐力図（コンクリート設計基準強度 24N/mm^2 の場合）は P.46 ～ P.233 を参照ください。

* 上記検討は「構造計算支援ソフト【ハイベース検討システム】」により検討が可能です。ソフトはセンクシアホームページ (<https://www.senqcia.co.jp/>) よりダウンロード可能です。
 * コンクリート設計基準強度が 24N/mm^2 以外の場合は、本設計ハンドブックに記載の耐力図とは異なります。この場合は、「構造計算支援ソフト【ハイベース検討システム】」にてご確認ください。

3.5 せん断耐力の検討方法

ハイベース NEO 工法およびスーパーハイベース工法偏心タイプでは、柱脚部に作用するせん断力を主に次の方法を用いて基礎（基礎ばり）に伝達する。

(ア)ベースプレート底面とコンクリート（無収縮モルタル）の摩擦抵抗により伝達する方法（ Q_{a0} , Q_{u0} ）

(イ)ベースプレートの特殊底面形状の効果により伝達する方法（ aQ_a , aQ_u ）

(ウ)座金を全周隅肉溶接でベースプレートに固定しアンカーボルトを介して伝達する方法（ Q_{a1} , Q_{u1} ）

(エ)柱脚部を埋め込み、コンクリートスラブの支圧抵抗に期待する方法（ Q_{a2} , Q_{u2} ）

ハイベース NEO 工法は、ベースプレート底面の特殊形状によるせん断伝達機構を有する。そのため、引抜軸力が大きい等の理由でベースプレート底面の摩擦抵抗が消失する場合も、せん断耐力を保持する（基礎柱形コンクリートの割裂強度を上限としている）。

検討手順は、まず(ア)および(イ)の方法で検討し、せん断耐力が不足する場合は(ウ)や(エ)の方法で検討を行う。(ウ)の方法は、せん断力の作用方向前方に基礎ばり等の基礎柱形を拘束する部材が存在している場合に検討が可能である。

エコタイプは柱脚部をコンクリートスラブへ埋め込みすることが前提であるため、(イ)の方法に被覆コンクリート部のパンチングによるせん断抵抗を考慮している。なお、スーパーハイベース工法偏心タイプでは、(イ)の方法を用いることはできない。また、エコタイプでは、(ウ)の方法を用いることはできない。

許容せん断耐力（ Q_a ）は (3.1) 式で、終局せん断耐力（ Q_u ）は (3.2) 式で求める。

$$Q_a = \max(Q_{a0}, aQ_a, Q_{a1}) + Q_{a2} \quad \dots (3.1)$$

$$Q_u = \max(Q_{u0}, aQ_u, Q_{u1}) + Q_{u2} \quad \dots (3.2)$$

ここに、

Q_a : 柱脚部の許容せん断耐力 (kN)

Q_u : 柱脚部の終局せん断耐力 (kN)

Q_{a0} : ベースプレート底面の摩擦抵抗による許容せん断耐力 (kN)

Q_{u0} : ベースプレート底面の摩擦抵抗による終局せん断耐力 (kN)

aQ_a : 特殊底面形状の効果을考慮したハイベースNEOの許容せん断耐力 (kN) (エコタイプ、Gタイプおよび高強度柱適用タイプのみ)
((エ)のコンクリートスラブの支圧抵抗による許容せん断耐力を累加する場合は考慮しない。)

aQ_u : 特殊底面形状の効果을考慮したハイベースNEOの終局せん断耐力 (kN) (エコタイプ、Gタイプおよび高強度柱適用タイプのみ)
((エ)のコンクリートスラブの支圧抵抗による終局せん断耐力を累加する場合は考慮しない。)

Q_{a1} : 座金溶接を行うアンカーボルトの許容せん断耐力 (kN) (Gタイプおよび偏心タイプのみ)

Q_{u1} : 座金溶接を行うアンカーボルトの終局せん断耐力 (kN) (Gタイプおよび偏心タイプのみ)

Q_{a2} : コンクリートスラブの支圧抵抗による許容せん断耐力 (kN)

Q_{u2} : コンクリートスラブの支圧抵抗による終局せん断耐力 (kN)

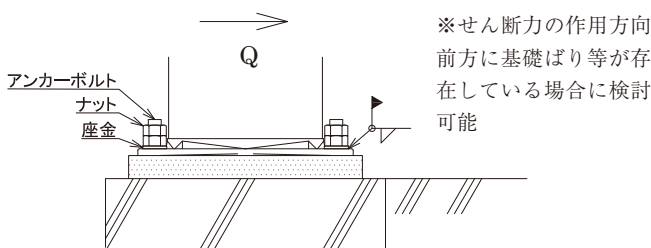


図 3.7 座金溶接によるアンカーボルトのせん断耐力
(3.5(ウ)の方法)

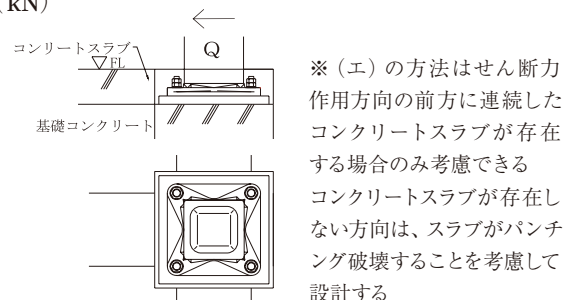


図 3.8 コンクリートスラブの支圧抵抗によるせん断耐力
(3.5(エ)の方法)

上記検討は「構造計算支援ソフト【ハイベース検討システム】」により検討が可能です。ソフトはセンクシアホームページ (<https://www.senqcia.co.jp/>) よりダウンロードできます。

3.5.1 ハイベース NEO 工法のせん断耐力 ((ア)、(イ)および(ウ)の方法)

表 3.9 許容せん断耐力

	N' の範囲	Q _{a0} (ア)	aQ _a (イ)	Q _{a1} : 座金をハイベースに全周隅肉溶接した場合 (ウ) (Gタイプのみ)
③	$N_a \geq N' > p_c \cdot N_a$	$Q_{a0} = 0.4N$	表 3.12 ~3.14 参照	$Q_{a1} = n \times \beta \cdot bQ_a$
②	$p_c \cdot N_a \geq N' > p_c \cdot N_a - n/2 \cdot T_a'$	$Q_{a0} = 0.4 \frac{M}{M_a'} \cdot p_c \cdot N_a$		$Q_{a1} = n/2 \times \beta \cdot bQ_a$
①	$p_c \cdot N_a - n/2 \cdot T_a' \geq N' > -n/2 \cdot T_a'$	$Q_{a0} = 0.4 \frac{M}{M_a'} (N' + n/2 \cdot T_a')$		$Q_{a1} = n/2 \times \beta \cdot bQ_a$
④	$-n/2 \cdot T_a' \geq N' \geq -n \cdot T_a'$	$Q_{a0} = 0$		$Q_{a1} = n/2 \times bQ_a \times \min \left(\beta, \sqrt{1 - \left(\frac{M}{M_a'} \cdot \frac{-n/2 \cdot T_a' - N'}{n/2 \cdot T_a'} \right)^2} \right)$

※M=0の場合は $\frac{M}{M_a'}$ を $\frac{N}{N'}$ と読み換える

表 3.10 終局せん断耐力

	N の範囲	Q _{u0} (ア)	aQ _u (イ)	Q _{u1} : 座金をハイベースに全周隅肉溶接した場合 (ウ) (Gタイプのみ)
③	$N_u \geq N > p_c \cdot N_u$	$Q_{u0} = 0.5N$	表 3.12 ~3.14 参照	$Q_{u1} = n \times \beta \cdot bQ_u$
②	$p_c \cdot N_u \geq N > p_c \cdot N_u - n/2 \cdot T_u$	$Q_{u0} = 0.5 \cdot p_c \cdot N_u$		$Q_{u1} = n/2 \times bQ_u \times \left\{ \beta + \min \left(\beta, \sqrt{1 - \left(\frac{p_c \cdot N_u - N}{n/2 \cdot T_u} \right)^2} \right) \right\}$
①	$p_c \cdot N_u - n/2 \cdot T_u \geq N > -n/2 \cdot T_u$	$Q_{u0} = 0.5(N + n/2 \cdot T_u)$		$Q_{u1} = n/2 \times \beta \cdot bQ_u$
④	$-n/2 \cdot T_u \geq N \geq -n \cdot T_u$	$Q_{u0} = 0$		$Q_{u1} = n/2 \times bQ_u \times \min \left(\beta, \sqrt{1 - \left(\frac{-n/2 \cdot T_u - N}{n/2 \cdot T_u} \right)^2} \right)$

※保有水平耐力時の柱脚部曲げモーメント M が M_u に満たない場合は M/M_u' を考慮してせん断耐力を算定する (表 3.9 において M_a' , N_a , T_a' を M_u' , N_u , T_u に、0.4 を 0.5 に置換えて算定)

・EB,GB,EM,GM 型式の場合

$$N_a = 1.2 \cdot A \cdot f_c' / 1000 \text{ (kN)}$$

$$N_u = 1.02 \cdot A \cdot F_c / 1000 \text{ (kN)}$$

$$f_c' = \min (\alpha_c \cdot F_c, \alpha_s \cdot \gamma)$$

・EH,GH 型式の場合

$$N_a = \alpha_s \cdot 0.75 \cdot 0.9 \cdot A \cdot F_c / 1000 \text{ (kN)}$$

$$N_u = 0.9 \cdot A \cdot F_c / 1000 \text{ (kN)}$$

$$p_c = \frac{D + 2d_t}{2D} \text{ (表 3.12 ~ 3.14 参照)}$$

N_a : 柱脚部の許容圧縮耐力 (kN) N_u : 柱脚部の終局圧縮耐力 (kN) A : ベースプレート底面積 (mm²)

γ : ベースプレート圧縮降伏耐力を考慮した設計強度 (N/mm², 表 3.12 ~ 3.13 参照)

d_t : ベースプレート中心から引張側アンカーボルト群図心位置までの距離 (mm)

D : ベースプレート外形寸法 (mm, 2.2 節参照) n : アンカーボルト全本数

α_c : コンクリート許容耐力を求めるときの係数 (長期 = 1/3、短期 = 2/3) F_c : コンクリート設計基準強度 (N/mm²)

α_s : ベースプレート許容耐力を求めるときの係数 (長期 = 2/3、短期 = 1.0)

N, M : 柱脚部の軸力、曲げモーメント (kN または kN・m)

N', M_a', M_u' : 原点と (M, N) を結ぶ直線と耐力曲線の交点座標 (kN または kN・m, 図 3.9 参照)

T_a', T_u' : アンカーボルト 1 本の許容または終局引張耐力 (kN, 表 3.11 ~ 3.14 参照)

aQ_a, aQ_u : ベースプレート底面のせん断伝達機構による許容または終局せん断耐力 (kN, 表 3.12 ~ 3.14 参照)

β : ハイベースとアンカーボルトの応力伝達係数 (表 3.11 参照)

bQ_a, bQ_u : アンカーボルト 1 本当りの許容または終局せん断耐力 (kN, 表 3.11 参照)

表 3.11 アンカーボルトの諸耐力等

ねじ の呼び	T _u (kN)	bQ _a (kN)		bQ _u (kN)	β
		長期	短期		
M24	221.6	63.98	95.98	95.98	0.90
M30	346.3	99.93	149.9	149.9	0.70
M36	498.7	143.9	215.9	215.9	0.60
M42	678.8	195.9	293.9	293.9	0.75
M48	886.6	255.9	383.9	383.9	0.65
M56	1206	348.3	522.5	522.5	0.55
M64	1576	455.0	682.5	682.5	0.65
M72	1995	575.9	863.8	863.8	0.60

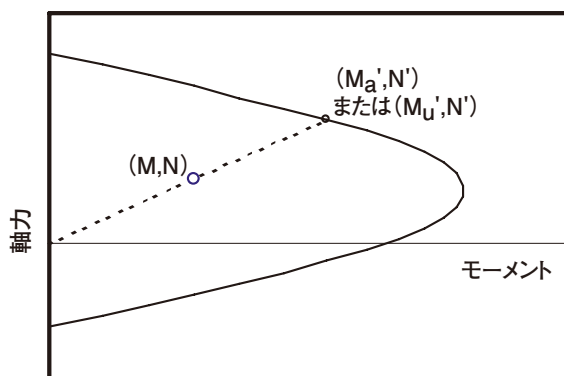


図 3.9 N', M_a', M_u' の算定方法

表3.12 EB型式、GB型式およびKB型式の pC , γ , Ta' , aQa , aQu 一覧

型式	pC	γ (N/mm^2)	Ta' (kN)		aQa (kN) (γ)		aQu (kN) (γ)
			長期	短期	長期	短期	
EB150-4-24	0.862	13.29	91.55	137.3	69.1	117.5	165.9
EB175-4-24	0.871	14.29	94.39	141.5	70.4	119.2	168.0
EB200-4-24	0.882	13.29	92.01	138.0	73.3	123.7	174.2
EB200-4-30	0.875	16.67	143.7	215.5	73.5	125.0	176.5
EB200-4-36	0.875	26.04	233.8	350.7	75.4	128.7	182.1
EB250-4-24	0.897	13.29	92.80	139.2	77.5	130.0	182.5
EB250-4-30	0.890	16.67	143.7	215.5	81.0	136.6	192.2
EB250-4-36	0.890	26.04	227.4	341.1	82.9	140.4	197.9
EB250-8-30	0.806	16.67	151.4	227.0	115.4	189.5	263.5
EB300-4-30	0.902	16.67	146.8	220.2	85.1	142.8	200.5
EB300-4-36	0.902	26.04	230.6	345.9	87.0	146.6	206.2
EB300-8-30	0.825	13.50	147.2	220.7	126.0	205.8	285.6
EB300-8-36	0.814	18.29	201.6	302.4	136.4	222.9	309.4
EB350-4-30	0.912	16.67	146.8	220.2	89.3	149.1	208.9
EB350-8-30	0.841	13.50	171.8	257.7	132.6	215.7	298.8
EB350-8-36	0.830	15.12	194.4	291.6	143.4	233.5	323.5
EB350-8-42	0.814	16.67	258.5	387.7	161.7	263.4	365.0
GB350-4-42	0.900	13.23	309.5	464.2	66.7	100.0	133.4
GB350-4-48	0.890	13.14	407.9	611.9	71.6	107.4	143.2
GB350-8-30	0.838	12.92	180.4	270.5	97.6	146.5	195.3
GB350-8-36	0.830	14.16	231.2	346.7	110.4	165.7	220.9
GB350-8-42	0.814	13.77	324.7	487.0	120.1	180.2	240.3
EB400-8-30	0.854	13.50	182.4	273.6	139.2	225.6	312.0
EB400-8-36	0.844	15.12	222.1	333.1	150.5	244.0	337.6
EB400-8-42	0.828	16.67	295.4	443.0	169.3	274.8	380.2
GB400-4-42	0.908	13.53	318.6	477.8	71.1	106.7	142.3
GB400-4-48	0.898	13.39	408.9	613.3	76.2	114.3	152.4
GB400-8-36	0.844	13.62	239.7	359.4	117.6	176.5	235.3
GB400-8-42	0.828	13.31	328.0	491.9	127.7	191.6	255.5
GB400-8-48	0.813	13.22	417.0	625.5	142.3	213.4	284.6
EB450-8-36	0.856	18.29	266.0	399.0	157.5	254.6	351.6
EB450-8-42	0.841	16.67	332.3	498.4	176.9	286.2	395.5
GB450-4-42	0.915	13.53	317.5	476.2	75.6	113.4	151.2
GB450-4-48	0.906	13.39	412.2	618.3	80.8	121.2	161.6
GB450-8-36	0.856	13.62	236.7	355.1	124.8	187.2	249.7
GB450-8-42	0.841	13.31	332.0	497.9	135.3	203.0	270.7
GB450-8-48	0.825	13.22	412.7	619.0	150.5	225.7	301.0
EB500-8-36	0.866	18.29	266.0	399.0	164.5	265.1	365.7
EB500-8-42	0.851	16.67	362.0	543.0	184.5	297.6	410.7
EB500-12-42	0.856	26.04	315.7	473.4	200.7	321.9	443.0
GB500-4-42	0.921	13.53	314.2	471.3	80.0	120.1	160.1
GB500-4-48	0.912	13.39	412.2	618.3	89.0	133.5	178.0
GB500-8-36	0.866	12.68	246.1	369.0	132.0	198.0	264.0
GB500-8-42	0.851	13.98	333.8	500.6	142.9	214.4	285.9
GB500-8-48	0.837	13.77	423.3	634.8	163.1	244.7	326.2
GB500-8-64	0.818	13.82	743.8	1115	194.0	291.0	388.0
GB500-12-48	0.838	13.77	478.8	718.2	185.6	278.4	371.2
GB500-12-56	0.829	14.03	659.7	989.6	205.8	308.7	411.6
EB550-8-42	0.863	15.36	362.0	543.0	194.6	313.2	431.8
EB550-12-42	0.865	26.04	332.7	499.0	209.2	334.6	460.0
GB550-4-48	0.918	13.39	410.3	615.4	93.7	140.6	187.5
GB550-4-56	0.915	13.16	551.5	827.3	99.5	149.3	199.0
GB550-8-36	0.875	11.84	251.4	377.0	139.2	208.8	278.4
GB550-8-42	0.861	12.51	345.3	518.0	150.5	225.8	301.1
GB550-8-48	0.846	13.77	442.9	664.3	171.4	257.1	342.9
GB550-8-64	0.828	13.82	741.2	1111	203.3	305.0	406.6
GB550-12-48	0.847	13.77	478.8	718.2	195.1	292.6	390.2
GB550-12-56	0.839	14.03	659.7	989.6	216.0	324.0	432.0
GB600-8-42	0.869	12.76	362.0	543.0	158.2	237.3	316.4
GB600-8-48	0.855	13.38	448.2	672.2	184.5	276.8	369.1
GB600-8-64	0.839	13.60	739.4	1109	219.7	329.6	439.4
GB600-12-48	0.856	13.38	478.8	718.2	209.6	314.4	419.2
GB600-12-56	0.848	14.25	659.7	989.6	226.1	339.2	452.3
GB600-12-64	0.833	14.52	872.0	1308	251.9	377.9	503.8
GB650-8-42	0.876	12.04	362.0	543.0	165.8	248.7	331.6
GB650-8-48	0.863	12.76	461.1	691.6	193.0	289.5	386.0
GB650-8-56	0.854	13.72	575.3	862.9	206.4	309.6	412.8
GB650-8-64	0.843	13.92	755.1	1132	225.4	338.1	450.8
GB650-8-72	0.836	12.76	925.7	1388	250.6	375.9	501.2
GB650-12-56	0.856	14.25	659.7	989.6	236.3	354.5	472.7
GB650-12-64	0.842	14.52	872.0	1308	268.6	402.9	537.2
GB700-8-42	0.883	10.67	350.8	526.1	173.4	260.1	346.8
GB700-8-48	0.870	12.16	471.1	706.7	201.5	302.2	403.0
GB700-8-56	0.861	13.72	593.1	889.6	220.5	330.8	441.1
GB700-8-64	0.852	12.04	750.7	1126	242.2	363.4	484.5
GB700-8-72	0.843	13.69	934.6	1401	266.5	399.8	533.1
GB700-12-56	0.863	14.25	659.7	989.6	252.1	378.1	504.2
GB700-12-64	0.849	14.52	872.0	1308	285.6	428.5	571.3
GB750-8-48	0.876	11.00	454.9	682.2	209.9	314.9	419.9
GB750-12-48	0.877	13.38	478.8	718.2	238.4	357.6	476.8
GB750-12-56	0.869	14.25	659.7	989.6	268.1	402.2	536.3
GB750-12-64	0.856	14.52	872.0	1308	353.5	530.3	707.1
GB750-12-72	0.848	14.62	1117	1675	434.8	652.2	869.6
GB800-8-56	0.874	12.63	594.4	891.6	249.9	374.9	499.9
GB800-12-56	0.875	14.25	659.7	989.6	284.6	426.9	569.2
GB800-12-64	0.862	14.52	872.0	1308	400.3	600.5	800.7
GB800-12-72	0.855	14.62	1117	1675	486.7	730.1	973.5
GB850-12-56	0.881	14.25	659.7	989.6	301.3	452.0	602.7
GB850-12-64	0.868	14.52	872.0	1308	413.7	620.5	827.4
GB850-12-72	0.861	14.62	1117	1675	582.6	873.9	1165.2
GB900-12-56	0.886	14.25	659.7	989.6	318.4	477.7	636.9
GB900-12-64	0.873	14.52	872.0	1308	502.5	753.8	1005.1
GB900-12-72	0.866	14.62	1117	1675	599.2	898.9	1198.5
GB950-12-56	0.890	14.25	640.6	960.9	335.9	503.8	671.8
GB950-12-64	0.878	12.52	852.8	1279	557.9	836.9	1115.9
GB950-12-72	0.871	14.62	1117	1675	615.9	923.8	1231.8
GB1000-12-56	0.894	14.25	593.8	890.6	353.7	530.5	707.4
GB1000-12-64	0.882	13.92	843.2	1264	537.2	805.9	1074.5
GB1000-12-72	0.877	13.87	1055	1582	688.3	1032.5	1376.7
GB1050-12-64	0.887	14.52	872.0	1308	546.9	820.3	1093.8
GB1050-12-72	0.880	14.62	1117	1675	694.5	1041.8	1389.1
GB1100-12-64	0.891	14.52	824.9	1237	520.3	780.5	1040.7
GB1100-12-72	0.884	14.62	1099	1648	759.4	1139.1	1518.8
GB1150-12-64	0.894	14.52	797.9	1196	619.9	929.9	1239.8
GB1150-12-72	0.888	14.62	1036	1554	827.1	1240.7	1654.3
GB1200-12-64	0.898	14.52	770.8	1156	681.0	1021.6	1362.1
GB1200-12-72	0.892	14.62	1006	1509	897.7	1346.6	1795.5
KB450-8-42	0.849	16.00	271.3	407.0	215.5	356.1	496.8
KB500-12-42	0.852	16.00	271.1	406.7	268.0	438.2	608.3
KB550-12-42	0.860	16.00	271.1	406.7	277.4	452.1	626.9

表 3.13 EM 型式および GM 型式の pC , γ , Ta' , aQa , aQu 一覧

型式	pC	γ (N/mm^2)	Ta' (kN)		aQa (kN) (\int)		aQu (kN) (\int)
			長期	短期	長期	短期	
EM190-4-24	0.862	43.28	94.28	141.4	70.8	120.8	170.9
EM216-4-24	0.871	48.60	100.5	150.8	71.9	122.3	172.6
EM250-4-24	0.892	40.54	91.66	137.5	74.4	125.9	177.4
EM300-4-24	0.905	29.63	81.09	121.6	78.3	131.7	185.1
EM300-4-30	0.895	39.45	128.9	193.4	81.4	138.0	194.6
EM350-4-30	0.893	87.08	132.9	199.4	79.3	132.9	186.4
EM350-8-30	0.825	29.63	139.9	209.8	128.5	210.9	293.3
EM400-8-30	0.838	34.02	142.4	213.6	132.7	216.6	300.4
EM400-8-36	0.830	37.50	201.6	302.4	152.4	249.7	346.9
EM400-8-42	0.820	34.02	272.9	409.4	174.0	286.5	398.9
EM450-8-30	0.849	39.45	144.4	216.6	136.8	222.2	307.6
EM450-8-36	0.842	42.67	204.8	307.2	156.9	255.8	354.7
EM450-8-42	0.831	37.50	280.1	420.2	178.7	292.9	407.0
EM500-8-36	0.852	48.98	206.9	310.4	161.4	261.9	362.4
EM500-8-42	0.843	37.50	264.9	397.4	186.2	304.1	421.9
GM500-8-48	0.820	30.57	478.8	718.2	169.0	253.5	338.1
GM500-8-56	0.811	34.63	659.7	989.6	171.7	257.6	343.5
EM550-8-36	0.860	56.81	208.8	313.2	171.1	276.4	381.7
EM550-8-42	0.851	41.56	270.7	406.1	196.5	319.4	442.3
GM550-8-48	0.828	33.82	478.8	718.2	160.8	241.3	321.7
GM550-8-56	0.818	36.77	659.7	989.6	186.5	279.8	373.1
GM600-8-36	0.864	62.57	266.0	399.0	147.2	220.8	294.4
GM600-8-48	0.837	35.96	478.8	718.2	172.2	258.3	344.4
GM600-8-64	0.818	38.60	872.0	1308	224.1	336.2	448.3
GM650-8-48	0.845	40.91	478.8	718.2	183.8	275.7	367.6
GM650-8-64	0.824	41.16	872.0	1308	214.6	322.0	429.3
GM700-8-48	0.850	45.59	478.8	718.2	174.7	262.1	349.5
GM700-8-64	0.832	44.02	872.0	1308	227.7	341.6	455.4
GM750-8-48	0.857	53.51	478.8	718.2	186.2	279.4	372.5
GM750-8-64	0.839	47.28	872.0	1308	241.0	361.6	482.1
GM800-8-48	0.861	66.67	478.8	718.2	201.3	302.0	402.6
GM800-8-64	0.843	53.65	872.0	1308	230.7	346.1	461.5
GM850-8-64	0.850	58.60	872.0	1308	243.9	365.9	487.9
GM900-8-64	0.859	54.34	872.0	1308	275.1	412.6	550.2
GM950-8-64	0.859	77.32	872.0	1308	275.1	412.6	550.2
GM1000-8-64	0.864	100.42	872.0	1308	289.3	433.9	578.6

表 3.14 EH 型式および GH 型式の pC , Ta' , aQa , aQu 一覧

型式	pC		Ta' (kN)		aQa (kN) (\int)				aQu (kN) (\int)	
					長期		短期			
	強軸	弱軸	長期	短期	強軸	弱軸	強軸	弱軸	強軸	弱軸
EH150 × 150-4-24	0.879	0.826	113.7	170.6	70.2	78.8	121.1	134.0	171.9	189.2
EH175 × 175-4-24	0.889	0.840	113.7	170.6	63.7	71.4	110.0	121.6	156.3	171.8
EH200 × 200-4-24	0.897	0.857	113.7	170.6	72.6	80.1	124.5	135.8	176.4	191.4
EH250 × 250-4-24	0.898	0.868	113.7	170.6	78.3	82.6	132.9	139.4	187.6	196.2
EH250 × 250-4-30	0.898	0.868	182.4	273.6	79.8	84.1	136.0	142.5	192.2	200.8
EH300 × 300-4-30	0.908	0.885	182.4	273.6	84.1	84.1	142.5	142.5	200.8	200.8
EH300 × 300-4-36	0.917	0.885	266.0	399.0	87.2	87.2	148.7	148.7	210.1	210.1
EH350 × 250-4-30	0.917	0.898	182.4	273.6	100.0	95.7	172.1	165.6	244.2	235.6
EH350 × 350-4-42	0.910	0.880	362.0	543.0	115.3	115.3	195.5	195.5	275.6	275.6
EH400 × 300-4-30	0.925	0.885	182.4	273.6	92.6	91.8	158.3	157.0	223.9	222.3
EH400 × 300-4-36	0.931	0.885	266.0	399.0	96.3	95.5	165.6	164.4	234.9	233.3
EH400 × 400-4-42	0.917	0.892	362.0	543.0	120.2	115.2	202.7	195.2	285.3	275.2
GH400 × 400-4-56	0.908	0.837	603.4	905.1	74.3	78.5	111.5	117.8	148.6	157.1
EH450 × 300-4-30	0.931	0.885	182.4	273.6	92.6	91.8	158.3	157.0	223.9	222.3
EH450 × 300-4-42	0.920	0.866	362.0	543.0	111.2	116.2	189.8	197.3	268.4	278.4
EH500 × 300-4-30	0.936	0.885	182.4	273.6	92.4	91.6	157.8	156.6	223.3	221.6
EH500 × 300-4-42	0.926	0.866	362.0	543.0	110.9	115.9	189.2	196.8	267.6	277.6
EH600 × 300-4-36	0.946	0.885	266.0	399.0	99.8	100.7	170.7	172.1	241.7	243.5
GH600 × 300-4-48	0.926	0.797	443.3	665.0	65.4	82.8	98.1	124.3	130.8	165.7
EH700 × 300-4-42	0.942	0.866	362.0	543.0	110.9	115.9	189.2	196.8	267.6	277.6
GH700 × 300-4-56	0.931	0.750	603.4	905.1	65.4	82.8	98.1	124.3	130.8	165.7
GH800 × 300-4-42	0.948	0.782	339.4	509.1	61.9	76.4	92.9	114.6	123.9	152.9
GH800 × 300-4-56	0.938	0.750	603.4	905.1	65.4	82.8	98.1	124.3	130.8	165.7
GH900 × 300-4-42	0.952	0.782	339.4	509.1	61.9	76.4	92.9	114.6	123.9	152.9
GH900 × 300-4-56	0.943	0.750	603.4	905.1	65.4	82.8	98.1	124.3	130.8	165.7

3.5.2 スーパーハイベース工法偏心タイプ of セン断耐力 ((ア)、(ウ)の方法)

表 3.15 許容せん断耐力

	N'の範囲	Q _{a0} (ア)	Q _{a1} (座金をハイベースに全周隅肉溶接した場合) (ウ)
③	$N_a \geq N' > crN_{a1}$	$Q_{a0} = 0.4N$	$Q_{a1} = 4 \times \beta \cdot bQ_a$
②	$crN_{a1} \geq N' > crN_{a1} - 2T_a$	$Q_{a0} = 0.4 \times \frac{M}{M_{a'}} \times crN_{a1}$	$Q_{a1} = 2 \times \beta \cdot bQ_a$
①	$crN_{a1} - 2T_a \geq N' > -2T_a$	$Q_{a0} = 0.4 \times \frac{M}{M_{a'}} (N' + 2T_a)$	$Q_{a1} = 2 \times \beta \cdot bQ_a$
④	$-2T_a \geq N' \geq -4T_a$	$Q_{a0} = 0$	$Q_{a1} = 2 \times bQ_a \times \min \left(\beta, \sqrt{1 - \left(\frac{M}{M_{a'}} \cdot \frac{-2T_a - N'}{2T_a} \right)^2} \right)$

※M=0の場合は $\frac{M}{M_{a'}}$ を $\frac{N}{N'}$ と読み換える

表 3.16 終局せん断耐力

	Nの範囲	Q _{u0} (ア)	Q _{u1} (座金をハイベースに全周隅肉溶接した場合) (ウ)
③	$N_u \geq N > crN_{u1}$	$Q_{u0} = 0.5N$	$Q_{u1} = 4 \times \beta \cdot bQ_u$
②	$crN_{u1} \geq N > crN_{u1} - 2T_u$	$Q_{u0} = 0.5 \times crN_{u1}$	$Q_{u1} = 2 \times bQ_u \times \left\{ \beta + \min \left(\beta, \sqrt{1 - \left(\frac{crN_{u1} - N}{2T_u} \right)^2} \right) \right\}$
①	$crN_{u1} - 2T_u \geq N > -2T_u$	$Q_{u0} = 0.5 \times (N + 2T_u)$	$Q_{u1} = 2 \times \beta \cdot bQ_u$
④	$-2T_u \geq N > -4T_u$	$Q_{u0} = 0$	$Q_{u1} = 2 \times bQ_u \times \min \left(\beta, \sqrt{1 - \left(\frac{-2T_u - N}{2T_u} \right)^2} \right)$

※保有水平耐力時の柱脚部曲げモーメントが M_u に満たない場合は $M/M_{u'}$ を考慮してせん断耐力を算定する (表 3.15 において $M_{a'}$, crN_{a1} , T_a を $M_{u'}$, crN_{u1} , T_u に、0.4 を 0.5 に置換えて算定)。

$$N_a = \alpha \cdot 0.75 \cdot 0.9 \cdot A^2 \cdot F_c / 1000$$

$$N_u = 0.9 \cdot A^2 \cdot F_c / 1000$$

$$crN_{a1} = \frac{A + C_1}{2A} N_a$$

$$crN_{u1} = \frac{A + C_1}{2A} N_u$$

$$bQ_a = \alpha \cdot Q_b$$

$$bQ_u = Q_b$$

N_a : 柱脚部の許容圧縮耐力 (kN)

N_u : 柱脚部の終局圧縮耐力 (kN)

α : 許容耐力を求めるときの係数 (長期 = 2/3, 短期 = 1.0)

N, M : 柱脚部の軸力, 曲げモーメント (kNm または kN)

$N', M_{a'}, M_{u'}$: 原点と (M, N) を結ぶ直線と耐力曲線の交点座標 (kN または kNm, 図 3.9 参照)

A : ハイベース外形 (mm, 2.2 項参照)

C_1 : アンカーボルト間隔 (mm, 2.2 項参照)

e : ハイベースの偏心寸法 (mm, 2.2 項参照)

F_c : コンクリートの設計基準強度 (N/mm²)

T_a, T_u : アンカーボルト 1 本の許容または終局引張耐力 (kN, 表 3.17 参照)

β : ハイベースとアンカーボルトの応力伝達係数 (表 3.17 参照)

Q_b : アンカーボルト 1 本当りのせん断耐力 (kN, 表 3.17 参照)

表 3.17 T_a, T_u, Q_b, β の一覧

ねじ の呼び	T_a (kN)		T_u (kN)	Q_b (kN)	β
	長期	短期			
M24	110.8	166.2	221.6	95.98	0.90
M30	173.1	259.7	346.3	149.9	0.70
M36	249.3	374.0	498.7	215.9	0.60
M42	339.4	509.1	678.8	293.9	0.75
M48	443.3	665.0	886.6	383.9	0.65
M56	603.4	905.1	1206	522.5	0.55
M64	788.1	1182	1576	682.5	0.65

3.5.3 コンクリートスラブへの埋め込みによる支圧抵抗に期待する方法 ((工)の方法)

本方法は、図 3.10 に示すように柱をコンクリートスラブに埋め込み、柱側面の支圧抵抗でせん断耐力を期待する方法である。このとき、考慮することが出来るスラブ厚さは 250mm を上限とする。スラブには、鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説等の指針に示される床スラブと同等以上の配筋を行う。

なお、本方法は、せん断力作用方向の前方に連続したコンクリートスラブが存在しない場合は適用できない (図 3.10 の場合、左から右に作用する力に対しては適用できない)。また、柱側面が先行して破壊しないよう設計する。

許容せん断力 Q_{a2} は、コンクリートスラブの支圧による検討を (3.3) 式で確認する。

コンクリートスラブの支圧による許容せん断耐力 Q_{a2} は、

$$Q_{a2} = \alpha \times F_c \times \sqrt{\frac{B2 \times d2}{B1 \times d1}} \times B1 \times d1 / 1000 \quad \dots (3.3)$$

コンクリートスラブの支圧による終局せん断耐力 Q_{u2} は (3.4) 式による。

コンクリートスラブの支圧による終局せん断耐力 Q_{u2} は

$$Q_{u2} = 0.9 \times F_c \times \sqrt{\frac{B2 \times d2}{B1 \times d1}} \times B1 \times d1 / 1000 \quad \dots (3.4)$$

ここに、

Q_{a2} : コンクリートスラブの支圧による許容せん断耐力 (kN)

Q_{u2} : コンクリートスラブの支圧による終局せん断耐力 (kN)

α : 許容耐力を求めるときの係数 (長期 = 1/3、短期 = 2/3)

F_c : スラブのコンクリート設計基準強度 (N/mm²)

$B1$: 柱の外形寸法 (mm、図 3.10 参照)

$B2$: 埋め込み部コンクリートスラブの外形寸法 (mm、図 3.10 参照)

$d1$: スラブ厚及びスラブ表面からハイベース台座上面までの距離の小さい値 (mm、図 3.10 参照)

$d2$: スラブ厚及びスラブ表面からハイベース底面までの距離の小さい値 (mm、図 3.10 参照)
(上限 250mm)

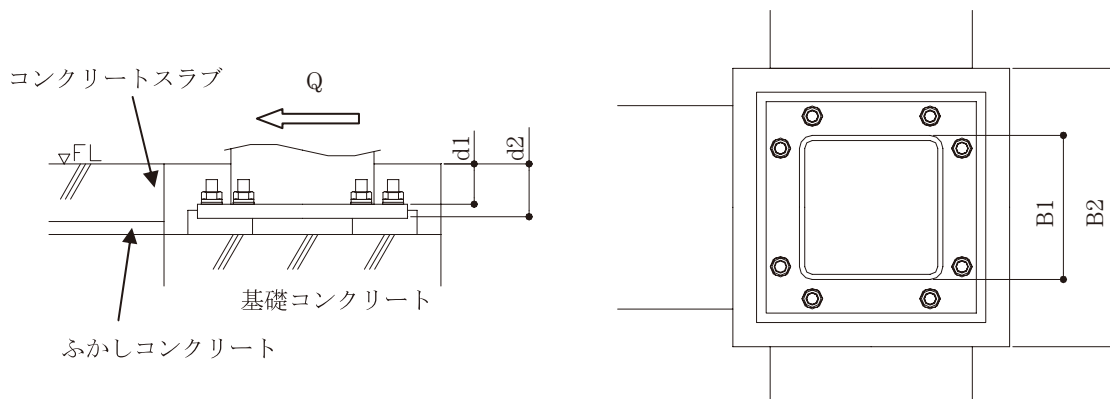


図 3.10 コンクリートスラブの支圧抵抗に期待する方法

第4章 基礎柱形の設計（各工法共通）

4.1 基礎柱形の検討

4.1.1 基礎柱形の設計例

基礎ばりと基礎ばりの交点（含む側、隅柱）に設け、かつ、立上りがない（基礎ばり天端と基礎柱形天端が一致する場合、図4.1参照）基礎柱形は「基礎柱形設計例」（P46～P233参照）による設計が可能である。本設計例はコンクリート設計基準強度が 24N/mm^2 の場合を示す。コンクリート設計基準強度が異なる場合は、センクシア提供の「構造計算支援ソフト【ハイベース検討システム】」を用いることにより設計が可能である。この場合、基礎柱形主筋（アンカーボルトを定着するために縦に配する鉄筋）の頂部フックは設けず、頂部帯筋は一重巻きにすることができる。

上記によらない場合（独立基礎の場合や立上りがある場合、図4.1参照）は、4.1.2項以降に従い基礎柱形の曲げの設計を行い、せん断力等に対する設計を1.1節に示す規準・指針（例えば、鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説等）に従い行なう。この場合、基礎柱形断面積に対する立上り主筋断面積の和の比率は0.8%以上とし、各種規準・指針等に従い頂部フックを設け、頂部帯筋は二重巻きにする必要がある。

Iゾーン（IIゾーン以外の状態）、IIゾーン（全アンカーボルトに引張力が発生している状態）は耐力図（終局耐力）にプロットした柱脚部応力により判定する。ベースプレート縁から基礎柱形縁端までの距離（へりあき）はベースプレート下面のモルタル厚さ以上、かつベースプレートの成、幅の大きい方の0.1倍以上（偏心タイプは0.065倍以上）確保しなければならない。柱形鉄筋はアンカーボルトより外側に配筋すること（別途、鉄筋等の納まりで決まる寸法検討が必要）。

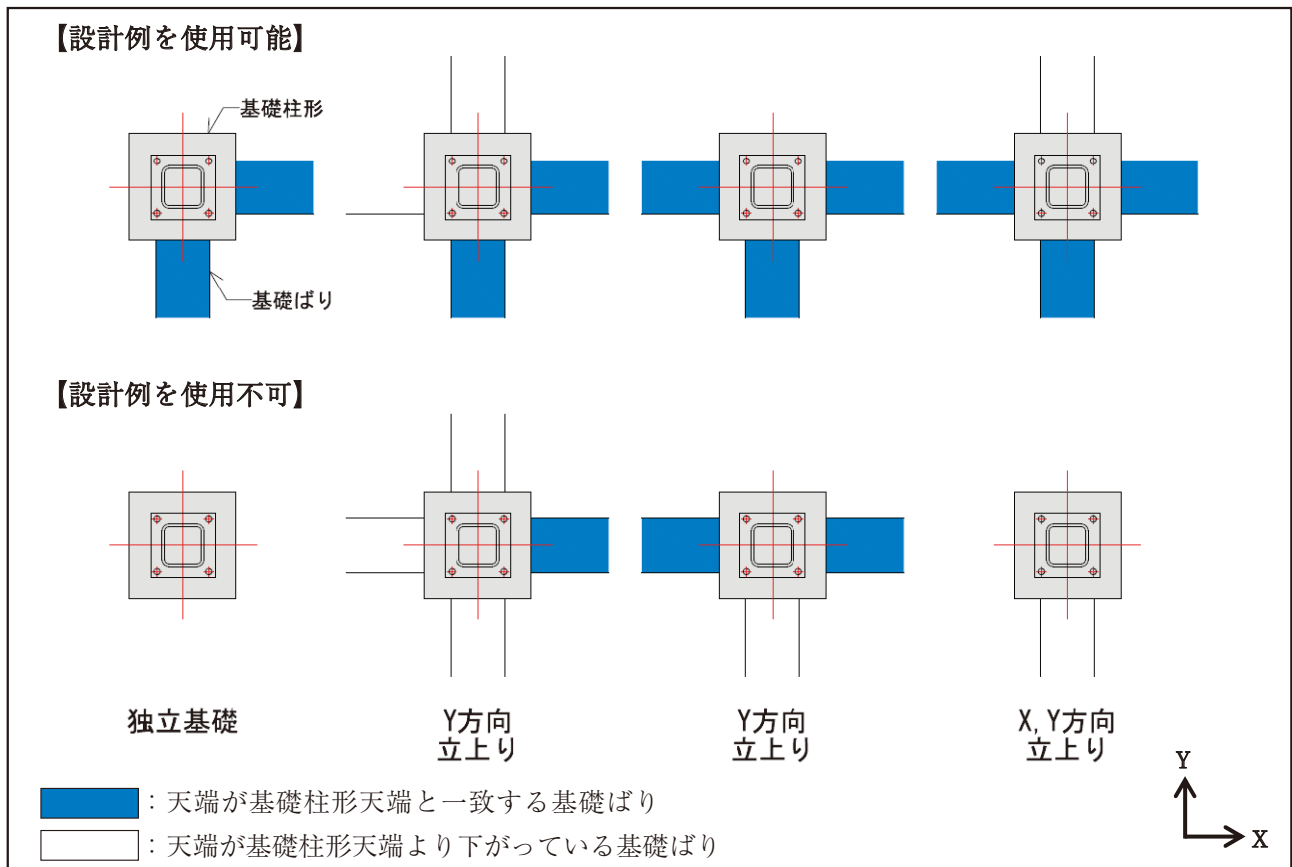


図4.1 基礎柱形設計例の使用可否判断基準

4.1.2 独立基礎等における基礎柱形部の設計

独立基礎の場合や立上りがある場合、4.1.3 項、4.1.4 項の両方を満足するように設計する。

4.1.3 許容、終局曲げ耐力

基礎柱形部を RC 柱と見なし、この RC 柱の許容曲げ耐力 rMa を算定し、柱脚部の許容応力度設計時の曲げモーメント M から算定した許容時の立上り付け根部の曲げモーメント M' に対して (4.1) 式を満足するように設計する。

$$rMa > M' \quad \dots \dots (4.1)$$

rMa : 基礎柱形部の許容曲げ耐力 (例えば、日本建築学会「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説」14条を参考にして設計)

M' : 許容時の立上り付け根部の曲げモーメント (図 4.2 参照)
終局曲げ耐力の場合も基礎柱形部を RC 柱と見なし、この RC 柱の終局曲げ耐力 rMu を算定し、柱脚部の終局曲げ耐力 Mu から算定した終局時 (崩壊メカニズム時) の立上り付け根部の曲げモーメント Mu' に対して (4.2) 式を満足するように設計する。

$$rMu > Mu' \quad \dots \dots (4.2)$$

rMu : 基礎柱形部の終局曲げ耐力 (例えば、「2020 年版建築物の構造関係技術基準解説書」付録 1-3 等を参考にして設計)

Mu' : 終局時 (崩壊メカニズム時) の立上り付け根部の曲げモーメント (図 4.2 参照)

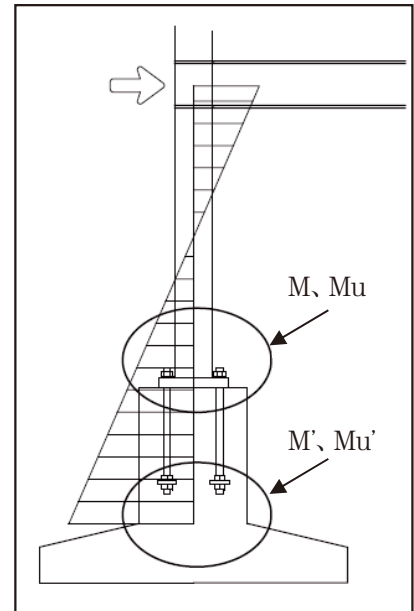


図 4.2 立上りの曲げモーメント

4.1.4 基礎柱形主筋による定着

アンカーボルトの引張力を基礎柱形主筋を介して基礎・基礎ばりへ伝達するために、図 4.3 に示す鉄筋の定着長さ L_t (上部・下部定着長さのそれぞれ) を確保する必要がある。

基礎柱形設計例による場合は「基礎柱形設計例」(P.46 ~ P.233) に示す定着長さ L_t を確保する (下部 L_t は直線でも可)。

独立基礎の場合や立上りがある場合は、鉄筋の定着長さは日本建築学会「鉄筋コンクリート造建物の靱性保証型耐震設計指針・同解説」に従い設計する。

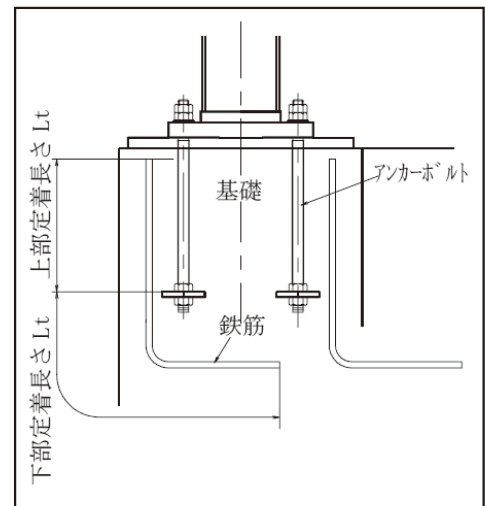


図 4.3 鉄筋の定着長さ

4.2 コーン耐力によるアンカーボルトの定着

基礎柱形が十分に大きく、曲げにより引張力が発生するアンカーボルトで (4.3) 式を満足する場合、前項によらずコンクリートのコーン耐力によりアンカーボルトを基礎に定着できる (アンカーボルト 12 本タイプかつⅡゾーンの場合はコーン耐力で定着できない)。

$$\alpha\sqrt{F_c}\cdot A_c > n\cdot T_{eu} \quad \dots \quad (4.3)$$

$$\alpha : 0.25 (=0.8\sqrt{100/g}\times g/100)$$

$$g : 9.80665$$

F_c : コンクリート設計基準強度 (N/mm²)

A_c : コンクリートのコーン破壊面の有効水平投影面積 (mm²)

Ⅰゾーンの場合 : A_{c1} の面積

Ⅱゾーンの場合 : A_{c2} の面積

n : アンカーボルト 4 本タイプ : $n=1$

アンカーボルト 8 本タイプ : $n=2$

アンカーボルト 12 本タイプ : $n=3$

T_{eu} : アンカーボルトのねじ部破断耐力 (N)

表 4.1 アンカーボルトの T_{eu} (単位 : kN)

M24	M30	M36	M42	M48	M56	M64	M72
246.8	392.5	571.8	784.7	1032	1422	1874	2422

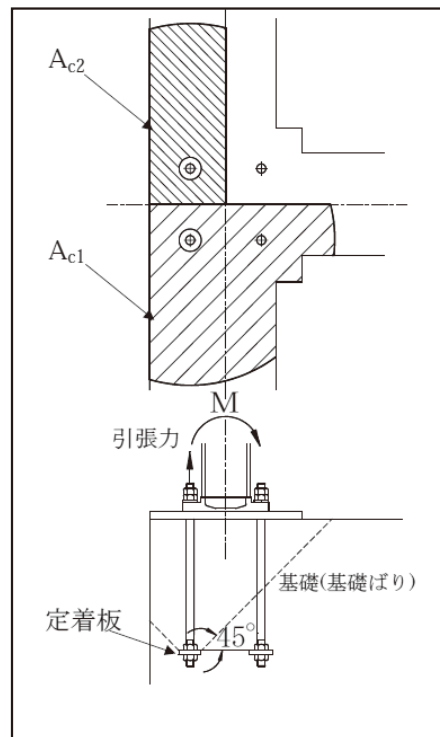


図 4.4 コーン耐力

第5章 ブレース付柱脚の設計（各工法共通）

5.1 ブレースが取り付く場合の検討フロー

ハイベース NEO 工法およびスーパーハイベース工法偏心タイプ（以下本工法）では、ブレースが取り付く場合（片側ブレース及び両側ブレース）にも適用可能である。なお、ガセットプレートは所要の応力を伝達するのに適した形状とし、ブレース軸心に対し溶接線が非対称となる場合、その偏心応力により溶接部の破壊が起こらないよう十分配慮する必要がある。したがって、ベースプレートのみにガセットプレートが接合されるような場合は上記理由により適用不可である。また、ベースプレートを延長または別途プレートを追加設置しガセットプレートを接合することは所定の性能を発揮できないため適用不可である。

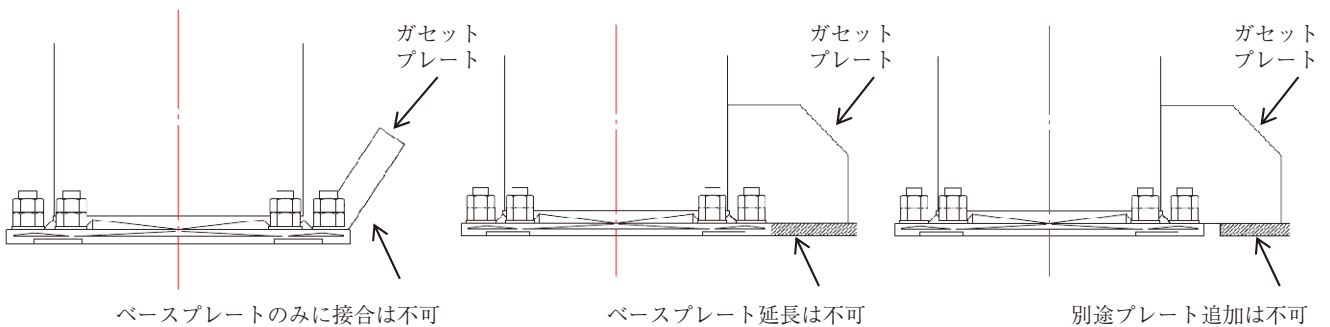


図 5.1 本工法適用不可の例

ブレース付柱脚の場合ブレースからの応力を考慮した柱脚検討用応力（ M', N', Q' ）にて柱脚部の検討を行う。またブレースが水平方向及び鉛直方向に偏心する場合は、ブレース偏心配置に伴う付加曲げモーメントを考慮することにより検討が可能である。

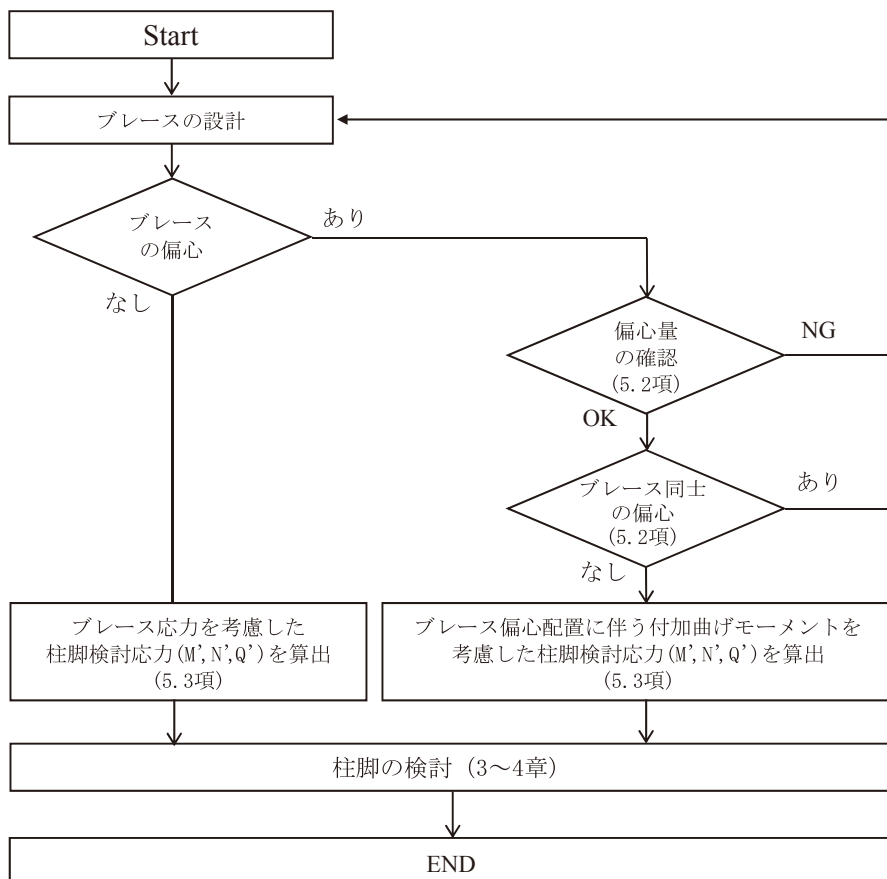


図 5.2 ブレースが取り付く場合の柱脚検討フロー

5.2 ブレースの偏心

本工法は、水平方向に柱の芯とブレース軸芯が一致せず偏心する場合にも適用可能である。ただし、アンカーボルト上部のナットを締め付けする際に工具がブレースに干渉しない寸法を確保する必要がある。ブレースが偏心する場合はハイベース検討システムで検討することが可能である。

なお、鉛直方向にブレース軸芯が偏心する場合は、柱脚回転中心（ベースプレート下面位置）よりもブレース軸芯が上になければならない（ $e_z \geq 0$ ）。

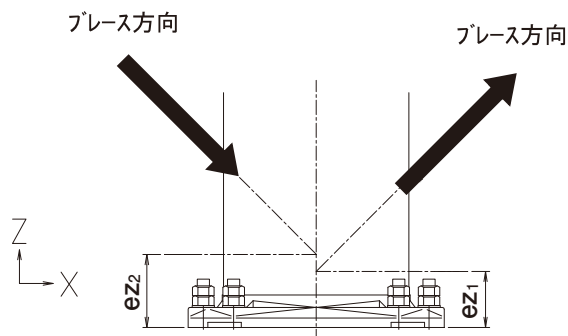
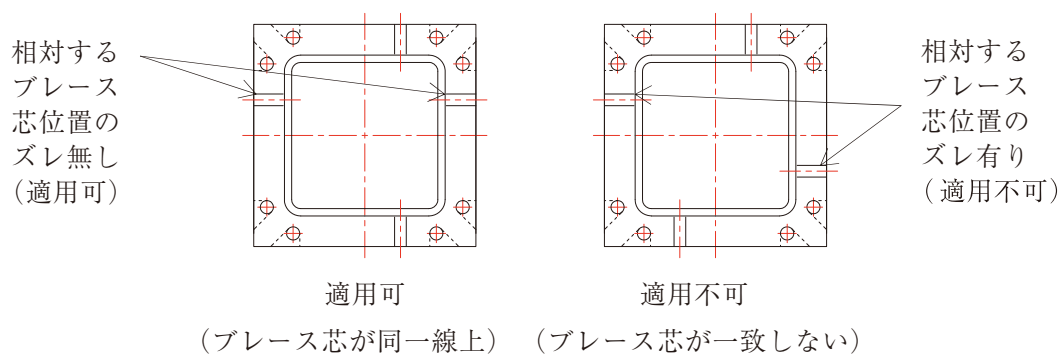


図 5.3 ブレースが鉛直方向に偏心する場合

また、相対するブレースの芯は一致しなければならない。



(ブレース芯が同一線上) (ブレース芯が一致しない)

図 5.4 相対するブレース芯の位置による適用の可否

5.3 ブレース応力を考慮した柱脚検討用応力の算出

ブレースが柱脚に取り付く場合、柱により発生する柱脚の応力に加え、ブレースからの応力が柱脚部に発生する。したがって、ブレースが取り付く柱脚を検討する場合、このブレースにより発生する柱脚の応力（ M', N', Q' ）を考慮し柱脚の検討を行う。

ブレースからの応力を考慮した柱脚検討用応力（ M', N', Q' ）の算出方法を以下に示す（終局の場合も同様に算出可能）。

ブレース軸力（ P_1, P_2 ）が作用している。ブレース軸力の鉛直方向成分及び水平方向成分を柱脚の軸力、せん断力に付加し柱脚の検討を行う。また、鉛直方向にブレースが偏心する場合、その偏心による曲げモーメントを柱より発生する柱脚の曲げモーメントに付加して柱脚の検討を行う。

5.3.1 曲げモーメントに対する検討

ブレースが偏心して取付く場合、水平方向偏心量を e_y 、鉛直方向偏心量 e_z 、ブレース軸力 P の水平成分力 P_x 、鉛直成分力 P_z とする。

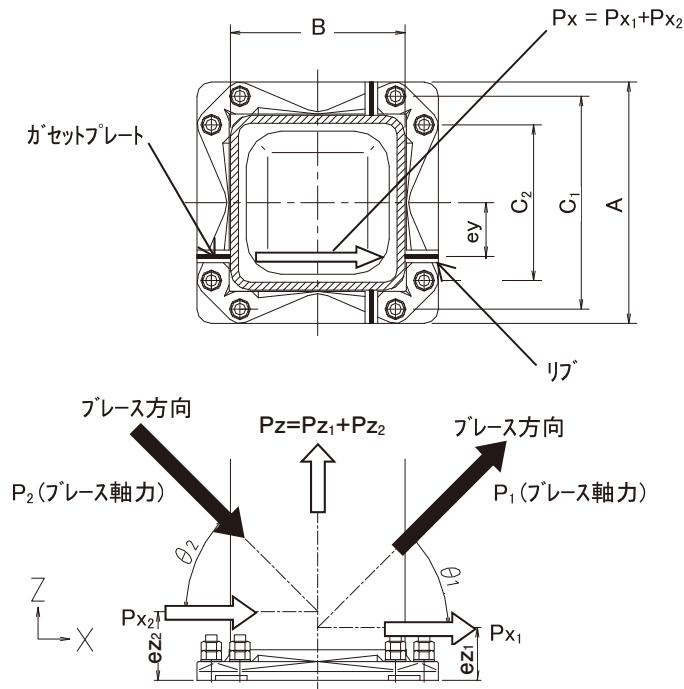


図 5.5 ブレース配置（鉛直方向・水平方向偏心有）

ブレースの水平成分力 P_x による付加曲げモーメント (vM_x) が柱脚の曲げモーメント (M_x) に付加される。従って、付加曲げモーメントを考慮した M_x' は (5.1a) 式で表せる。

$$M_x' = M_x + vM_x = M_x + (P_{x1} \cdot e_{z1} + P_{x2} \cdot e_{z2}) \quad \dots (5.1a)$$

ブレースの鉛直成分力 P_z による付加曲げモーメント (vM_y) が柱脚の曲げモーメント (M_y) に付加され、このときの曲げモーメント M_y' は (5.1b) 式で表せる（元々、二軸曲げを考慮していない場合は $M_y=0$ ）。

$$M_y' = M_y + vM_y = M_y + (P_{z1} + P_{z2}) \cdot e_y \quad \dots (5.1b)$$

従って、 X 方向加力時のブレース軸力 P に対して付加曲げモーメント vM_x 、 vM_y が発生し、このときの柱脚には、 M_x' 、 M_y' の曲げモーメントが発生している。

この曲げモーメントに対して (5.1c) 式により二軸曲げの検討を行い、柱脚の安全性を確認する（二軸曲げの検討は鉄骨鉄筋コンクリート計算規準 17.9 式参照）。

$$(M_x' / xMa) + (M_y' / yMa) \leq 1 \quad \dots (5.1c)$$

ここで、

xMa, yMa : ブレースの鉛直成分力を考慮した軸力（柱脚）に対する
柱脚の短期許容曲げ耐力

5.3.2 せん断力に対する検討

①ベースプレート底面の摩擦抵抗に対して

水平方向成分力 P_x により発生する偏心曲げを考慮してブレース水平方向成分力 P_x を割り増し、付加応力を考慮するせん断力 (Q_0') を算出する (5.1d 式参照)。

$$Q_0' = Q + (1 + 6 \cdot e_y / A) \cdot (P_{x1} + P_{x2}) \quad \dots (5.1d)$$

②アンカーボルトに対して

ブレースが偏心して取付く場合、水平方向成分力 P_x によりブレースに近い側のアンカーボルトが負担するせん断力が多くなることを考慮してブレース水平方向成分力 P_x を割り増し、付加応力を考慮するせん断力 (Q_1') を算出する (5.1e 式参照)。

$$Q_1' = Q + (1 + 2 \cdot e_y / C) \cdot (P_{x1} + P_{x2}) \quad \dots (5.1e)$$

③コンクリートスラブの支圧抵抗に対して

水平方向成分力 P_x によりコンクリートは柱側面から圧縮力と偏心圧縮による曲げを受ける。これを考慮してブレース水平方向成分力 P_x を割り増し、付加応力を考慮するせん断力 (Q_2') を算出する (5.1f 式参照)。

$$Q_2' = Q + (1 + 6 \cdot e_y / B) \cdot (P_{x1} + P_{x2}) \quad \dots (5.1f)$$

ここで、 Q_0' 、 Q_1' 、 Q_2' ：ブレースを考慮したせん断力

Q ：柱脚せん断力

A ：ベースプレート幅

B ：柱幅

C ：アンカーボルト間隔 (アンカーボルト図心位置)

アンカーボルト 4 本タイプ： $C = C_1$

アンカーボルト 8 本タイプ： $C = (C_1 + C_2) / 2$

アンカーボルト 12 本タイプ： $C = (C_1 + C_2 + C_3) / 3$

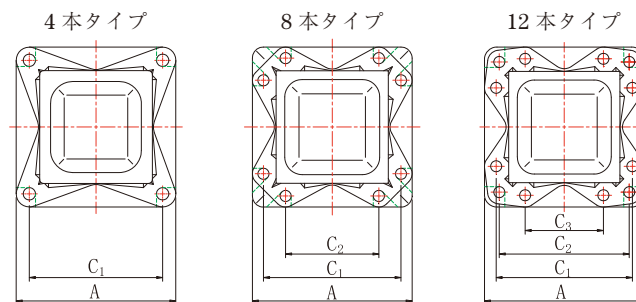


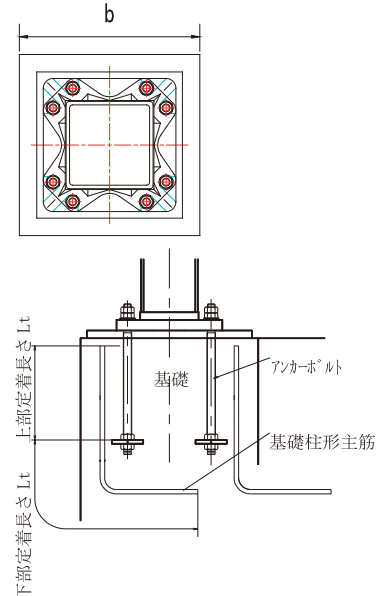
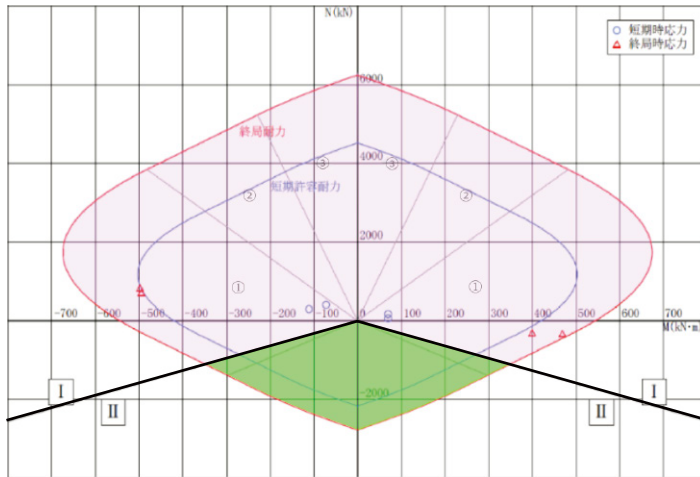
図 5.6 ベースプレート形状(一例)

* ブレースの偏心が無い場合、前項に示す各式において、水平方向偏心量 $e_y=0$ 、鉛直方向偏心量 $e_z=0$ として、ブレース応力を考慮した柱脚検討用応力 (M, N, Q) の算出を行う。

ハイベースNEO工法の耐力図・基礎柱形の設計例の注意事項

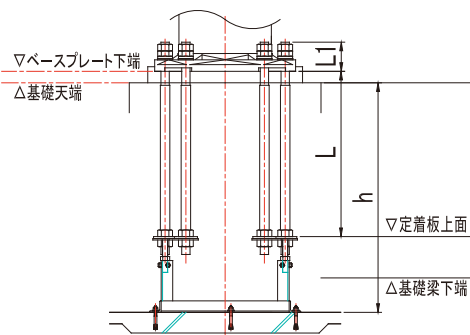
- 柱脚部に発生する応力により、Iゾーン（IIゾーン以外の状態）とIIゾーン（全アンカーボルトに引張が発生している状態）に分けられます。
- 終局耐力図中、Iゾーンに応力がある場合はIゾーンの基礎柱形仕様（基礎柱形主筋、帯筋、柱形サイズ）を、IIゾーンに応力がある場合はIIゾーンの基礎柱形仕様を用いることにより基礎柱形の設計を行います。
- せん断耐力は軸力によって変化し、耐力図中の①～③の範囲で用いるせん断耐力式が異なります。
- I・IIゾーンの判定、コンクリート設計基準強度が F_c24 以外の場合は、構造計算支援ソフト【ハイベース検討システム】にてご確認ください。
- 基礎柱形が側・隅柱の場合と中柱（4方向から基礎梁が取付く場合のみ）の場合で基礎柱形仕様が異なります。基礎柱形のタイプに合った仕様にて設計してください。

例:GB350-8-30

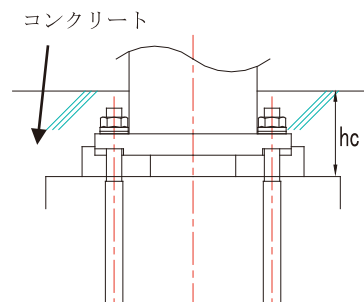


付図1 配筋ゾーン判定および基礎柱形主筋定着長さ

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形 b(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 b(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	740	16-D22(SD345)	D13@150(SD295)	740	20-D22(SD345)	D13@150(SD295)	490



付図2 基礎柱形



付図3 コンクリートスラブによるナットの埋め込み

- 注1) 表中の基礎柱形主筋本数は基礎立上りのない場合（基礎はり天端と基礎柱形天端が一致する場合）の設計例です。立上りがある場合、独立基礎の場合は、ハイベースNEO設計ハンドブック第4章に従い、日本建築学会等の規準・指針に準拠した設計を行ってください。
- 注2) <中柱用>の鉄筋量は、基礎はり内のあばら筋をD10@250またはD13@250として算定しています。あばら筋断面積がこれよりも小さくなる場合、あばら筋間隔が以下より大きくなる場合は<側・隅柱用>の鉄筋量としてください。
D10@250・・・EB150～EB450、GB350～GB450、EM190～EM400
D13@250・・・EB500～EB550、GB500～GB600、EM450～EM550
- 注3) 基礎深さは最低h寸法以上確保する必要があります。h寸法は杭がない場合です。杭がある場合は表中のh寸法+100mm以上確保してください。
- 注4) 基礎ばり下端は定着版上面より下側になるように配置してください。
- 注5) アンカーボルト設置用架台は一例です。アンカーボルトサイズや杭の有無など諸条件により形状が異なります。
- 注6) 鉄筋の定着長さLtは、表中の寸法以上確保してください。（定着版上面から上部下部それぞれ確保してください。）
- 注7) エコタイプ、高強度柱適用タイプおよび二方向偏心タイプ(BC型式)のアンカーボルトは一重ナットが標準です。ゆるみ止めのため、コンクリートスラブへの埋め込みが必要です。（二重ナット等のゆるみ止め処置は、原則できません。）
- 注8) エコタイプおよび高強度柱適用タイプでコンクリートスラブへの埋め込みがない場合、せん断耐力(aQa,aQu)は表中の値と異なります。その場合は、センクシアへお問い合わせください。

基礎はり端部納まり例について

■本資料は、配筋検討いただく際の一例です。参考資料としてご使用ください。検討時に必要なCAD図面は弊社ホームページよりダウンロードしてご使用ください。

■本資料に図示する部材等について^(注1)

基礎柱形

基礎柱形設計例のIゾーン〈側・隅柱用〉の仕様を図示しています。
配筋ゾーンがIゾーンの場合は柱形主筋○の本数を配筋してください。
配筋ゾーンがIIゾーンの場合は柱形主筋○と●の合計本数を配筋してください。

基礎はり^(注2)

柱形中心基礎はりタイプ：柱形の中心に合わせて基礎はりが取付く場合
柱形外面基礎はりタイプ：柱形外面に合わせて基礎はりが取付く場合

アンカーボルト

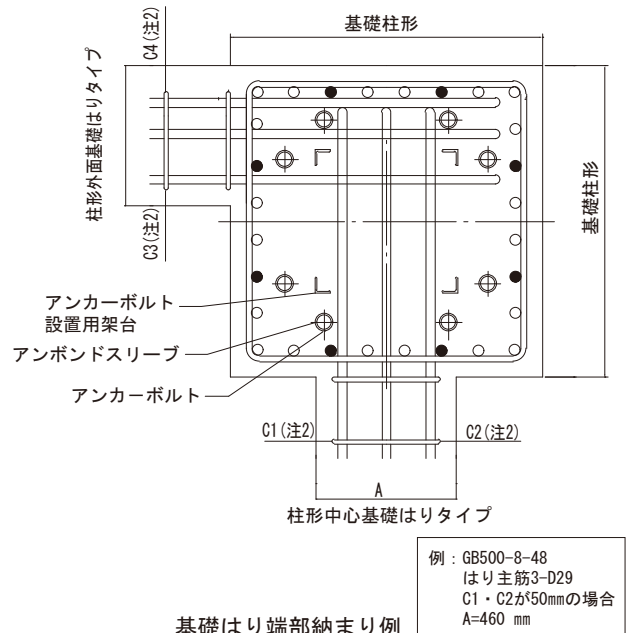
アンカーボルトの位置は変更できません。

アンボンドスリーブ

アンボンドスリーブの位置は変更できません。

アンカーボルト設置用架台

アンカーボルトを設置するための仮設部材です。配筋納まりを考慮して形状を決定します。
鉄筋等と干渉する場合は、センクシアへお問合せください。



基礎はり端部納まり例

^(注1) 本例に図示のない部材（定着板・形板・治具等）と鉄筋との断面の取り合いは、別途検討いただく必要があります。

^(注2) 基礎はりのはり幅は、かぶり厚さ（C1・C2・C3・C4）を含む寸法です。

C1・C2・C3：かぶり厚さは50mmを基本とし、かぶり厚さを変更すると、はり幅は変動します。

C4：型式毎に厚さを設定しています。

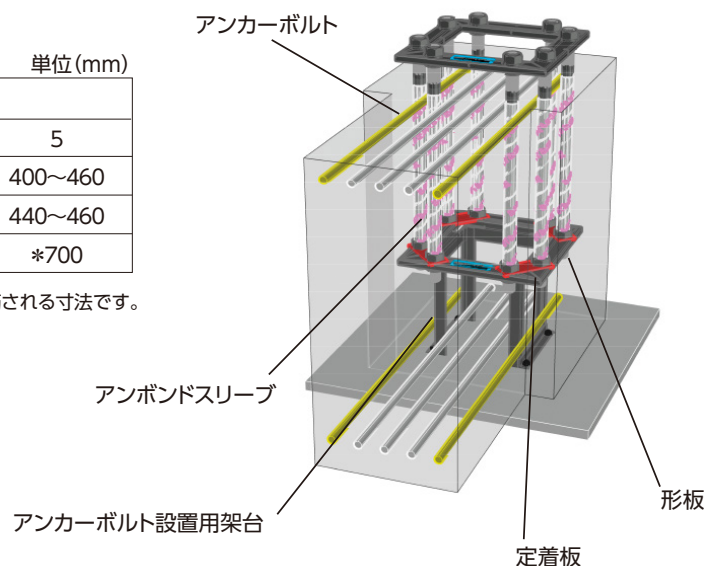
■基礎はり幅早見表（参考）

柱形中心基礎はりタイプ（型式：GB500-8-48）

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~460	300~460	350~460	400~460
D25	270~460	310~460	370~460	440~460
D29		340~460	400~460	*700

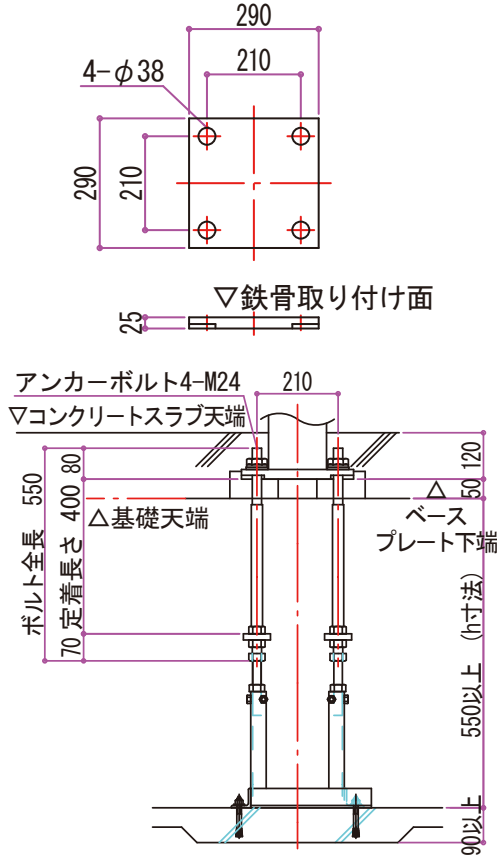
*が付く基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋される寸法です。

■配筋イメージ図（はり主筋5-D29の一例）

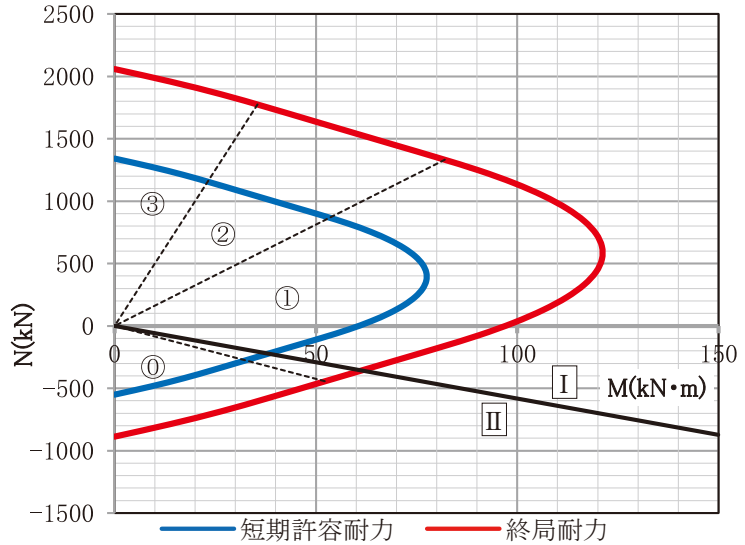


適用柱	角形鋼管柱 □ 150 × 150 (板厚範囲:4.5 ~ 12mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M24
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	14.0

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(エコタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	500	8-D16(SD295)	D13@150(SD295)	500	16-D16(SD295)	D13@150(SD295)	200
<中柱用>	500	8-D16(SD295)	D13@150(SD295)	500	16-D16(SD295)	D13@150(SD295)	200

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

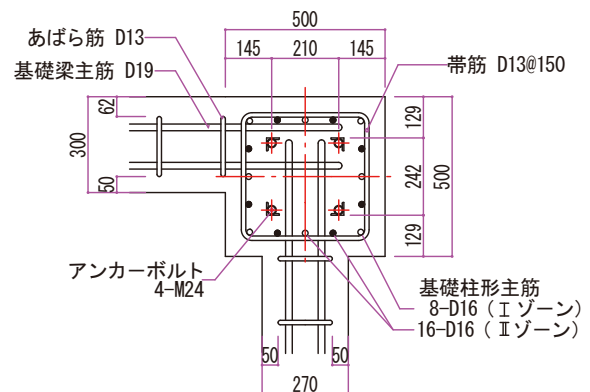
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	270~390	320~390	370~390	
D19	270~390	320~390	370~390	
D22	270~390	330~390	390	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	270~290	280~290		
D19	270~290	290		
D22	270~290			

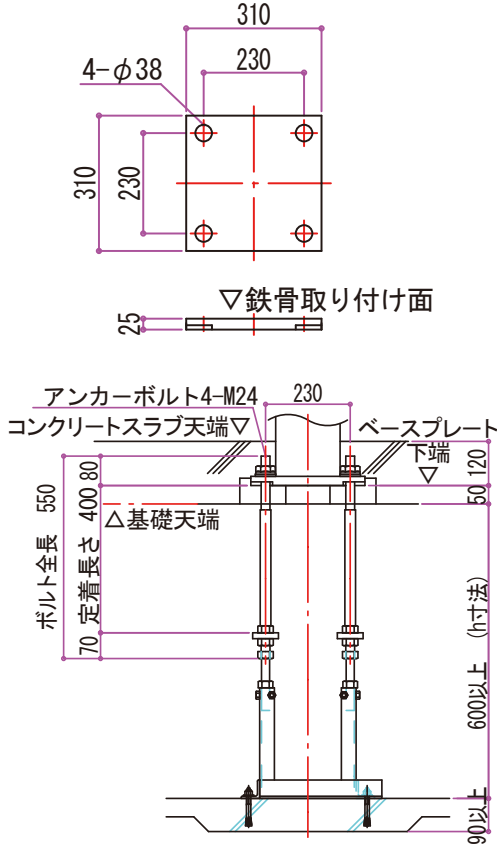


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

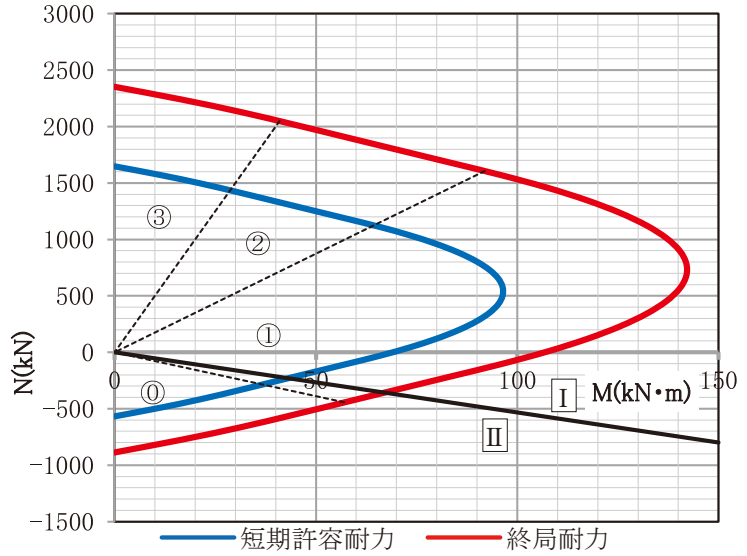
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □175×175 (板厚範囲:4.5～12mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M24
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	17.9

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	520	8-D16(SD295)	D13@150(SD295)	520	16-D16(SD295)	D13@150(SD295)	190
<中柱用>	520	8-D16(SD295)	D13@150(SD295)	520	16-D16(SD295)	D13@150(SD295)	190

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

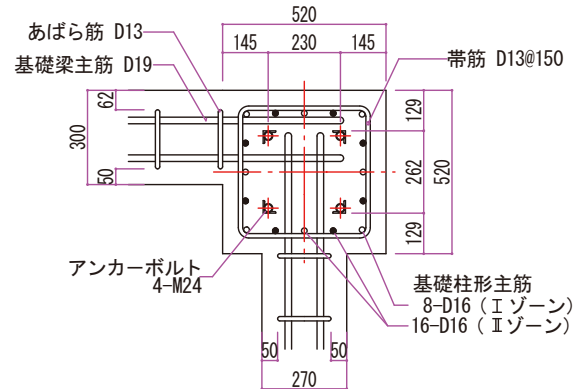
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	270~410	320~410	370~410	
D19	270~410	320~410	370~410	
D22	270~410	330~410	390~410	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	270~310	280~310		
D19	270~310	290~310		
D22	270~310	300~310		

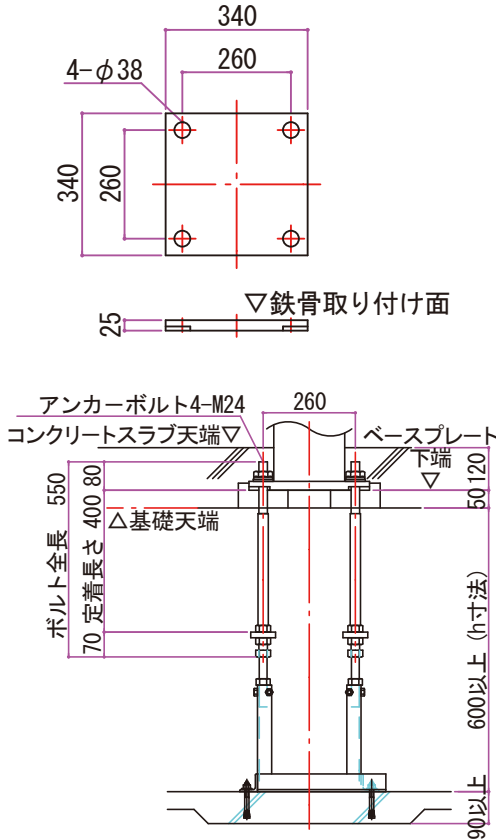


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

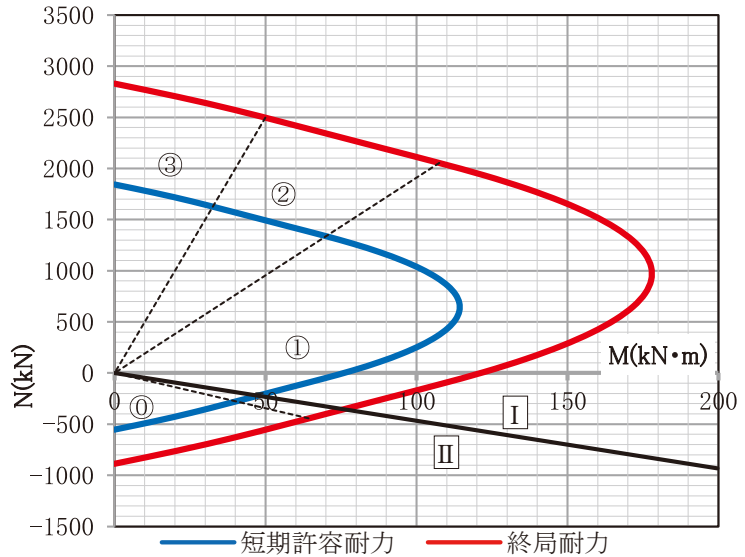
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 200 × 200 (板厚範囲:6 ~ 12mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M24
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	21.9

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(エコタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	550	8-D16(SD295)	D13@150(SD295)	550	16-D16(SD295)	D13@150(SD295)	190
<中柱用>	550	8-D16(SD295)	D13@150(SD295)	550	16-D16(SD295)	D13@150(SD295)	190

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

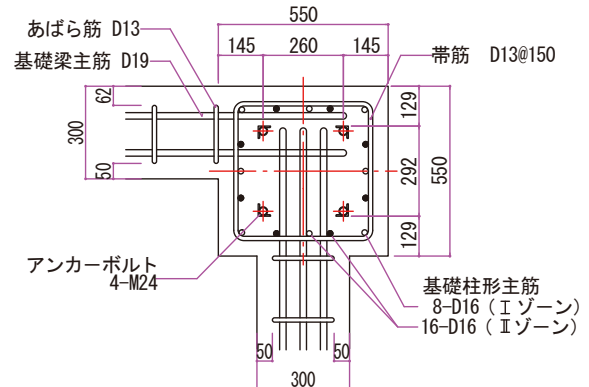
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	270~440	320~440	370~440	420~440
D19	270~440	320~440	370~440	
D22	270~440	330~440	390~440	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	270~340	280~340	320~340	
D19	270~340	290~340	330~340	
D22	270~340	300~340		

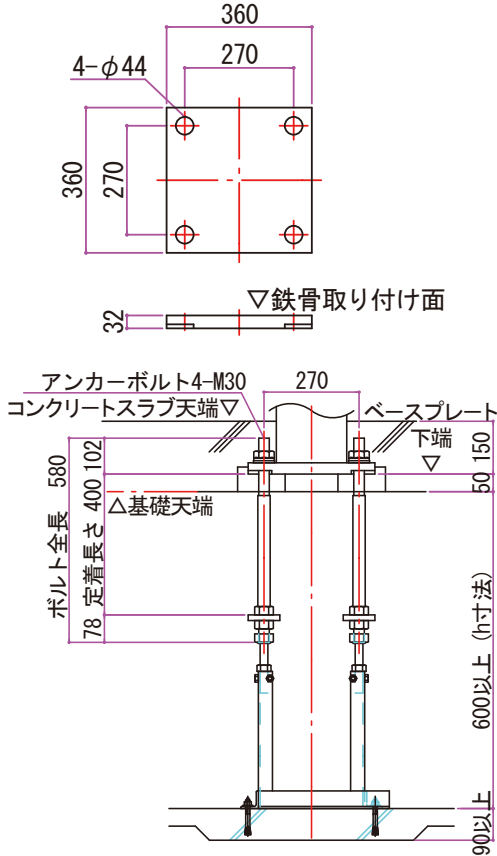


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

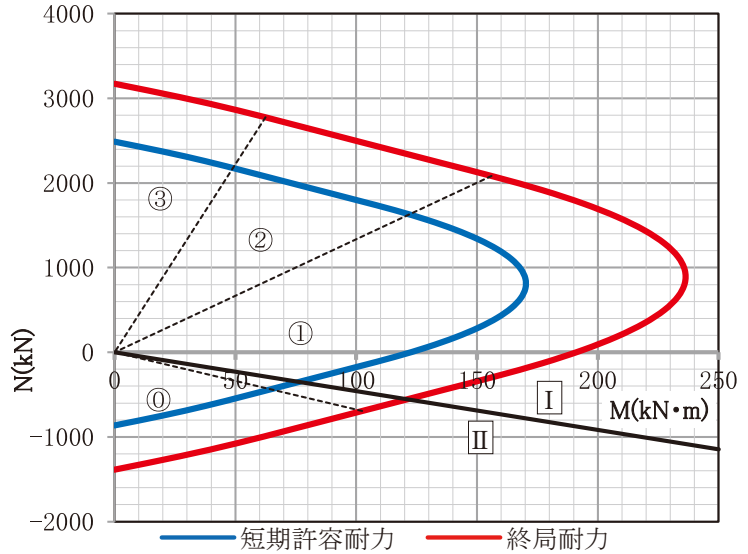
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □200×200 (板厚範囲:6~12mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M30
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	35.4

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	570	8-D19(SD345)	D13@150(SD295)	570	16-D19(SD345)	D13@150(SD295)	290
<中柱用>	570	8-D19(SD345)	D13@150(SD295)	570	16-D19(SD345)	D13@150(SD295)	290

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

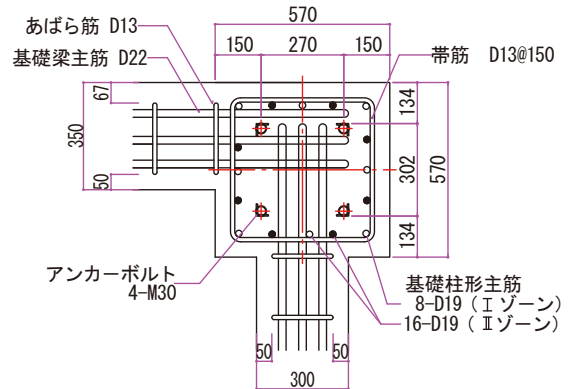
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~440	320~440	370~440	
D22	280~440	340~440	400~440	
D25	280~440	350~440	420~440	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~340	290~340	330~340	
D22	270~340	300~340		
D25	270~340	310~340		

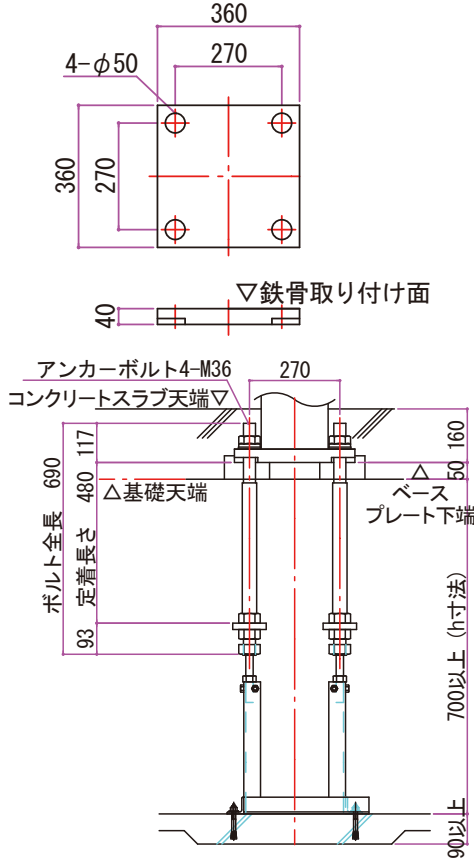


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

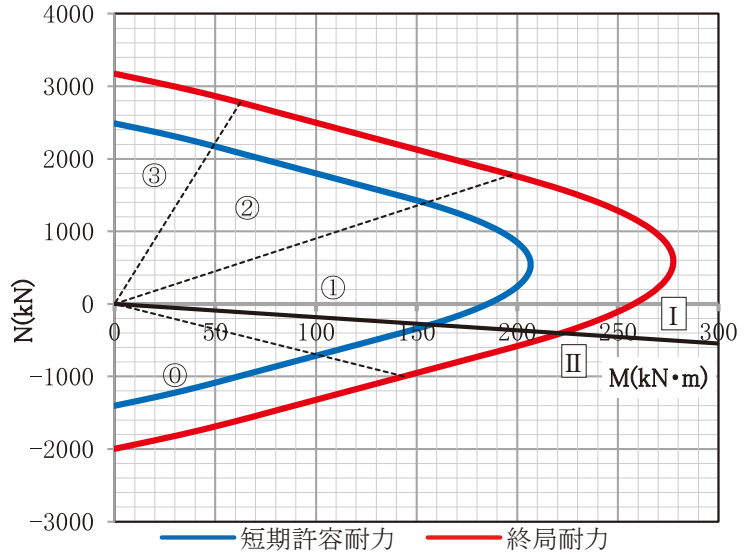
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 200 × 200 (板厚範囲:6 ~ 12mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M36
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	41.1

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(エコタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	580	12-D19(SD345)	D13@150(SD295)	580	20-D19(SD345)	D13@100(SD295)	330
<中柱用>	580	12-D19(SD345)	D13@150(SD295)	580	20-D19(SD345)	D13@100(SD295)	330

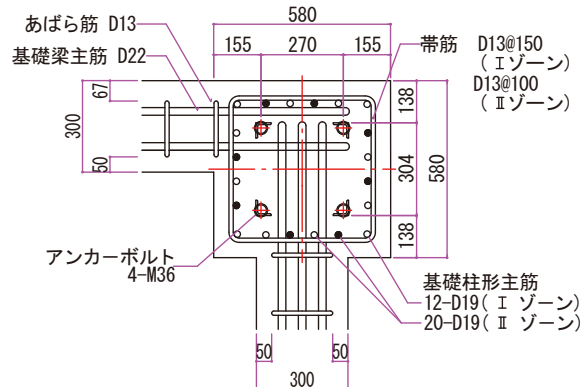
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数				単位(mm)
	2	3	4	5	
D19	290~430	340~430	390~430		
D22	290~430	350~430	410~430		
D25	290~430	360~430	430		

柱形中心基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数				単位(mm)
	2	3	4	5	
D19	270~320	290~320			
D22	270~320	300~320			
D25	270~320	310~320			

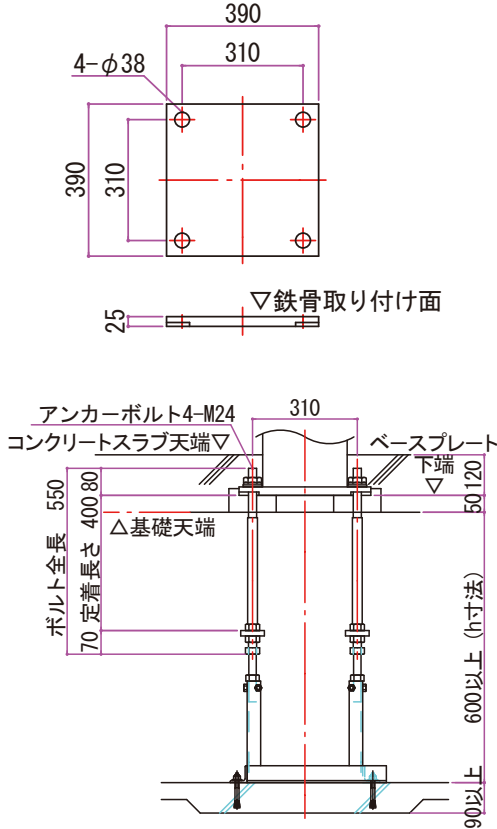


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

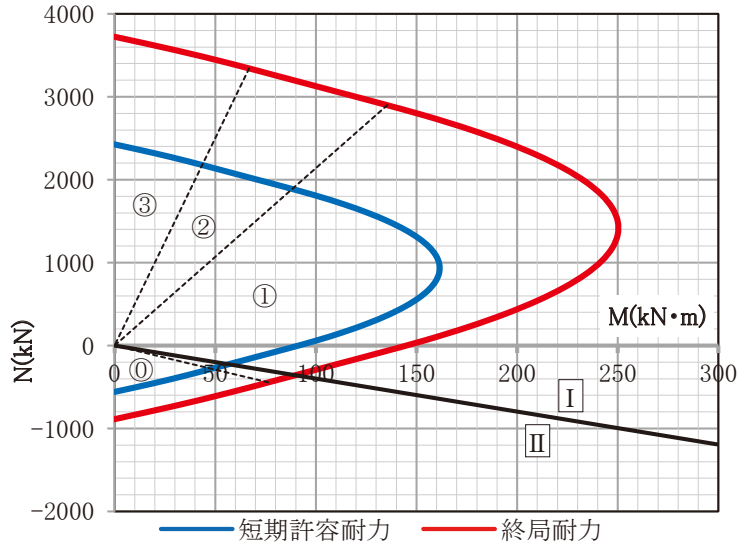
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 250 × 250 (板厚範囲:6 ~ 16mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M24
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	32.2

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	600	8-D19(SD345)	D13@150(SD295)	600	12-D19(SD345)	D13@150(SD295)	190
<中柱用>	600	8-D19(SD345)	D13@150(SD295)	600	12-D19(SD345)	D13@150(SD295)	190

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

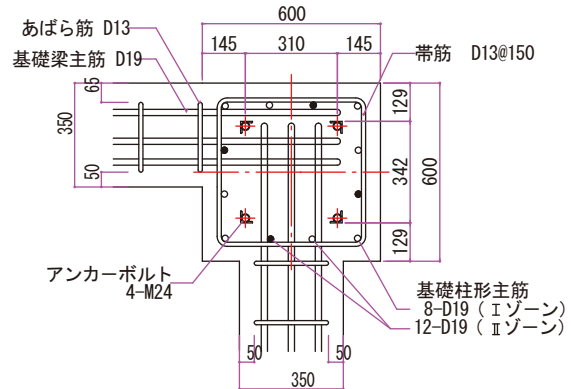
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	270~490	320~490	370~490	420~490
D19	270~490	320~490	370~490	420~490
D22	270~490	330~490	390~490	450~490

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	270~390	280~390	320~390	370~390
D19	270~390	290~390	330~390	380~390
D22	270~390	300~390	350~390	

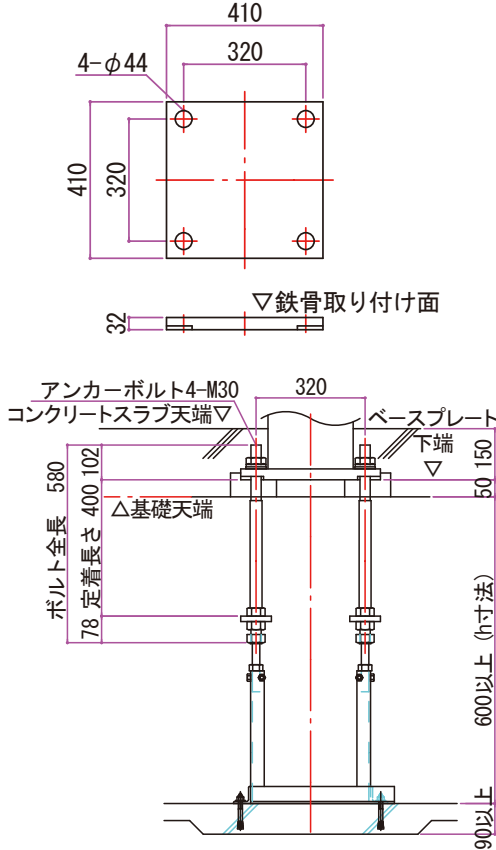


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

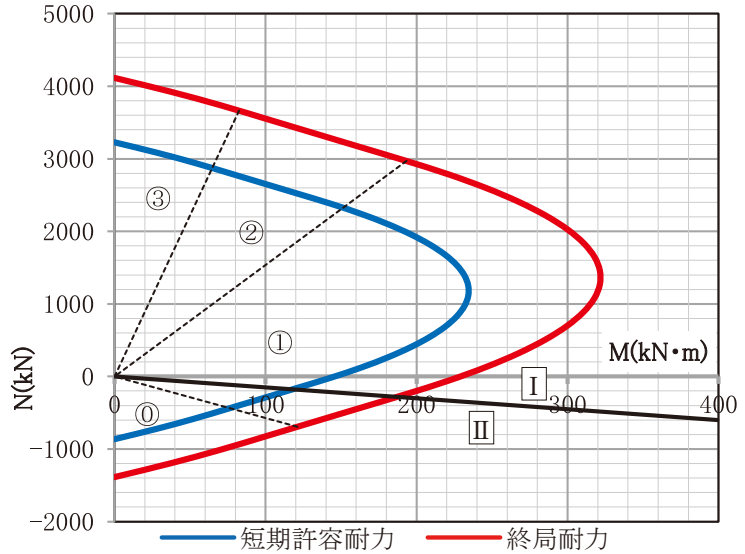
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 250 × 250 (板厚範囲:6 ~ 16mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M30
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	51.3

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(エコタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	610	8-D19(SD345)	D13@150(SD295)	610	16-D19(SD345)	D13@150(SD295)	280
<中柱用>	610	8-D19(SD345)	D13@150(SD295)	610	16-D19(SD345)	D13@150(SD295)	280

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

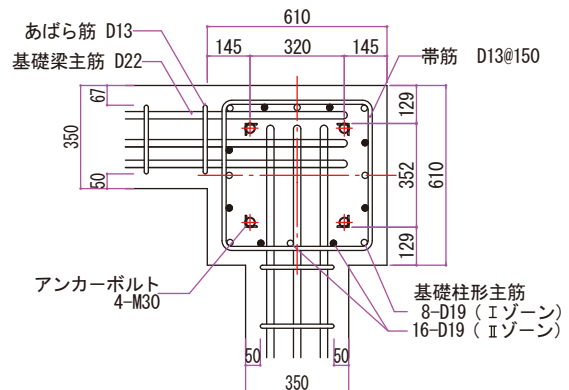
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~500	320~500	370~500	420~500
D22	270~500	330~500	390~500	450~500
D25	280~500	350~500	420~500	490~500

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~390	290~390	330~390	380~390
D22	270~390	300~390	350~390	
D25	270~390	310~390	370~390	

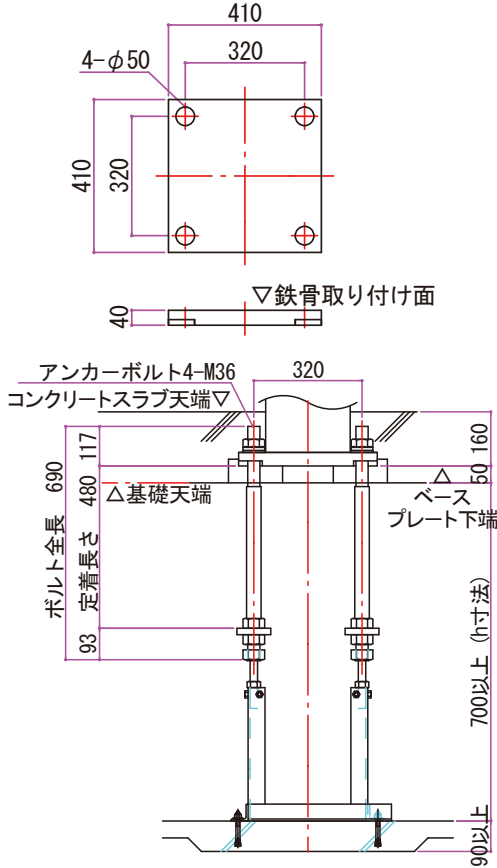


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

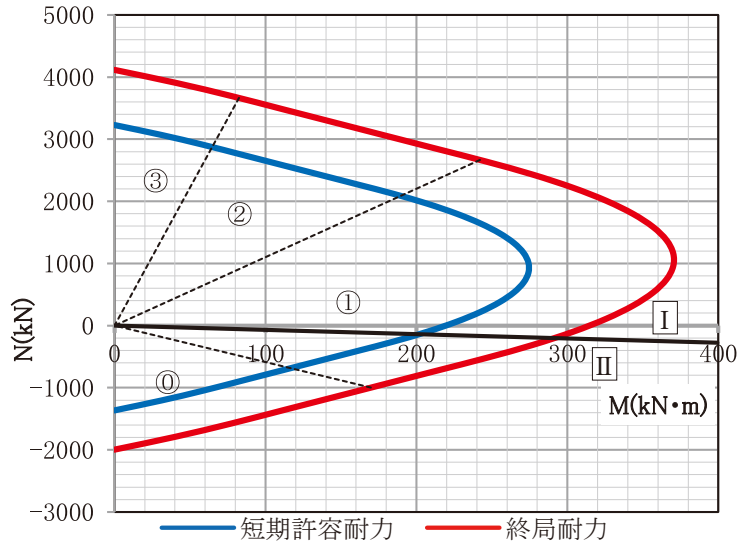
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 250 × 250 (板厚範囲:6 ~ 16mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M36
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	59.7

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	610	12-D19(SD345)	D13@150(SD295)	610	20-D19(SD345)	D13@100(SD295)	330
<中柱用>	610	12-D19(SD345)	D13@150(SD295)	610	20-D19(SD345)	D13@100(SD295)	330

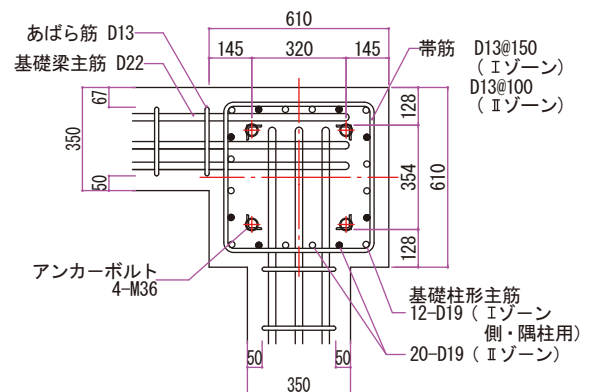
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	280~490	330~490	380~490	430~490
D22	280~490	340~490	400~490	460~490
D25	280~490	350~490	420~490	

柱形中心基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~370	290~370	330~370	
D22	270~370	300~370	350~370	
D25	270~370	310~370	370	

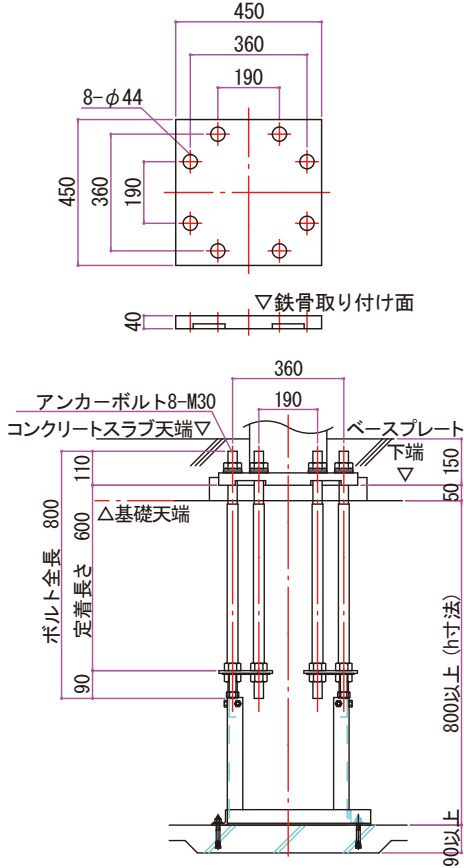


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

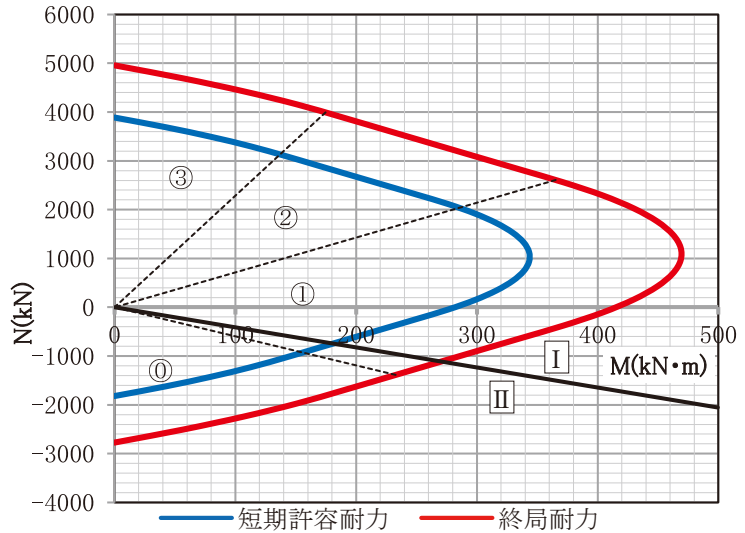
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 250 × 250 (板厚範囲:6 ~ 16mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M30
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	51.1

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(エコタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	640	12-D22(SD345)	D13@150(SD295)	640	20-D22(SD345)	D13@100(SD295)	430
<中柱用>	640	12-D22(SD345)	D13@150(SD295)	640	20-D22(SD345)	D13@100(SD295)	430

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

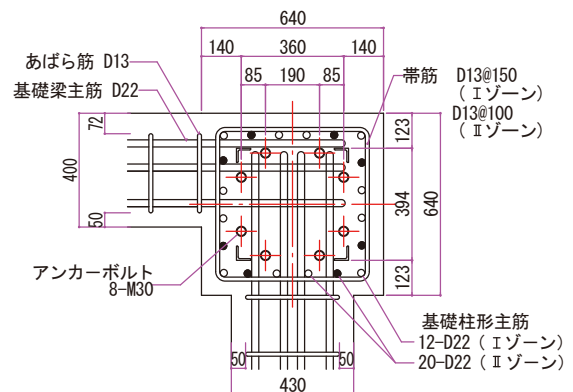
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	340~450	390~450	440~530	490~530
D22	350~450	410~450	470~530	530
D25	350~450	420~450	490~530	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270	*430	*430	*430
D22	270	*430	*430	*430
D25	270	*430	*430	



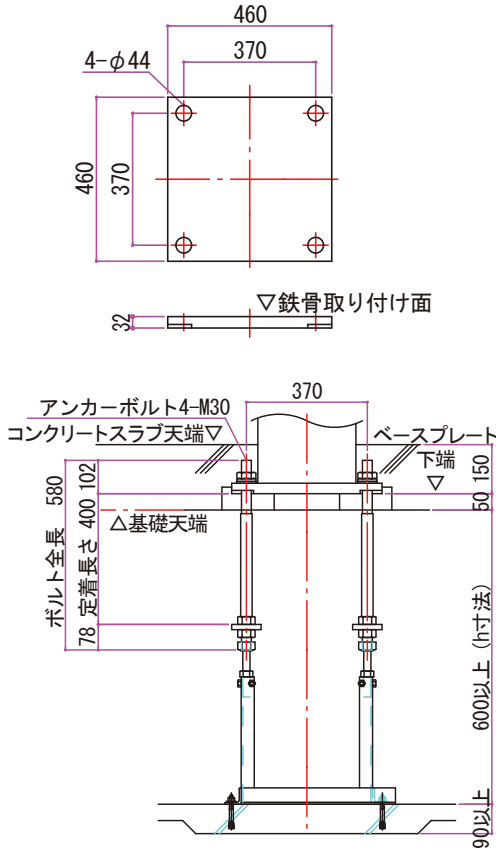
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

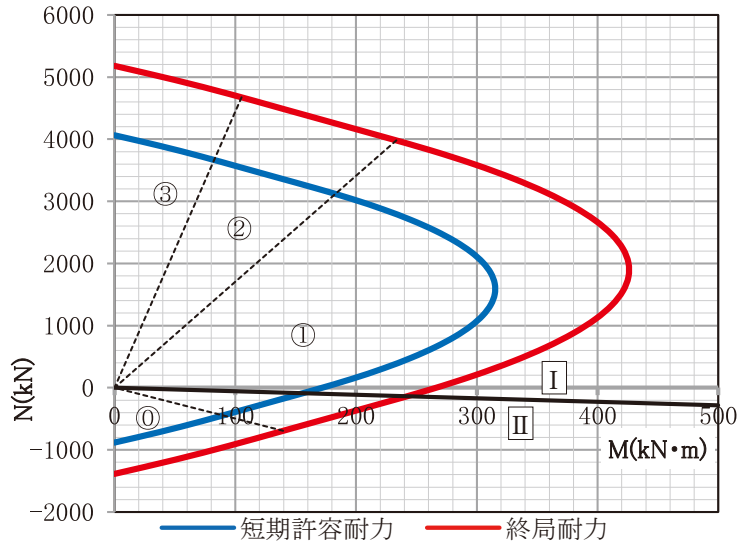
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 300 × 300 (板厚範囲:6 ~ 22mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M30
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	70.1

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	660	8-D19(SD345)	D13@150(SD295)	660	16-D19(SD345)	D13@150(SD295)	270
<中柱用>	660	8-D19(SD345)	D13@150(SD295)	660	16-D19(SD345)	D13@150(SD295)	270

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

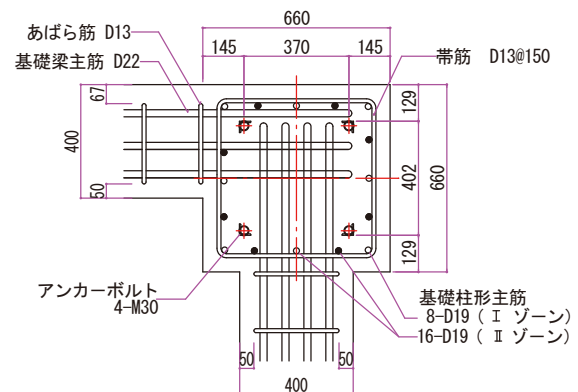
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~550	320~550	370~550	420~550
D22	270~550	330~550	390~550	450~550
D25	280~550	350~550	420~550	490~550

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~440	290~440	330~440	380~440
D22	270~440	300~440	350~440	400~440
D25	270~440	310~440	370~440	440

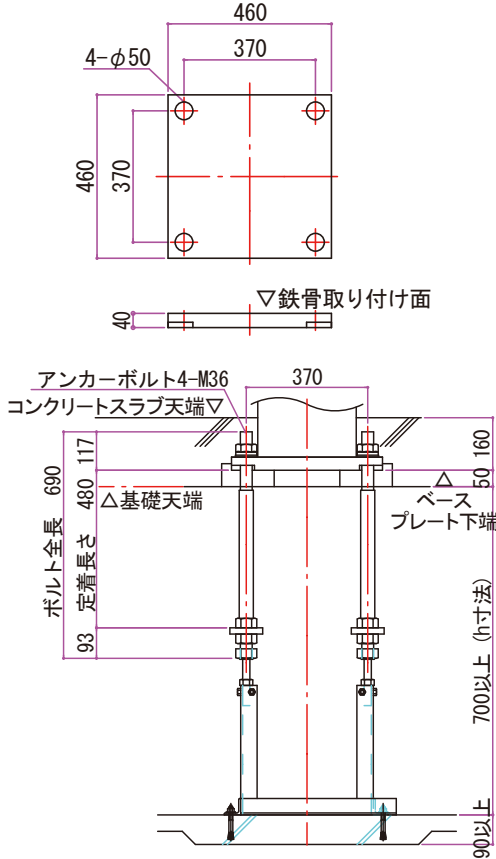


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

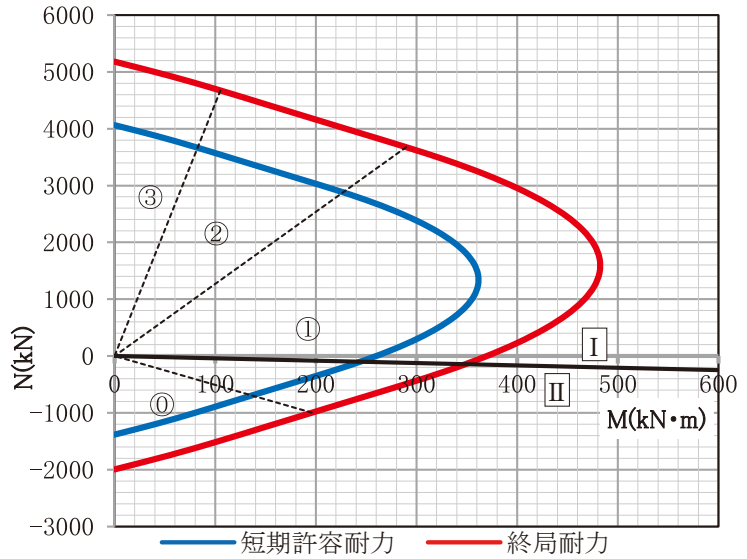
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 300 × 300 (板厚範囲:6 ~ 22mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M36
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	82.9

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(エコタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	660	12-D19(SD345)	D13@100(SD295)	660	20-D19(SD345)	D13@100(SD295)	330
<中柱用>	660	12-D19(SD345)	D13@100(SD295)	660	20-D19(SD345)	D13@100(SD295)	330

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

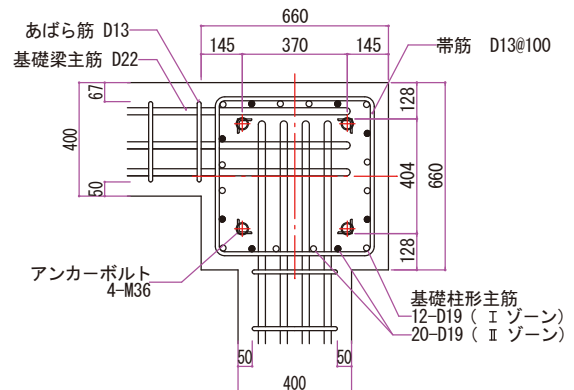
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	280~540	330~540	380~540	430~540
D22	280~540	340~540	400~540	460~540
D25	280~540	350~540	420~540	490~540

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~420	290~420	330~420	380~420
D22	270~420	300~420	350~420	400~420
D25	270~420	310~420	370~420	

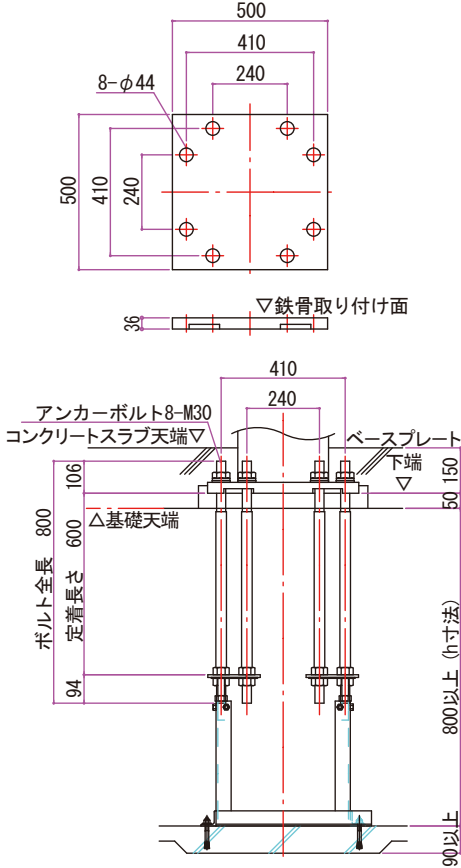


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

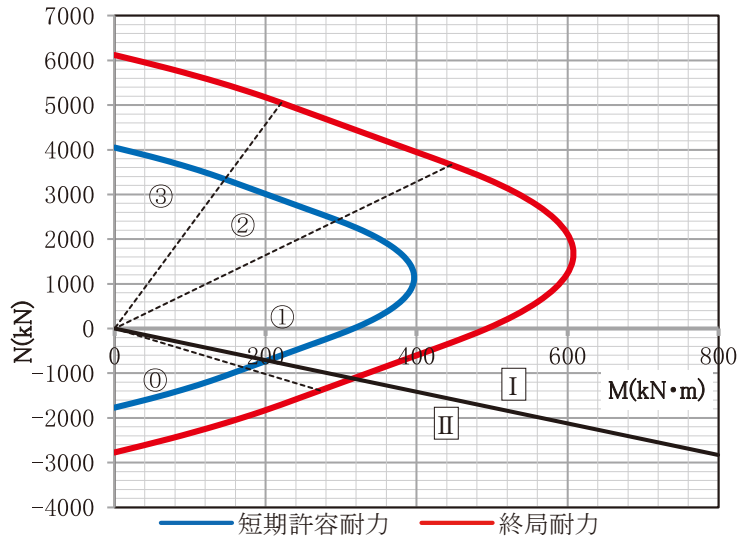
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 300 × 300 (板厚範囲:6 ~ 22mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M30
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	69.4

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	700	16-D22(SD345)	D13@150(SD295)	700	20-D22(SD345)	D13@100(SD295)	410
<中柱用>	700	16-D22(SD345)	D13@150(SD295)	700	20-D22(SD345)	D13@100(SD295)	410

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

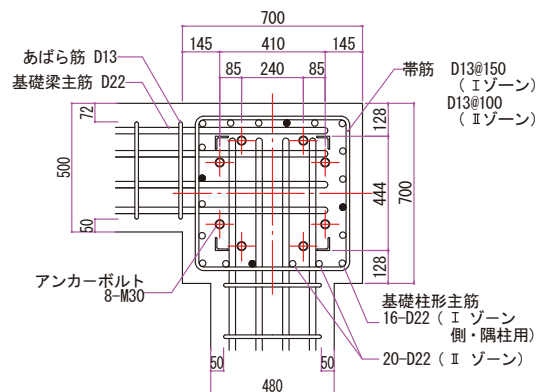
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	350~510	400~510	450~510	500~510
D22	350~510	410~510	470~510	
D25	350~510	420~510	490~510	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~320	290~320	*480	*480
D22	270~320	300~320	*480	*480
D25	270~320	310~320	*480	*480



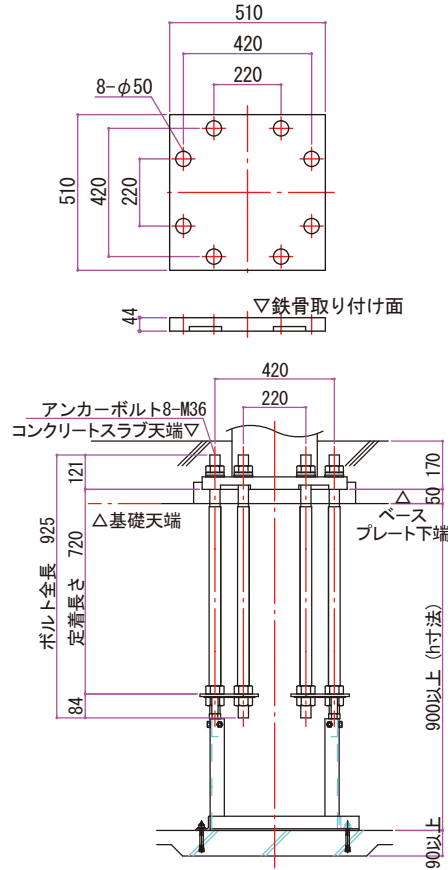
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

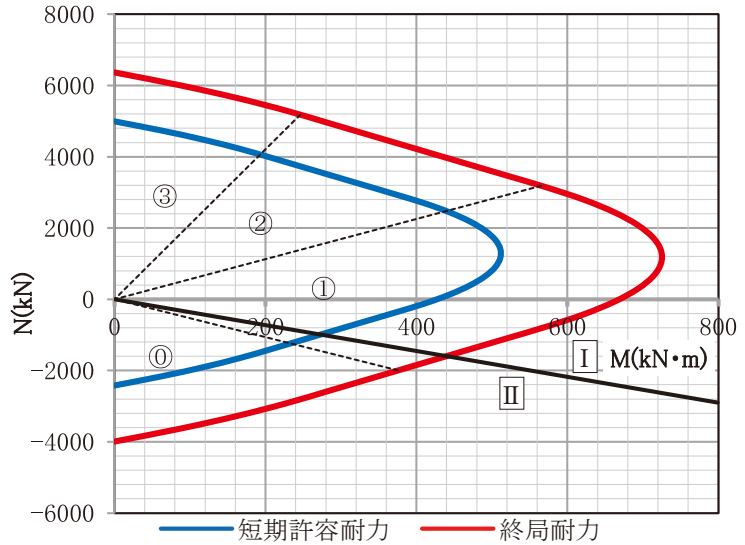
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 300 × 300 (板厚範囲:6 ~ 22mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M36
回転ばね定数(×10 ³ kN・m/rad)	84.0

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(エコタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	720	16-D25(SD345)	D13@150(SD295)	720	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	570
<中柱用>	720	16-D25(SD345)	D13@150(SD295)	720	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	570

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

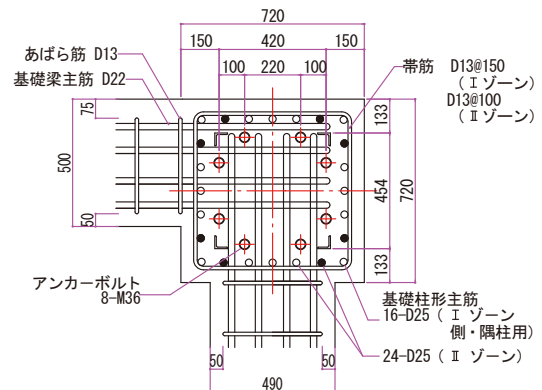
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	370~500	420~500	470~500	
D22	370~500	430~500	490~500	
D25	380~500	450~500		

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~290	290	*490	
D22	270~290	*490	*490	
D25	270~290	*490	*490	



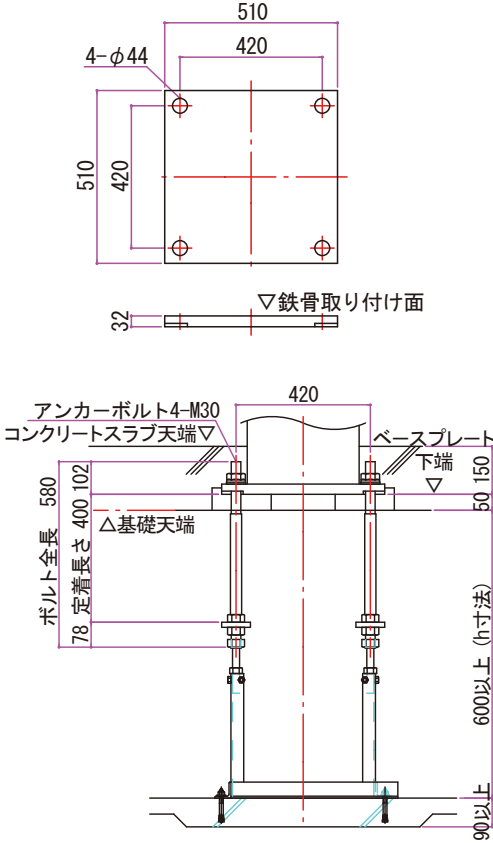
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

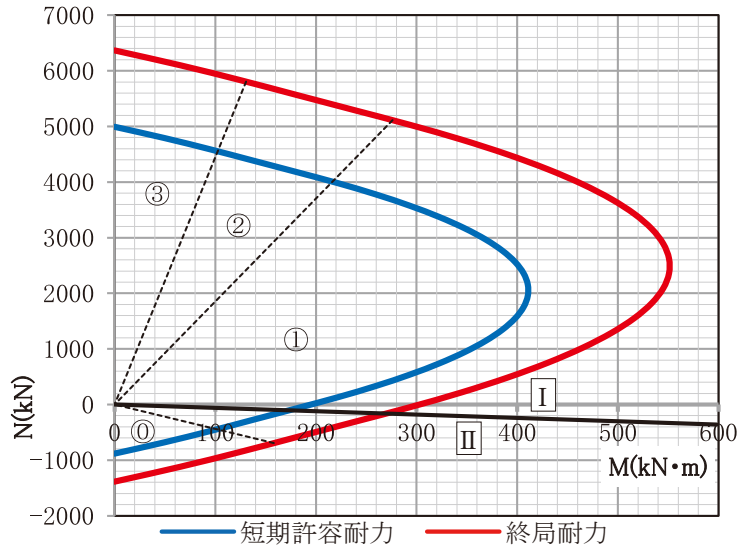
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 350 × 350 (板厚範囲:9 ~ 22mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M30
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	93.1

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	710	8-D19(SD345)	D13@100(SD295)	710	16-D19(SD345)	D13@100(SD295)	240
<中柱用>	710	8-D19(SD345)	D13@100(SD295)	710	16-D19(SD345)	D13@100(SD295)	240

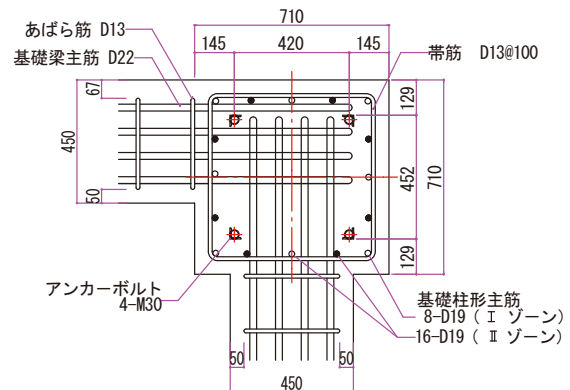
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~600	320~600	370~600	420~600
D22	270~600	330~600	390~600	450~600
D25	270~600	350~600	420~600	490~600

柱形中心基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~490	290~490	330~490	380~490
D22	270~490	300~490	350~490	400~490
D25	270~490	310~490	370~490	440~490

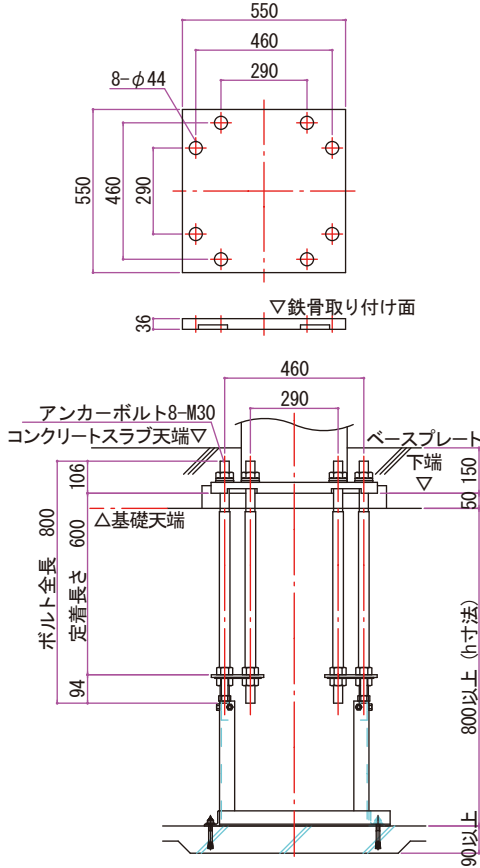


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

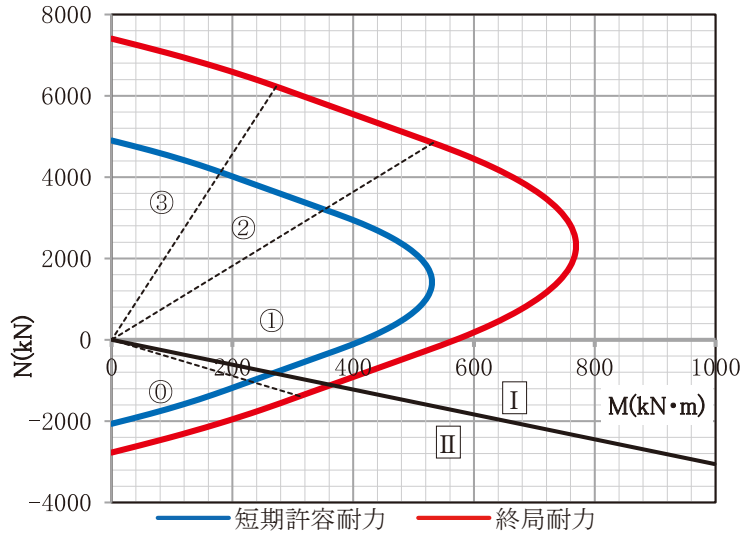
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 350 × 350 (板厚範囲:9 ~ 22mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M30
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	89.5

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(エコタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	750	16-D22(SD345)	D13@150(SD295)	750	20-D22(SD345)	D13@150(SD295)	460
<中柱用>	750	16-D22(SD345)	D13@150(SD295)	750	20-D22(SD345)	D13@150(SD295)	460

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

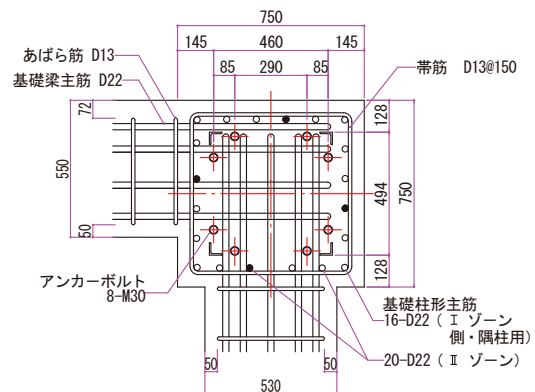
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	350~560	400~560	450~560	500~560
D22	350~560	410~560	470~560	530~560
D25	350~560	420~560	490~560	560

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~370	290~370	330~370	*530
D22	270~370	300~370	350~370	*530
D25	270~370	310~370	370	*530



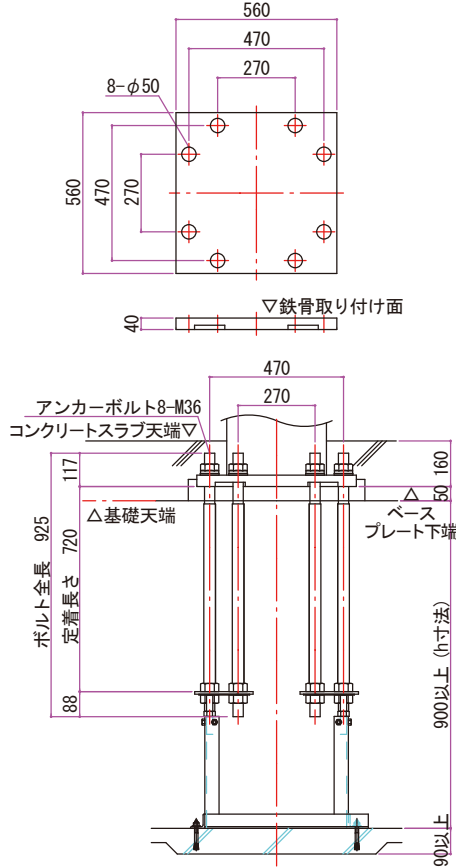
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

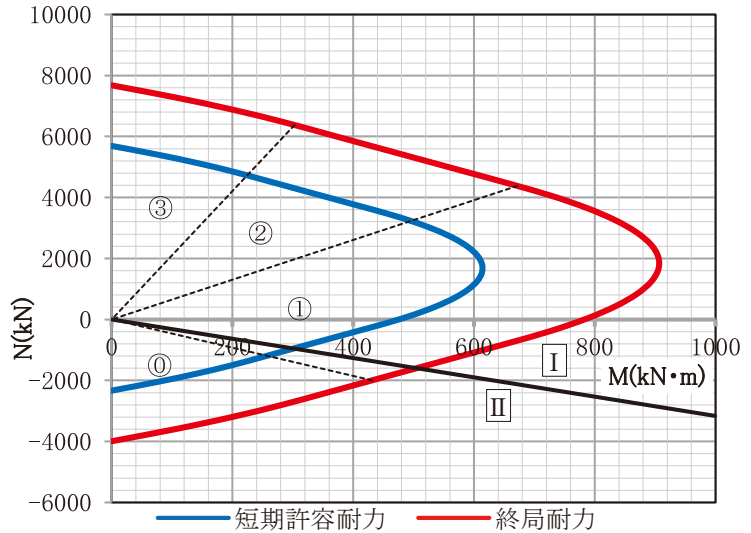
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 350 × 350 (板厚範囲:9 ~ 22mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M36
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	105

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	770	16-D25(SD345)	D13@150(SD295)	770	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	540
<中柱用>	770	16-D25(SD345)	D13@150(SD295)	770	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	540

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

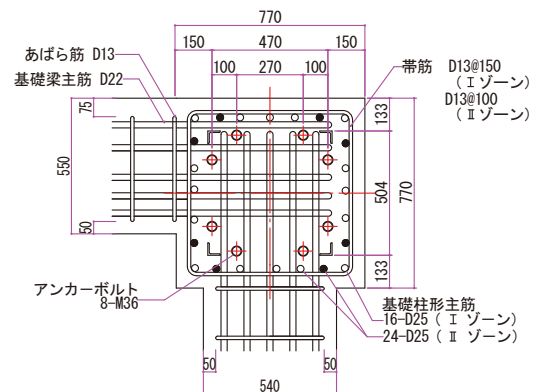
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	370~550	420~550	470~550	520~550
D22	370~550	430~550	490~550	550
D25	380~550	450~550	520~550	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~340	290~340	330~340	*540
D22	270~340	300~340	*540	*540
D25	270~340	310~340	*540	*540



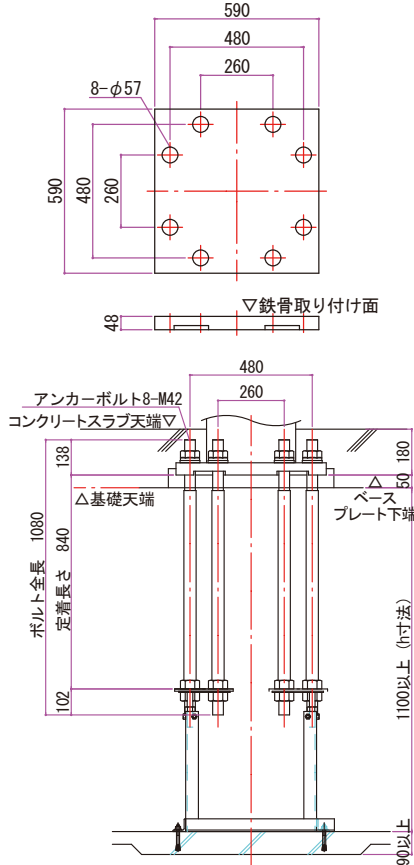
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

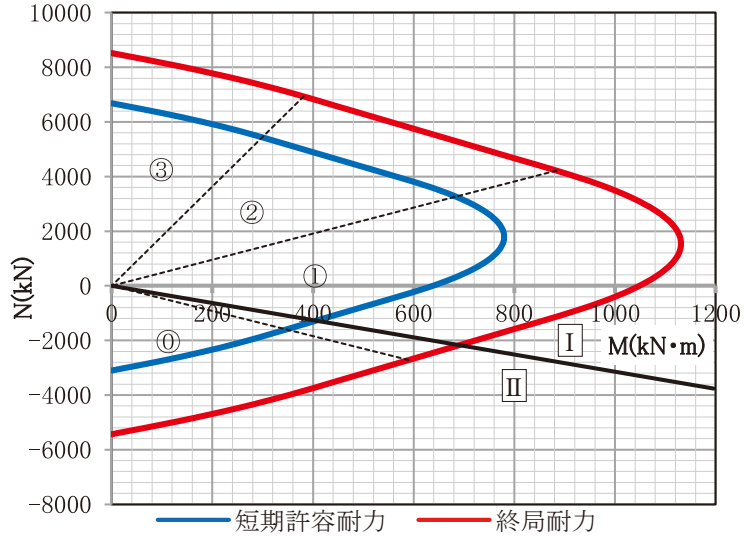
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 350 × 350 (板厚範囲:9 ~ 22mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M42
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	133

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(エコタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	790	20-D25(SD345)	D13@150(SD295)	790	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	710
<中柱用>	790	20-D25(SD345)	D13@150(SD295)	790	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	710

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

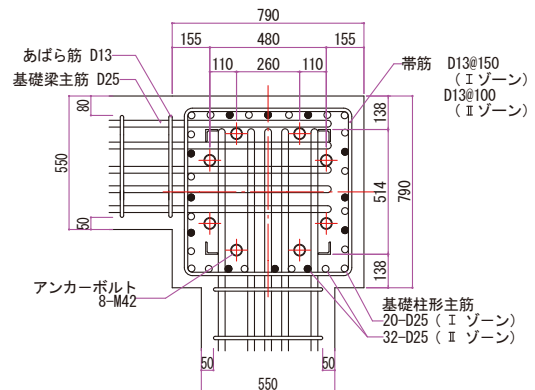
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	390~550	450~550	510~550	
D25	400~550	470~550	540~550	
D29	400~550	480~550		

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~320	300~320	*550	*550
D25	270~320	310~320	*550	*550
D29		320	*550	*550



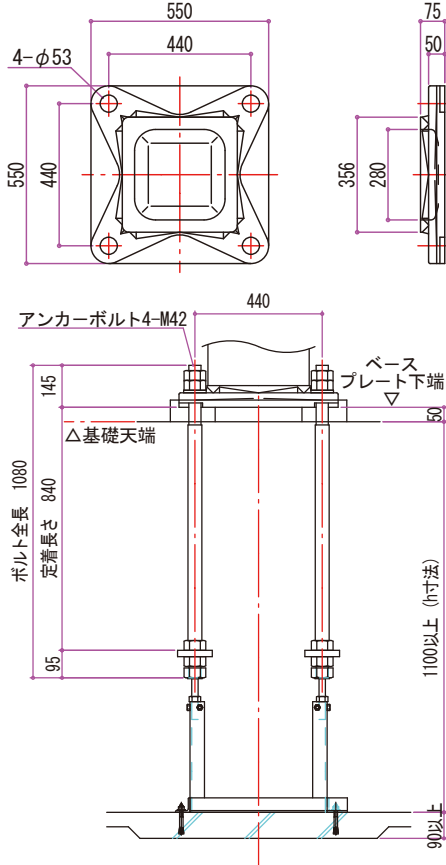
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

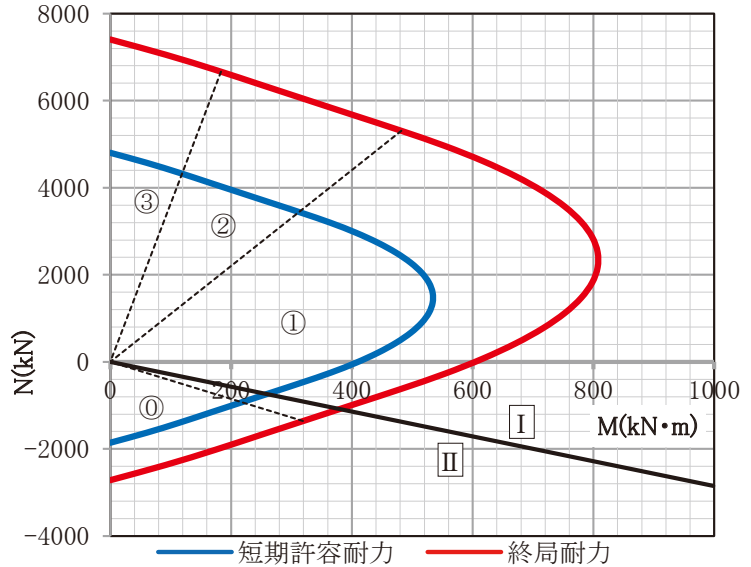
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 350 × 350 (板厚範囲:9 ~ 25mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M42
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	128

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	750	12-D25(SD345)	D13@150(SD295)	750	16-D25(SD345)	D13@150(SD295)	480
<中柱用>	750	12-D25(SD345)	D13@150(SD295)	750	16-D25(SD345)	D13@150(SD295)	480

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

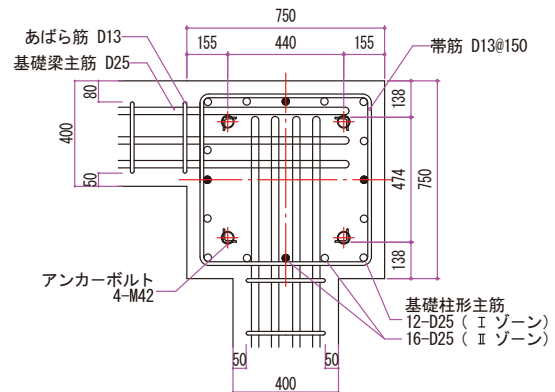
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	290~610	350~610	410~610	470~610
D25	290~610	360~610	430~610	500~610
D29		380~610	460~610	540~610

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~480	300~480	350~480	400~480
D25	270~480	310~480	370~480	440~480
D29		340~480	400~480	480



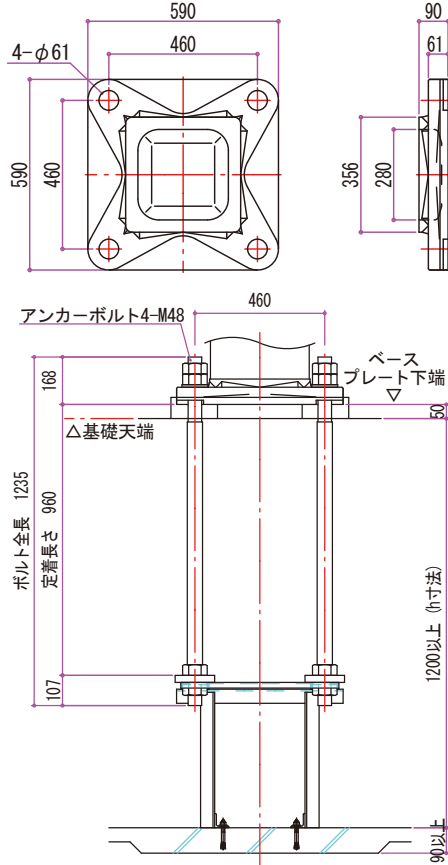
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

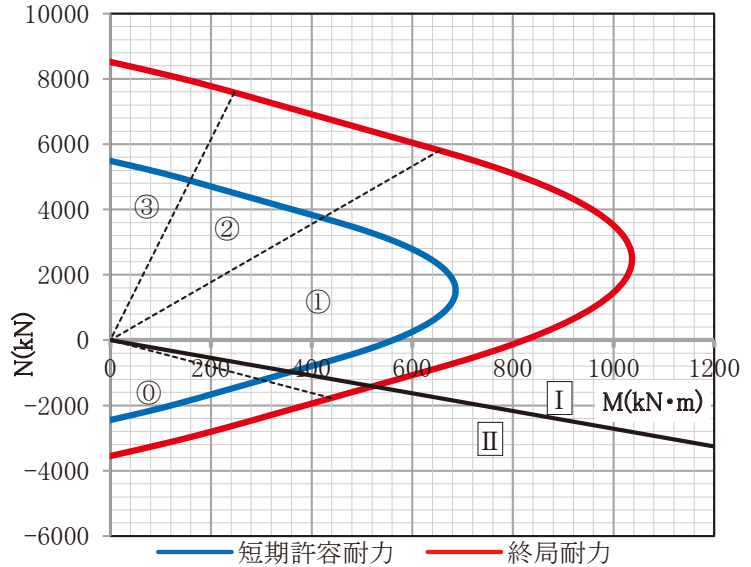
角形鋼管柱用(Gタイプ)

適用柱	角形鋼管柱 □ 350 × 350 (板厚範囲:9 ~ 25mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M48
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	156

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	790	12-D25(SD345)	D13@150(SD295)	790	20-D25(SD345)	D13@150(SD295)	580
<中柱用>	790	12-D25(SD345)	D13@150(SD295)	790	20-D25(SD345)	D13@150(SD295)	580

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

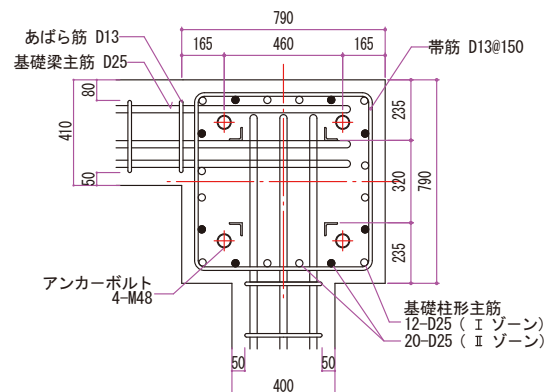
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	340~600	400~600	460~600	520~600
D25	340~600	410~600	480~600	550~600
D29		420~600	500~600	580~600

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~430	300~430	350~430	400~430
D25	270~430	310~430	370~430	
D29		340~430	400~430	

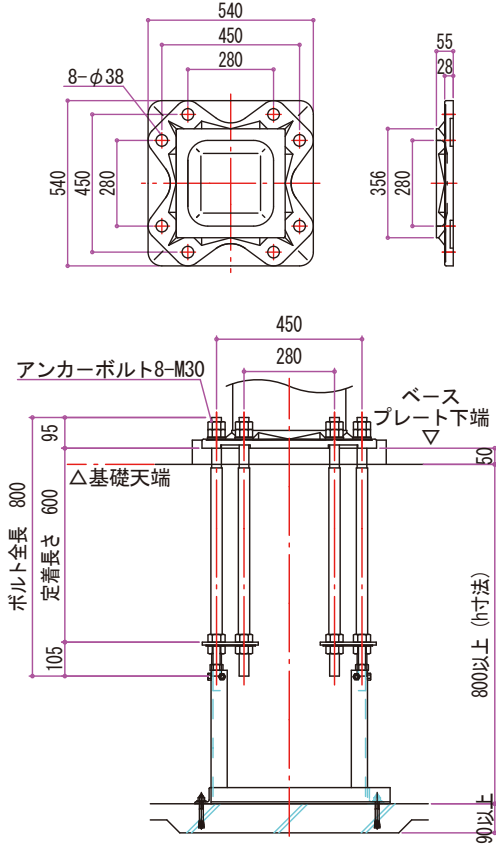


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

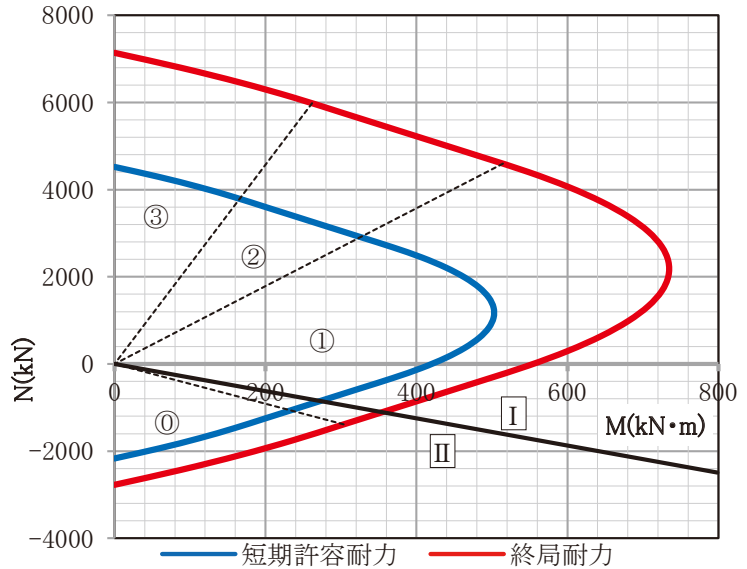
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □350 (板厚範囲:9~25mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M30
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	150

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	740	16-D22(SD345)	D13@150(SD295)	740	20-D22(SD345)	D13@150(SD295)	470
<中柱用>	740	16-D22(SD345)	D13@150(SD295)	740	20-D22(SD345)	D13@150(SD295)	470

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

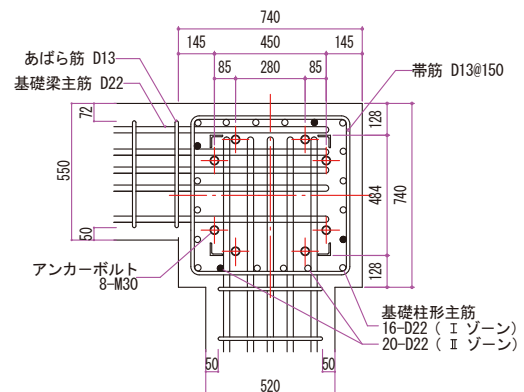
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	350~550	400~550	450~550	500~550
D22	350~550	410~550	470~550	530~550
D25	350~550	420~550	490~550	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~360	290~360	330~360	*520
D22	270~360	300~360	350~360	*520
D25	270~360	310~360	*520	*520



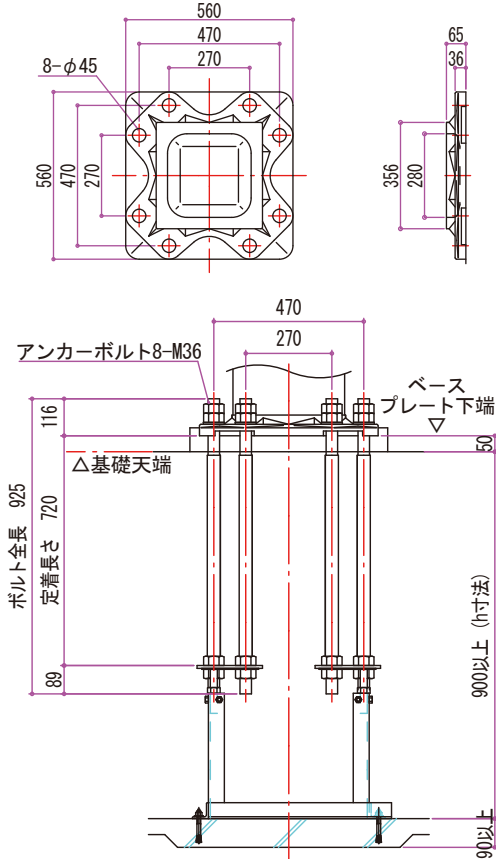
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

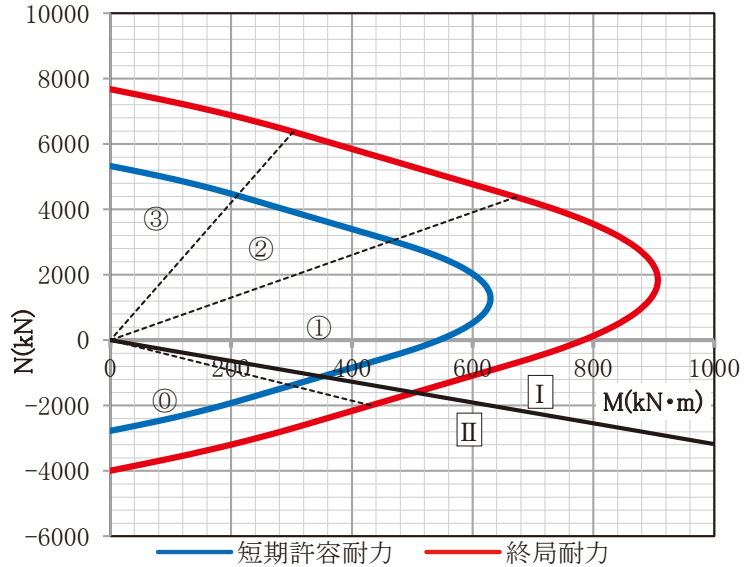
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □350 (板厚範囲:9~25mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M36
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	188

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	770	16-D25(SD345)	D13@150(SD295)	770	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	560
<中柱用>	770	16-D25(SD345)	D13@150(SD295)	770	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	560

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

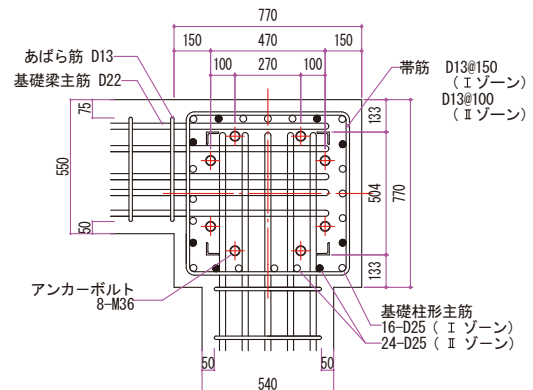
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	370~550	420~550	470~550	520~550
D22	370~550	430~550	490~550	550
D25	380~550	450~550	520~550	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~340	290~340	330~340	*540
D22	270~340	300~340	*540	*540
D25	270~340	310~340	*540	*540



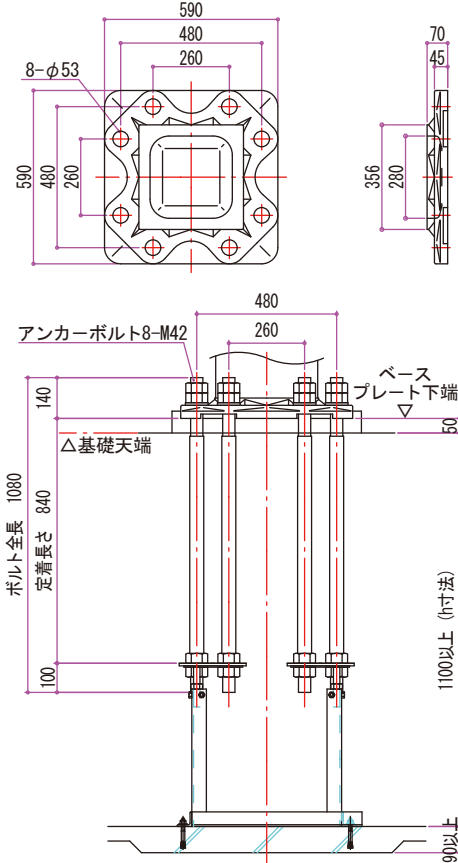
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

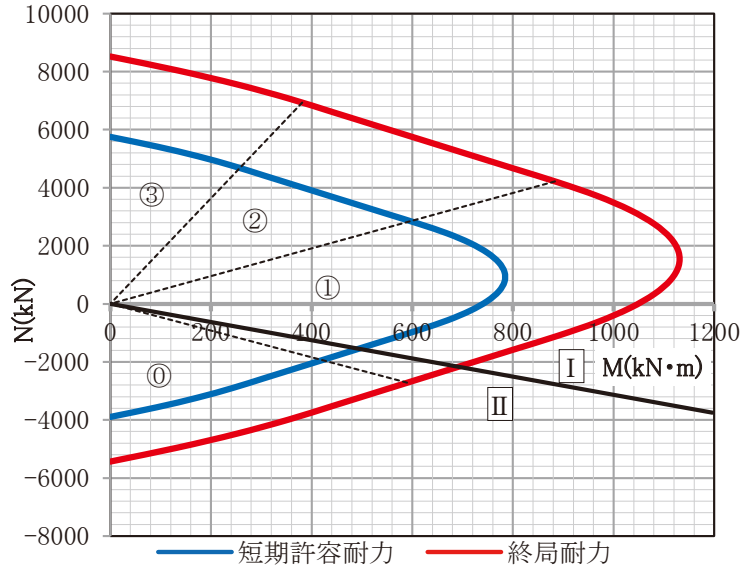
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 350 × 350 (板厚範囲:9 ~ 25mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M42
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	216

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	790	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	800	32-D25(SD345)	D16@100(SD295)	610
<中柱用>	790	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	800	32-D25(SD345)	D16@100(SD295)	610

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

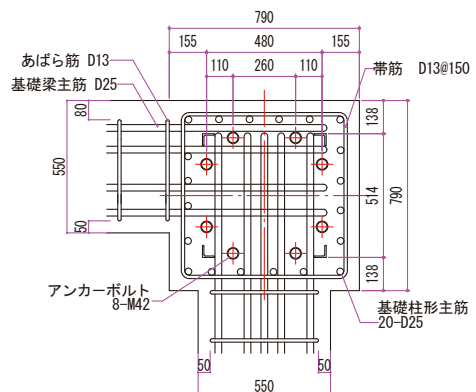
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	390~550	450~550	510~550	
D25	400~550	470~550	540~550	
D29	400~550	480~550		

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~320	300~320	*550	*550
D25	270~320	310~320	*550	*550
D29		*550	*550	*550



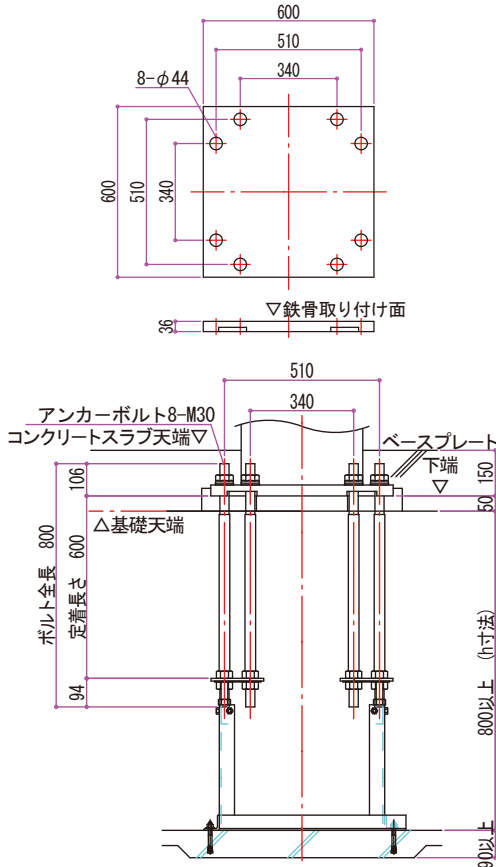
注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

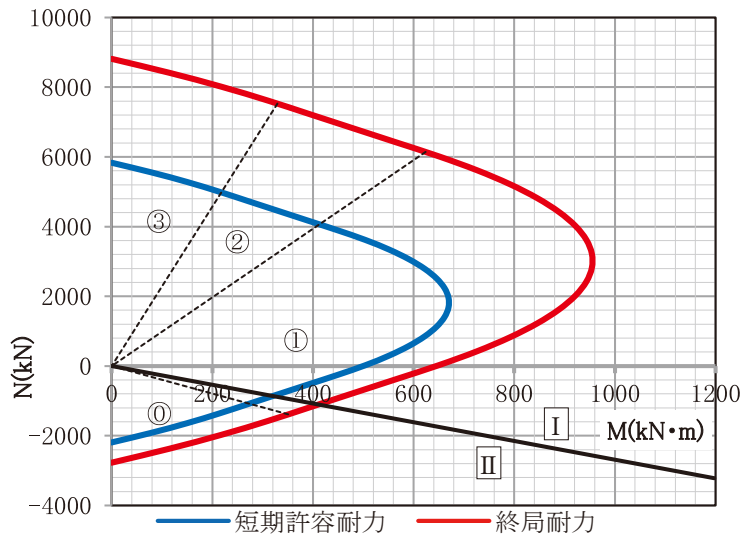
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □400×400 (板厚範囲:9~25mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M30
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	111

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(エコタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	800	16-D22(SD345)	D13@150(SD295)	800	20-D22(SD345)	D13@150(SD295)	450
<中柱用>	800	12-D22(SD345)	D13@150(SD295)	800	20-D22(SD345)	D13@150(SD295)	450

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

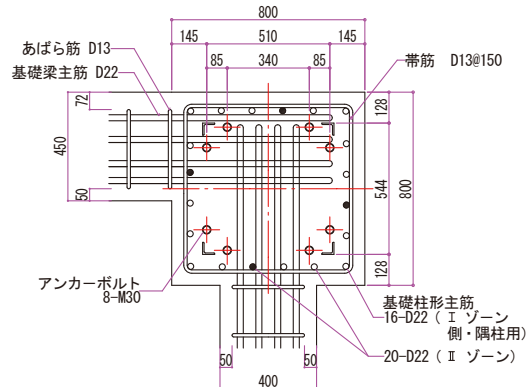
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	350~610	400~610	450~610	500~610
D22	350~610	410~610	470~610	530~610
D25	350~610	420~610	490~610	560~610

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~420	290~420	330~420	380~420
D22	270~420	300~420	350~420	400~420
D25	270~420	310~420	370~420	420

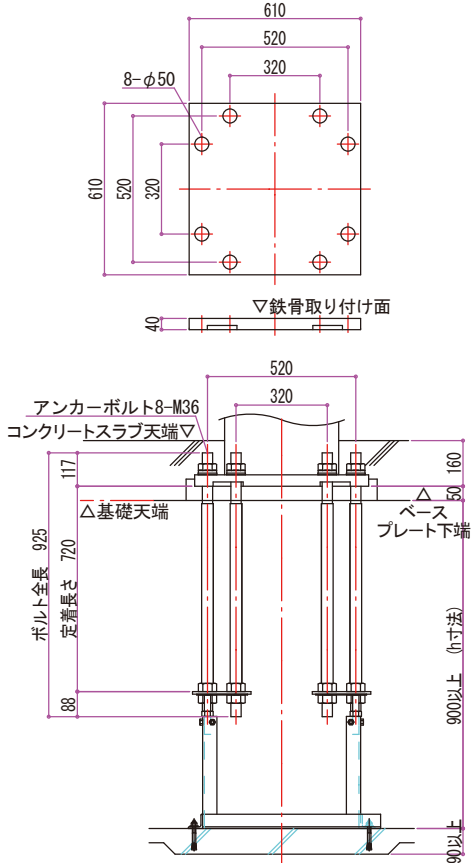


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

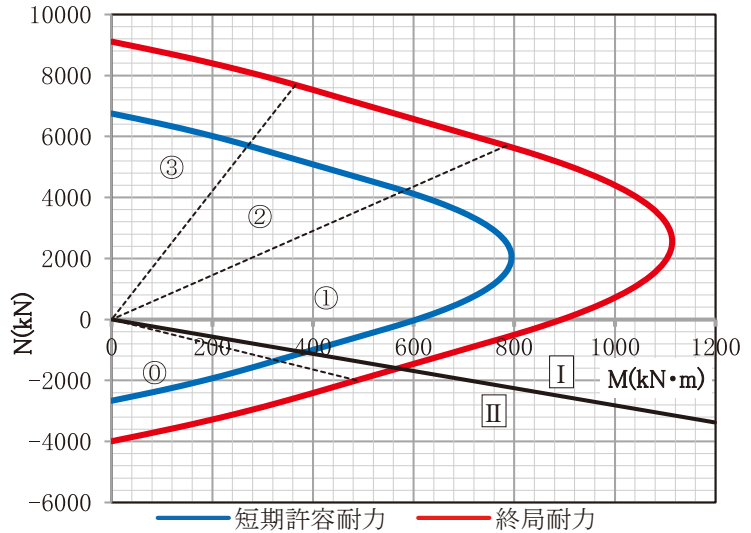
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 400 × 400 (板厚範囲:9 ~ 25mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M36
回転ばね定数(×10 ³ kN・m/rad)	127

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	820	16-D25(SD345)	D13@100(SD295)	820	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	530
<中柱用>	820	12-D25(SD345)	D13@100(SD295)	820	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	530

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

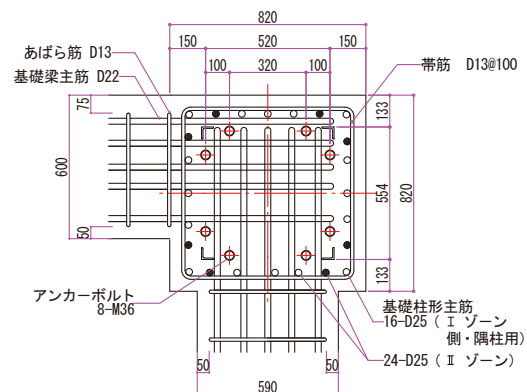
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	370~600	420~600	470~600	520~600
D22	370~600	430~600	490~600	550~600
D25	380~600	450~600	520~600	590~600

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~390	290~390	330~390	380~390
D22	270~390	300~390	350~390	*590
D25	270~390	310~390	370~390	*590



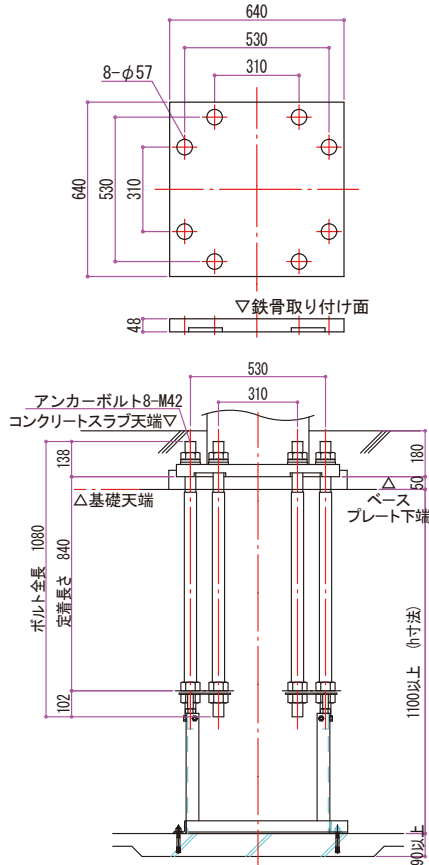
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

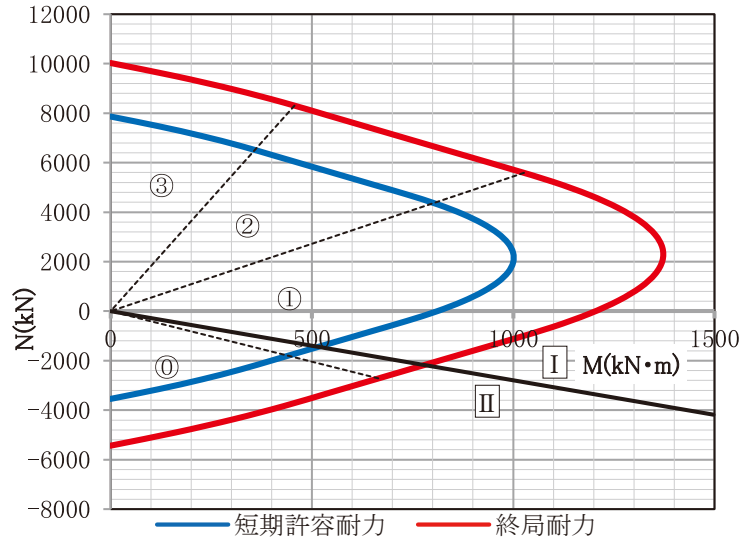
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 400 × 400 (板厚範囲:9 ~ 25mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M42
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	175

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(エコタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	840	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	840	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	680
<中柱用>	840	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	840	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	680

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

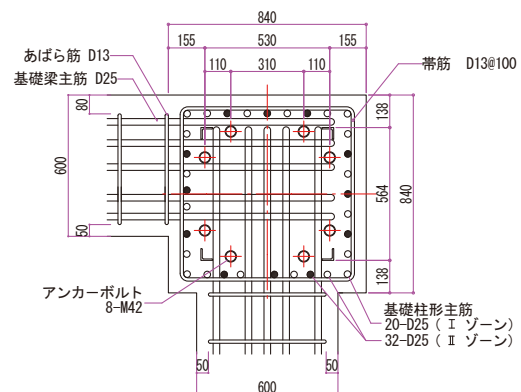
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	390~600	450~600	510~600	570~600
D25	400~600	470~600	540~600	
D29	400~600	480~600	560~600	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~370	300~370	350~370	*600
D25	270~370	310~370	370	*600
D29		340~370	*600	*600



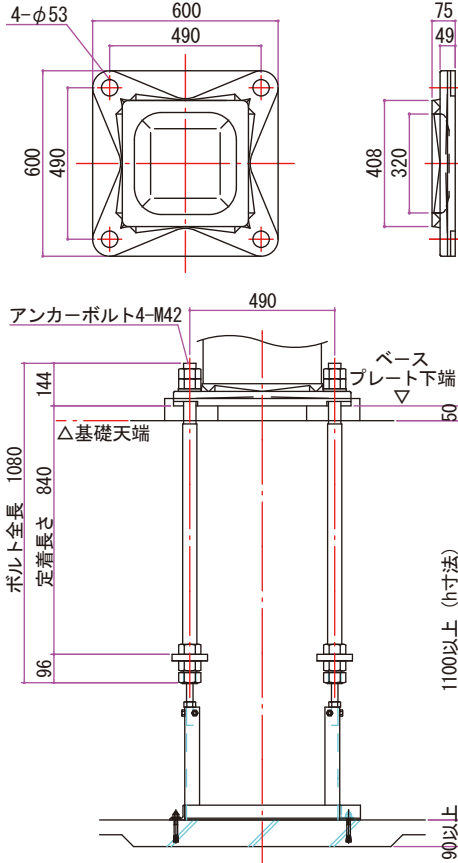
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

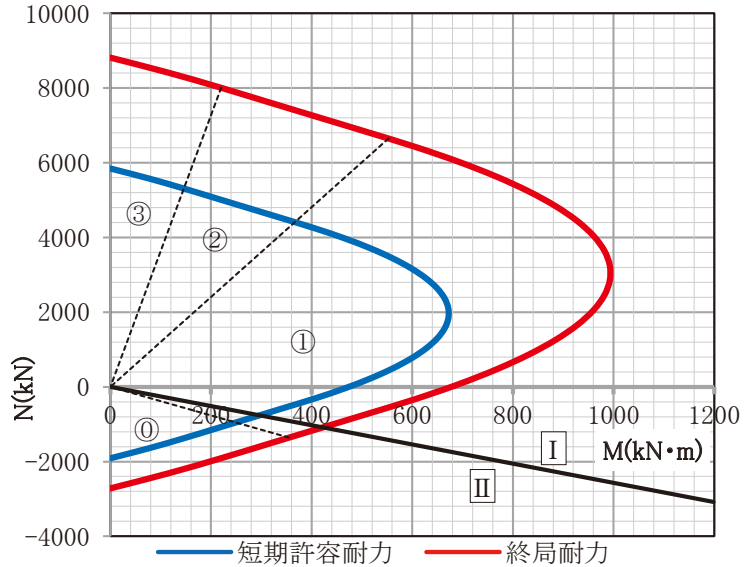
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □400×400 (板厚範囲:9~32mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M42
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	163

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	810	12-D25(SD345)	D13@100(SD295)	810	16-D25(SD345)	D13@100(SD295)	400
<中柱用>	810	12-D25(SD345)	D13@100(SD295)	810	16-D25(SD345)	D13@100(SD295)	400

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

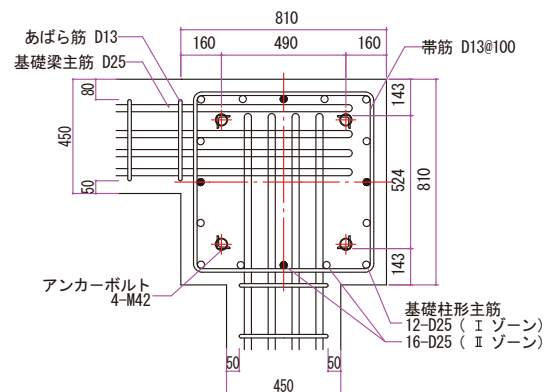
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	300~660	360~660	420~660	480~660
D25	300~660	370~660	440~660	510~660
D29		380~660	460~660	540~660

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~530	300~530	340~530	400~530
D25	270~530	310~530	370~530	440~530
D29		340~530	400~530	480~530

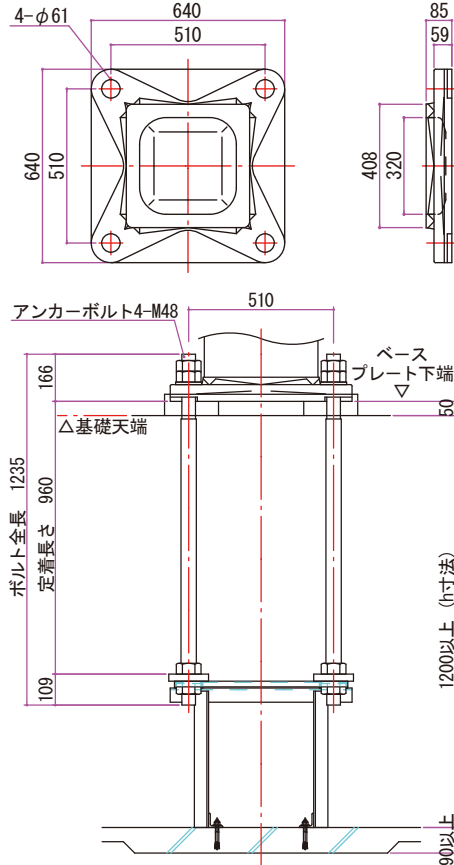


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

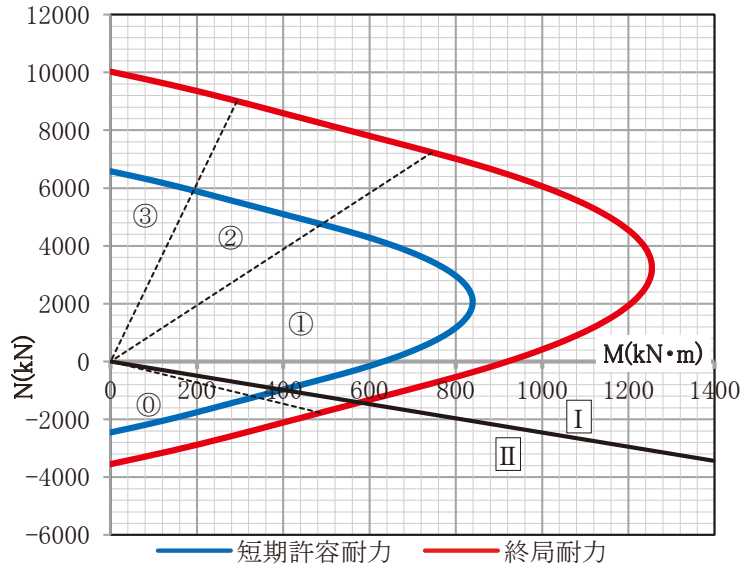
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 400 × 400 (板厚範囲:9 ~ 32mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M48
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	194

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	840	12-D25(SD345)	D13@100(SD295)	840	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	500
<中柱用>	840	12-D25(SD345)	D13@100(SD295)	840	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	500

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

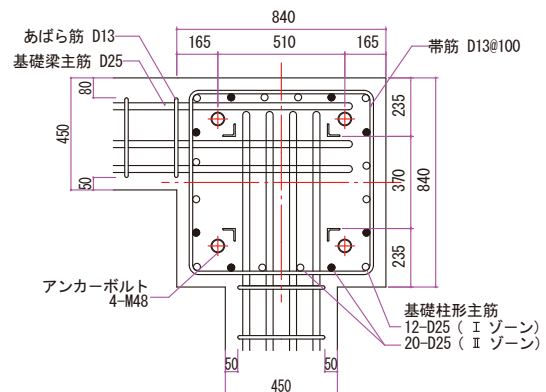
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	340~650	400~650	460~650	520~650
D25	340~650	410~650	480~650	550~650
D29		420~650	500~650	580~650

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~480	300~480	340~480	400~480
D25	270~480	310~480	370~480	440~480
D29		340~480	400~480	480

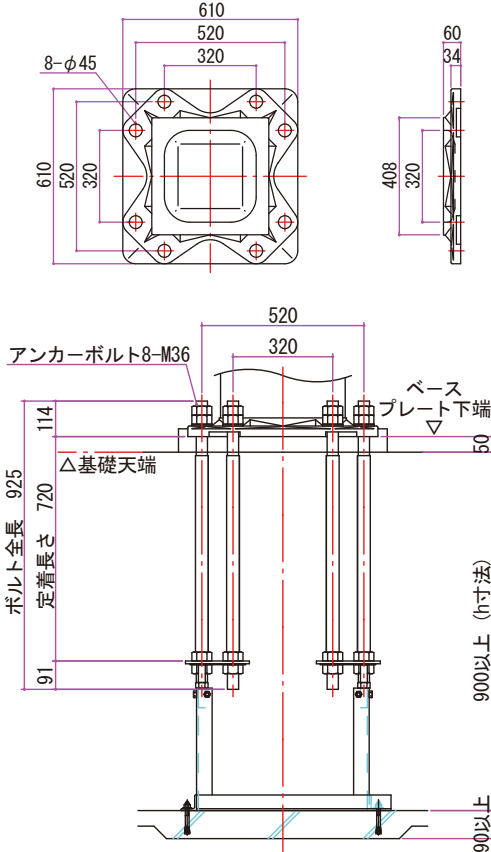


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

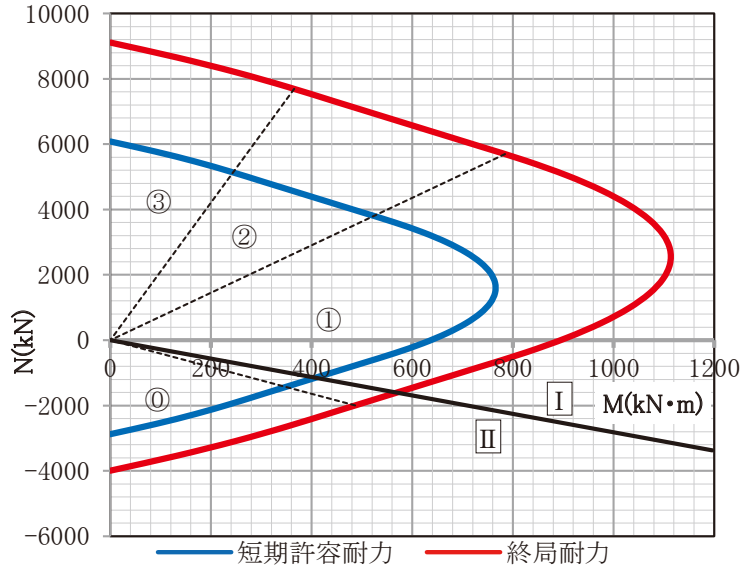
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 400 × 400 (板厚範囲:9 ~ 32mm)
ベースプレート	G タイプ (鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト (本数一呼び)	8-M36
回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	234

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	820	16-D25(SD345)	D13@100(SD295)	820	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	540
<中柱用>	820	16-D25(SD345)	D13@100(SD295)	820	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	540

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

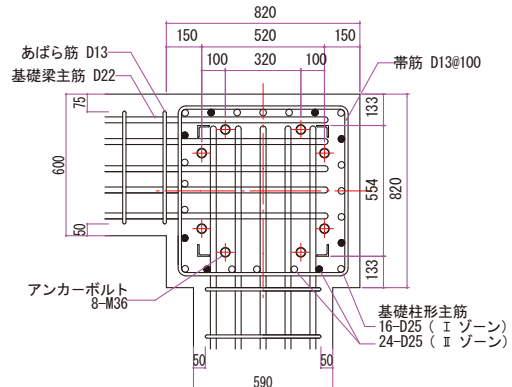
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	370~600	420~600	470~600	520~600
D22	370~600	430~600	490~600	550~600
D25	380~600	450~600	520~600	590~600

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~390	290~390	330~390	380~390
D22	270~390	300~390	350~390	*590
D25	270~390	310~390	370~390	*590



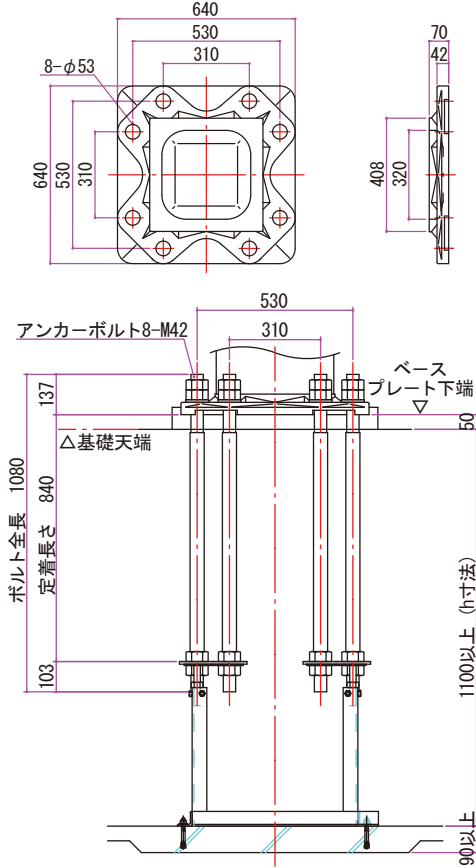
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

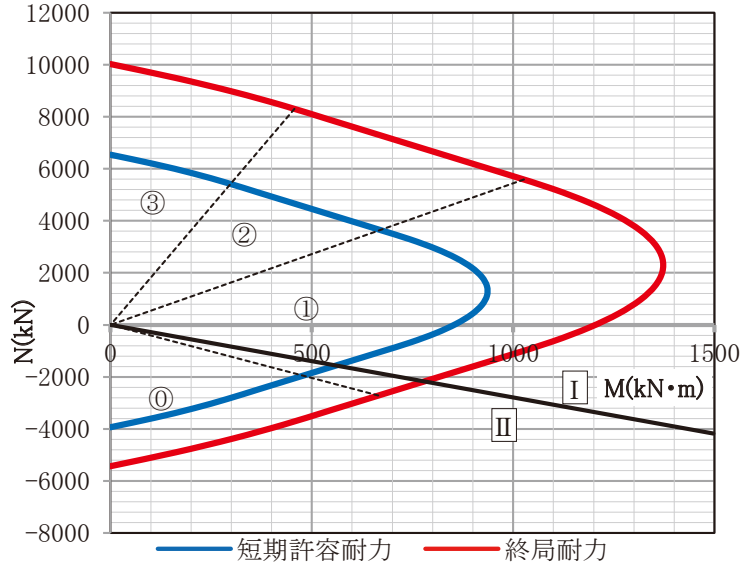
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 400 × 400 (板厚範囲:9 ~ 32mm)
ベースプレート	G タイプ (鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト (本数一呼び)	8-M42
回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	282

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	840	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	850	32-D25(SD345)	D16@100(SD295)	600
<中柱用>	840	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	850	32-D25(SD345)	D16@100(SD295)	600

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

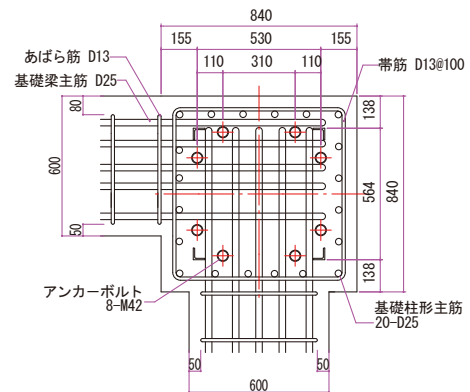
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	390~600	450~600	510~600	570~600
D25	400~600	470~600	540~600	
D29	400~600	480~600	560~600	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~370	300~370	340~370	*600
D25	270~370	310~370	370	*600
D29		340~370	*600	*600



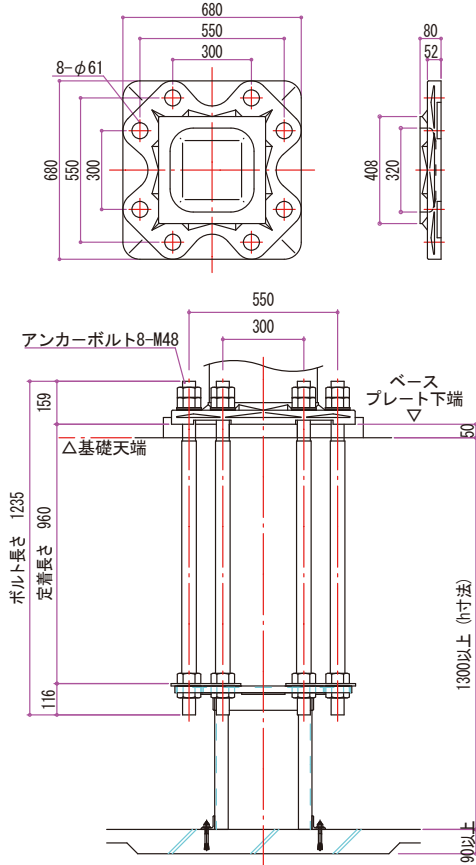
注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

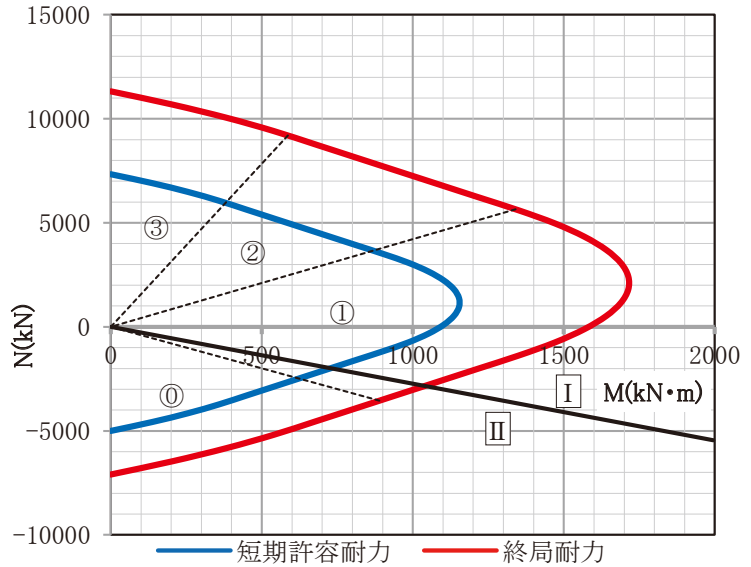
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □400×400 (板厚範囲:9~32mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M48
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	321

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	880	20-D29(SD390)	D13@100(SD295)	890	28-D29(SD390)	D16@100(SD295)	790
<中柱用>	880	20-D29(SD390)	D13@100(SD295)	890	28-D29(SD390)	D16@100(SD295)	790

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

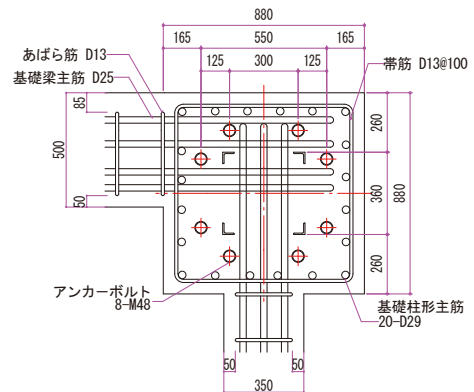
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	420~610	480~610	540~610	600~610
D25	420~610	490~610	560~610	
D29	430~610	510~610	590~610	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~360	300~360	350~360	*600
D25	270~360	310~360	*600	*600
D29		340~360	*600	*600



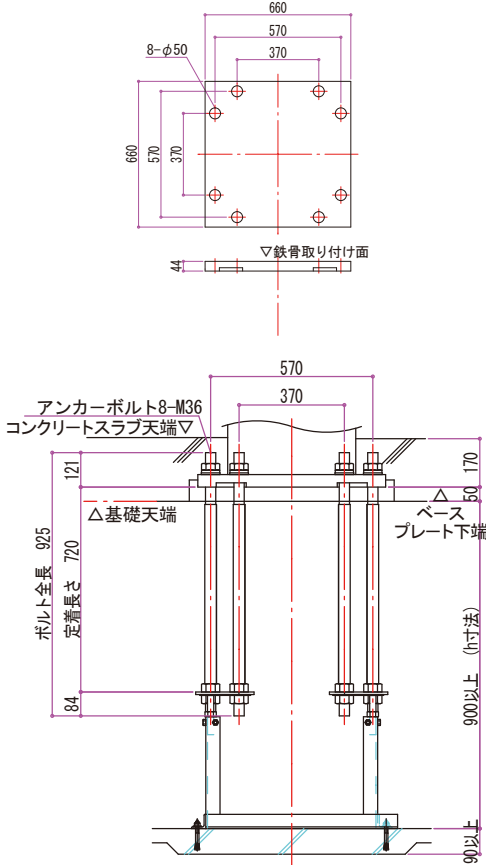
注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

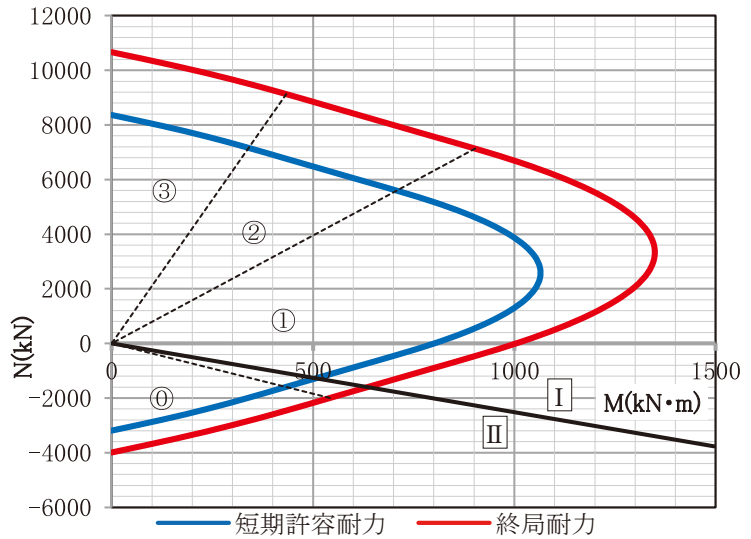
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 450 × 450 (板厚範囲:9 ~ 25mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M36
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	169

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(エコタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	870	16-D25(SD345)	D13@100(SD295)	870	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	520
<中柱用>	870	16-D25(SD345)	D13@100(SD295)	870	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	520

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

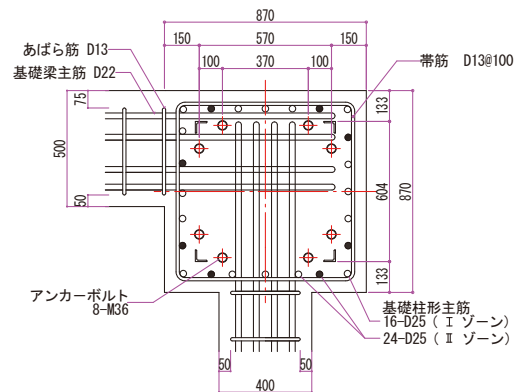
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	370~650	420~650	470~650	520~650
D22	370~650	430~650	490~650	550~650
D25	380~650	450~650	520~650	590~650

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~440	290~440	330~440	380~440
D22	270~440	300~440	350~440	400~440
D25	270~440	310~440	370~440	440

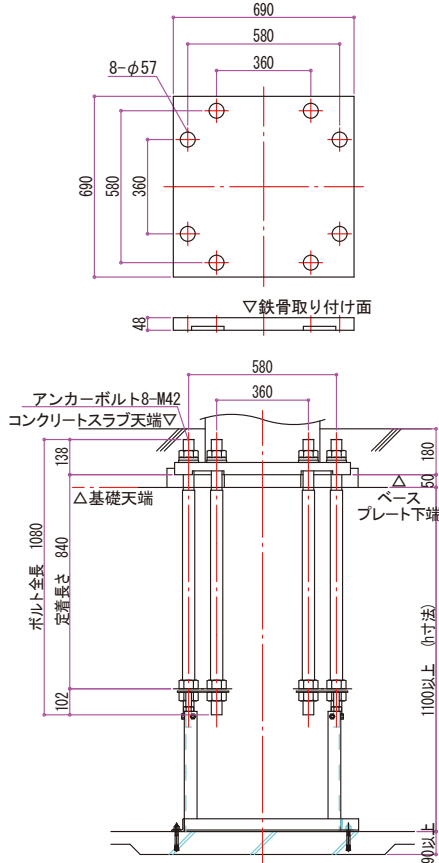


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

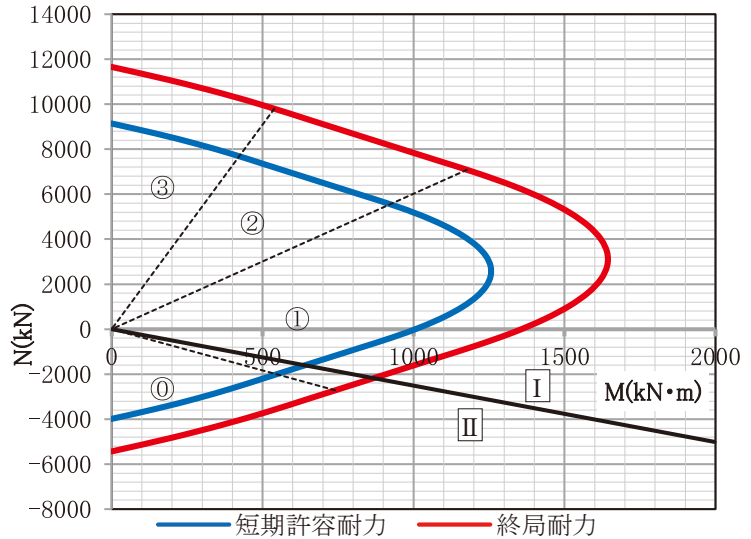
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □450×450 (板厚範囲:9~25mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M42
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	199

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	890	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	890	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	670
<中柱用>	890	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	890	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	670

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

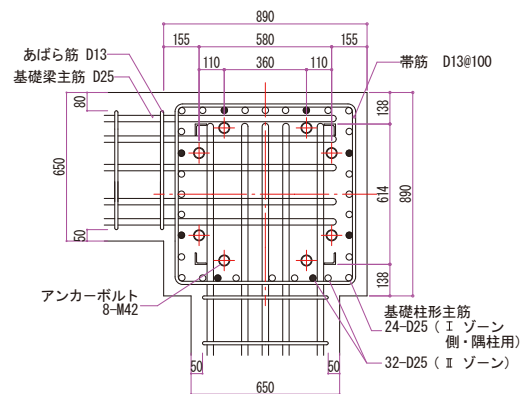
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	390~650	450~650	510~650	570~650
D25	400~650	470~650	540~650	610~650
D29	400~650	480~650	560~650	640~650

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~420	300~420	350~420	400~420
D25	270~420	310~420	370~420	*650
D29		340~420	400~420	*650



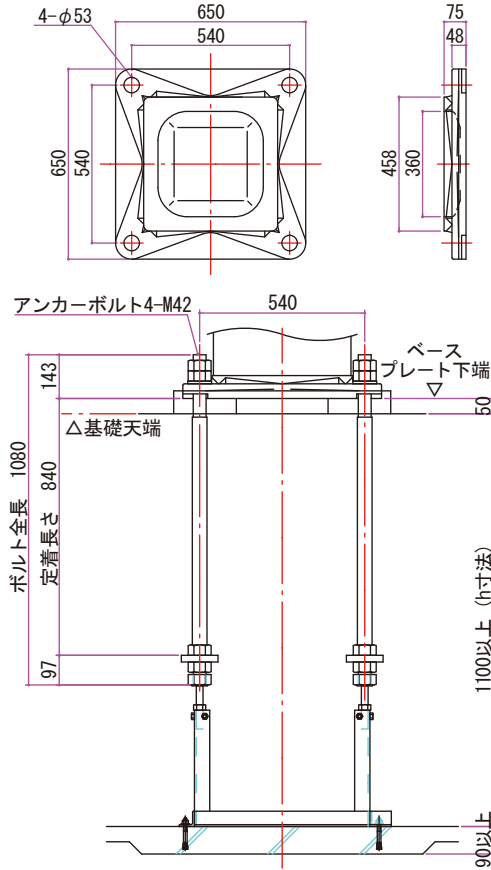
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

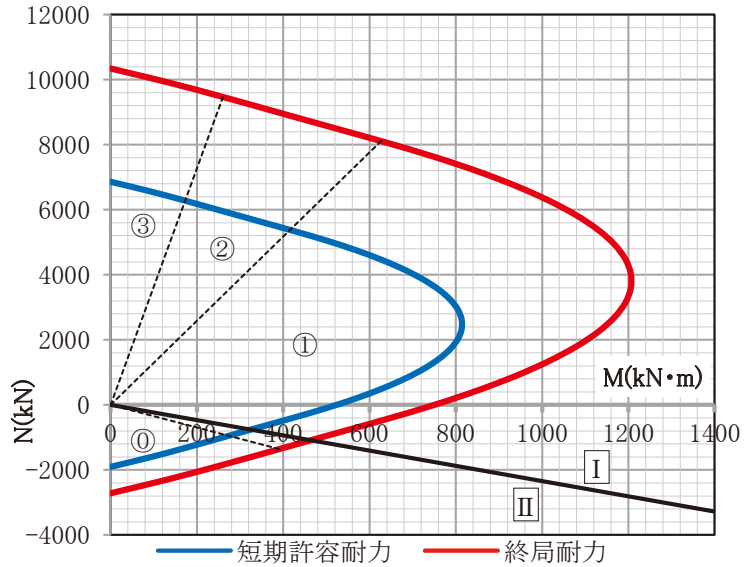
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □450×450 (板厚範囲:9~36mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M42
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	199

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	860	12-D25(SD345)	D13@100(SD295)	860	16-D25(SD345)	D13@100(SD295)	390
<中柱用>	860	12-D25(SD345)	D13@100(SD295)	860	16-D25(SD345)	D13@100(SD295)	390

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

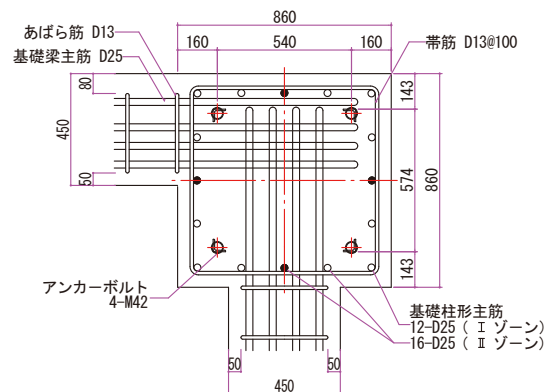
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	300~710	360~710	420~710	480~710
D25	300~710	370~710	440~710	510~710
D29		380~710	460~710	540~710

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~580	300~580	340~580	400~580
D25	270~580	310~580	370~580	440~580
D29		340~580	400~580	480~580

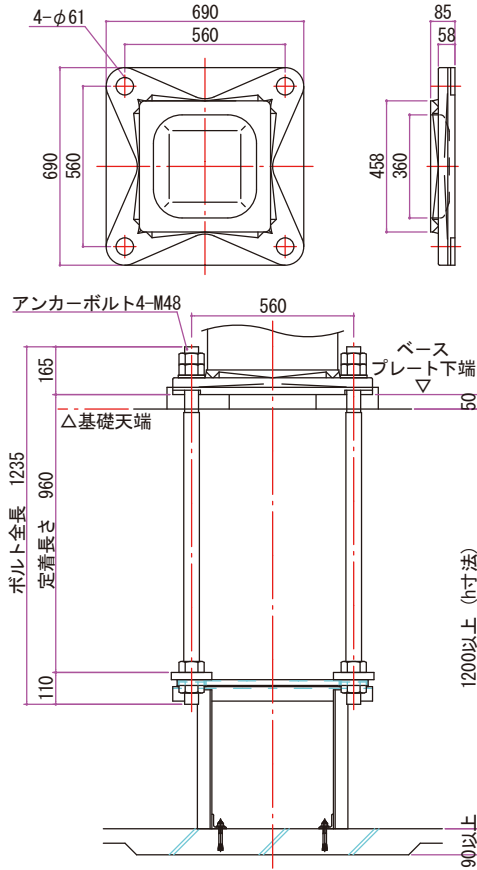


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

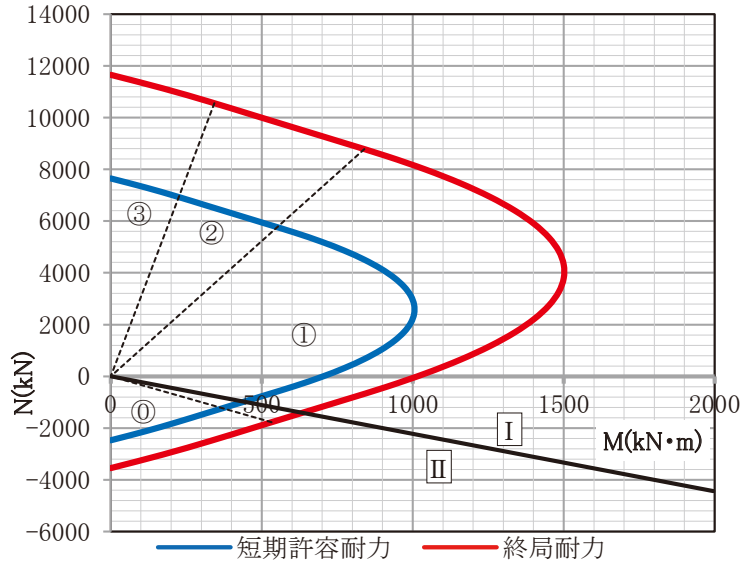
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □450×450 (板厚範囲:9~36mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M48
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	236

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	890	12-D25(SD345)	D13@100(SD295)	890	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	480
<中柱用>	890	12-D25(SD345)	D13@100(SD295)	890	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	480

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

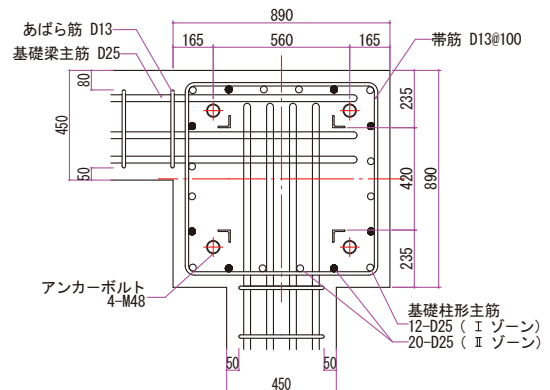
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	340~700	400~700	460~700	520~700
D25	340~700	410~700	480~700	550~700
D29		420~700	500~700	580~700

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~530	300~530	350~530	400~530
D25	270~530	310~530	370~530	440~530
D29		340~530	400~530	480~530

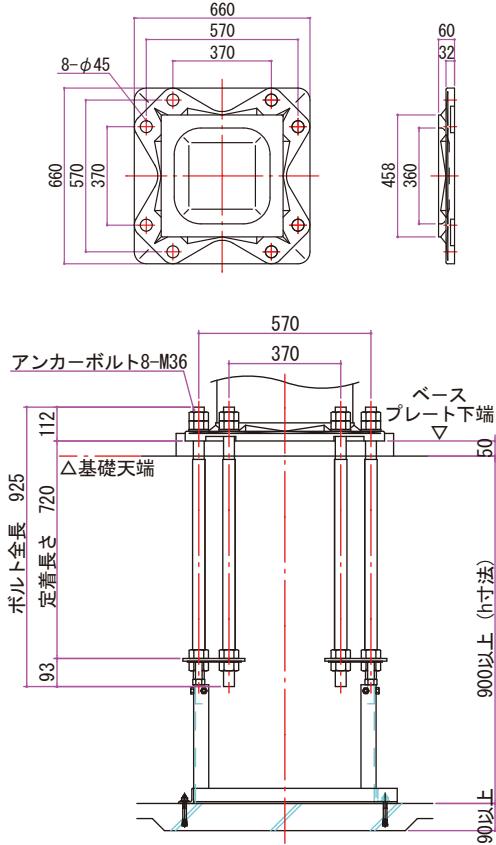


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

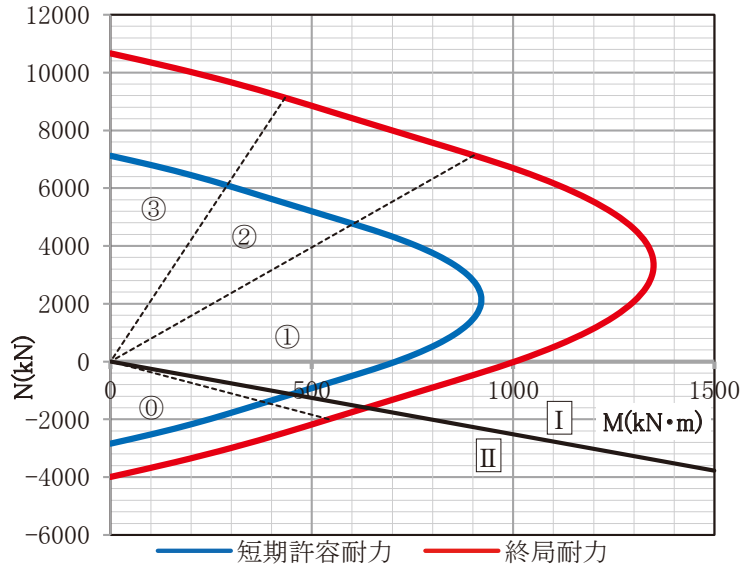
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □450×450 (板厚範囲:9~36mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M36
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	296

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	870	16-D25(SD345)	D13@100(SD295)	870	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	520
<中柱用>	870	16-D25(SD345)	D13@100(SD295)	870	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	520

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

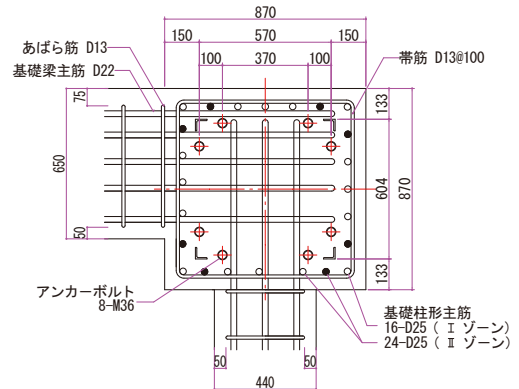
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	370~650	420~650	470~650	520~650
D22	370~650	430~650	490~650	550~650
D25	380~650	450~650	520~650	590~650

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~440	290~440	330~440	380~440
D22	270~440	300~440	350~440	400~440
D25	270~440	310~440	370~440	440

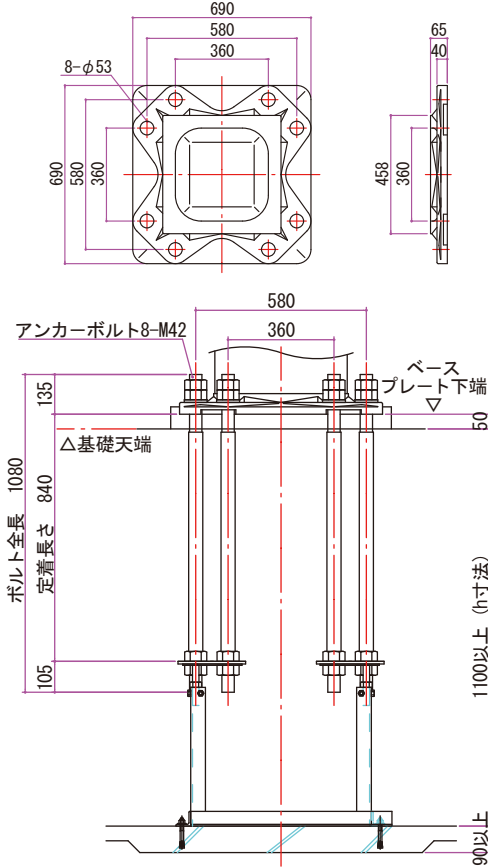


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

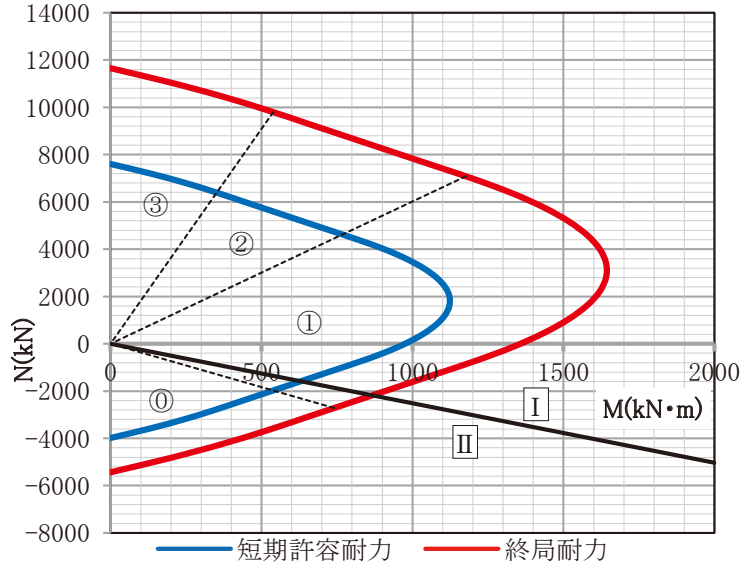
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □450×450 (板厚範囲:9~36mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M42
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	348

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	890	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	890	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	680
<中柱用>	890	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	890	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	680

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

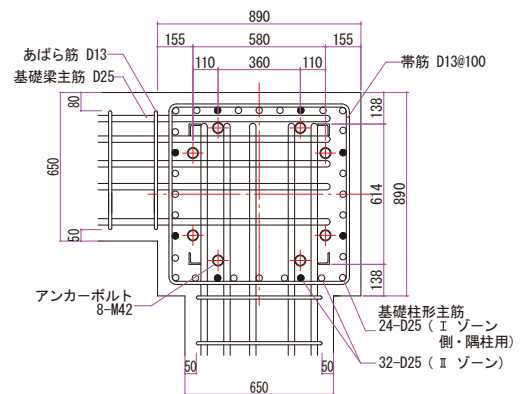
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	390~650	450~650	510~650	570~650
D25	400~650	470~650	540~650	610~650
D29	400~650	480~650	560~650	640~650

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~420	300~420	350~420	400~420
D25	270~420	310~420	370~420	*650
D29		340~420	400~420	*650



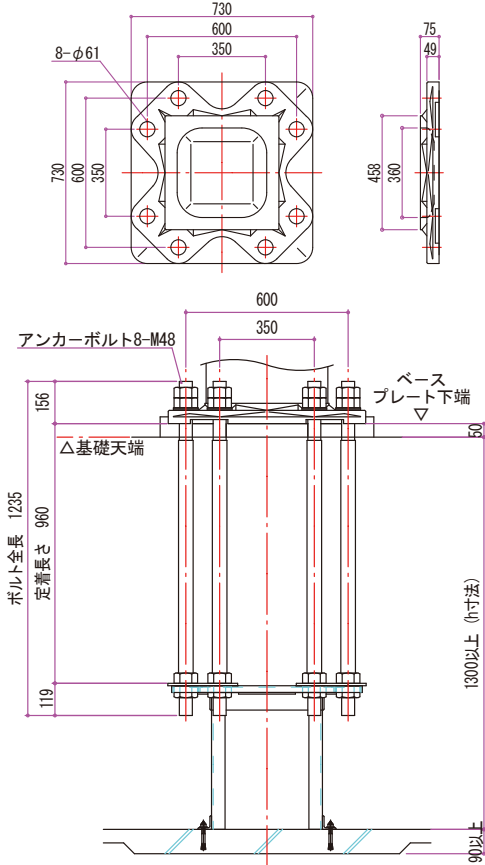
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

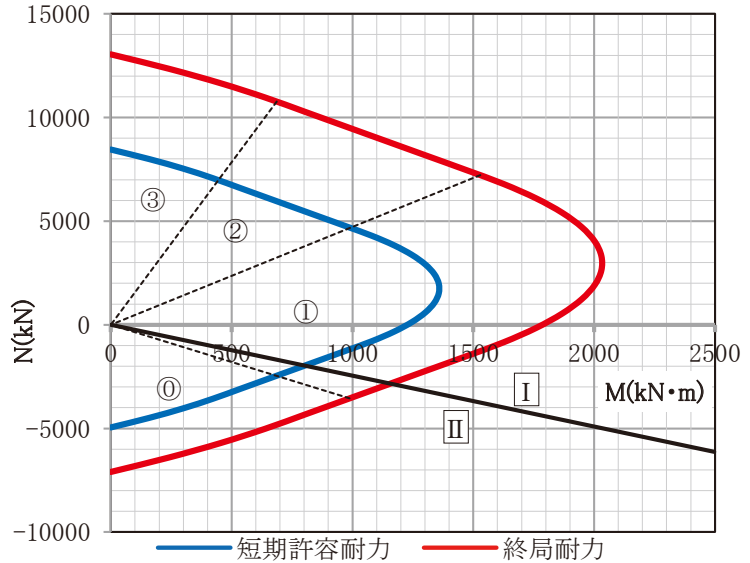
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □450×450 (板厚範囲:9~36mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M48
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	413

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	930	20-D29(SD390)	D13@100(SD295)	940	28-D29(SD390)	D16@100(SD295)	770
<中柱用>	930	20-D29(SD390)	D13@100(SD295)	940	28-D29(SD390)	D16@100(SD295)	770

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

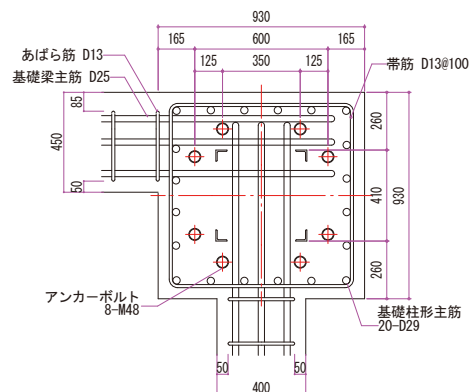
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	420~660	480~660	540~660	600~660
D25	420~660	490~660	560~660	630~660
D29	430~660	510~660	590~660	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~410	300~410	350~410	400~410
D25	270~410	310~410	370~410	*650
D29		340~410	400~410	*650



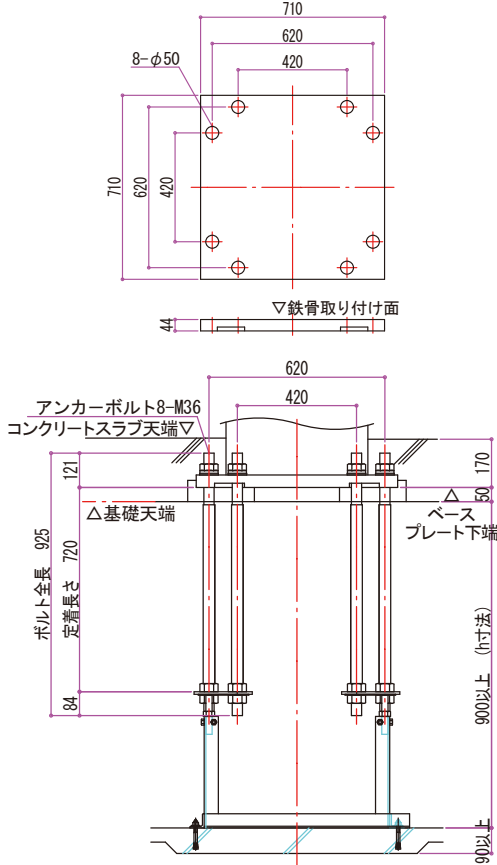
注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

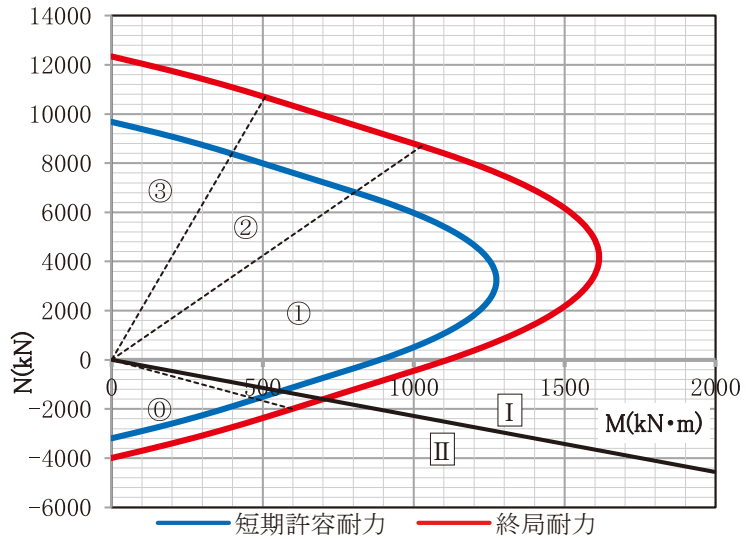
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 500 × 500 (板厚範囲:9 ~ 28mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M36
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	210

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	950	16-D25(SD345)	D13@100(SD295)	950	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	510
<中柱用>	950	12-D25(SD345)	D13@100(SD295)	950	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	510

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

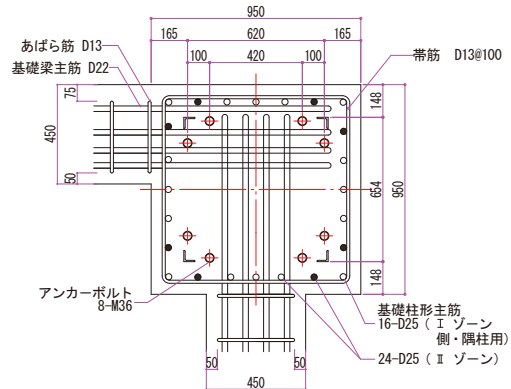
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	380~720	430~720	480~720	530~720
D22	390~720	450~720	510~720	570~720
D25	390~720	460~720	530~720	600~720

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~490	290~490	330~490	380~490
D22	270~490	300~490	350~490	400~490
D25	270~490	310~490	370~490	440~490

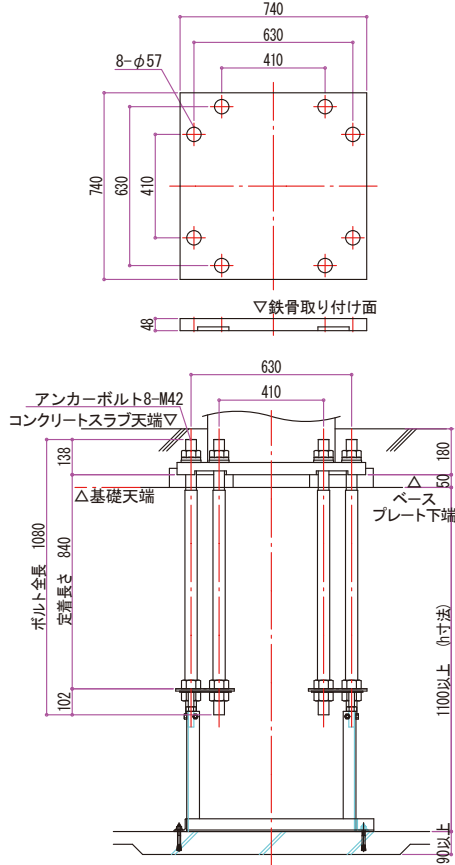


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

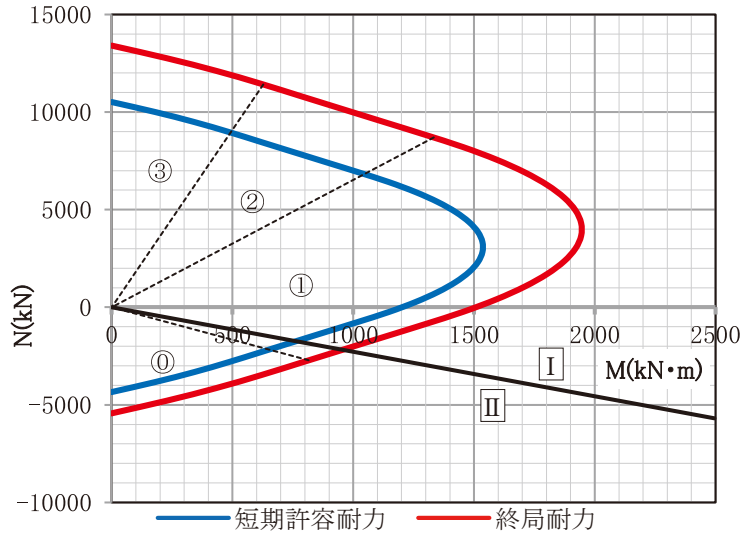
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 500 × 500 (板厚範囲:9 ~ 28mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M42
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	238

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(エコタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	950	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	950	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	660
<中柱用>	950	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	950	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	660

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

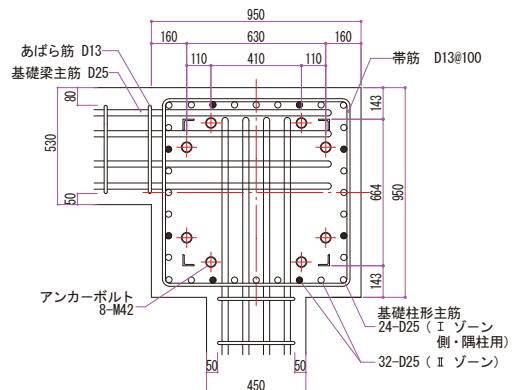
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	460~710	520~710	580~710	640~710
D25	460~710	530~710	600~710	670~710
D29	460~710	540~710	620~710	700~710

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~470	300~470	350~470	400~470
D25	270~470	310~470	370~470	440~470
D29		340~470	400~470	*680

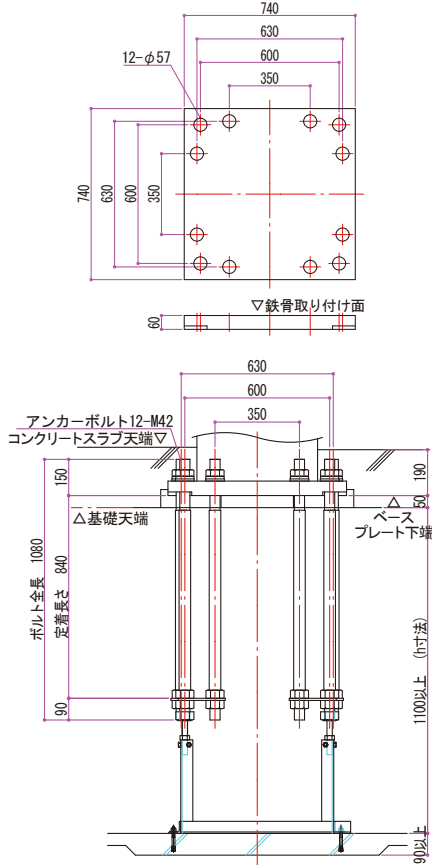


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

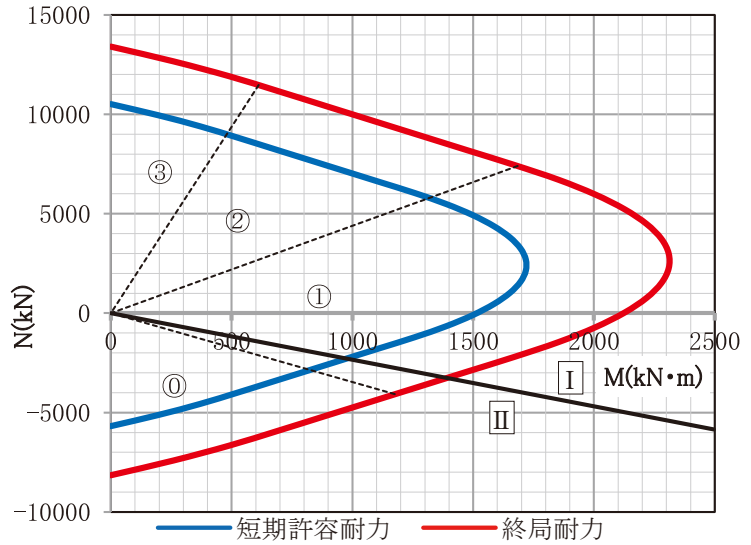
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 500 × 500 (板厚範囲:9 ~ 28mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M42
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	396

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	950	28-D25(SD345)	罫-D16@100(SD295)	1050	44-D25(SD345)	罫-D16@100(SD295)	600
<中柱用>	950	20-D25(SD345)	罫-D16@100(SD295)	1050	44-D25(SD345)	罫-D16@100(SD295)	600

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

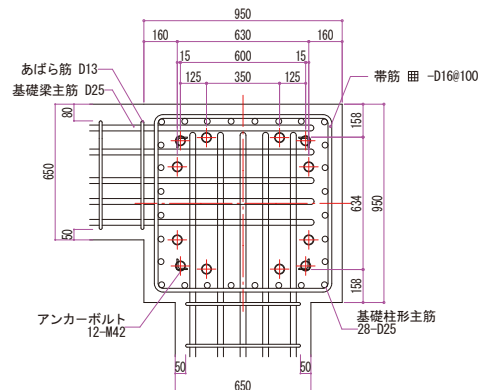
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	430~680	490~680	550~680	610~680
D25	430~680	500~680	570~680	640~680
D29	440~680	520~680	600~680	680

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~410	300~410	350~410	400~410
D25	270~410	310~410	370~410	*650
D29		340~410	400~410	*650



注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

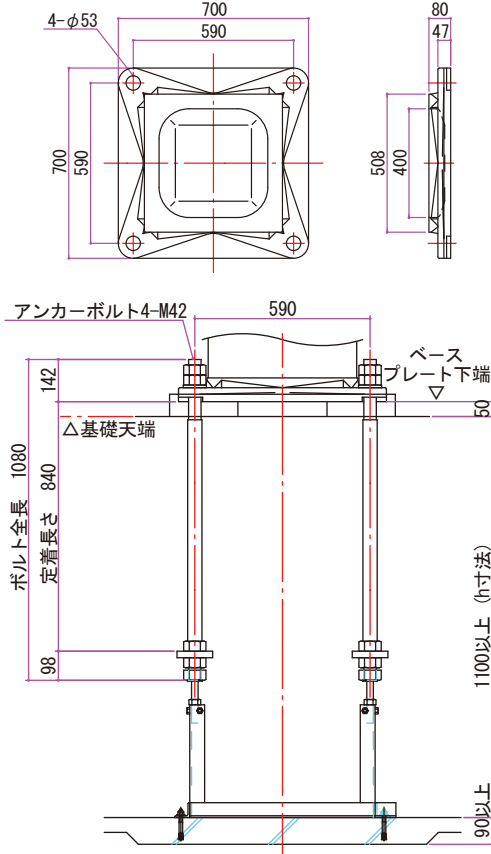
注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

注3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

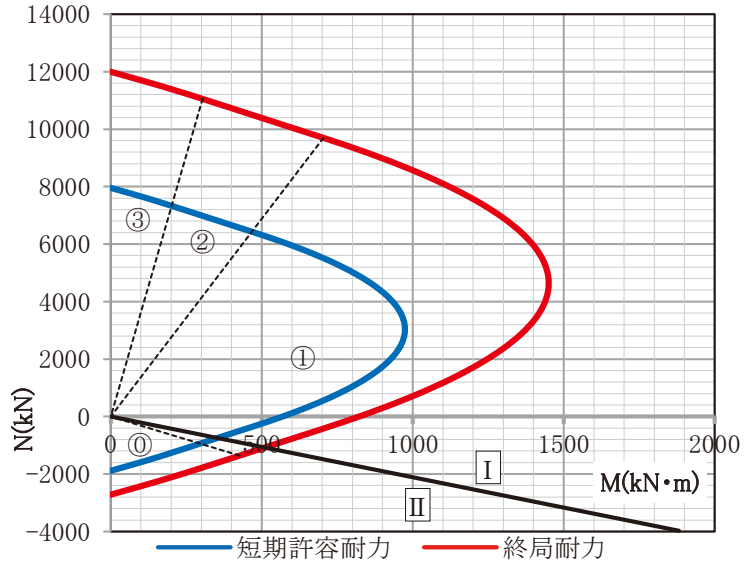
注4) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 500 × 500 (板厚範囲:9 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M42
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	244

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	910	12-D25(SD345)	D13@100(SD295)	910	16-D25(SD345)	D13@100(SD295)	390
<中柱用>	910	12-D25(SD345)	D13@100(SD295)	910	16-D25(SD345)	D13@100(SD295)	390

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

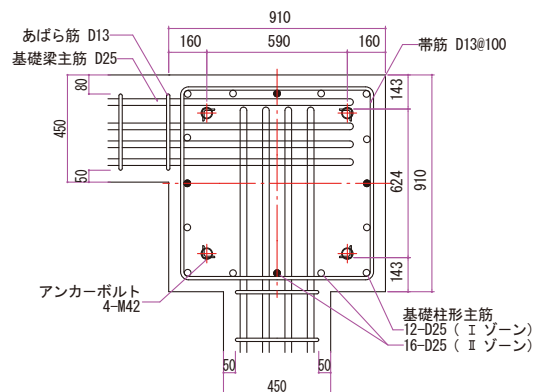
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	300~760	360~760	420~760	480~760
D25	300~760	370~760	440~760	510~760
D29		380~760	460~760	540~760

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~630	300~630	350~630	400~630
D25	270~630	310~630	370~630	440~630
D29		340~630	400~630	480~630

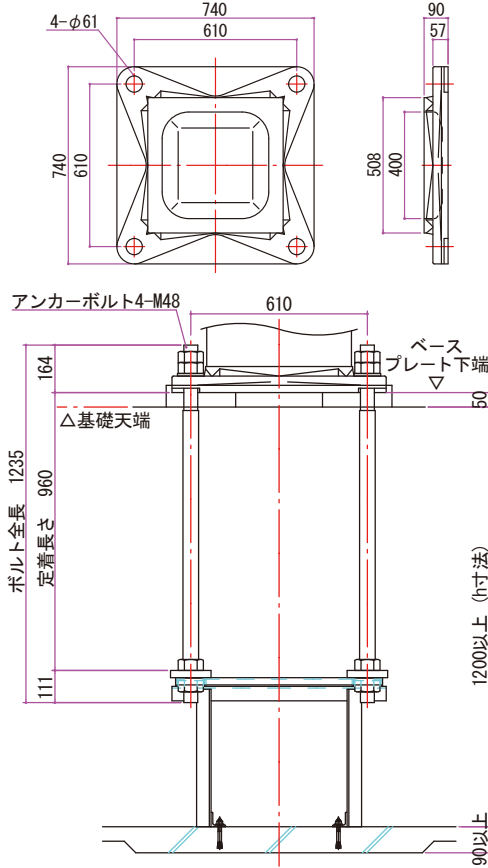


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

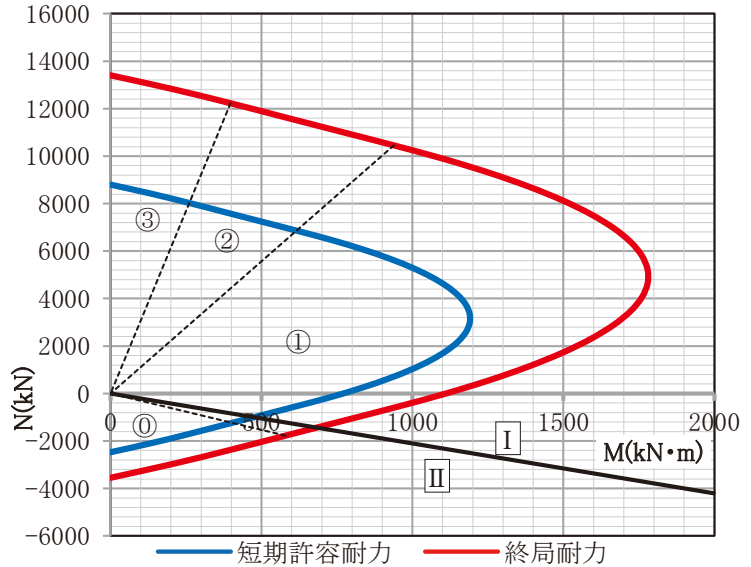
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 500 × 500 (板厚範囲:9 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M48
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	290

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	950	12-D25(SD345)	D13@100(SD295)	950	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	470
<中柱用>	950	12-D25(SD345)	D13@100(SD295)	950	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	470

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

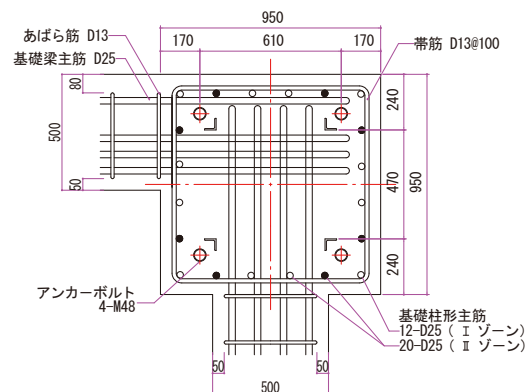
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	340~760	400~760	460~760	510~760
D25	350~760	420~760	490~760	560~760
D29		430~760	510~760	590~760

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~580	300~580	350~580	400~580
D25	270~580	310~580	370~580	440~580
D29		340~580	400~580	480~580

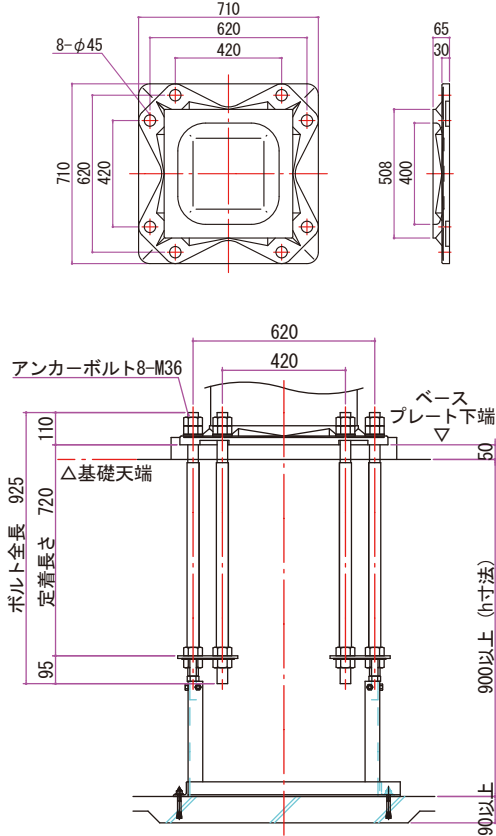


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

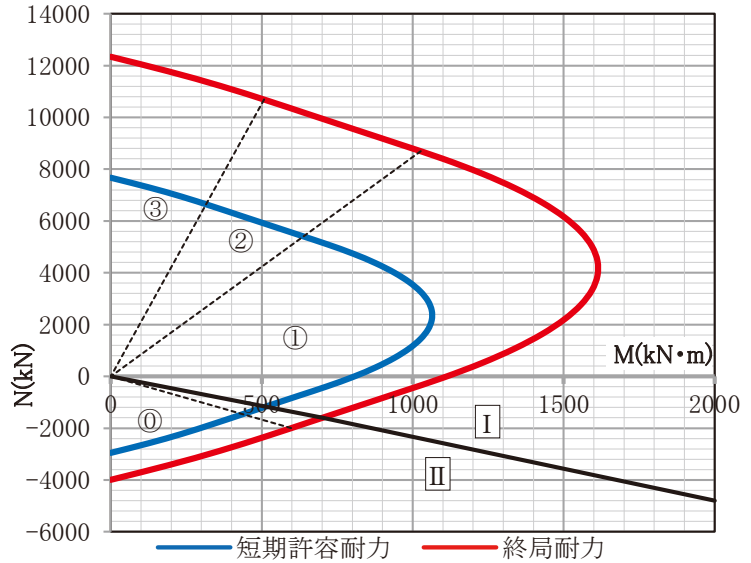
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 500 × 500 (板厚範囲:9 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M36
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	354

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	950	16-D25(SD345)	D13@100(SD295)	950	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	510
<中柱用>	950	16-D25(SD345)	D13@100(SD295)	950	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	510

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

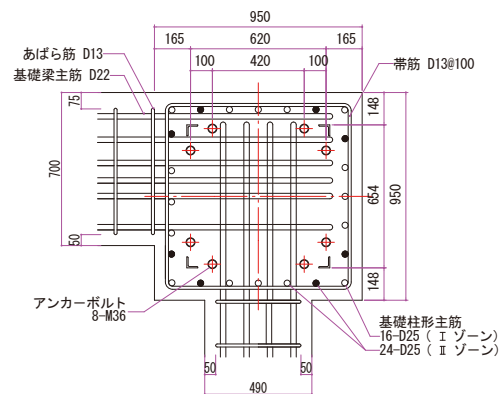
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	380~720	430~720	480~720	530~720
D22	390~720	450~720	510~720	570~720
D25	390~720	460~720	530~720	600~720

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~490	290~490	330~490	380~490
D22	270~490	300~490	350~490	400~490
D25	270~490	310~490	370~490	440~490

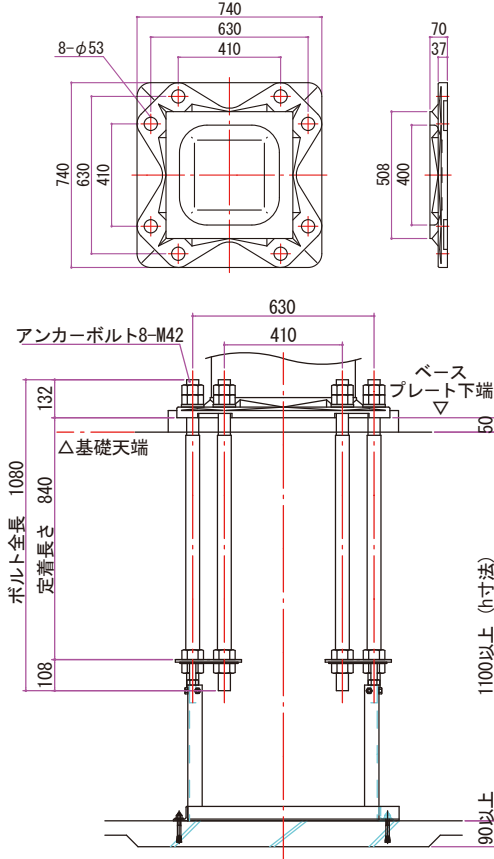


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

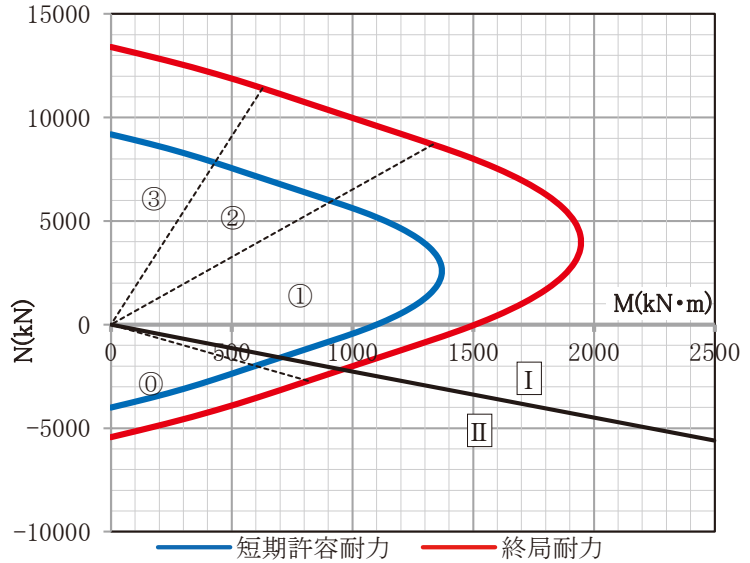
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 500 × 500 (板厚範囲:9 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M42
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	421

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	950	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	950	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	660
<中柱用>	950	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	950	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	660

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

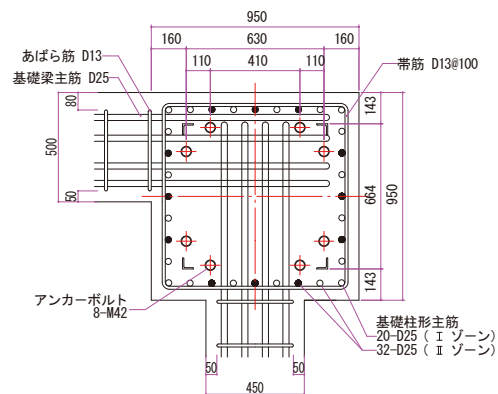
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400~710	460~710	520~710	580~710
D25	400~710	470~710	540~710	610~710
D29	410~710	490~710	570~710	650~710

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~470	300~470	350~470	400~470
D25	270~470	310~470	370~470	440~470
D29		330~470	400~470	*690



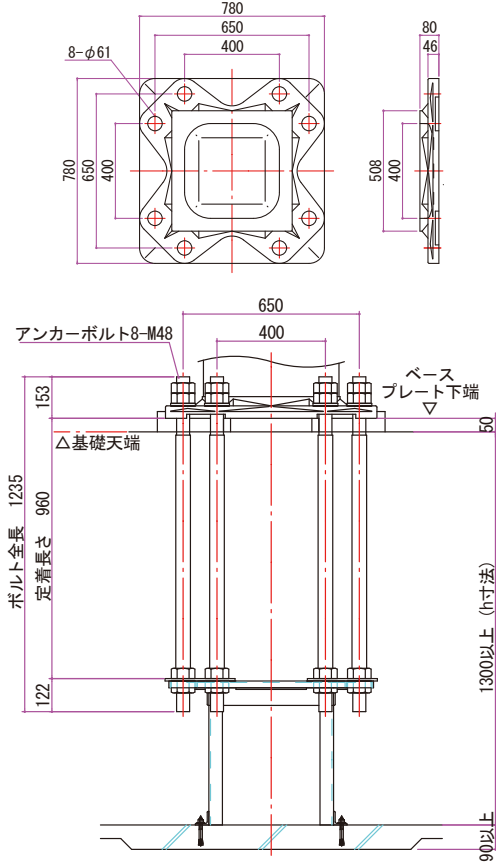
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

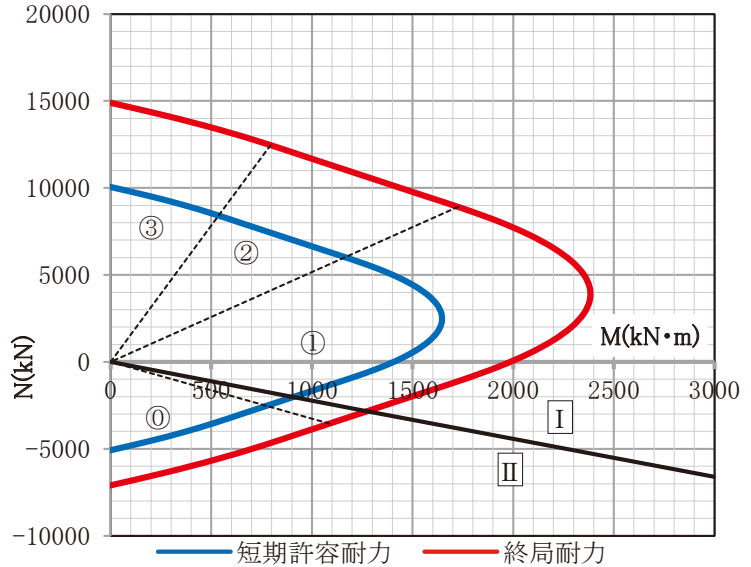
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 500 × 500 (板厚範囲:9 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M48
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	489

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1000	20-D29(SD390)	D13@100(SD295)	1000	28-D29(SD390)	D16@100(SD295)	740
<中柱用>	1000	20-D29(SD390)	D13@100(SD295)	1000	28-D29(SD390)	D16@100(SD295)	740

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

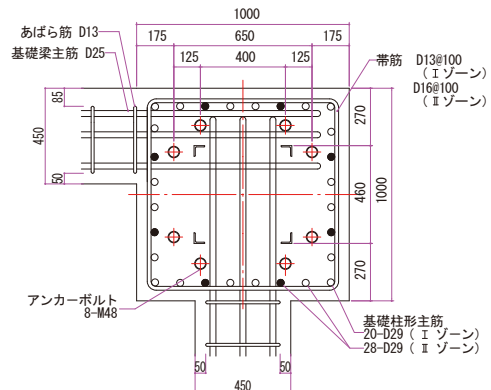
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	430~720	490~720	550~720	610~720
D25	430~720	500~720	570~720	640~720
D29	440~720	520~720	600~720	680~720

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~460	300~460	350~460	400~460
D25	270~460	310~460	370~460	440~460
D29		340~460	400~460	*700



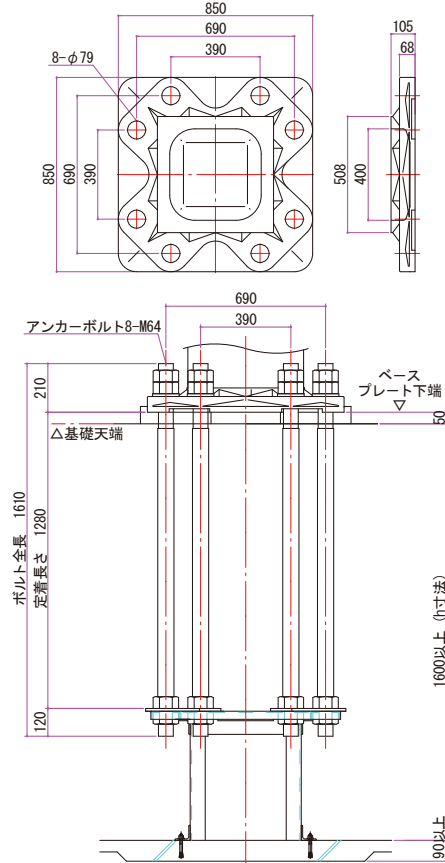
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

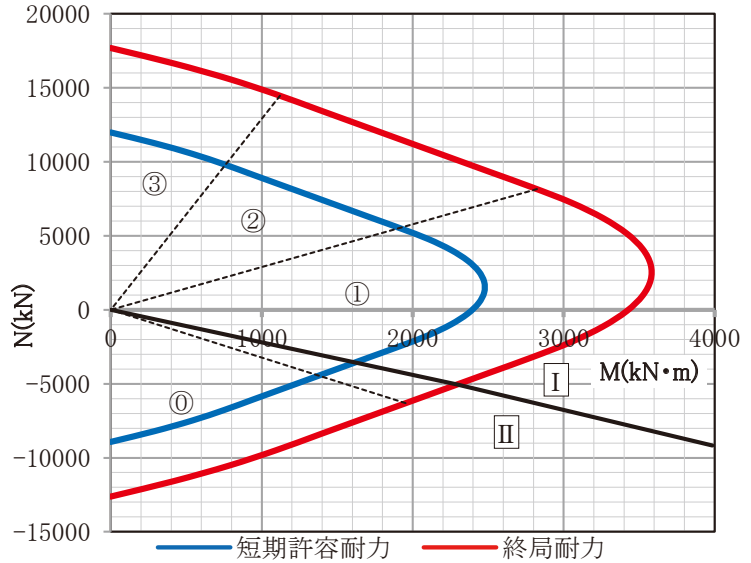
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 500 × 500 (板厚範囲:9 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M64
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	659

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1100	32-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1150	48-D29(SD390)	D16@75(SD295)	1100
<中柱用>	1100	28-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1150	48-D29(SD390)	D16@75(SD295)	1100

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

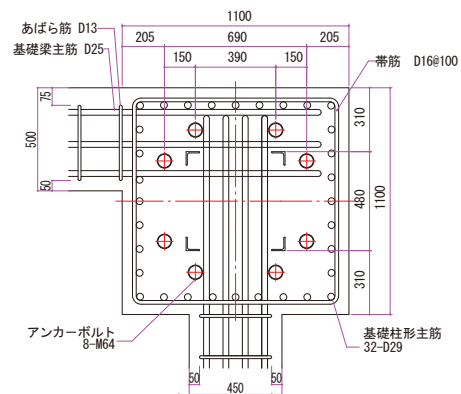
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	490~780	550~780	610~780	670~780
D25	500~780	570~780	640~780	710~780
D29	500~780	580~780	660~780	740~780

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~460	300~460	350~460	400~460
D25	270~460	310~460	370~460	440~460
D29		340~460	400~460	*750



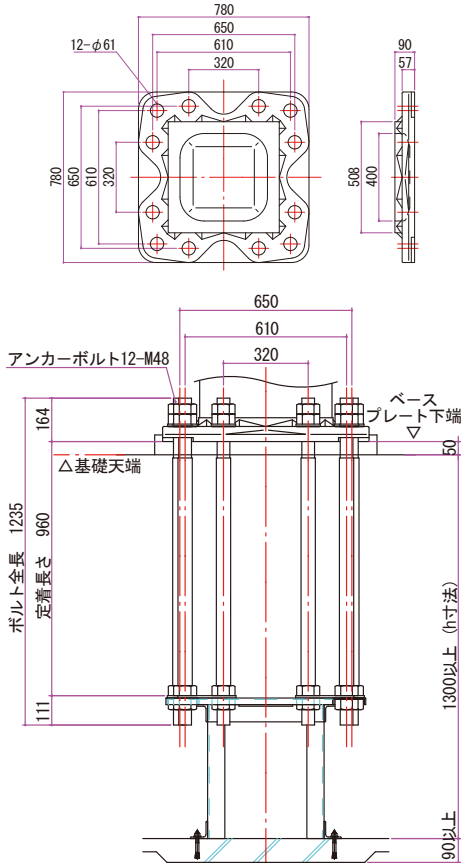
注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

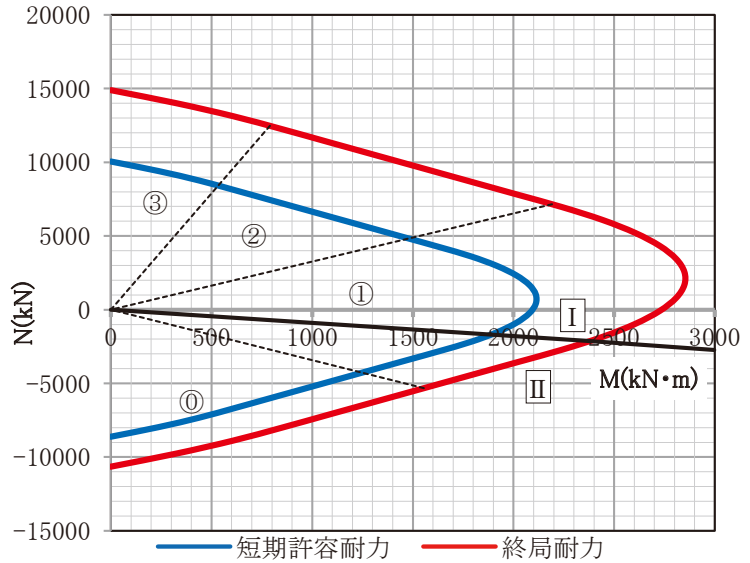
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 500 × 500 (板厚範囲:9 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M48
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	695

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1000	24-D29(SD390)	冊-D16@100(SD295)	1100	40-D29(SD390)	冊-D16@100(SD295)	760
<中柱用>	1000	16-D29(SD390)	冊-D16@100(SD295)	1100	40-D29(SD390)	冊-D16@100(SD295)	760

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

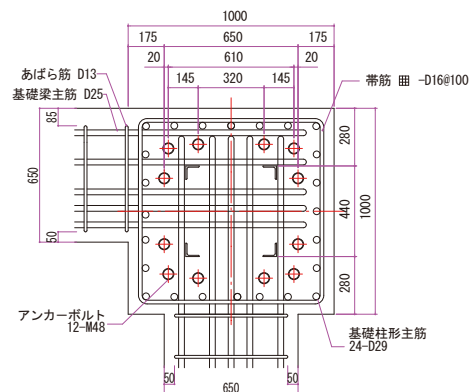
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	470~680	530~680	590~680	650~680
D25	470~680	540~680	610~680	680
D29	480~680	560~680	640~680	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	z5
D22	270~350	300~350	340~350	*650
D25	270~350	310~350	*650	*650
D29		340~350	*650	*650



注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

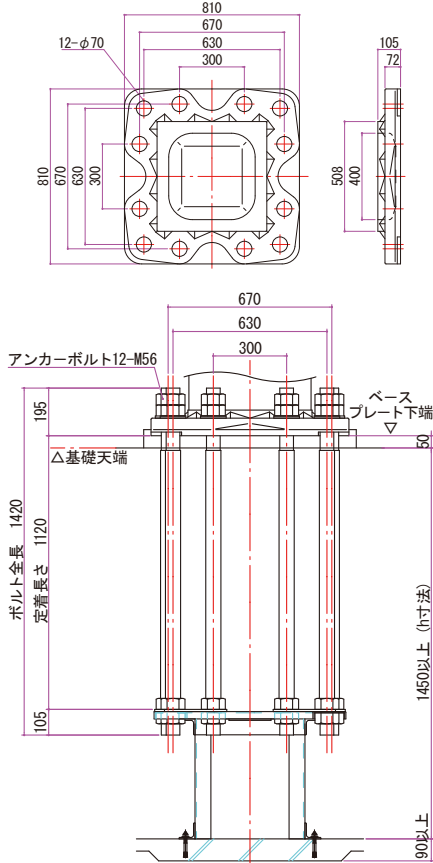
注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

注3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

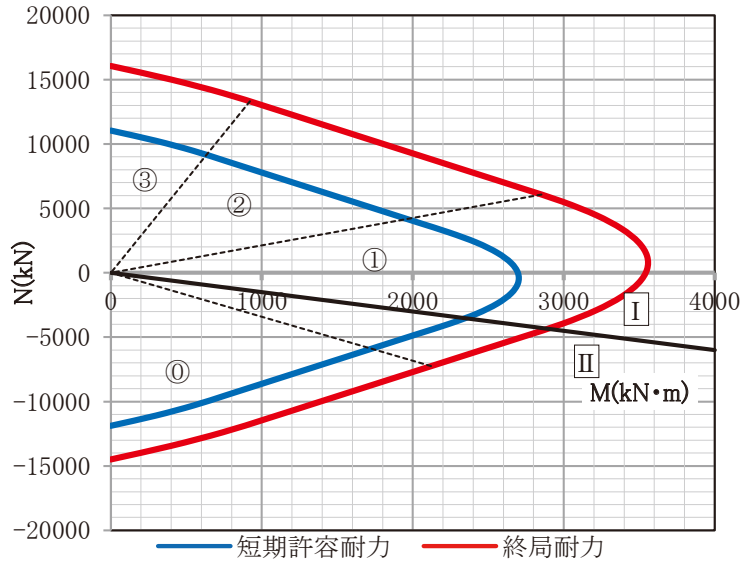
注4) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 500 × 500 (板厚範囲:9 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M56
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	771

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1050	32-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1500	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	980
<中柱用>	1050	24-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1500	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	980

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

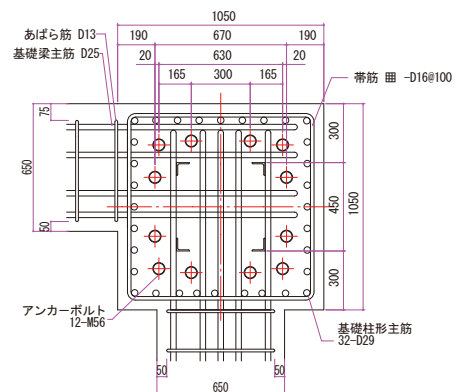
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	510~700	570~700	630~700	700
D25	510~700	580~700	650~700	
D29	520~700	600~700	680~700	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~340	300~340	340~350	*650
D25	270~340	310~340	*650	*650
D29		340	*650	*650



注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

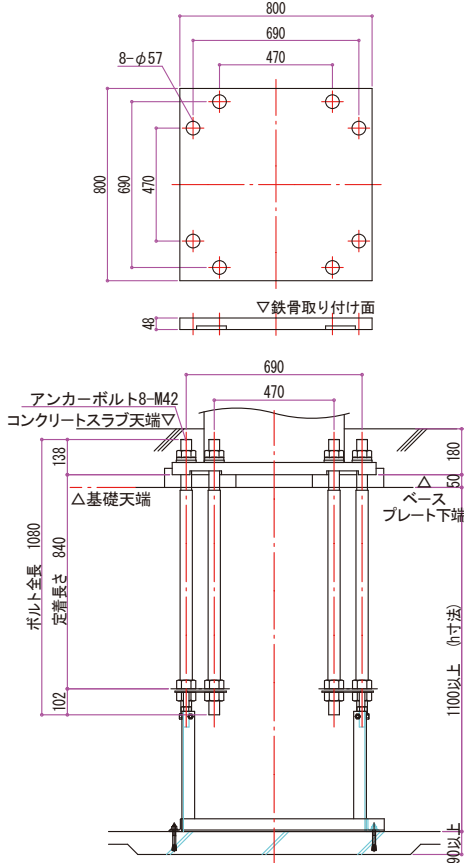
注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

注3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

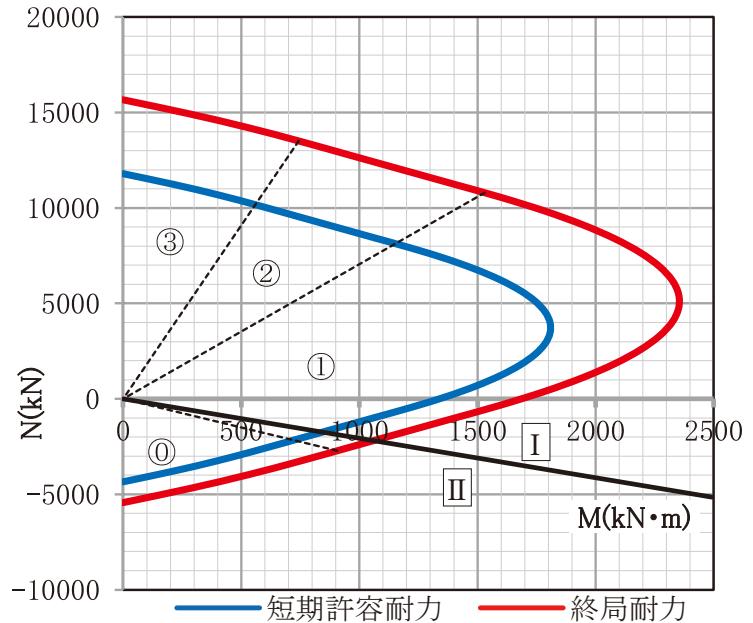
注4) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 550 × 550 (板厚範囲:9 ~ 28mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M42
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	317

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(エコタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1000	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	1000	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	650
<中柱用>	1000	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	1000	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	650

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

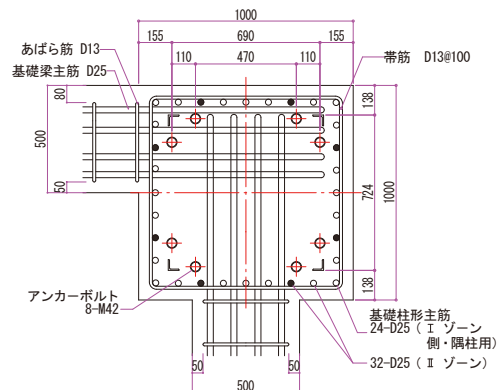
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	390~760	450~760	510~760	570~760
D25	400~760	470~760	540~760	610~760
D29	400~760	480~760	560~760	640~760

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~530	300~530	350~530	400~530
D25	270~530	310~530	370~530	440~530
D29		340~530	400~530	480~530

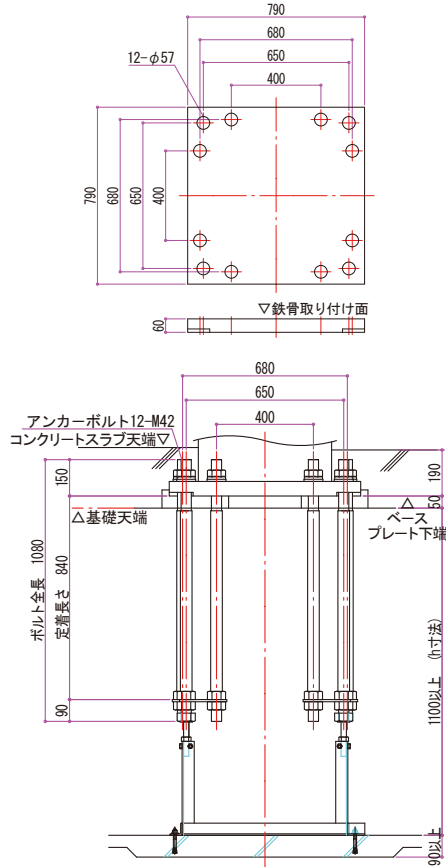


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

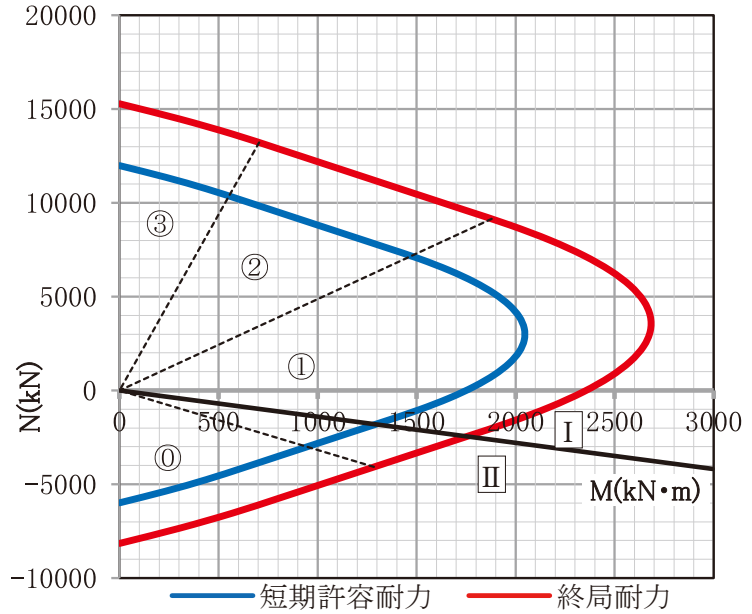
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 550 × 550 (板厚範囲:9 ~ 28mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M42
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	475

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1000	28-D25(SD345)	罫-D16@100(SD295)	1050	44-D25(SD345)	罫-D16@100(SD295)	600
<中柱用>	1000	20-D25(SD345)	罫-D16@100(SD295)	1050	44-D25(SD345)	罫-D16@100(SD295)	600

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

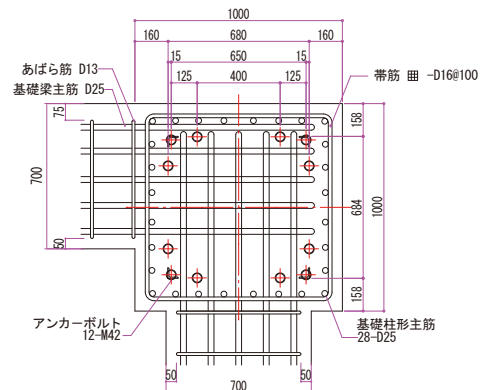
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	430~730	490~730	550~730	610~730
D25	430~730	500~730	570~730	640~730
D29	440~730	520~730	600~730	680~730

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~460	300~460	350~460	400~460
D25	270~460	310~460	370~460	440~460
D29		340~460	400~460	*700



注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

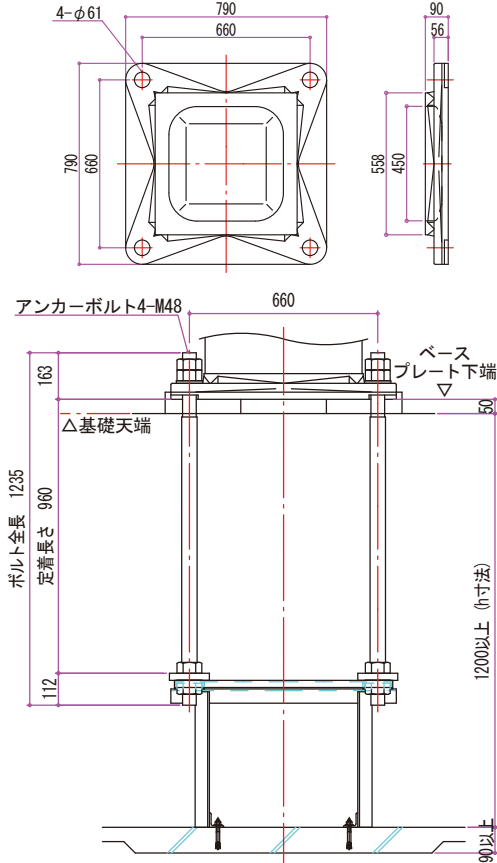
注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

注3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

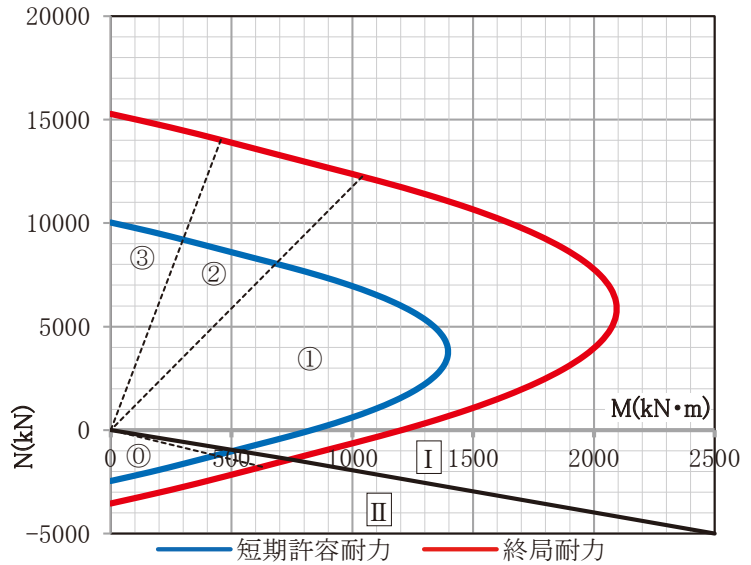
注4) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 550 × 550 (板厚範囲:9 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M48
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	339

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1000	12-D25(SD345)	D16@150(SD295)	1000	20-D25(SD345)	D16@150(SD295)	460
<中柱用>	1000	12-D25(SD345)	D16@150(SD295)	1000	20-D25(SD345)	D16@150(SD295)	460

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

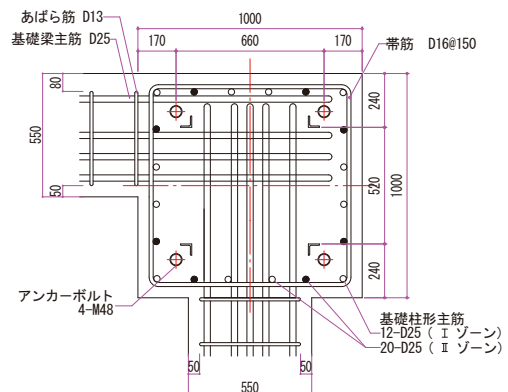
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	340~810	400~810	460~810	520~810
D25	350~810	420~810	490~810	560~810
D29	350~810	430~810	510~810	590~810

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~630	300~630	350~630	400~630
D25	270~630	310~630	370~630	440~630
D29	270~630	340~630	400~630	480~630

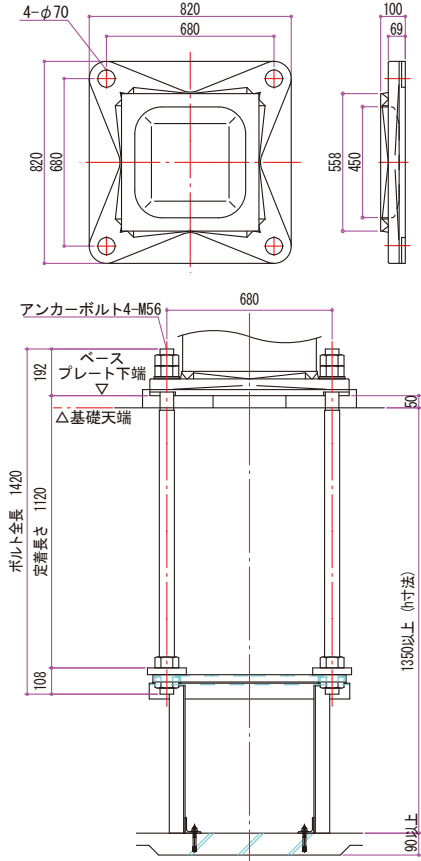


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

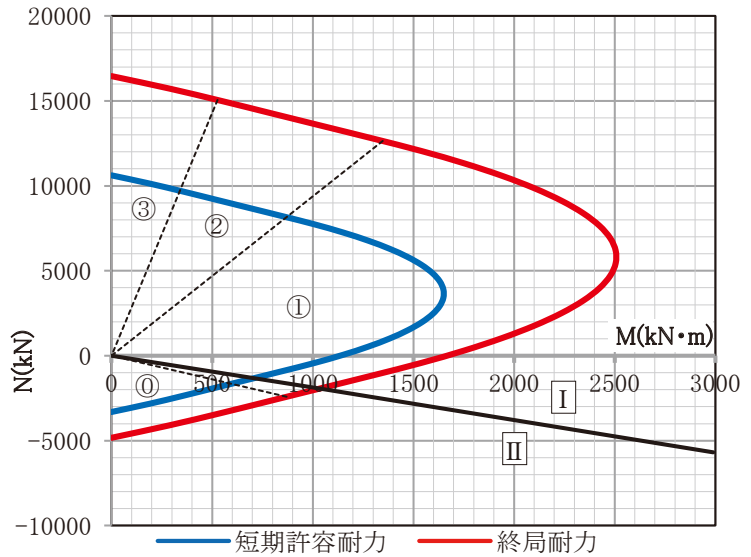
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 550 × 550 (板厚範囲:9 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M56
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	408

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1050	16-D25(SD345)	D16@150(SD295)	1050	28-D25(SD345)	D16@150(SD295)	580
<中柱用>	1050	16-D25(SD345)	D16@150(SD295)	1050	28-D25(SD345)	D16@150(SD295)	580

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

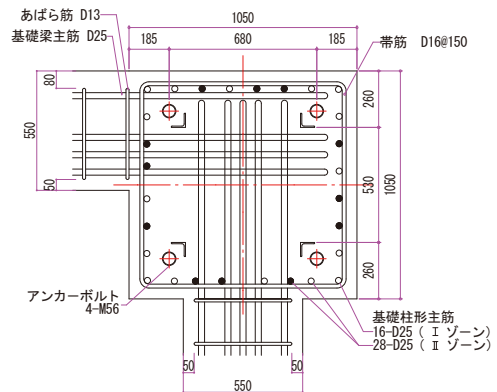
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	360~840	420~840	480~840	540~840
D25	370~840	440~840	510~840	580~840
D29	370~840	450~840	530~840	610~840

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~640	300~640	350~640	400~640
D25	270~640	310~640	370~640	440~640
D29	270~640	340~640	400~640	480~640

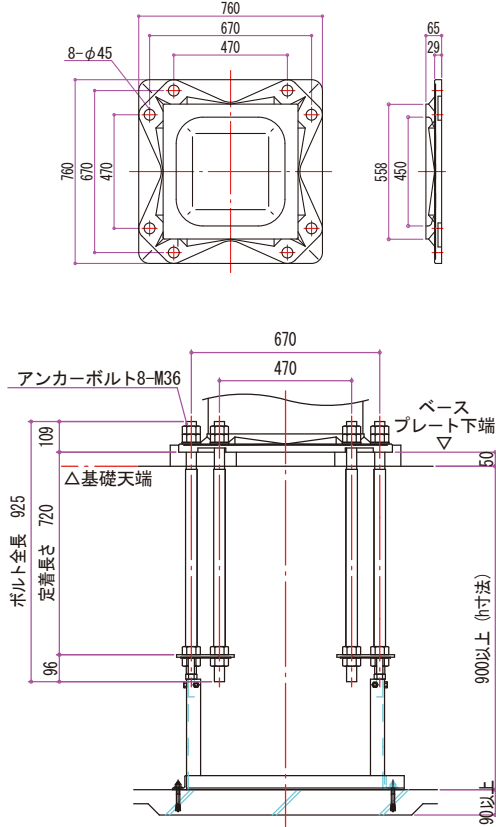


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

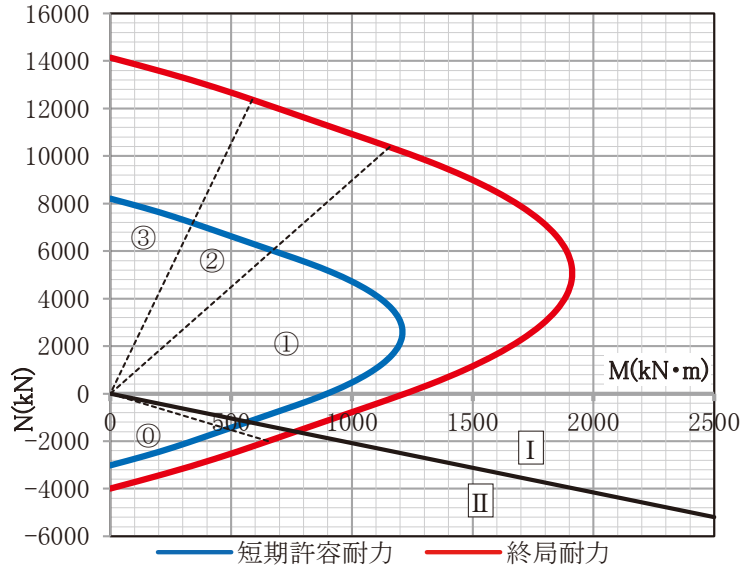
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □550×550 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M36
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	419

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1000	16-D25(SD345)	D13@100(SD295)	1000	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	500
<中柱用>	1000	16-D25(SD345)	D13@100(SD295)	1000	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	500

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

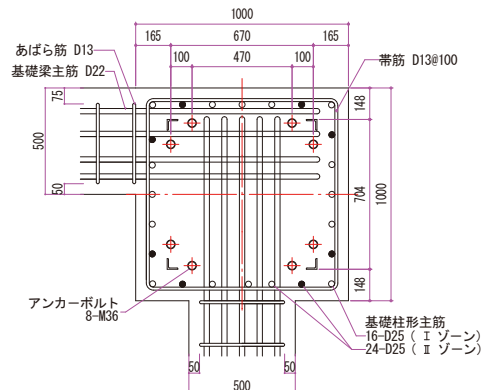
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	380~770	430~770	480~770	530~770
D22	390~770	450~770	510~770	570~770
D25	400~770	470~770	540~770	610~770

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~540	290~540	330~540	380~540
D22	270~540	300~540	350~540	400~540
D25	270~540	310~540	370~540	440~540

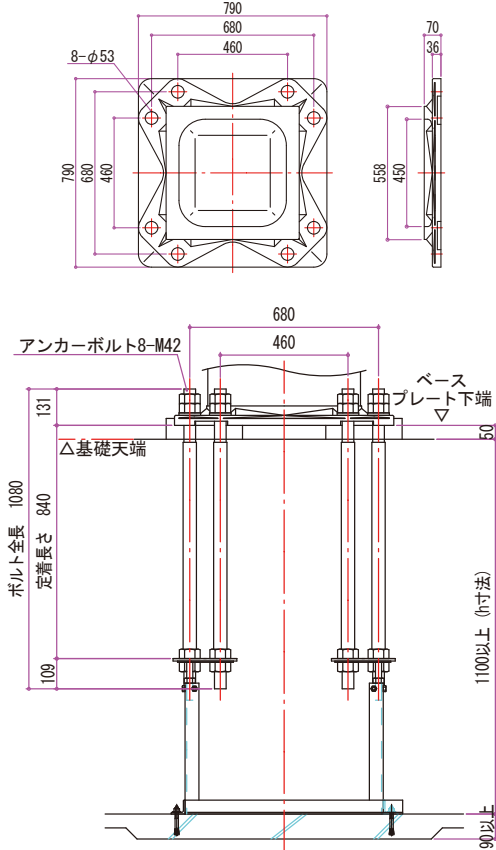


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

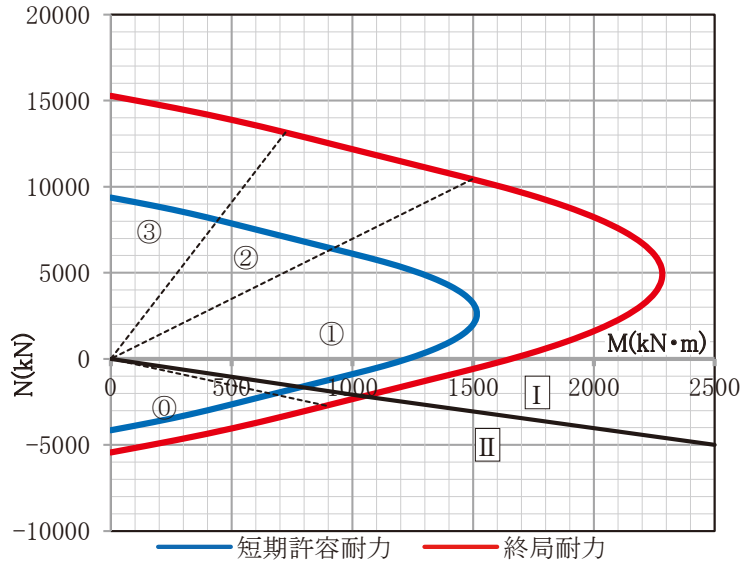
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □550×550 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M42
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	498

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1000	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	1000	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	650
<中柱用>	1000	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	1000	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	650

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

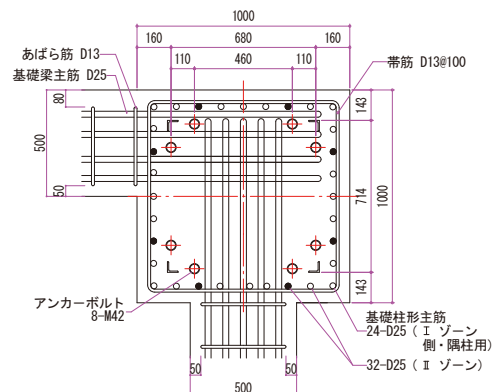
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400~760	460~760	520~760	580~760
D25	400~760	470~760	540~760	610~760
D29	410~760	490~760	570~760	650~760

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~520	300~520	350~520	400~520
D25	270~520	310~520	370~520	440~520
D29		340~520	400~520	480~520

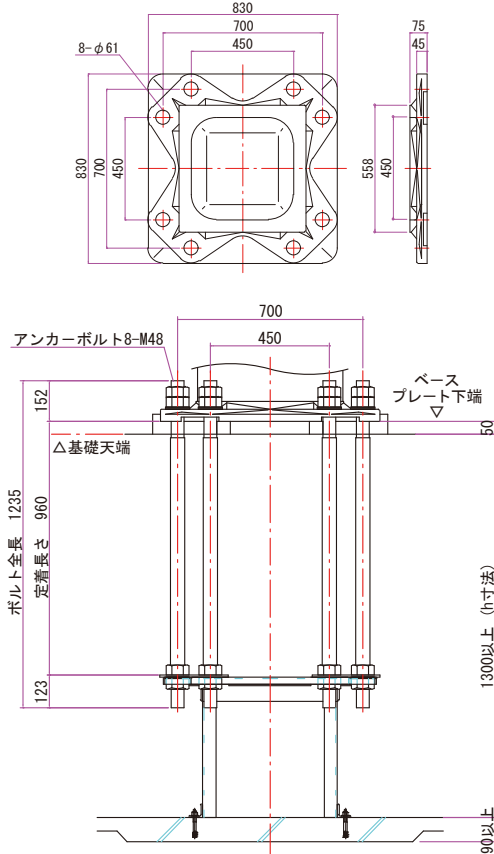


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

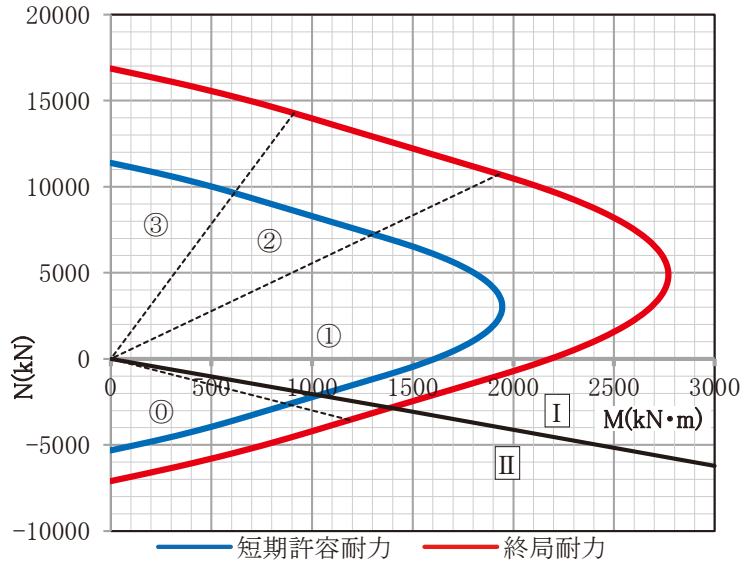
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 550 × 550 (板厚範囲:9 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト (本数-呼び)	8-M48
回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	580

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1050	20-D29(SD390)	D16@150(SD295)	1050	28-D29(SD390)	D16@150(SD295)	820
<中柱用>	1050	20-D29(SD390)	D16@150(SD295)	1050	28-D29(SD390)	D16@150(SD295)	820

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

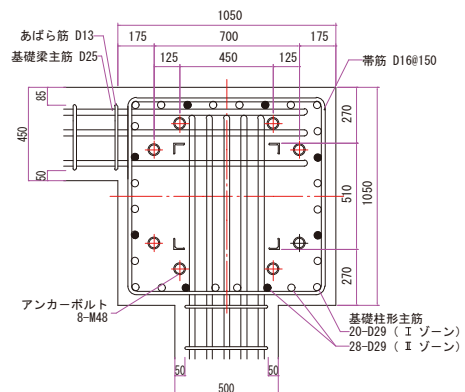
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	430~770	490~770	550~770	610~770
D25	430~770	500~770	570~770	640~770
D29	440~770	520~770	600~770	680~770

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~510	300~510	350~510	400~510
D25	270~510	310~510	370~510	440~510
D29		340~510	400~510	480~510

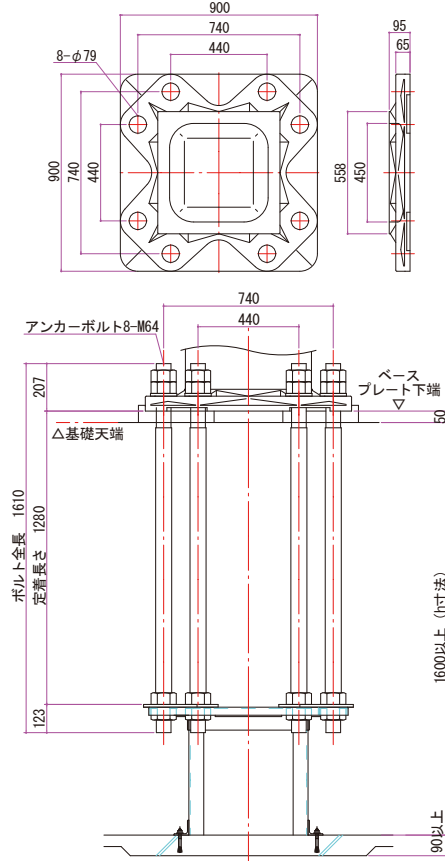


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

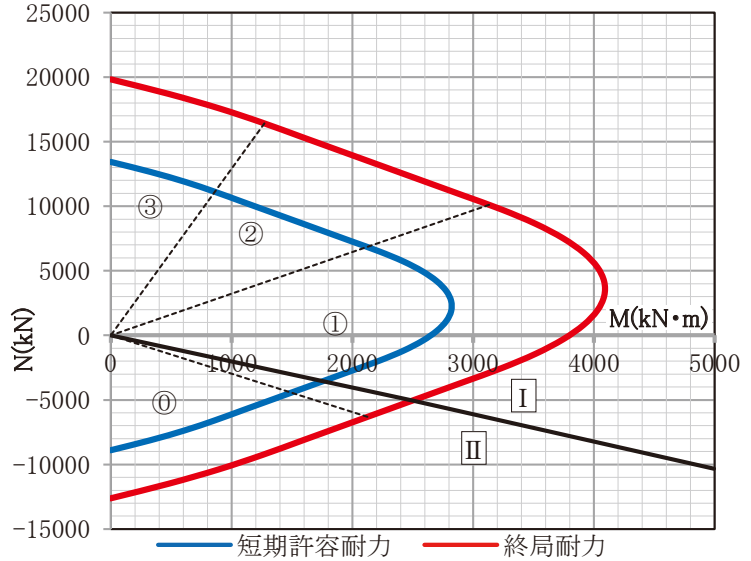
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 550 × 550 (板厚範囲:9 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M64
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	806

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1150	32-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1150	48-D29(SD390)	D16@75(SD295)	1100
<中柱用>	1150	28-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1150	48-D29(SD390)	D16@75(SD295)	1100

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

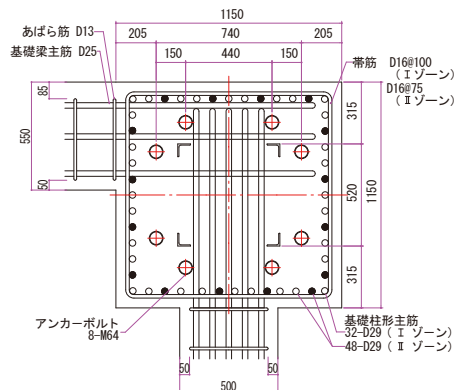
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	490~820	550~820	610~820	670~820
D25	500~820	570~820	640~820	710~820
D29	500~820	580~820	660~820	740~820

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~500	300~500	350~500	400~500
D25	270~500	310~500	370~500	440~500
D29	270~500	340~500	400~500	480~500

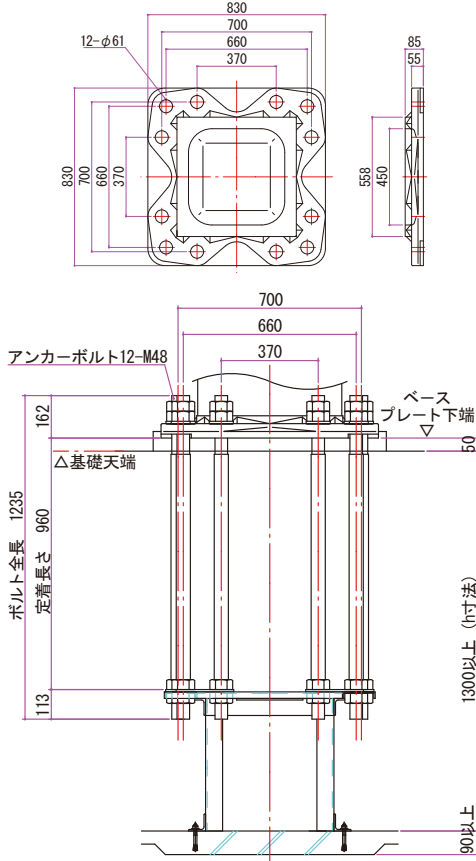


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

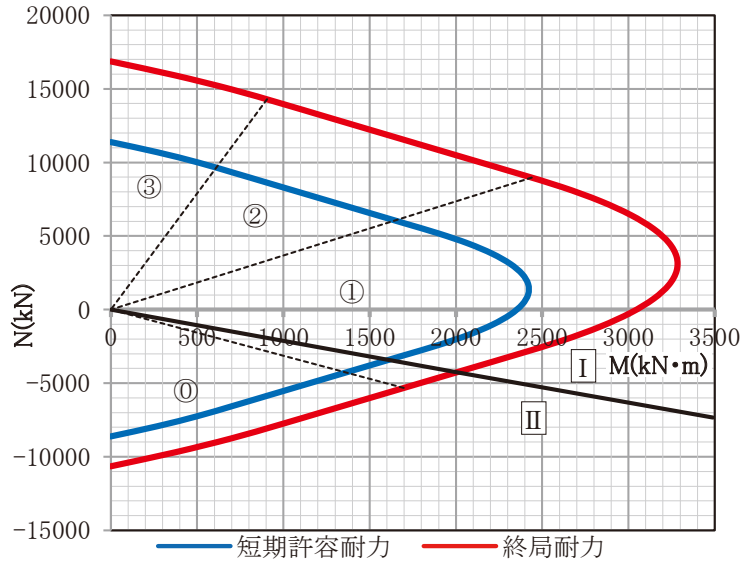
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 550 × 550 (板厚範囲:9 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M48
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	817

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1050	24-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1100	40-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	760
<中柱用>	1050	20-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1100	40-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	760

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

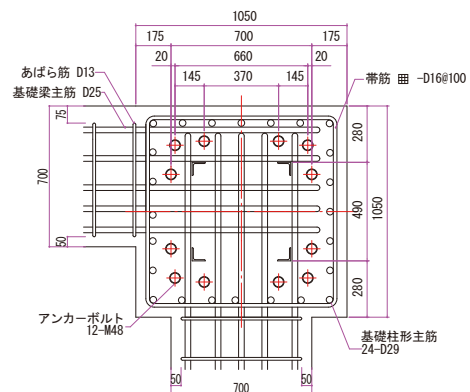
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	380~730	470~730	530~730	590~730
D25	470~730	540~730	610~730	680~730
D29	480~730	560~730	640~730	720~730

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~400	300~400	350~400	*700
D25	270~400	310~400	370~400	*700
D29		340~400	400	*700



注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

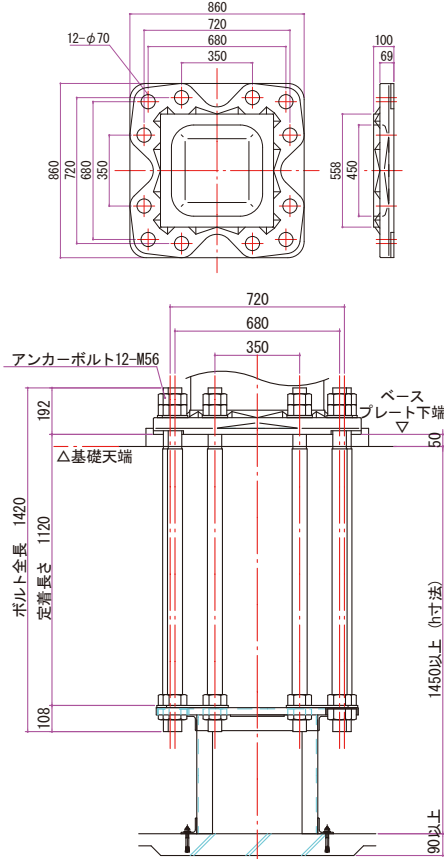
注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

注3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

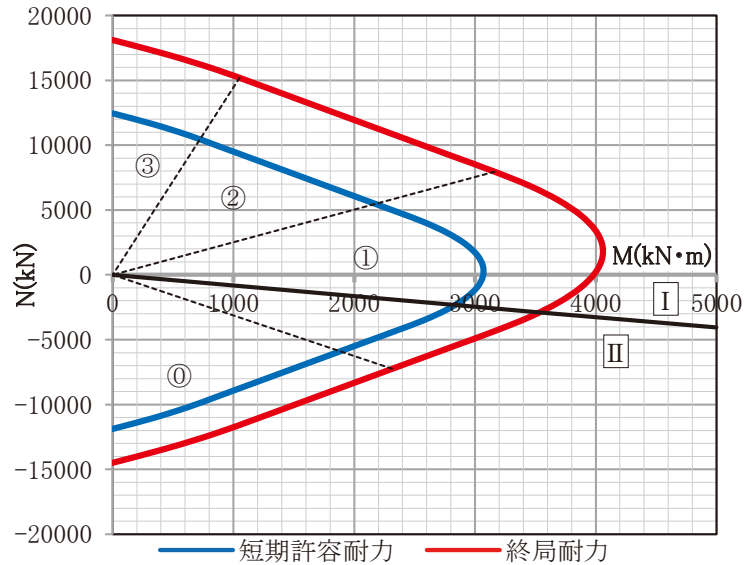
注4) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 550 × 550 (板厚範囲:9 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M56
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	923

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1100	32-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1500	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	980
<中柱用>	1100	24-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1500	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	980

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

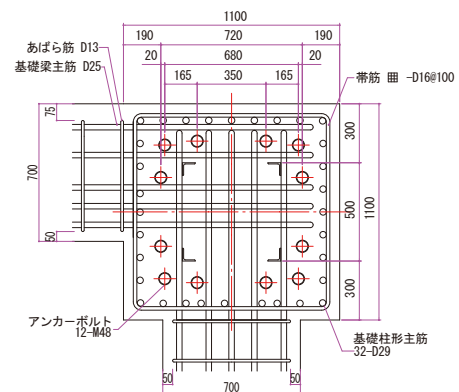
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	510~750	570~750	630~750	690~750
D25	510~750	580~750	650~750	730~750
D29	520~750	600~750	680~750	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~390	300~390	350~390	*700
D25	270~390	310~390	370~390	*700
D29		340~390	390	*700



注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

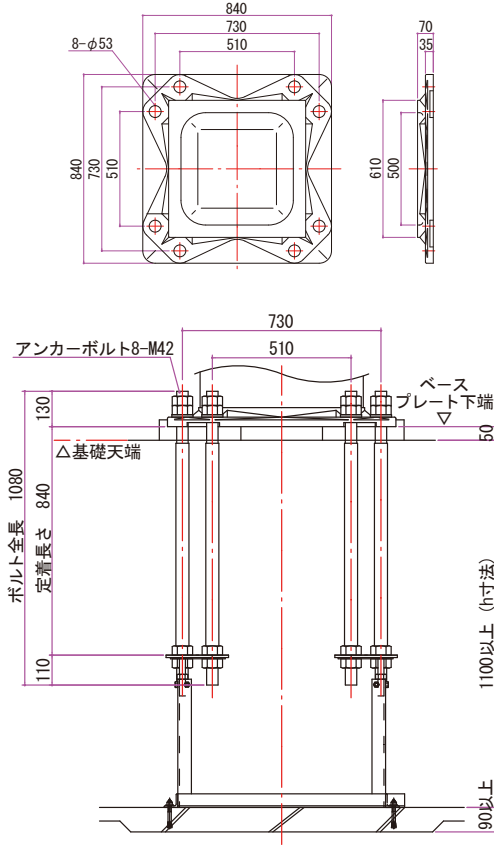
注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

注3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

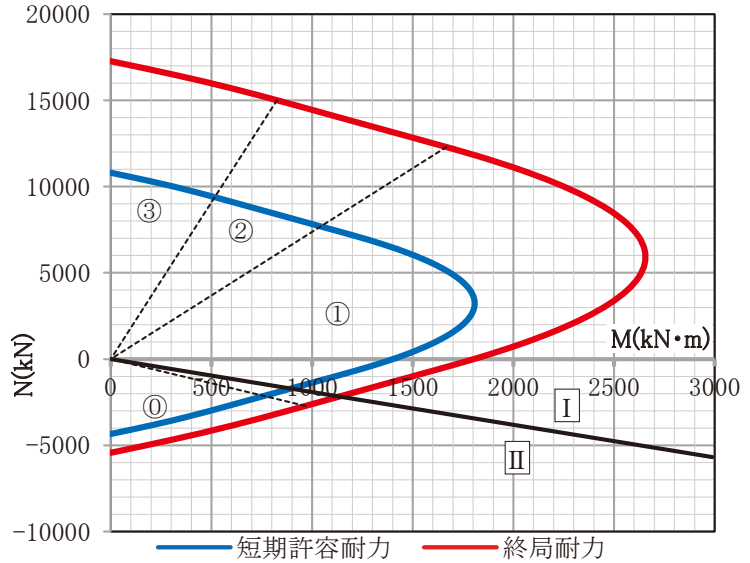
注4) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	角形鋼管柱 □ 600 × 600 (板厚範囲:9 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M42
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	598

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1050	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	1050	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	630
<中柱用>	1050	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	1050	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	630

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

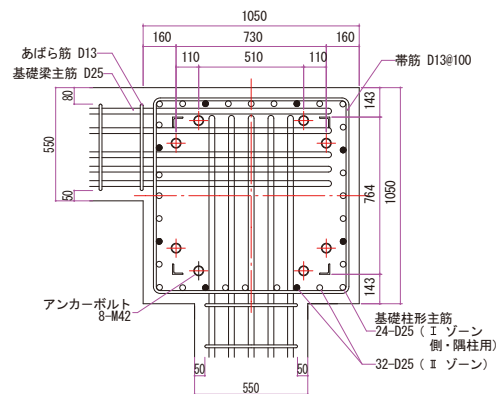
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400~810	460~810	520~810	580~810
D25	400~810	470~810	540~810	610~810
D29	410~810	490~810	570~810	650~810

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~570	300~570	350~570	400~570
D25	270~570	310~570	370~570	440~570
D29		340~570	400~570	480~570

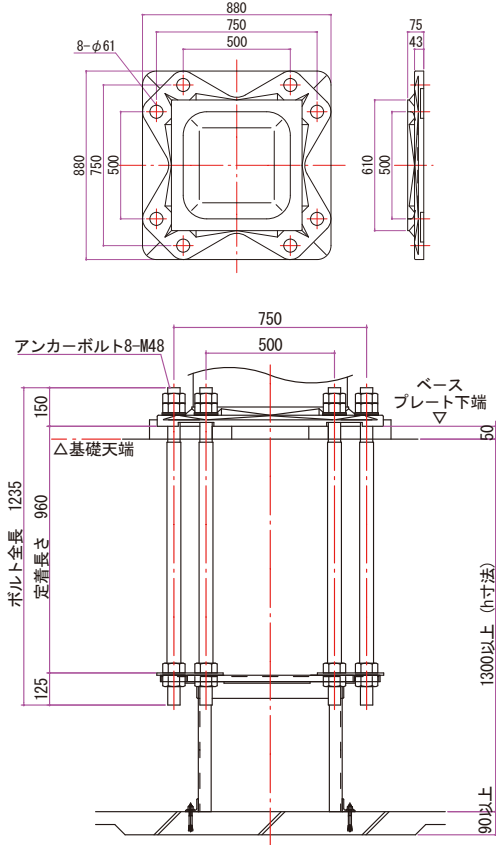


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

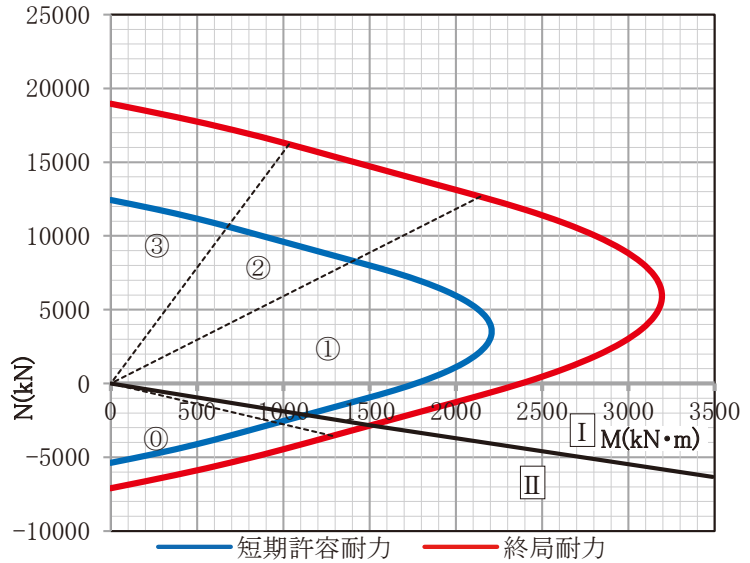
注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

適用柱	角形鋼管柱 □600×600 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M48
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	682

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1100	20-D29(SD390)	D16@150(SD295)	1100	28-D29(SD390)	D16@150(SD295)	810
<中柱用>	1100	20-D29(SD390)	D16@150(SD295)	1100	28-D29(SD390)	D16@150(SD295)	810

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

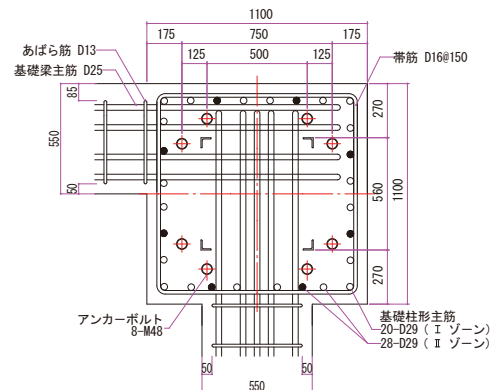
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	430~820	490~820	550~820	610~820
D25	430~820	500~820	570~820	640~820
D29	440~820	520~820	600~820	680~820

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~560	300~560	350~560	400~560
D25	270~560	310~560	370~560	440~560
D29		340~560	400~560	480~560

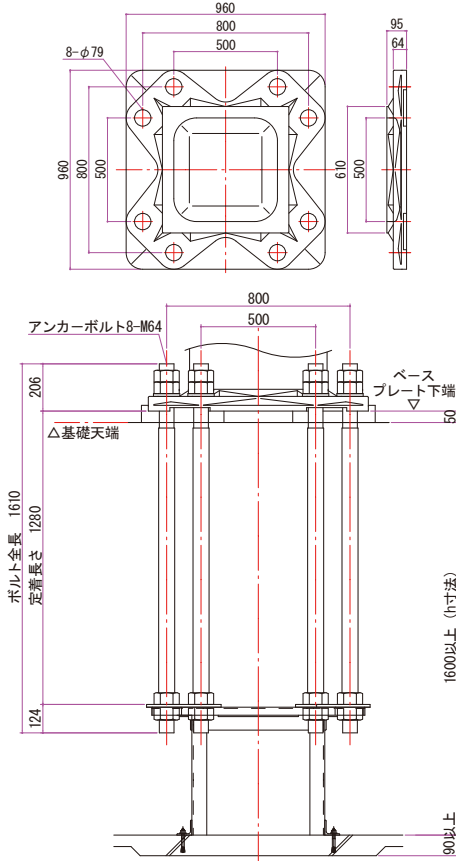


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

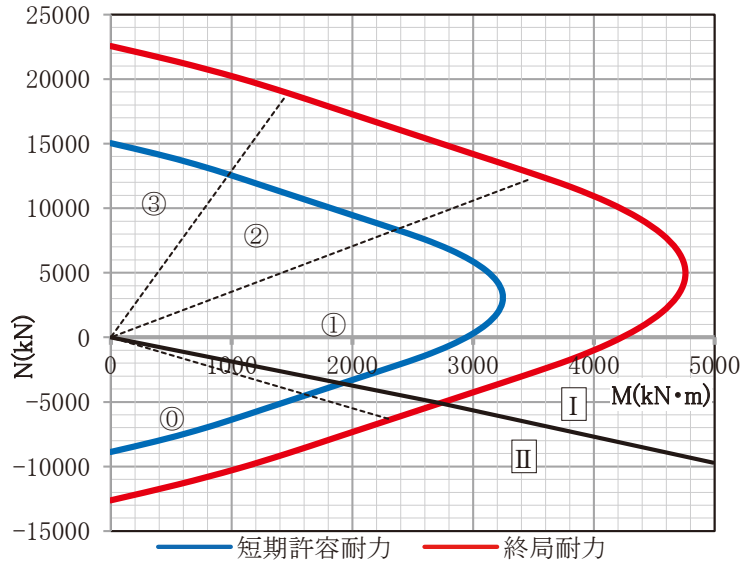
注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

適用柱	角形鋼管柱 □ 600 × 600 (板厚範囲:9 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト (本数-呼び)	8-M64
回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	987

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1200	32-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1200	48-D29(SD390)	D16@75(SD295)	1090
<中柱用>	1200	28-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1200	48-D29(SD390)	D16@75(SD295)	1090

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

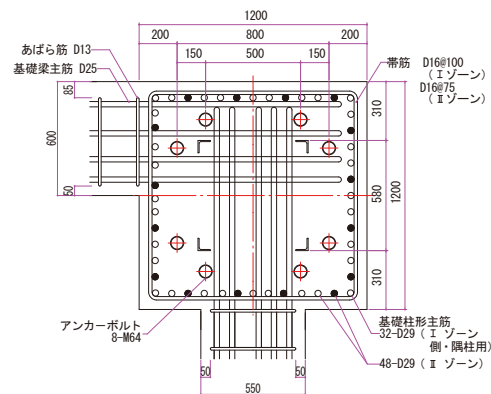
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	490~880	550~880	610~880	670~880
D25	490~880	560~880	630~880	700~880
D29	500~880	580~880	660~880	740~880

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~560	300~560	350~560	400~560
D25	270~560	310~560	370~560	440~560
D29	270~560	340~560	400~560	480~560

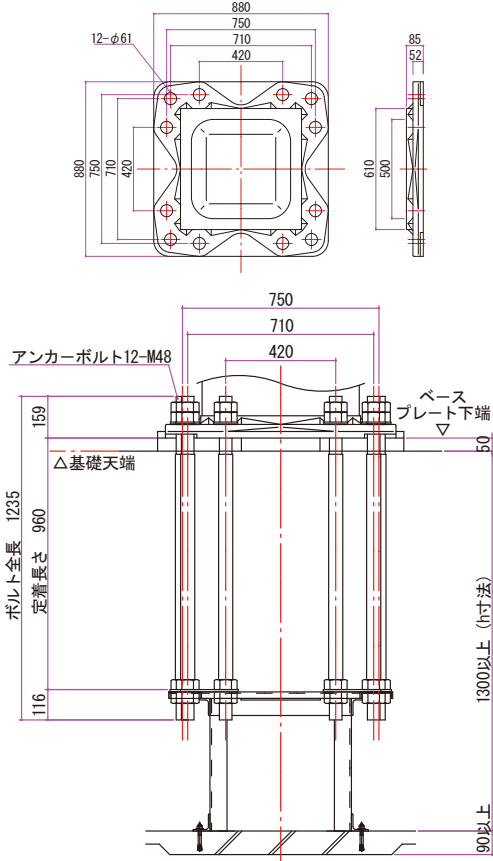


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

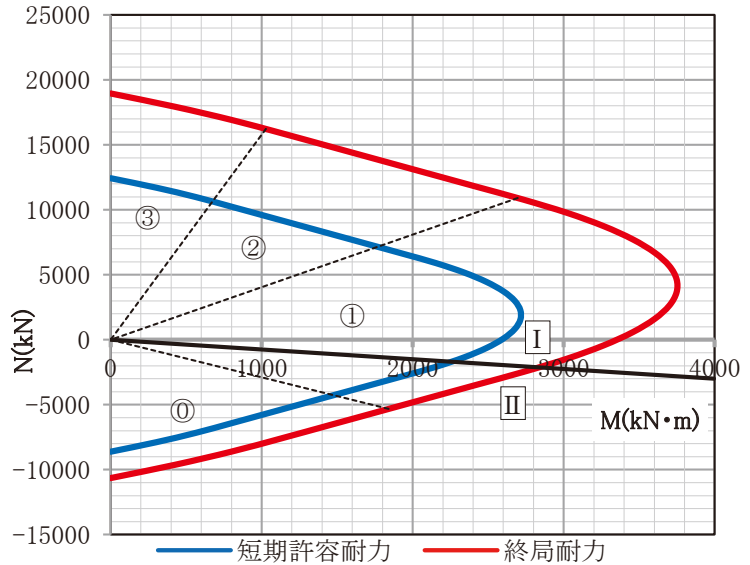
注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

適用柱	角形鋼管柱 □ 600 × 600 (板厚範囲:9 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M48
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	953

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1100	24-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1100	40-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	760
<中柱用>	1100	20-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1100	40-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	760

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

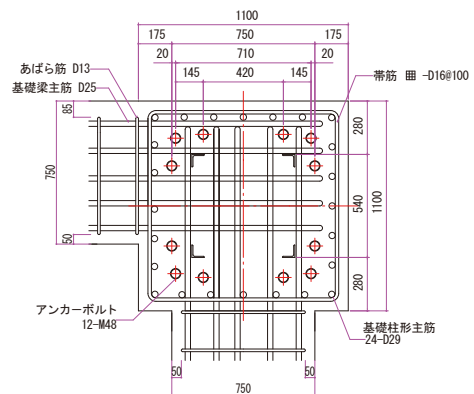
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	470~780	530~780	590~780	650~780
D25	470~780	540~780	610~780	680~780
D29	480~780	560~780	640~780	720~780

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~450	300~450	350~450	400~450
D25	270~450	310~450	370~450	440~450
D29		340~450	400~450	*750



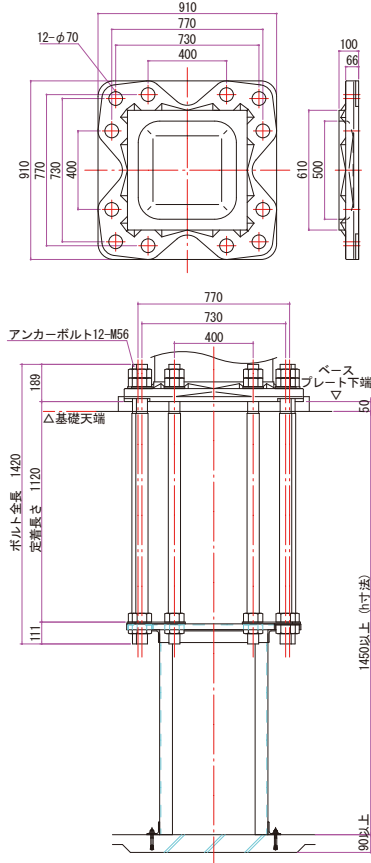
注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

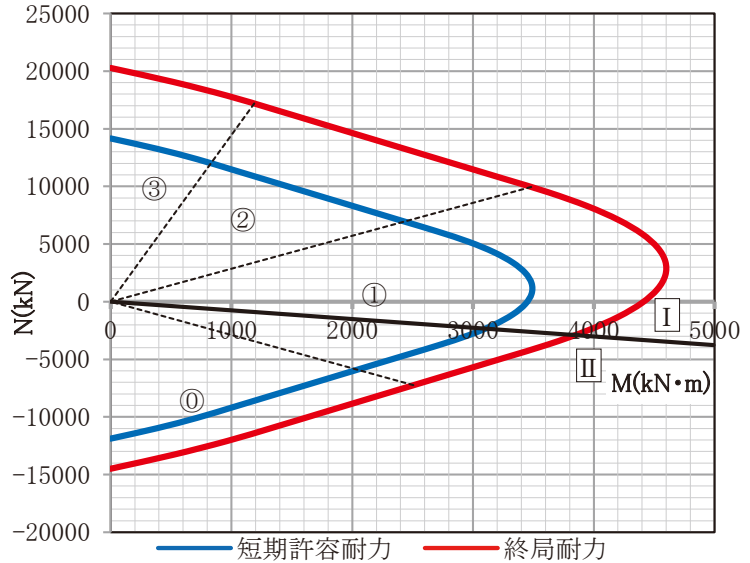
注3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □ 600 × 600 (板厚範囲:9 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M56
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	1140

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1150	32-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1500	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	980
<中柱用>	1150	28-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1500	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	980

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

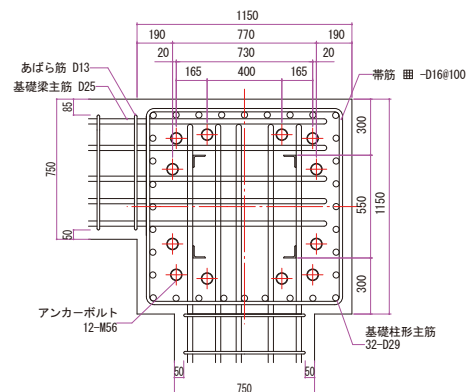
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	510~800	570~800	630~800	700~800
D25	510~800	580~800	650~800	720~800
D29	520~800	600~800	680~800	760~800

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~440	300~440	350~440	400~440
D25	270~440	310~440	370~440	440
D29		340~440	400~440	*750



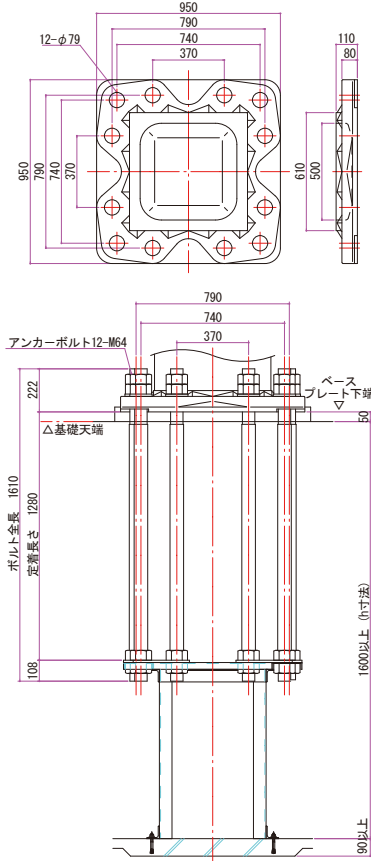
注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

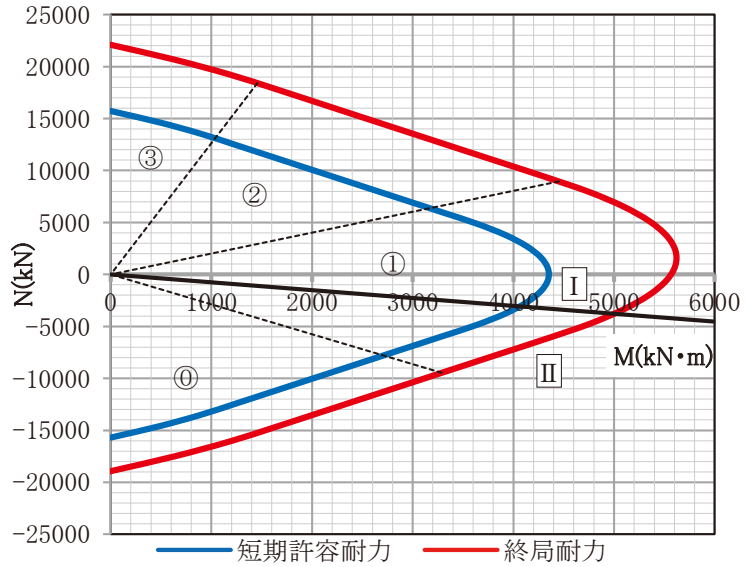
注3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □ 600 × 600 (板厚範囲:9 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M64
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	1240

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1150	44-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1800	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1130
<中柱用>	1150	32-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1800	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1130

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

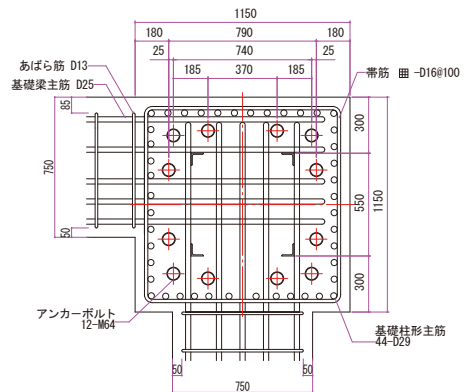
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	530~780	590~780	650~780	710~780
D25	530~780	600~780	670~780	740~780
D29	540~780	620~780	700~780	780

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~410	300~410	350~410	400~410
D25	270~410	310~410	370~410	*750
D29		340~410	400~410	*750



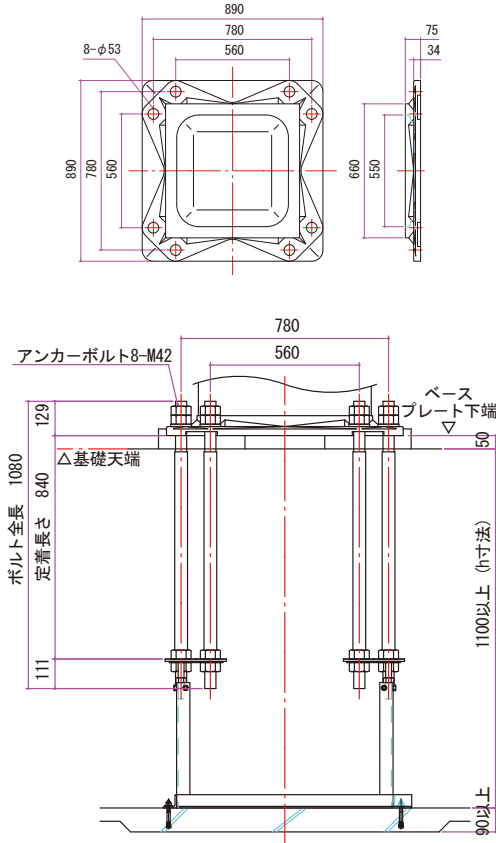
注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

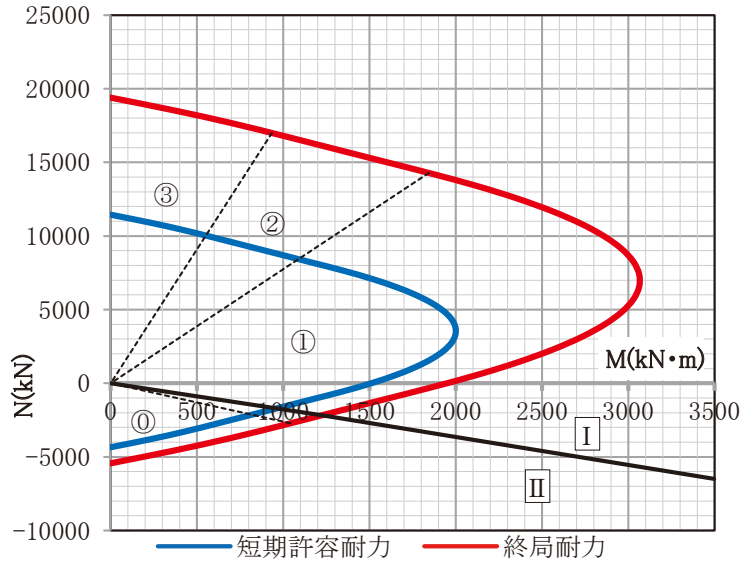
注3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □650×650 (板厚範囲:12~40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M42
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	680

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1100	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	1100	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	620
<中柱用>	1100	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	1100	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	620

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

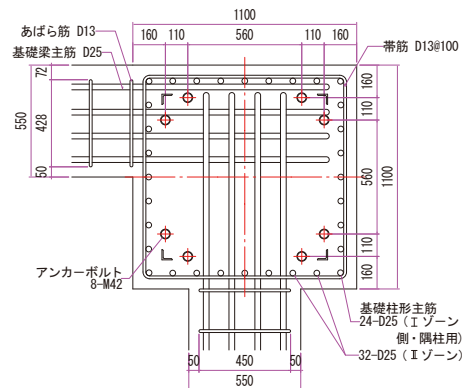
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400~870	460~870	520~870	580~870
D25	400~870	470~870	540~870	610~870
D29	410~870	490~870	570~870	650~870

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

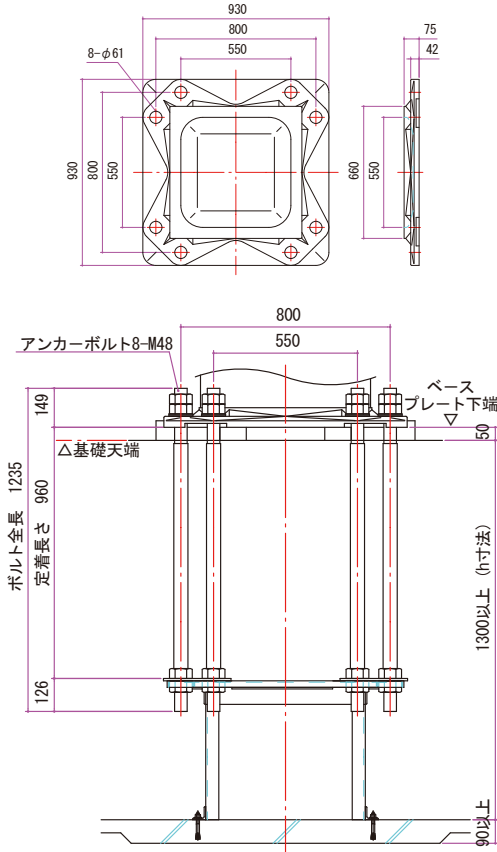
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~650	360~650	420~650	480~650
D25	310~650	380~650	450~650	520~650
D29	340~650	420~650	500~650	580~650



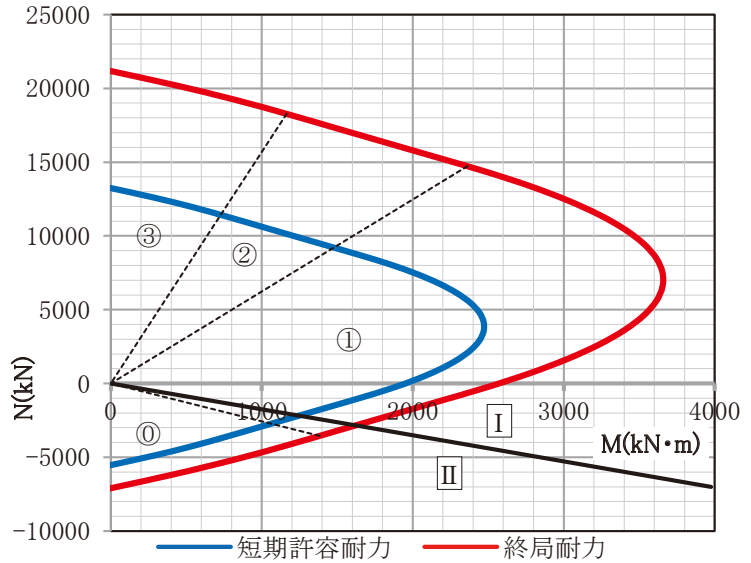
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

適用柱	角形鋼管柱 □ 650 × 650 (板厚範囲:12 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M48
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	782

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1150	20-D29(SD390)	D16@150(SD295)	1150	28-D29(SD390)	D16@150(SD295)	790
<中柱用>	1150	20-D29(SD390)	D16@150(SD295)	1150	28-D29(SD390)	D16@150(SD295)	790

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

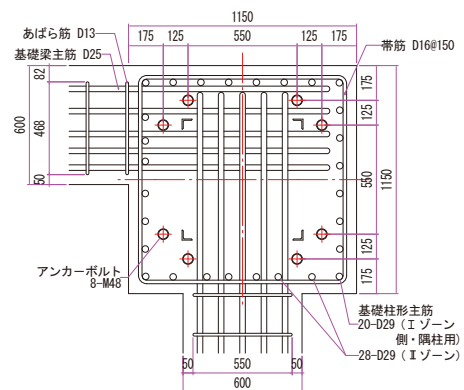
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	430~890	490~890	550~890	610~890
D25	430~890	500~890	570~890	640~890
D29	440~890	520~890	600~890	680~890

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

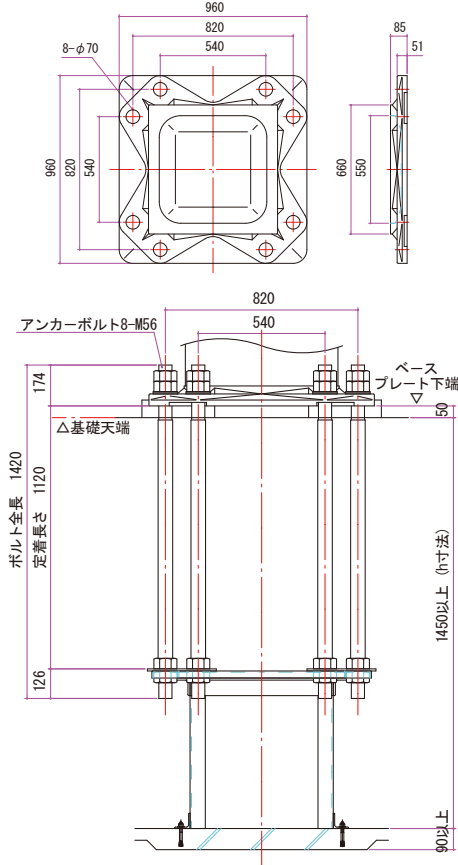
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~640	360~640	420~640	480~640
D25	310~640	380~640	450~640	520~640
D29	340~640	420~640	500~640	580~640



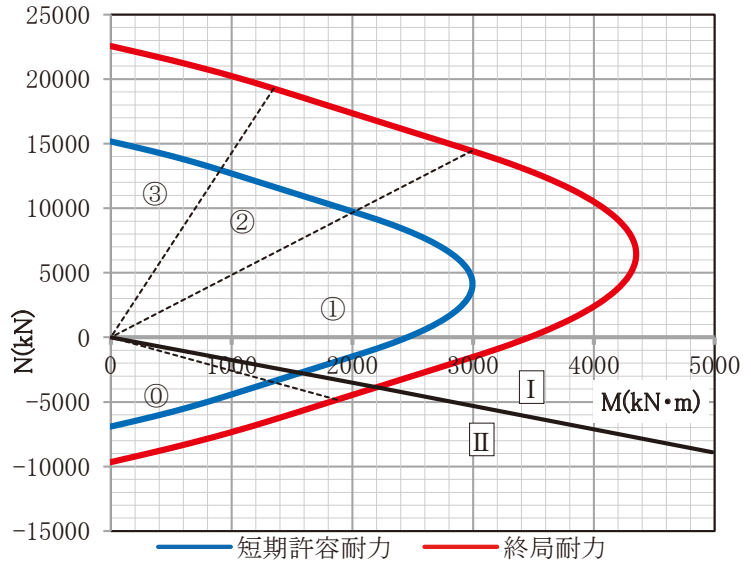
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

適用柱	角形鋼管柱 □ 650 × 650 (板厚範囲:12 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト (本数-呼び)	8-M56
回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	939

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1200	28-D29(SD390)	D13@100(SD295)	1200	36-D29(SD390)	D16@100(SD295)	940
<中柱用>	1200	24-D29(SD390)	D13@100(SD295)	1200	36-D29(SD390)	D16@100(SD295)	940

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

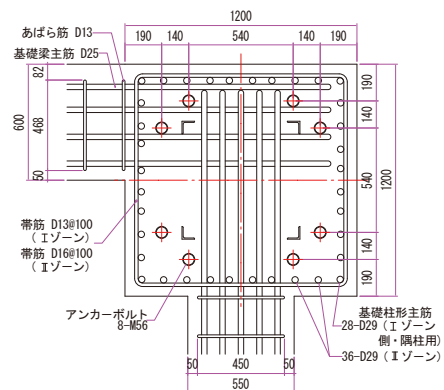
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	460~910	520~910	580~910	640~910
D25	470~910	540~910	610~910	680~910
D29	470~910	550~910	630~910	710~910

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

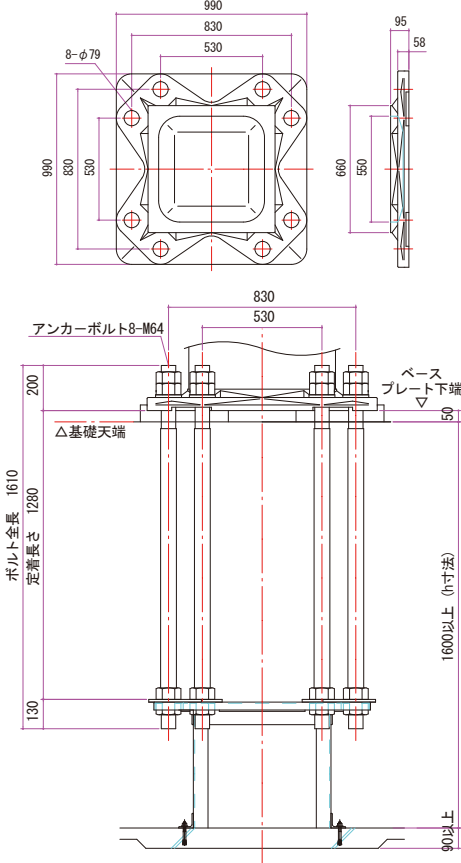
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~620	360~620	420~620	480~620
D25	310~620	380~620	450~620	520~620
D29	340~620	420~620	500~620	580~620



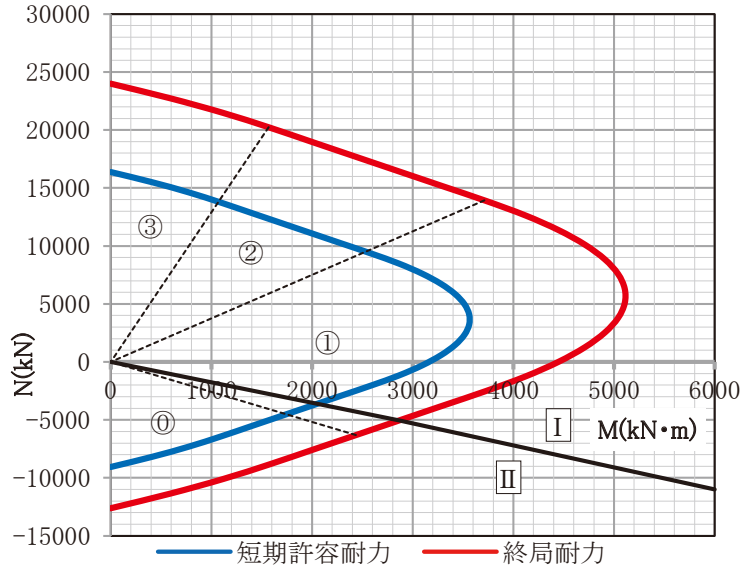
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

適用柱	角形鋼管柱 □650×650 (板厚範囲:12~40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M64
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	1080

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1200	32-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1200	48-D29(SD390)	D16@75(SD295)	1090
<中柱用>	1200	28-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1200	48-D29(SD390)	D16@75(SD295)	1090

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

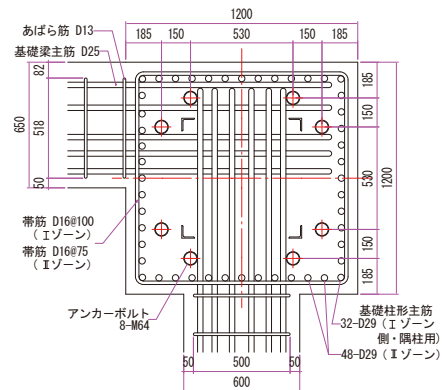
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	470~900	530~900	590~900	650~900
D25	480~900	550~900	620~900	690~900
D29	480~900	560~900	640~900	720~900

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

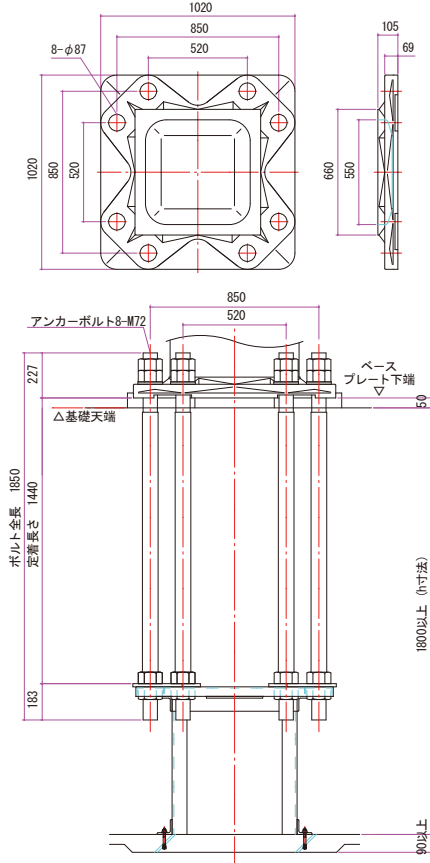
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~600	360~600	420~600	480~600
D25	310~600	380~600	450~600	520~600
D29	340~600	420~600	500~600	580~600



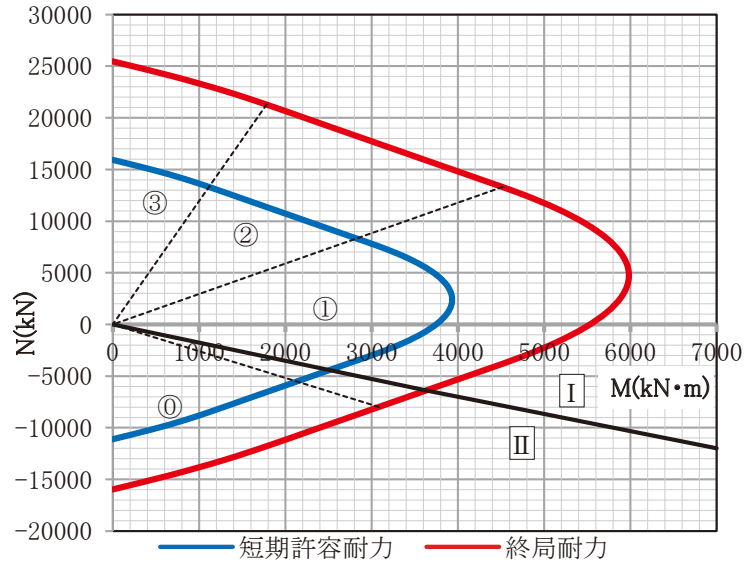
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

適用柱	角形鋼管柱 □ 650 × 650 (板厚範囲:12 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト (本数-呼び)	8-M72
回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	1220

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1300	40-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1500	60-D29(SD390)	D16@75(SD295)	1270
<中柱用>	1300	36-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1500	60-D29(SD390)	D16@75(SD295)	1270

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

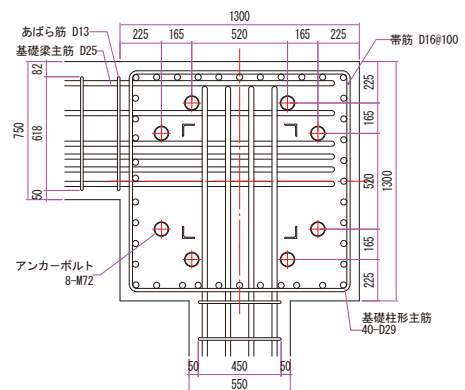
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	530~940	590~940	650~940	710~940
D25	540~940	610~940	680~940	750~940
D29	540~940	620~940	700~940	780~940

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

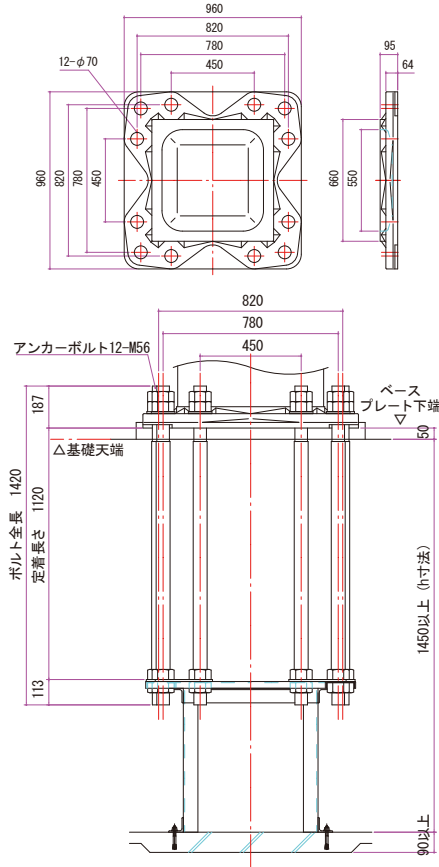
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~580	360~580	420~580	480~580
D25	310~580	380~580	450~580	520~580
D29	340~580	420~580	500~580	580



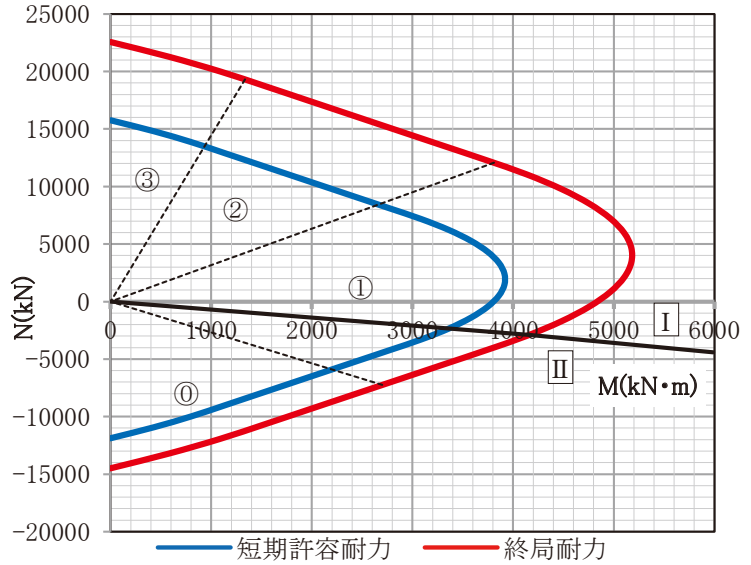
注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

適用柱	角形鋼管柱 □ 650 × 650 (板厚範囲:12 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M56
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	1320

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1200	36-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1500	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	990
<中柱用>	1200	28-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1500	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	990

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

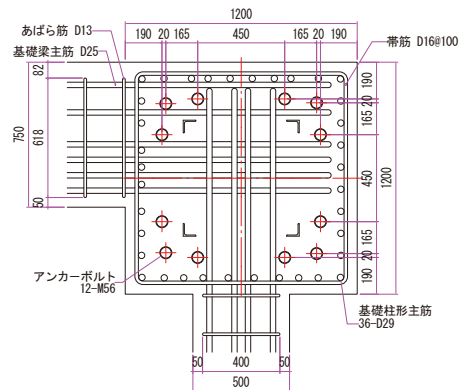
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	510~860	570~860	630~860	690~860
D25	510~860	580~860	650~860	730~860
D29	520~860	600~860	680~860	760~860

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~530	360~530	420~530	480~530
D25	310~530	380~530	450~530	520~530
D29	340~530	420~530	500~530	*860

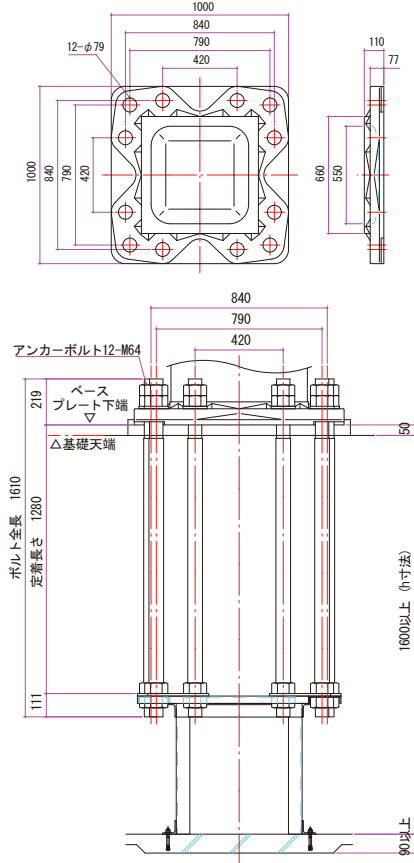


注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

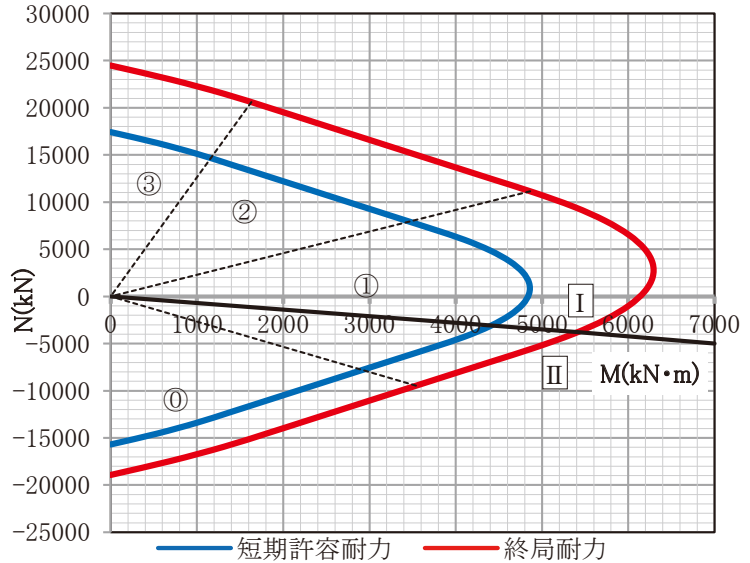
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □ 650 × 650 (板厚範囲:12 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M64
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	1460

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1200	44-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1800	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1130
<中柱用>	1200	36-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1800	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1130

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

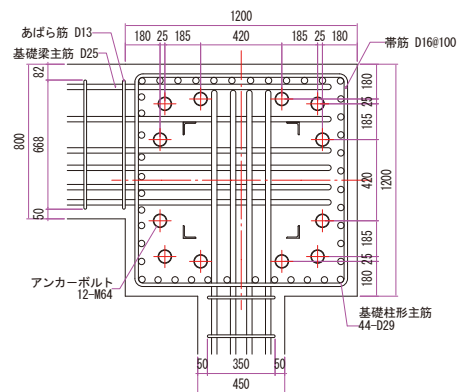
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	4	5	6	7
D22	590~840	650~840	710~840	770~840
D25	600~840	670~840	740~840	810~840
D29	610~840	690~840	770~840	840

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	4	5	6	7
D22	350~490	410~490	460~490	*860
D25	370~490	440~490	*860	*860
D29	400~490	480~490	*860	*860

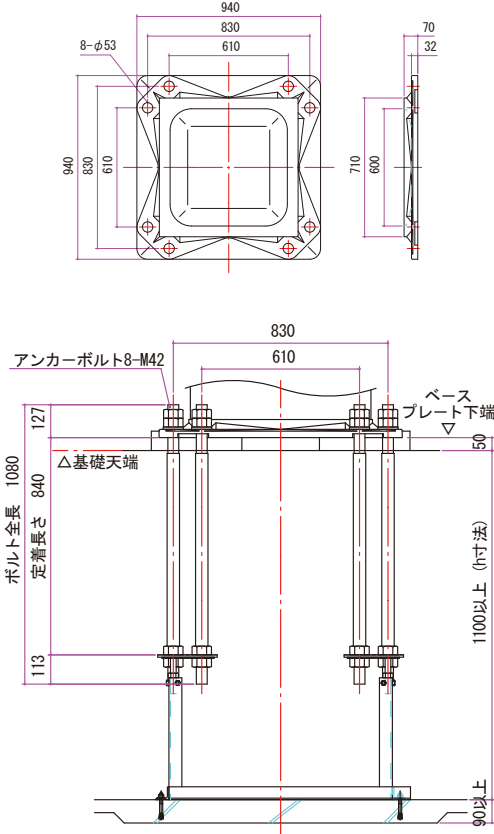


注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

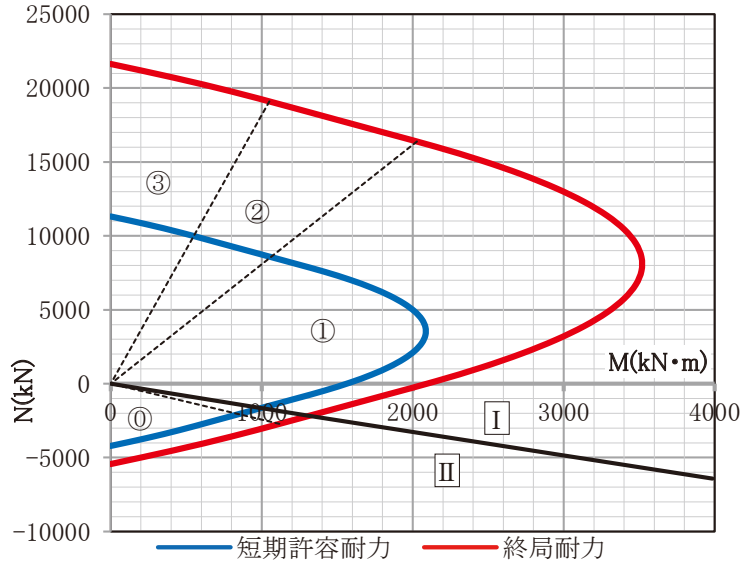
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □700×700 (板厚範囲:12～40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M42
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	782

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1150	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	1150	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	610
<中柱用>	1150	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	1150	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	610

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

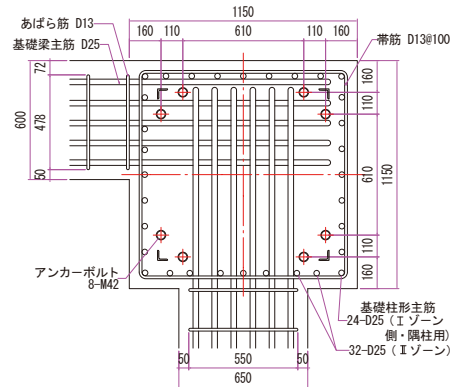
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400～920	460～920	520～920	580～920
D25	400～920	470～920	540～920	610～920
D29	410～920	490～920	570～920	650～920

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

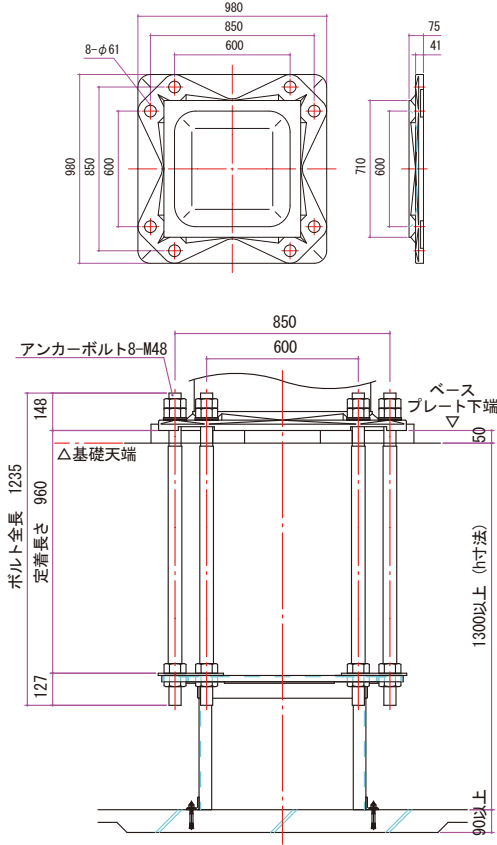
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300～700	360～700	420～700	480～700
D25	310～700	380～700	450～700	520～700
D29	340～700	420～700	500～700	580～700



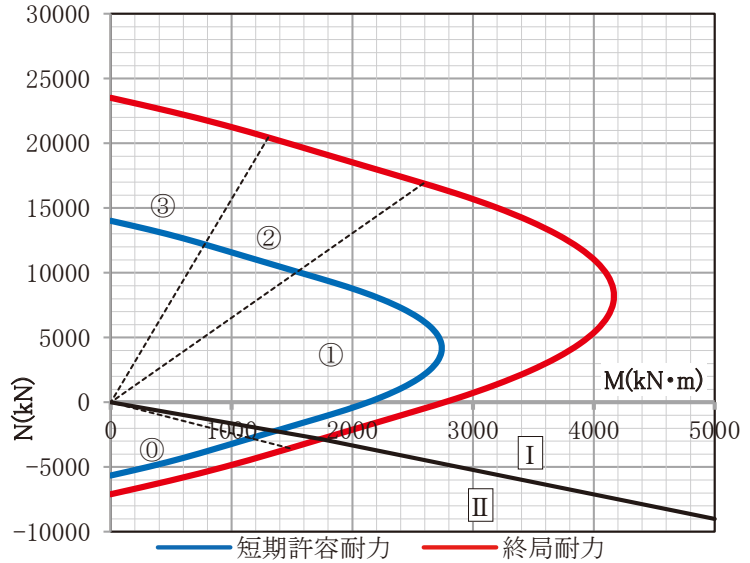
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

適用柱	角形鋼管柱 □700×700 (板厚範囲:12~40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M48
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	899

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1200	20-D29(SD390)	D13@100(SD295)	1200	28-D29(SD390)	D13@100(SD295)	790
<中柱用>	1200	20-D29(SD390)	D13@100(SD295)	1200	28-D29(SD390)	D13@100(SD295)	790

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

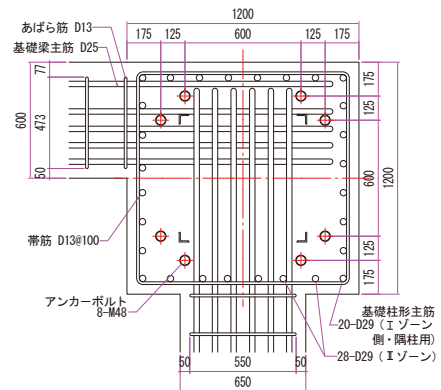
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	430~940	490~940	550~940	610~940
D25	430~940	500~940	570~940	640~940
D29	440~940	520~940	600~940	680~940

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

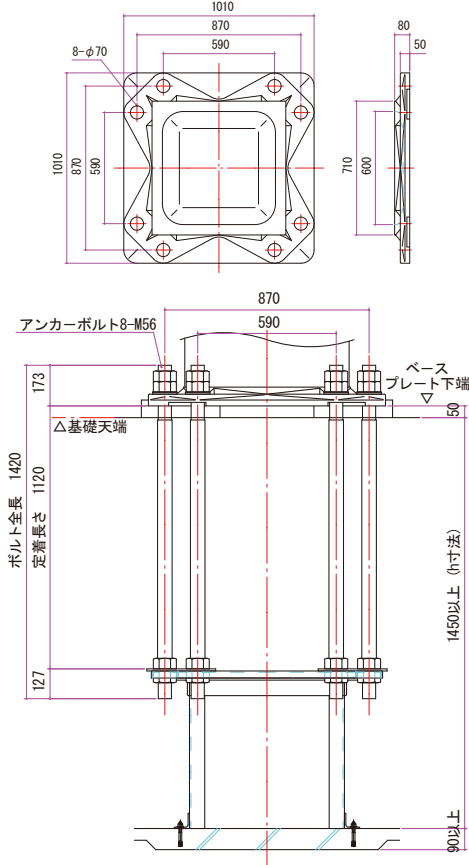
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~690	360~690	420~690	480~690
D25	310~690	380~690	450~690	520~690
D29	340~690	420~690	500~690	580~690



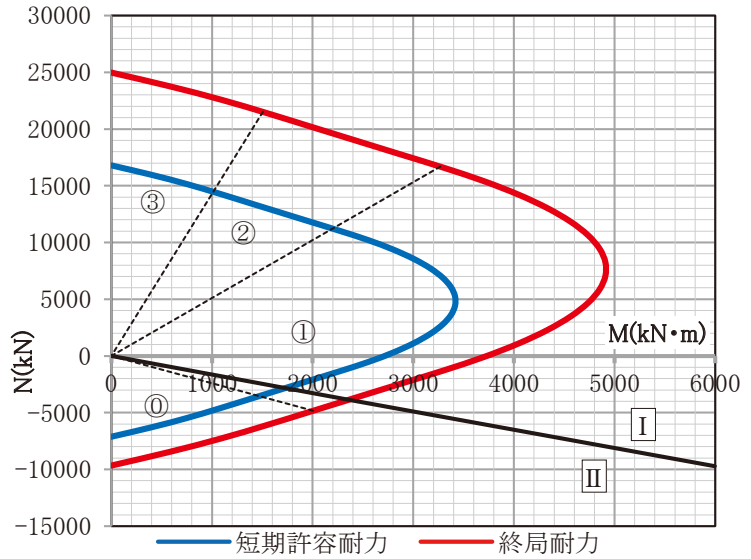
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

適用柱	角形鋼管柱 □700×700 (板厚範囲:12~40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M56
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	1070

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1250	28-D29(SD390)	D16@150(SD295)	1250	36-D29(SD390)	D16@100(SD295)	920
<中柱用>	1250	24-D29(SD390)	D16@150(SD295)	1250	36-D29(SD390)	D16@100(SD295)	920

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

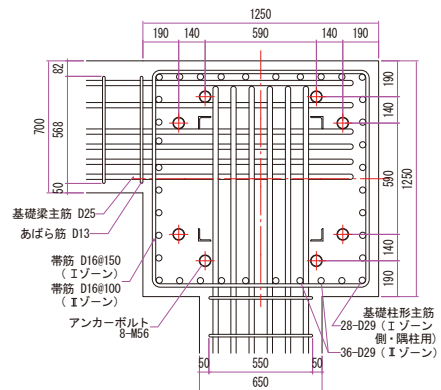
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	460~960	520~960	580~960	640~960
D25	470~960	540~960	610~960	680~960
D29	470~960	550~960	630~960	710~960

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

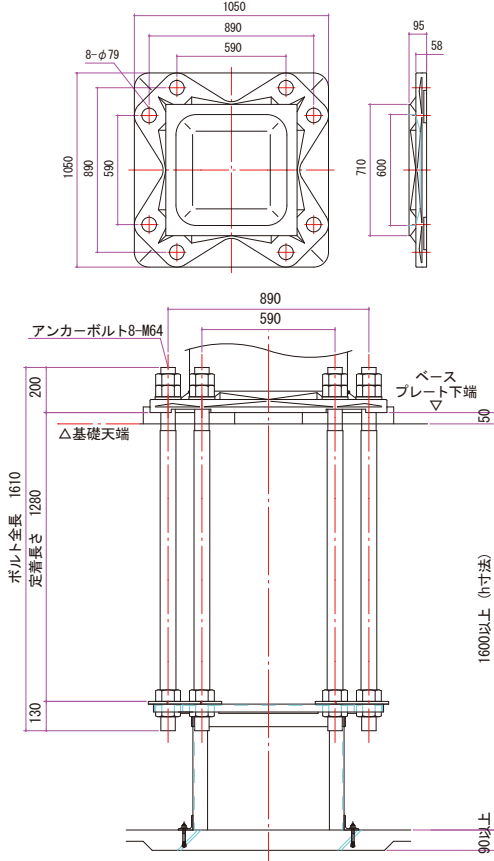
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~670	360~670	420~670	480~670
D25	310~670	380~670	450~670	520~670
D29	340~670	420~670	500~670	580~670



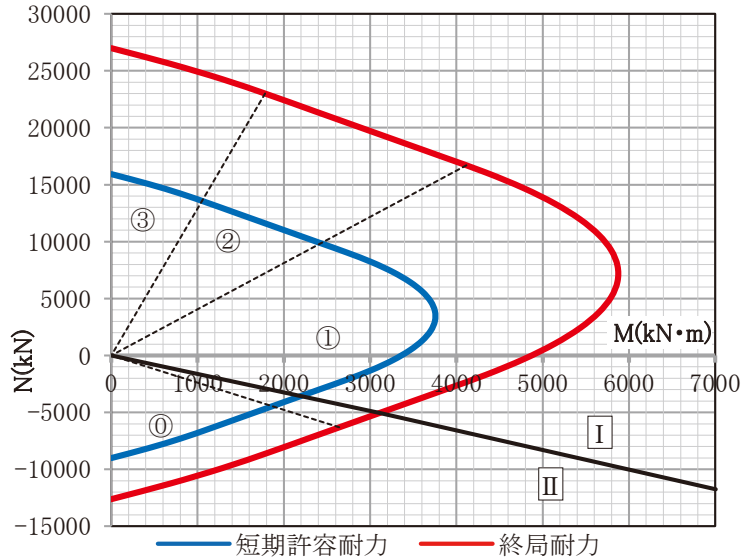
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

適用柱	角形鋼管柱 □700×700 (板厚範囲:12 ~ 40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M64
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	1280

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1300	32-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1300	48-D29(SD390)	D16@75(SD295)	1070
<中柱用>	1300	32-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1300	48-D29(SD390)	D16@75(SD295)	1070

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

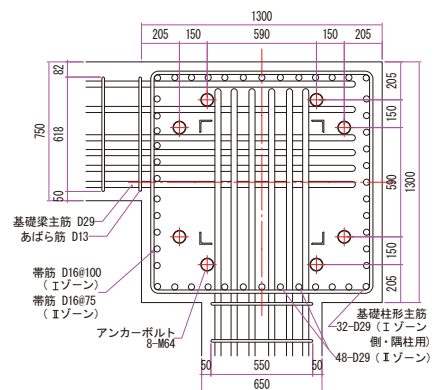
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	490~980	550~980	610~980	670~980
D25	500~980	570~980	640~980	710~980
D29	500~980	580~980	660~980	740~980

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

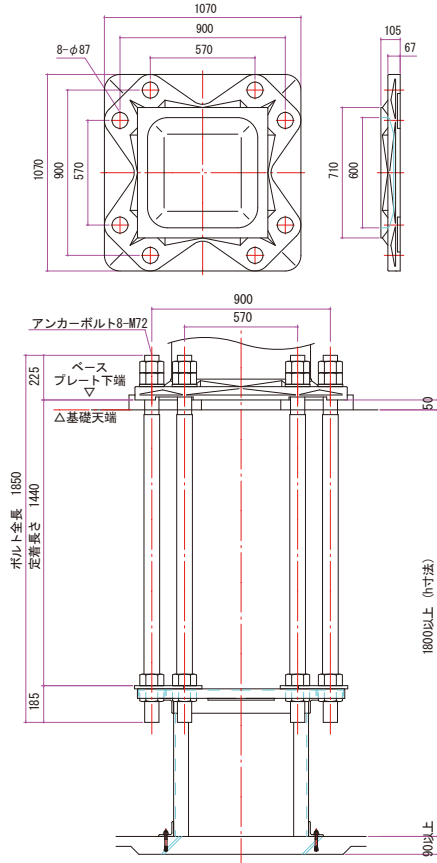
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~660	360~660	420~660	480~660
D25	310~660	380~660	450~660	520~660
D29	340~660	420~660	500~660	580~660



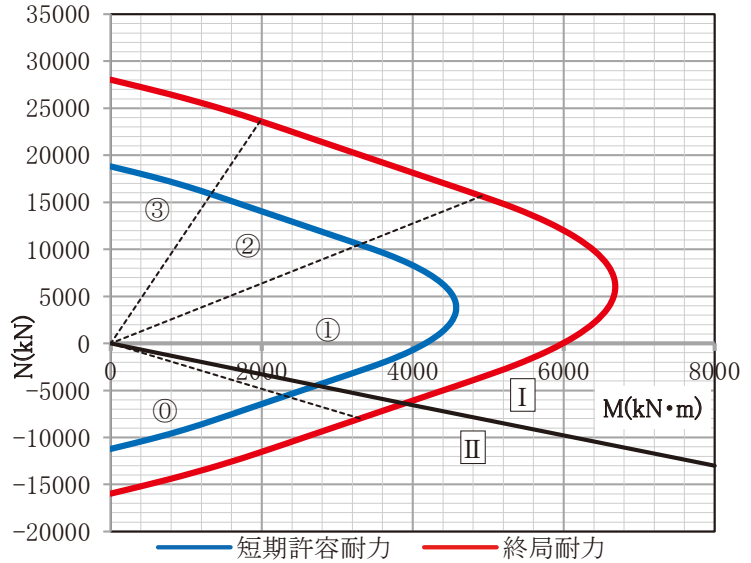
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

適用柱	角形鋼管柱 □700×700 (板厚範囲:12~40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M72
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	1430

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1350	40-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1500	60-D29(SD390)	D16@75(SD295)	1270
<中柱用>	1350	36-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1500	60-D29(SD390)	D16@75(SD295)	1270

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

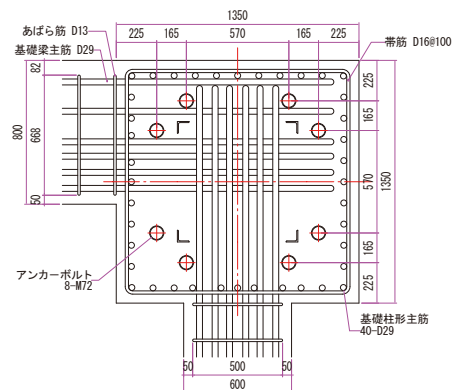
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	530~990	590~990	650~990	710~990
D25	540~990	610~990	680~990	750~990
D29	540~990	620~990	700~990	780~990

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

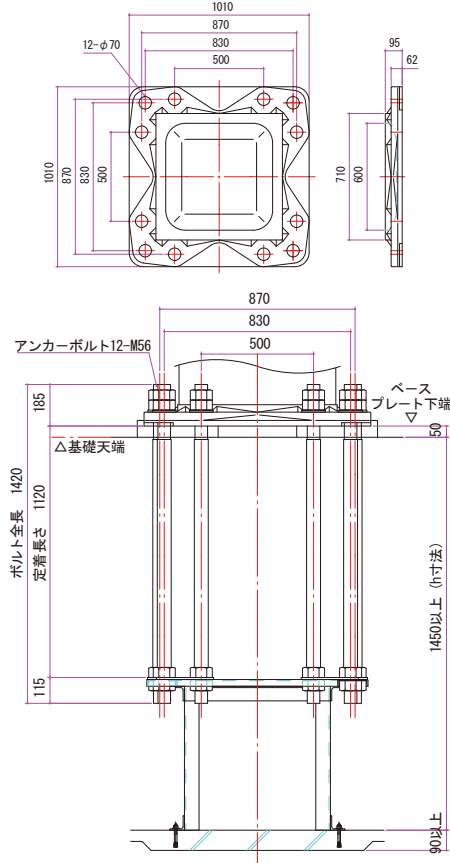
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~630	360~630	420~630	480~630
D25	310~630	380~630	450~630	520~630
D29	340~630	420~630	500~630	580~630



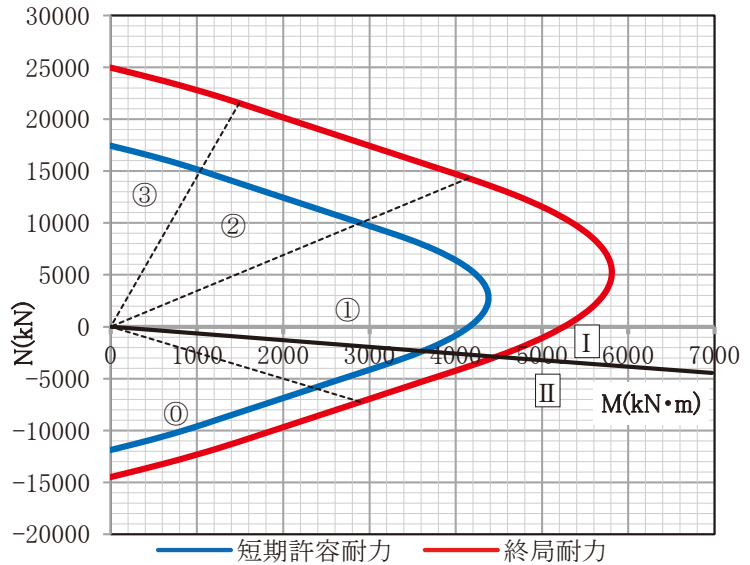
注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

適用柱	角形鋼管柱 □700×700 (板厚範囲:12~40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M56
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	1490

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1250	36-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1500	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	990
<中柱用>	1250	28-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1500	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	990

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

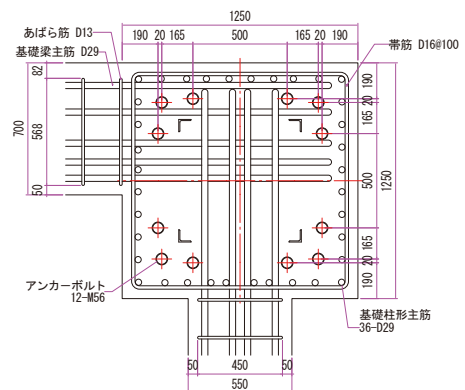
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	510~910	570~910	630~910	690~910
D25	510~910	580~910	650~910	720~910
D29	520~910	600~910	680~910	760~910

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	300~580	360~580	420~580	480~580
D25	310~580	380~580	450~580	520~580
D29	340~580	420~580	500~580	580

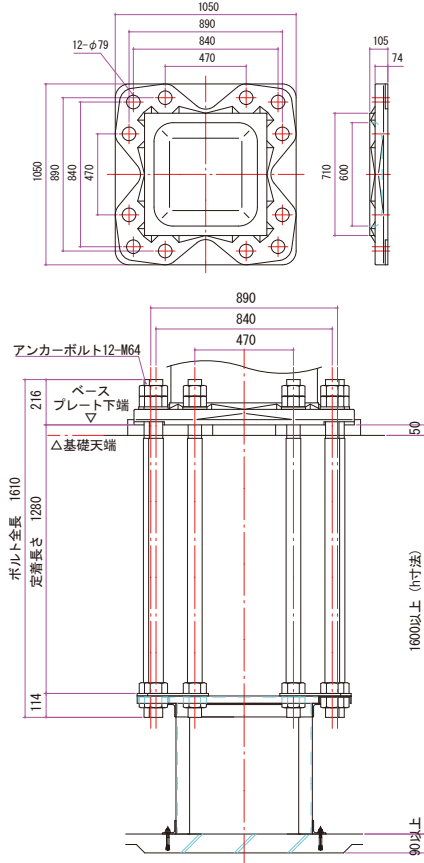


注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

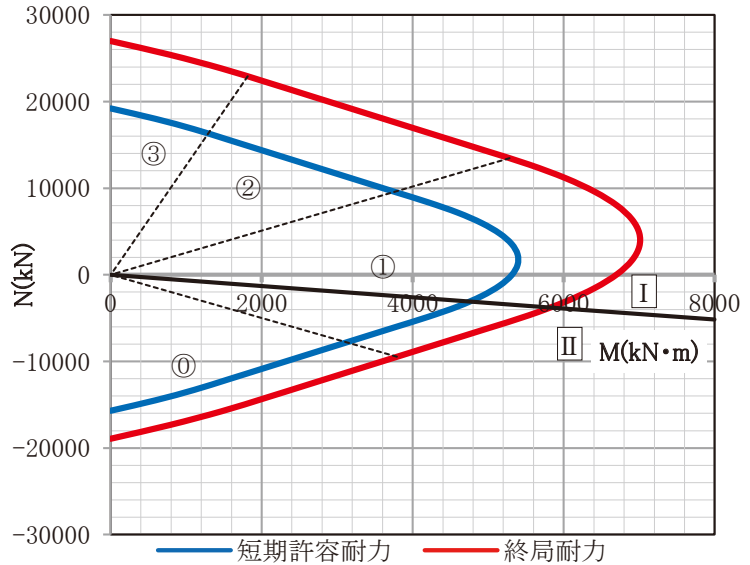
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □700×700 (板厚範囲:12~40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M64
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	1710

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1300	44-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1800	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1130
<中柱用>	1300	36-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1800	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1130

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

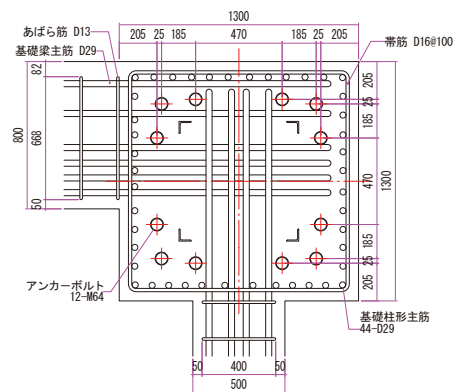
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	4	5	6	7
D22	610~920	670~920	730~920	790~920
D25	620~920	690~920	760~920	830~920
D29	640~920	720~920	800~920	880~920

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	4	5	6	7
D22	350~540	410~540	470~540	*910
D25	370~540	440~540	510~540	*910
D29	400~540	480~540	540	*910

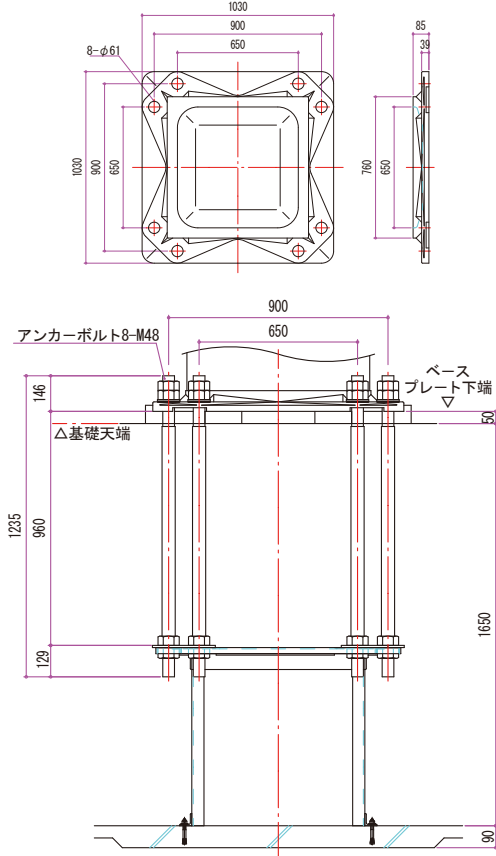


注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

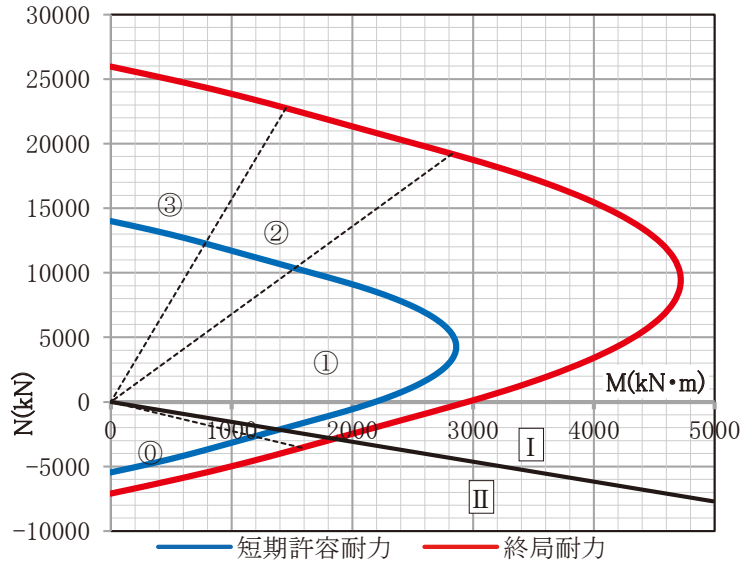
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □750×750 (板厚範囲:16～40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M48
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	1010

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1250	20-D29(SD390)	D16@150(SD295)	1250	28-D29(SD390)	D16@150(SD295)	760
<中柱用>	1250	20-D29(SD390)	D16@150(SD295)	1250	28-D29(SD390)	D16@150(SD295)	760

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

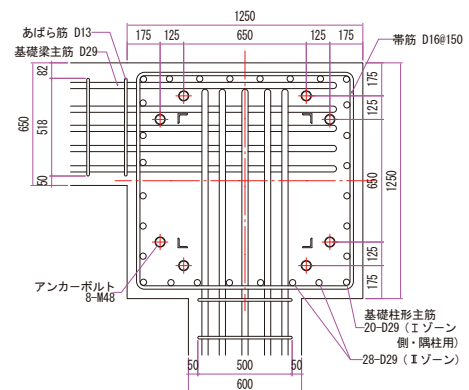
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	430～990	490～990	550～990	610～990
D25	430～990	500～990	570～990	640～990
D29	440～990	520～990	600～990	680～990

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

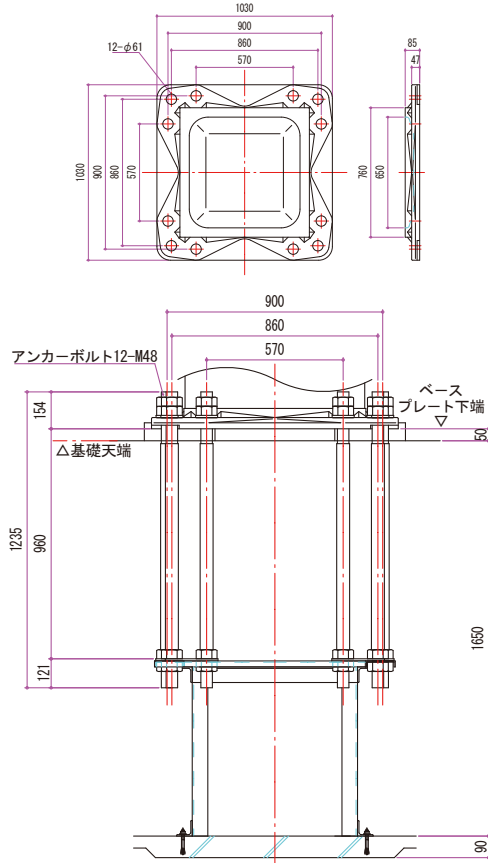
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300～740	360～740	420～740	480～740
D25	310～740	380～740	450～740	520～740
D29	340～740	420～740	500～740	580～740



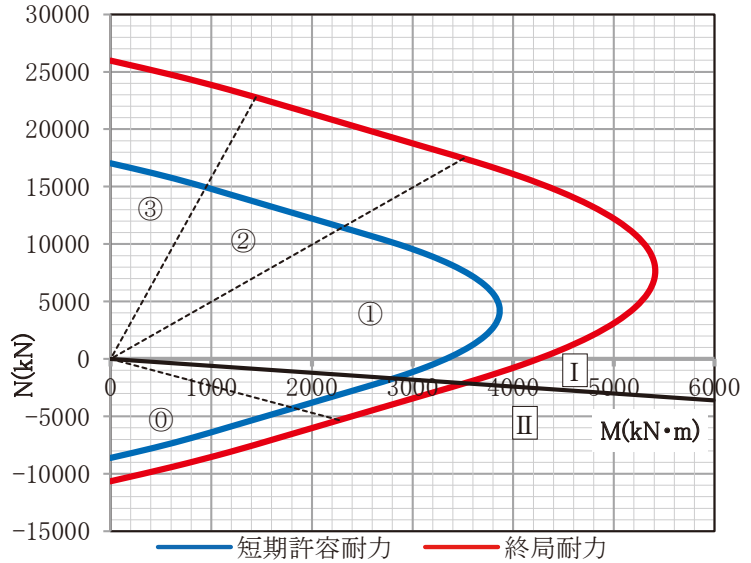
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

適用柱	角形鋼管柱 □750×750 (板厚範囲:16～40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M48
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	1460

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1250	28-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1250	40-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	760
<中柱用>	1250	20-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1250	40-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	760

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

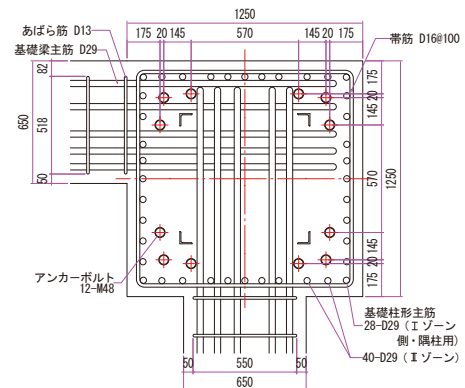
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	470～950	530～950	590～950	650～950
D25	470～950	540～950	610～950	680～950
D29	480～950	560～950	640～950	720～950

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300～660	360～660	420～660	480～660
D25	310～660	380～660	450～660	520～660
D29	340～660	420～660	500～660	580～660

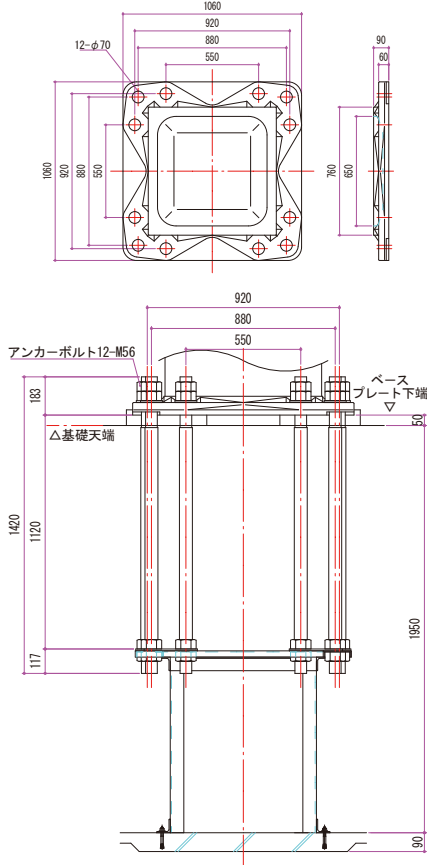


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

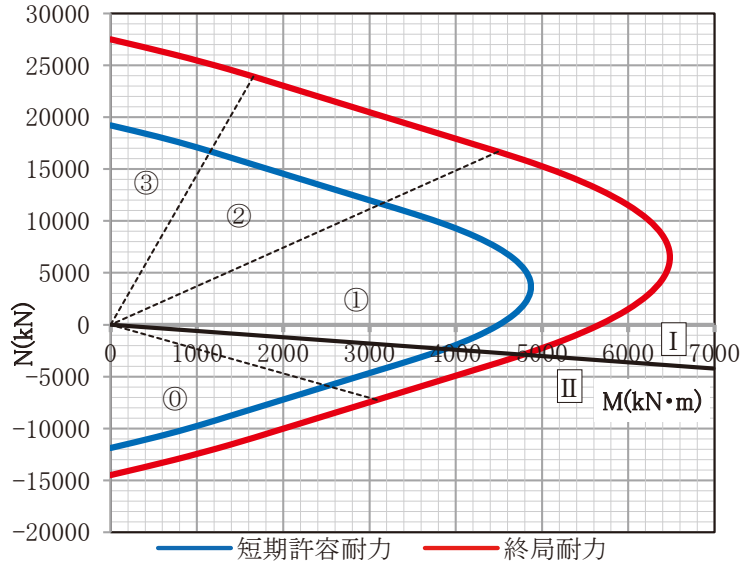
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □750×750 (板厚範囲:16～40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M56
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	1700

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1300	36-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1500	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	990
<中柱用>	1300	32-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1500	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	990

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

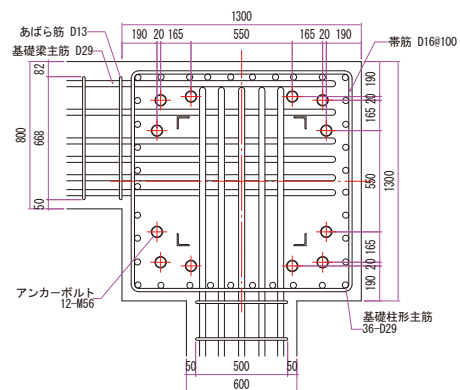
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	4	5	6	7
D22	570～960	630～960	690～960	750～960
D25	580～960	650～960	720～960	790～960
D29	590～960	670～960	750～960	830～960

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	4	5	6	7
D22	350～630	410～630	470～630	530～630
D25	370～630	440～630	510～630	580～630
D29	400～630	480～630	560～630	*960

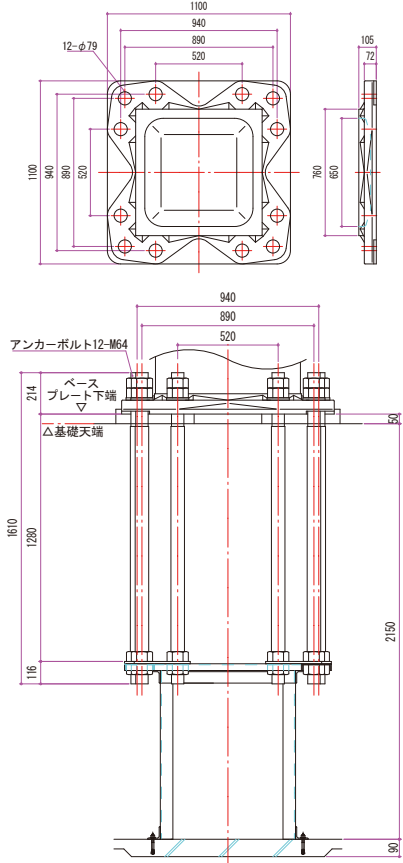


注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

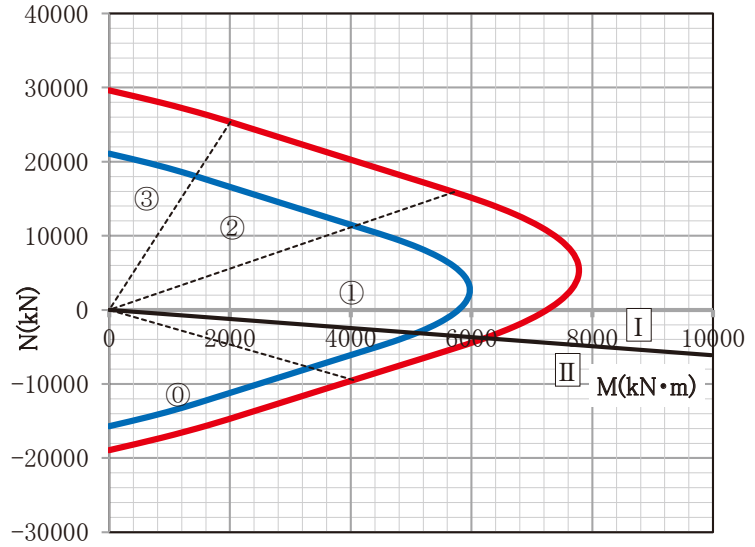
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □750×750 (板厚範囲:16～40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M64
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	1980

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1400	44-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1800	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1130
<中柱用>	1400	36-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1800	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1130

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

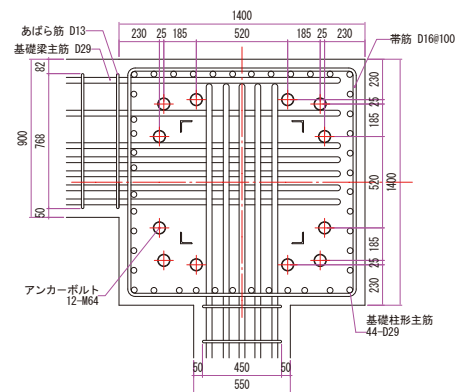
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	4	5	6	7
D22	640～990	700～990	760～990	820～990
D25	650～990	720～990	790～990	860～990
D29	660～990	740～990	820～990	900～990

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	4	5	6	7
D22	350～590	410～590	470～590	530～590
D25	370～590	440～590	510～590	580～590
D29	400～590	480～590	560～590	*960

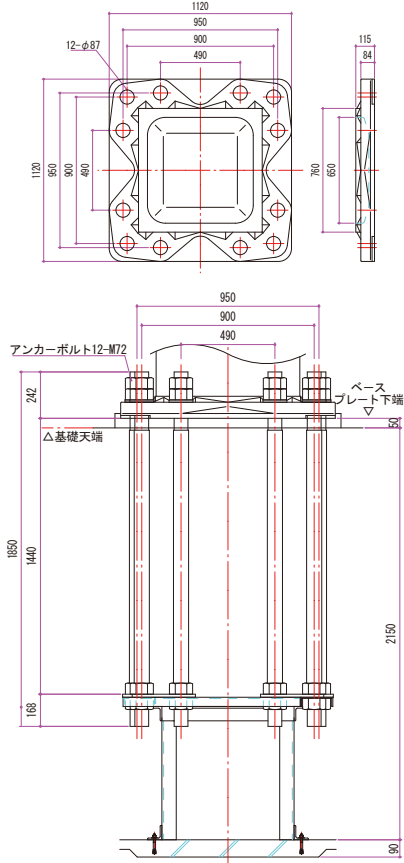


注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

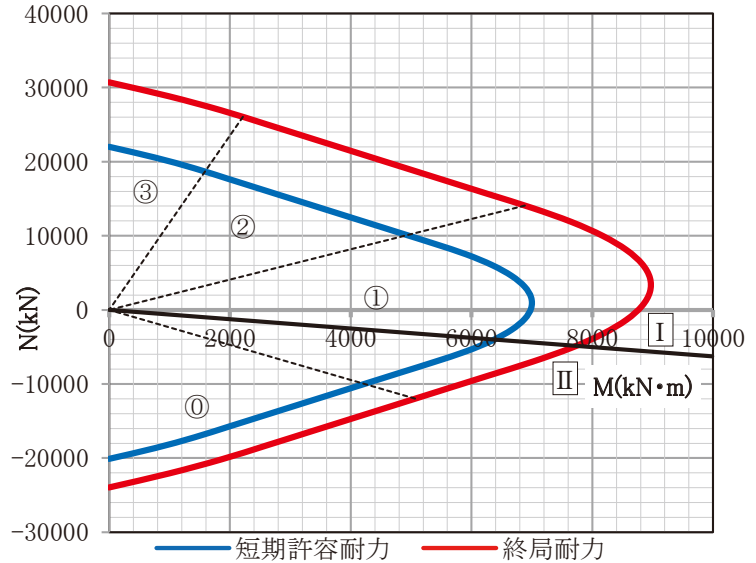
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □750×750 (板厚範囲:16～40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M72
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	2110

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1500	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	2400	88-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1260
<中柱用>	1500	48-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	2400	88-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1260

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

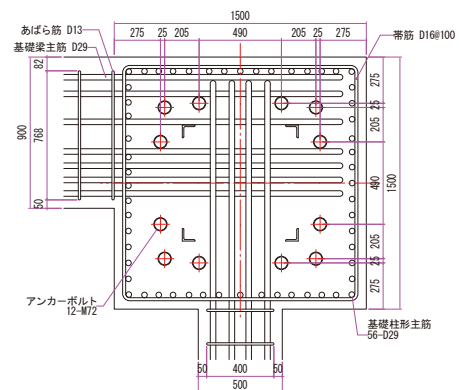
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	5	6	7	8
D22	710~1020	770~1020	830~1020	890~1020
D25	720~1020	790~1020	860~1020	930~1020
D29	730~1020	810~1020	890~1020	970~1020

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	4	5	6	7
D22	350~550	410~550	470~550	530~550
D25	370~550	440~550	510~550	*960
D29	400~550	480~550	560~550	*960

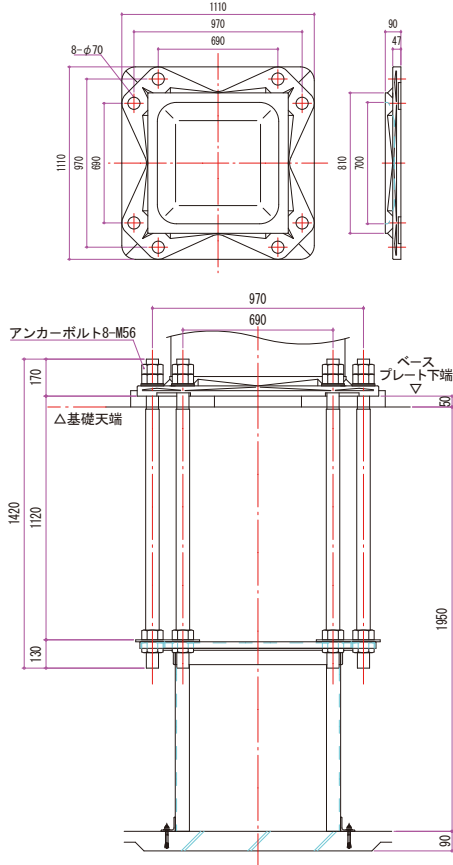


注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

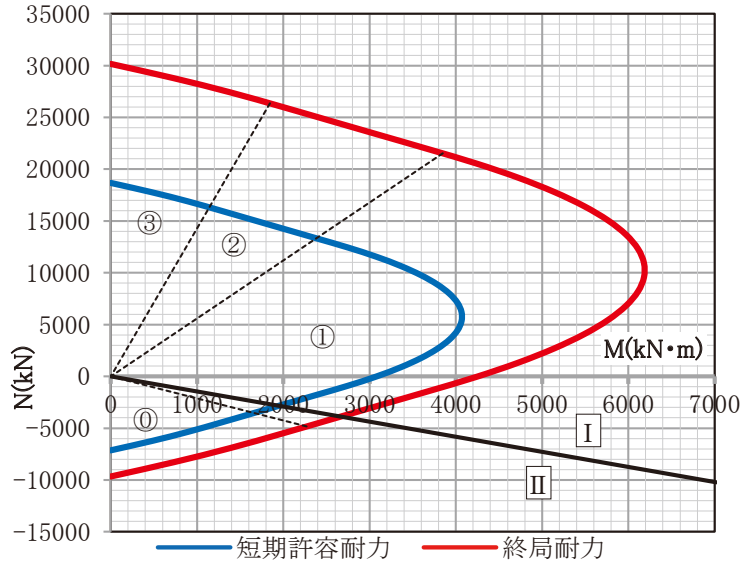
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □ 800 × 800 (板厚範囲:16 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M56
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	1380

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1350	28-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1350	36-D29(SD390)	D16@100(SD295)	900
<中柱用>	1350	24-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1350	36-D29(SD390)	D16@100(SD295)	900

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

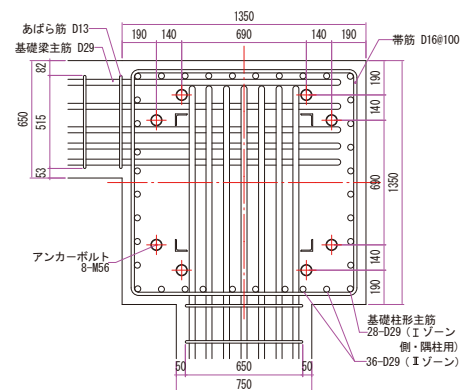
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	4	5	6	7
D22	520~1060	580~1060	640~1060	700~1060
D25	530~1060	600~1060	670~1060	740~1060
D29	550~1060	630~1060	710~1060	790~1060

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

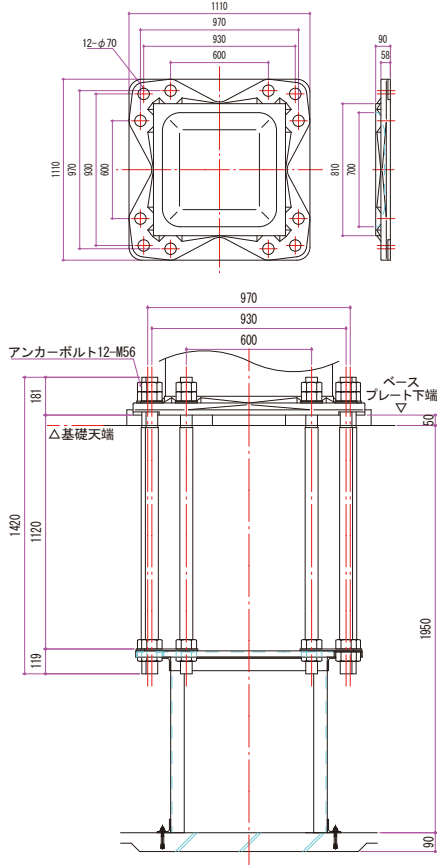
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	4	5	6	7
D22	350~770	410~770	470~770	530~770
D25	370~770	440~770	510~770	580~770
D29	400~770	480~770	560~770	640~770



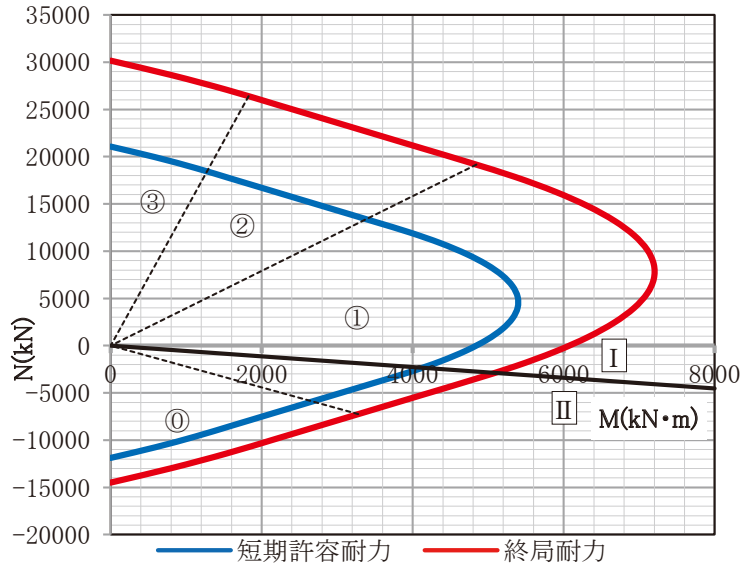
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

適用柱	角形鋼管柱 □ 800 × 800 (板厚範囲:16 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M56
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	1930

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1350	36-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1500	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	990
<中柱用>	1350	32-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1500	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	990

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

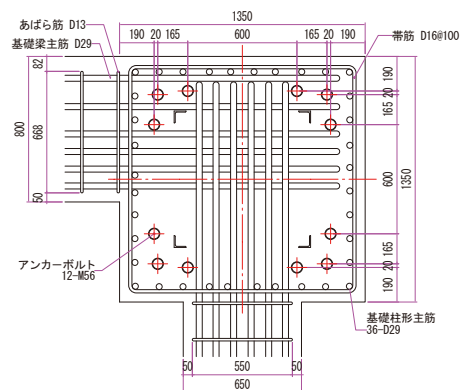
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	4	5	6	7
D22	570~1010	630~1010	690~1010	750~1010
D25	580~1010	650~1010	720~1010	790~1010
D29	590~1010	670~1010	750~1010	830~1010

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	4	5	6	7
D22	350~680	410~680	470~680	530~680
D25	370~680	440~680	510~680	580~680
D29	400~680	480~680	560~680	640~680

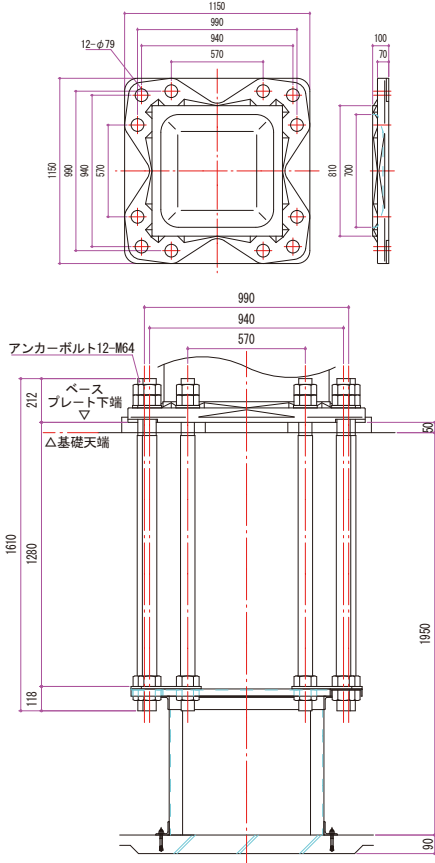


注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

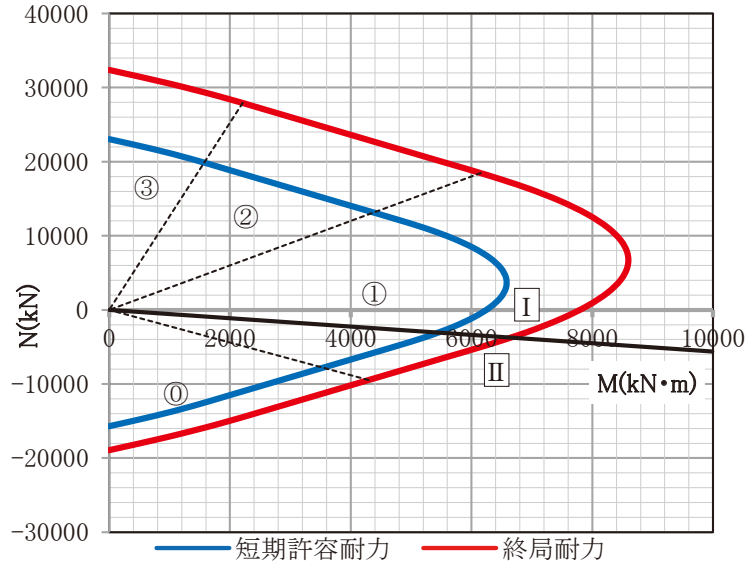
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □ 800 × 800 (板厚範囲:16 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M64
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	2210

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1500	44-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1800	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1130
<中柱用>	1500	36-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1800	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1130

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

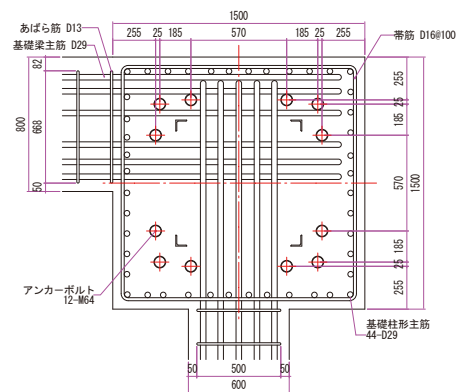
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	5	6	7	8
D22	660~1070	720~1070	780~1070	840~1070
D25	670~1070	740~1070	810~1070	880~1070
D29	690~1070	770~1070	850~1070	930~1070

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

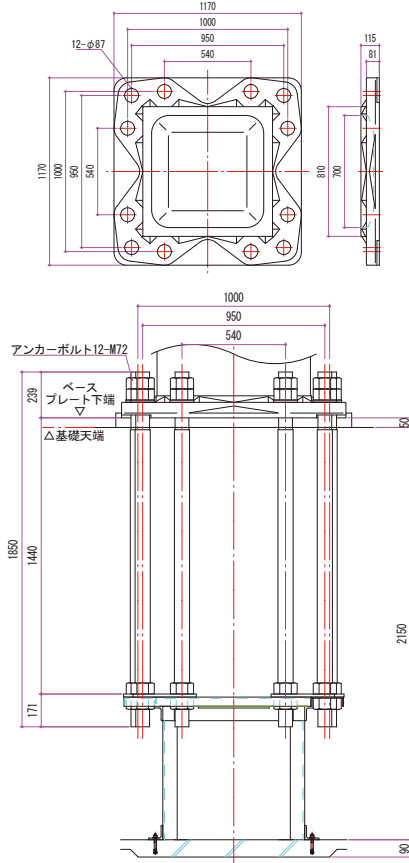
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	5	6	7	8
D22	400~640	460~640	520~640	580~640
D25	440~640	510~640	580~640	*1010
D29	480~640	560~640	640~640	*1010



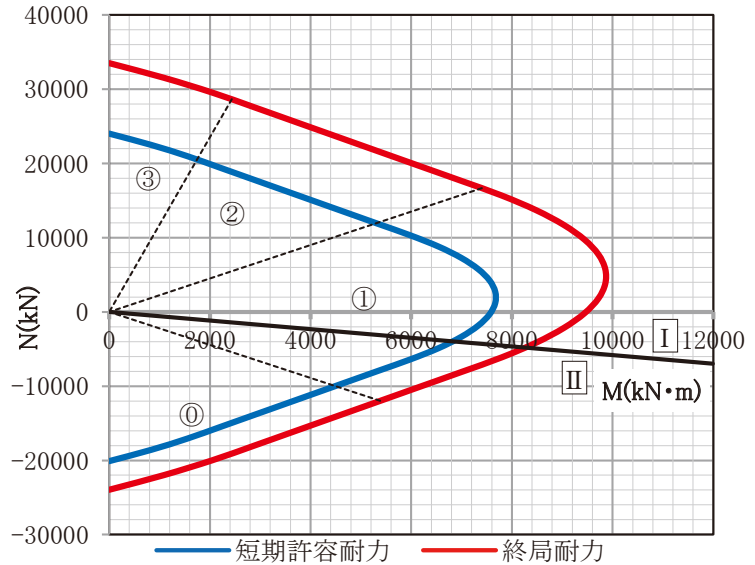
注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □ 800 × 800 (板厚範囲:16 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M72
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	2410

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1600	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	2400	88-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1260
<中柱用>	1600	48-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	2400	88-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1260

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

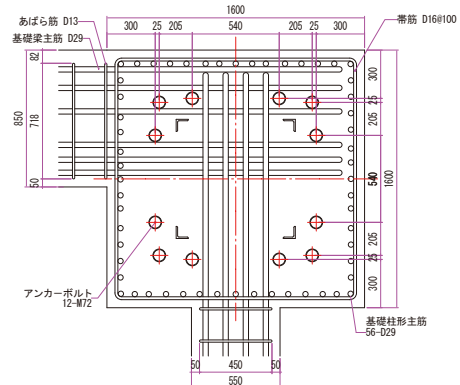
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	5	6	7	8
D22	730~1100	790~1100	850~1100	910~1100
D25	740~1100	810~1100	880~1100	950~1100
D29	760~1100	840~1100	920~1100	1000~1100

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	4	5	6	7
D22	350~600	410~600	470~600	530~600
D25	370~600	440~600	510~600	580~600
D29	400~600	480~600	560~600	*1010

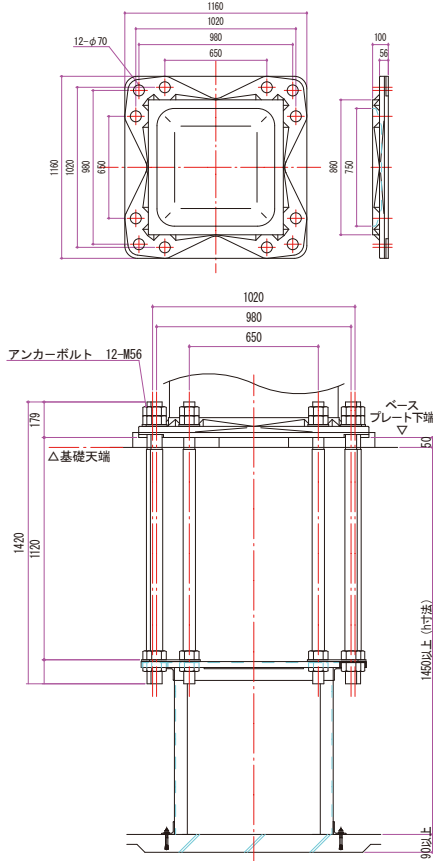


注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

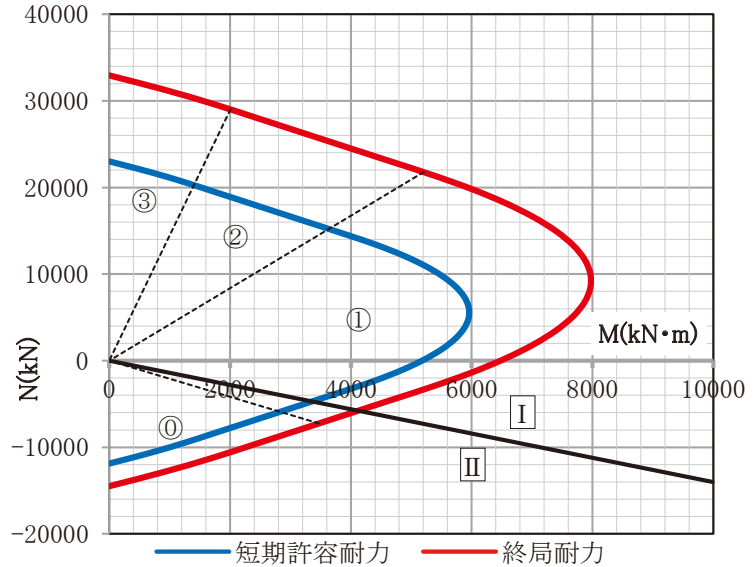
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □ 850 × 850 (板厚範囲:16 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M56
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	2160

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1400	40-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1500	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	990
<中柱用>	1400	32-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1500	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	990

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

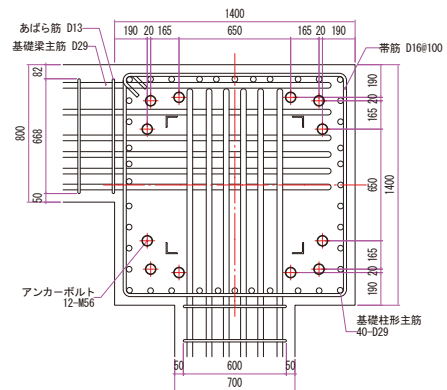
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	510~1060	570~1060	630~1060	690~1060
D25	510~1060	580~1060	650~1060	720~1060
D29	520~1060	600~1060	680~1060	760~1060

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

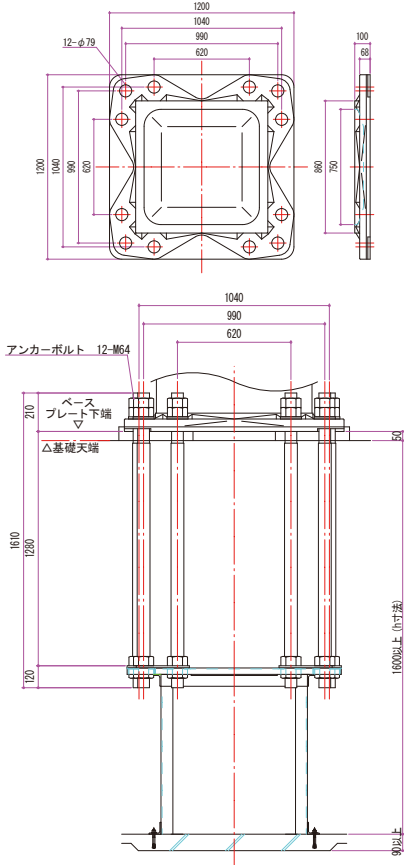
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~730	360~730	420~730	480~730
D25	310~730	380~730	450~730	510~730
D29	340~730	420~730	500~730	580~730



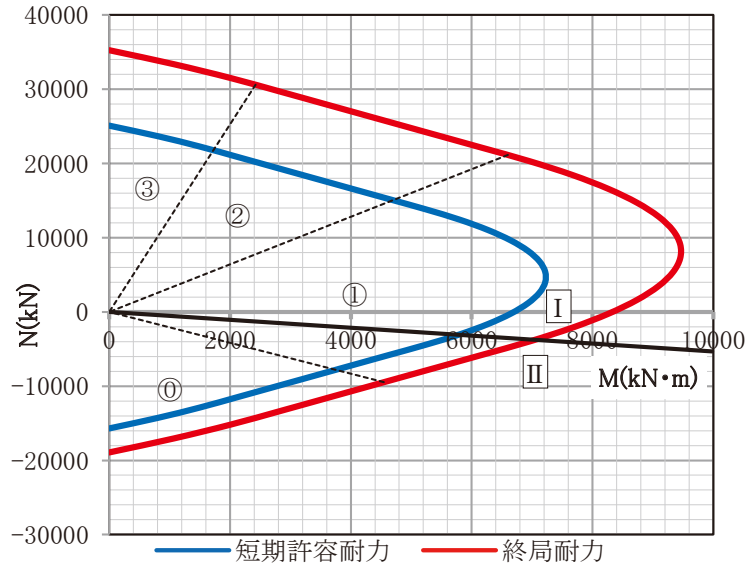
注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。
 注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □ 850 × 850 (板厚範囲:16 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M64
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	2480

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1550	48-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1800	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1130
<中柱用>	1550	40-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1800	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1130

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

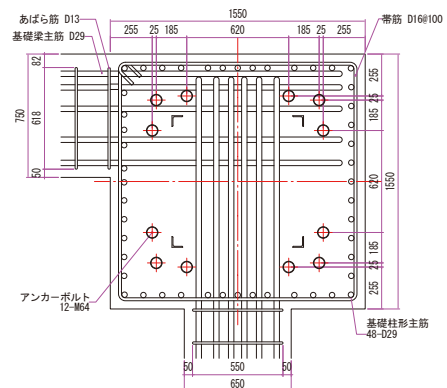
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	4	5	6	7
D22	600~1120	660~1120	720~1120	780~1120
D25	610~1120	680~1120	750~1120	820~1120
D29	610~1120	690~1120	770~1120	850~1120

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~690	360~690	420~690	480~690
D25	310~690	380~690	450~690	510~690
D29	340~690	420~690	500~690	580~690

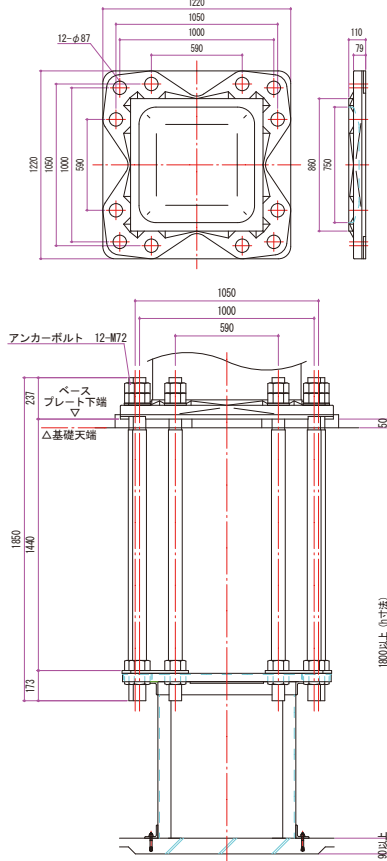


注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

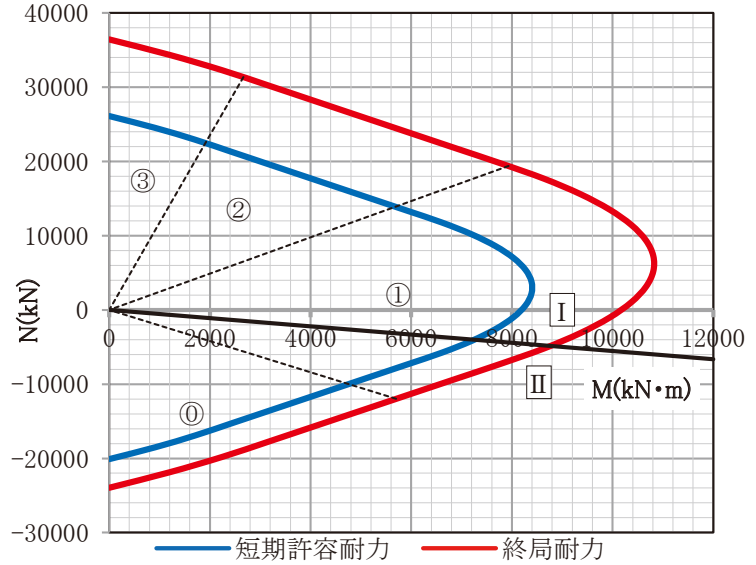
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □ 850 × 850 (板厚範囲:16 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M72
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	2740

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1800	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	2400	88-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1260
<中柱用>	1800	48-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	2400	88-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1260

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

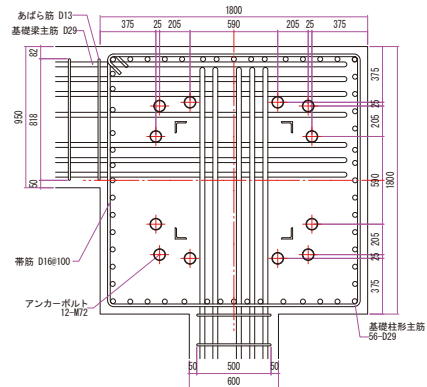
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	5	6	7	8
D22	540~1220	750~1220	810~1220	870~1220
D25	550~1220	750~1220	820~1220	890~1220
D29	760~1220	840~1220	920~1220	1000~1220

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	5	6	7	8
D22	400~650	460~650	520~650	580~650
D25	440~650	510~650	580~650	650
D29	480~650	560~650	640~650	*1060

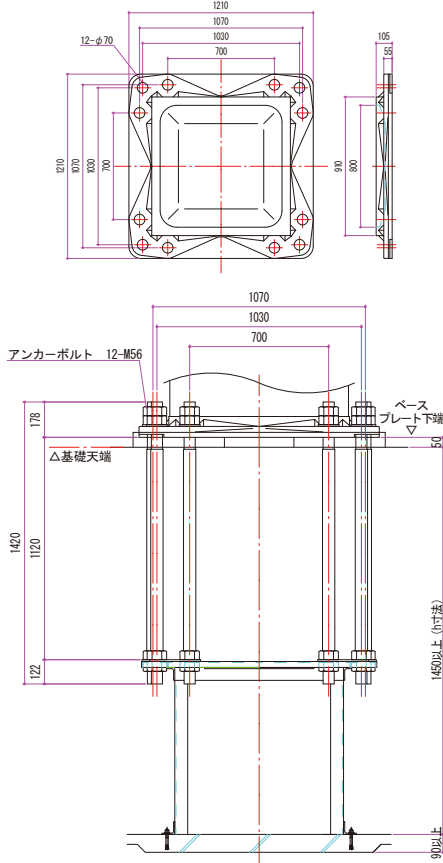


注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

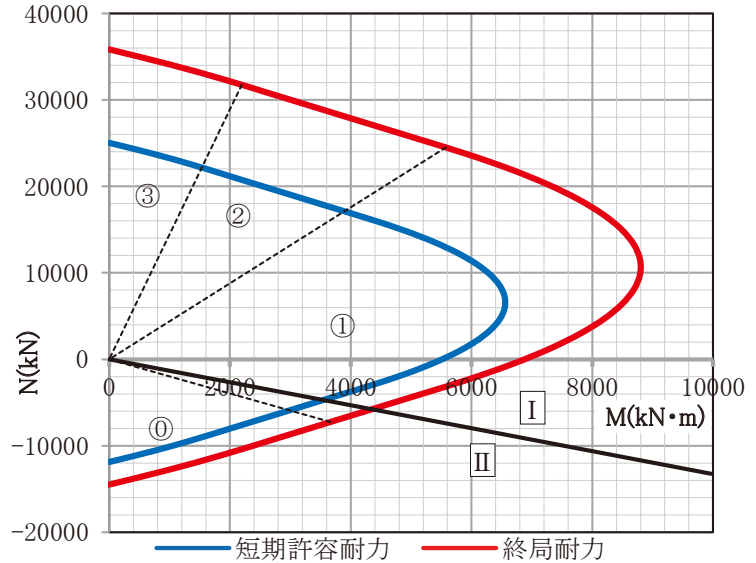
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □ 900 × 900 (板厚範囲:16 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M56
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	2430

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1500	40-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1500	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	990
<中柱用>	1500	32-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1500	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	990

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

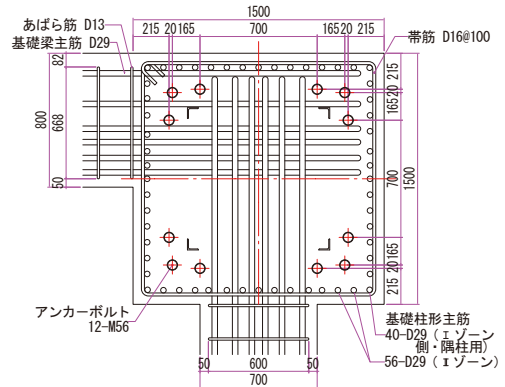
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	530~1140	590~1140	650~1140	710~1140
D25	540~1140	610~1140	680~1140	750~1140
D29	540~1140	620~1140	700~1140	780~1140

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	320~780	380~780	440~780	500~780
D25	330~780	400~780	470~780	530~780
D29	360~780	440~780	520~780	600~780

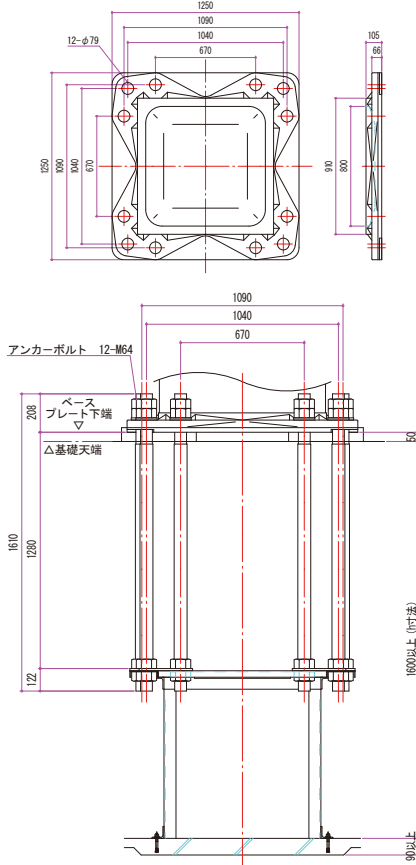


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

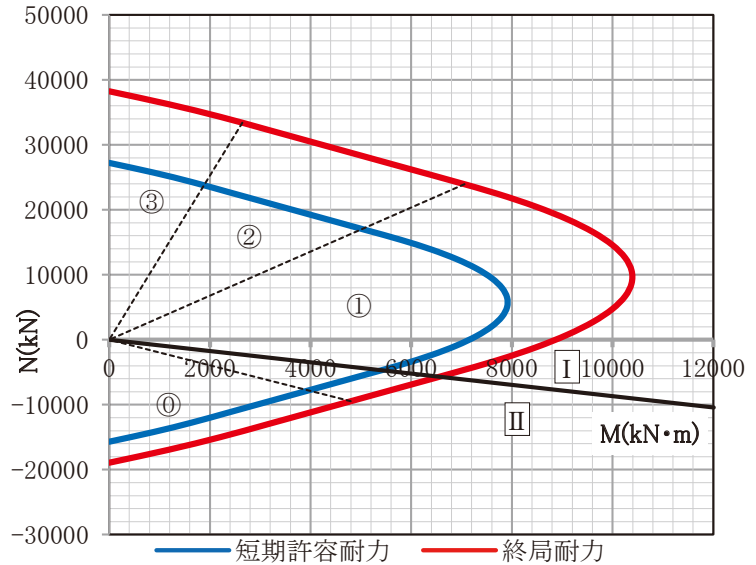
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □ 900 × 900 (板厚範囲:16 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M64
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	2770

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1700	48-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1800	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1130
<中柱用>	1700	40-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1800	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1130

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

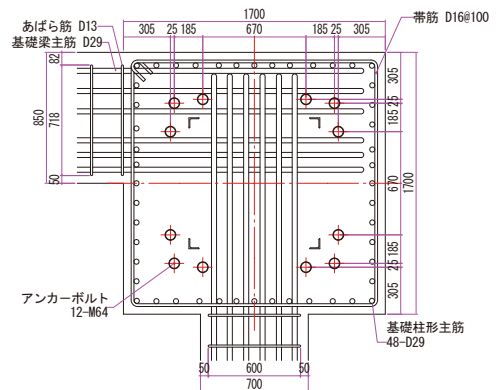
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	6	7	8	9
D22	710~1220	770~1220	830~1220	890~1220
D25	720~1220	790~1220	860~1220	930~1220
D29	820~1220	900~1220	980~1220	1060~1220

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

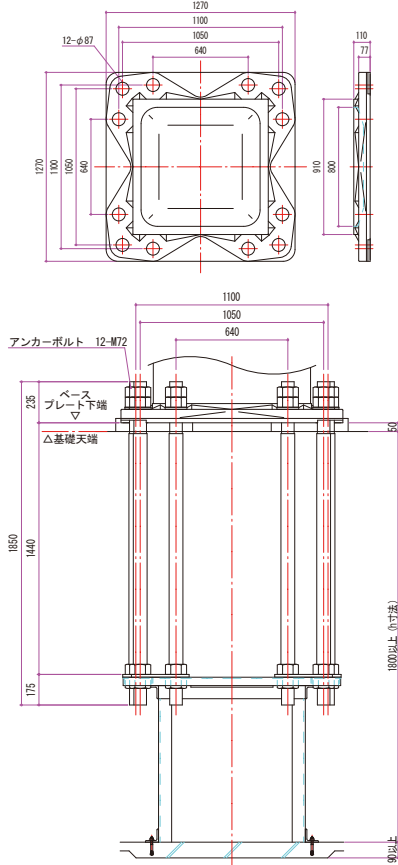
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	6	7	8	9
D22	460~740	520~740	580~740	640~740
D25	500~740	570~740	640~740	710~740
D29	560~740	640~740	720~740	*1060



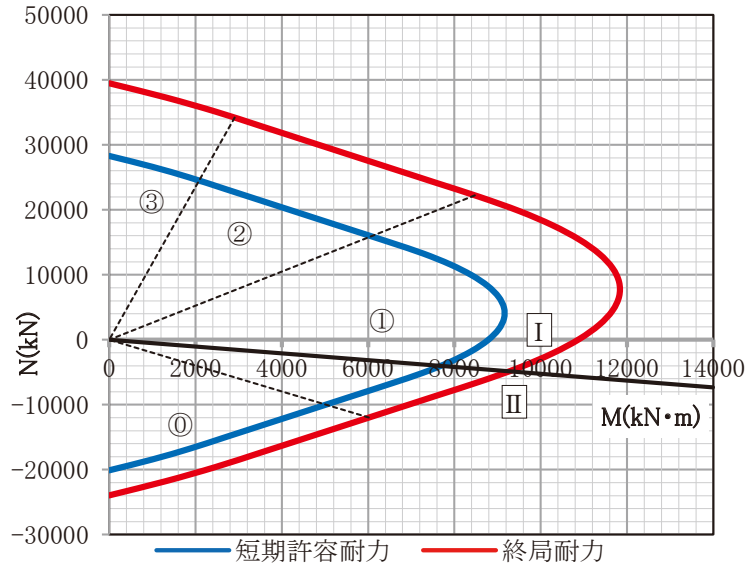
注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。
 注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □ 900 × 900 (板厚範囲:16 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M72
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	3100

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1900	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	2400	88-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1260
<中柱用>	1900	48-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	2400	88-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1260

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

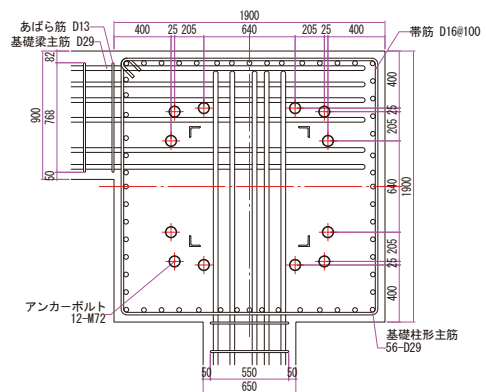
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	5	6	7	8
D22	440~1300	570~1300	770~1300	830~1300
D25	570~1300	770~1300	840~1300	910~1300
D29	780~1300	860~1300	940~1300	1020~1300

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	5	6	7	8
D22	400~700	460~700	520~700	580~700
D25	440~700	510~700	580~700	650~700
D29	480~700	560~700	640~700	*1110

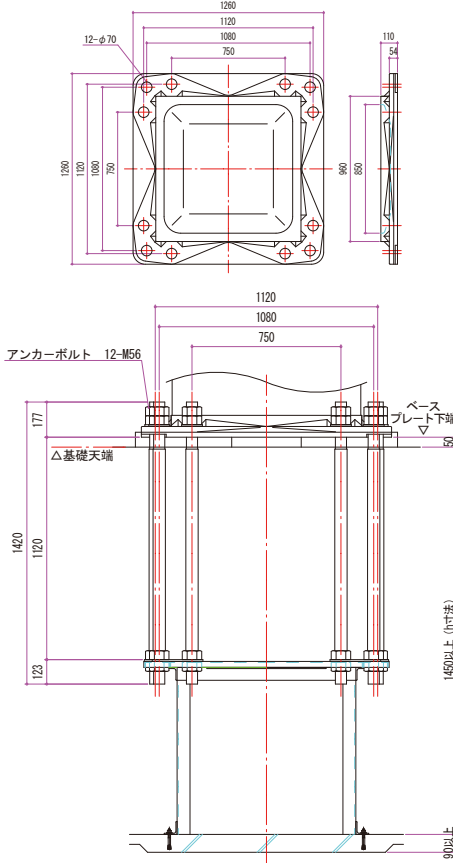


注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

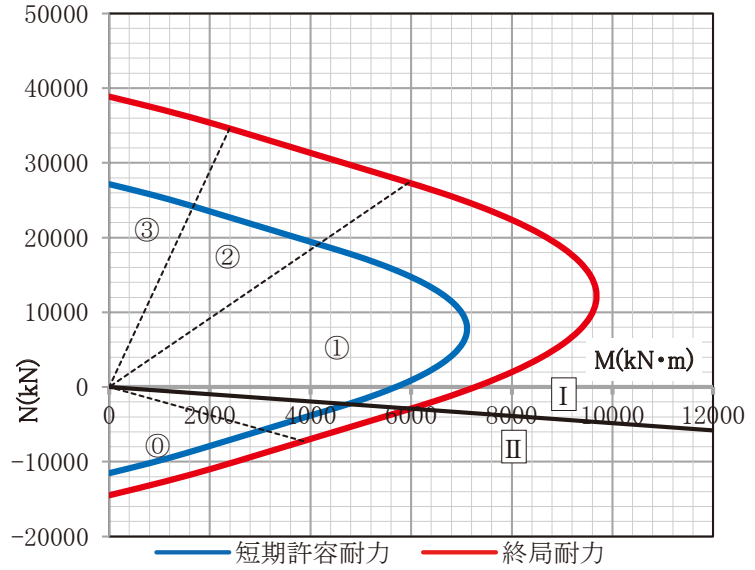
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □ 950 × 950 (板厚範囲:16 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M56
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	2700

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1550	40-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1550	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	980
<中柱用>	1550	32-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1550	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	980

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

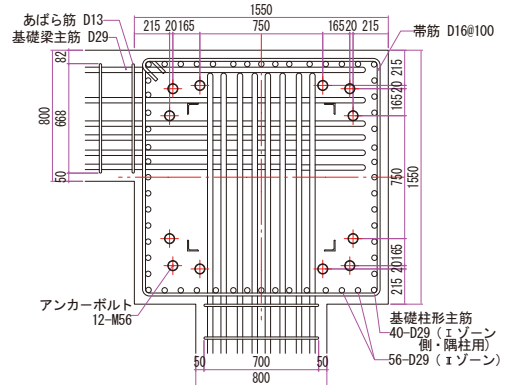
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	5	6	7	8
D22	650~1190	710~1190	770~1190	830~1190
D25	670~1190	740~1190	810~1190	880~1190
D29	700~1190	780~1190	860~1190	940~1190

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

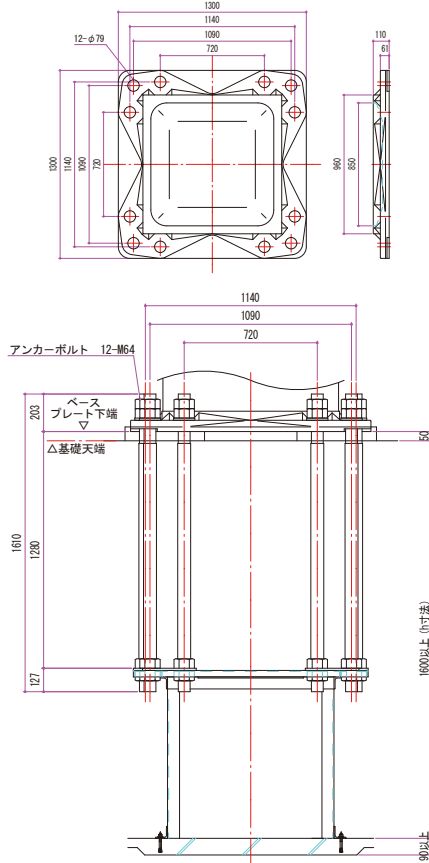
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	5	6	7	8
D22	400~830	460~830	520~830	580~830
D25	440~830	510~830	580~830	650~830
D29	480~830	560~830	640~830	720~830



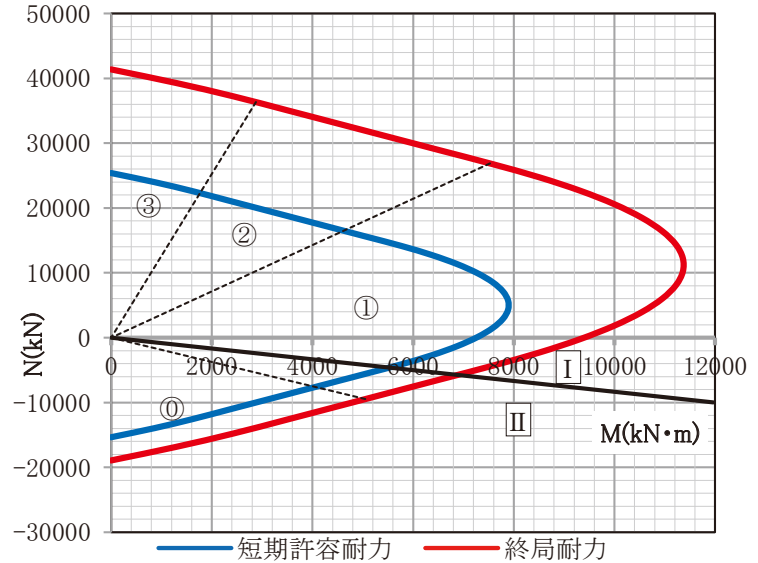
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。
 注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □ 950 × 950 (板厚範囲:16 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M64
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	3000

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1800	48-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1800	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1130
<中柱用>	1800	40-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1800	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1130

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

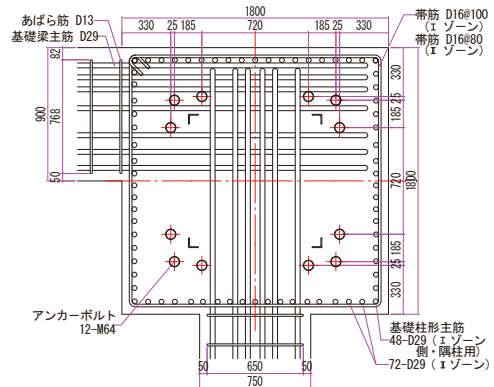
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	6	7	8	9
D22	740~1290	800~1290	860~1290	920~1290
D25	750~1290	820~1290	890~1290	960~1290
D29	760~1290	840~1290	920~1290	1000~1290

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	5	6	7	8
D22	400~790	460~790	520~790	580~790
D25	440~790	510~790	580~790	650~790
D29	480~790	560~790	640~790	720~790

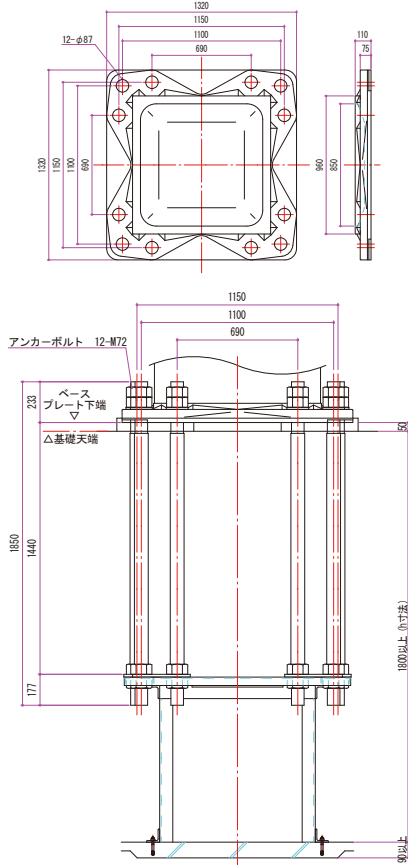


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

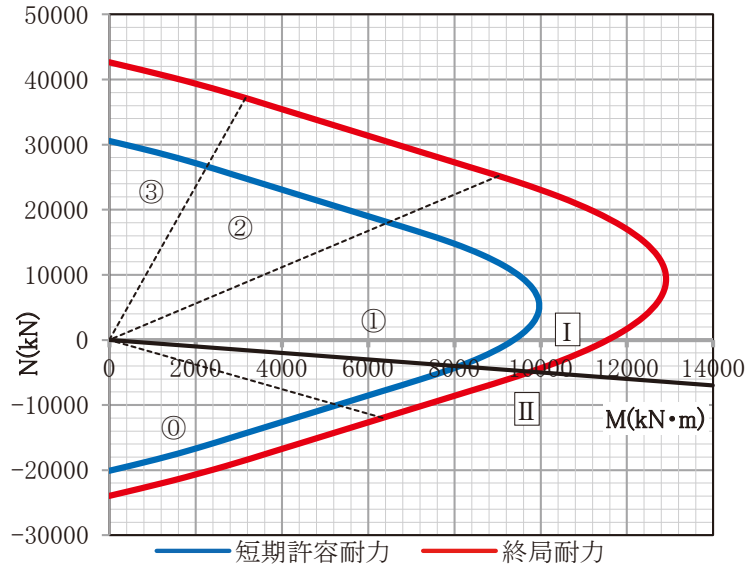
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □ 950 × 950 (板厚範囲:16 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M72
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	3430

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	2050	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	2400	88-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1260
<中柱用>	2050	48-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	2400	88-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1260

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

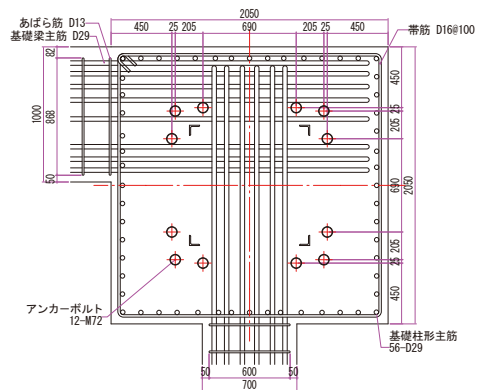
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	6	7	8	9
D22	620~1400	820~1400	880~1400	940~1400
D25	620~1400	820~1400	890~1400	960~1400
D29	830~1400	910~1400	990~1400	1070~1400

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	6	7	8	9
D22	460~750	520~750	580~750	640~750
D25	500~750	570~750	640~750	710~750
D29	560~750	640~750	720~750	*1160

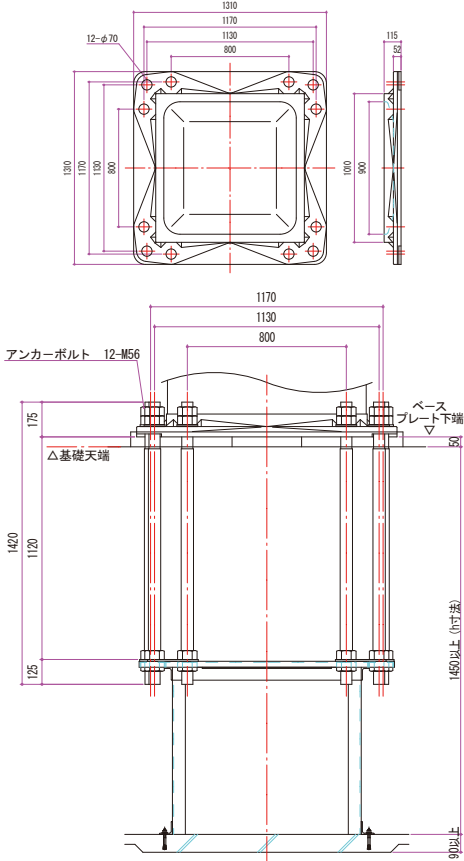


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

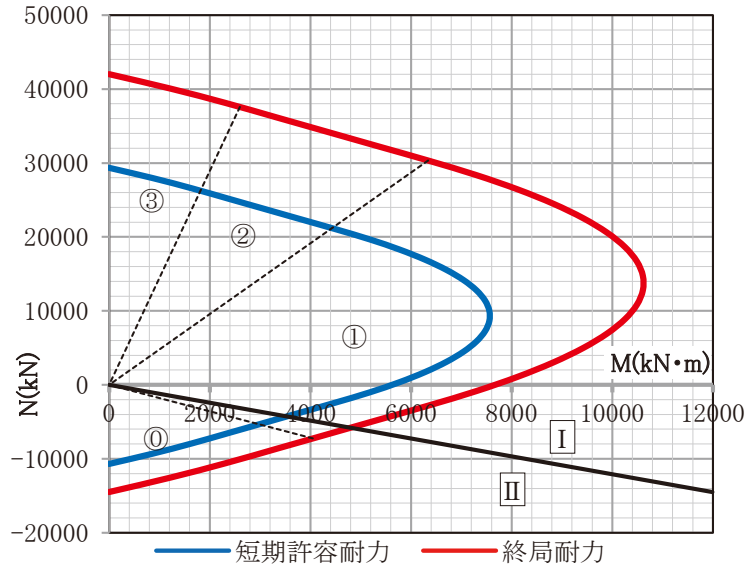
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □ 1000 × 1000 (板厚範囲:16 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M56
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	3020

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1600	40-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1600	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	970
<中柱用>	1600	36-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1600	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	970

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

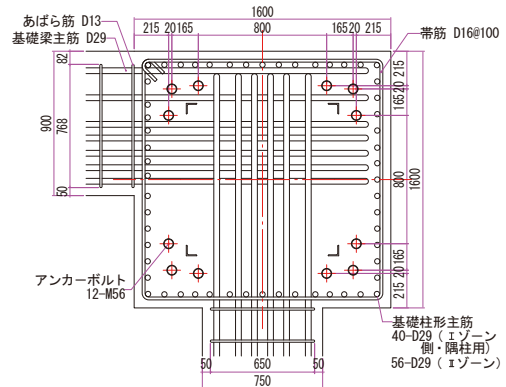
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	5	6	7	8
D22	650~1240	710~1240	770~1240	830~1240
D25	670~1240	740~1240	810~1240	880~1240
D29	700~1240	780~1240	860~1240	940~1240

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	4	5	6	7
D22	350~880	410~880	470~880	530~880
D25	370~880	440~880	510~880	580~880
D29	400~880	480~880	560~880	640~880

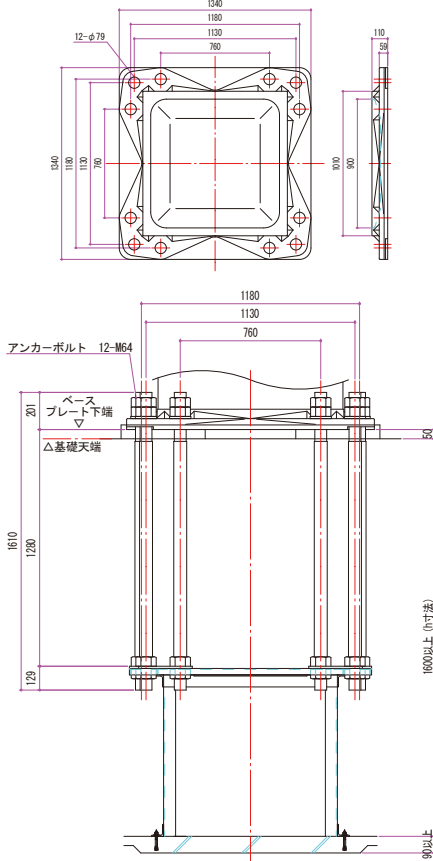


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。
 注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

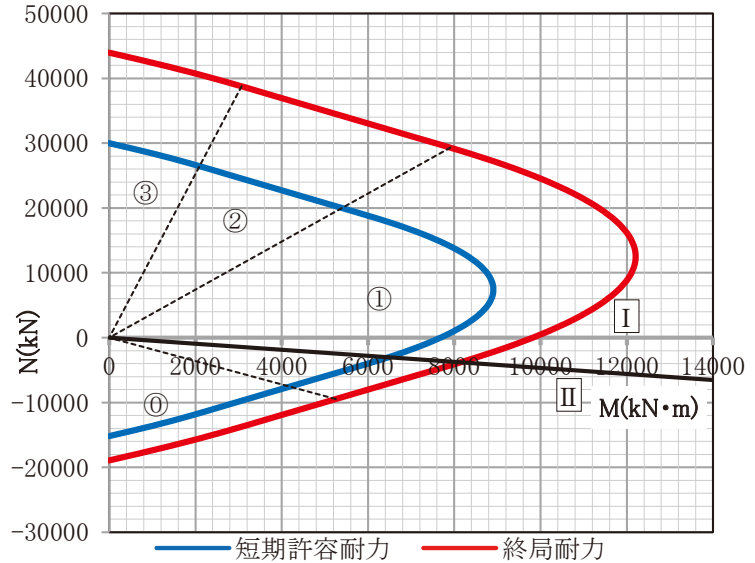
角形鋼管柱用(Gタイプ)

適用柱	角形鋼管柱 □1000×1000 (板厚範囲:16~40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M64
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	3390

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1800	48-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1800	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1130
<中柱用>	1800	40-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1800	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1130

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

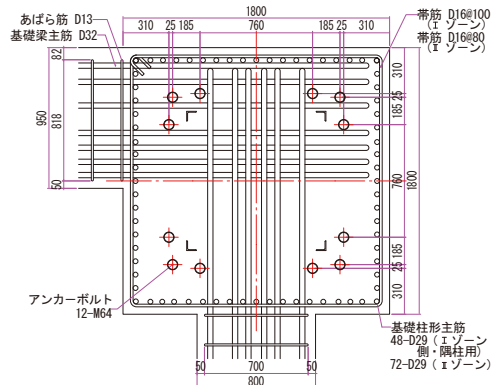
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	6	7	8	9
D25	730~1310	800~1310	870~1310	940~1310
D29	820~1310	900~1310	980~1310	1060~1310
D32	840~1310	930~1310	1020~1310	1110~1310

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	6	7	8	9
D25	500~830	570~830	640~830	710~830
D29	560~830	640~830	720~830	800~830
D32	590~830	680~830	770~830	*1200

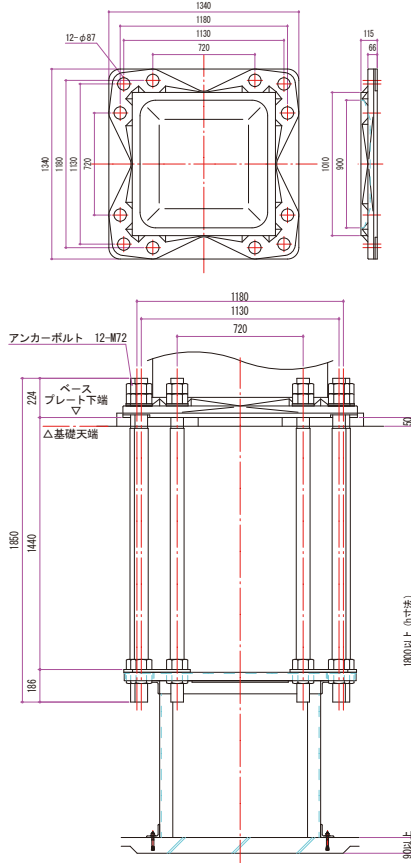


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

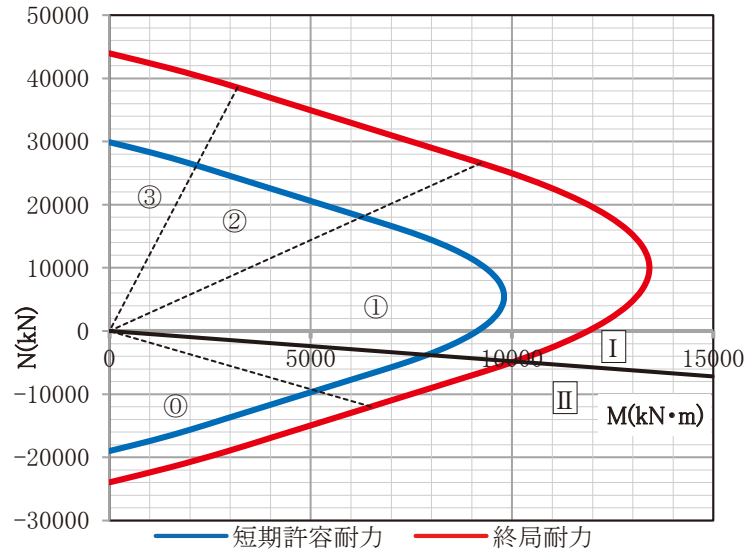
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □1000×1000 (板厚範囲:16~40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M72
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	3770

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	2100	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	2400	88-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1260
<中柱用>	2100	48-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	2400	88-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1260

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

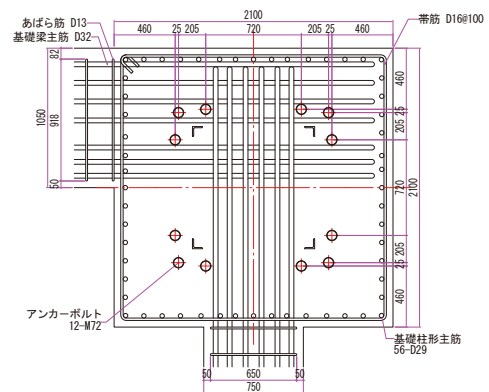
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	6	7	8	9
D25	630~1440	840~1440	910~1440	980~1440
D29	840~1440	920~1440	1000~1440	1080~1440
D32	840~1440	930~1440	1020~1440	1110~1440

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	6	7	8	9
D25	500~780	570~780	640~780	710~780
D29	560~780	640~780	720~780	*1190
D32	590~780	680~780	770~780	*1190

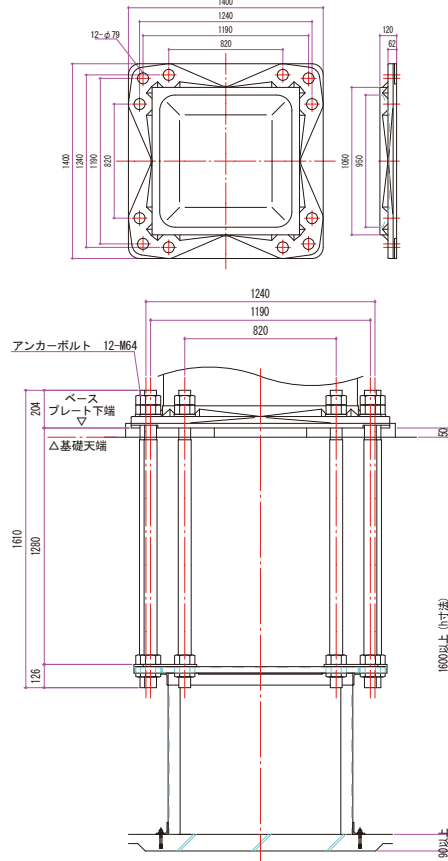


注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

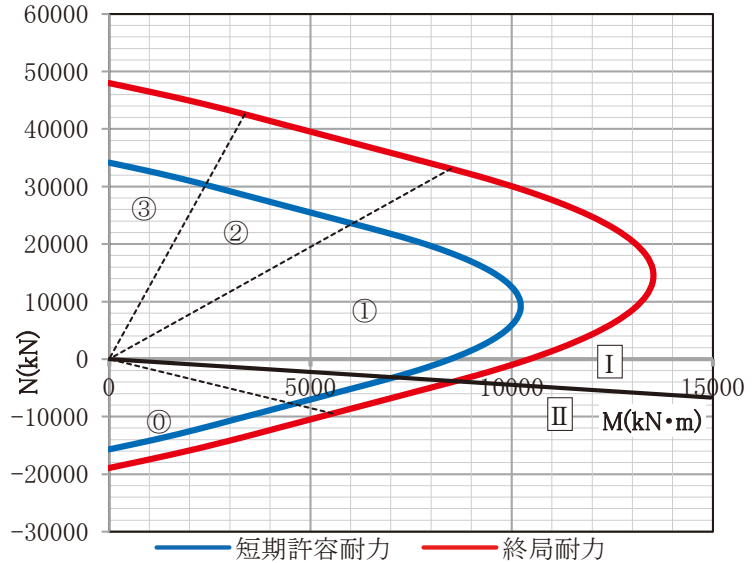
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □1050×1050 (板厚範囲:16~40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M64
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	3730

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1850	48-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1850	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1120
<中柱用>	1850	40-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1850	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1120

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

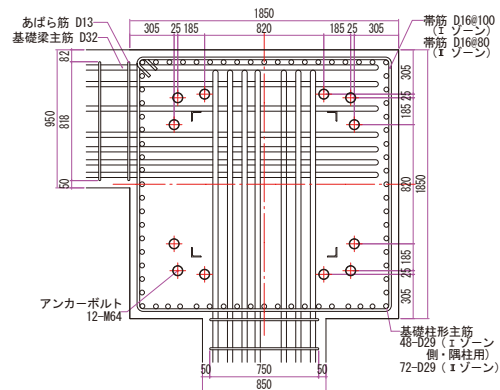
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	7	8	9	10
D25	790~1370	860~1370	930~1370	1000~1370
D29	890~1370	970~1370	1050~1370	1130~1370
D32	920~1370	1010~1370	1100~1370	1190~1370

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	7	8	9	10
D25	570~890	640~890	710~890	780~890
D29	630~890	710~890	790~890	870~890
D32	680~890	770~890	860~890	*1260

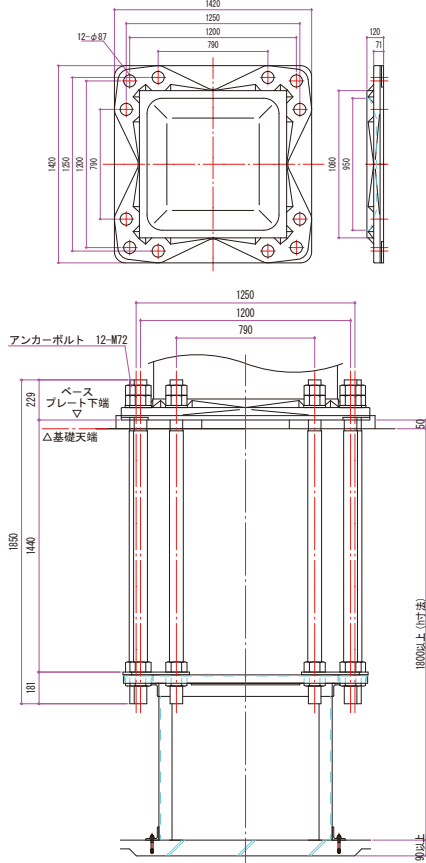


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

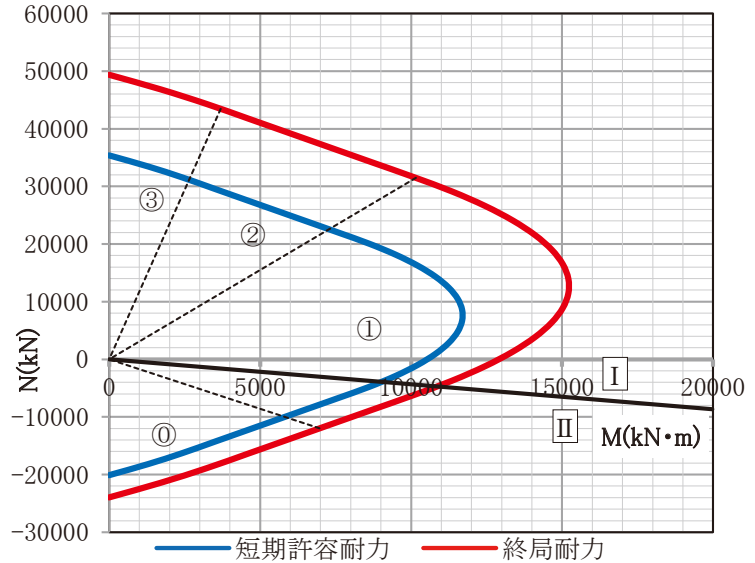
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □ 1050 × 1050 (板厚範囲:16 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M72
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	4120

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	2200	56-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	2400	88-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1260
<中柱用>	2200	48-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	2400	88-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1260

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

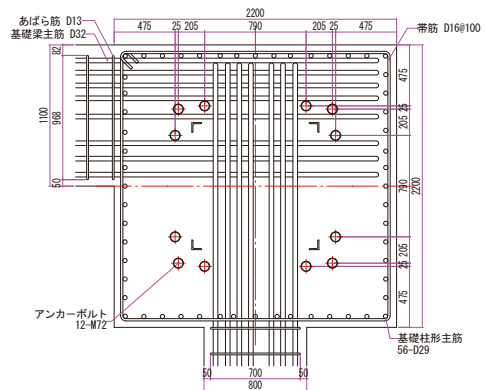
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	7	8	9	10
D25	850~1510	920~1510	990~1510	1060~1510
D29	930~1510	1010~1510	1090~1510	1170~1510
D32	940~1510	1030~1510	1120~1510	1210~1510

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

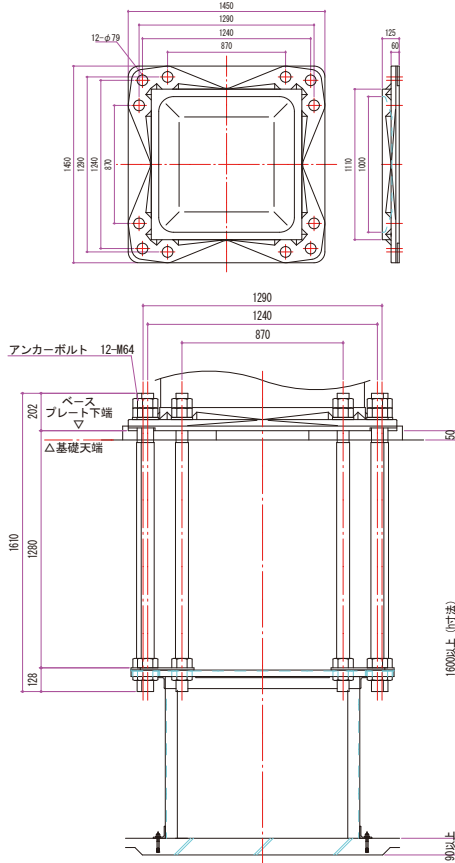
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	7	8	9	10
D25	570~850	640~850	710~850	780~850
D29	630~850	710~850	790~850	*1260
D32	680~850	770~850	860~850	*1260



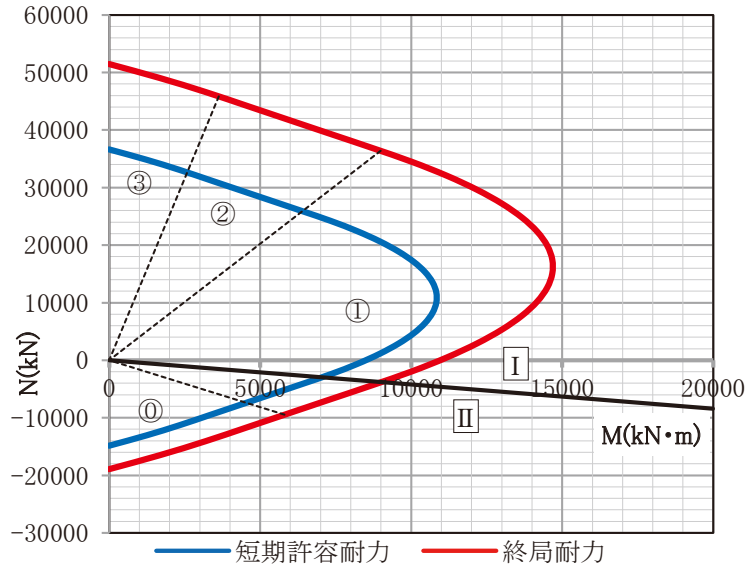
注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。
 注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □ 1100 × 1100 (板厚範囲:16 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M64
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	4110

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1850	52-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1850	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1120
<中柱用>	1850	44-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	1850	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1120

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

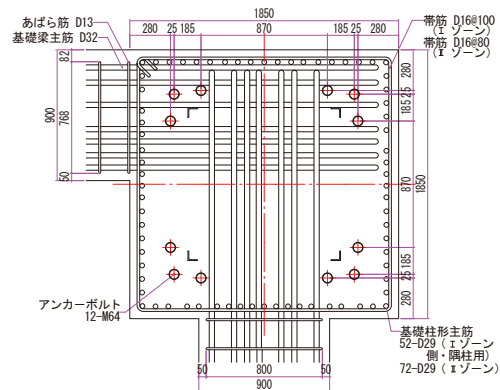
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	7	8	9	10
D25	830~1390	900~1390	970~1390	1040~1390
D29	870~1390	950~1390	1030~1390	1110~1390
D32	890~1390	980~1390	1070~1390	1160~1390

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	7	8	9	10
D25	570~940	640~940	710~940	780~940
D29	630~940	710~940	790~940	870~940
D32	680~940	770~940	860~940	950~940

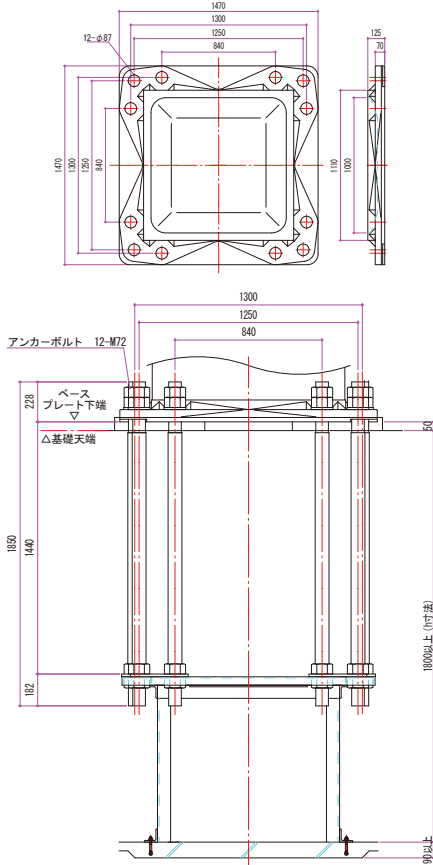


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

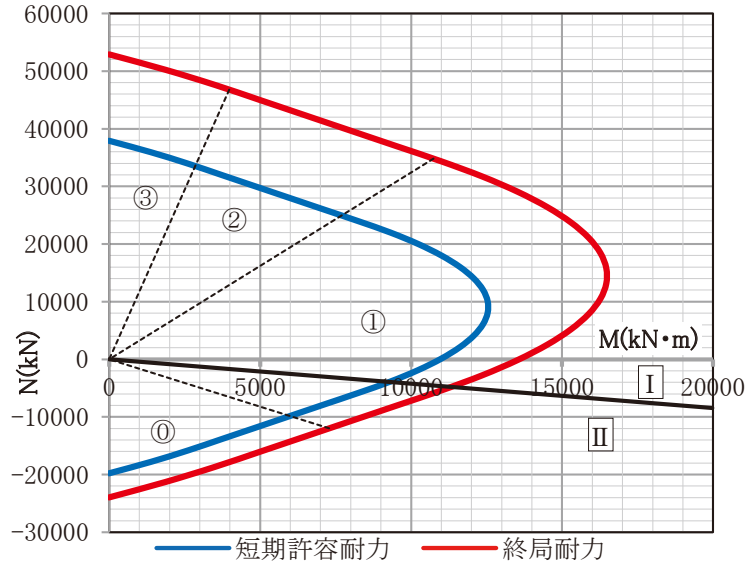
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □1100×1100 (板厚範囲:16~40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M72
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	4550

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	2200	60-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	2400	88-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1260
<中柱用>	2200	52-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	2400	88-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1260

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

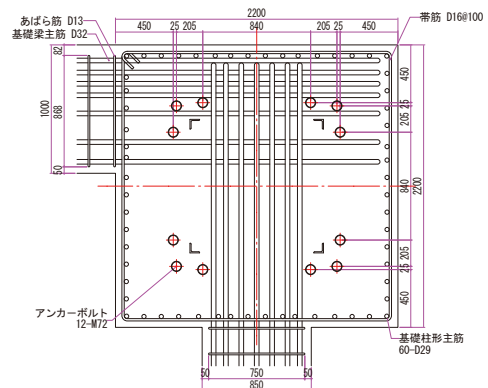
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	6	7	8	9
D25	620~1550	830~1550	900~1550	970~1550
D29	830~1550	910~1550	990~1550	1070~1550
D32	830~1550	920~1550	1010~1550	1100~1550

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	6	7	8	9
D25	500~900	570~900	640~900	700~900
D29	560~900	640~900	720~900	790~900
D32	590~900	680~900	770~900	860~900

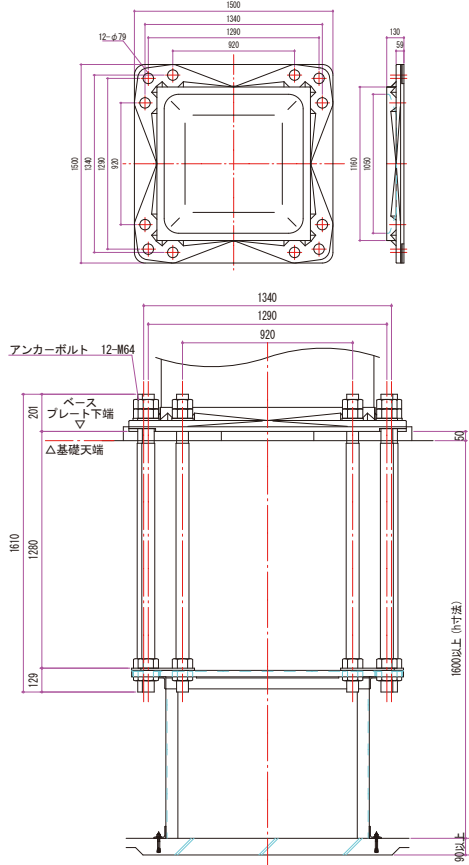


注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

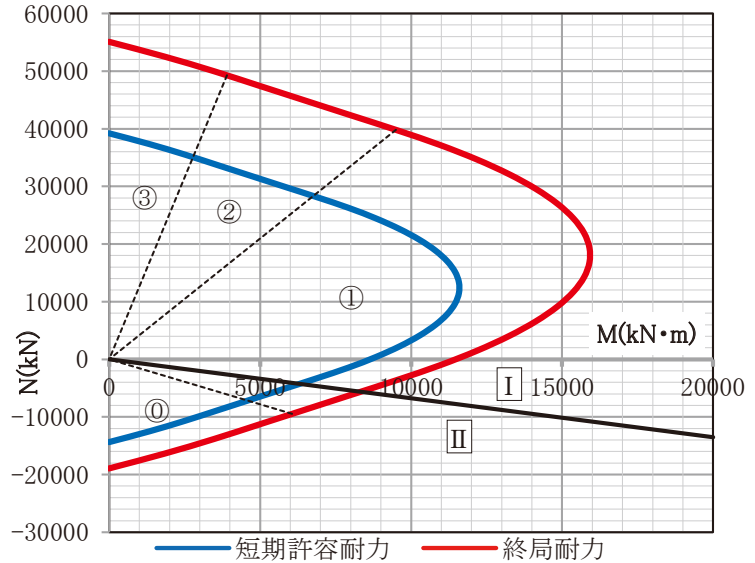
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □ 1150 × 1150 (板厚範囲:16 ~ 40mm)
ベースプレート	G タイプ(鑄鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M64
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	4490

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	2000	52-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	2000	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1090
<中柱用>	2000	44-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	2000	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1090

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

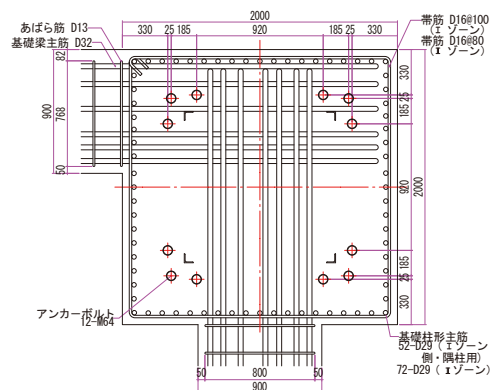
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	4	5	6	7
D25	500~1490	680~1490	750~1490	820~1490
D29	500~1490	690~1490	770~1490	850~1490
D32	690~1490	780~1490	870~1490	960~1490

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	4	5	6	7
D25	370~990	440~990	510~990	580~990
D29	400~990	480~990	560~990	640~990
D32	420~990	510~990	600~990	690~990

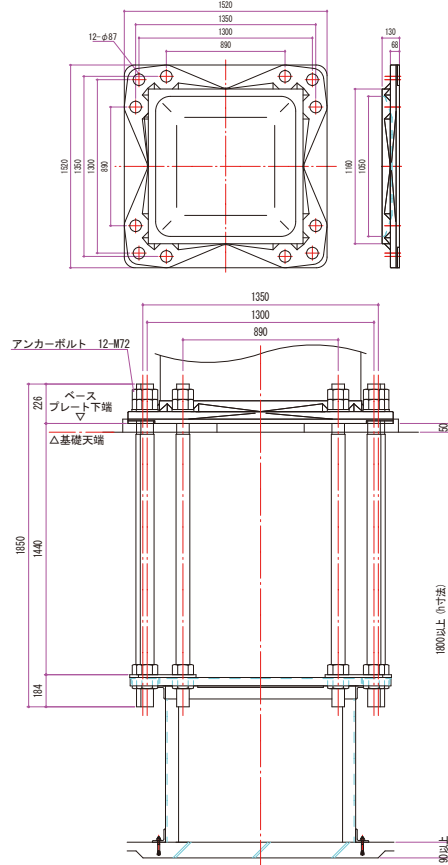


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

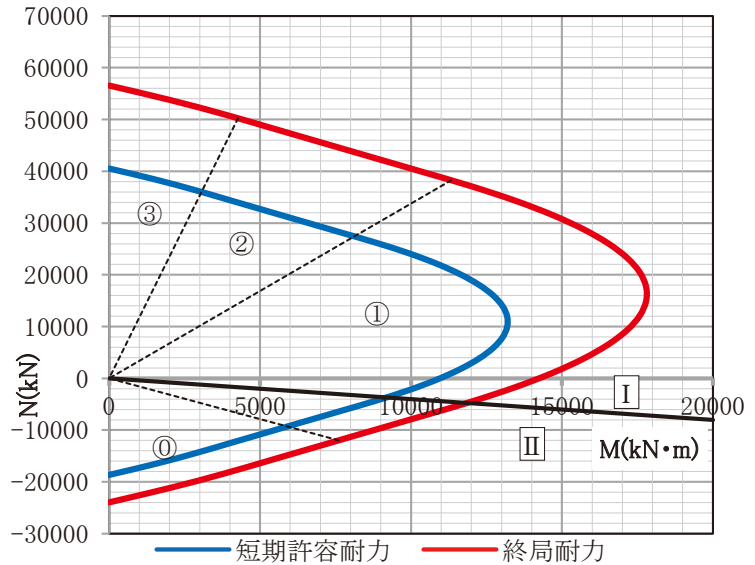
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □1150×1150 (板厚範囲:16~40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M72
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	5000

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	2300	60-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	2400	88-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1260
<中柱用>	2300	52-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	2400	88-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1260

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

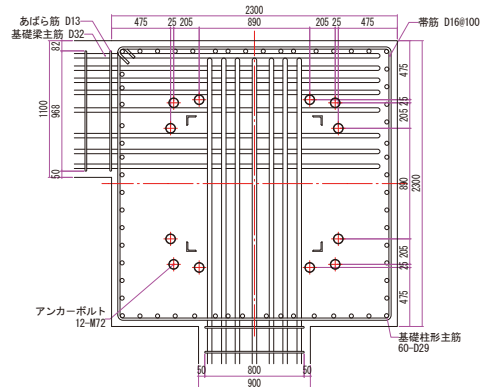
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	7	8	9	10
D25	850~1620	920~1620	990~1620	1060~1620
D29	930~1620	1010~1620	1090~1620	1170~1620
D32	940~1620	1030~1620	1120~1620	1210~1620

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

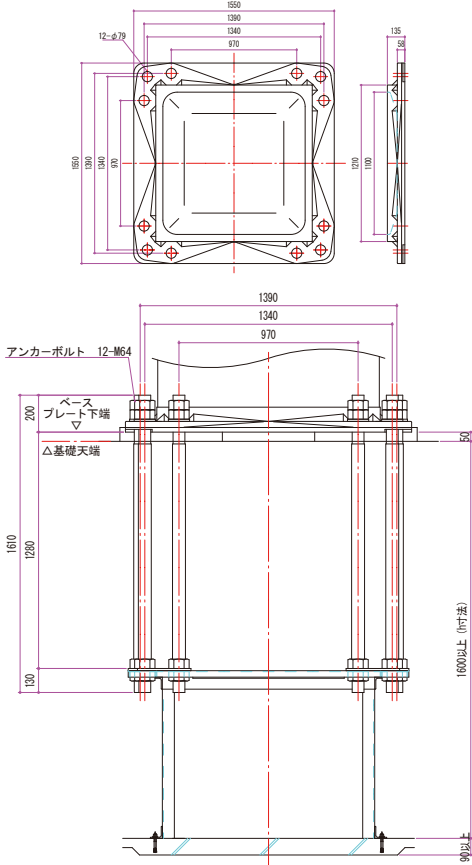
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	7	8	9	10
D25	570~950	640~950	710~950	780~950
D29	630~950	710~950	790~950	870~950
D32	680~950	770~950	860~950	950



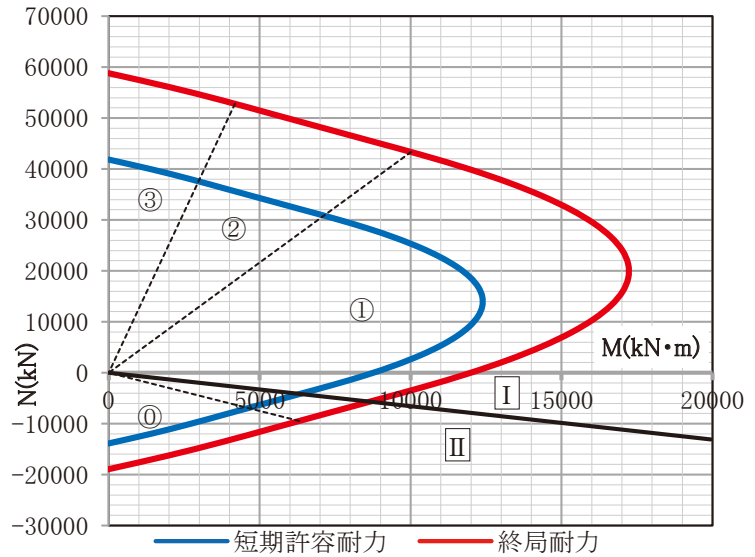
注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □1200×1200 (板厚範囲:16~40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M64
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	4910

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	2100	52-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	2100	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1070
<中柱用>	2100	44-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	2100	72-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1070

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

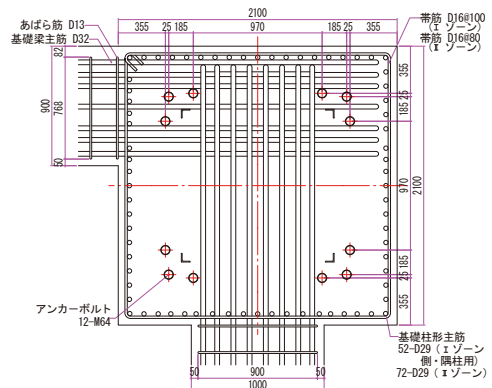
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	7	8	9	10
D25	840~1570	910~1570	980~1570	1050~1570
D29	870~1570	950~1570	1030~1570	1210~1570
D32	880~1570	970~1570	1060~1570	1050~1570

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	7	8	9	10
D25	570~1040	640~1040	710~1040	780~1040
D29	630~1040	710~1040	790~1040	870~1040
D32	680~1040	770~1040	860~1040	950~1040

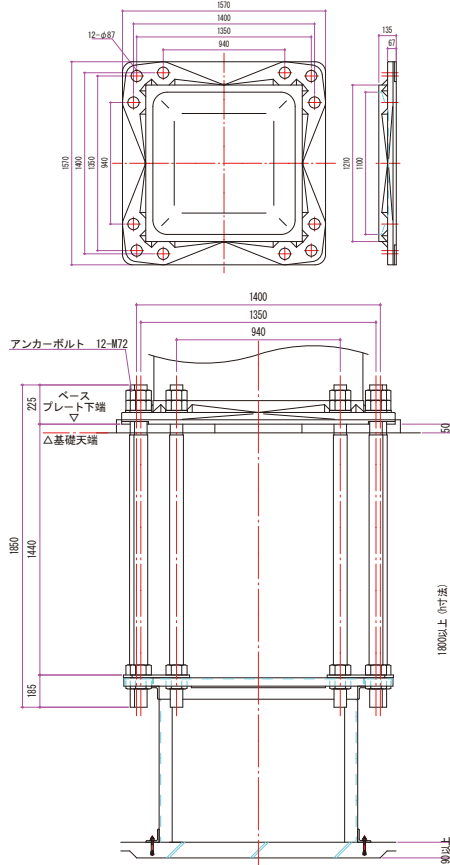


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

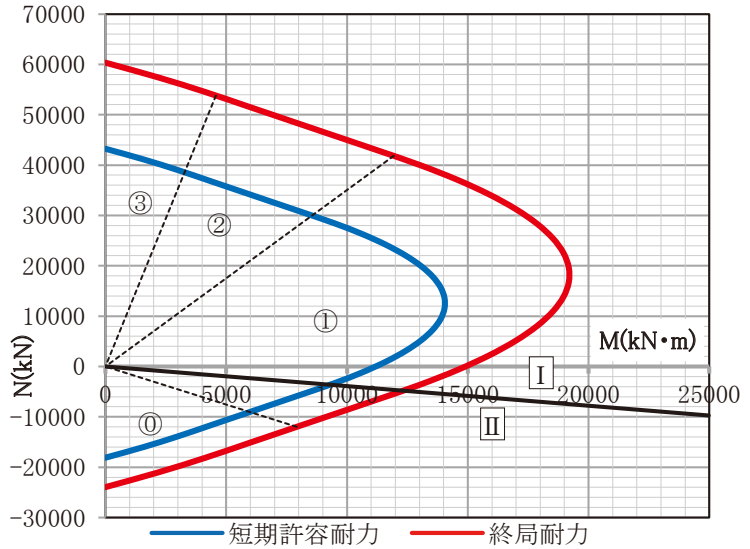
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □1200×1200 (板厚範囲:16~40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M72
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	5480

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	2300	60-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	2400	88-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1260
<中柱用>	2300	52-D29(SD390)	罫-D16@100(SD295)	2400	88-D29(SD390)	罫-D16@80(SD295)	1260

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

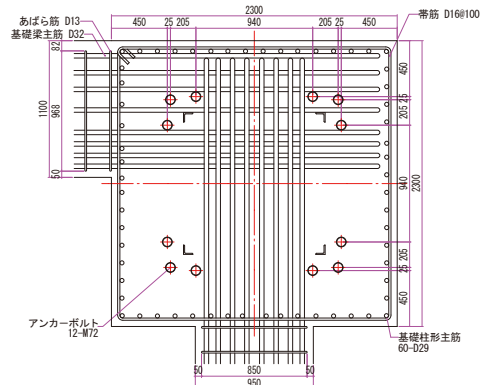
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	7	8	9	10
D25	830~1720	900~1720	970~1720	1040~1720
D29	910~1720	990~1720	1070~1720	1150~1720
D32	920~1720	1010~1720	1100~1720	1190~1720

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	7	8	9	10
D25	570~1000	640~1000	710~1000	780~1000
D29	630~1000	710~1000	790~1000	870~1000
D32	680~1000	770~1000	860~1000	950~1000

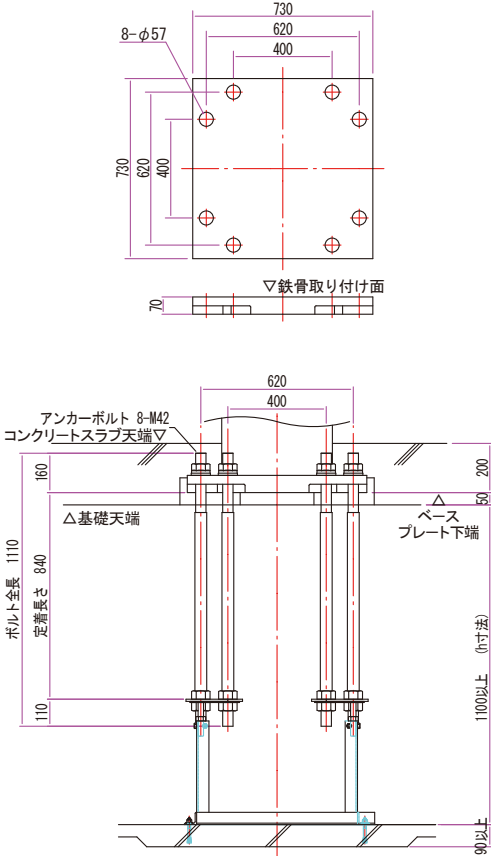


注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

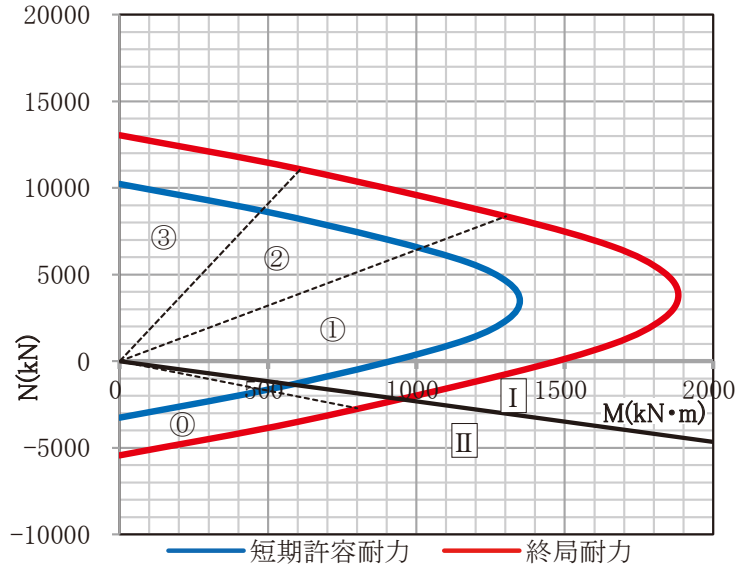
注2) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

適用柱	角形鋼管柱 □450×450 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	高強度柱適用タイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M42
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	297

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

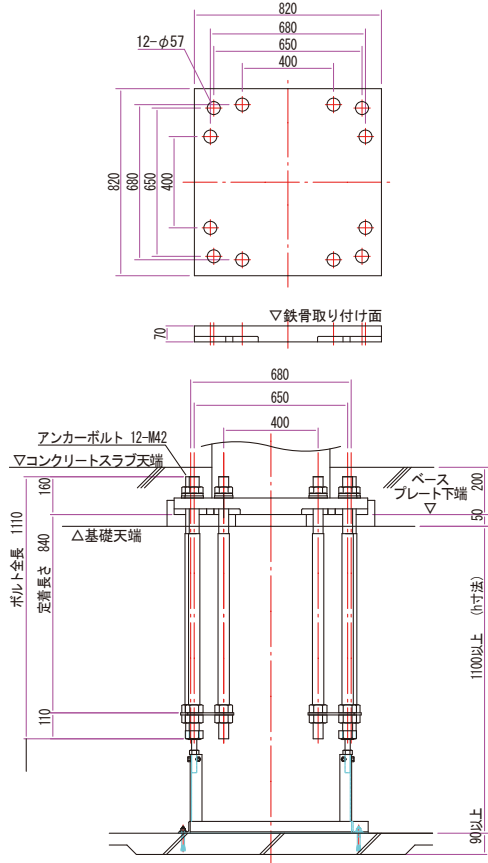
	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	950	24-D25(SD345)	□-D13@100(SD295)	950	32-D25(SD345)	□-D13@100(SD295)	660
<中柱用>	950	24-D25(SD345)	□-D13@100(SD295)	950	32-D25(SD345)	□-D13@100(SD295)	660

※KB型式は受注生産品のためご採用の際はセンクシアへお問合せください。

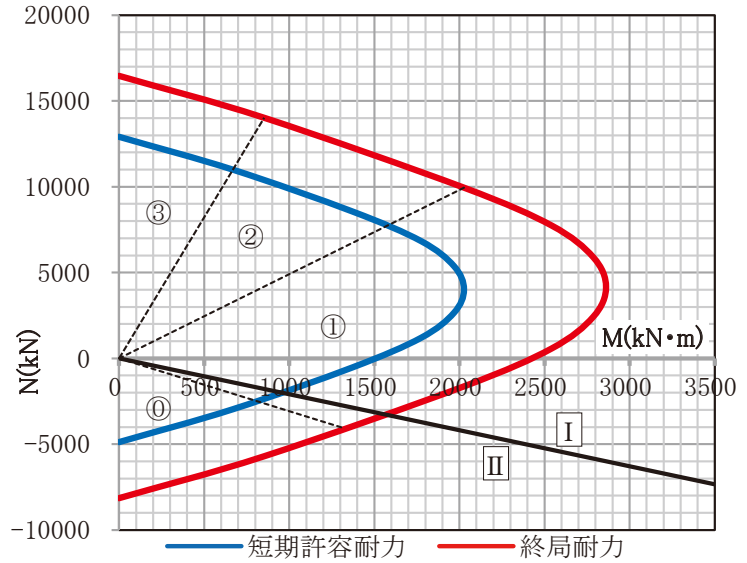
角形鋼管柱用(高強度柱適用タイプ)

適用柱	角形鋼管柱 □500 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	高強度柱適用タイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M42
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	467

柱脚詳細図



耐力図



角形鋼管柱用(高強度柱適用タイプ)

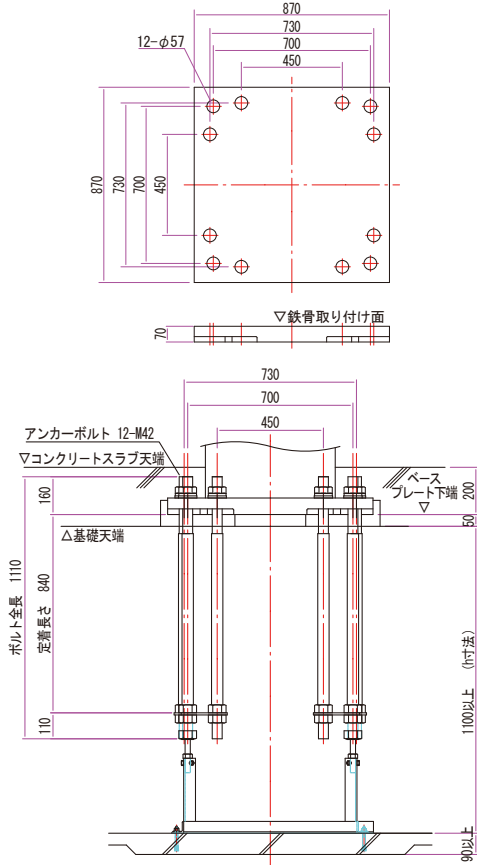
基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1050	20-D29(SD390)	□-D16@100(SD295)	1050	32-D29(SD390)	□-D16@100(SD295)	600
<中柱用>	1050	20-D29(SD390)	□-D16@100(SD295)	1050	32-D29(SD390)	□-D16@100(SD295)	600

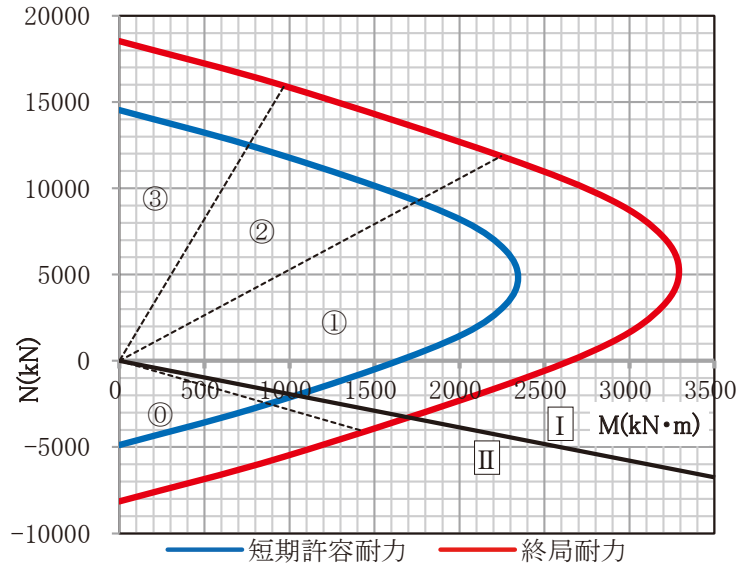
※KB型式は受注生産品のためご採用の際はセンクシアへお問合せください。

適用柱	角形鋼管柱 □550 (板厚範囲:9~40mm)
ベースプレート	高強度柱適用タイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	12-M42
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	606

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

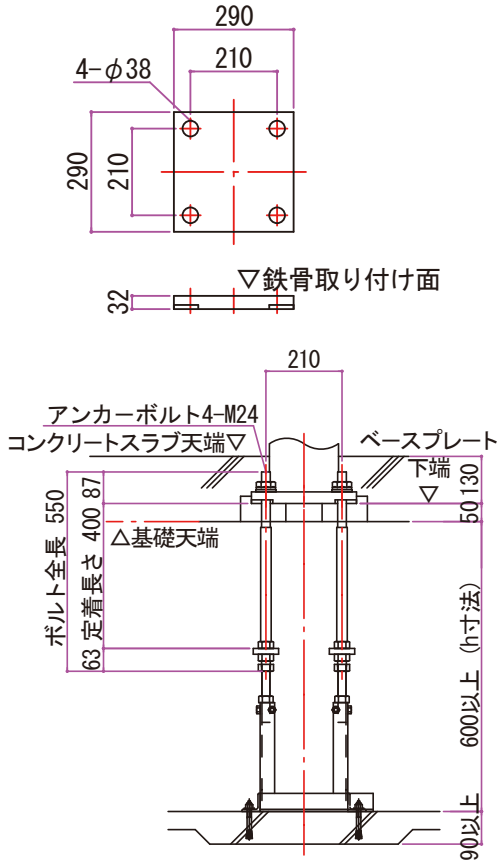
	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1100	24-D29(SD390)	□-D16@100(SD295)	1100	32-D29(SD390)	□-D16@100(SD295)	600
<中柱用>	1100	24-D29(SD390)	□-D16@100(SD295)	1100	32-D29(SD390)	□-D16@100(SD295)	600

※KB型式は受注生産品のためご採用の際はセンクシアへお問合せください。

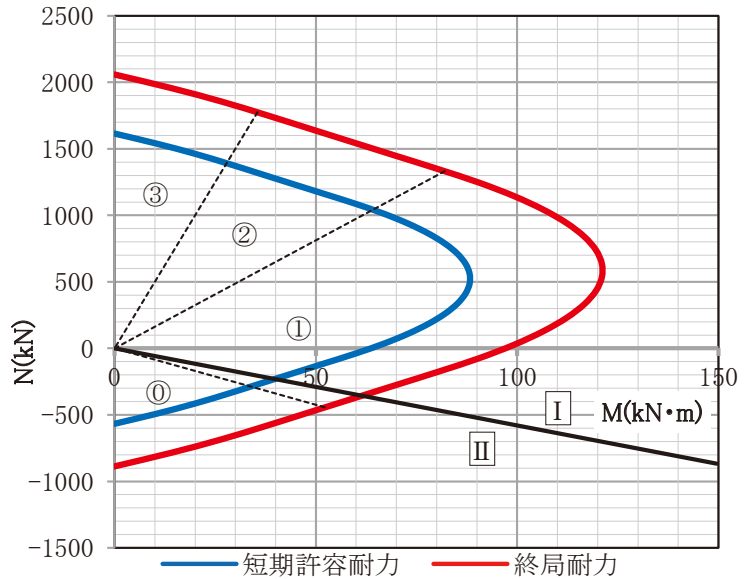
角形鋼管柱用(高強度柱適用タイプ)

適用柱	円形鋼管柱 $\phi 190.7$ (最大板厚:40mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M24
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	13.8

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(エコタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	500	8-D16(SD295)	D13@150(SD295)	500	16-D16(SD295)	D13@150(SD295)	210
<中柱用>	500	8-D16(SD295)	D13@150(SD295)	500	16-D16(SD295)	D13@150(SD295)	210

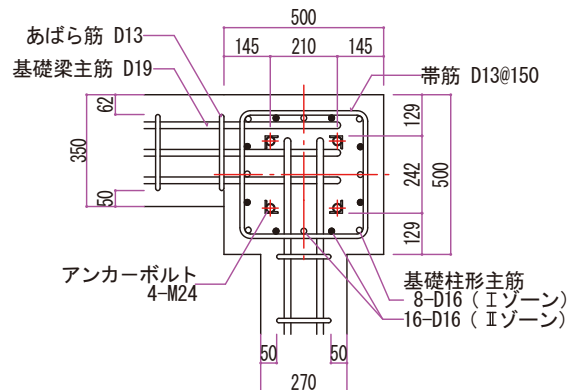
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	270~390	310~390	360~390	
D19	270~390	320~390	380~390	
D22	270~380	330~380	390	

柱形中心基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	270~290	280~290		
D19	270~290	290		
D22	270~280			

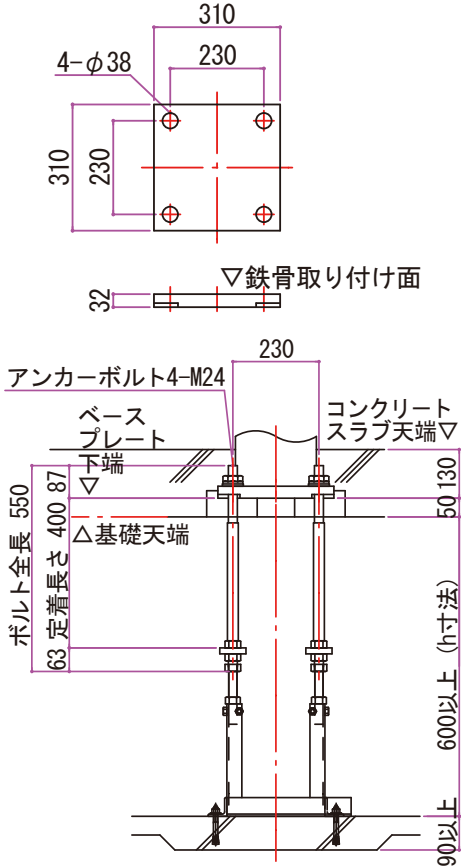


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

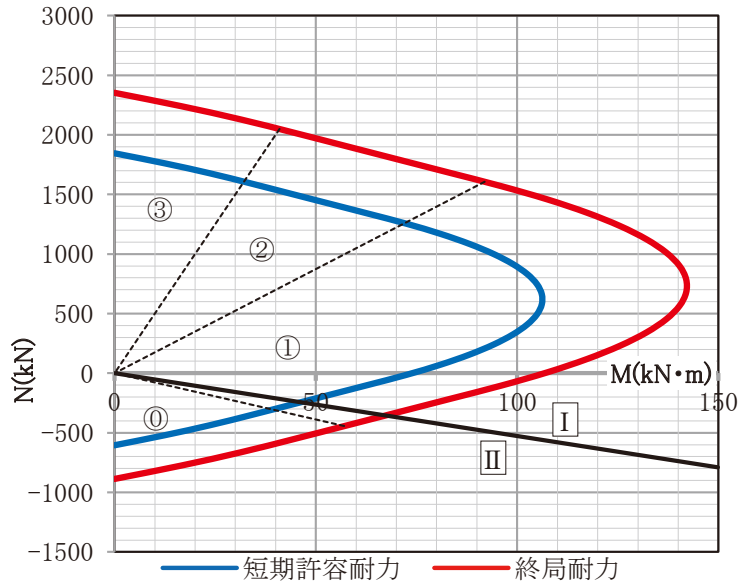
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	円形鋼管柱 $\phi 216.3$ (最大板厚:40mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M24
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	19.9

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	520	8-D16(SD295)	D13@150(SD295)	520	16-D16(SD295)	D13@150(SD295)	200
<中柱用>	520	8-D16(SD295)	D13@150(SD295)	520	16-D16(SD295)	D13@150(SD295)	200

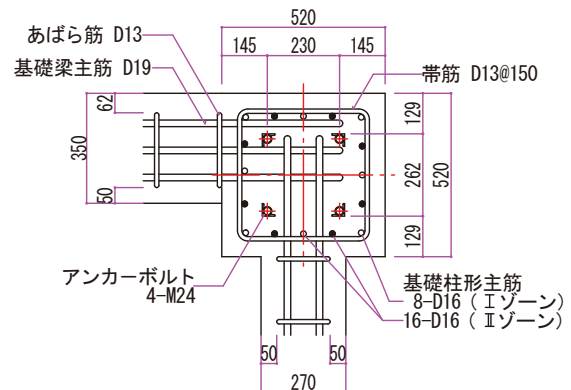
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数				単位(mm)
	2	3	4	5	
D16	270~410	310~410	360~410		
D19	270~410	320~410	380~410		
D22	270~410	330~410	390~410		

柱形中心基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数				単位(mm)
	2	3	4	5	
D16	270~310	280~310			
D19	270~310	290~310			
D22	270~310	300~310			

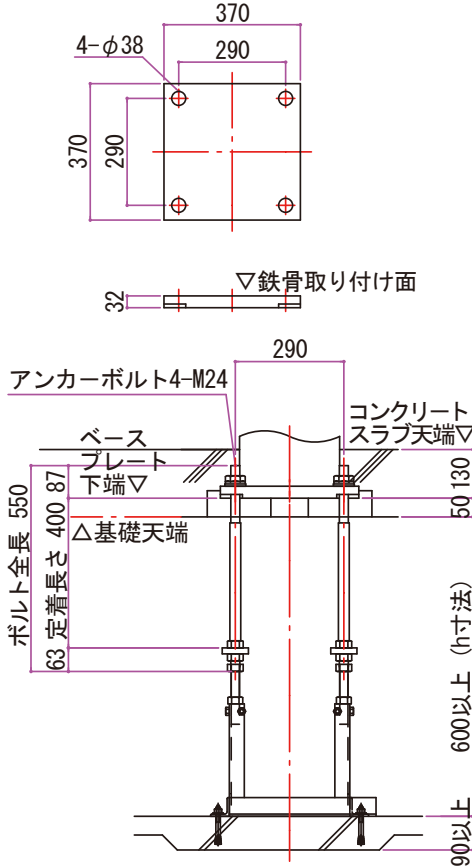


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

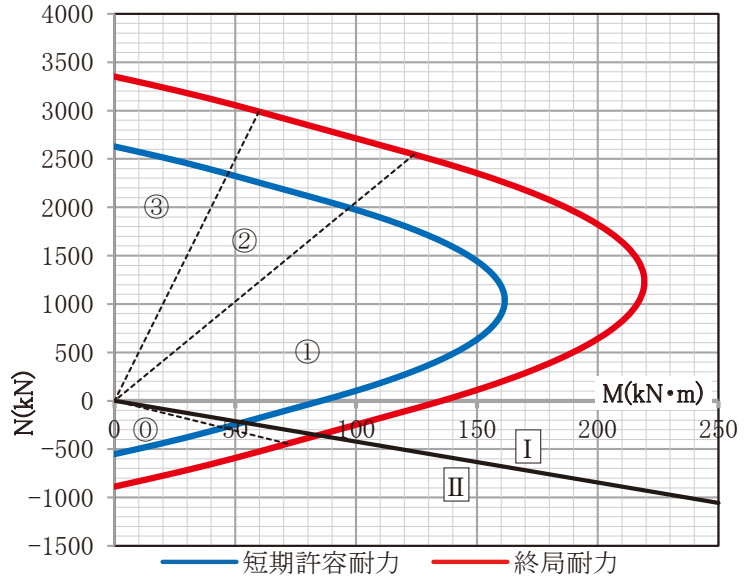
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	円形鋼管柱 $\phi 267.4$ (最大板厚:40mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M24
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	28.4

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(エコタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	570	8-D16(SD295)	D13@150(SD295)	570	16-D16(SD295)	D13@150(SD295)	190
<中柱用>	570	8-D16(SD295)	D13@150(SD295)	570	16-D16(SD295)	D13@150(SD295)	190

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

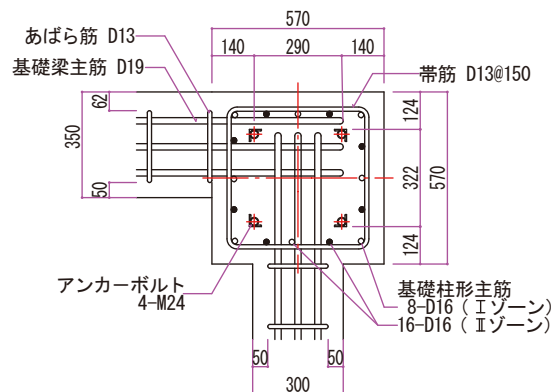
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	260~460	290~460	330~460	390~460
D19	260~460	300~460	350~460	400~460
D22	270~460	320~460	380~460	440~460

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	270~370	280~370	320~370	370
D19	270~370	290~370	330~370	
D22	270~370	300~370	350~370	

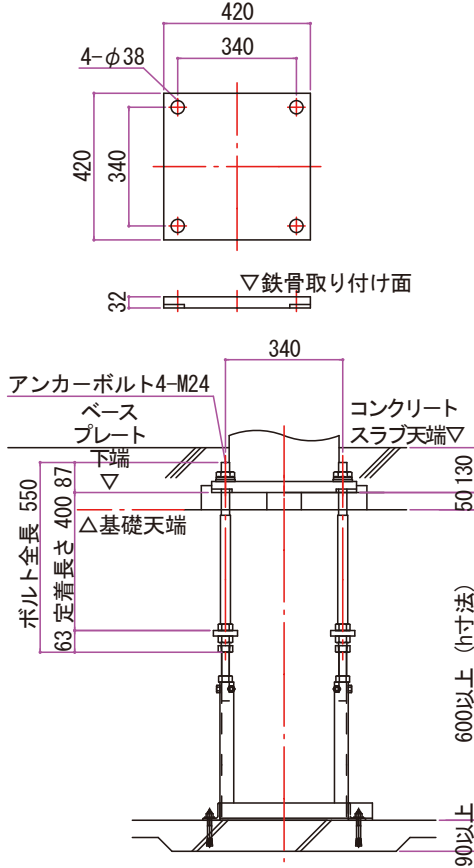


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

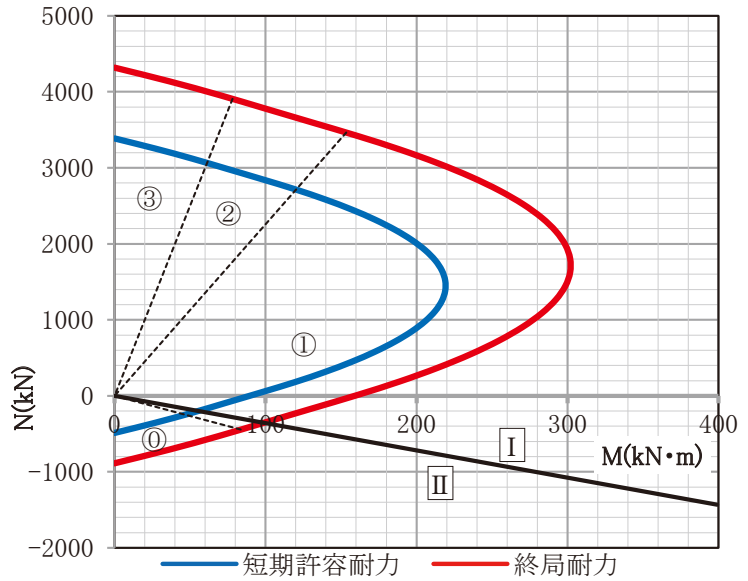
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	円形鋼管柱 $\phi 300, \phi 318.5$ (最大板厚:40mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M24
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	38.3

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	620	8-D19(SD345)	D13@150(SD295)	620	12-D19(SD345)	D13@150(SD295)	190
<中柱用>	620	8-D19(SD345)	D13@150(SD295)	620	12-D19(SD345)	D13@150(SD295)	190

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

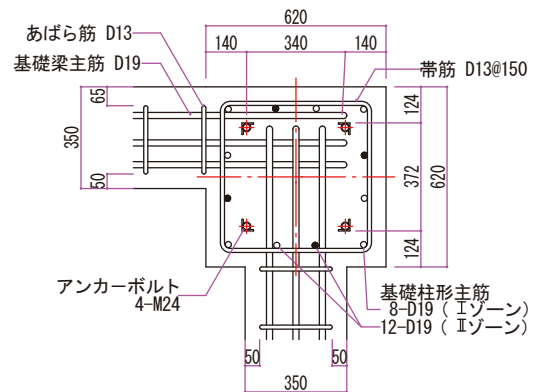
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	260~510	290~510	340~510	390~510
D19	260~510	300~510	350~510	400~510
D22	270~510	320~510	380~510	440~510

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	270~420	280~420	320~420	370~420
D19	270~420	290~420	330~420	380~420
D22	270~420	300~420	350~420	400~420



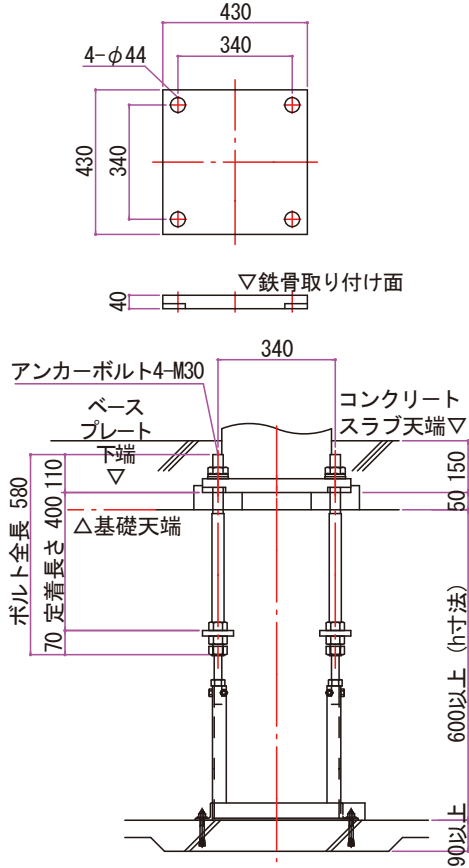
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

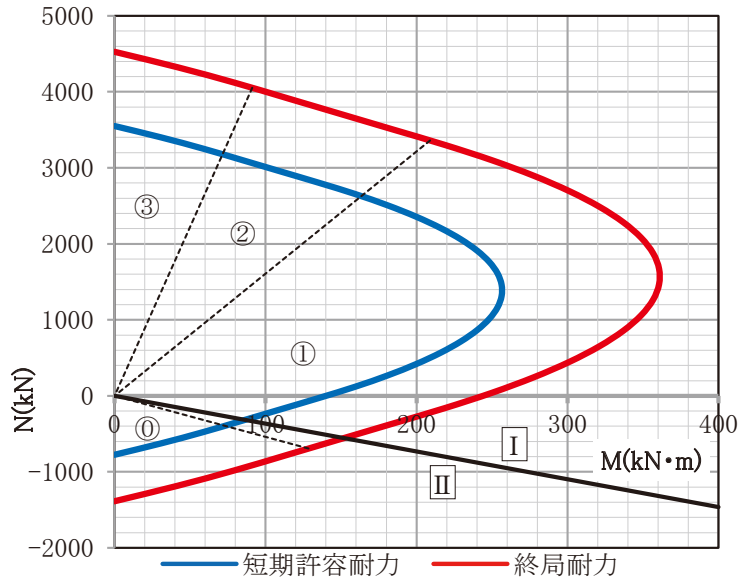
円形鋼管柱用(エコタイプ)

適用柱	円形鋼管柱 $\phi 300, \phi 318.5$ (最大板厚:40mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M30
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	61.0

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(エコタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	620	12-D19(SD345)	D13@150(SD295)	620	16-D19(SD345)	D13@150(SD295)	280
<中柱用>	620	12-D19(SD345)	D13@150(SD295)	620	16-D19(SD345)	D13@150(SD295)	280

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

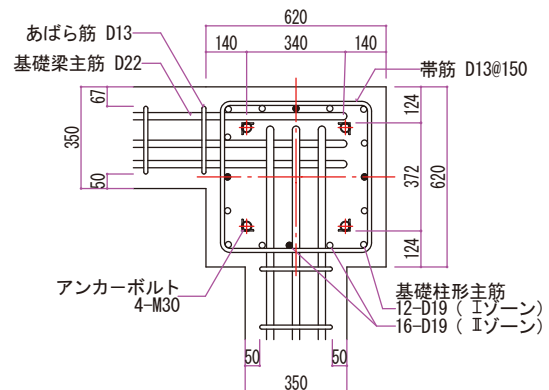
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	260~510	300~510	350~510	400~510
D22	270~510	320~510	380~510	440~510
D25	270~510	330~510	400~510	470~510

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~410	290~410	330~410	380~410
D22	270~410	300~410	350~410	400~410
D25	270~410	310~410	370~410	

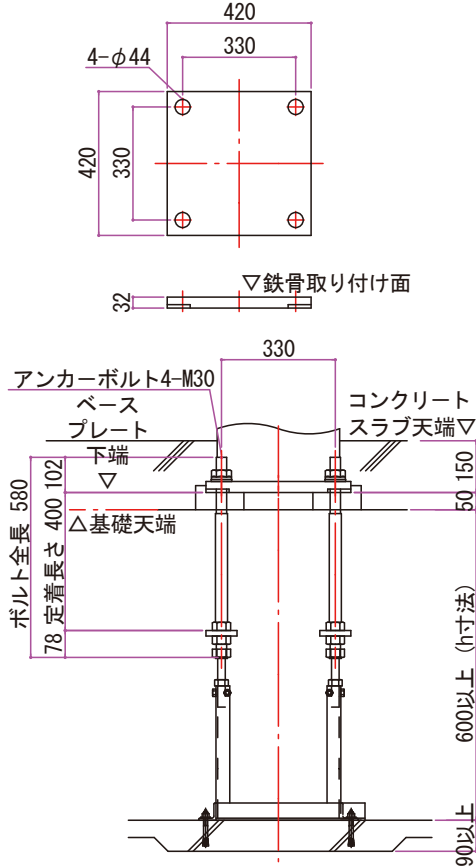


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

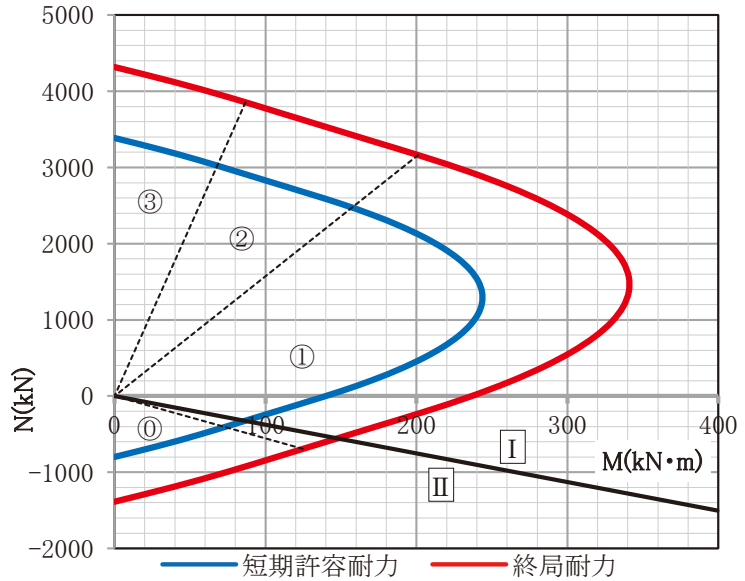
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	円形鋼管柱 φ350,φ355.6 (最大板厚:40mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M30
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	65.1

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	620	12-D19(SD345)	D13@150(SD295)	620	16-D19(SD345)	D13@150(SD295)	280
<中柱用>	620	12-D19(SD345)	D13@150(SD295)	620	16-D19(SD345)	D13@150(SD295)	280

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

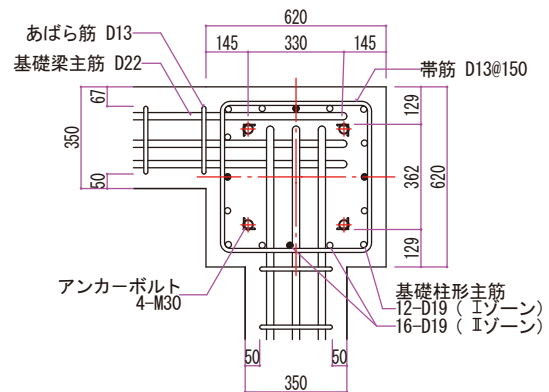
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~510	320~510	370~510	420~510
D22	270~510	330~510	390~510	450~510
D25	280~510	350~510	420~510	490~510

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~400	290~400	330~400	380~400
D22	270~400	300~400	350~400	400
D25	270~400	310~400	370~400	

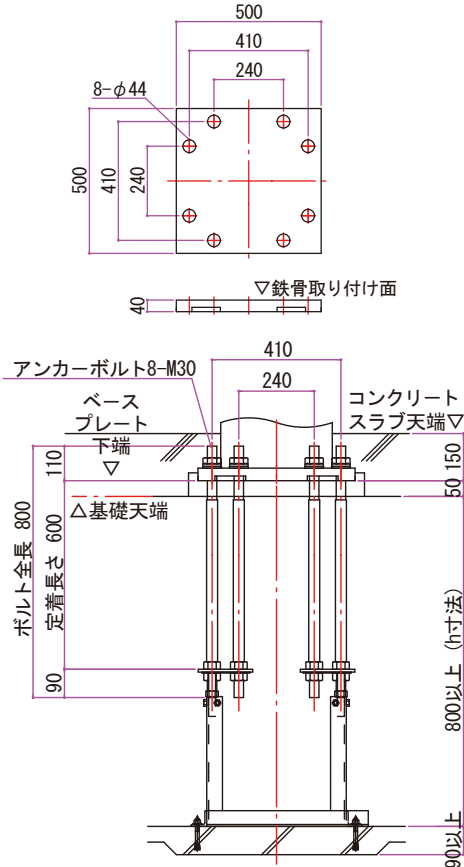


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

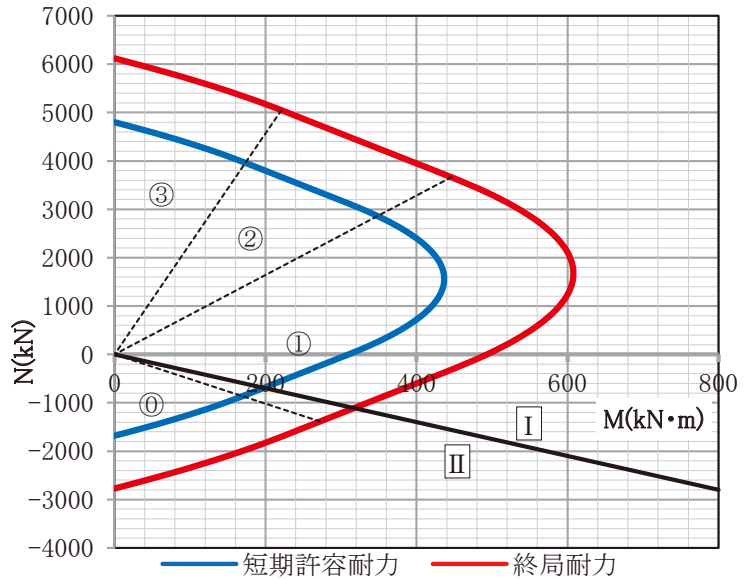
注2) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	円形鋼管柱 $\phi 350, \phi 355.6$ (最大板厚:40mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M30
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	86.3

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(エコタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	700	16-D22(SD345)	D13@150(SD295)	700	20-D22(SD345)	D13@150(SD295)	490
<中柱用>	700	16-D22(SD345)	D13@150(SD295)	700	20-D22(SD345)	D13@150(SD295)	490

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

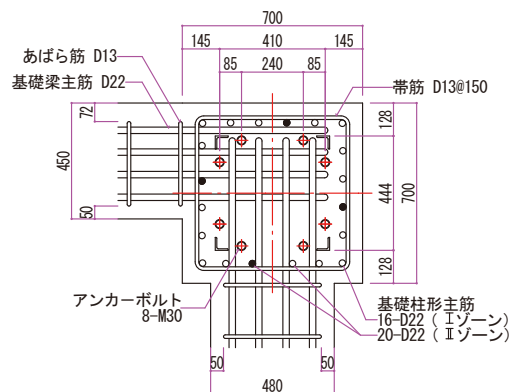
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	350~510	400~510	450~510	500~510
D22	360~510	420~510	480~510	
D25	370~510	440~510	510	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~320	290~320	*480	*480
D22	270~320	300~320	*480	*480
D25	270~320	310~320	*480	*480



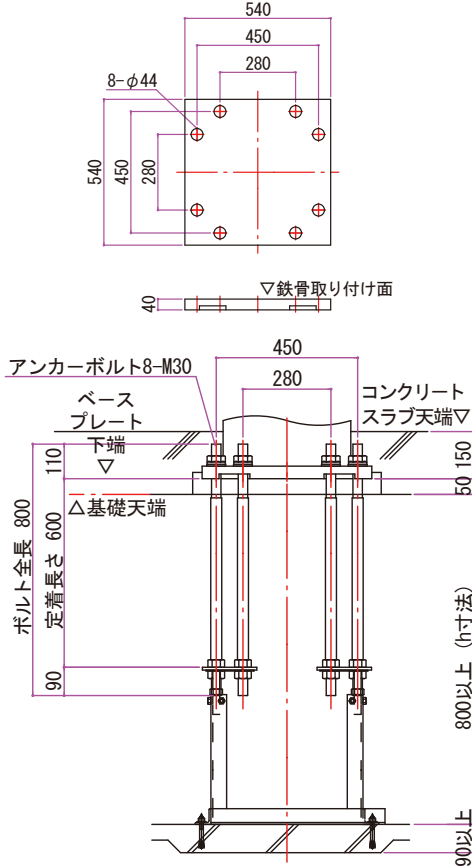
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

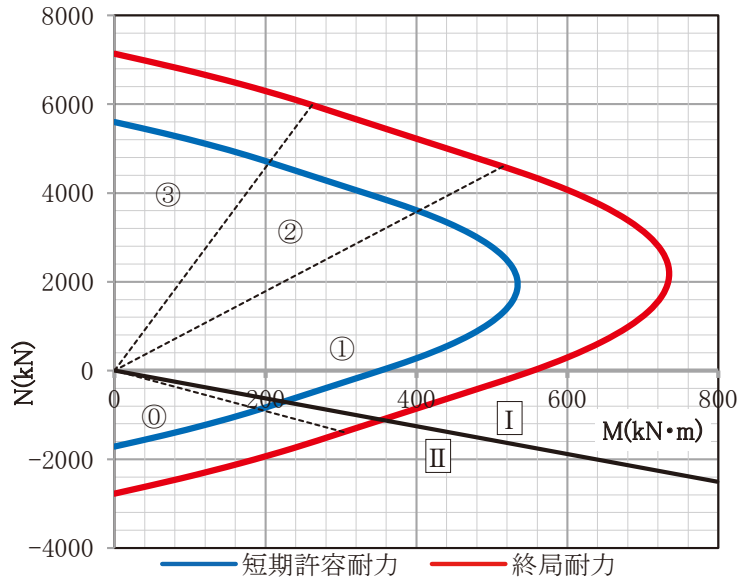
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	円形鋼管柱 φ400,φ406.4 (最大板厚:40mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M30
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	119

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	740	16-D22(SD345)	D13@150(SD295)	740	20-D22(SD345)	D13@150(SD295)	470
<中柱用>	740	12-D22(SD345)	D13@150(SD295)	740	20-D22(SD345)	D13@150(SD295)	470

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

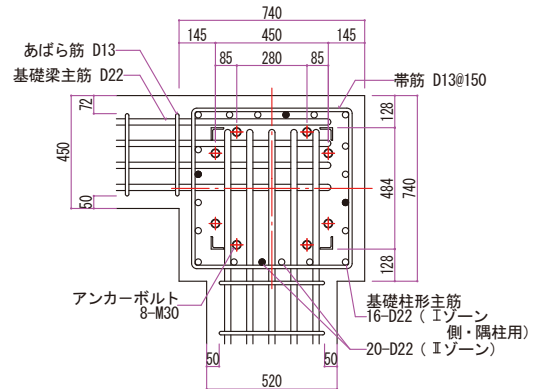
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	330~550	380~550	430~550	480~550
D22	340~550	400~550	460~550	520~550
D25	350~550	420~550	490~550	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~360	290~360	330~360	*520
D22	270~360	300~360	350~360	*520
D25	270~360	310~360	*520	*520



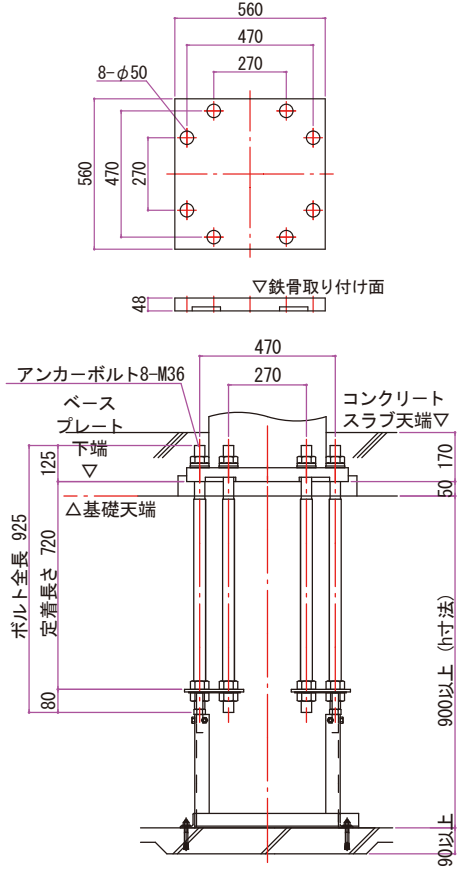
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

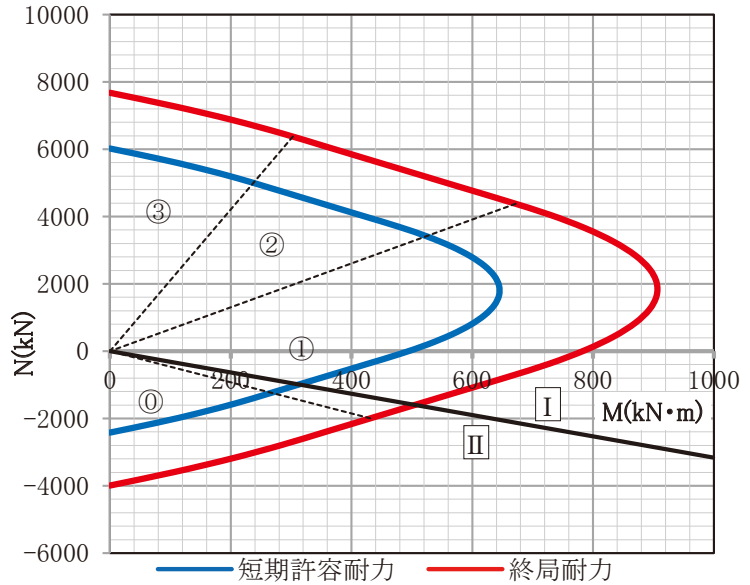
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	円形鋼管柱 $\phi 400, \phi 406.4$ (最大板厚:40mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M36
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	148

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(エコタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	770	16-D25(SD345)	D13@150(SD295)	800	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	550
<中柱用>	770	12-D25(SD345)	D13@150(SD295)	800	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	550

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

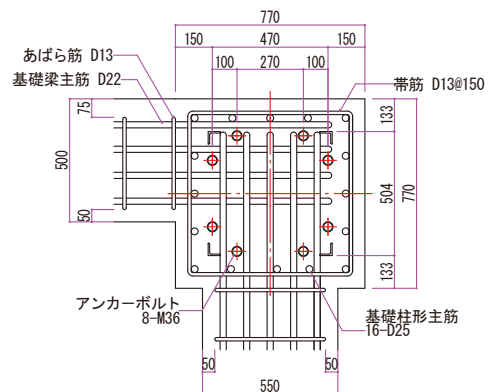
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	330~550	380~550	430~550	480~550
D22	340~550	400~550	460~550	510~550
D25	350~550	420~550	490~550	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~340	320~340	*540	*540
D22	270~340	330~340	*540	*540
D25	270~340	340	*540	*540



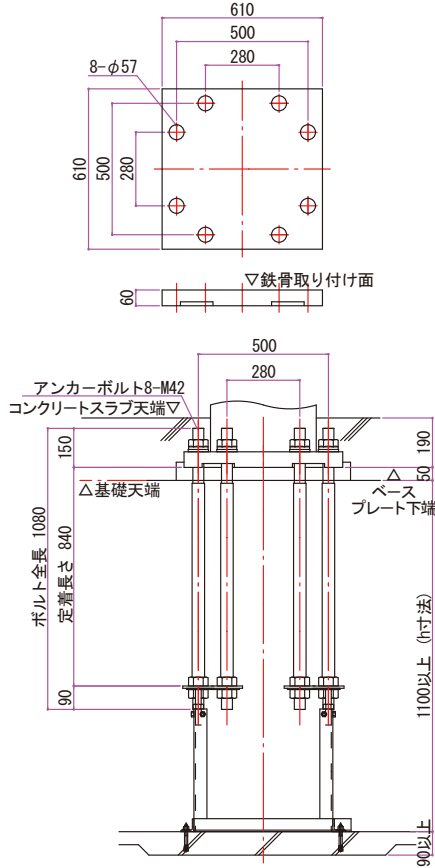
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

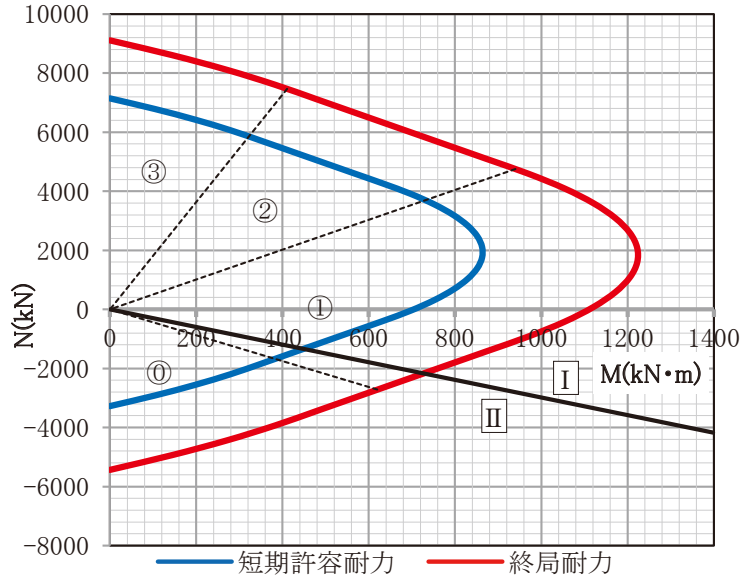
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	円形鋼管柱 φ400,φ406.4 (最大板厚:40mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M42
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	194

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(エコタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	810	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	850	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	700
<中柱用>	810	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	850	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	700

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

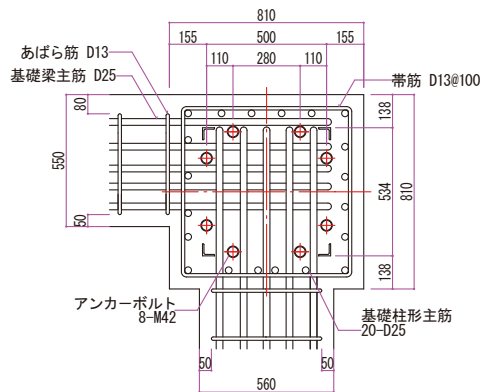
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	390~580	350~580	410~580	470~580
D25	390~580	360~580	420~580	490~580
D29	400~580	480~580	560~580	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~340	300~340	*560	*560
D25	270~340	310~340	*560	*560
D29		340	*560	*560



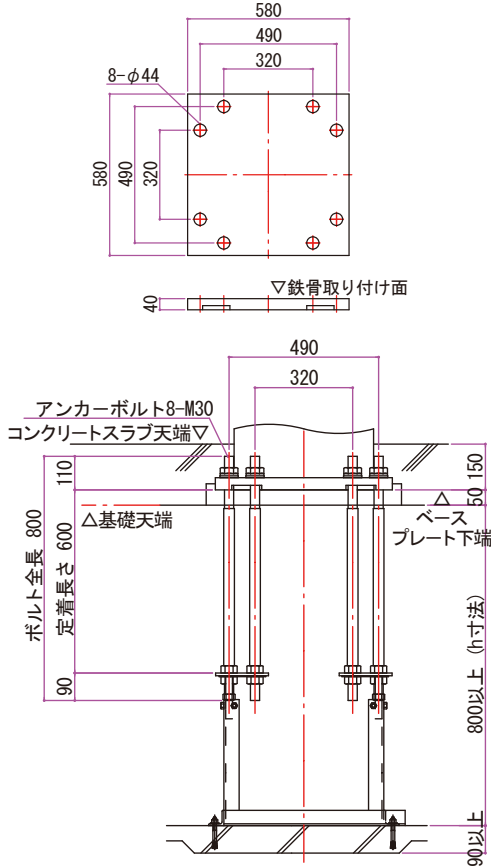
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

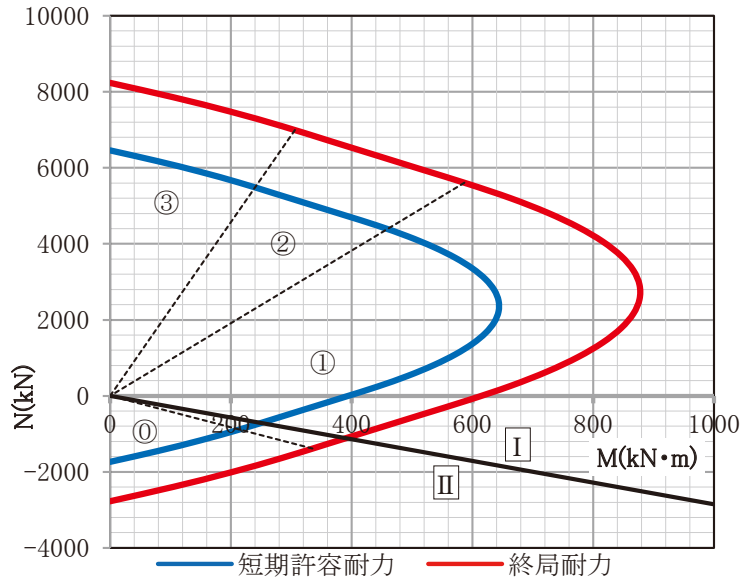
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	円形鋼管柱 $\phi 450, \phi 457.2$ (最大板厚:40mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M30
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	146

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(エコタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	780	16-D22(SD345)	D13@150(SD295)	780	20-D22(SD345)	D13@150(SD295)	450
<中柱用>	780	12-D22(SD345)	D13@150(SD295)	780	20-D22(SD345)	D13@150(SD295)	450

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

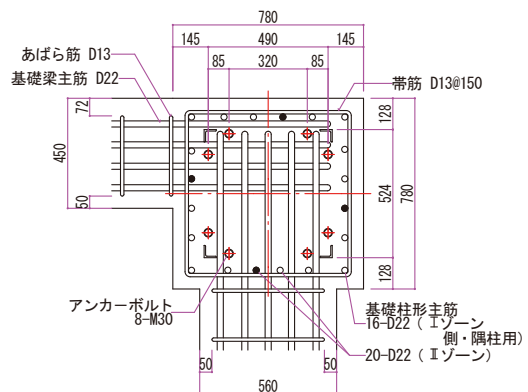
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	300~590	350~590	400~590	450~590
D22	310~590	360~590	410~590	470~590
D25	320~590	370~590	440~590	510~590

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~400	290~400	330~400	380~420
D22	270~400	300~400	350~400	400~420
D25	270~400	310~400	370~420	*560



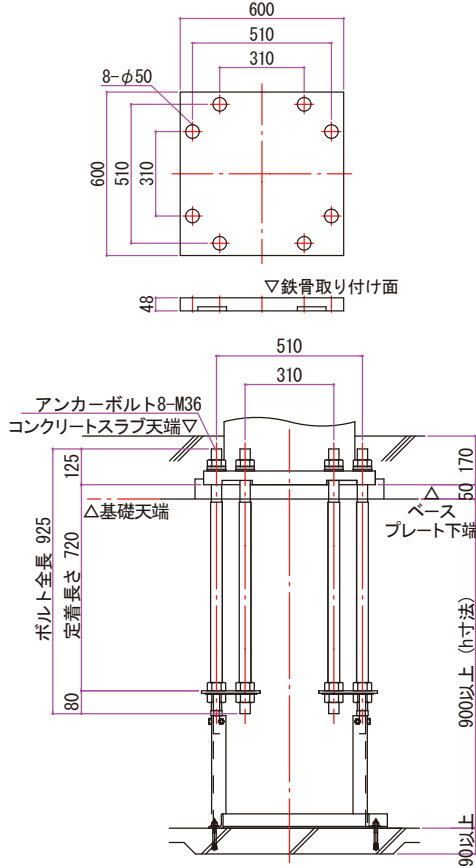
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

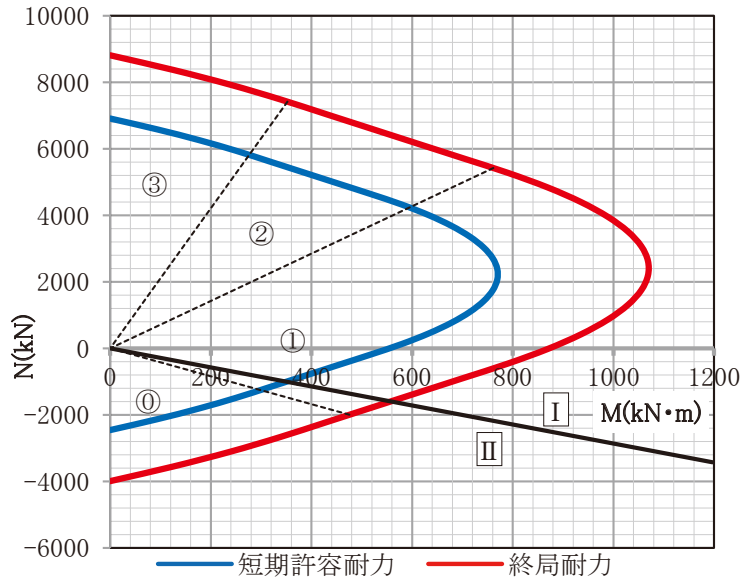
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	円形鋼管柱 φ450,φ457.2 (最大板厚:40mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M36
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	182

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(エコタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	810	16-D25(SD345)	D13@100(SD295)	810	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	550
<中柱用>	810	12-D25(SD345)	D13@100(SD295)	810	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	550

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

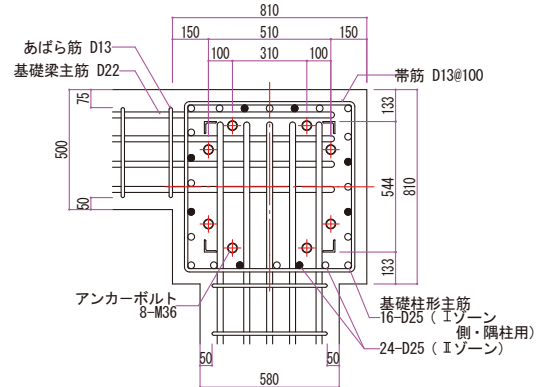
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	370~590	420~590	470~590	520~590
D22	380~590	440~590	500~590	560~590
D25	390~590	460~590	530~590	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

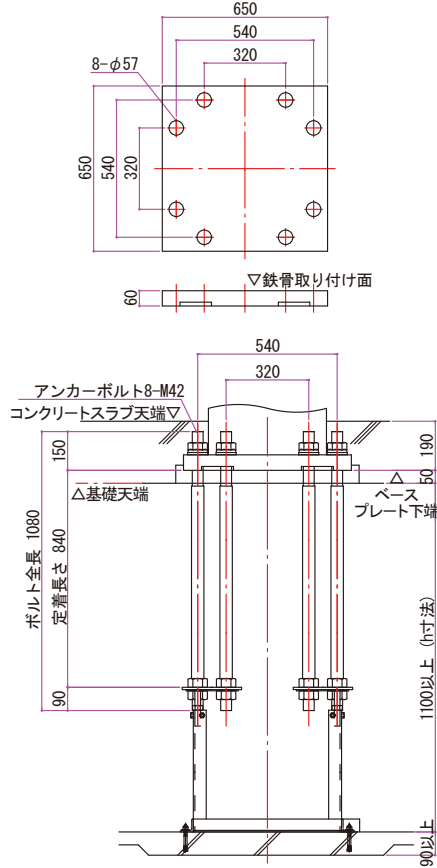
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~380	290~380	330~380	380
D22	270~380	300~380	350~380	380
D25	270~380	310~380	370~380	*580



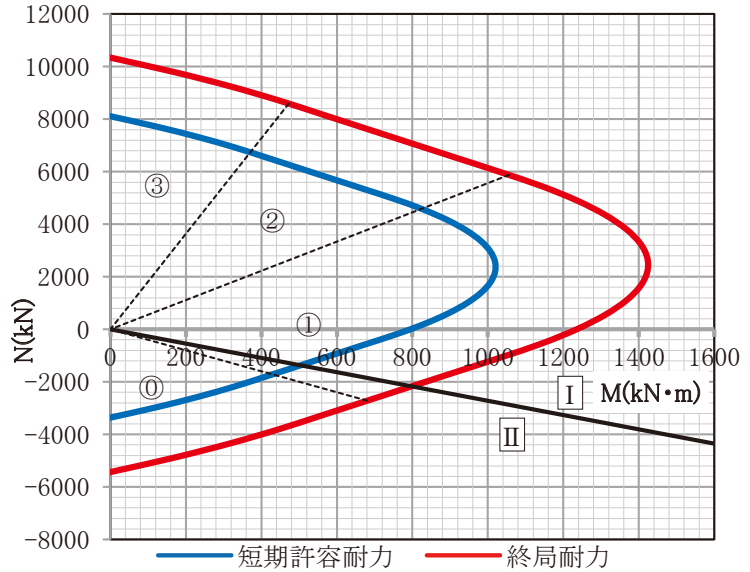
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。
 注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。
 注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	円形鋼管柱 $\phi 450, \phi 457.2$ (最大板厚:40mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M42
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	249

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(エコタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	850	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	850	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	700
<中柱用>	850	16-D25(SD345)	D13@100(SD295)	850	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	700

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

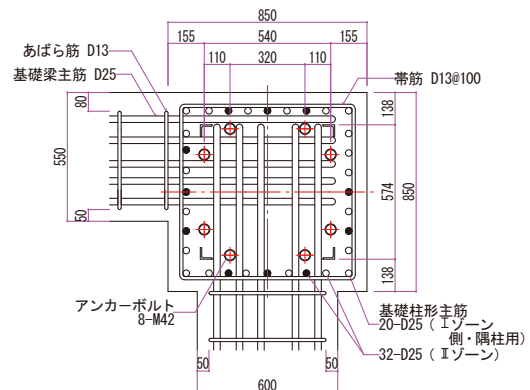
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	390~610	450~610	510~610	570~610
D25	400~610	470~610	540~610	610
D29	410~610	490~610	570~610	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~380	300~380	350~380	*600
D25	270~380	310~380	370~380	*600
D29		340~380	380	*600



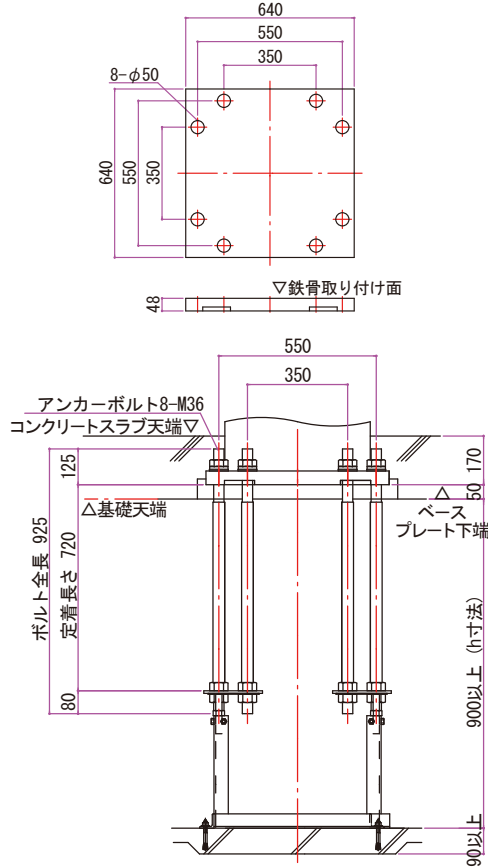
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

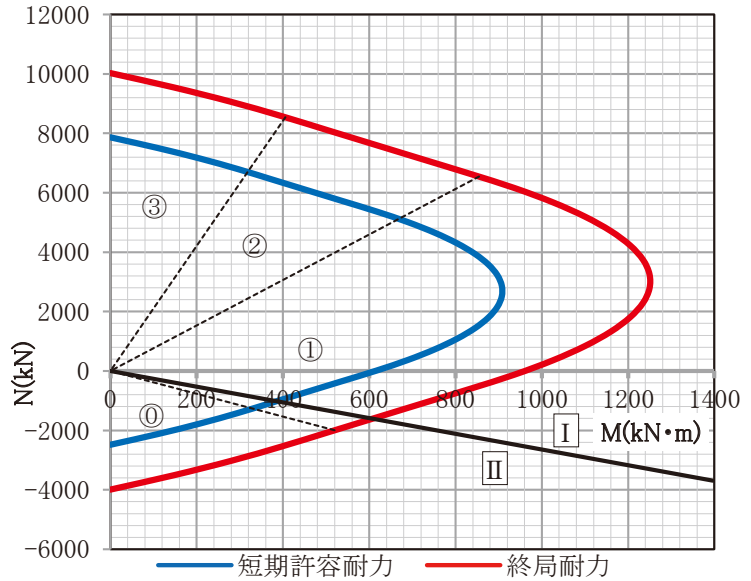
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	円形鋼管柱 $\phi 500, \phi 508$ (最大板厚:40mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M36
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	231

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	850	16-D25(SD345)	D13@100(SD295)	850	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	530
<中柱用>	850	12-D25(SD345)	D13@100(SD295)	850	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	530

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

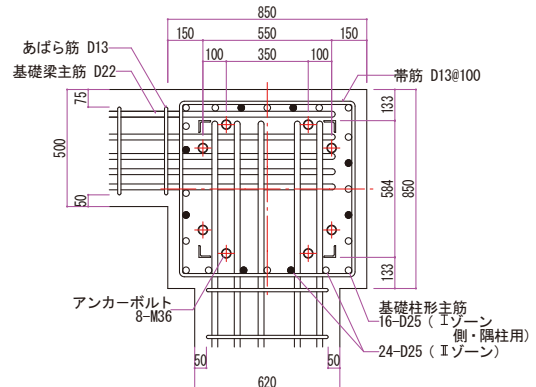
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	370~630	420~630	470~630	520~630
D22	380~630	440~630	500~630	560~630
D25	390~630	460~630	530~630	600~630

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~420	290~420	330~420	380~420
D22	270~420	300~420	350~420	400~420
D25	270~420	310~420	370~420	*620



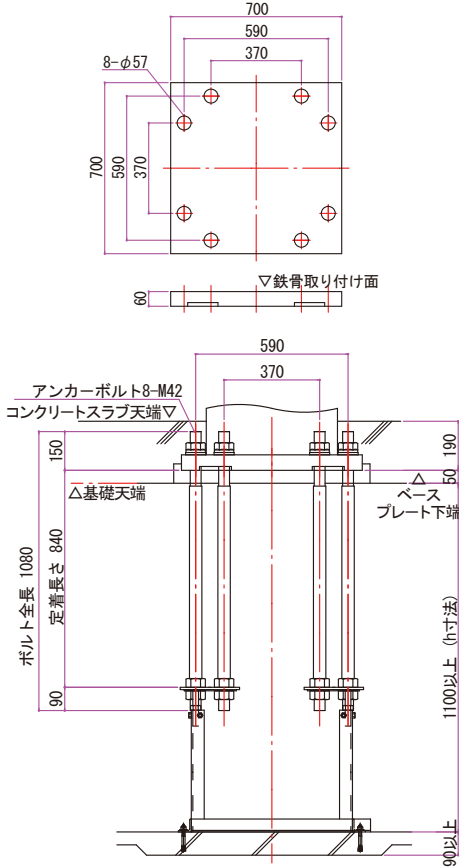
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

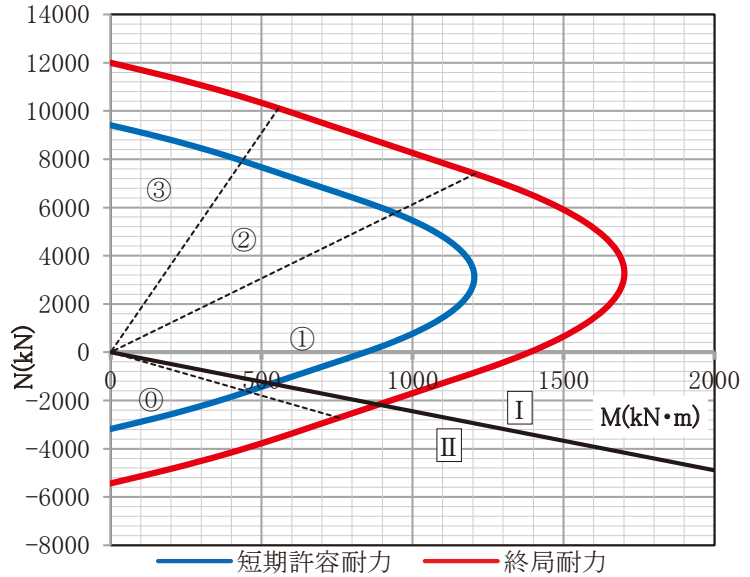
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	円形鋼管柱 φ500,φ508 (最大板厚:40mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M42
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	301

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(エコタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	900	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	900	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	670
<中柱用>	900	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	900	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	670

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

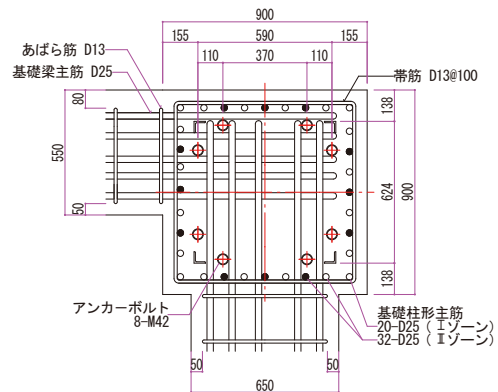
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	390~660	450~660	510~660	570~660
D25	390~660	460~660	530~660	600~660
D29	400~660	480~660	560~660	640~660

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	270~430	300~430	350~430	400~430
D25	270~430	310~430	370~430	*650
D29		340~430	400~430	*650



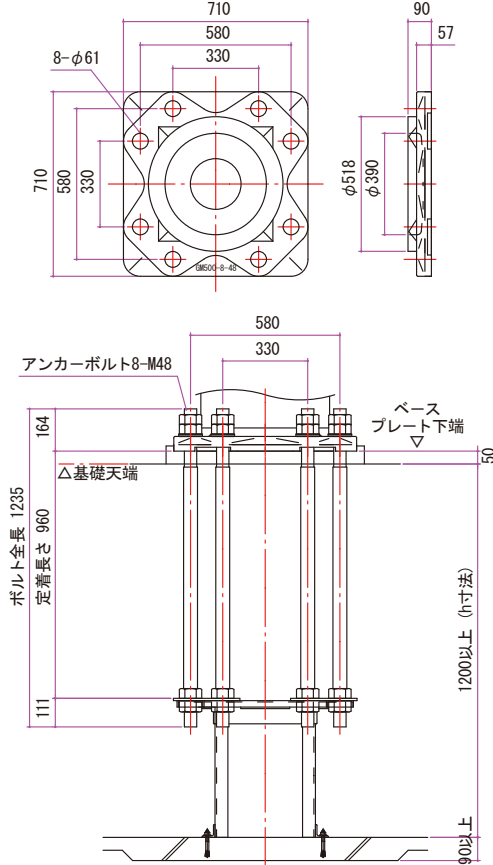
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

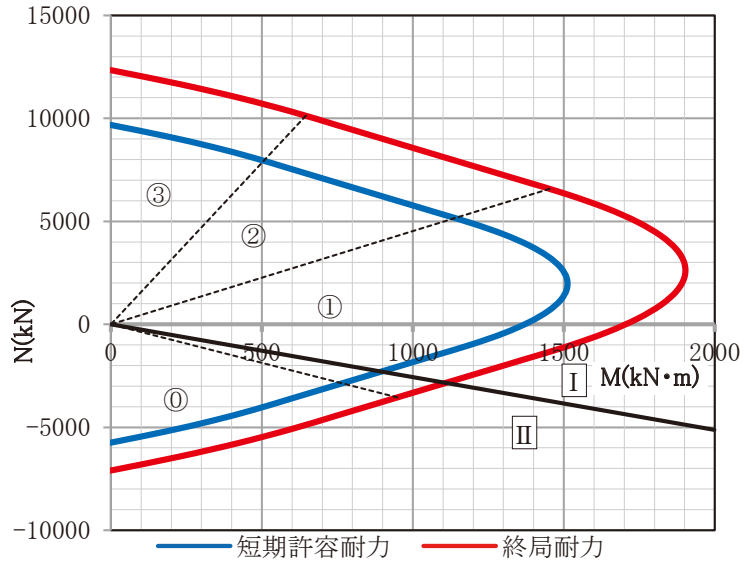
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	円形鋼管柱 φ500,φ508(最大板厚:40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M48
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	405

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	950	24-D25(SD345)	D16@100(SD295)	950	40-D25(SD345)	D16@100(SD295)	730
<中柱用>	950	20-D25(SD345)	D16@100(SD295)	950	40-D25(SD345)	D16@100(SD295)	730

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

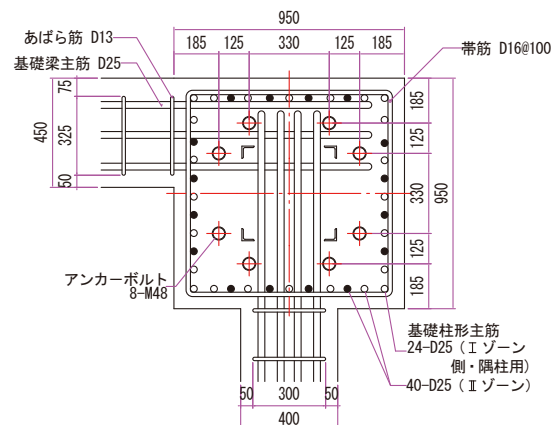
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	440~680	500~680	560~680	620~680
D25	440~680	510~680	580~680	650~680
D29	450~680	530~680	610~680	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~420	360~420	420	*670
D25	310~420	380~420	*670	*670
D29	340~420	420	*670	*670

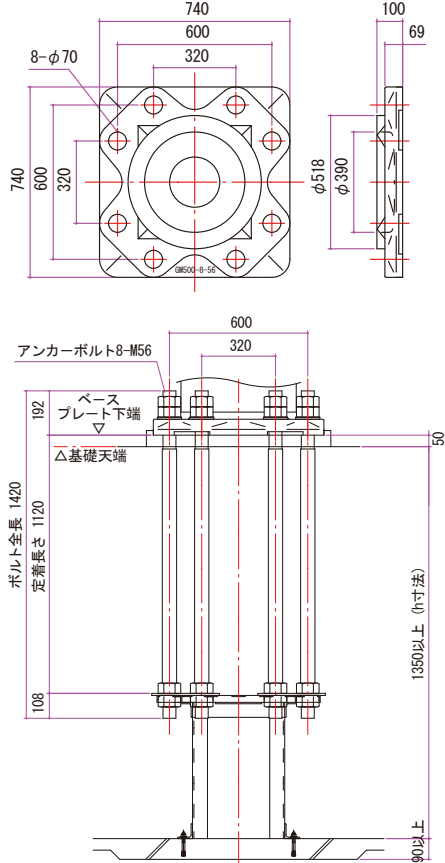


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

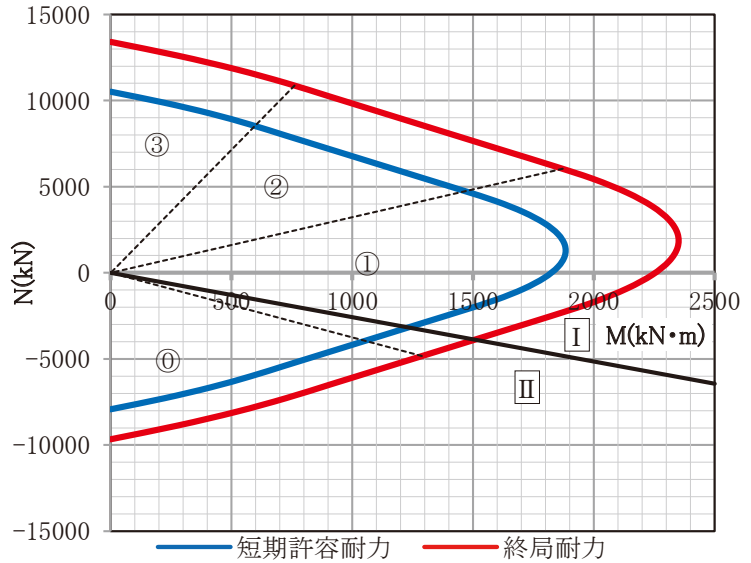
注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

適用柱	円形鋼管柱 φ500,φ508(最大板厚:40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M56
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	470

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	950	32-D25(SD345)	D16@100(SD295)	1100	52-D25(SD345)	D16@100(SD295)	940
<中柱用>	950	28-D25(SD345)	D16@100(SD295)	1100	52-D25(SD345)	D16@100(SD295)	940

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

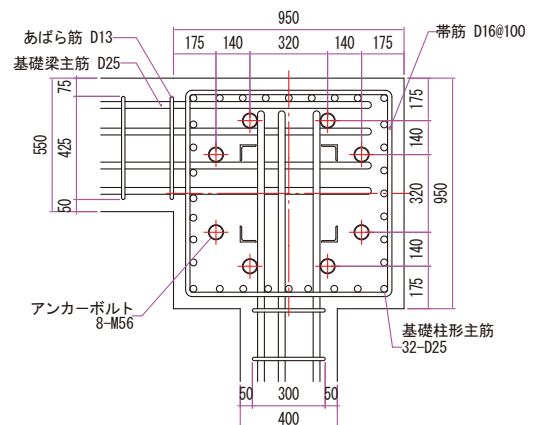
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	450~670	510~670	570~670	630~670
D25	450~670	520~670	590~670	660~670
D29	460~670	540~670	620~670	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~400	360~400	*680	*680
D25	310~400	380~400	*680	*680
D29	340~400	*680	*680	

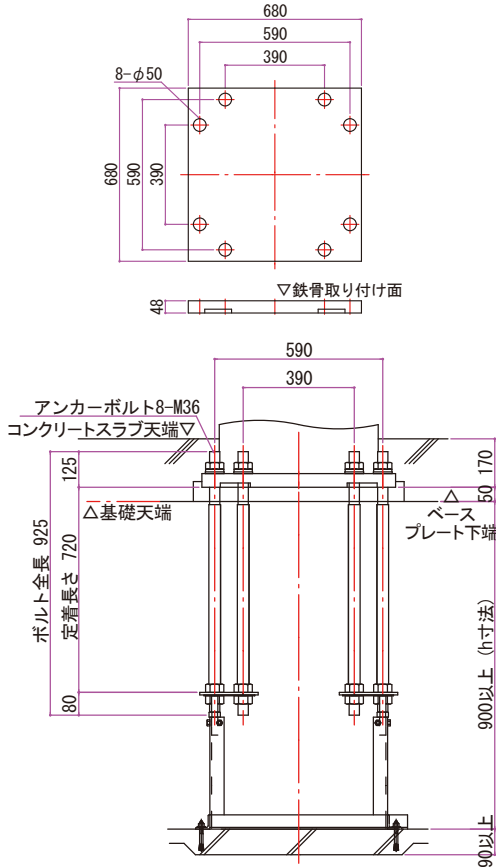


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

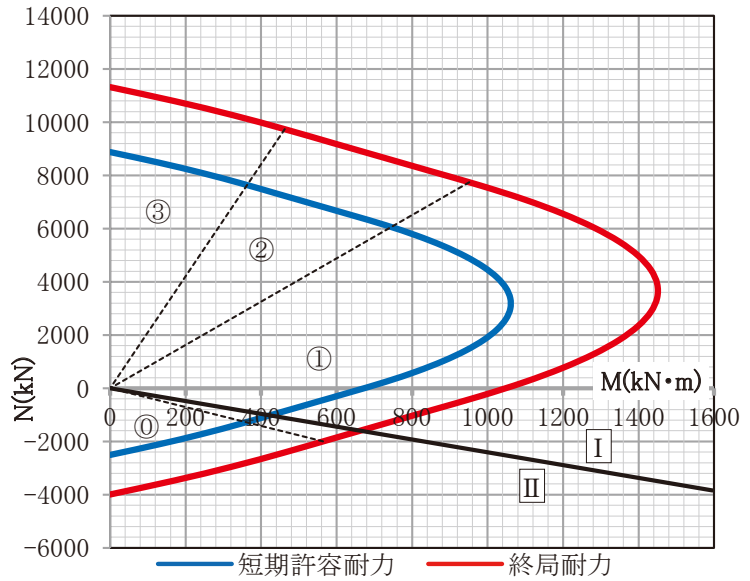
注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

適用柱	円形鋼管柱 $\phi 550, \phi 558.8$ (最大板厚:40mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M36
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	269

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	900	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	900	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	520
<中柱用>	900	16-D25(SD345)	D13@100(SD295)	900	24-D25(SD345)	D13@100(SD295)	520

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

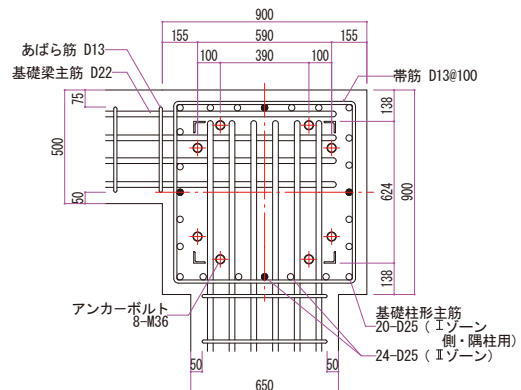
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	370~670	420~670	470~670	520~670
D22	380~670	440~670	500~670	560~670
D25	390~670	460~670	530~670	600~670

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	290~460	330~460	380~460	440~460
D22	300~460	350~460	400~460	460
D25	310~460	370~460	440~460	*650



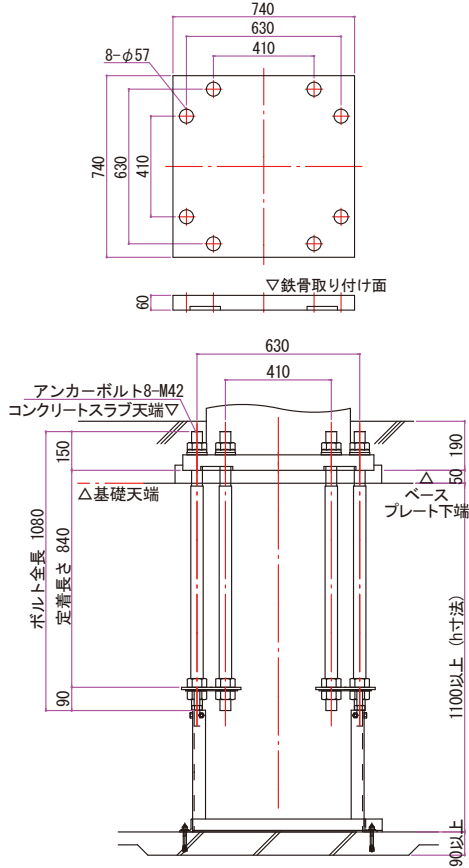
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

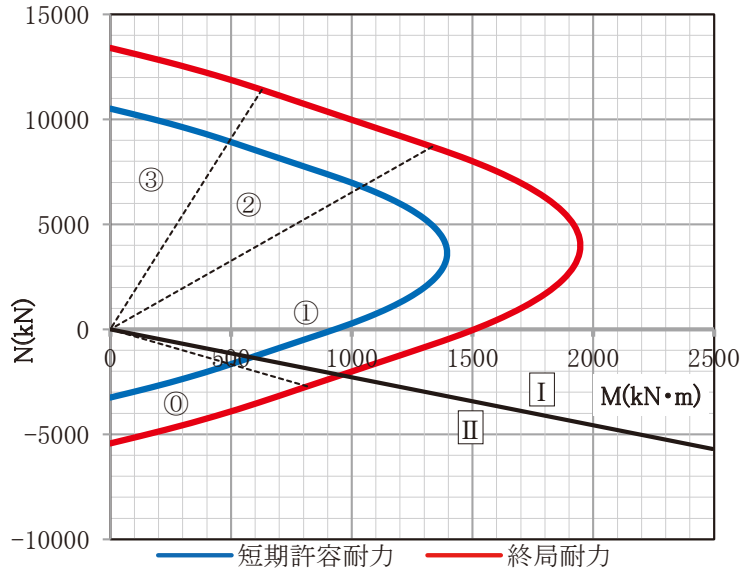
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	円形鋼管柱 $\phi 550, \phi 558.8$ (最大板厚:40mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M42
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	350

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(エコタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	950	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	950	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	660
<中柱用>	950	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	950	32-D25(SD345)	D13@100(SD295)	660

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

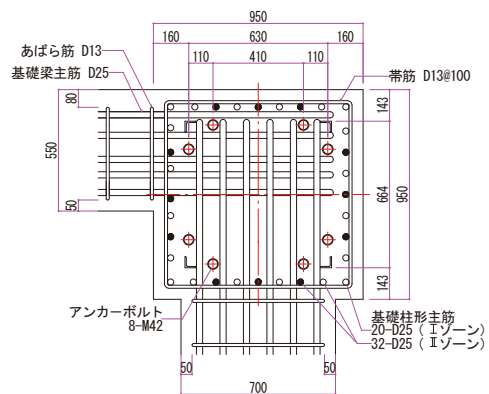
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400~710	460~710	520~710	580~710
D25	410~710	480~710	550~710	620~710
D29	420~710	500~710	580~710	660~710

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~470	350~470	400~470	460~470
D25	310~470	370~470	440~470	*700
D29	340~470	400~470	*700	*700



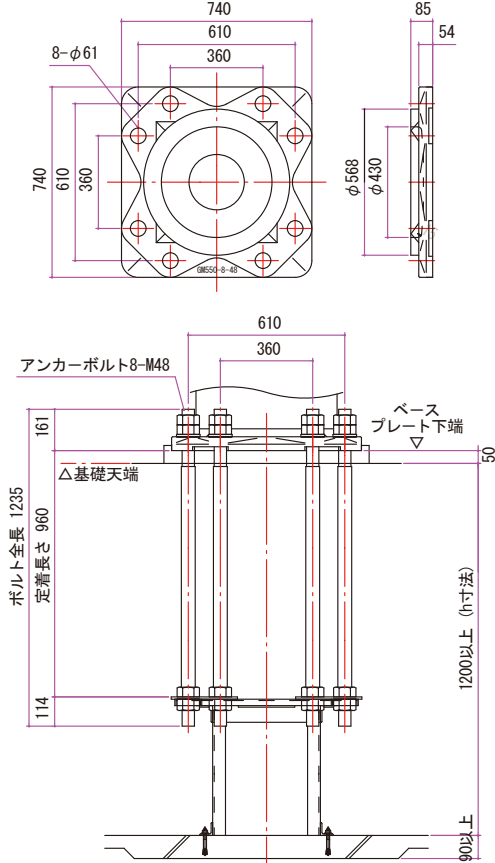
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

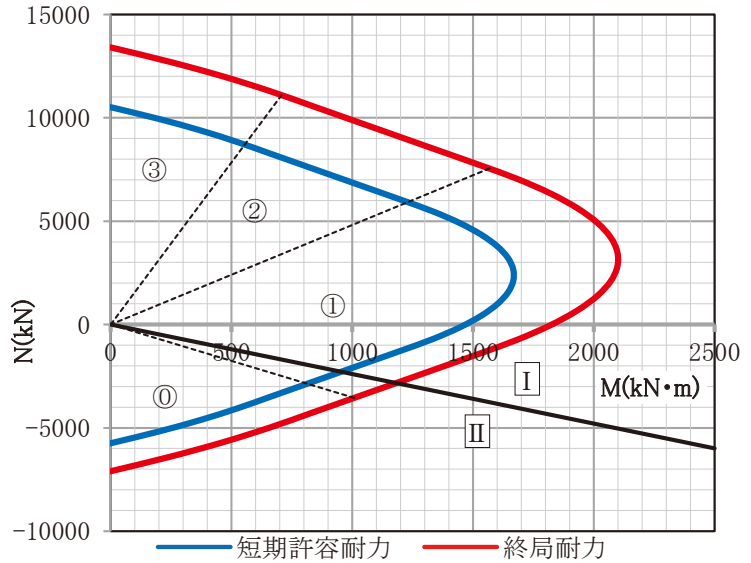
注3) かぶり厚は50mmを基本とし、かぶり厚を変更すると(納まり例の表に記載の)はり幅は変動します。

適用柱	円形鋼管柱 φ550,φ558.8(最大板厚:40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M48
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	468

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	950	28-D25(SD345)	D16@100(SD295)	950	40-D25(SD345)	D16@100(SD295)	730
<中柱用>	950	24-D25(SD345)	D16@100(SD295)	950	40-D25(SD345)	D16@100(SD295)	730

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

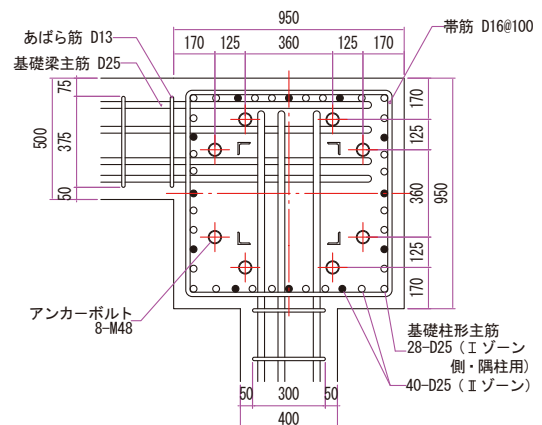
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	430~700	490~700	550~700	610~700
D25	430~700	500~700	570~700	640~700
D29	430~700	510~700	590~700	670~700

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~450	360~450	420~450	*720
D25	310~450	380~450	450	*720
D29	340~450	420~450	*720	*720

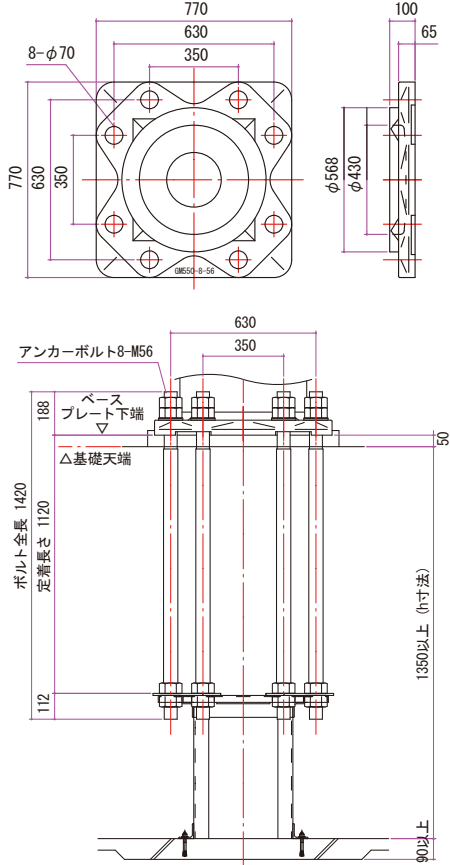


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

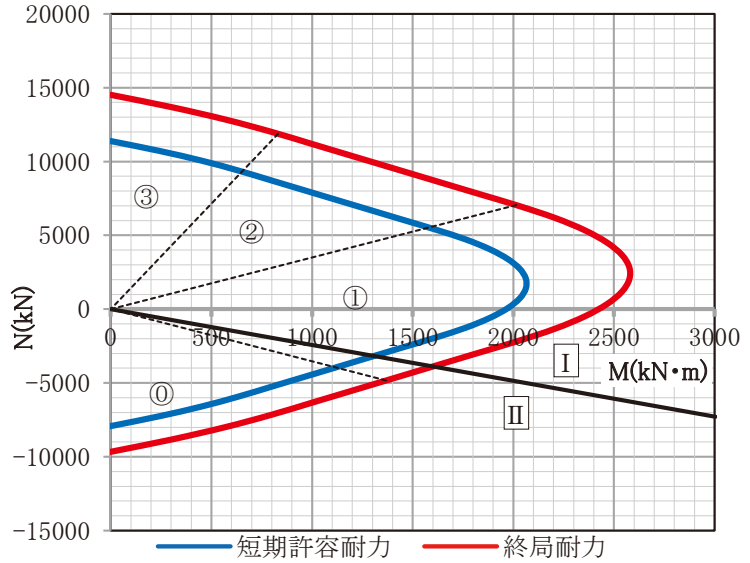
注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

適用柱	円形鋼管柱 $\phi 550, \phi 558.8$ (最大板厚:40mm)
ベースプレート	G タイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト (本数-呼び)	8-M56
回転ばね定数 ($\times 10^3 \text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	543

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1000	32-D25(SD345)	D16@100(SD295)	1100	52-D25(SD345)	D16@100(SD295)	940
<中柱用>	1000	28-D25(SD345)	D16@100(SD295)	1100	52-D25(SD345)	D16@100(SD295)	940

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

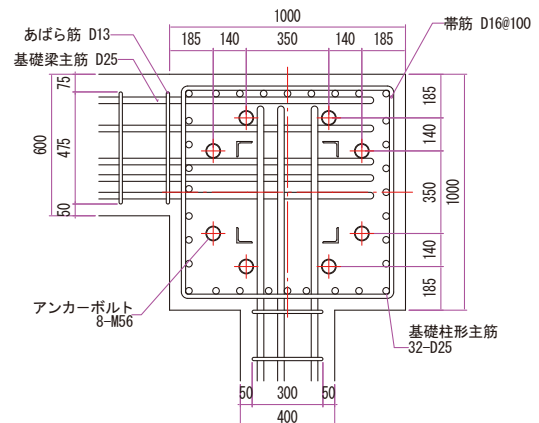
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	460~710	520~710	580~710	640~710
D25	460~710	530~710	600~710	670~710
D29	470~710	550~710	630~710	710

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~430	360~430	420~430	*710
D25	310~430	380~430	*710	*710
D29	330~430	420~430	*710	*710

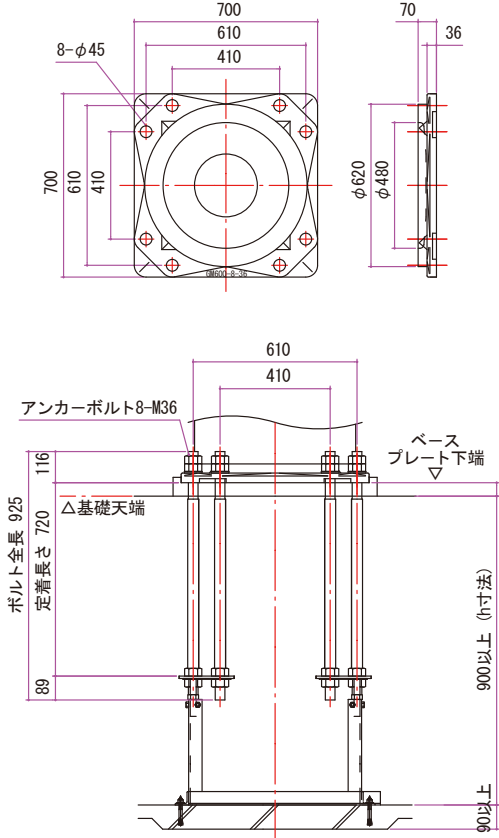


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

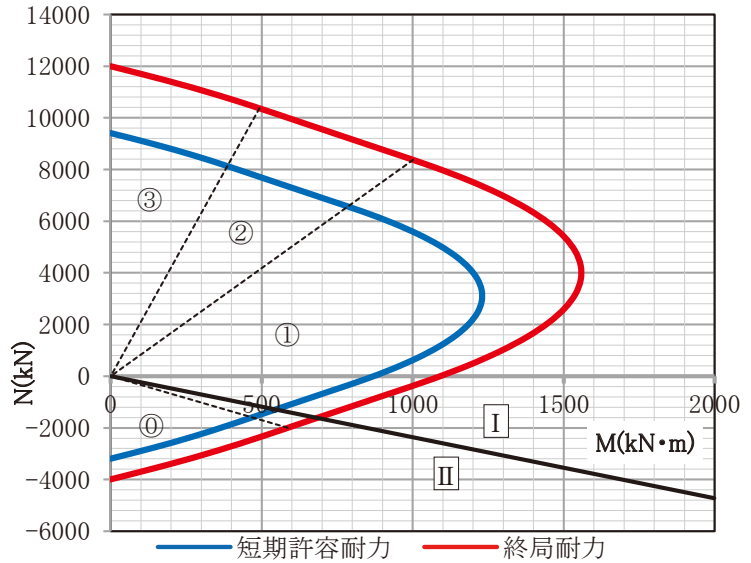
注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

適用柱	円形鋼管柱 φ600,φ609.6(最大板厚:40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M36
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	421

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	950	20-D25(SD345)	D16@100(SD295)	950	24-D25(SD345)	D16@100(SD295)	450
<中柱用>	950	16-D25(SD345)	D16@100(SD295)	950	24-D25(SD345)	D16@100(SD295)	450

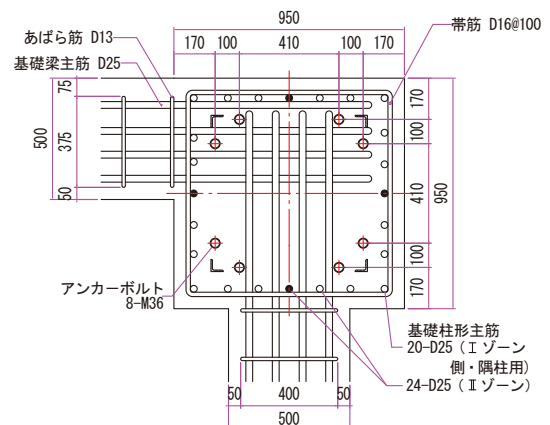
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ 単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	390~730	450~730	510~730	570~730
D25	400~730	470~730	540~730	610~730
D29	400~730	480~730	560~730	640~730

柱形中心基礎はりタイプ 単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~510	360~510	420~510	480~510
D25	310~510	380~510	450~510	*680
D29	340~510	420~510	500~510	*680

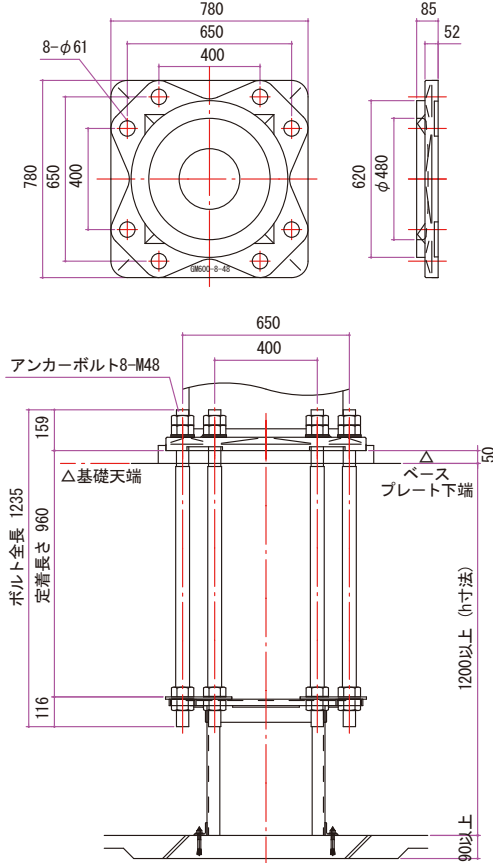


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

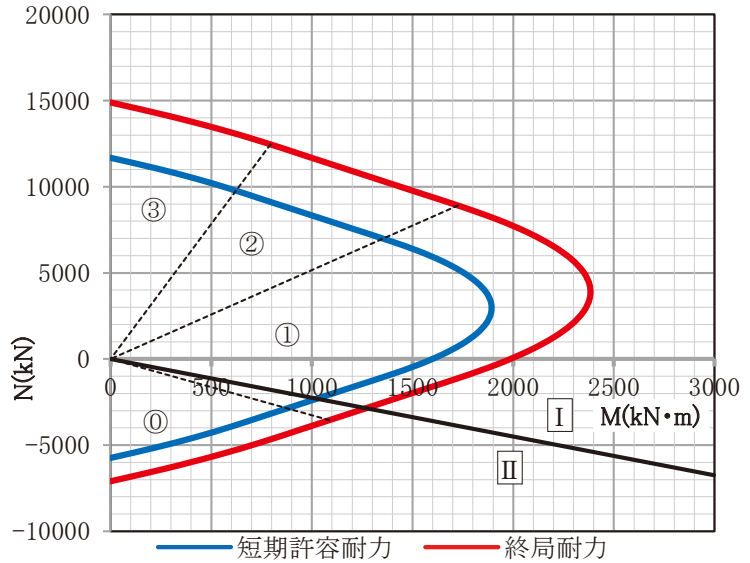
注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

適用柱	円形鋼管柱 φ600,φ609.6(最大板厚:40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M48
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	563

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1000	28-D25(SD345)	D16@100(SD295)	1000	40-D25(SD345)	D16@100(SD295)	720
<中柱用>	1000	24-D25(SD345)	D16@100(SD295)	1000	40-D25(SD345)	D16@100(SD295)	720

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

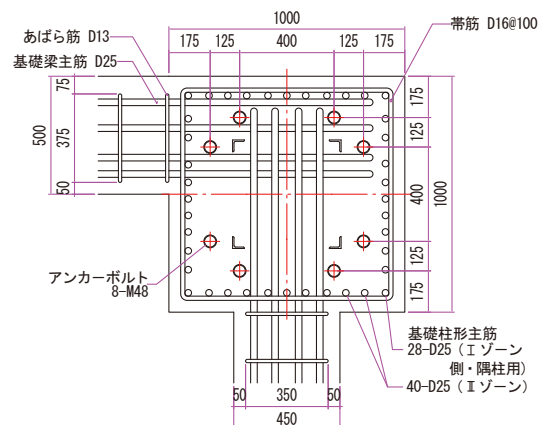
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	430~740	490~740	550~740	610~740
D25	430~740	500~740	570~740	640~740
D29	440~740	520~740	600~740	680~740

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~490	360~490	420~490	*740
D25	310~490	380~490	450~490	*740
D29	340~490	420~490	*740	*740

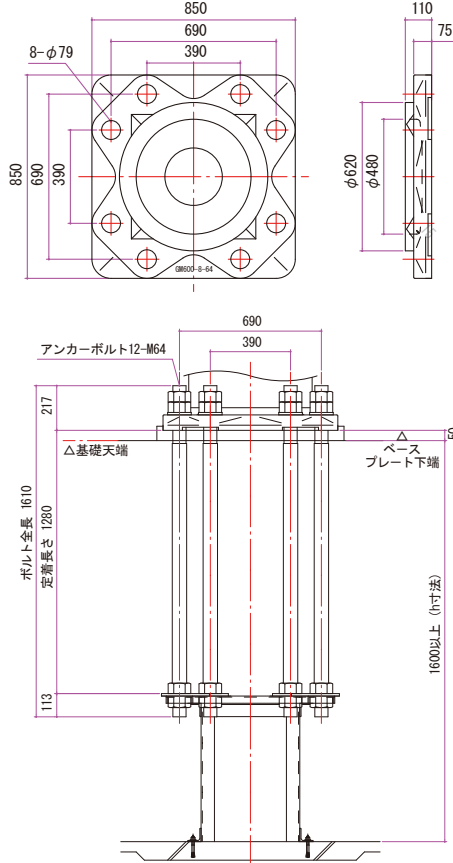


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

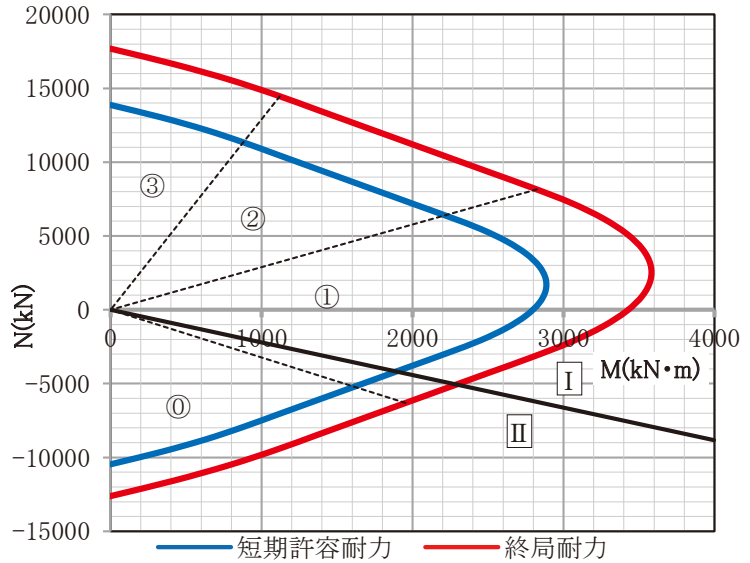
注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

適用柱	円形鋼管柱 φ600,φ609.6(最大板厚:40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M64
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	747

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1100	32-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1150	48-D29(SD390)	D16@80(SD295)	1120
<中柱用>	1100	28-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1150	48-D29(SD390)	D16@80(SD295)	1120

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

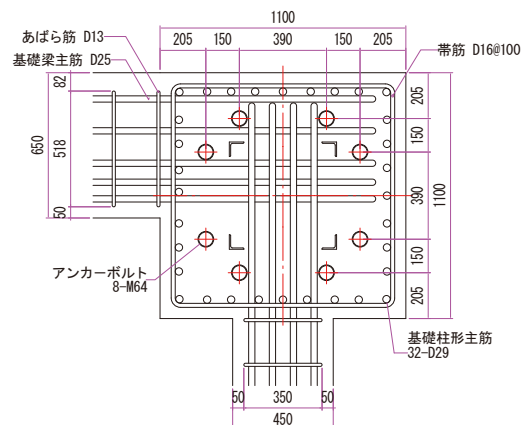
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	490~780	550~780	610~780	670~780
D25	500~780	570~780	640~780	710~780
D29	500~780	580~780	660~780	740~780

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~460	360~460	420~460	460
D25	310~460	380~460	450~460	*760
D29	340~460	420~460	*760	*760

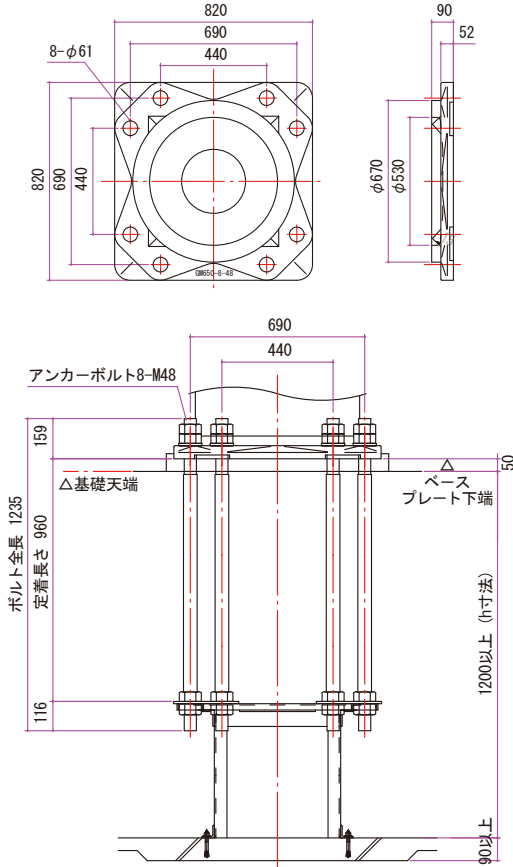


注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

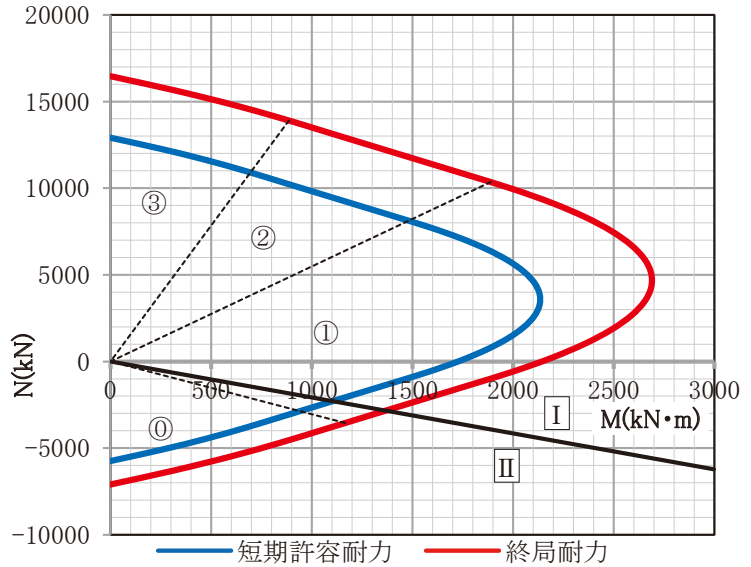
注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

適用柱	円形鋼管柱 φ650,φ660.4(最大板厚:40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M48
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	661

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1050	28-D25(SD345)	D16@100(SD295)	1050	40-D25(SD345)	D16@100(SD295)	720
<中柱用>	1050	24-D25(SD345)	D16@100(SD295)	1050	40-D25(SD345)	D16@100(SD295)	720

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

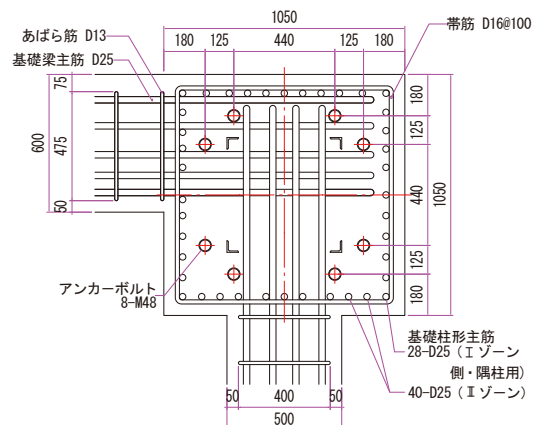
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	440~790	500~790	560~790	620~790
D25	440~790	510~790	580~790	650~790
D29	440~790	520~790	600~790	680~790

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

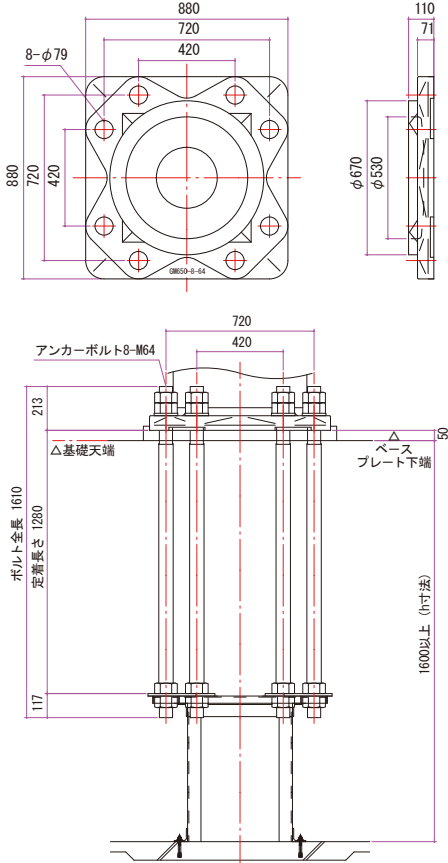
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~530	360~530	420~530	480~530
D25	310~530	380~530	450~530	520~530
D29	340~530	420~530	500~530	*780



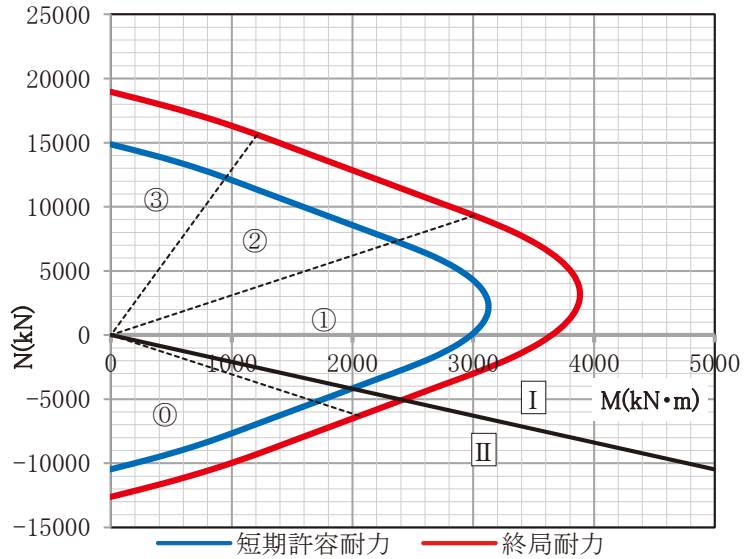
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。
 注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

適用柱	円形鋼管柱 $\phi 650, \phi 660.4$ (最大板厚:40mm)
ベースプレート	G タイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト (本数-呼び)	8-M64
回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	846

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1100	32-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1150	48-D29(SD390)	D16@80(SD295)	1120
<中柱用>	1100	28-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1150	48-D29(SD390)	D16@80(SD295)	1120

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

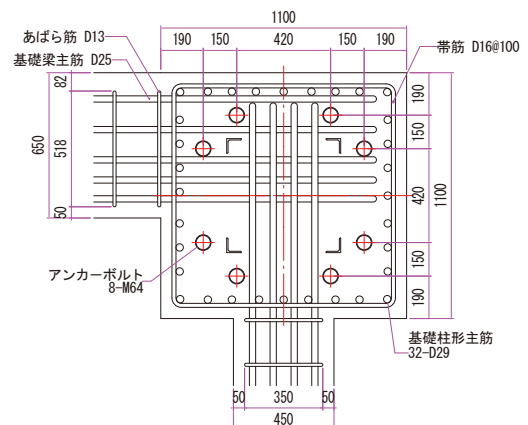
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	480~790	540~790	600~790	660~790
D25	480~790	550~790	620~790	690~790
D29	490~790	570~790	650~790	730~790

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~490	360~490	420~490	480~490
D25	310~490	380~490	450~490	*790
D29	340~490	420~490	*790	*790

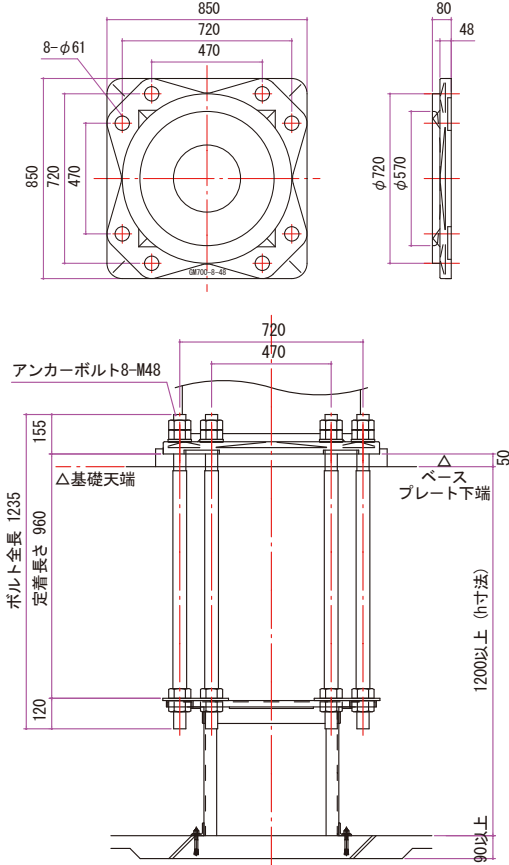


注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

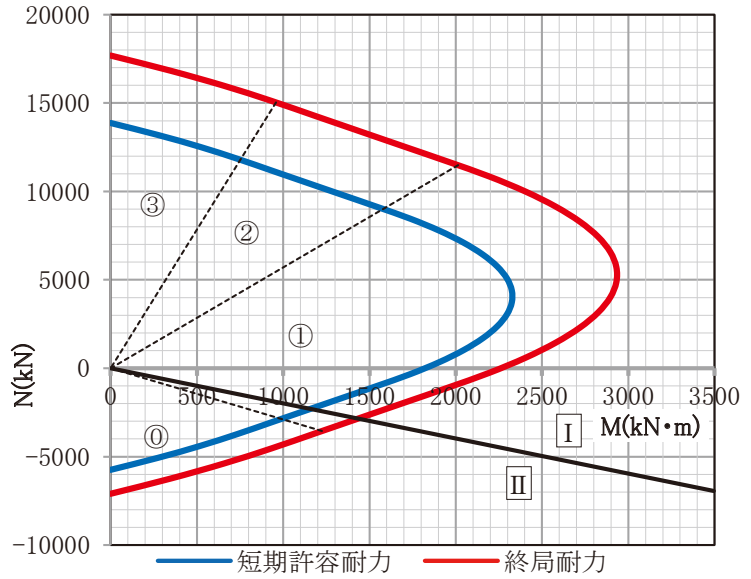
注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

適用柱	円形鋼管柱 φ700,φ711.2(最大板厚:40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M48
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	750

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1050	32-D25(SD345)	D16@100(SD295)	1050	40-D25(SD345)	D16@100(SD295)	720
<中柱用>	1050	28-D25(SD345)	D16@100(SD295)	1050	40-D25(SD345)	D16@100(SD295)	720

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

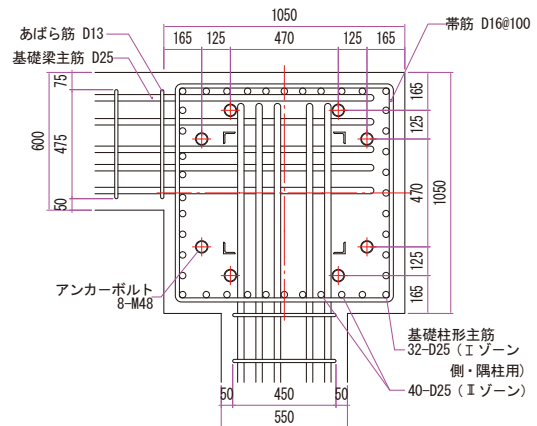
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	420~800	480~800	540~800	600~800
D25	420~800	490~800	560~800	630~800
D29	430~800	510~800	590~800	670~800

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~560	360~560	420~560	480~560
D25	310~560	380~560	450~560	520~560
D29	340~560	420~560	500~560	560

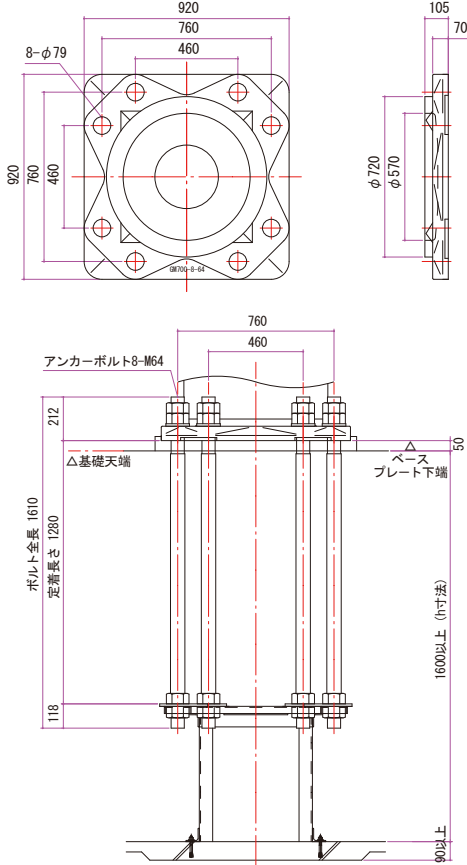


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

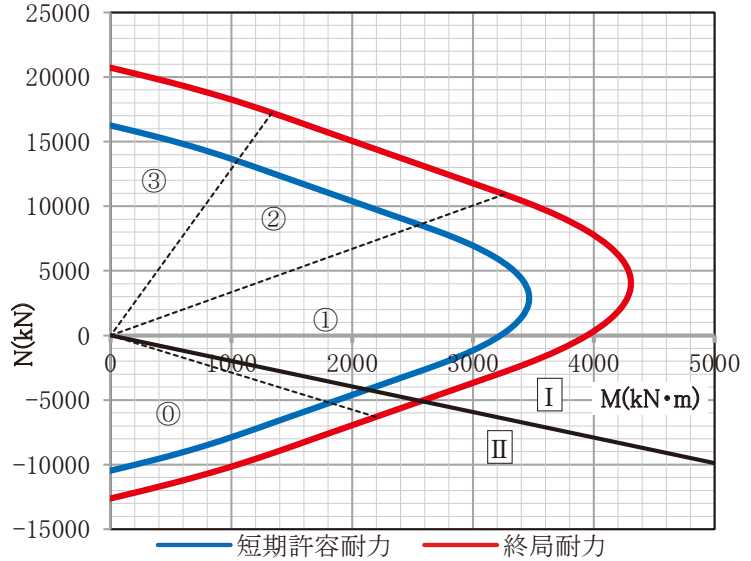
注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

適用柱	円形鋼管柱 φ700,φ711.2(最大板厚:40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M64
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	958

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1150	32-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1150	48-D29(SD390)	D16@80(SD295)	1120
<中柱用>	1150	28-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1150	48-D29(SD390)	D16@80(SD295)	1120

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

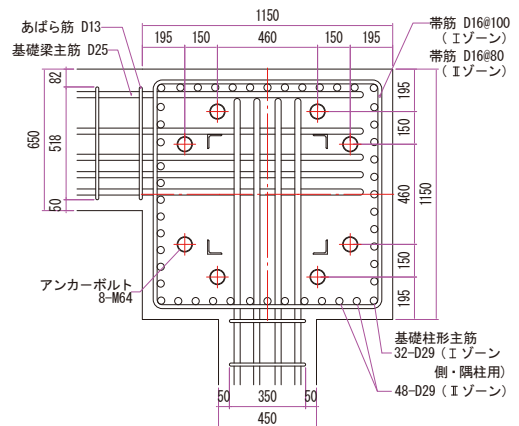
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	480~840	540~840	600~840	660~840
D25	490~840	560~840	630~840	700~840
D29	490~840	570~840	650~840	730~840

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~530	360~530	420~530	480~530
D25	310~530	380~530	450~530	520~530
D29	340~530	420~530	500~530	*830

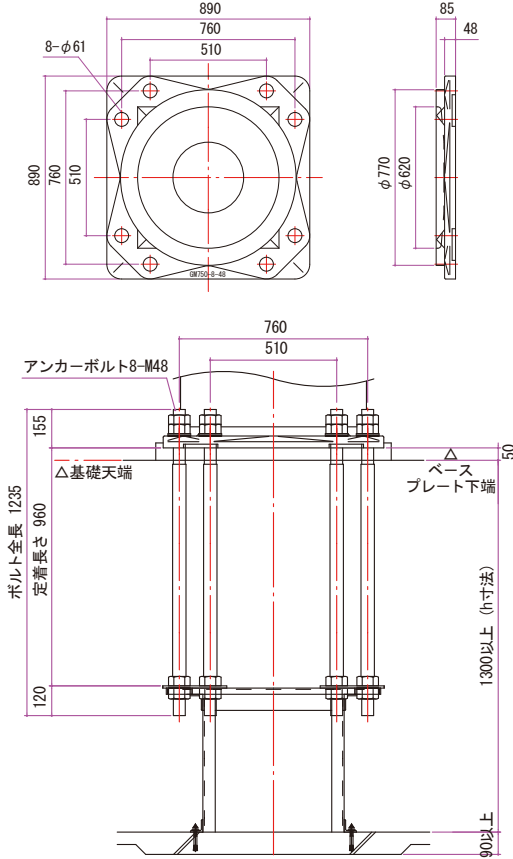


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

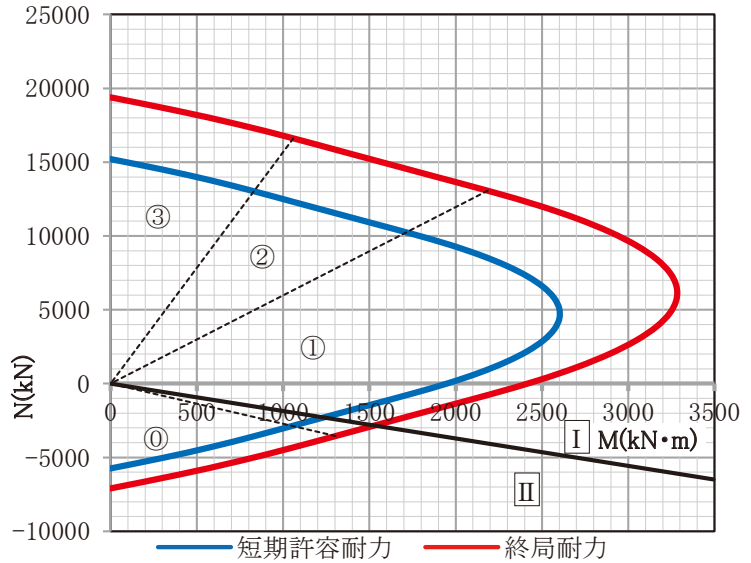
注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

適用柱	円形鋼管柱 φ750,φ762(最大板厚:40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M48
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	865

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1100	24-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1100	28-D29(SD390)	D16@100(SD295)	730
<中柱用>	1100	20-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1100	28-D29(SD390)	D16@100(SD295)	730

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

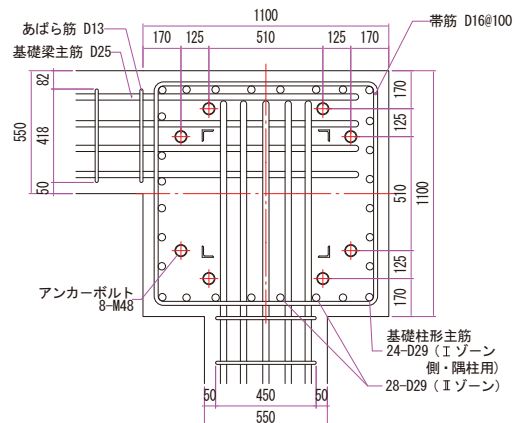
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	430~850	490~850	550~850	610~850
D25	430~850	500~850	570~850	640~850
D29	430~850	510~850	590~850	670~850

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

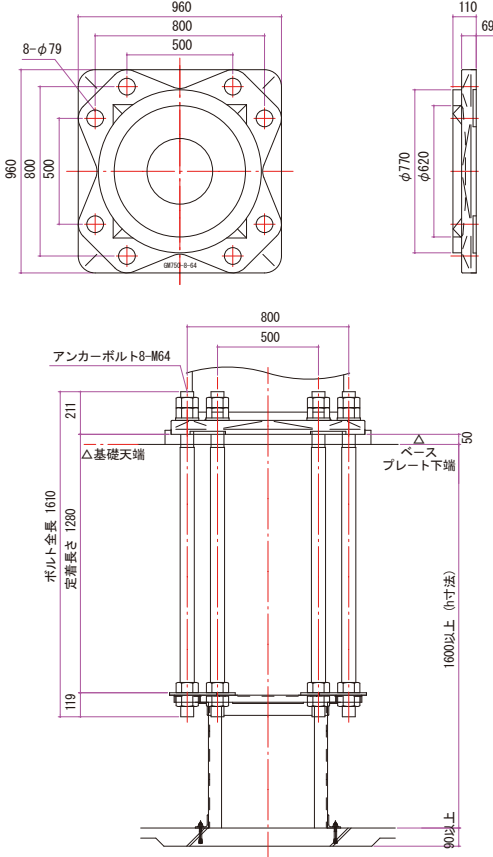
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~600	360~600	420~600	480~600
D25	310~600	380~600	450~600	520~600
D29	340~600	420~600	500~600	580~600



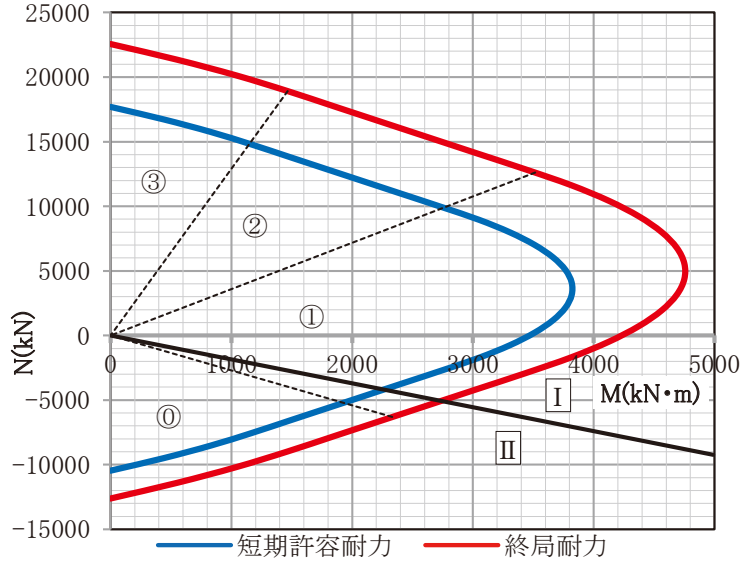
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

適用柱	円形鋼管柱 φ750,φ762(最大板厚:40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M64
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	1,100

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1200	32-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1200	48-D29(SD390)	D16@80(SD295)	1110
<中柱用>	1200	28-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1200	48-D29(SD390)	D16@80(SD295)	1110

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

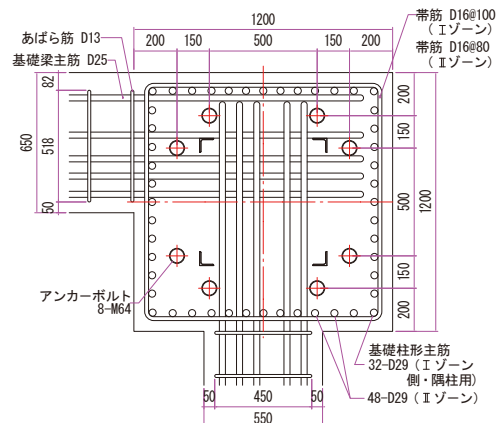
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	490~880	550~880	610~880	670~880
D25	490~880	560~880	630~880	700~880
D29	500~880	580~880	660~880	740~880

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

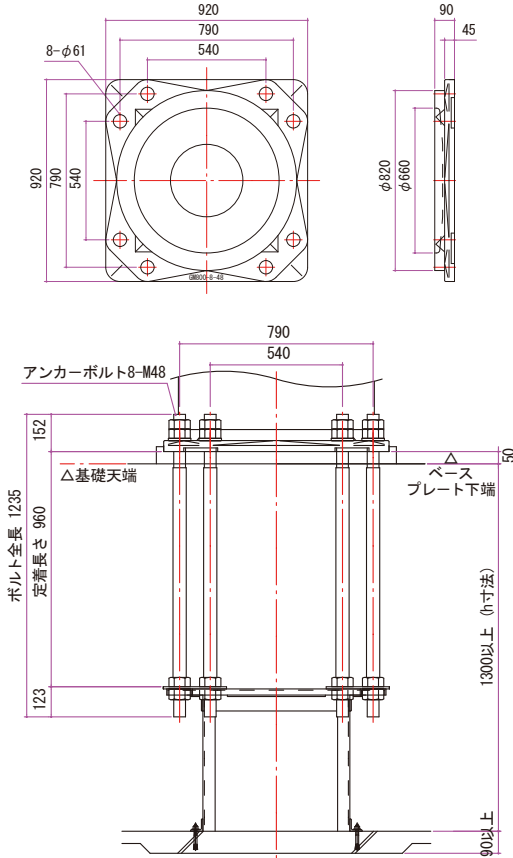
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~570	360~570	420~570	480~570
D25	310~570	380~570	450~570	520~570
D29	340~570	420~570	500~570	



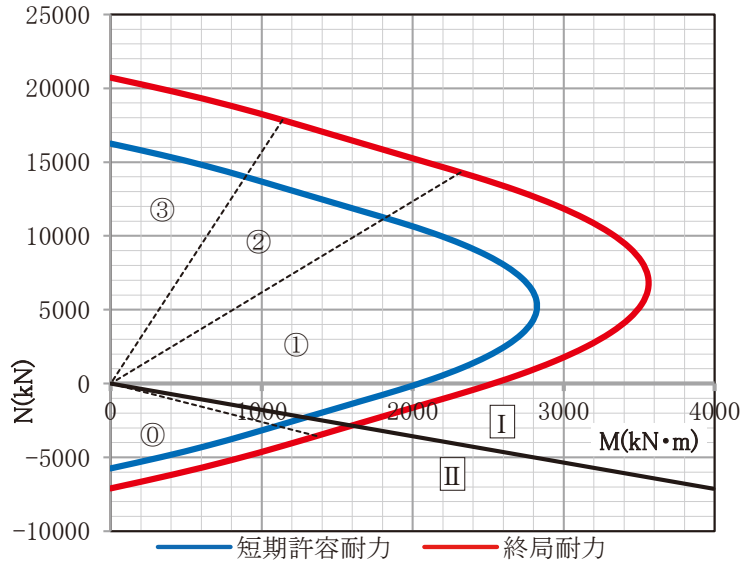
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

適用柱	円形鋼管柱 $\phi 800, \phi 812.8$ (最大板厚:40mm)
ベースプレート	G タイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト (本数-呼び)	8-M48
回転ばね定数 ($\times 10^3 \text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	961

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1150	24-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1150	28-D29(SD390)	D16@100(SD295)	720
<中柱用>	1150	20-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1150	28-D29(SD390)	D16@100(SD295)	720

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

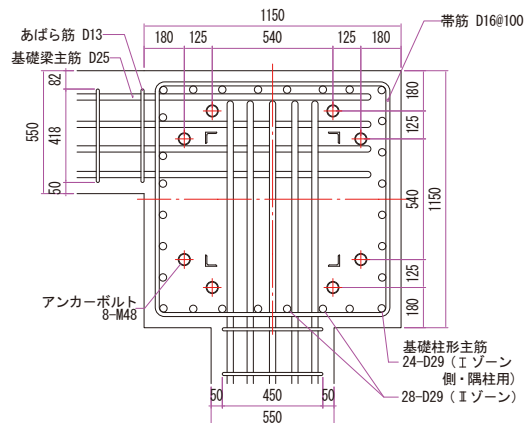
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	440~890	500~890	560~890	620~890
D25	440~890	510~890	580~890	650~890
D29	440~890	520~890	600~890	680~890

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

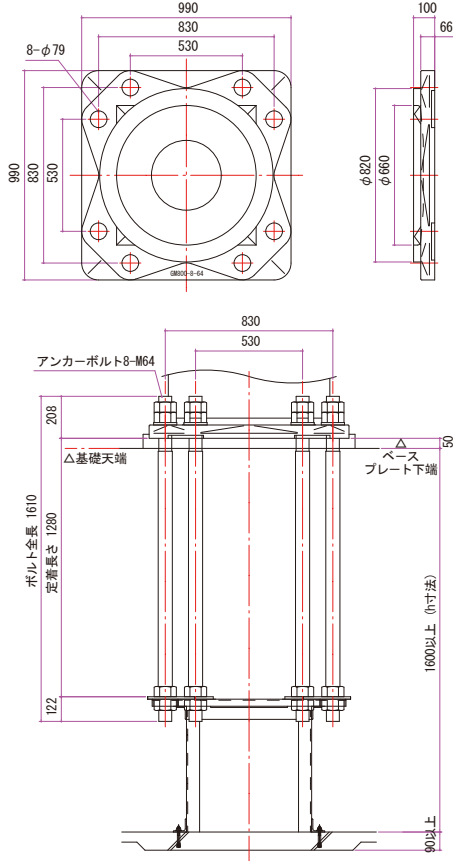
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~630	360~630	420~630	480~630
D25	310~630	380~630	450~630	520~630
D29	340~630	420~630	500~630	580~630



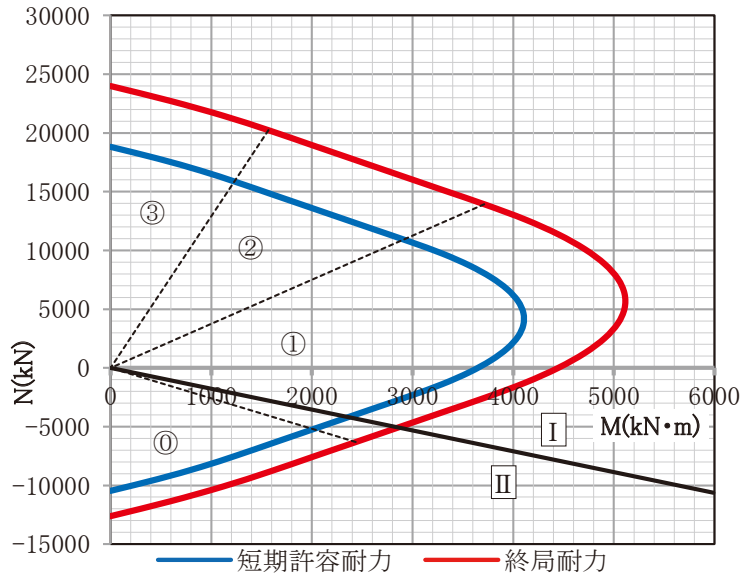
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

適用柱	円形鋼管柱 $\phi 800, \phi 812.8$ (最大板厚:40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M64
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	1,240

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の定着長さ(Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1200	32-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1200	48-D29(SD390)	D16@80(SD295)	1110
<中柱用>	1200	28-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1200	48-D29(SD390)	D16@80(SD295)	1110

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

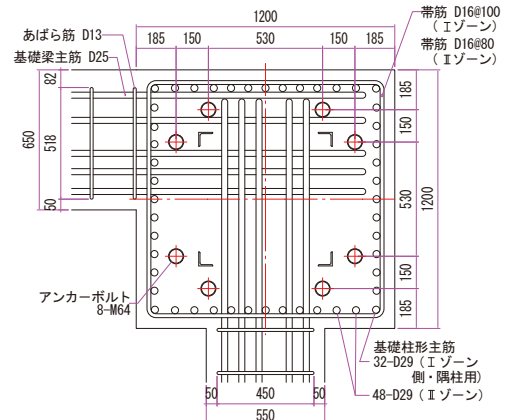
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	470~900	530~900	590~900	650~900
D25	480~900	550~900	620~900	690~900
D29	480~900	560~900	640~900	720~900

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

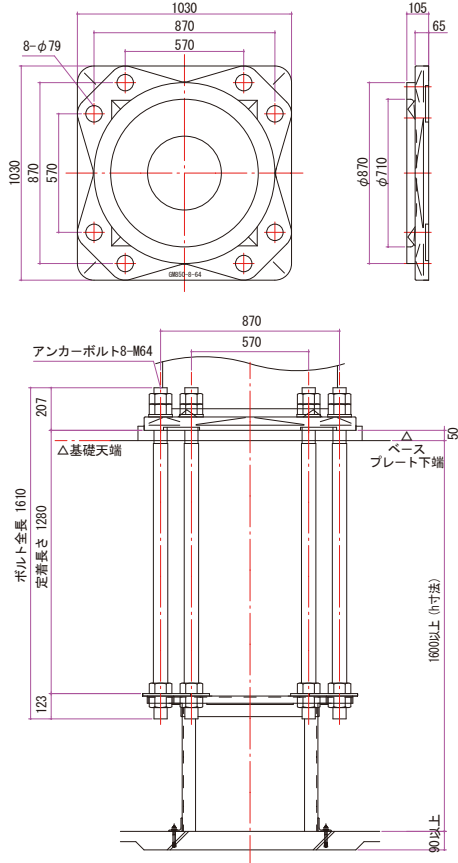
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~600	360~600	420~600	480~600
D25	310~600	380~600	450~600	520~600
D29	340~600	420~600	500~600	580~600



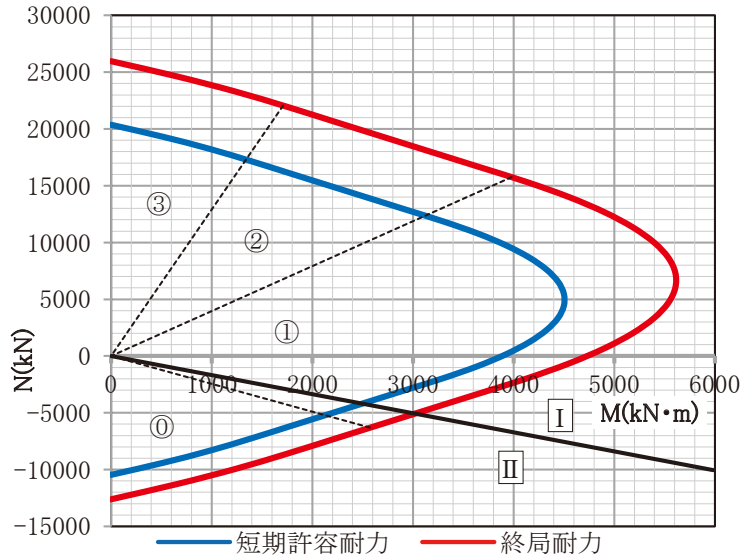
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

適用柱	円形鋼管柱 $\phi 850$ (最大板厚:40mm)
ベースプレート	G タイプ (鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト (本数-呼び)	8-M64
回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	1,410

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1250	32-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1300	48-D29(SD390)	D16@80(SD295)	1090
<中柱用>	1250	28-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1300	48-D29(SD390)	D16@80(SD295)	1090

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

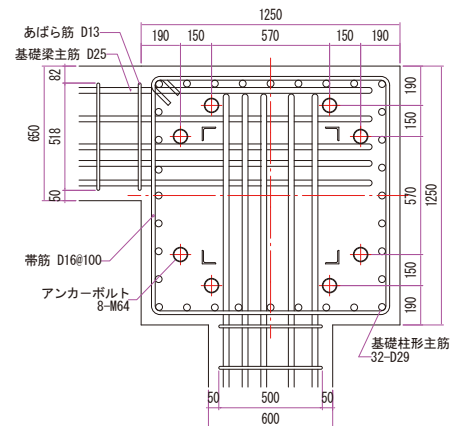
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	480~940	540~940	600~940	660~940
D25	480~940	550~940	620~940	690~940
D29	490~940	570~940	650~940	730~940

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

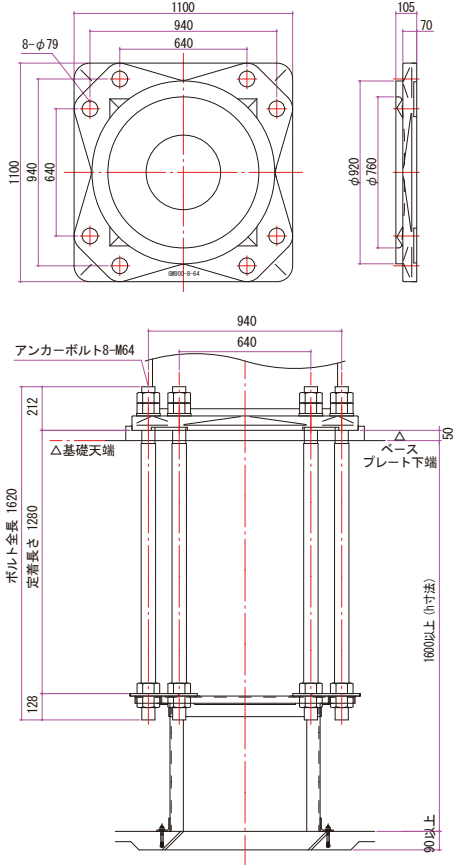
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~640	360~640	420~640	480~640
D25	310~640	380~640	450~640	520~640
D29	340~640	420~640	500~640	580~640



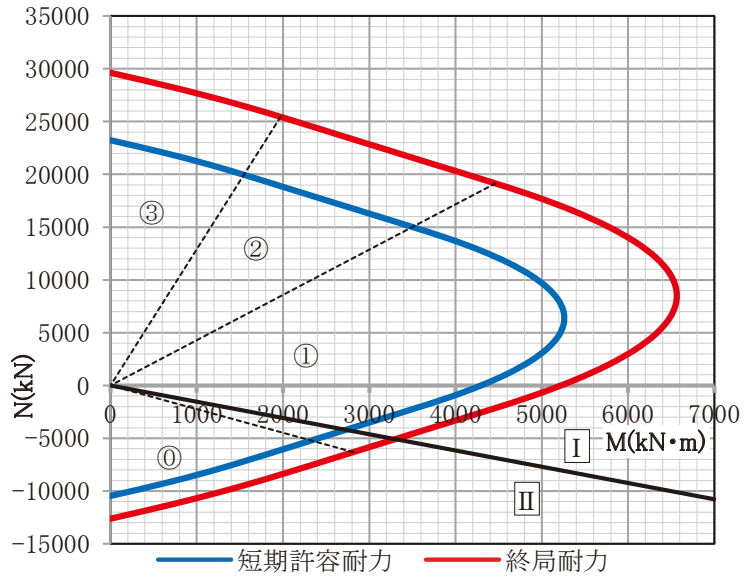
注1) 上記納まり例はIゾーンの場合です。

適用柱	円形鋼管柱 φ900,φ914.4(最大板厚:40mm)
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M64
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	1,660

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1350	36-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1350	48-D29(SD390)	D16@80(SD295)	1070
<中柱用>	1350	32-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1350	48-D29(SD390)	D16@80(SD295)	1070

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

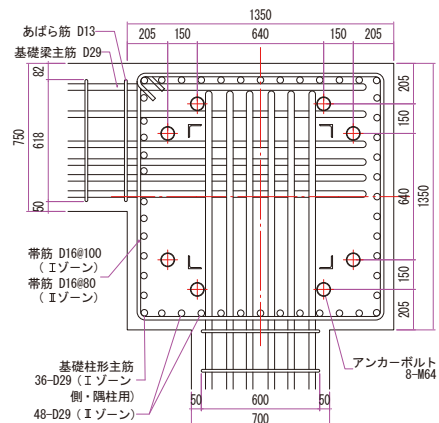
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	4	5	6	7
D22	550~1030	610~1030	670~1030	730~1030
D25	560~1030	630~1030	700~1030	770~1030
D29	580~1030	660~1030	740~1030	820~1030

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

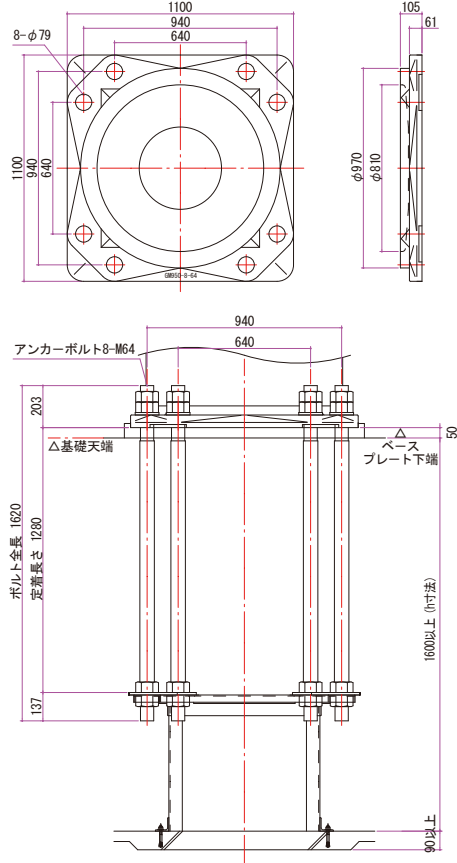
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~710	360~710	420~710	480~710
D25	310~710	380~710	450~710	520~710
D29	340~710	420~710	500~710	580~710



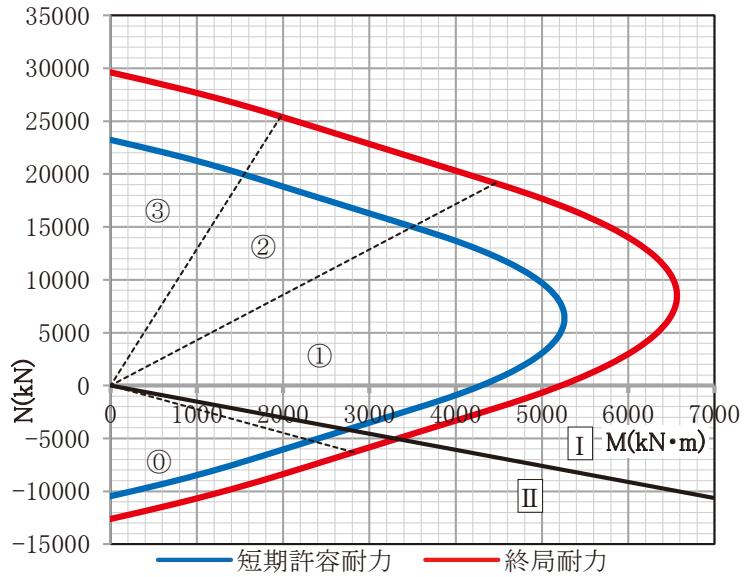
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

適用柱	円形鋼管柱 φ950 (最大板厚:40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M64
回転ばね定数($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	1,750

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1350	36-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1350	48-D29(SD390)	D16@80(SD295)	1070
<中柱用>	1350	32-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1350	48-D29(SD390)	D16@80(SD295)	1070

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

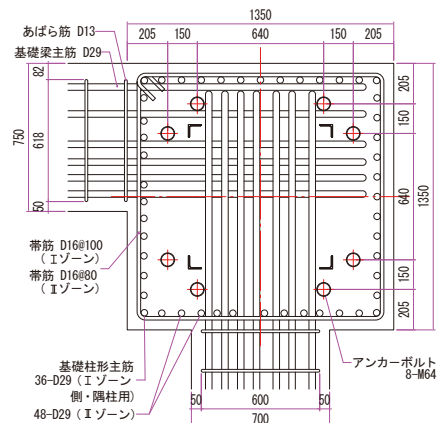
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	4	5	6	7
D22	550~1030	610~1030	670~1030	730~1030
D25	560~1030	630~1030	700~1030	770~1030
D29	580~1030	660~1030	740~1030	820~1030

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

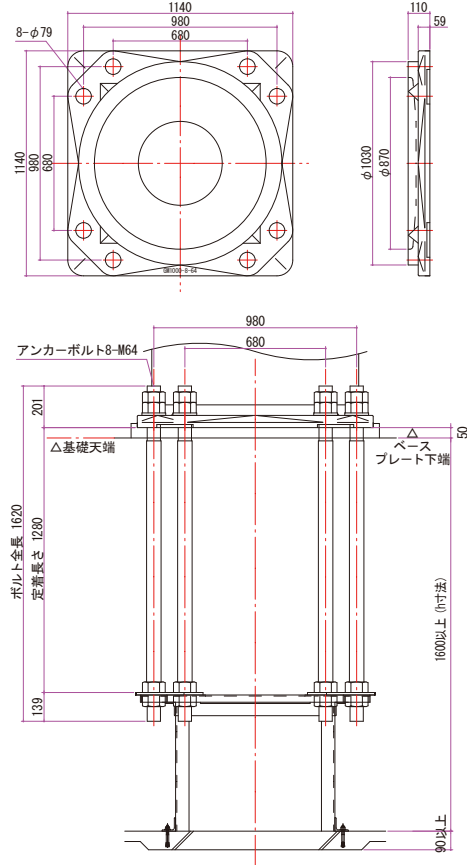
基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	4	5	6	7
D22	360~710	420~710	480~710	540~710
D25	380~710	450~710	520~710	590~710
D29	420~710	500~710	580~710	660~710



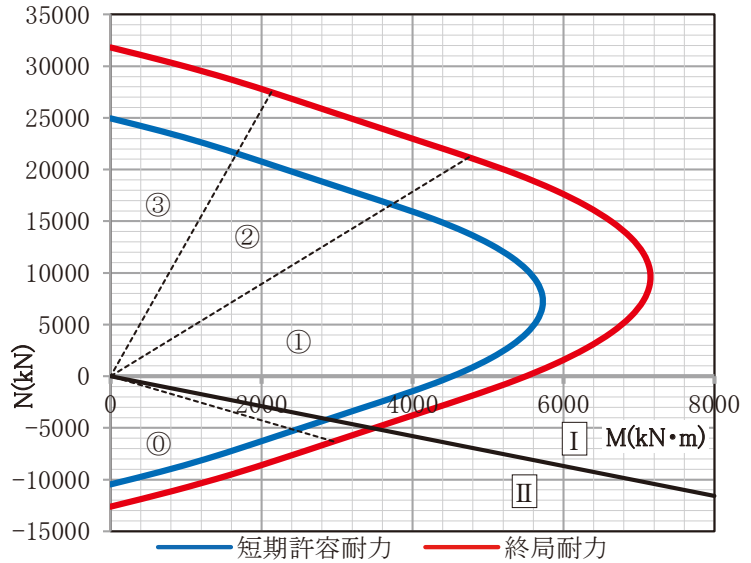
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

適用柱	円形鋼管柱 φ1000,φ1016(最大板厚:40mm)
ベースプレート	G タイプ(鋳鋼製ベースプレート)
アンカーボルト(本数-呼び)	8-M64
回転ばね定数($\times 10^3 kN \cdot m/rad$)	1,970

柱脚詳細図



耐力図



円形鋼管柱用(Gタイプ)

基礎柱形設計例

	Iゾーン			IIゾーン			鉄筋の 定着長さ (Lt)
	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	柱形	基礎柱形主筋	帯筋	
<側・隅柱用>	1400	36-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1400	48-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1120
<中柱用>	1400	32-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1400	48-D29(SD390)	D16@100(SD295)	1120

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

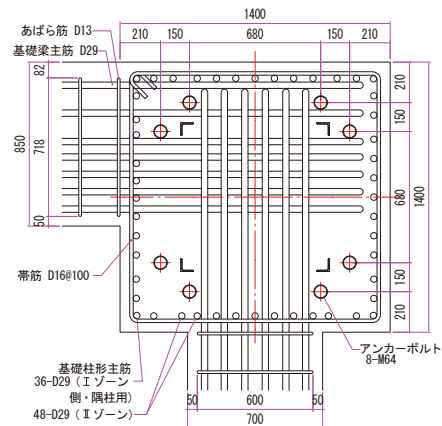
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	4	5	6	7
D22	560~1070	620~1070	680~1070	740~1070
D25	570~1070	640~1070	710~1070	780~1070
D29	580~1070	660~1070	740~1070	820~1070

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	5	6	7	8
D22	420~750	480~750	540~750	600~750
D25	450~750	520~750	590~750	660~750
D29	500~750	580~750	660~750	740~750

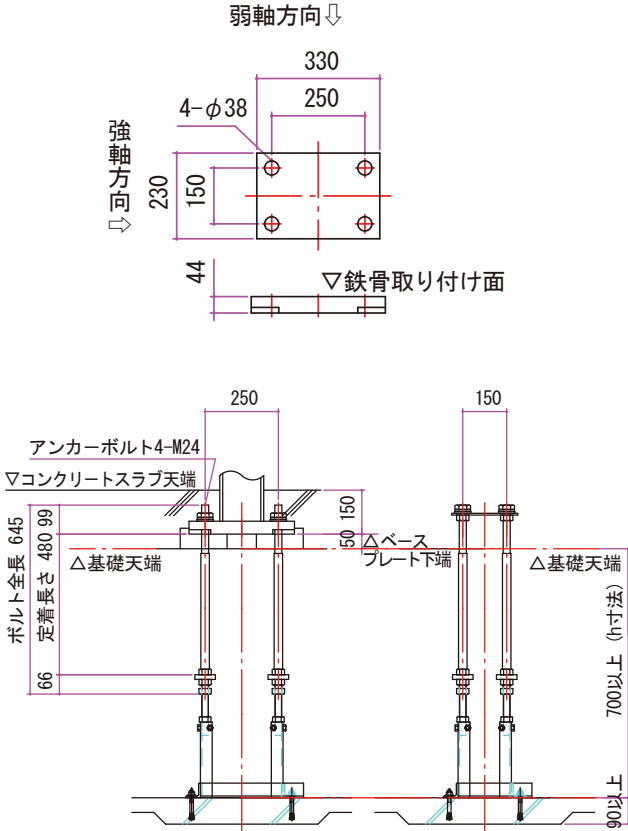


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

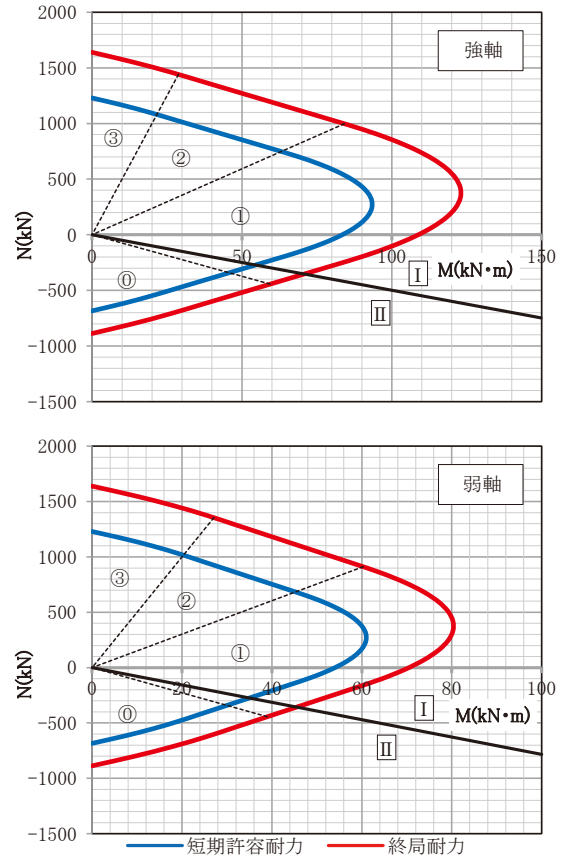
適用柱*1	H形柱 H150×150 シリーズ		
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)		
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M24		
強軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	14.0	弱軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	6.0

*適用柱については、P.25～P.28のH柱柱用適用可能柱サイズ(表3.7～表3.8)をご参照ください。

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	柱形サイズ (a×b)	基礎柱形主筋(長辺×短辺)		帯筋	鉄筋の 定着長さ (L _t)
		Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		
<側・隅柱用>	550×450	D16(3×3,SD295)	D16(5×4,SD295)	D13@150(SD295)	220
<中柱用>		D16(3×3,SD295)	D16(5×4,SD295)		

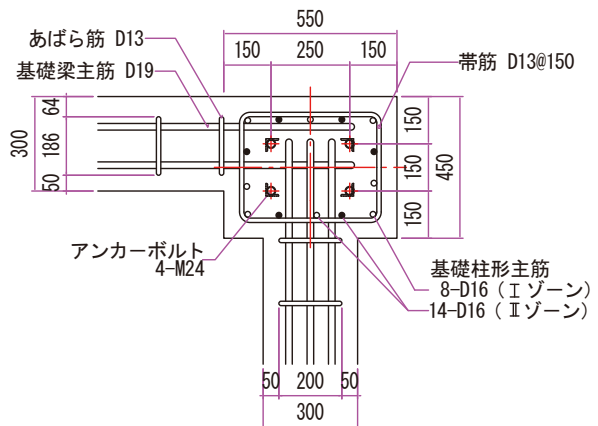
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数				単位(mm)
	2	3	4	5	
D16	270~340	320~340			
D19	270~340	320~340			
D22	280~340	340			

柱形中心基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数				単位(mm)
	2	3	4	5	
D16	270~340	280~340	320~340		
D19	270~340	290~340	330~340		
D22	270~340	300~340	350~340		

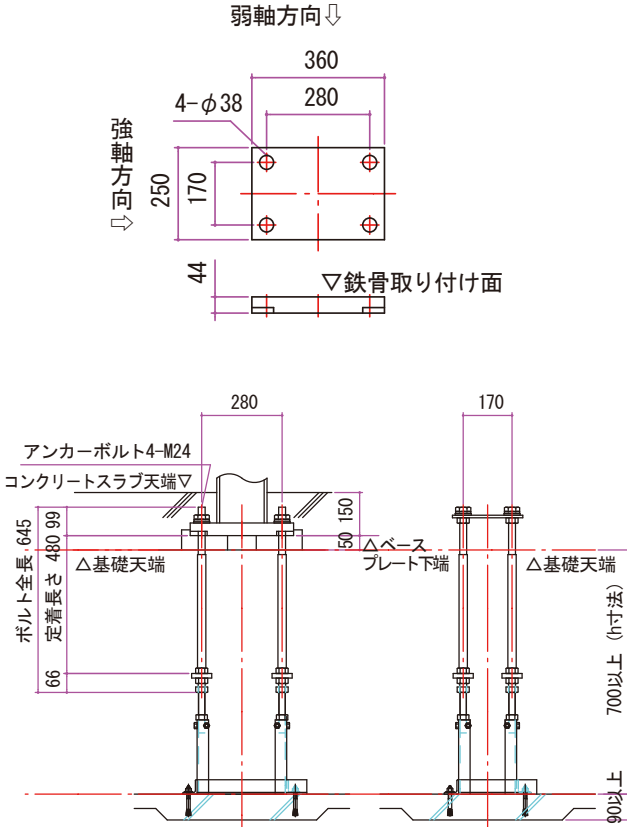


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

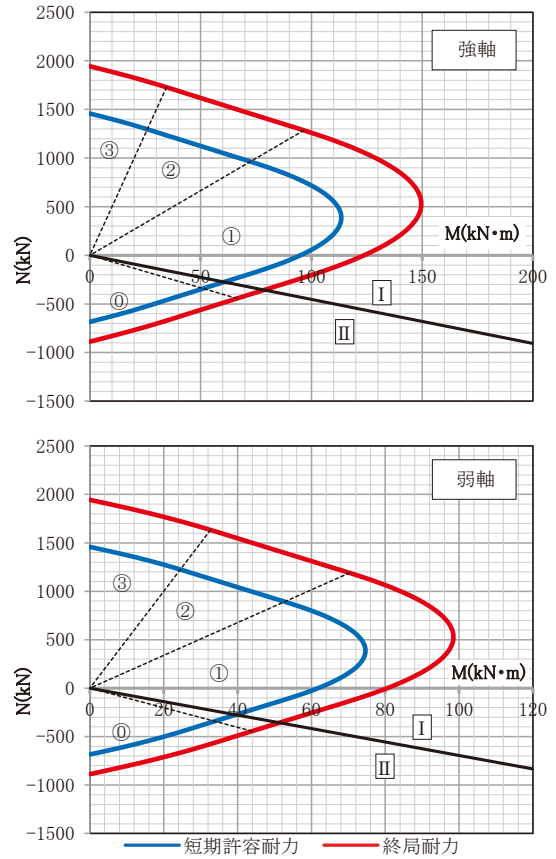
適用柱*1	H形柱 H175×175 シリーズ		
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)		
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M24		
強軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	18.0	弱軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	7.9

*適用柱については、P.25~P.28のH柱柱用適用可能柱サイズ(表3.7~表3.8)をご参照ください。

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	柱形サイズ (a×b)	基礎柱形主筋(長辺×短辺)		帯筋	鉄筋の 定着長さ (L _t)
		Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		
<側・隅柱用>	600×500	D16(3×3,SD295)	D16(5×4,SD295)	D13@150(SD295)	220
<中柱用>		D16(3×3,SD295)	D16(5×4,SD295)		

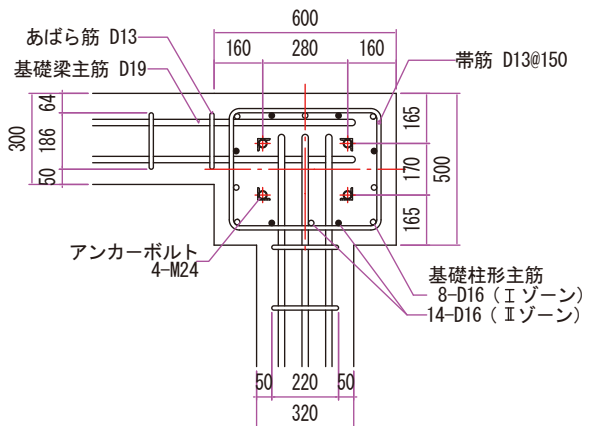
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数				単位(mm)
	2	3	4	5	
D16	290~380	340~380			
D19	290~380	340~380			
D22	290~380	350~380			

柱形中心基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数				単位(mm)
	2	3	4	5	
D16	270~370	320~370	370		
D19	270~370	320~370	370		
D22	270~370	330~370	370		



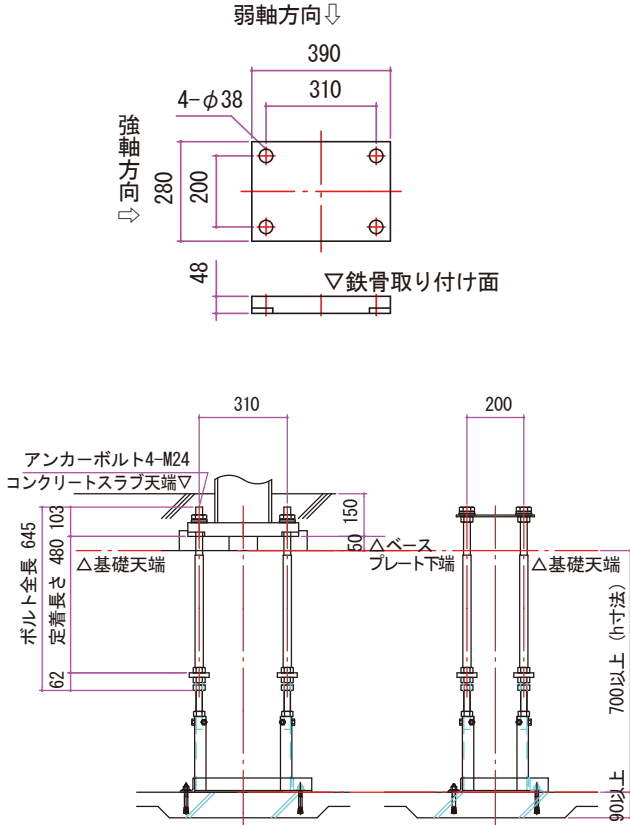
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

H形柱用(エコタイプ)

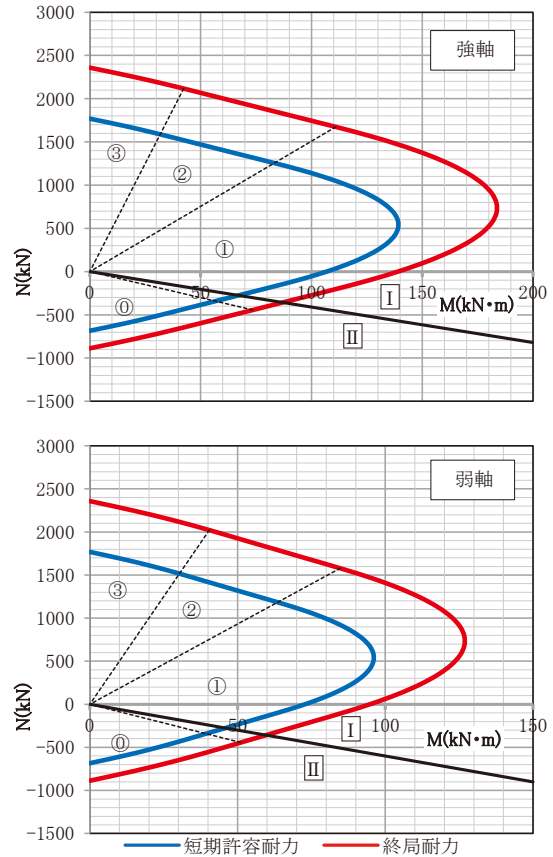
適用柱*1	H形柱 H200×150 シリーズ, H200×200 シリーズ		
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)		
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M24		
強軸 回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	22.7	弱軸 回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	11.1

*適用柱については、P.25~P.28のH柱柱用適用可能柱サイズ(表3.7~表3.8)をご参照ください。

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	柱形サイズ (a×b)	基礎柱形主筋(長辺×短辺)		帯筋	鉄筋の 定着長さ (L_t)
		Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		
<側・隅柱用>	600×500	D16(3×3,SD295)	D16(5×4,SD295)	D13@150(SD295)	220
<中柱用>		D16(3×3,SD295)	D16(5×4,SD295)		

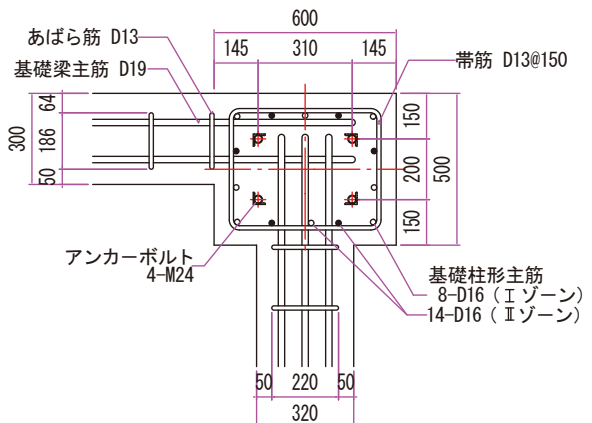
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数				単位(mm)
	2	3	4	5	
D16	270~390	320~390	370~390		
D19	270~390	320~390	370~390		
D22	280~390	340~390	380~390		

柱形中心基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数				単位(mm)
	2	3	4	5	
D16	270~400	320~400	370~400	400	
D19	270~400	320~400	370~400	400	
D22	270~400	330~400	390~400		



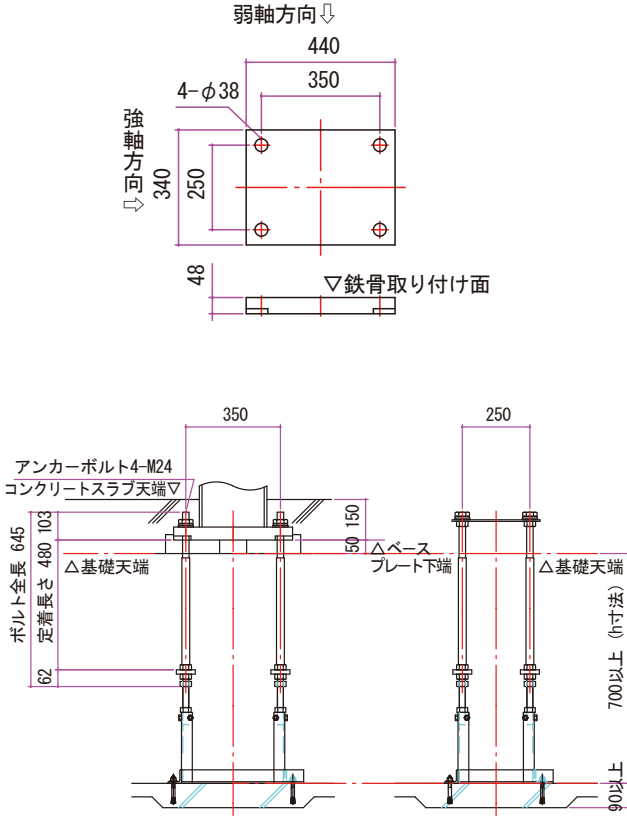
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

H形柱用(エコタイプ)

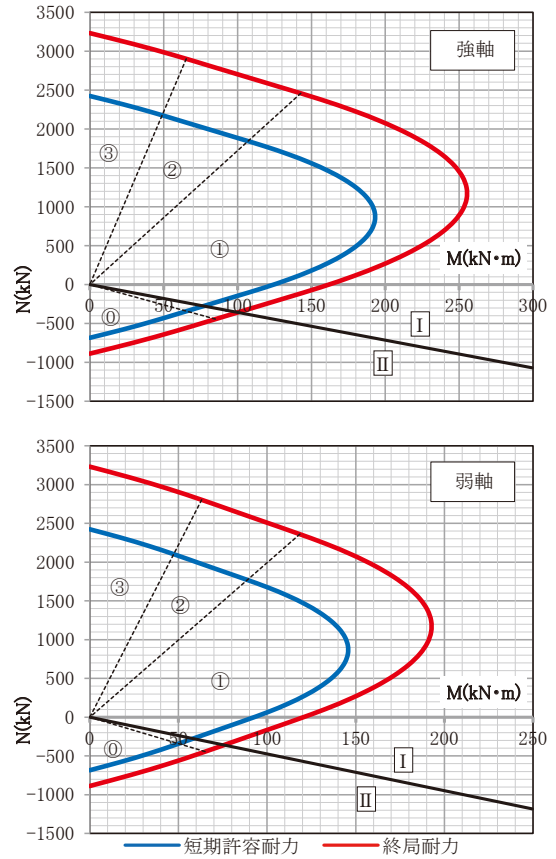
適用柱*1	H形柱 H250×175 シリーズ, H250×250 シリーズ		
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)		
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M24		
強軸 回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	31.0	弱軸 回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	18.0

*適用柱については、P.25~P.28のH柱柱用適用可能柱サイズ(表3.7~表3.8)をご参照ください。

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	柱形サイズ (a×b)	基礎柱形主筋(長辺×短辺)		帯筋	鉄筋の 定着長さ (L_t)
		Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		
<側・隅柱用>	650×550	D16(3×3,SD295)	D16(5×4,SD295)	D13@150(SD295)	210
<中柱用>		D16(3×3,SD295)	D16(5×4,SD295)		

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

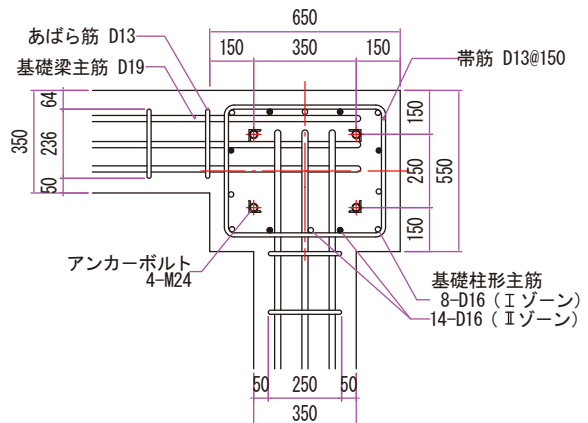
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	270~440	320~440	370~440	420~440
D19	270~440	320~440	370~440	420~440
D22	280~440	340~440	400~440	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	270~440	320~440	370~440	420~440
D19	270~440	320~440	370~440	420~440
D22	270~440	330~440	390~440	



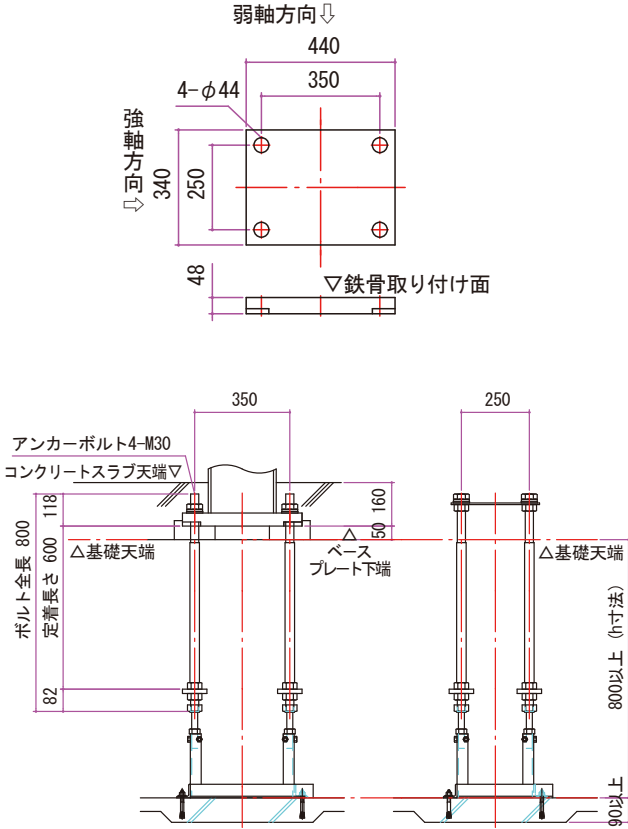
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

H形柱用(エコタイプ)

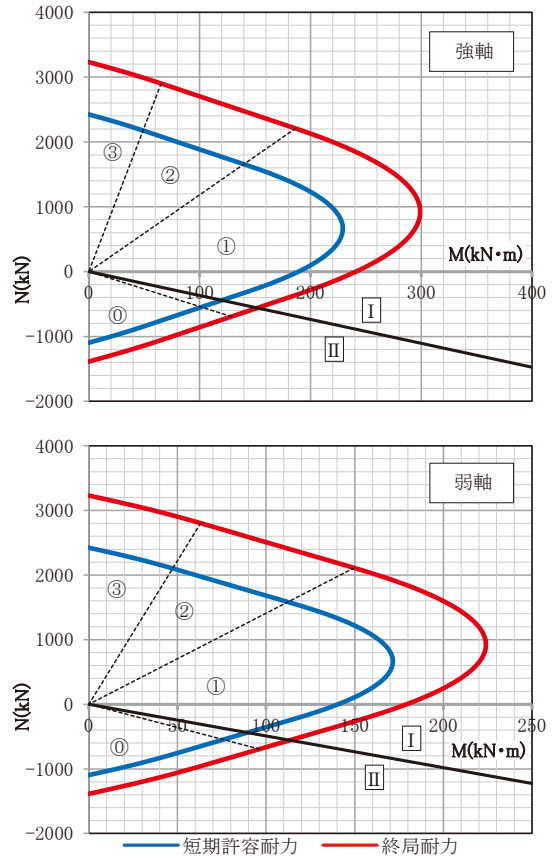
適用柱*1	H形柱 H250 × 175 シリーズ, H250 × 250 シリーズ		
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)		
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M30		
強軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	36.7	弱軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	20.3

*適用柱については、P.25~P.28のH柱柱用適用可能柱サイズ(表3.7~表3.8)をご参照ください。

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	柱形サイズ (a×b)	基礎柱形主筋(長辺×短辺)		帯筋	鉄筋の 定着長さ (L_t)
		Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		
<側・隅柱用>	650×550	D19(3×3,SD345)	D19(5×4,SD345)	D13@150(SD295)	310
<中柱用>		D19(3×3,SD345)	D19(5×4,SD345)		

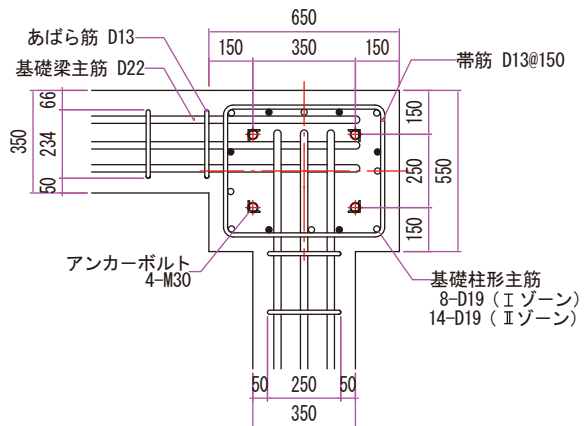
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~440	320~440	370~440	420~440
D22	280~440	340~440	400~440	
D25	280~440	350~440	420~440	

柱形中心基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~440	320~440	370~440	420~440
D22	270~440	330~440	390~440	
D25	270~440	340~440	410~440	



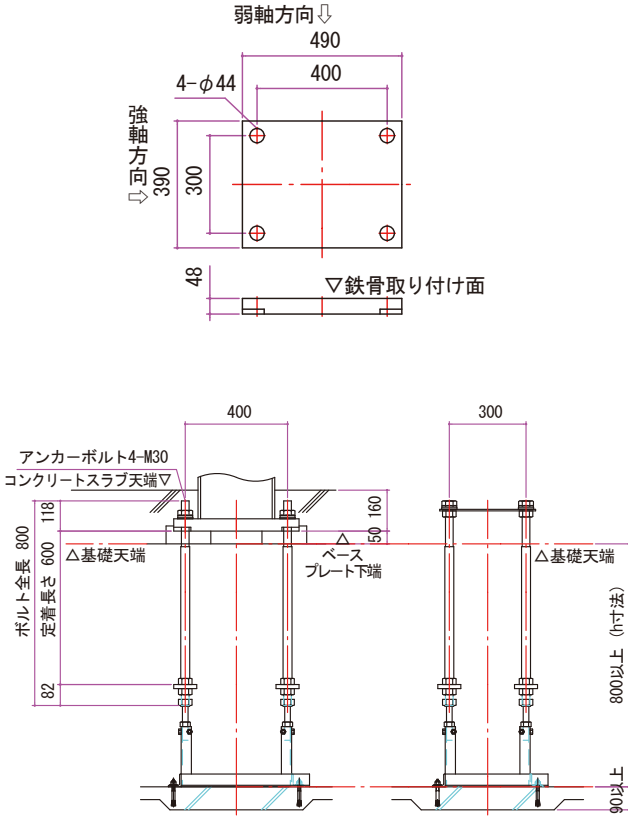
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

H形柱用(エコタイプ)

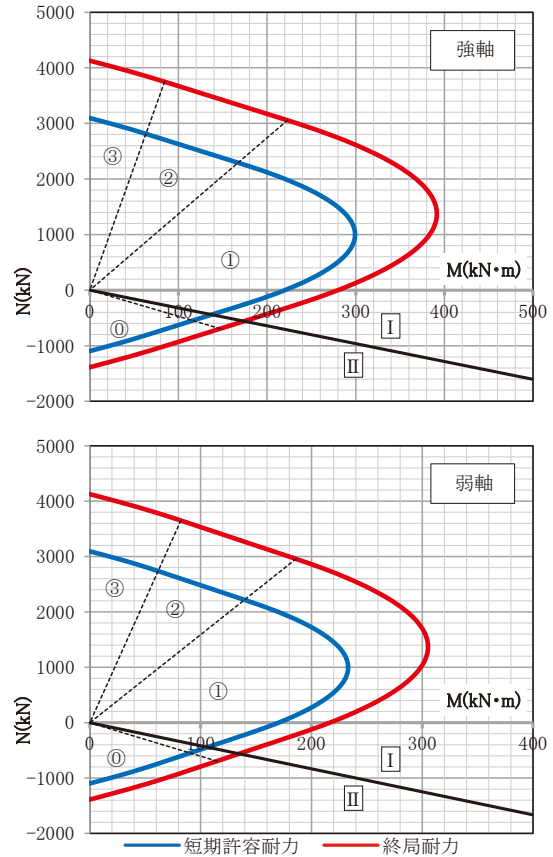
適用柱*1	H形柱 H300×200 シリーズ, H300×300 シリーズ		
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)		
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M30		
強軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	49.6	弱軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	30.0

*適用柱については、P.25～P.28のH柱柱用適用可能柱サイズ(表3.7～表3.8)をご参照ください。

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	柱形サイズ (a×b)	基礎柱形主筋(長辺×短辺)		帯筋	鉄筋の 定着長さ (L _t)
		Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		
<側・隅柱用>	700×600	D19(3×3,SD345)	D19(5×4,SD345)	D13@150(SD295)	300
<中柱用>		D19(3×3,SD345)	D19(5×4,SD345)		

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

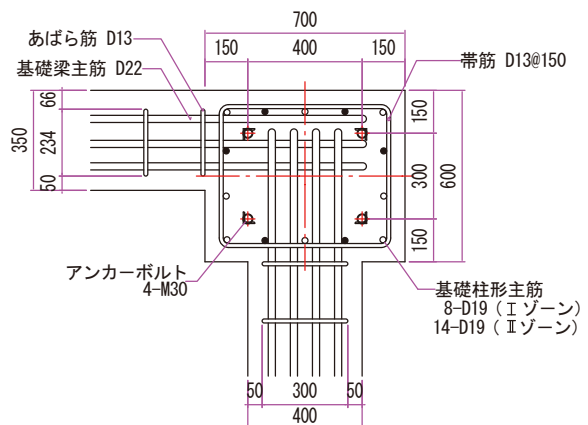
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270～500	320～500	370～500	420～500
D22	280～500	340～500	400～500	460～500
D25	280～500	350～500	420～500	490～500

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270～500	320～500	370～500	420～500
D22	270～500	330～500	390～500	450～500
D25	270～500	340～500	410～500	480～500



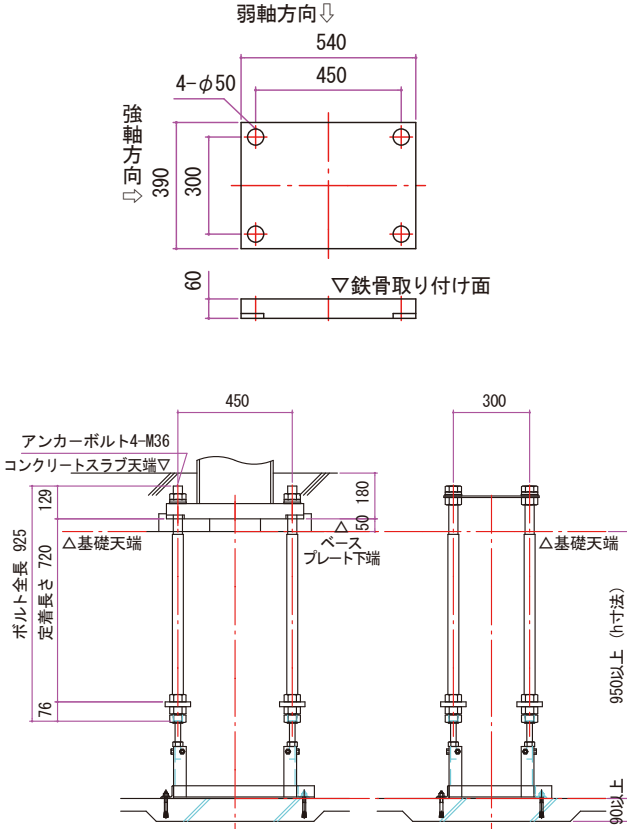
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

H形柱用(エコタイプ)

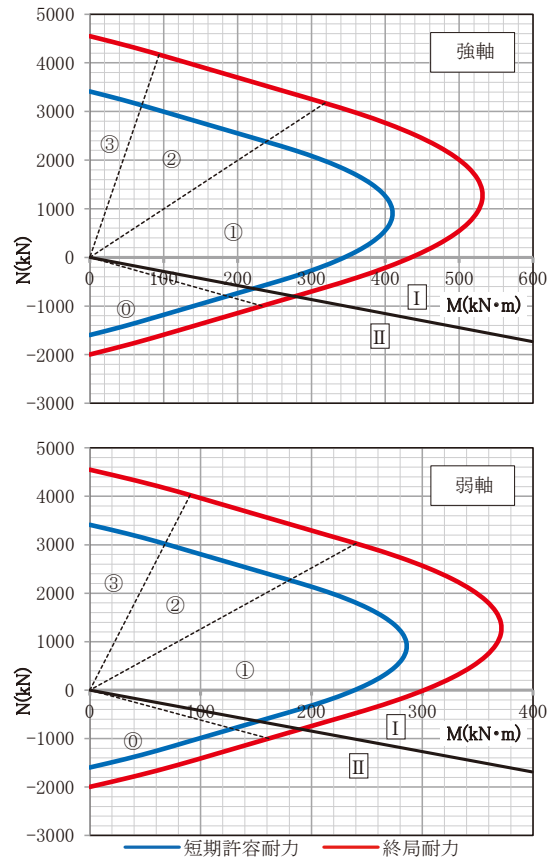
適用柱*1	H形柱 H300×200 シリーズ, H300×300 シリーズ				
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)				
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M36				
強軸	回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	69.2	弱軸	回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	35.6

*適用柱については、P.25～P.28のH柱柱用適用可能柱サイズ(表3.7～表3.8)をご参照ください。

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	柱形サイズ (a×b)	基礎柱形主筋(長辺×短辺)		帯筋	鉄筋の 定着長さ (L_t)
		Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		
<側・隅柱用>	750×600	D22(4×3,SD345)	D22(5×4,SD345)	D13@150(SD295)	410
<中柱用>		D22(3×3,SD345)	D22(5×4,SD345)		

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

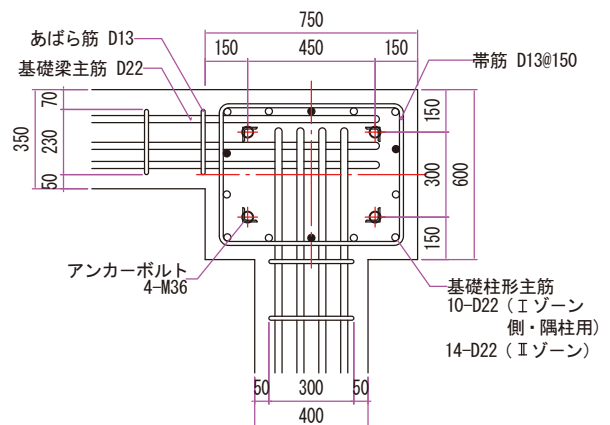
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	280～490	320～490	370～490	420～490
D22	290～490	350～490	410～490	470～490
D25	290～490	360～490	430～490	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270～530	320～530	370～530	420～530
D22	270～530	330～530	390～530	450～530
D25	270～530	340～530	410～530	480～530

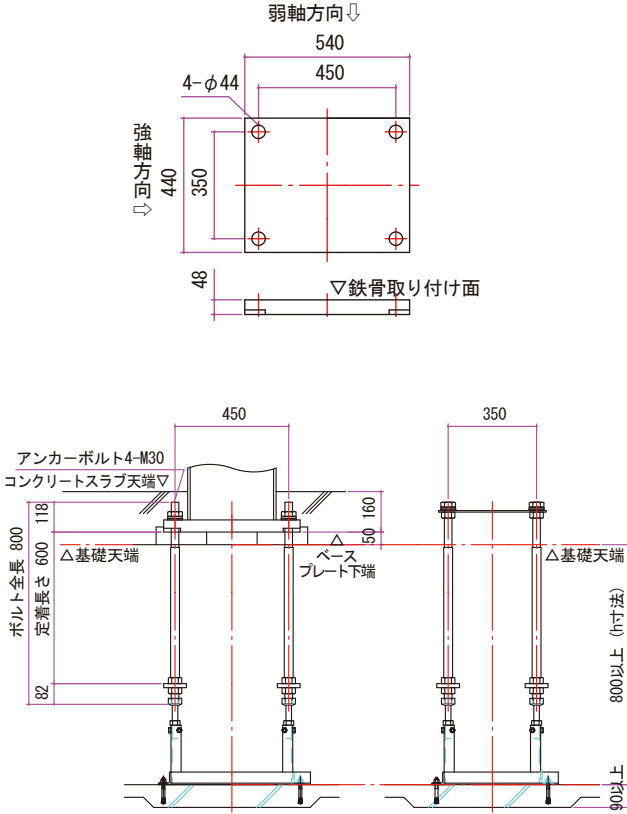


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

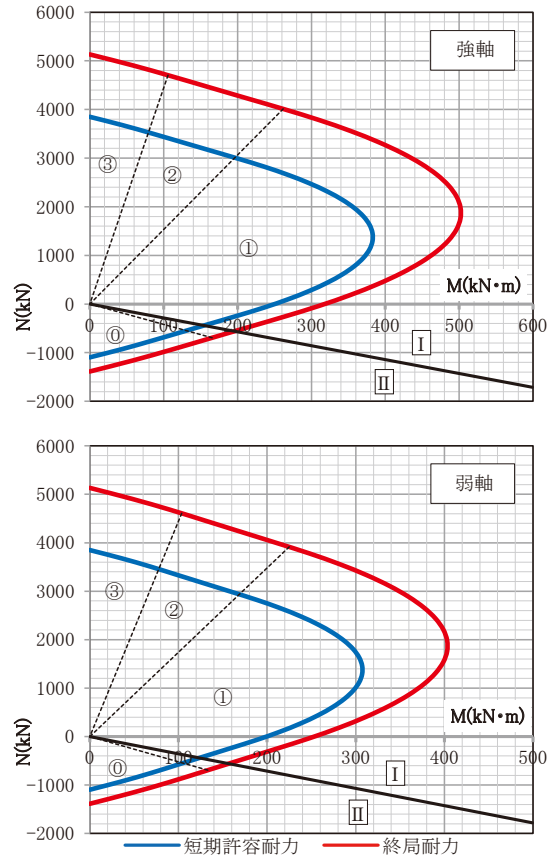
適用柱*1	H形柱 H350×250 シリーズ, H350×350 シリーズ		
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)		
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M30		
強軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	59.2	弱軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	39.1

*適用柱については、P.25~P.28のH柱柱用適用可能柱サイズ(表3.7~表3.8)をご参照ください。

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	柱形サイズ (a×b)	基礎柱形主筋(長辺×短辺)		帯筋	鉄筋の 定着長さ (L_t)
		Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		
<側・隅柱用>	750×650	D19(3×3,SD345)	D19(5×4,SD345)	D13@150(SD295)	290
<中柱用>		D19(3×3,SD345)	D19(5×4,SD345)		

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

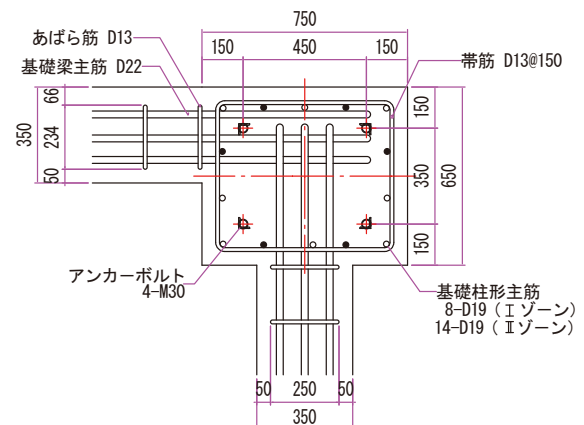
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~550	320~550	370~550	420~550
D22	280~550	340~550	400~550	460~550
D25	280~550	350~550	420~550	490~550

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~550	320~550	370~550	420~550
D22	270~550	330~550	390~550	450~550
D25	270~550	340~550	410~550	480~550



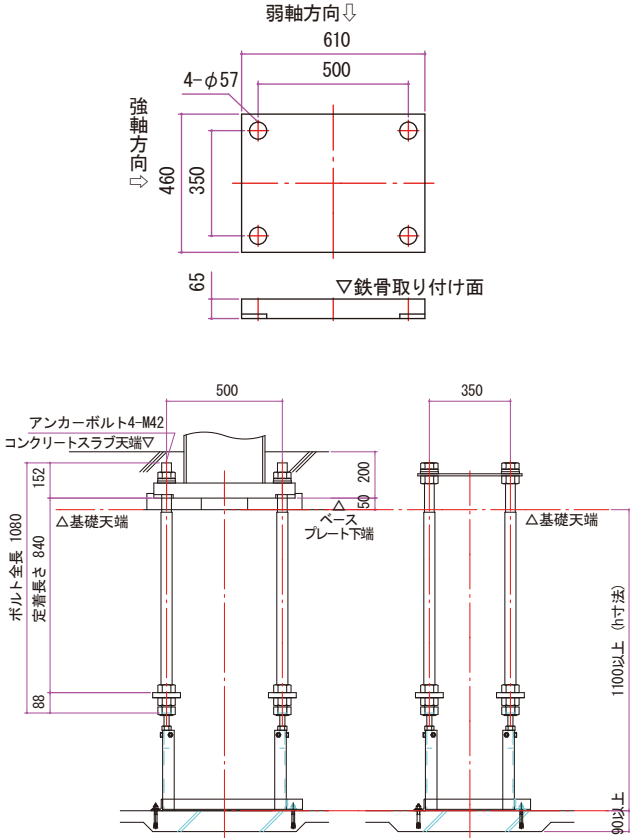
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

H形柱用(エコタイプ)

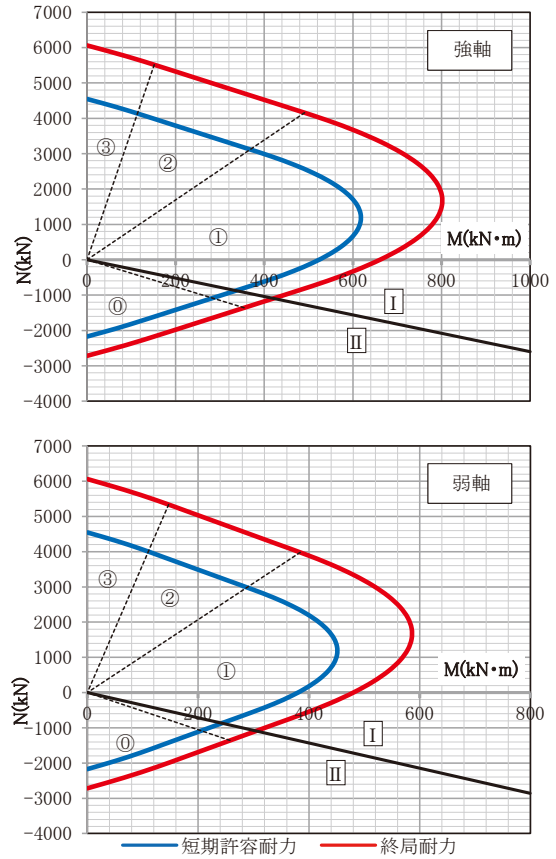
適用柱*1	H形柱 H350×250 シリーズ, H350×350 シリーズ		
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)		
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M42		
強軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	93.7	弱軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	52.6

*適用柱については、P.25~P.28のH柱柱用適用可能柱サイズ(表3.7~表3.8)をご参照ください。

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	柱形サイズ (a×b)	基礎柱形主筋(長辺×短辺)		帯筋	鉄筋の 定着長さ (L _t)
		Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		
<側・隅柱用>	850×700	D25(4×3,SD345)	D25(5×5,SD345)	D13@100(SD295)	430
<中柱用>		D25(3×3,SD345)	D25(5×5,SD345)		

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

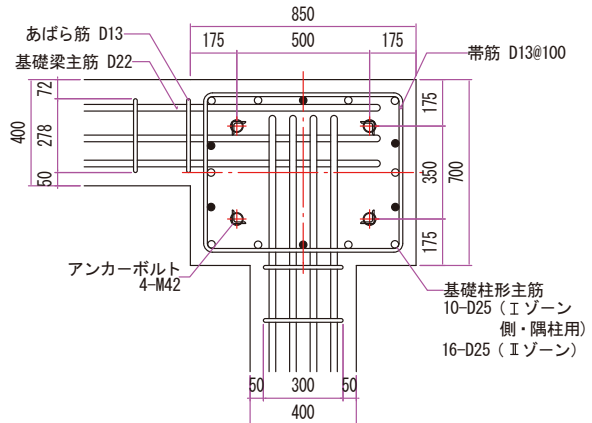
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	310~560	360~560	410~560	460~560
D22	310~560	370~560	430~560	490~560
D25	310~560	380~560	450~560	520~560

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	270~570	320~570	370~570	420~570
D22	270~570	330~570	380~570	430~570
D25	270~570	340~570	410~570	480~570

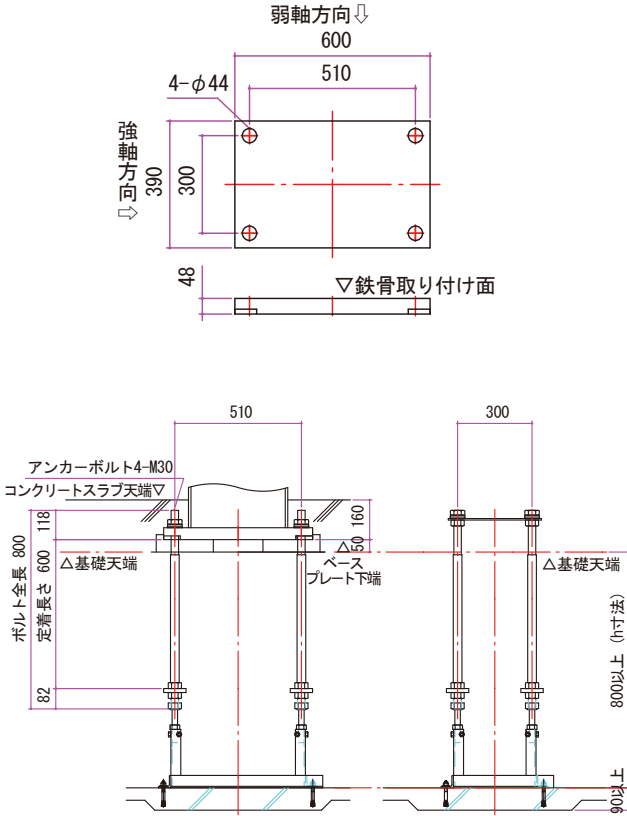


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

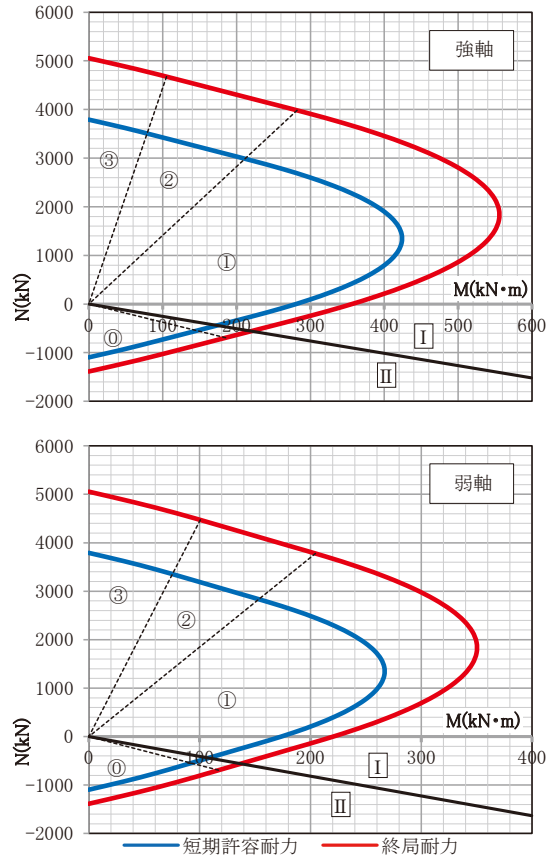
適用柱*1	H形柱 H400×200 シリーズ, H400×300 シリーズ		
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)		
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M30		
強軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	74.3	弱軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	30.1

*適用柱については、P.25~P.28のH柱柱用適用可能柱サイズ(表3.7~表3.8)をご参照ください。

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	柱形サイズ (a×b)	基礎柱形主筋(長辺×短辺)		帯筋	鉄筋の 定着長さ (L_t)
		Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		
<側・隅柱用>	800×650	D19(3×3,SD345)	D19(5×4,SD345)	D13@100(SD295)	260
<中柱用>		D19(3×3,SD345)	D19(5×4,SD345)		

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

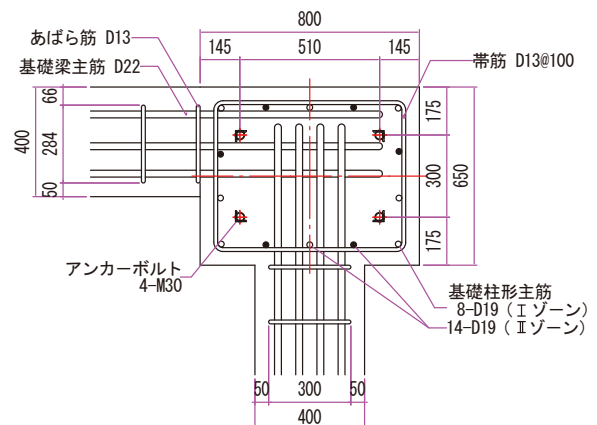
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	300~520	350~520	400~520	450~520
D22	360~520	420~520	480~520	
D25	370~520	440~520	510~520	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	290~600	340~600	390~600	440~600
D22	300~600	360~600	420~600	480~600
D25	310~600	380~600	450~600	520~600



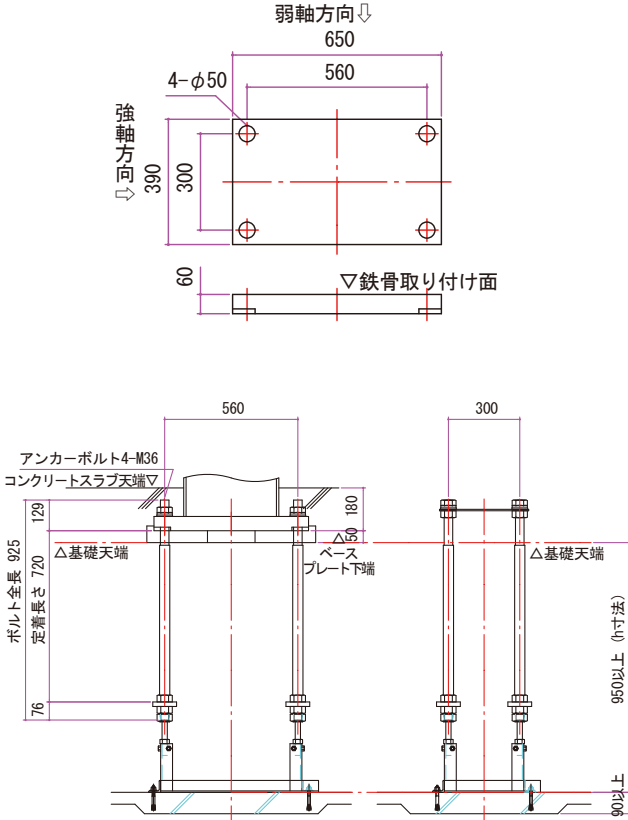
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

H形柱用(エコタイプ)

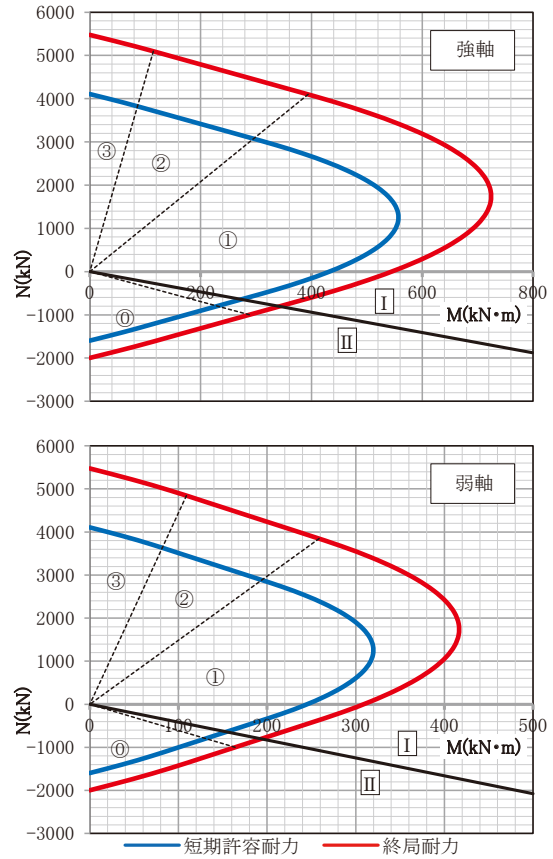
適用柱*1	H形柱 H400×200 シリーズ, H400×300 シリーズ		
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)		
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M36		
強軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	102	弱軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	33.9

*適用柱については、P.25~P.28のH柱柱用適用可能柱サイズ(表3.7~表3.8)をご参照ください。

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	柱形サイズ (a×b)	基礎柱形主筋(長辺×短辺)		帯筋	鉄筋の 定着長さ (L _t)
		Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		
<側・隅柱用>	850×650	D22(4×3,SD345)	D22(5×4,SD345)	D13@100(SD295)	350
<中柱用>		D22(3×3,SD345)	D22(5×4,SD345)		

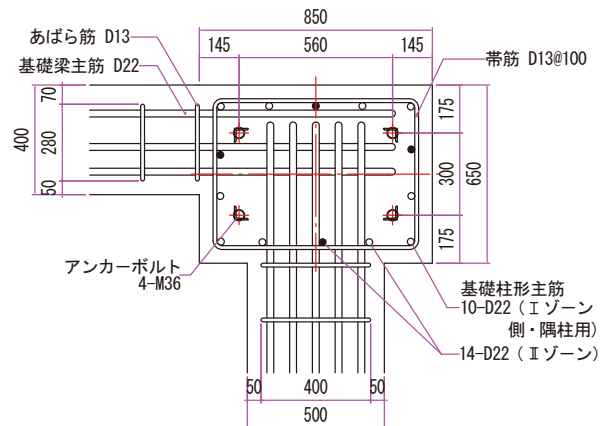
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数				単位(mm)
	3	4	5	6	
D19	360~510	410~510	460~510	510	
D22	370~510	430~510	490~510		
D25	380~510	450~510			

柱形中心基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数				単位(mm)
	3	4	5	6	
D19	290~630	340~630	390~630	440~630	
D22	300~630	360~630	420~630	480~630	
D25	310~630	380~630	450~630	520~630	



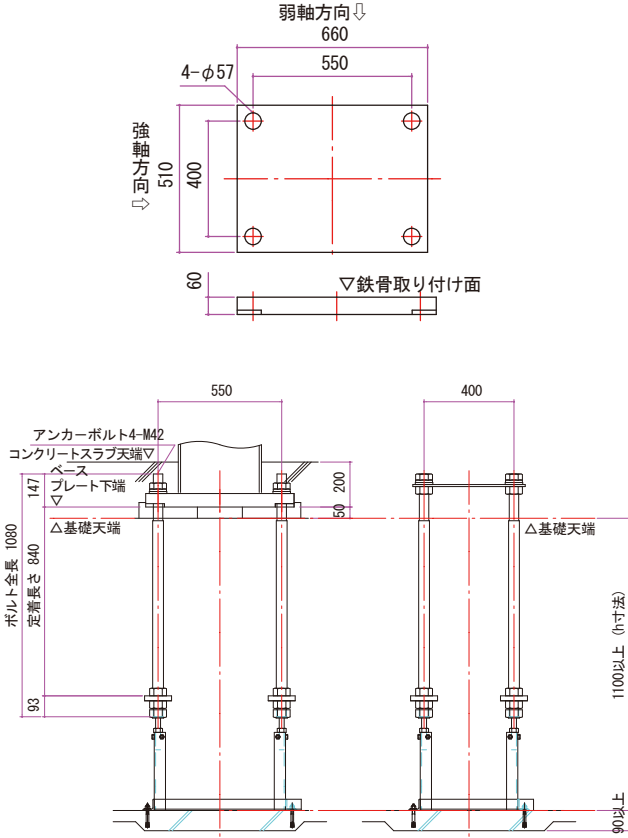
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

H形柱用(エコタイプ)

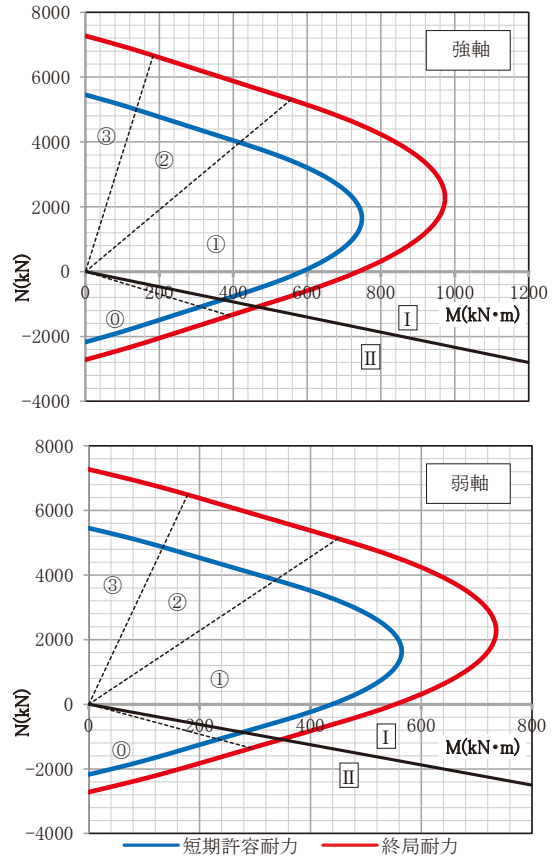
適用柱*1	H形柱 H400×300 シリーズ, H400×400 シリーズ		
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)		
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M42		
強軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	118	弱軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	67.3

*適用柱については、P.25~P.28のH柱柱用適用可能柱サイズ(表3.7~表3.8)をご参照ください。

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	柱形サイズ (a×b)	基礎柱形主筋(長辺×短辺)		帯筋	鉄筋の 定着長さ (L _t)
		Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		
<側・隅柱用>	900×750	D25(4×3,SD345)	D25(5×5,SD345)	D13@100(SD295)	420
<中柱用>		D25(3×3,SD345)	D25(5×5,SD345)		

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

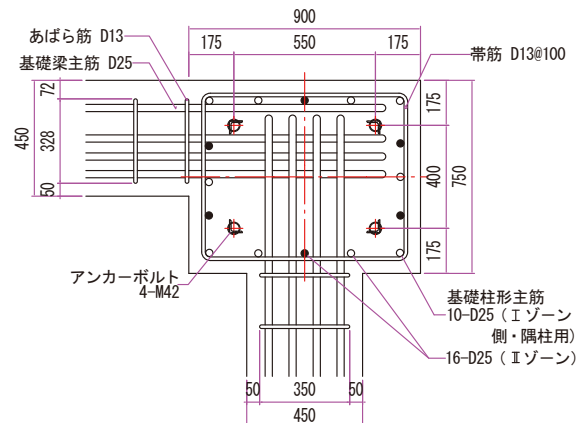
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	370~610	430~610	490~610	550~610
D25	380~610	450~610	520~610	590~610
D29	400~610	480~610	560~610	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~620	360~620	420~620	480~620
D25	310~620	380~620	450~620	520~620
D29	340~620	420~620	500~620	580~620



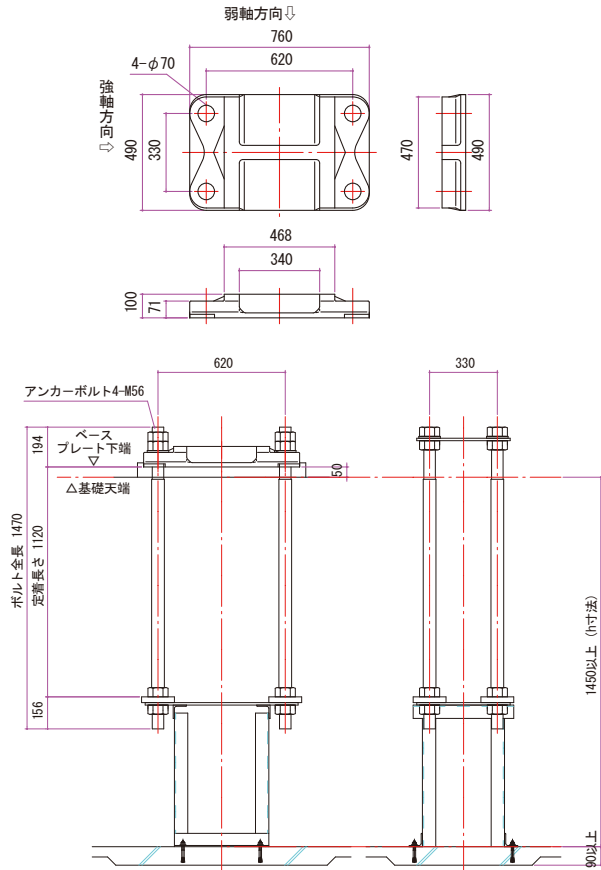
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

H形柱用(エコタイプ)

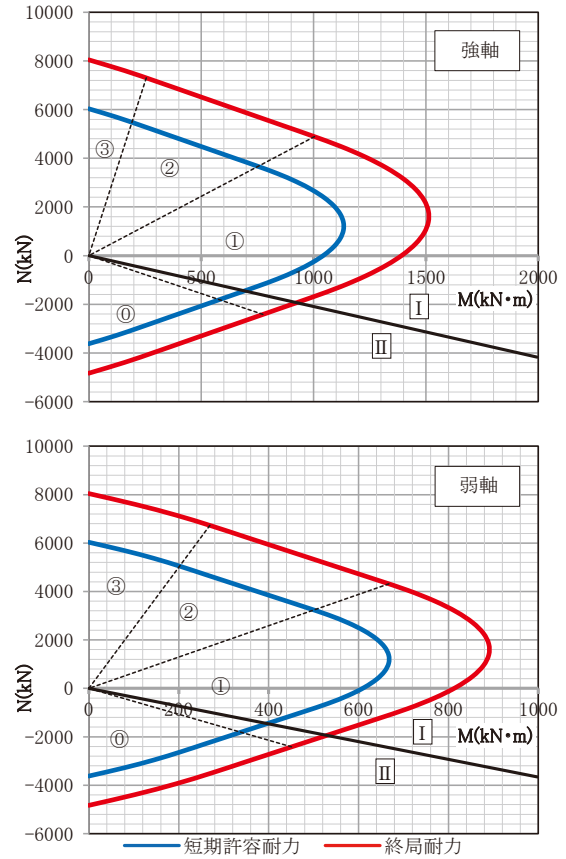
適用柱*1	H 形柱 H400 × 300 シリーズ, H400 × 400 シリーズ				
ベースプレート	G タイプ (鋳鋼製ベースプレート)				
アンカーボルト (本数-呼び)	4-M56				
強軸	回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	265	弱軸	回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	138

*適用柱については、P.25~P.28のH柱柱用適用可能柱サイズ (表3.7~表3.8) をご参照ください。

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	柱形サイズ (a×b)	基礎柱形主筋 (長辺×短辺)		帯筋	鉄筋の定着長さ (L _t)
		Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		
<側・隅柱用>	1000×700	D29(4×5,SD390)	D29(5×6,SD390)	D13@100(SD295)	850
<中柱用>		D29(3×4,SD390)	D29(5×6,SD390)		

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

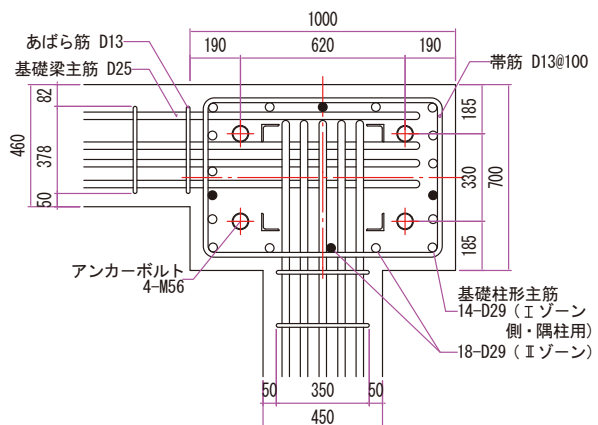
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	380~550	440~550	500~550	
D25	390~550	460~550	530~550	
D29	400~550	480~550		

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~470	360~470	420~470	*700
D25	310~470	380~470	450~470	*700
D29	340~470	420~470	*700	*700



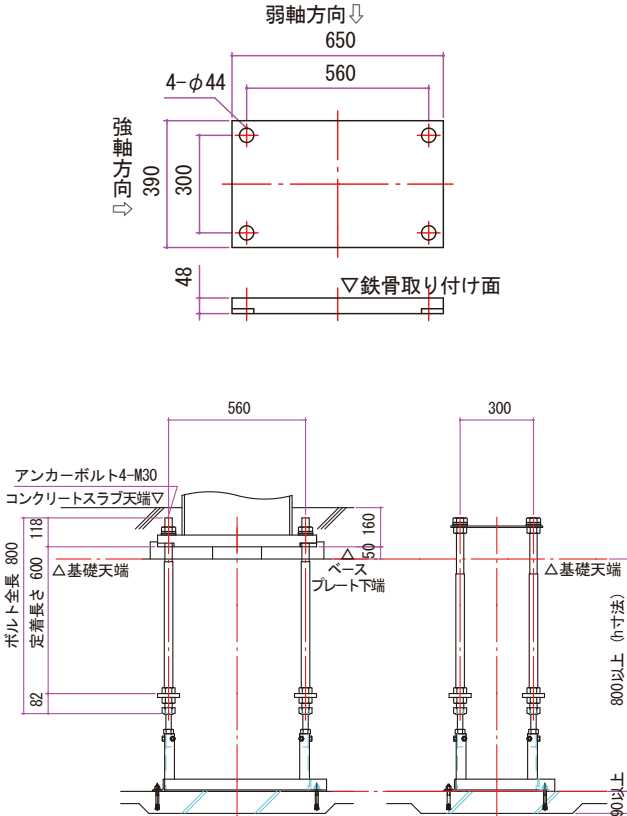
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

注2) *がつく基礎はり幅は、両端のはり主筋が2本のアンカーボルトの内側に配筋された寸法です。

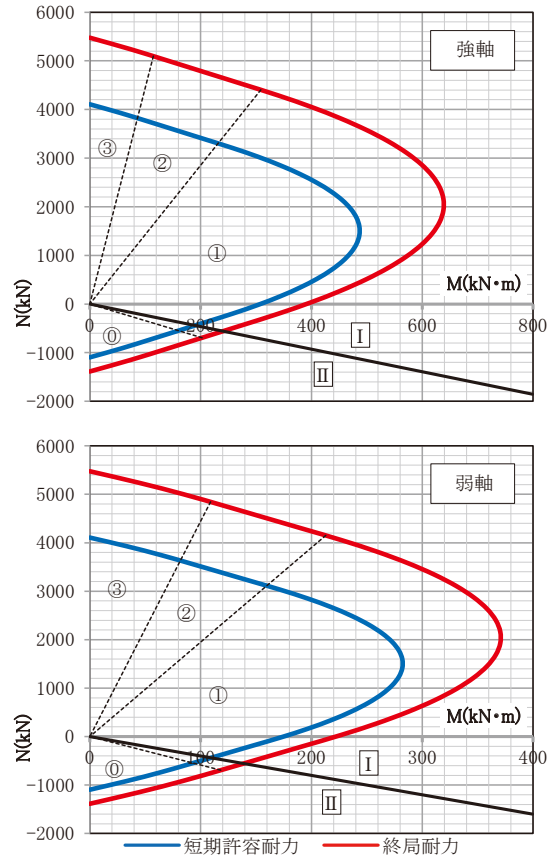
適用柱*1	H形柱 H450×200 シリーズ, H450×250 シリーズ, H450×300 シリーズ		
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)		
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M30		
強軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	94.1	弱軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	30.8

*適用柱については、P.25~P.28のH柱柱用適用可能柱サイズ(表3.7~表3.8)をご参照ください。

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	柱形サイズ (a×b)	基礎柱形主筋(長辺×短辺)		帯筋	鉄筋の 定着長さ (L_t)
		Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		
<側・隅柱用>	850×650	D19(3×3,SD345)	D19(5×4,SD345)	D13@100(SD295)	260
<中柱用>		D19(3×3,SD345)	D19(5×4,SD345)		

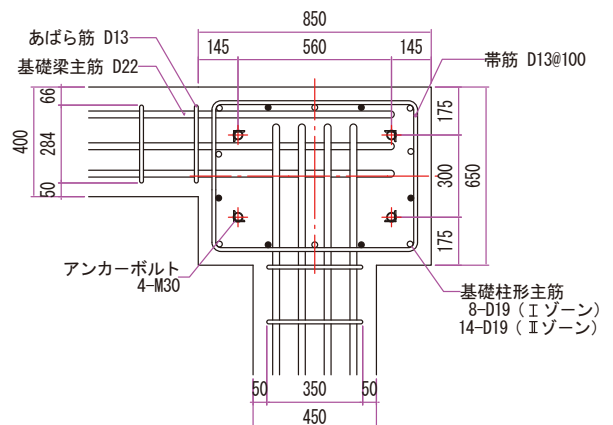
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	300~520	350~520	400~520	450~520
D22	360~520	420~520	480~520	
D25	370~520	440~520	510~520	

柱形中心基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	290~650	340~650	390~650	450~650
D22	300~650	360~650	420~650	480~650
D25	310~650	380~650	450~650	520~650



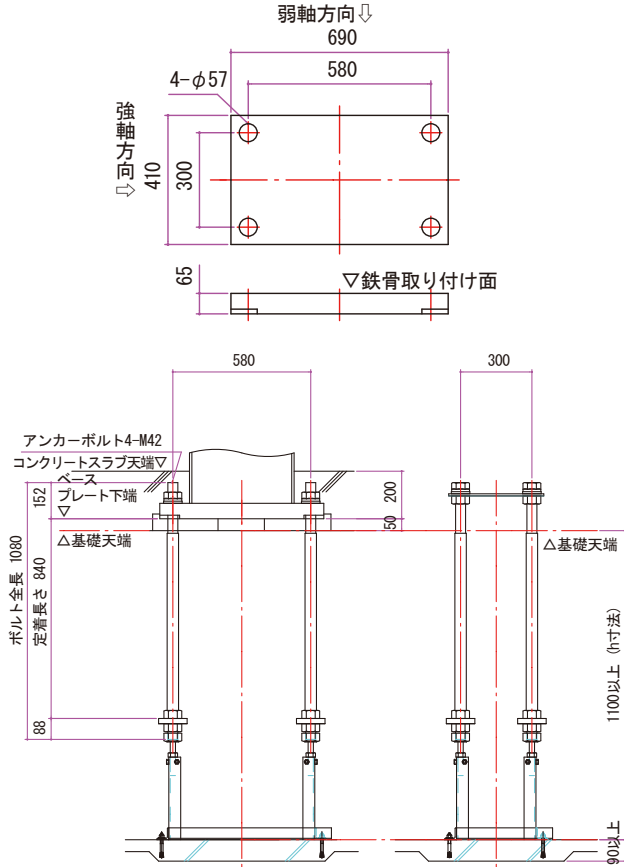
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

H形柱用(エコタイプ)

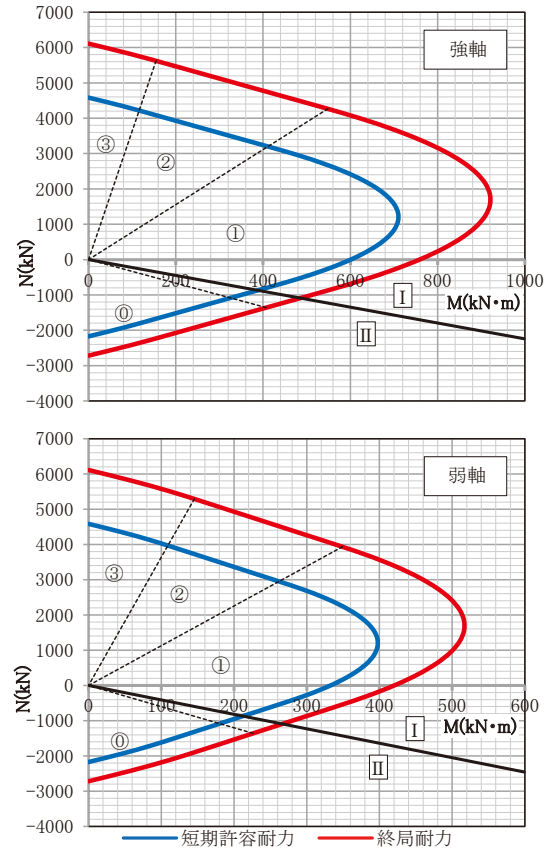
適用柱*1	H形柱 H450×200 シリーズ, H450×250 シリーズ, H450×300 シリーズ		
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)		
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M42		
強軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	135	弱軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	38.9

*適用柱については、P.25~P.28のH柱柱用適用可能柱サイズ(表3.7~表3.8)をご参照ください。

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	柱形サイズ (a×b)	基礎柱形主筋(長辺×短辺)		帯筋	鉄筋の 定着長さ (L _t)
		Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		
<側・隅柱用>	950×650	D25(4×3,SD345)	D25(5×5,SD345)	D13@100(SD295)	450
<中柱用>		D25(3×3,SD345)	D25(5×5,SD345)		

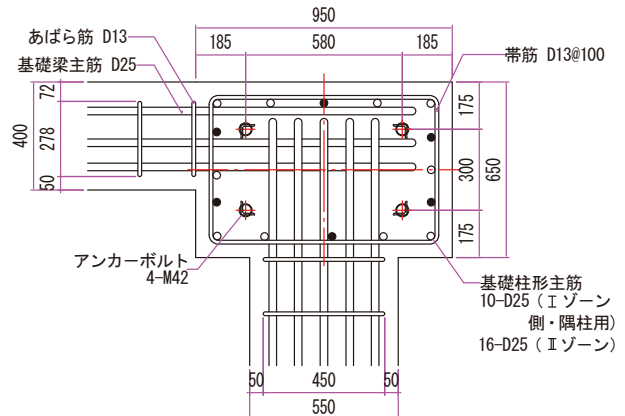
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数				単位(mm)
	3	4	5	6	
D22	370~510	430~510	490~510		
D25	380~510	450~510			
D29	400~510	480~510			

柱形中心基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数				単位(mm)
	3	4	5	6	
D22	300~650	360~650	420~650	480~650	
D25	310~650	380~650	450~650	520~650	
D29	340~650	420~650	500~650	580~650	



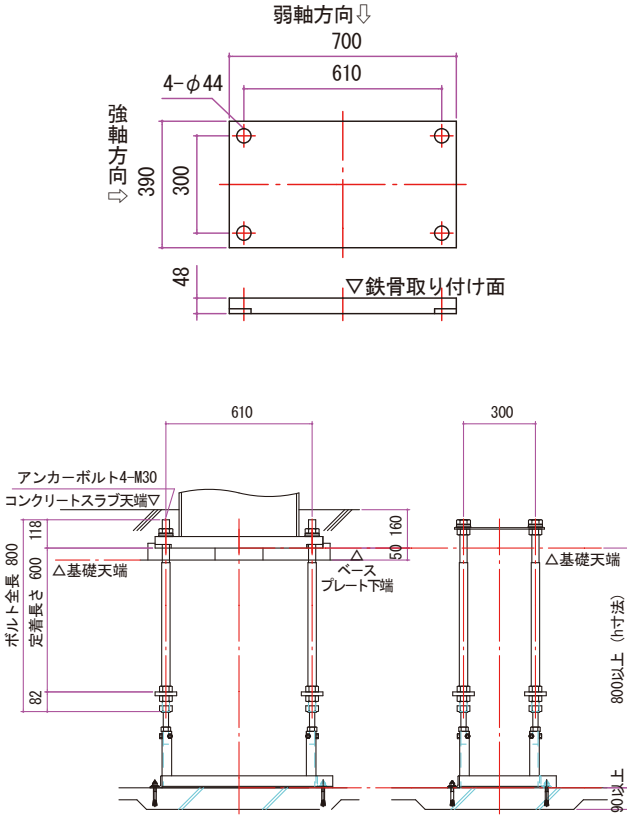
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

H形柱用(エコタイプ)

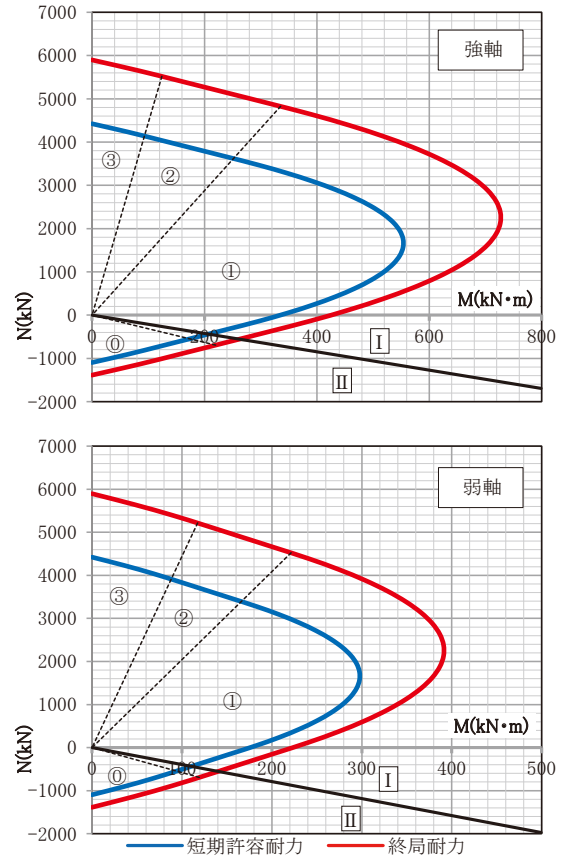
適用柱*1	H形柱 H500×200 シリーズ, H500×250 シリーズ, H500×300 シリーズ		
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)		
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M30		
強軸 回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	112	弱軸 回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	30.5

*適用柱については、P.25~P.28のH柱柱用適用可能柱サイズ(表3.7~表3.8)をご参照ください。

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	柱形サイズ (a×b)	基礎柱形主筋(長辺×短辺)		帯筋	鉄筋の 定着長さ (L _t)
		Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		
<側・隅柱用>	900×650	D19(4×3,SD345)	D19(5×4,SD345)	D13@100(SD295)	250
<中柱用>		D19(4×3,SD345)	D19(5×4,SD345)		

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

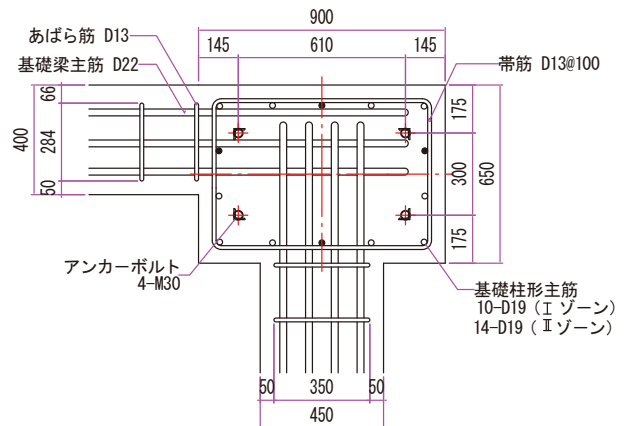
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	300~520	350~520	400~520	450~520
D22	360~520	420~520	480~520	
D25	370~520	440~520	510~520	

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	290~700	340~700	390~700	450~700
D22	300~700	360~700	420~700	480~700
D25	310~700	380~700	450~700	520~700



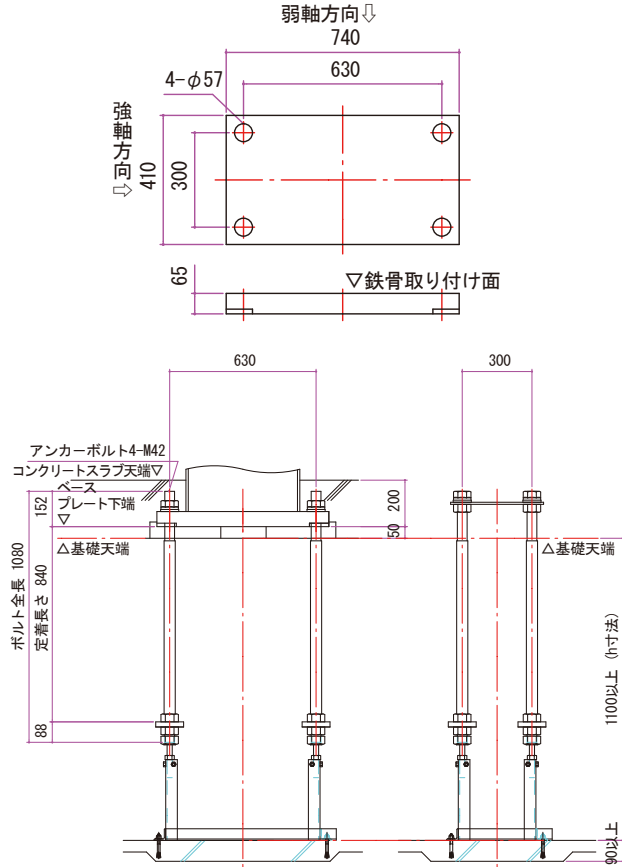
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

H形柱用(エコタイプ)

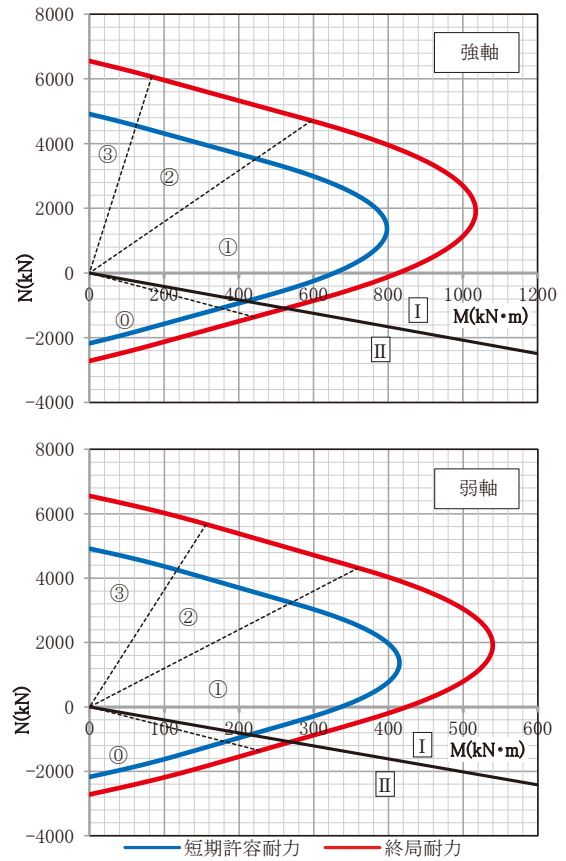
適用柱*1	H形柱 H500×200 シリーズ, H500×250 シリーズ, H500×300 シリーズ		
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)		
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M42		
強軸 回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	154	弱軸 回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	40.8

*適用柱については、P.25~P.28のH柱柱用適用可能柱サイズ(表3.7~表3.8)をご参照ください。

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	柱形サイズ (a×b)	基礎柱形主筋(長辺×短辺)		帯筋	鉄筋の 定着長さ (L_t)
		Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		
<側・隅柱用>	1000×650	D25(3×4,SD345)	D25(5×5,SD345)	D13@100(SD295)	480
<中柱用>		D25(3×3,SD345)	D25(5×5,SD345)		

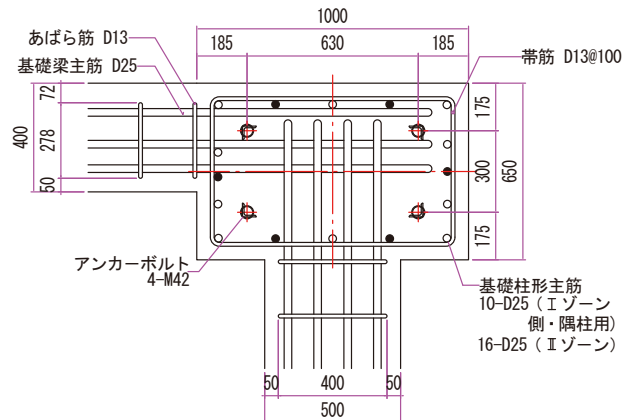
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数				単位(mm)
	3	4	5	6	
D22	370~510	430~510	490~510		
D25	380~510	450~510			
D29	400~510	480~510			

柱形中心基礎はりタイプ

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数				単位(mm)
	3	4	5	6	
D22	300~700	360~700	420~700	480~700	
D25	310~700	380~700	450~700	520~700	
D29	340~700	420~700	500~700	580~700	

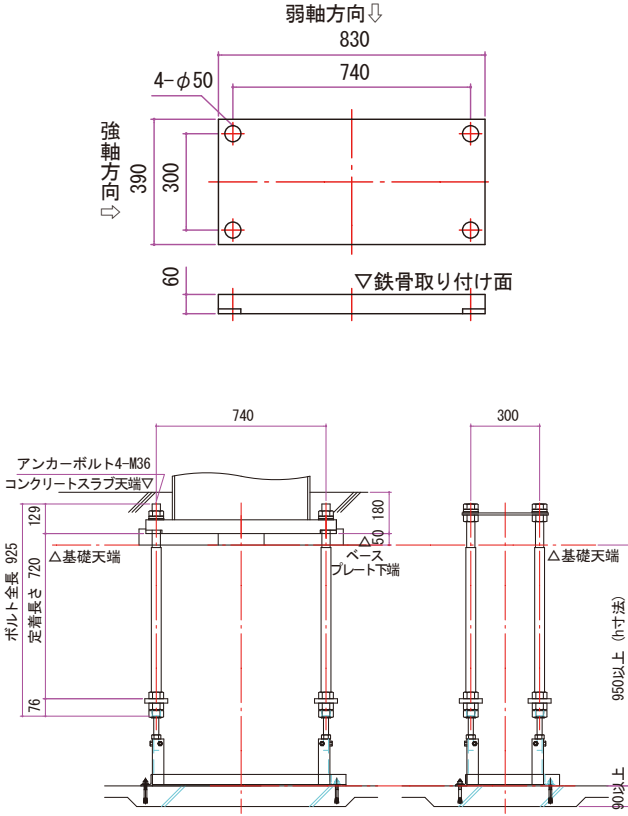


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

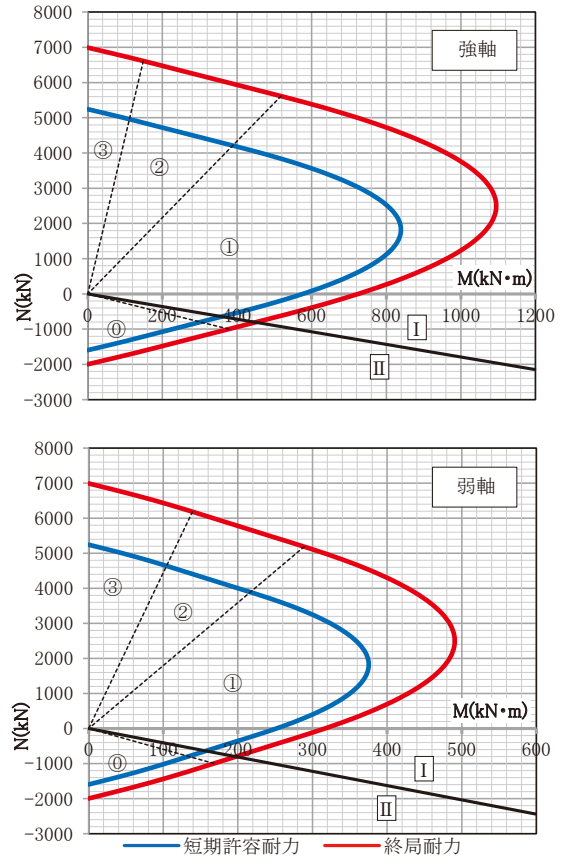
適用柱*1	H形柱 H600×200 シリーズ, H600×250 シリーズ, H600×300 シリーズ		
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)		
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M36		
強軸 回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	189	弱軸 回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	39.1

*適用柱については、P.25~P.28のH柱柱用適用可能柱サイズ(表3.7~表3.8)をご参照ください。

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	柱形サイズ (a×b)	基礎柱形主筋(長辺×短辺)		帯筋	鉄筋の 定着長さ (L_t)
		Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		
<側・隅柱用>	1050×650	D22(3×4,SD345)	D22(4×5,SD345)	D13@100(SD295)	390
<中柱用>		D22(3×3,SD345)	D22(4×5,SD345)		

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

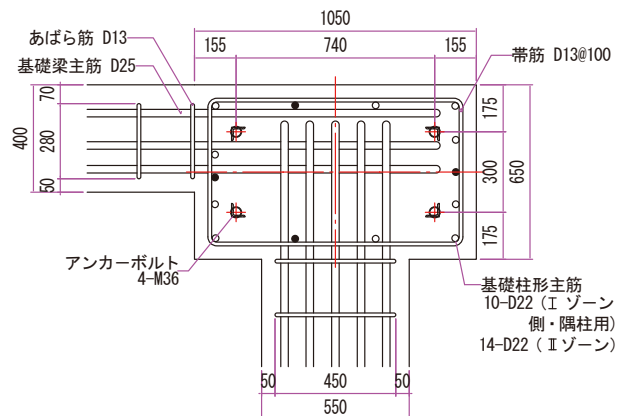
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	370~510	430~510	490~510	
D25	380~510	450~510		
D29	400~510	480~510		

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~810	360~810	420~810	480~810
D25	310~810	380~810	450~810	520~810
D29	340~810	420~810	500~810	580~810



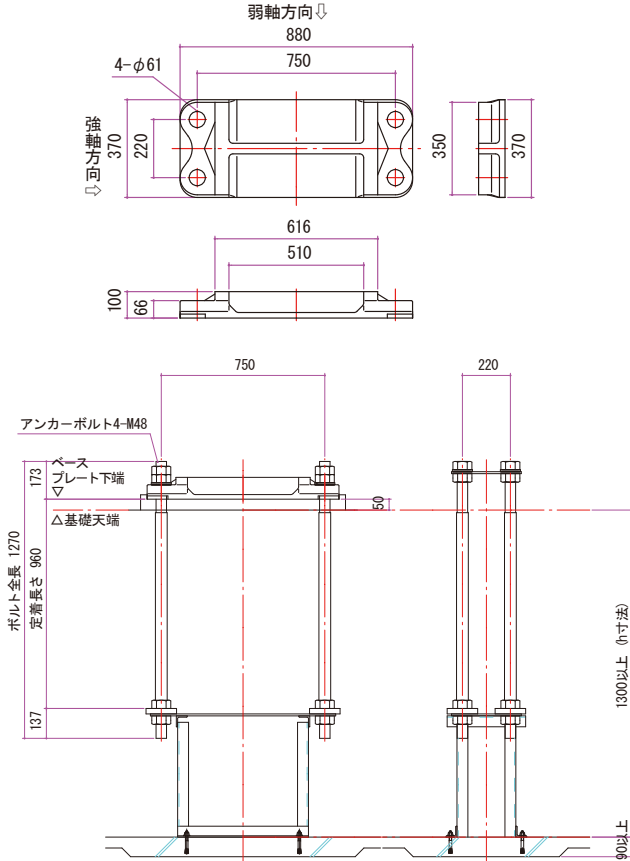
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

H形柱用(エコタイプ)

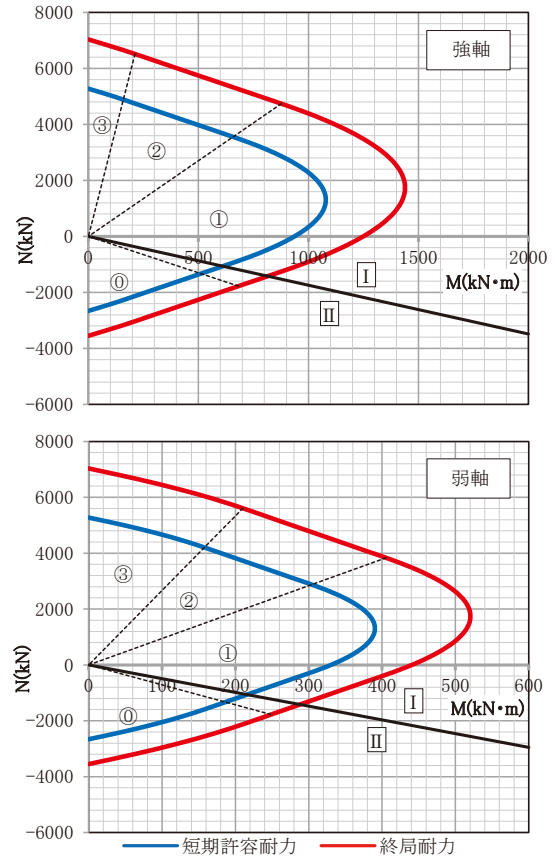
適用柱*1	H形柱 H600×200 シリーズ, H600×250 シリーズ, H600×300 シリーズ		
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)		
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M48		
強軸 回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	342	弱軸 回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	71.4

*適用柱については、P.25~P.28のH柱柱用適用可能柱サイズ(表3.7~表3.8)をご参照ください。

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	柱形サイズ (a×b)	基礎柱形主筋(長辺×短辺)		帯筋	鉄筋の 定着長さ (L_t)
		Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		
<側・隅柱用>	1150×600	D29(3×3,SD390)	D29(5×4,SD390)	D16@100(SD295)	510
<中柱用>		D29(3×3,SD390)	D29(5×4,SD390)		

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

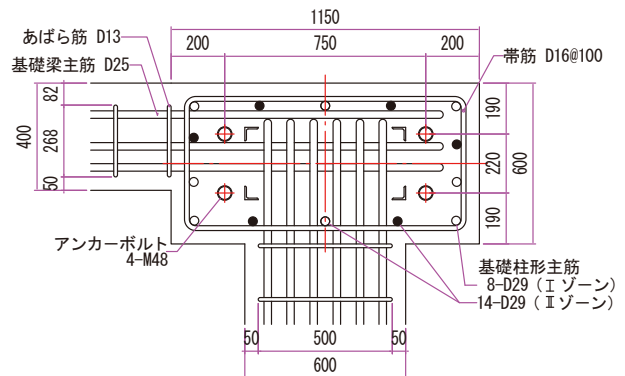
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	320~450	380~450	440~450	
D25	320~450	390~450		
D29	330~450	410~450		

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~640	360~640	420~640	480~640
D25	310~640	380~640	450~640	520~640
D29	340~640	420~640	500~640	580~640

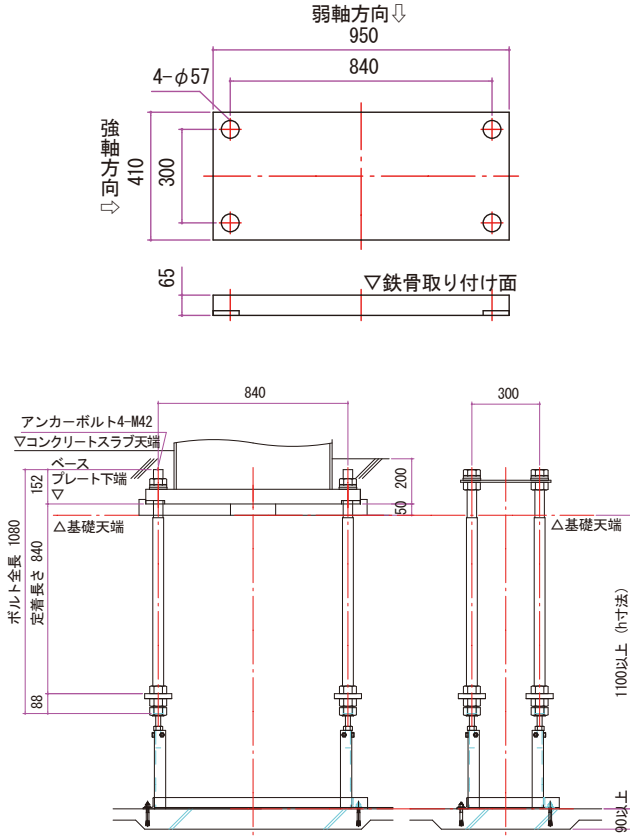


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

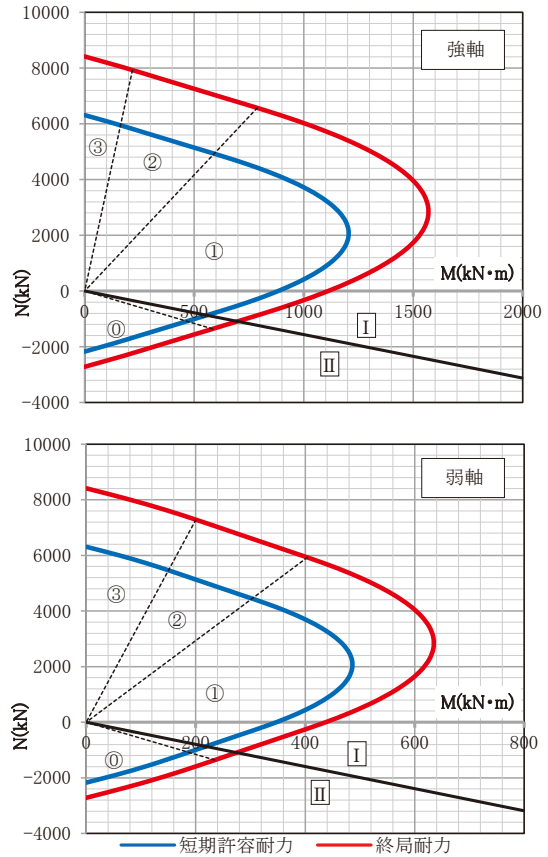
適用柱*1	H形柱 H700×300 シリーズ		
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)		
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M42		
強軸 回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	287	弱軸 回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	45.1

*適用柱については、P.25~P.28のH柱柱用適用可能柱サイズ(表3.7~表3.8)をご参照ください。

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	柱形サイズ (a×b)	基礎柱形主筋(長辺×短辺)		帯筋	鉄筋の 定着長さ (L_t)
		Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		
<側・隅柱用>	1200×650	D25(4×3,SD345)	D25(5×5,SD345)	D16@100(SD295)	340
<中柱用>		D25(4×3,SD345)	D25(5×5,SD345)		

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

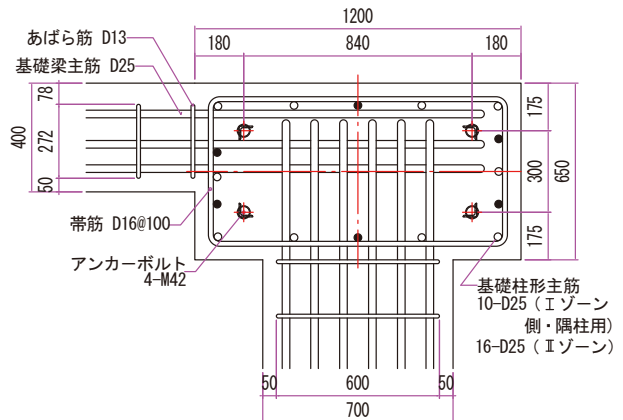
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	370~510	430~510	490~510	
D25	380~510	450~510		
D29	400~510	480~510		

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~910	360~910	420~910	480~910
D25	310~910	380~910	450~910	520~910
D29	340~910	420~910	500~910	580~910



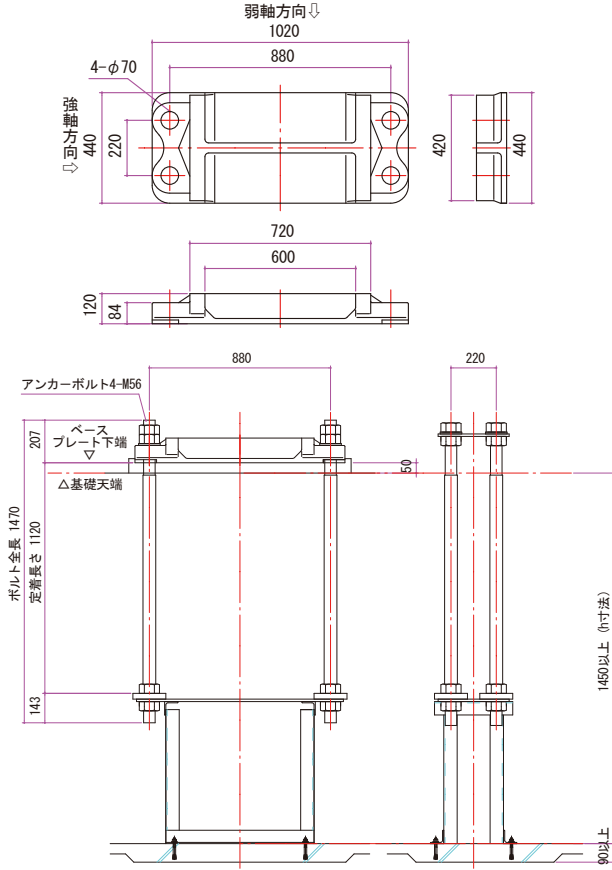
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

H形柱用(エコタイプ)

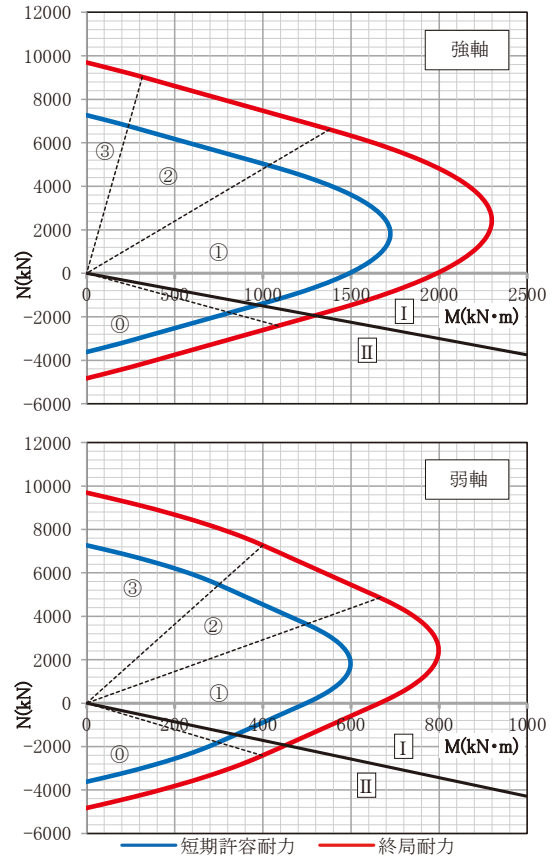
適用柱*1	H形柱 H700×300 シリーズ, H700×350 シリーズ		
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)		
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M56		
強軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	540	弱軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	97.6

*適用柱については、P.25~P.28のH柱柱用適用可能柱サイズ(表3.7~表3.8)をご参照ください。

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	柱形サイズ (a×b)	基礎柱形主筋(長辺×短辺)		帯筋	鉄筋の 定着長さ (L _t)
		Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		
<側・隅柱用>	1300×600	D29(5×4,SD390)	D29(6×5,SD390)	D16@100(SD295)	670
<中柱用>		D29(4×4,SD390)	D29(6×5,SD390)		

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

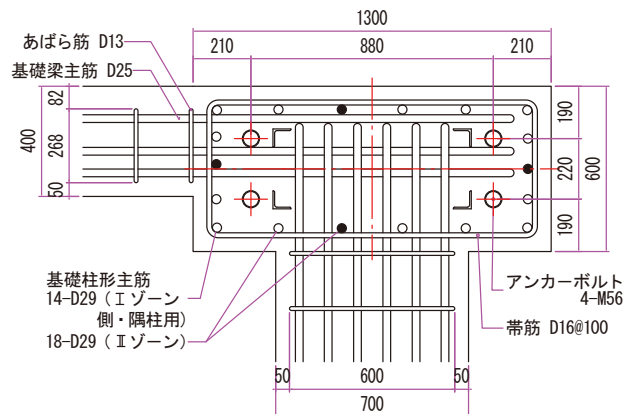
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	320~450	380~450	0~450	
D25	330~450	400~450		
D29	330~450	410~450		

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~730	360~730	420~730	480~730
D25	310~730	380~730	450~730	520~730
D29	340~730	420~730	500~730	580~730

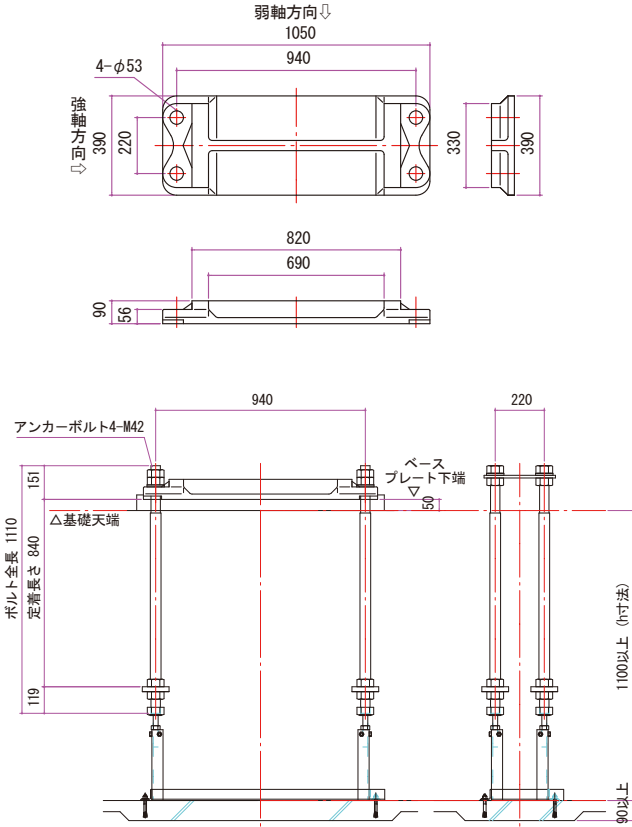


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

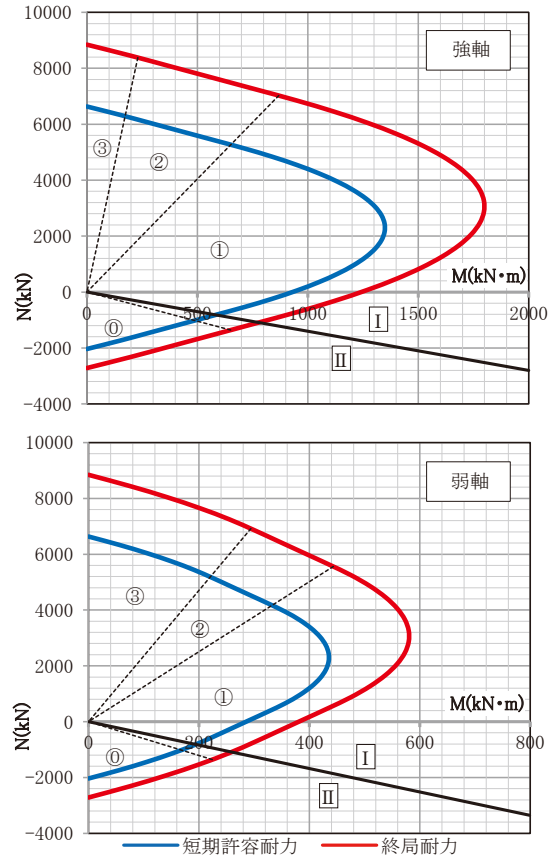
適用柱*1	H形柱 H800×300 シリーズ, H800×350 シリーズ, H800×400 シリーズ		
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)		
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M42		
強軸 回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	478	弱軸 回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m/rad}$)	82.1

*適用柱については、P.25~P.28のH柱柱用適用可能柱サイズ(表3.7~表3.8)をご参照ください。

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	柱形サイズ (a×b)	基礎柱形主筋(長辺×短辺)		帯筋	鉄筋の 定着長さ (L_t)
		Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		
<側・隅柱用>	1300×600	D25(3×4,SD345)	D25(5×5,SD345)	D16@100(SD295)	500
<中柱用>		D25(3×3,SD345)	D25(5×5,SD345)		

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

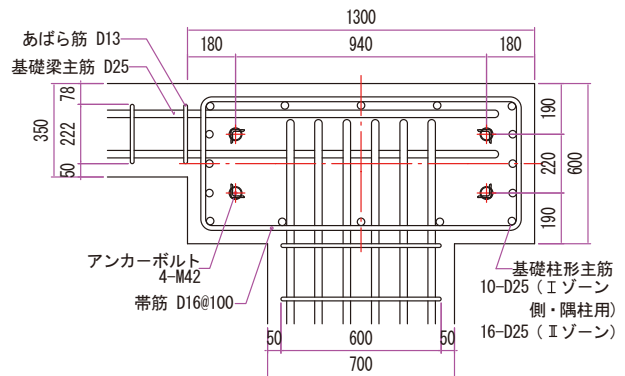
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	330~440	390~440		
D25	330~440	400~440		
D29	330~440	410~440		

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	300~1010	360~1010	420~1010	480~1010
D25	310~1010	380~1010	450~1010	520~1010
D29	340~1010	420~1010	500~1010	580~1010



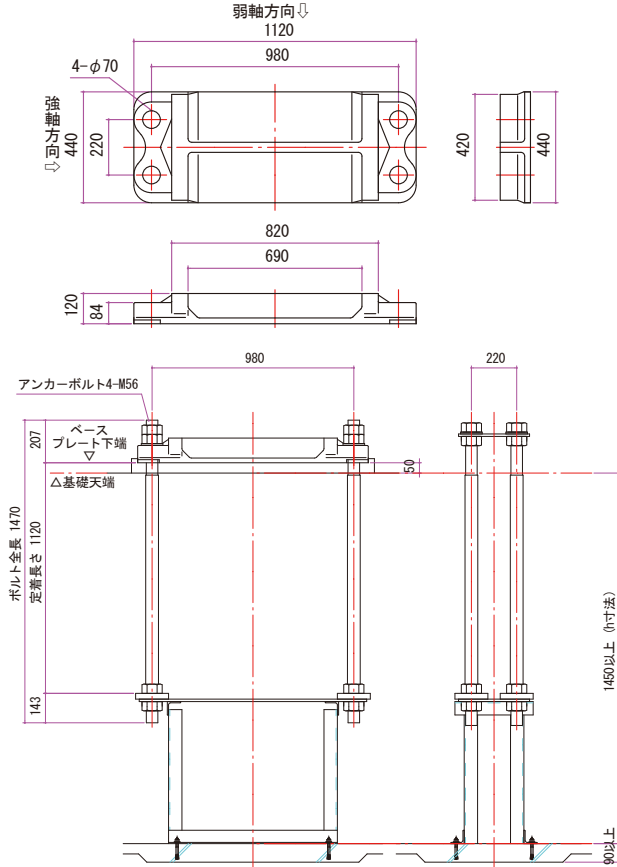
注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

H形柱用(Gタイプ)

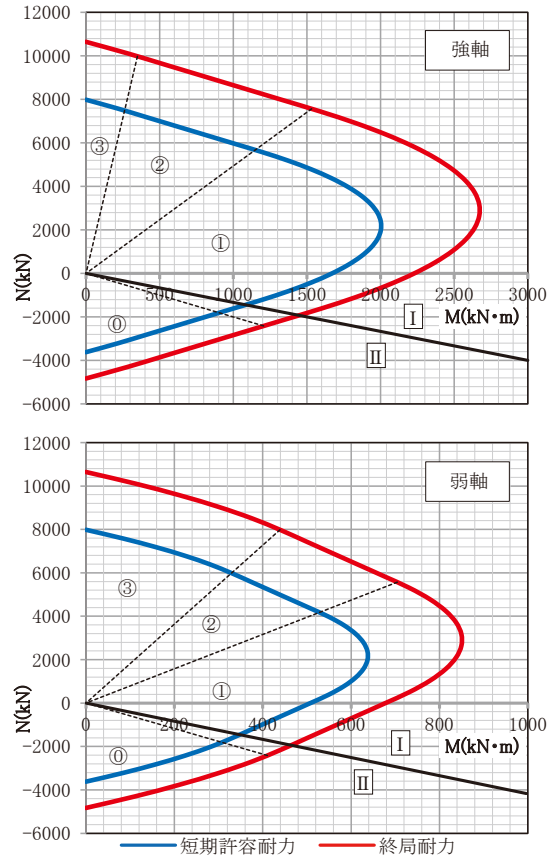
適用柱*1	H形柱 H800×300 シリーズ, H800×350 シリーズ, H800×400 シリーズ		
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)		
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M56		
強軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	668	弱軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	110

*適用柱については、P.25~P.28のH柱柱用適用可能柱サイズ(表3.7~表3.8)をご参照ください。

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	柱形サイズ (a×b)	基礎柱形主筋(長辺×短辺)		帯筋	鉄筋の 定着長さ (L_t)
		Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		
<側・隅柱用>	1400×600	D29(5×4,SD390)	D29(6×5,SD390)	D16@100(SD295)	710
<中柱用>		D29(4×4,SD390)	D29(6×5,SD390)		

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

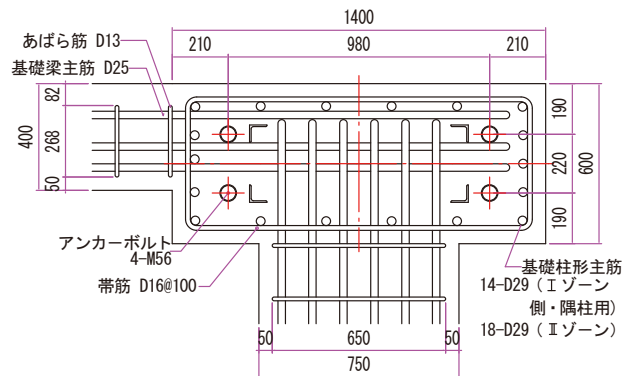
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	320~450	370~450	420~450	
D22	320~450	380~450		
D25	330~450	400~450		

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	290~830	340~830	390~830	450~830
D22	300~830	360~830	420~830	480~830
D25	310~830	380~830	450~830	520~830

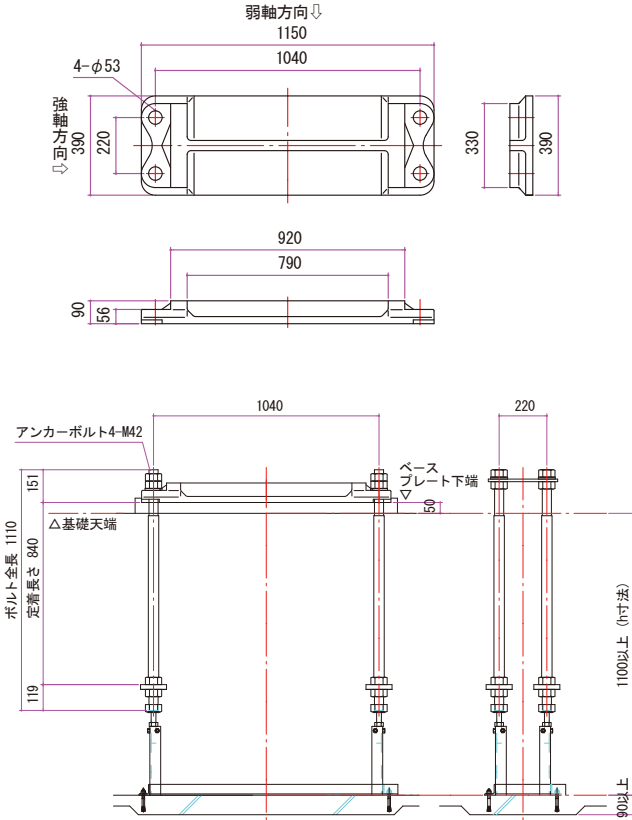


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

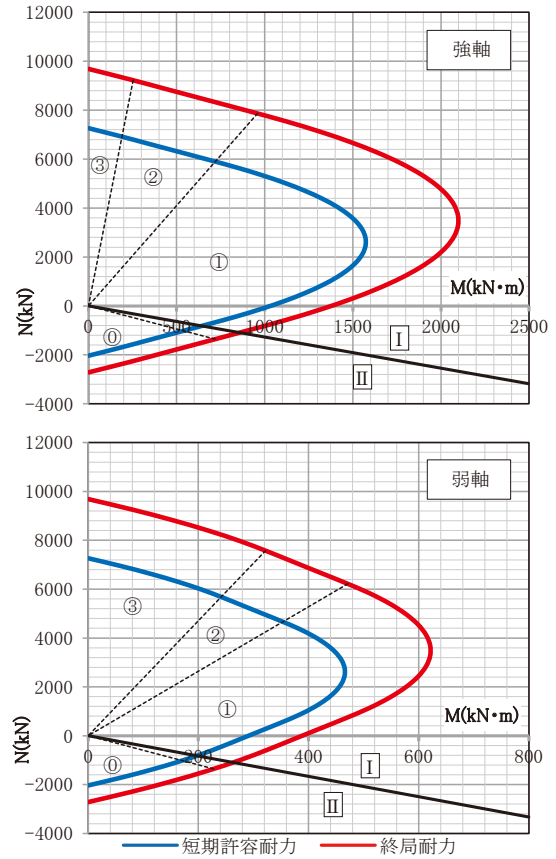
適用柱*1	H形柱 H900×300 シリーズ, H900×350 シリーズ, H900×400 シリーズ		
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)		
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M42		
強軸 回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	606	弱軸 回転ばね定数 ($\times 10^3\text{kN}\cdot\text{m}/\text{rad}$)	96.8

*適用柱については、P.25~P.28のH柱柱用適用可能柱サイズ(表3.7~表3.8)をご参照ください。

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	柱形サイズ (a×b)	基礎柱形主筋(長辺×短辺)		帯筋	鉄筋の 定着長さ (L _t)
		Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		
<側・隅柱用>	1400×600	D25(3×4,SD345)	D25(5×5,SD345)	D16@100(SD295)	520
<中柱用>		D25(3×3,SD345)	D25(5×5,SD345)		

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

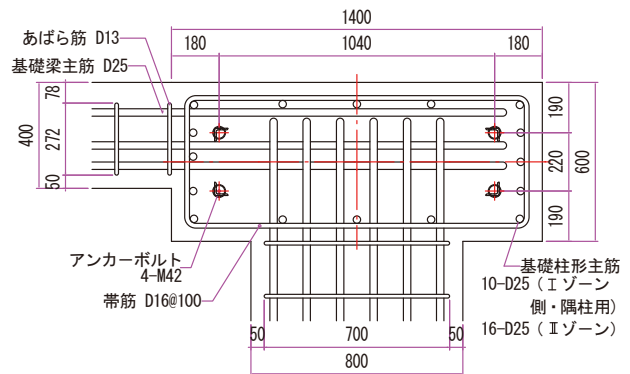
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	320~440	370~440	420~440	
D22	330~440	390~440		
D25	330~440	400~440		

柱形中心基礎はりタイプ

単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	290~1110	340~1110	390~1110	440~1110
D22	300~1110	360~1110	420~1110	480~1110
D25	310~1110	380~1110	450~1110	520~1110

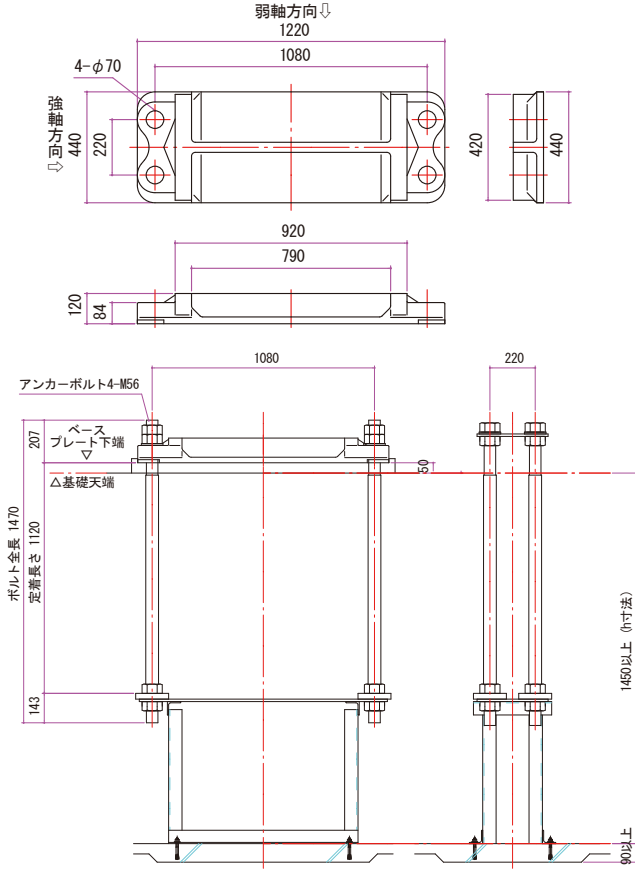


注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

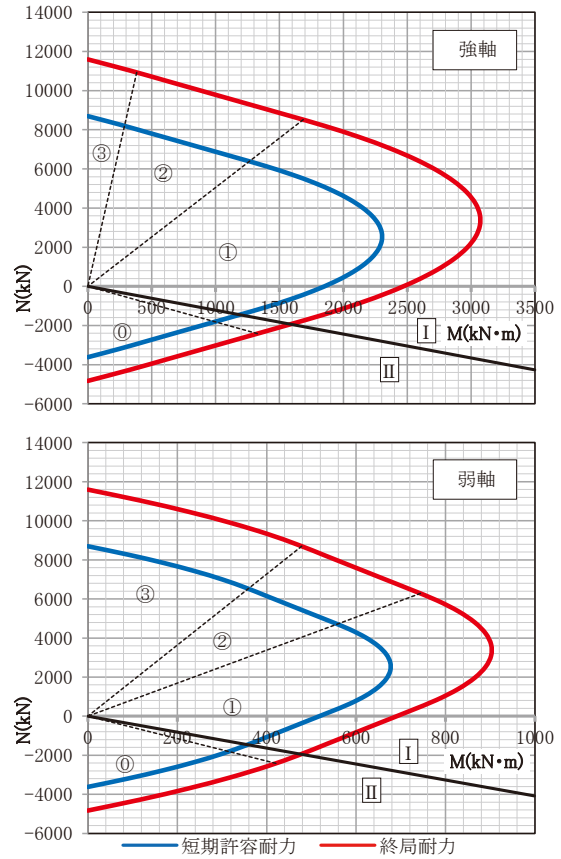
適用柱*1	H形柱 H900×300 シリーズ, H900×350 シリーズ, H900×400 シリーズ		
ベースプレート	Gタイプ(鋳鋼製ベースプレート)		
アンカーボルト(本数-呼び)	4-M56		
強軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	828	弱軸 回転ばね定数 ($\times 10^3 kN \cdot m / rad$)	118.0

*適用柱については、P.25~P.28のH柱柱用適用可能柱サイズ(表3.7~表3.8)をご参照ください。

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	柱形サイズ (a×b)	基礎柱形主筋(長辺×短辺)		帯筋	鉄筋の 定着長さ (L_t)
		Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		
<側・隅柱用>	1500×600	D29(5×4,SD390)	D29(6×5,SD390)	D16@100(SD295)	740
<中柱用>		D29(4×4,SD390)	D29(6×5,SD390)		

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

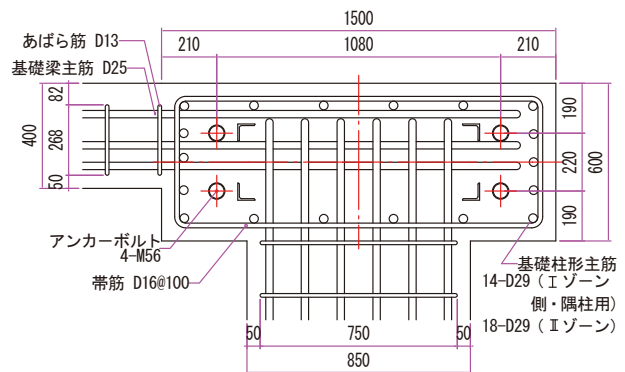
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	320~450	370~450	420~450	
D22	320~450	380~450	440~450	
D25	330~450	400~450		

柱形中心基礎はりタイプ

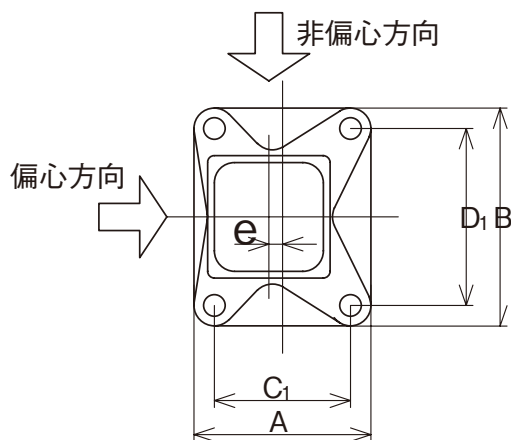
単位(mm)

基礎はり主筋	基礎はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	290~930	340~930	390~930	450~930
D22	300~930	360~930	420~930	480~930
D25	310~930	380~930	450~930	520~930



注1) 配筋ゾーンがIゾーンの場合は基礎柱形主筋○の本数、IIゾーンの場合は○と●の合計本数を配筋してください。

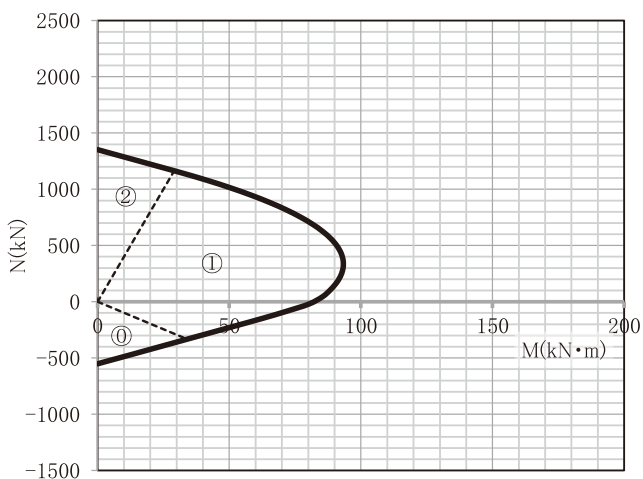
色	ハイベース型式	A (mm)	B (mm)	C ₁ (mm)	D ₁ (mm)	e (mm)	質量 (kg)	回転ばね定数 (×10 ³ kN・m/rad)	
								偏心方向	非偏心方向
—	BS200-S1-24	310	330	250	270	30	35	19.9	21.3



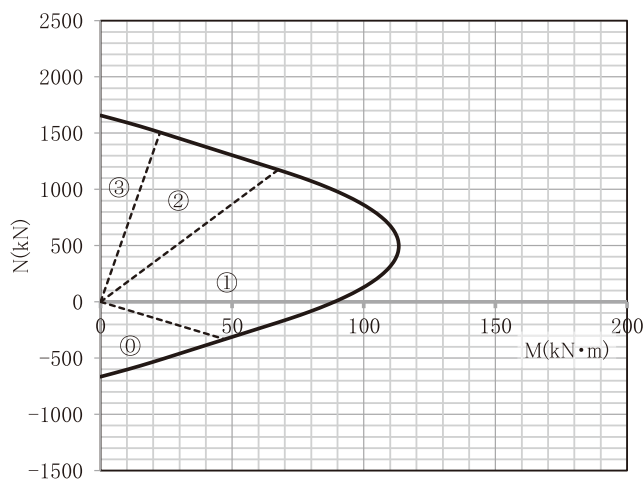
偏心方向

非偏心方向

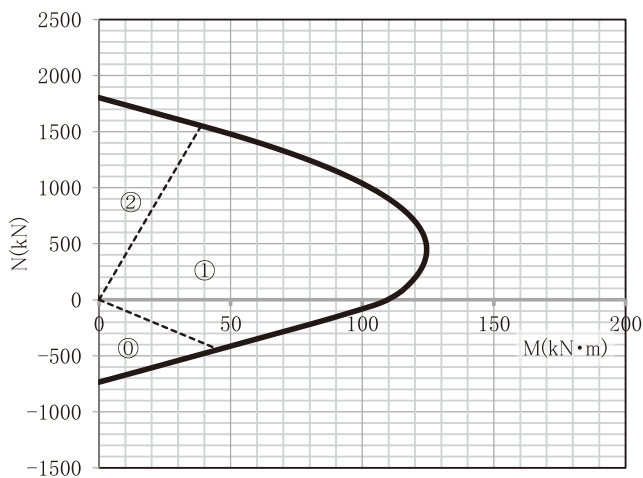
短期許容耐力



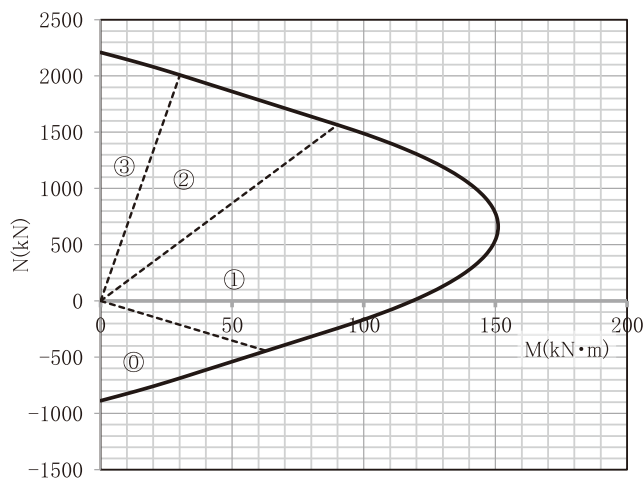
短期許容耐力



終局耐力

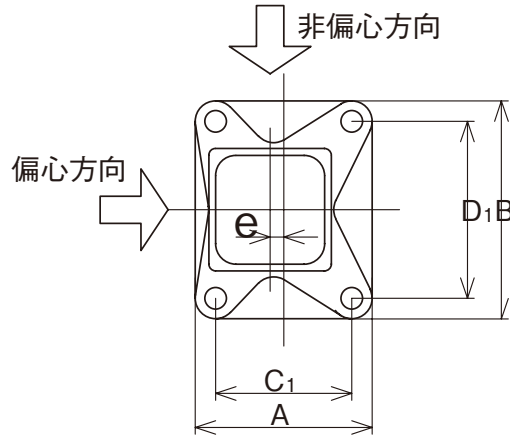


終局耐力



注1) 上部表中の質量はハイベース単体の質量です。
 注2) 各図中の丸数字はせん断力算定用のゾーンを示します。
 注3) □ゾーンと▣ゾーンについてはP.44をご参照ください。

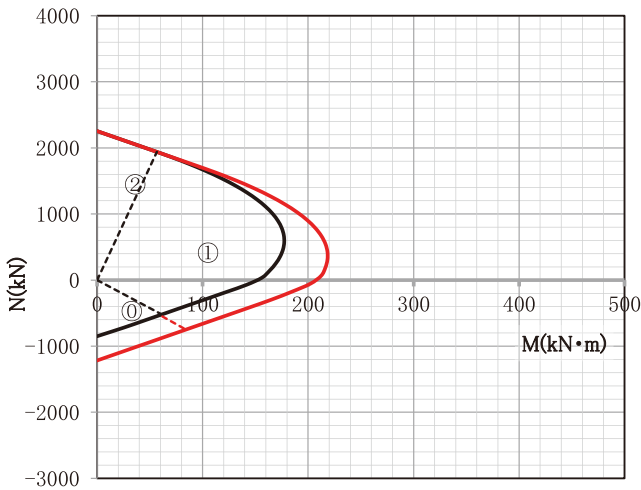
色	ハイベース型式	A (mm)	B (mm)	C ₁ (mm)	D ₁ (mm)	e (mm)	質量 (kg)	回転ばね定数 (×10 ³ kN・m/rad)	
								偏心方向	非偏心方向
—	BS250-S1-30	380	460	280	360	40	72	35.7	46.3
—	BS250-S1-36	380	460	280	360	40	72	43.1	56.5



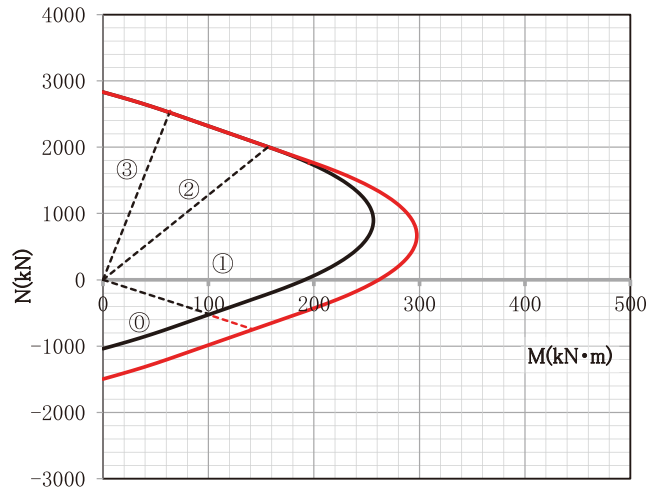
偏心方向

非偏心方向

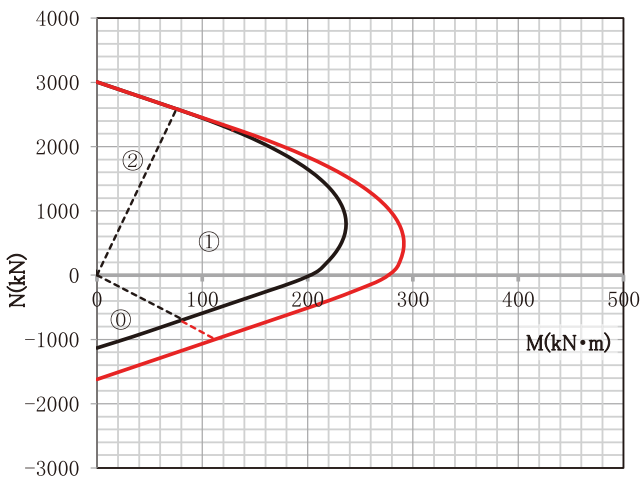
短期許容耐力



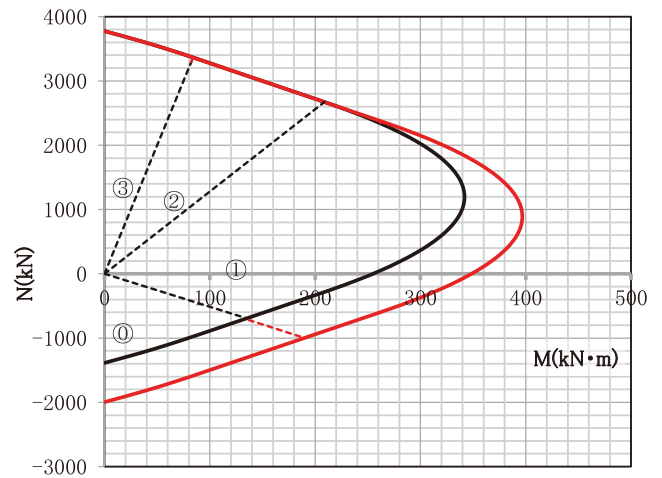
短期許容耐力



終局耐力



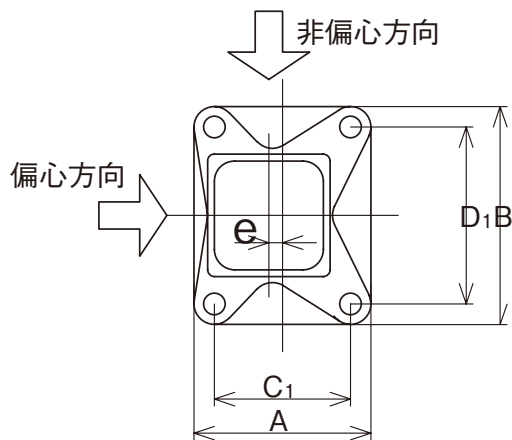
終局耐力



角形鋼管柱用(一方向偏心タイプ)

注1) 上部表中の質量はハイベース単体の質量です。
 注2) 各図中の丸数字はせん断力算定用のゾーンを示します。
 注3) □ゾーンと⊕ゾーンについては P.44 をご参照ください。

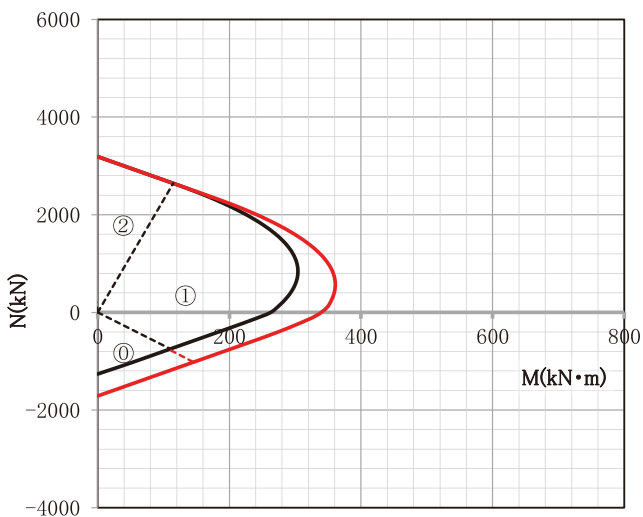
色	ハイベース型式	A (mm)	B (mm)	C ₁ (mm)	D ₁ (mm)	e (mm)	質量 (kg)	回転ばね定数 (×10 ³ kN・m/rad)	
								偏心方向	非偏心方向
—	BS300-S1-36	450	530	340	420	40	112	54.4	75.5
—	BS300-S1-42	450	530	340	420	40	112	73.0	90.0



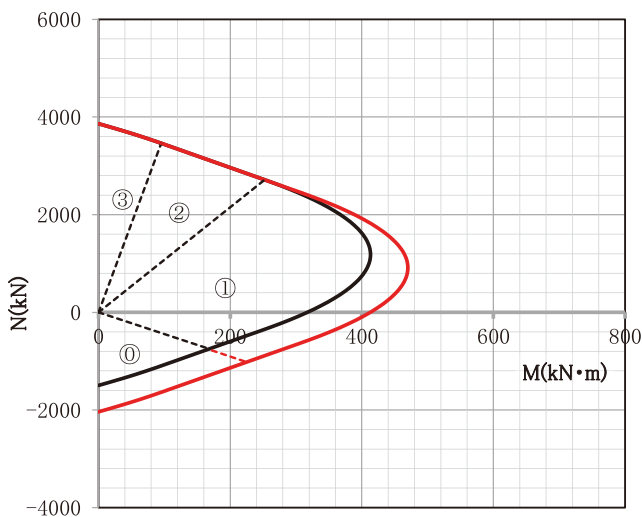
偏心方向

非偏心方向

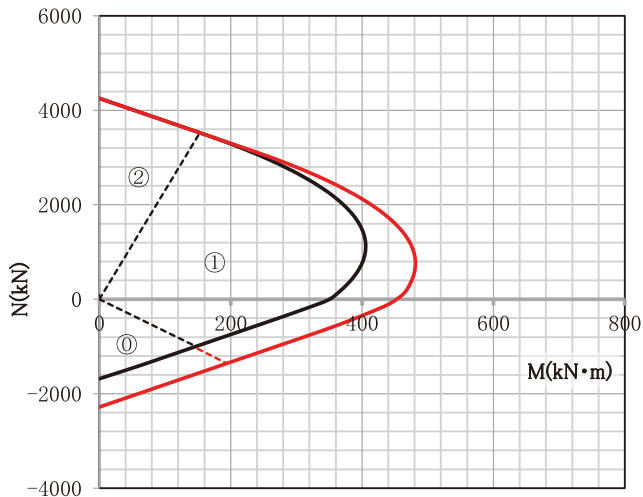
短期許容耐力



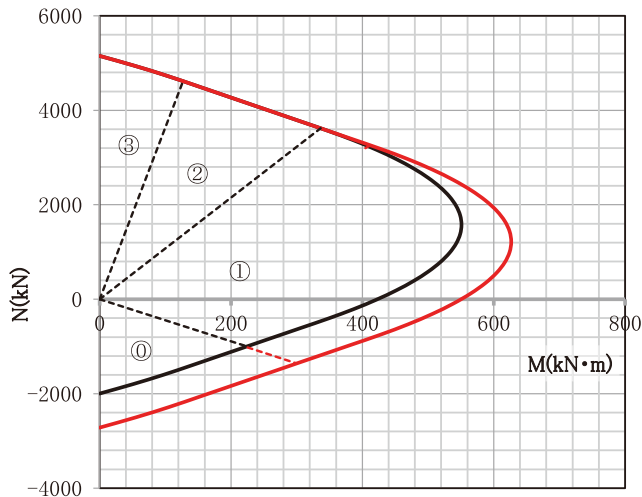
短期許容耐力



終局耐力

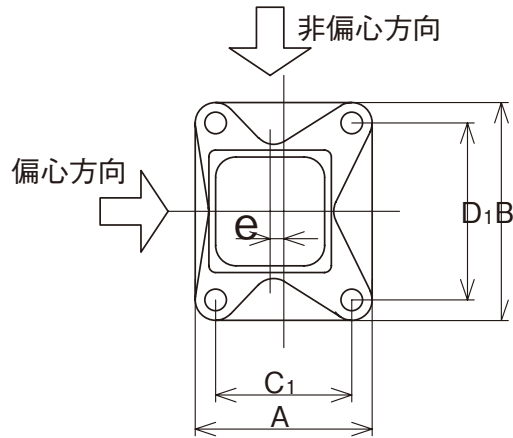


終局耐力



注1) 上部表中の質量はハイベース単体の質量です。
 注2) 各図中の丸数字はせん断力算定用のゾーンを示します。
 注3) □ゾーンと⊠ゾーンについては P.44 をご参照ください。

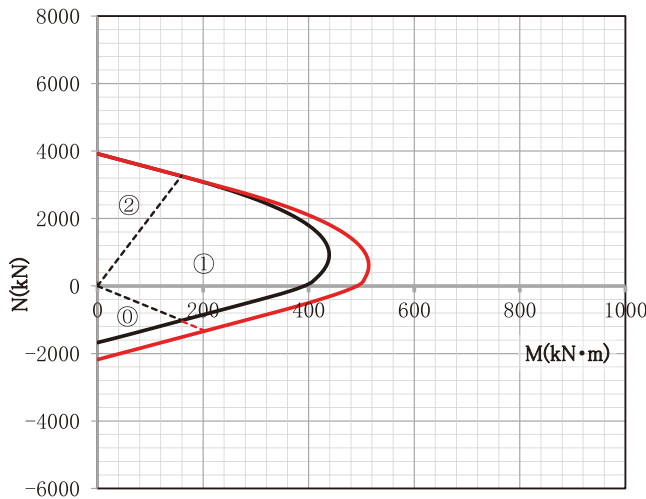
色	ハイベース型式	A (mm)	B (mm)	C ₁ (mm)	D ₁ (mm)	e (mm)	質量 (kg)	回転ばね定数 (×10 ³ kN・m/rad)	
								偏心方向	非偏心方向
—	BS350-S1-42	500	600	380	480	50	155	79.8	115
—	BS350-S1-48	500	600	380	480	50	155	103	134



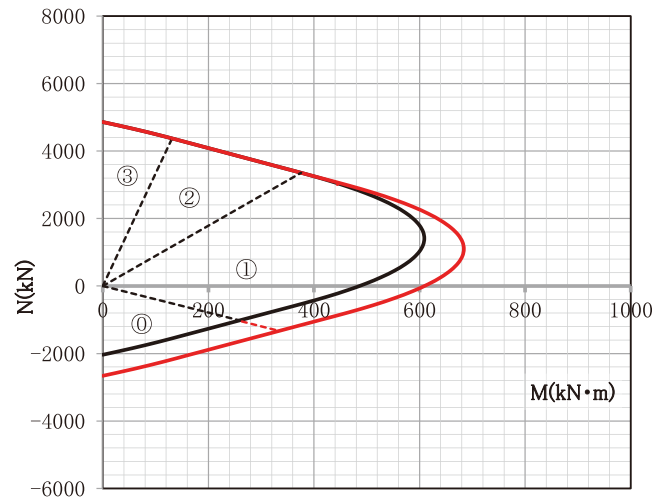
偏心方向

非偏心方向

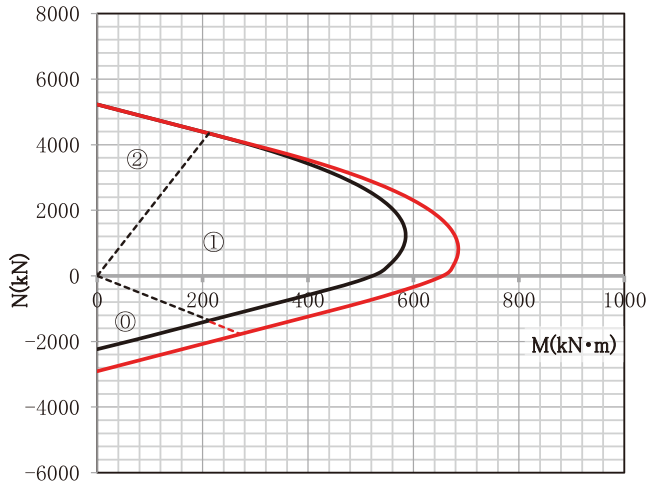
短期許容耐力



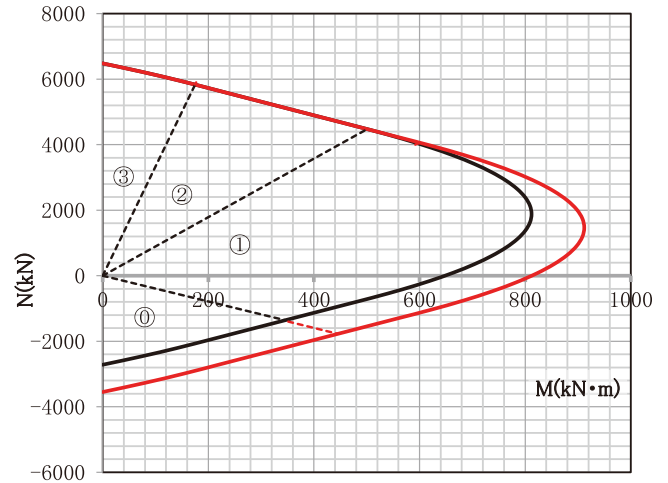
短期許容耐力



終局耐力

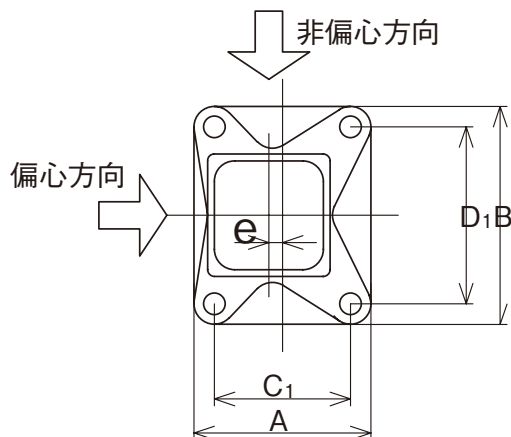


終局耐力



注1) 上部表中の質量はハイベース単体の質量です。
 注2) 各図中の丸数字はせん断力算定用のゾーンを示します。
 注3) □ゾーンと⊕ゾーンについては P.44 をご参照ください。

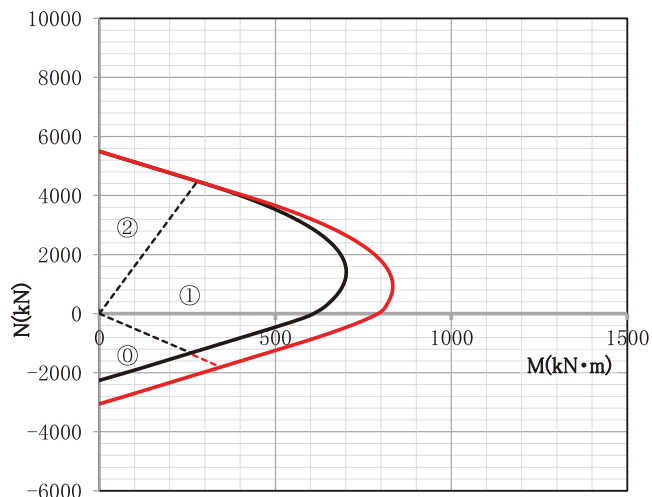
色	ハイベース型式	A (mm)	B (mm)	C ₁ (mm)	D ₁ (mm)	e (mm)	質量 (kg)	回転ばね定数 (×10 ³ kN・m/rad)	
								偏心方向	非偏心方向
—	BS400-S1-48	590	690	450	550	50	240	126	172
—	BS400-S1-56	590	690	450	550	50	240	158	205



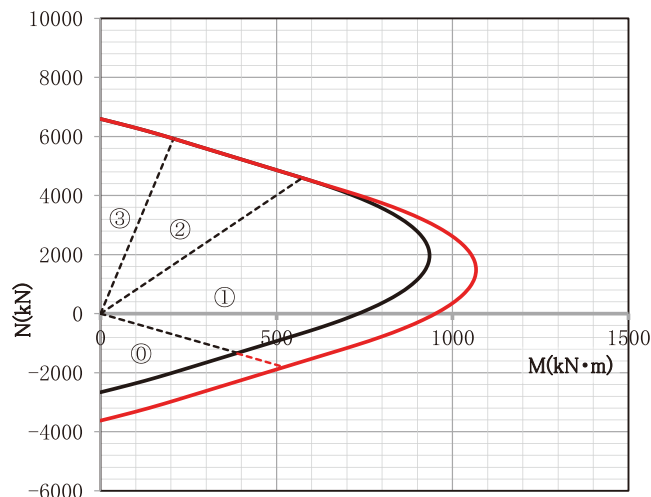
偏心方向

非偏心方向

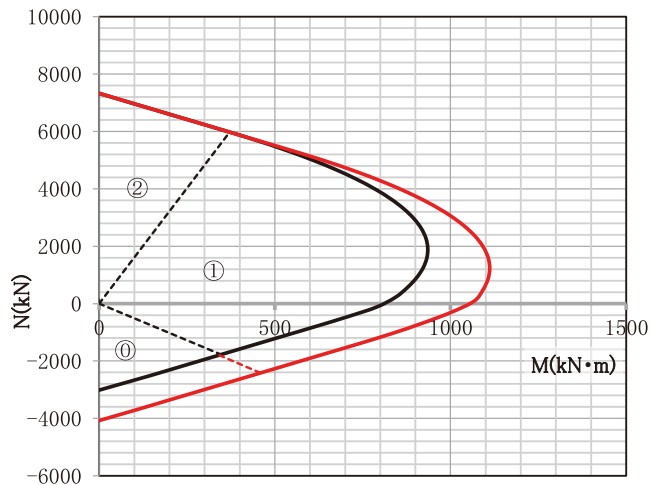
短期許容耐力



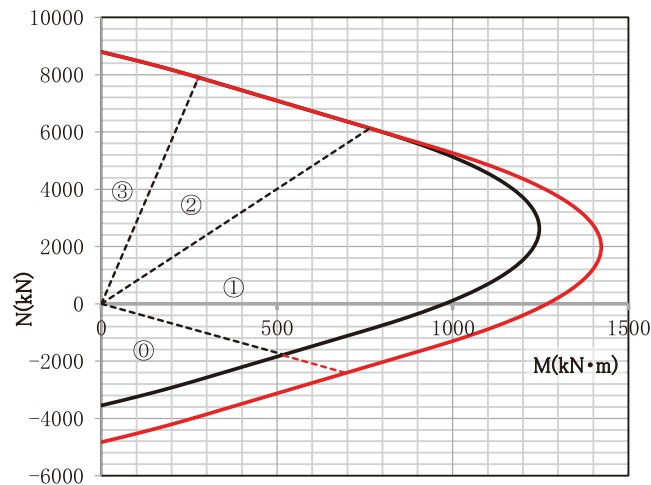
短期許容耐力



終局耐力

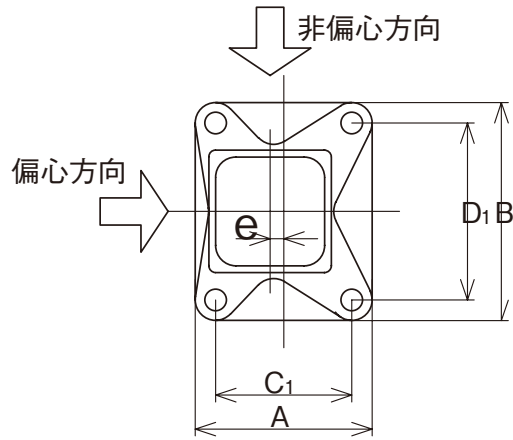


終局耐力



注1) 上部表中の質量はハイベース単体の質量です。
 注2) 各図中の丸数字はせん断力算定用のゾーンを示します。
 注3) □ゾーンと⊕ゾーンについてはP.44をご参照ください。

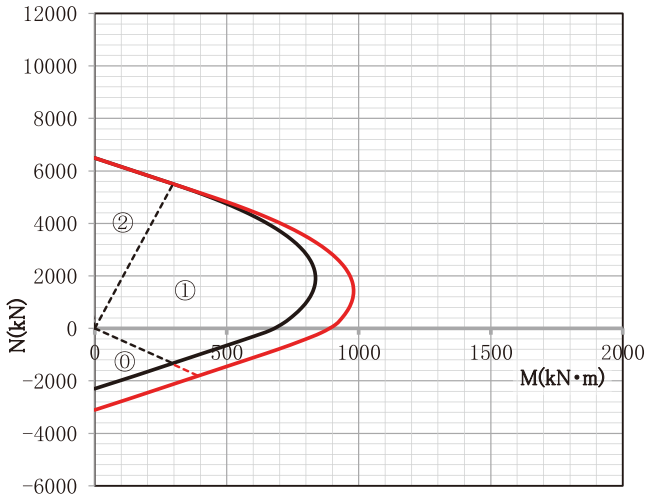
色	ハイベース型式	A (mm)	B (mm)	C ₁ (mm)	D ₁ (mm)	e (mm)	質量 (kg)	回転ばね定数 (×10 ³ kN・m/rad)	
								偏心方向	非偏心方向
—	BS450-S1-48	640	740	500	600	50	277	154	204
—	BS450-S1-56	640	740	500	600	50	277	182	242



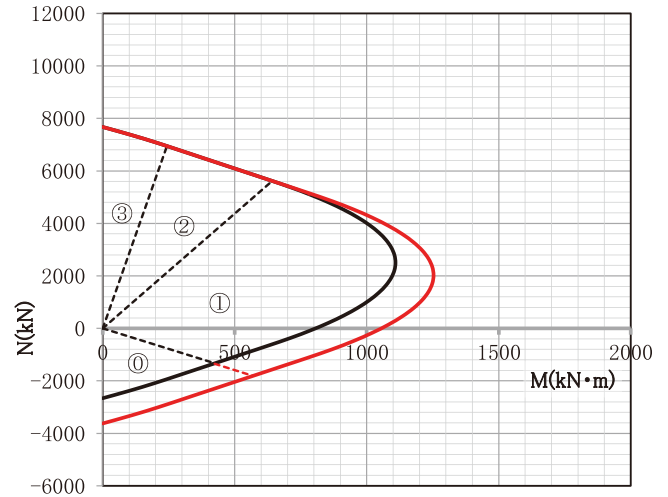
偏心方向

非偏心方向

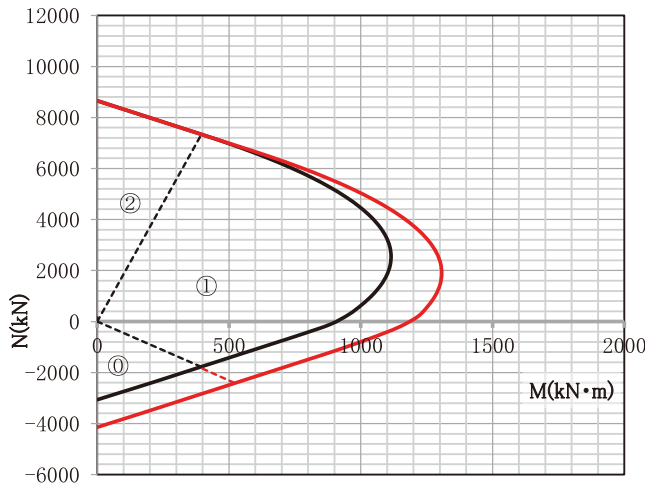
短期許容耐力



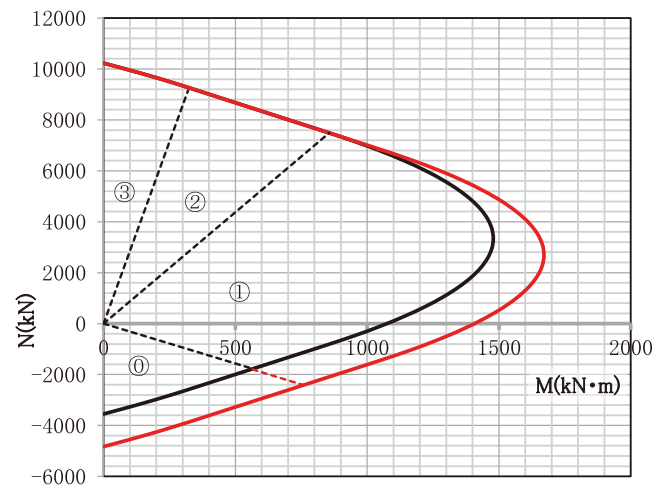
短期許容耐力



終局耐力

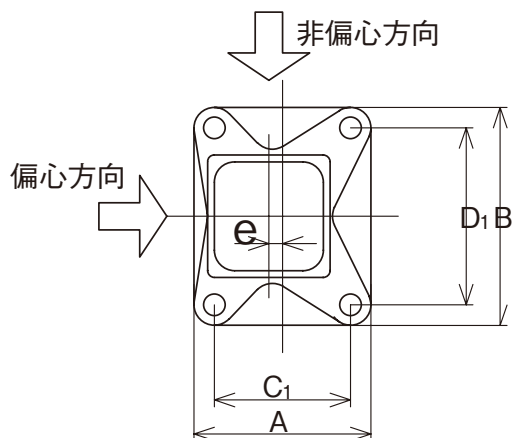


終局耐力



注1) 上部表中の質量はハイベース単体の質量です。
 注2) 各図中の丸数字はせん断力算定用のゾーンを示します。
 注3) □ゾーンと⊕ゾーンについては P.44 をご参照ください。

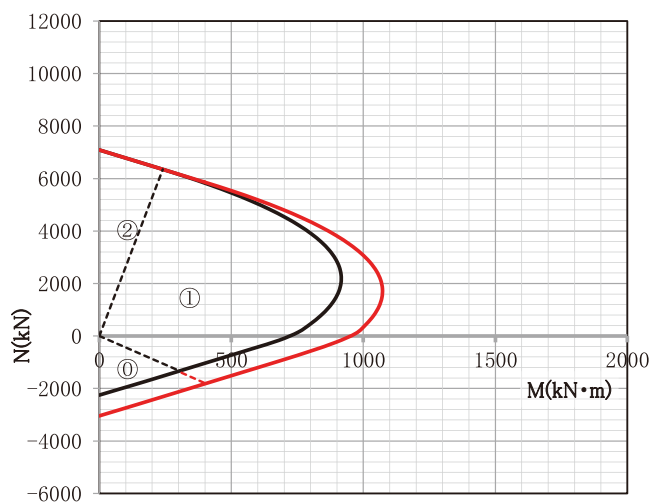
色	ハイベース型式	A (mm)	B (mm)	C ₁ (mm)	D ₁ (mm)	e (mm)	質量 (kg)	回転ばね定数 (×10 ³ kN・m/rad)	
								偏心方向	非偏心方向
—	BS500-S1-48	670	790	530	650	60	310	177	241
—	BS500-S1-56	670	790	530	650	60	310	207	283



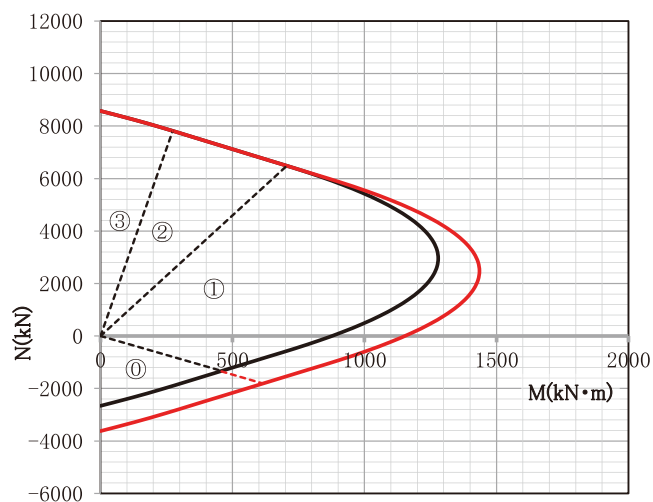
偏心方向

非偏心方向

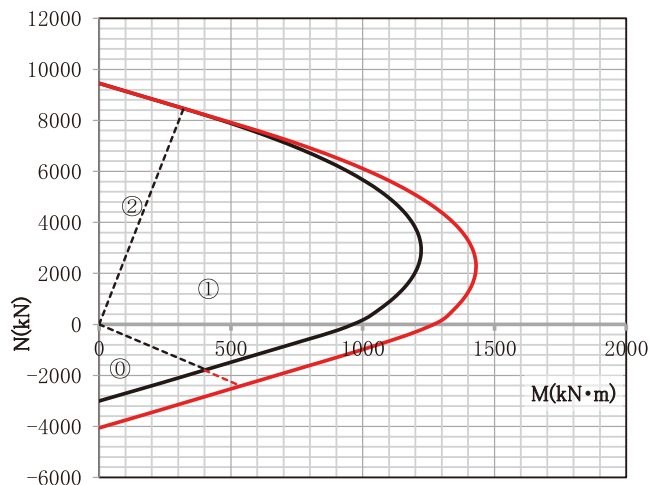
短期許容耐力



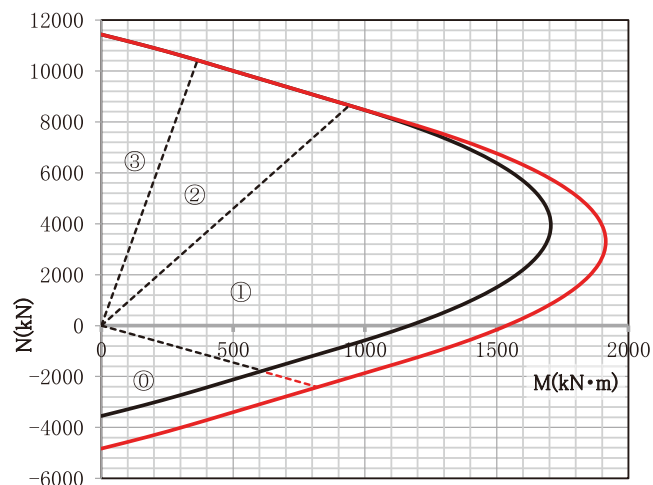
短期許容耐力



終局耐力

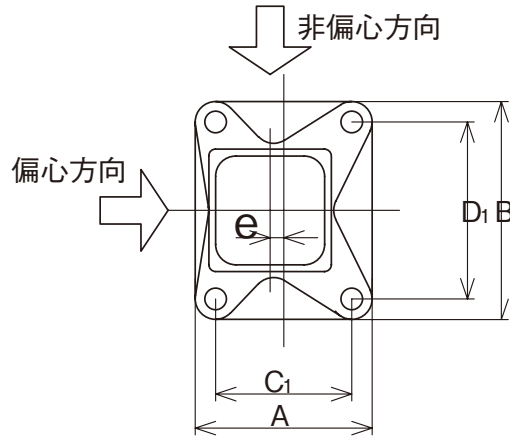


終局耐力



注1) 上部表中の質量はハイベース単体の質量です。
 注2) 各図中の丸数字はせん断力算定用のゾーンを示します。
 注3) □ゾーンとⓂゾーンについてはP.44をご参照ください。

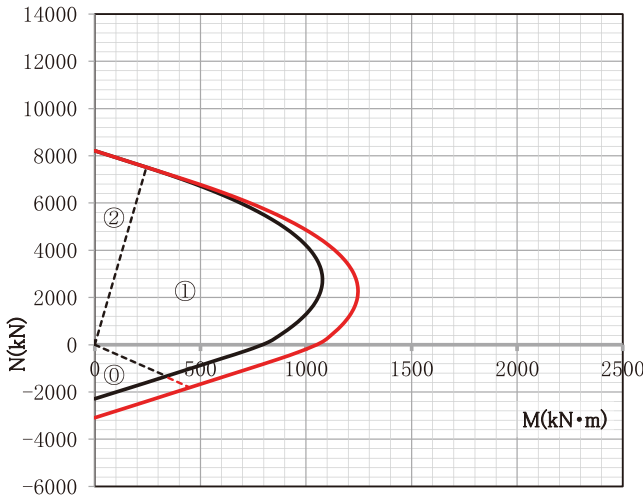
色	ハイベース型式	A (mm)	B (mm)	C ₁ (mm)	D ₁ (mm)	e (mm)	質量 (kg)	回転ばね定数 (×10 ³ kN・m/rad)	
								偏心方向	非偏心方向
—	BS550-S1-48	720	840	580	700	60	355	220	281
—	BS550-S1-56	720	840	580	700	60	355	251	330



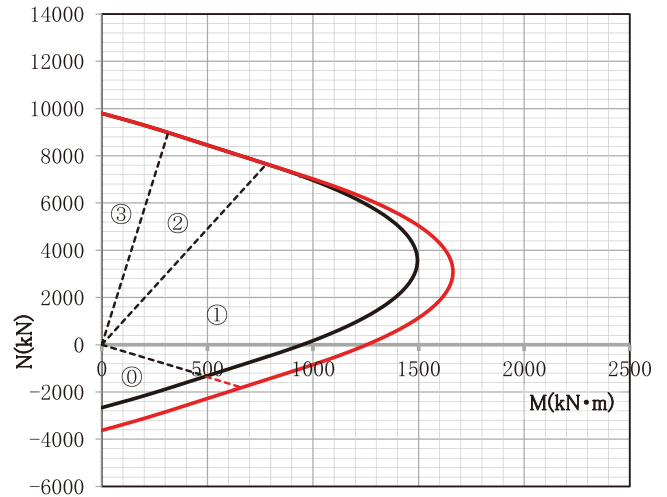
偏心方向

非偏心方向

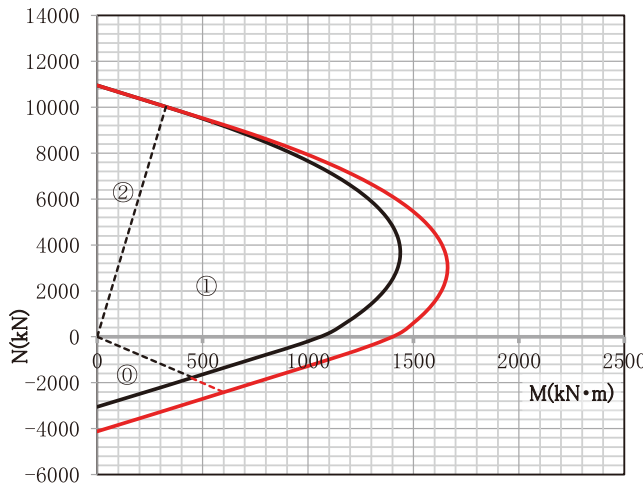
短期許容耐力



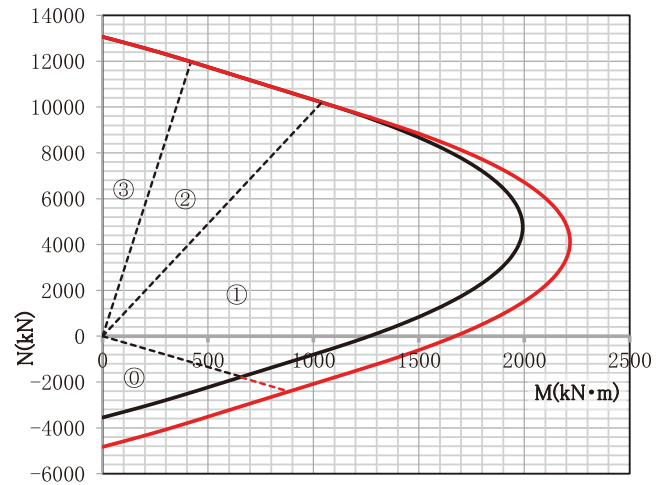
短期許容耐力



終局耐力

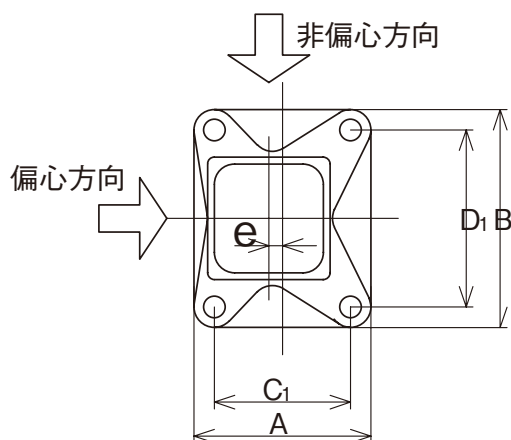


終局耐力



- 注1) 上部表中の質量はハイベース単体の質量です。
- 注2) 各図中の丸数字はせん断力算定用のゾーンを示します。
- 注3) □ゾーンとⓂゾーンについては P.44 をご参照ください。

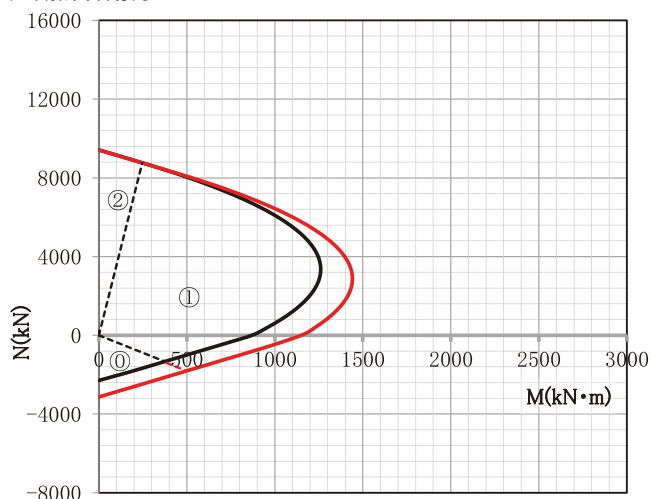
色	ハイベース型式	A (mm)	B (mm)	C ₁ (mm)	D ₁ (mm)	e (mm)	質量 (kg)	回転ばね定数 (×10 ³ kN・m/rad)	
								偏心方向	非偏心方向
—	BS600-S1-48	770	890	630	750	60	410	249	326
—	BS600-S1-56	770	890	630	750	60	410	295	384



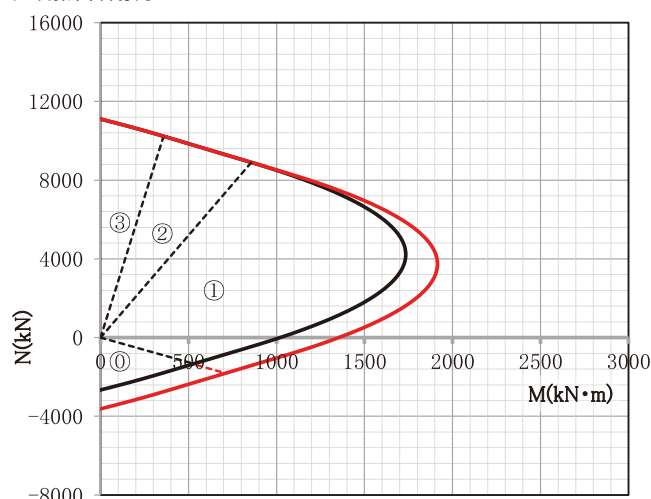
偏心方向

非偏心方向

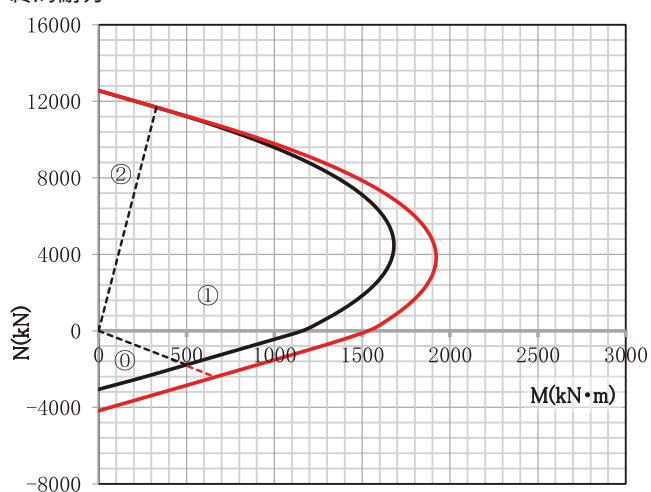
短期許容耐力



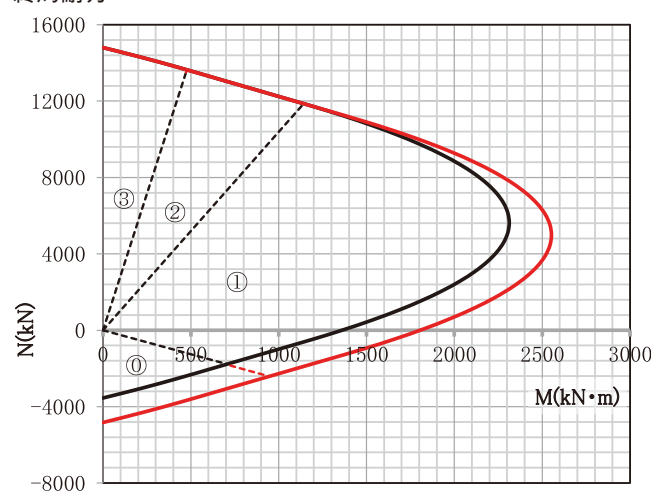
短期許容耐力



終局耐力



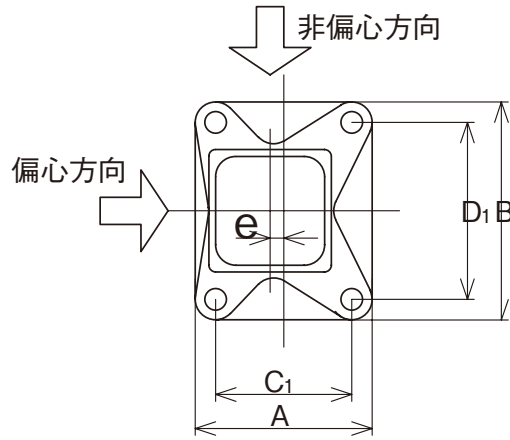
終局耐力



注1) 上部表中の質量はハイベース単体の質量です。
 注2) 各図中の丸数字はせん断力算定用のゾーンを示します。
 注3) □ゾーンと⊕ゾーンについてはP.44をご参照ください。

角形鋼管柱用(一方向偏心タイプ)

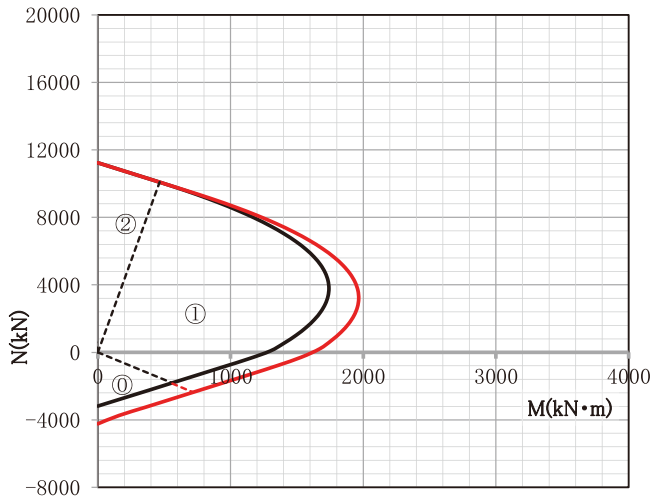
色	ハイベース型式	A (mm)	B (mm)	C ₁ (mm)	D ₁ (mm)	e (mm)	質量 (kg)	回転ばね定数 (×10 ³ kN・m/rad)	
								偏心方向	非偏心方向
—	BS650-S1-56	840	960	690	810	60	528	350	447
—	BS650-S1-64	840	960	690	810	60	528	404	516



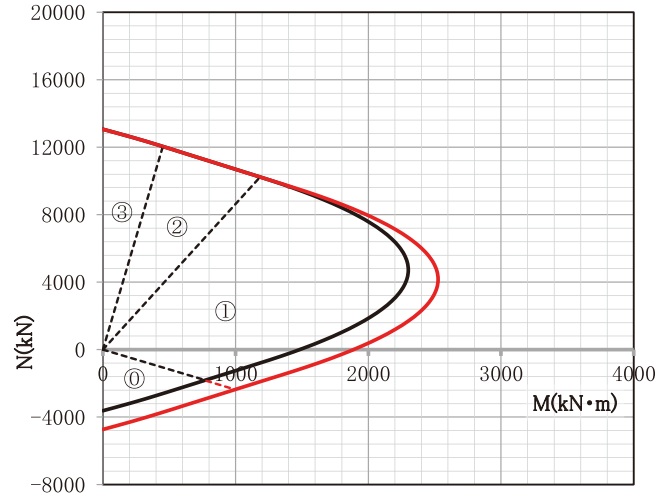
偏心方向

非偏心方向

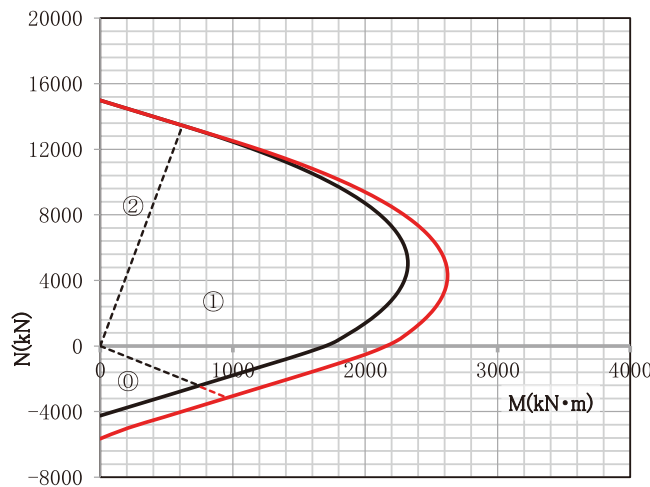
短期許容耐力



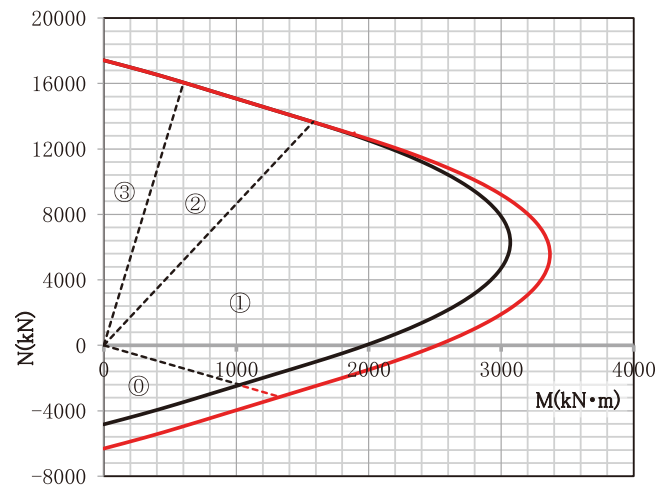
短期許容耐力



終局耐力

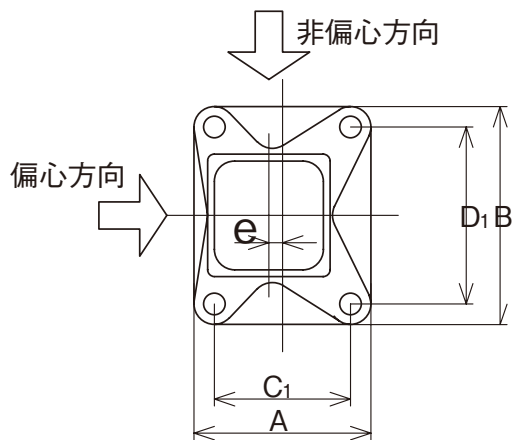


終局耐力



注1) 上部表中の質量はハイベース単体の質量です。
 注2) 各図中の丸数字はせん断力算定用のゾーンを示します。
 注3) □ゾーンと⊕ゾーンについてはP.44をご参照ください。

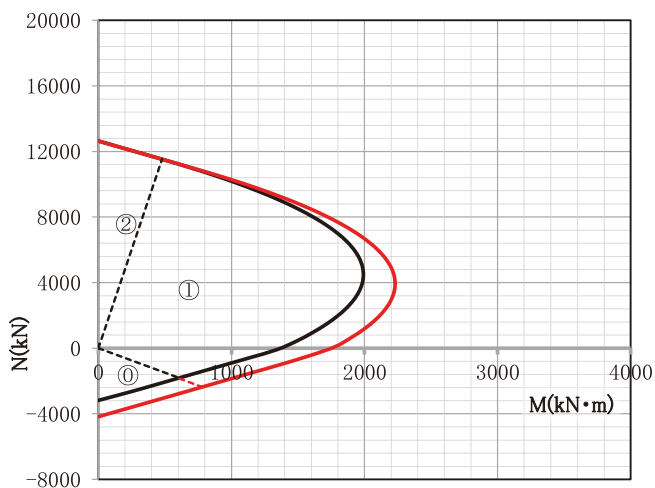
色	ハイベース型式	A (mm)	B (mm)	C ₁ (mm)	D ₁ (mm)	e (mm)	質量 (kg)	回転ばね定数 (×10 ³ kN・m/rad)	
								偏心方向	非偏心方向
—	BS700-S1-56	890	1010	740	860	60	594	405	506
—	BS700-S1-64	890	1010	740	860	60	594	463	583



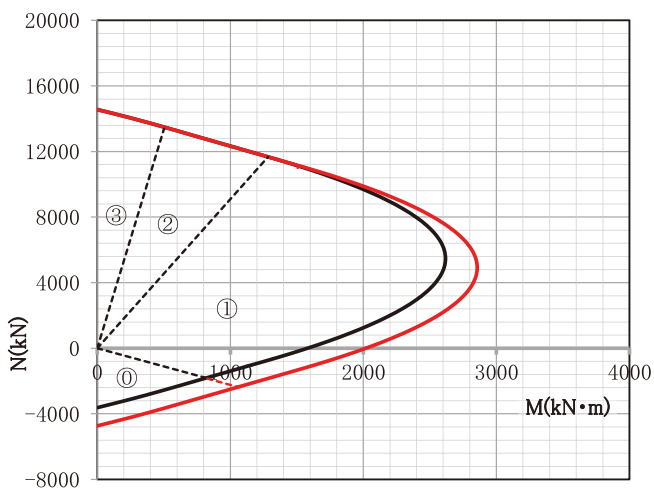
偏心方向

非偏心方向

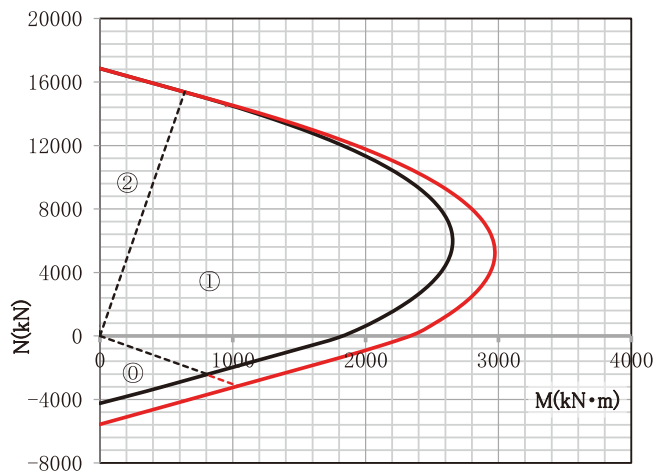
短期許容耐力



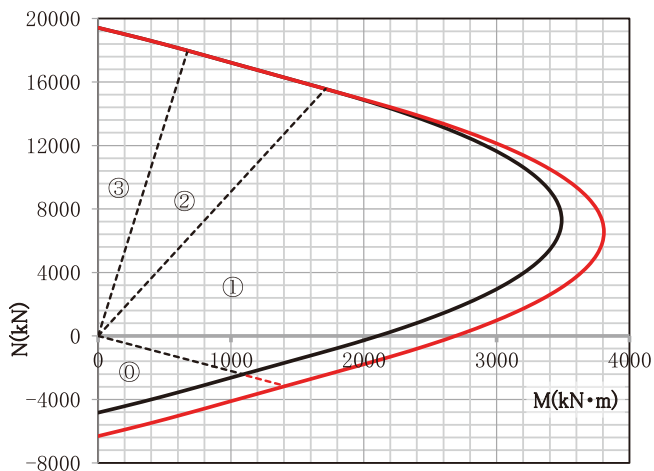
短期許容耐力



終局耐力

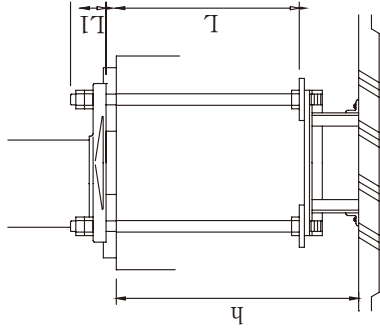


終局耐力

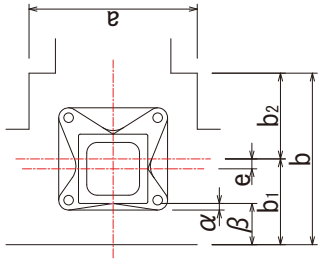


注1) 上部表中の質量はハイベース単体の質量です。
 注2) 各図中の丸数字はせん断力算定用のゾーンを示します。
 注3) □ゾーンとⓂゾーンについてはP.44をご参照ください。

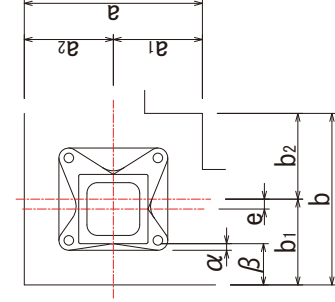
一方偏心タイプ(BS型式)の基礎柱形的设计例



側柱の場合



隅柱の場合



単位: mm

ハイベース型式	偏心量 e	L	L1	h	α	β	側柱の場合		隅柱の場合				基礎柱形主筋		帯筋		鉄筋の 定着長さ	
							a×b	b1	b2	a×b	a1	a2	b1	b2	Iゾーンの場合	IIゾーンの場合		鉄筋量
BS200-S1-24	30	480	101	700以上	25	130	510×520	260	260	540×520	270	270	260	260	8-D16(SD295)	16-D16(SD295)	D13@150(SD295)	230
BS250-S1-30	40	600	134	820以上	25	115	620×560	280	280	640×560	320	320	280	280	12-D19(SD345)	16-D19(SD345)	D13@150(SD295)	340
BS250-S1-36	40	720	147	940以上	25	120	630×570	285	285	650×570	325	325	285	285	12-D22(SD345)	16-D22(SD345)	D13@150(SD295)	430
BS300-S1-36	40	720	157	940以上	35	125	690×630	315	315	710×630	355	355	315	315	12-D22(SD345)	16-D22(SD345)	D13@150(SD295)	420
BS300-S1-42	40	840	172	1070以上	35	135	720×650	325	325	730×650	365	365	325	325	12-D25(SD345)	16-D25(SD345)	D13@150(SD295)	520
BS350-S1-42	50	840	181	1070以上	25	120	780×690	345	345	790×690	395	395	345	345	12-D25(SD345)	16-D25(SD345)	D13@150(SD295)	510
BS350-S1-48	50	960	193	1200以上	25	120	780×690	345	345	790×690	395	395	345	345	16-D25(SD345)	20-D25(SD345)	D13@150(SD295)	610
BS400-S1-48	50	960	207	1200以上	45	130	850×760	380	380	860×760	430	430	380	380	16-D25(SD345)	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	530
BS400-S1-56	50	1120	223	1360以上	45	140	880×780	390	390	880×780	440	440	390	390	20-D25(SD345)	28-D25(SD345)	D13@100(SD295)	700
BS450-S1-48	50	960	204	1200以上	45	130	900×810	405	405	910×810	455	455	405	405	16-D25(SD345)	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	520
BS450-S1-56	50	1120	220	1360以上	45	140	930×830	415	415	930×830	465	465	415	415	20-D25(SD345)	28-D25(SD345)	D13@100(SD295)	690
BS500-S1-48	60	960	202	1200以上	25	110	950×840	420	420	960×840	480	480	420	420	16-D25(SD345)	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	510
BS500-S1-56	60	1120	218	1360以上	25	120	980×860	430	430	980×860	490	490	430	430	20-D25(SD345)	28-D25(SD345)	D13@100(SD295)	670
BS550-S1-48	60	960	200	1200以上	25	110	1000×890	445	445	1010×890	505	505	445	445	16-D25(SD345)	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	500
BS550-S1-56	60	1120	216	1360以上	25	120	1030×910	455	455	1030×910	515	515	455	455	20-D25(SD345)	28-D25(SD345)	D13@100(SD295)	660
BS600-S1-48	60	960	198	1200以上	25	110	1050×940	470	470	1060×940	530	530	470	470	16-D25(SD345)	20-D25(SD345)	D13@100(SD295)	490
BS600-S1-56	60	1120	214	1360以上	25	120	1080×960	480	480	1080×960	540	540	480	480	20-D25(SD345)	28-D25(SD345)	D13@100(SD295)	650
BS650-S1-56	60	1120	228	1370以上	35	120	1130×1010	505	505	1130×1010	565	565	505	505	24-D25(SD345)	36-D25(SD345)	D13@100(SD295)	630
BS650-S1-64	60	1280	247	1530以上	35	130	1140×1030	515	515	1150×1030	575	575	515	515	24-D25(SD345)	36-D25(SD345)	D16@100(SD295)	710
BS700-S1-56	60	1120	225	1370以上	35	120	1180×1060	530	530	1180×1060	590	590	530	530	24-D25(SD345)	28-D25(SD345)	D13@100(SD295)	620
BS700-S1-64	60	1280	244	1530以上	35	130	1190×1080	540	540	1200×1080	600	600	540	540	24-D25(SD345)	36-D25(SD345)	D16@100(SD295)	700

注1) 表中の鉄筋量は基礎柱形に立上りのない場合(基礎ばり天端と基礎柱形天端が一致する場合)の設計例です。立上りがある場合は、本ハンドブック第4章に従い、日本建築学会等の規準・指針に準拠した設計を行って下さい。

注2) h寸法は杭がない場合です。杭がある場合は表中のh寸法+100mm以上確保して下さい。

注3) αは柱端面からベースプレート端までの距離です。

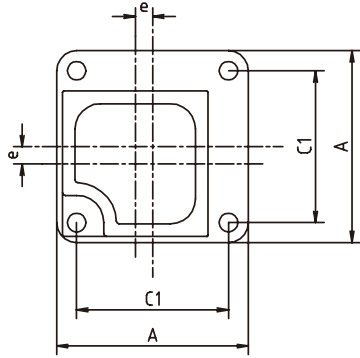
注4) βは柱端面から基礎端面までの距離です。

注5) 鉄筋の定着長さlt(P.44参照)は、表中の寸法以上確保して下さい。(上部下部共通)

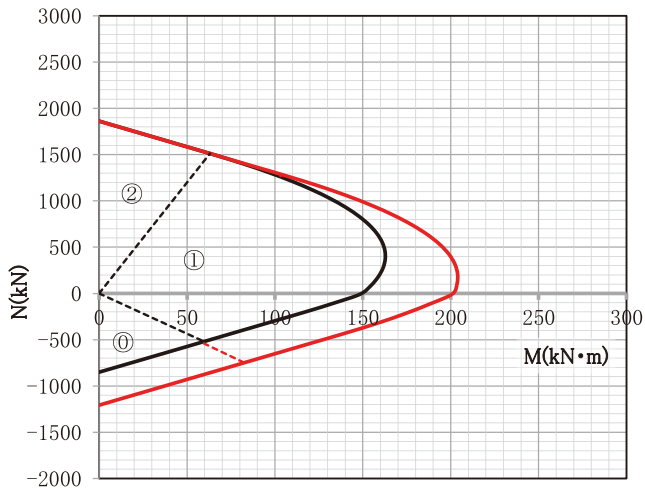
注6) Iゾーン、IIゾーンの判定およびコンクリート設計基準強度がFc24以外の場合は、【ハイベース検討システム】にてご確認ください。

□250×250用

色	ハイベース型式	A (mm)	C ₁ (mm)	e (mm)	質量 (kg)	回転ばね定数 (×10 ³ kN・m/rad)
—	BC250-S1-30	380	280	40	120	35.7
—	BC250-S1-36	380	280	40	120	43.1

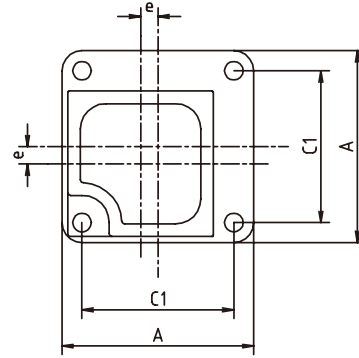


短期許容耐力

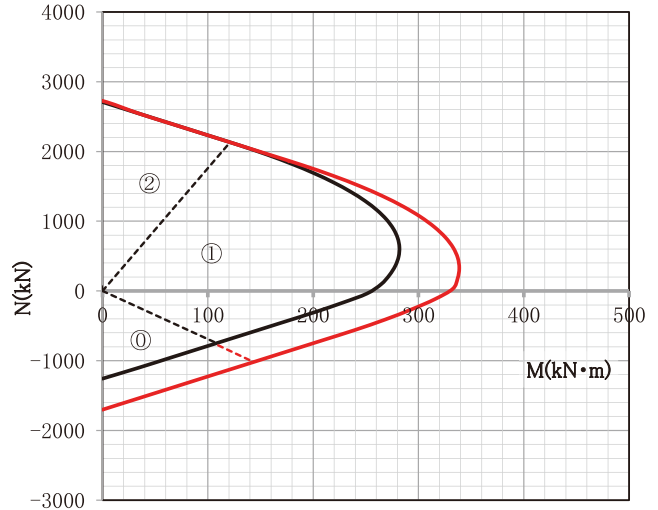


□300×300用

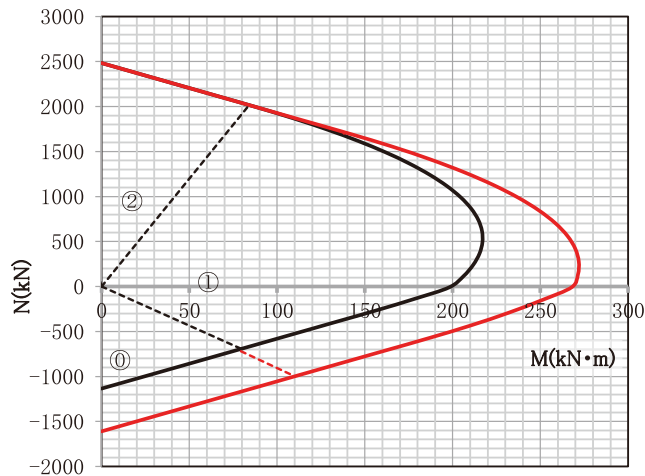
色	ハイベース型式	A (mm)	C ₁ (mm)	e (mm)	質量 (kg)	回転ばね定数 (×10 ³ kN・m/rad)
—	BC300-S1-36	450	340	40	192	54.4
—	BC300-S1-42	450	340	40	192	73.0



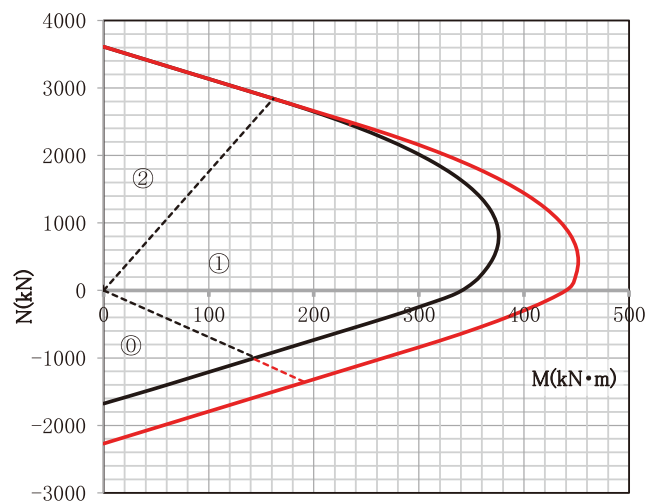
短期許容耐力



終局耐力



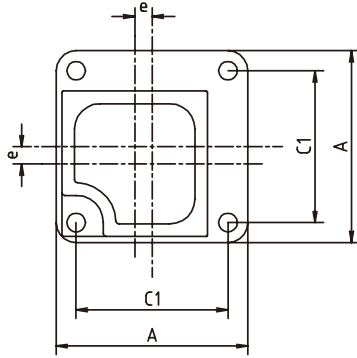
終局耐力



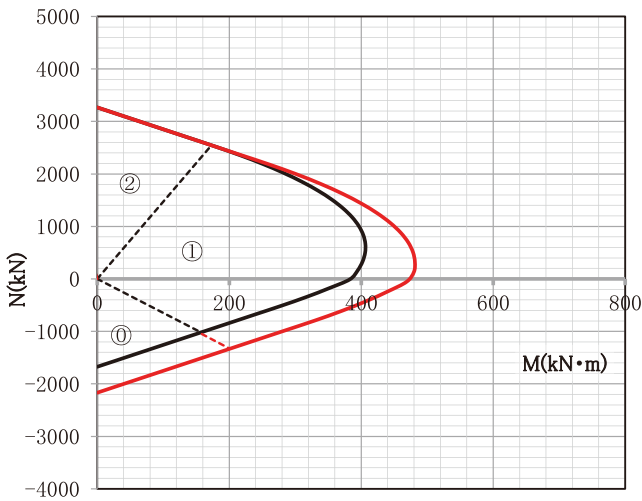
注1) 上部表中の質量はハイベース単体の質量です。
 注2) 各図中の丸数字はせん断力算定用のゾーンを示します。
 注3) □ゾーンと⊖ゾーンについてはP.44をご参照ください。

□350×350用

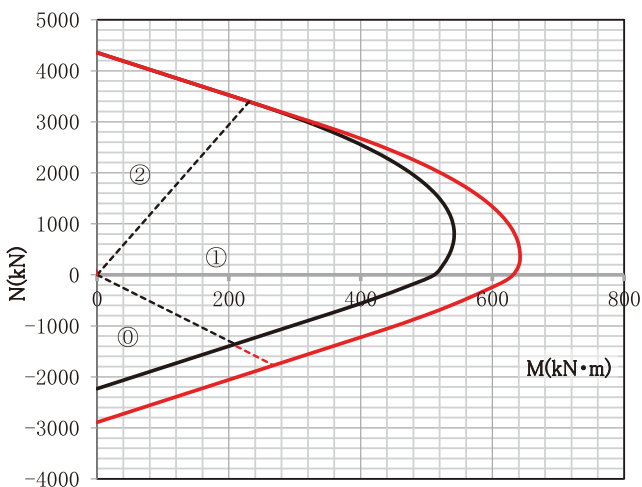
色	ハイベース型式	A (mm)	C ₁ (mm)	e (mm)	質量 (kg)	回転ばね定数 (×10 ³ kN・m/rad)
—	BC350-S1-42	500	380	50	263	79.8
—	BC350-S1-48	500	380	50	263	103



短期許容耐力

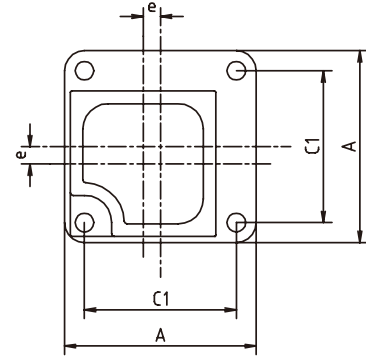


終局耐力

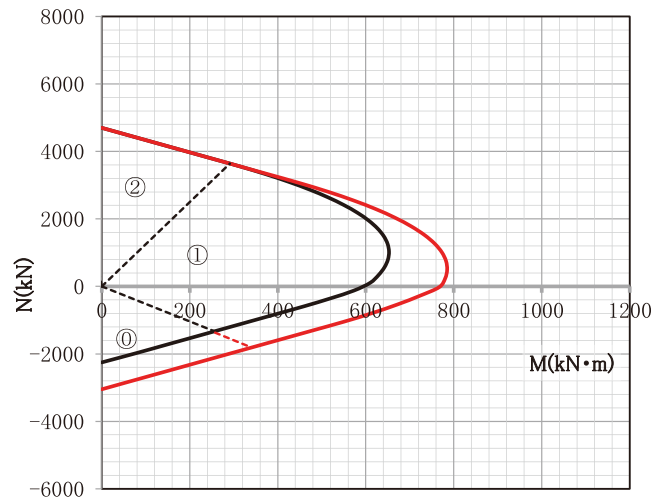


□400×400用

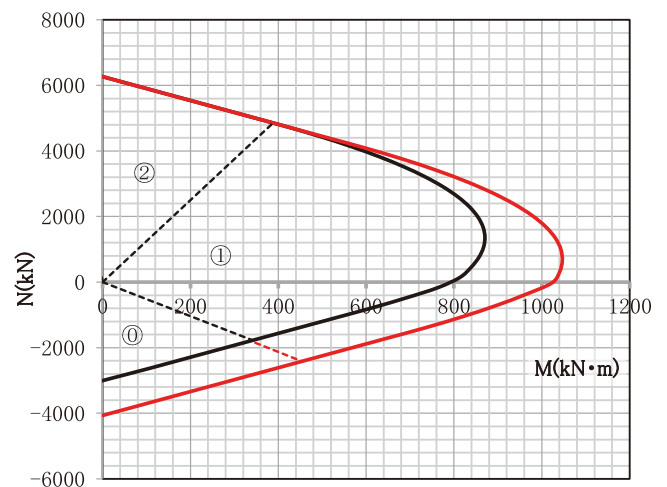
色	ハイベース型式	A (mm)	C ₁ (mm)	e (mm)	質量 (kg)	回転ばね定数 (×10 ³ kN・m/rad)
—	BC400-S1-48	590	450	50	411	126
—	BC400-S1-56	590	450	50	411	158



短期許容耐力



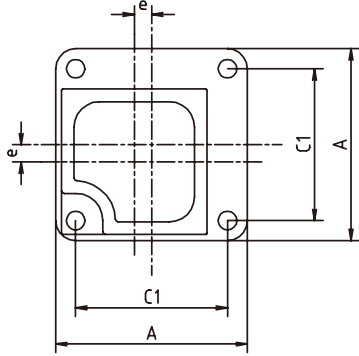
終局耐力



注1) 上部表中の質量はハイベース単体の質量です。
 注2) 各図中の丸数字はせん断力算定用のゾーンを示します。
 注3) □ゾーンと⊕ゾーンについては P.44 をご参照ください。

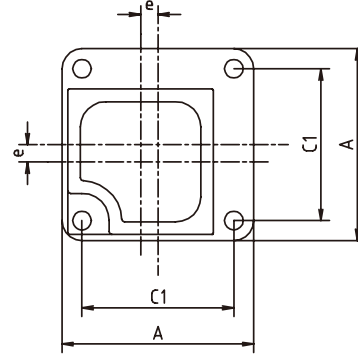
□450×450用

色	ハイベース型式	A (mm)	C ₁ (mm)	e (mm)	質量 (kg)	回転ばね定数 (×10 ³ kN・m/rad)
—	BC450-S1-48	640	500	50	478	154
—	BC450-S1-56	640	500	50	478	182

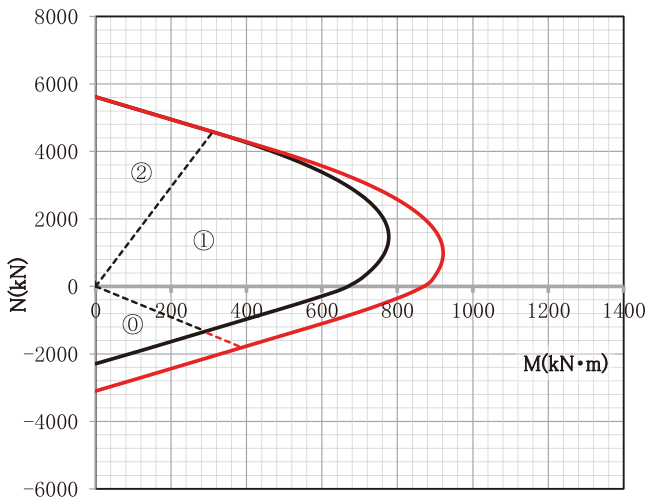


□500×500用

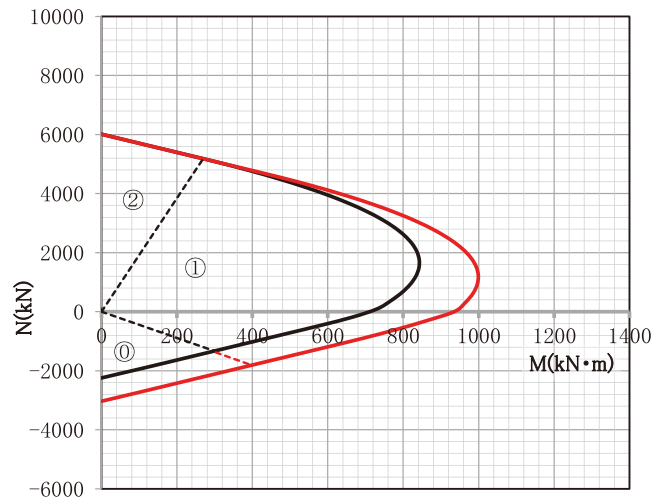
色	ハイベース型式	A (mm)	C ₁ (mm)	e (mm)	質量 (kg)	回転ばね定数 (×10 ³ kN・m/rad)
—	BC500-S1-48	670	530	60	523	177
—	BC500-S1-56	670	530	60	523	207



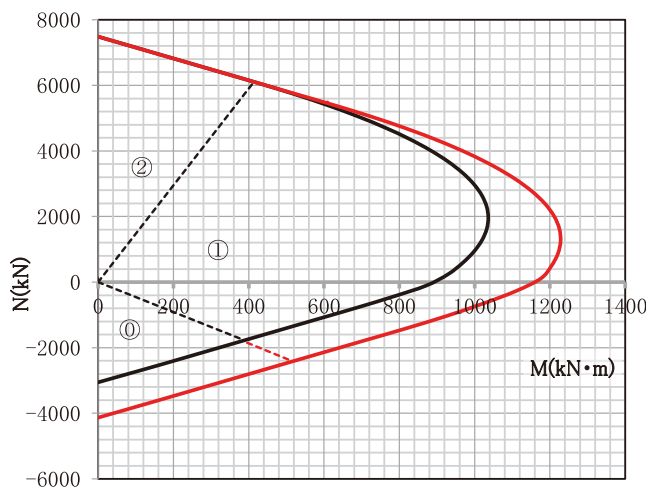
短期許容耐力



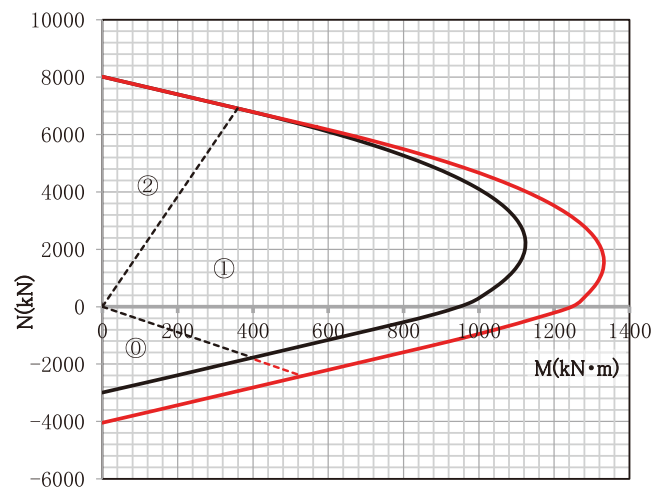
短期許容耐力



終局耐力



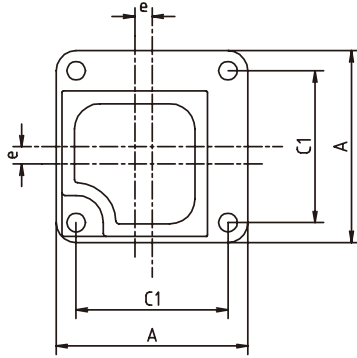
終局耐力



注1) 上部表中の質量はハイベース単体の質量です。
 注2) 各図中の丸数字はせん断力算定用のゾーンを示します。
 注3) □ゾーンとⓂゾーンについてはP.44をご参照ください。

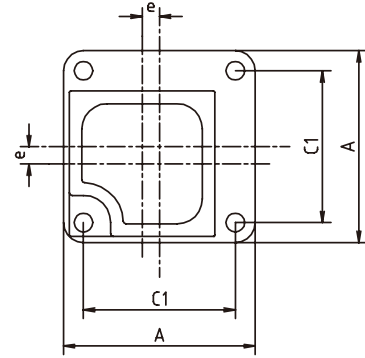
□550×550用

色	ハイベース型式	A (mm)	C ₁ (mm)	e (mm)	質量 (kg)	回転ばね定数 (×10 ³ kN・m/rad)
—	BC550-S1-48	720	580	60	588	220
—	BC550-S1-56	720	580	60	588	251

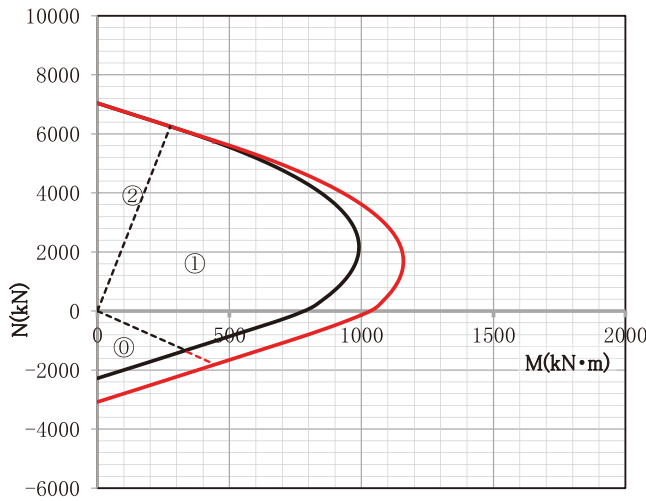


□600×600用

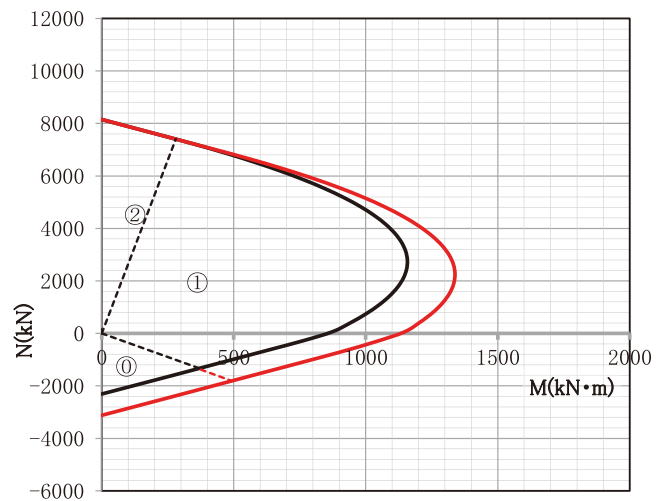
色	ハイベース型式	A (mm)	C ₁ (mm)	e (mm)	質量 (kg)	回転ばね定数 (×10 ³ kN・m/rad)
—	BC600-S1-48	770	630	60	657	249
—	BC600-S1-56	770	630	60	657	295



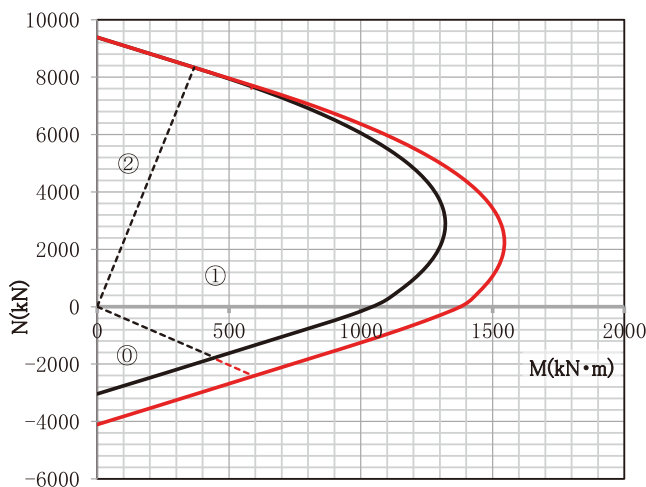
短期許容耐力



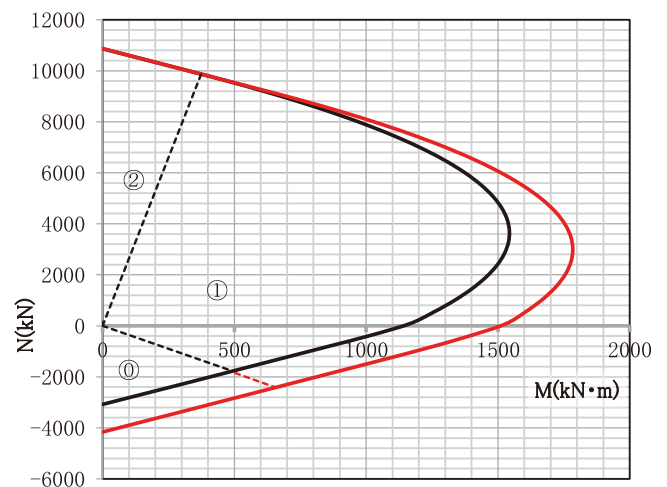
短期許容耐力



終局耐力



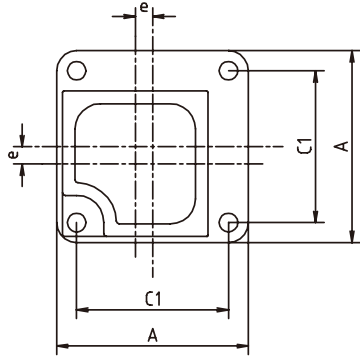
終局耐力



注1) 上部表中の質量はハイベース単体の質量です。
 注2) 各図中の丸数字はせん断力算定用のゾーンを示します。
 注3) □ゾーンと⊕ゾーンについてはP.44をご参照ください。

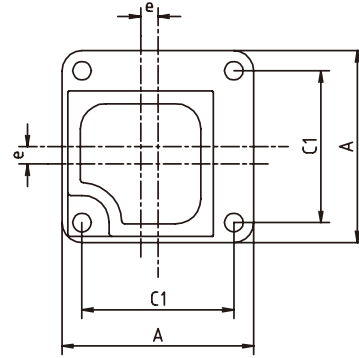
□650×650用

色	ハイベース型式	A (mm)	C ₁ (mm)	e (mm)	質量 (kg)	回転ばね定数 (×10 ³ kN・m/rad)
—	BC650-S1-56	840	690	60	859	350
—	BC650-S1-64	840	690	60	859	404

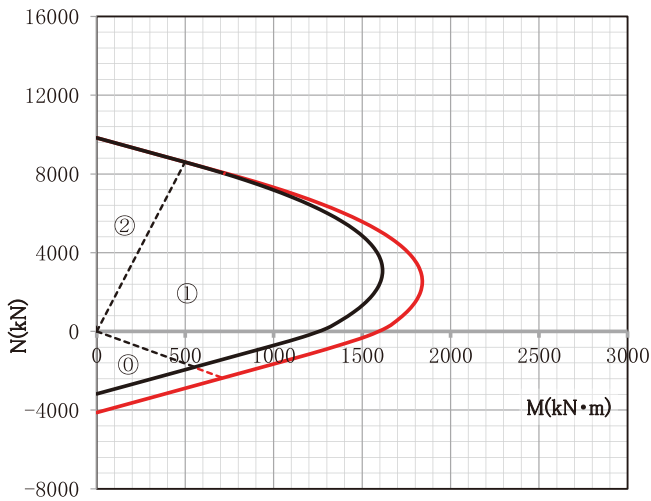


□700×700用

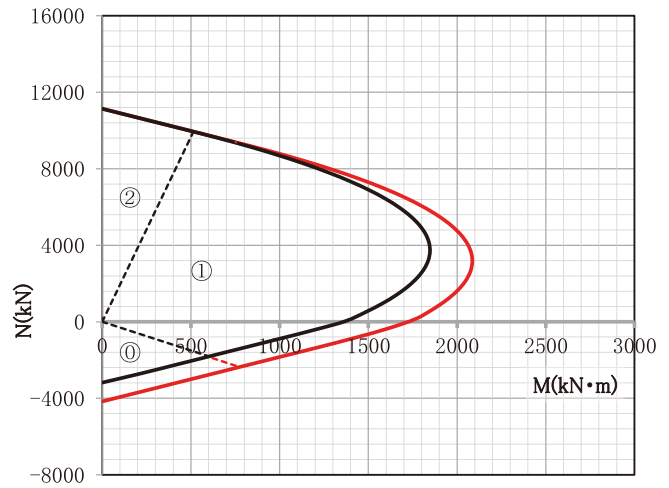
色	ハイベース型式	A (mm)	C ₁ (mm)	e (mm)	質量 (kg)	回転ばね定数 (×10 ³ kN・m/rad)
—	BC700-S1-56	890	740	60	936	405
—	BC700-S1-64	890	740	60	936	463



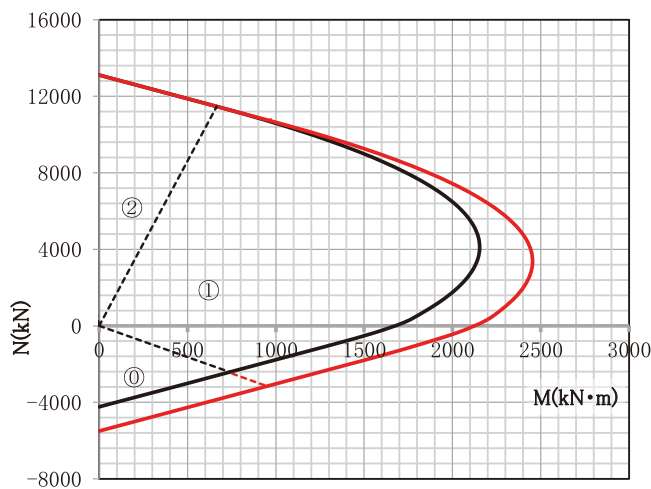
短期許容耐力



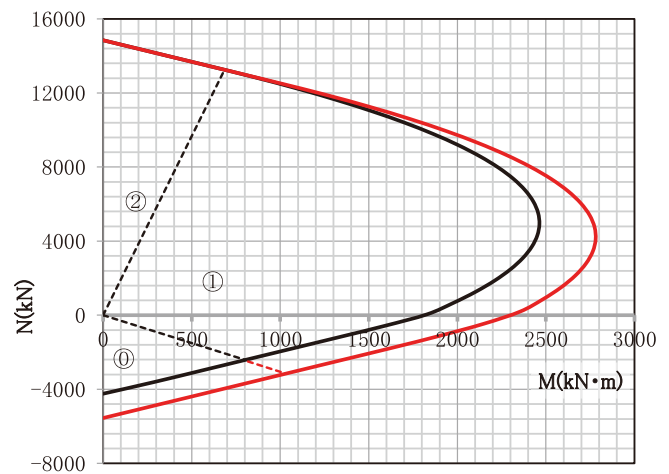
短期許容耐力



終局耐力

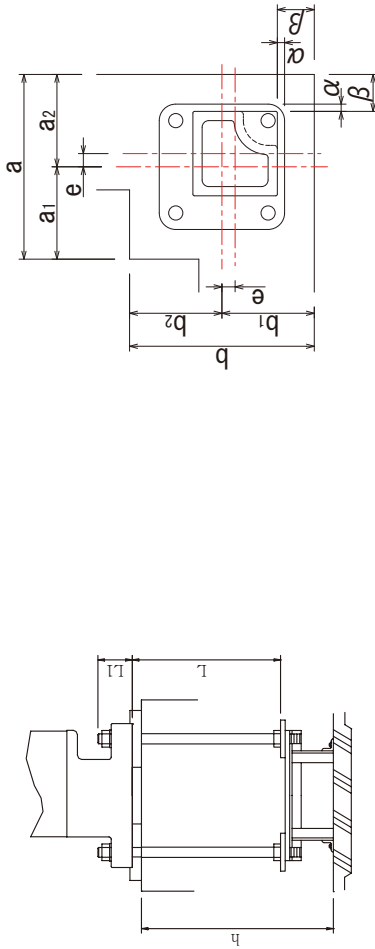


終局耐力



注1) 上部表中の質量はハイベース単体の質量です。
 注2) 各図中の丸数字はせん断力算定用のゾーンを示します。
 注3) □ゾーンとⓂゾーンについてはP.44をご参照ください。

二方向偏心タイプ(BC型式)の基礎柱形の設計例



単位: mm

ハイベース型式	偏心量 e	L	L1	h	α	β	a×b	a ₁	a ₂	b ₁	b ₂	基礎柱形主筋		鉄筋の 定着長さ		
												Ⅰゾーンの場合	Ⅱゾーンの場合			
BC250-S1-30	40	600	115	820以上	25	115	560×560	280	280	280	280	Ⅰゾーンの場合	Ⅱゾーンの場合	帯筋 鉄筋量	D13@150 (SD295)	380
BC250-S1-36	40	720	123	940以上	25	120	570×570	285	285	285	285	8-D19 (SD345)	16-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	D13@150 (SD295)	500
BC300-S1-36	40	720	133	940以上	35	125	630×630	315	315	315	315	12-D22 (SD345)	16-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	D13@150 (SD295)	470
BC300-S1-42	40	840	143	1070以上	35	135	650×650	325	325	325	325	12-D25 (SD345)	16-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	D13@150 (SD295)	600
BC350-S1-42	50	840	152	1070以上	25	120	690×690	345	345	345	345	12-D25 (SD345)	16-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	D13@150 (SD295)	580
BC350-S1-48	50	960	160	1200以上	25	120	690×690	345	345	345	345	16-D25 (SD345)	20-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	D13@150 (SD295)	700
BC400-S1-48	50	960	174	1200以上	45	130	760×760	380	380	380	380	16-D25 (SD345)	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	D13@100 (SD295)	570
BC400-S1-56	50	1120	183	1360以上	45	140	780×780	390	390	390	390	20-D25 (SD345)	28-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	D13@100 (SD295)	760
BC450-S1-48	50	960	171	1200以上	45	130	810×810	405	405	405	405	16-D25 (SD345)	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	D13@100 (SD295)	550
BC450-S1-56	50	1120	180	1360以上	45	140	830×830	415	415	415	415	20-D25 (SD345)	28-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	D13@100 (SD295)	730
BC500-S1-48	60	960	169	1200以上	25	110	840×840	420	420	420	420	16-D25 (SD345)	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	D13@100 (SD295)	540
BC500-S1-56	60	1120	178	1360以上	25	120	860×860	430	430	430	430	20-D25 (SD345)	28-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	D13@100 (SD295)	710
BC550-S1-48	60	960	167	1200以上	25	110	890×890	445	445	445	445	16-D25 (SD345)	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	D13@100 (SD295)	530
BC550-S1-56	60	1120	176	1360以上	25	120	910×910	455	455	455	455	20-D25 (SD345)	28-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	D13@100 (SD295)	690
BC600-S1-48	60	960	165	1200以上	25	110	940×940	470	470	470	470	16-D25 (SD345)	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	D13@100 (SD295)	520
BC600-S1-56	60	1120	174	1360以上	25	120	960×960	480	480	480	480	20-D25 (SD345)	28-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	D13@100 (SD295)	680
BC650-S1-56	60	1120	188	1370以上	35	120	1010×1010	505	505	505	505	20-D25 (SD345)	28-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	D13@100 (SD295)	670
BC650-S1-64	60	1280	201	1530以上	35	130	1030×1030	515	515	515	515	24-D25 (SD345)	36-D25 (SD345)	D16@100 (SD295)	D16@100 (SD295)	730
BC700-S1-56	60	1120	185	1370以上	35	120	1060×1060	530	530	530	530	20-D25 (SD345)	28-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	D13@100 (SD295)	650
BC700-S1-64	60	1280	198	1530以上	35	130	1080×1080	540	540	540	540	24-D25 (SD345)	36-D25 (SD345)	D16@100 (SD295)	D16@100 (SD295)	720

注1) 表中の鉄筋量は基礎柱形に立上りのない場合(基礎より天端と基礎柱形天端が一致する場合)の設計例です。立上りがある場合や独立基礎の場合は、本ハンドブック第4章に従い、日本建築学会等の規準・指針に準拠した設計を行って下さい。

注2) h寸法は杭がない場合です。杭がある場合は表中のh寸法 + 100mm以上確保して下さい。

注3) αは柱端面からベースプレート端までの距離です。

注4) βは柱端面から基礎端面までの距離です。

注5) 鉄筋の定着長さlt (P.44参照)は、表中の寸法以上確保して下さい。(上部下部共通)

注6) Ⅰゾーン、Ⅱゾーンの判定およびコンクリート設計基準強度がFc24以外の場合は、【ハイベース検討システム】にてご確認ください。

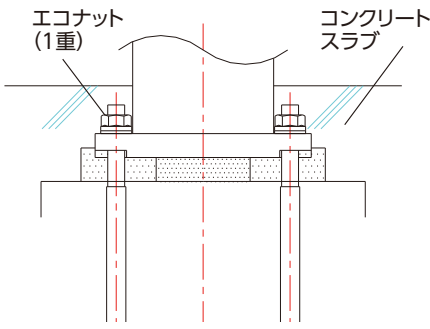
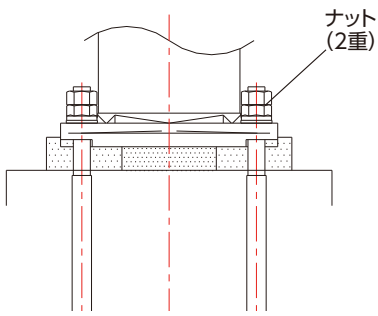
各タイプの違い

①ベースプレート形状

	エコタイプおよび高強度柱適用タイプ	Gタイプおよび偏心タイプ
形状	 <p>鋼板製</p>	 <p>鋳鋼製</p>
	ベースプレート底面に、せん断力を効果的にアンカーボルトに伝達させる凹面加工部を有する特殊形状	鋳鋼特有の造形の自由さを利用し、エコタイプと同様の底面形状に加え、応力伝達効率の優れた形状
材質、規格	板厚40mm以下の場合 SN490B (JIS G3136、建築構造用圧延鋼材) 板厚40mmを超える場合 TMCP鋼 (SN490相当、国土交通大臣認定取得材) 高強度柱適用タイプ TMCP鋼 (建築構造用高性能550N/mm ² 鋼、国土交通大臣認定取得材)	HCW490B (国土交通大臣認定:MSTL-0566)
特長	エコタイプは、コストを追求したタイプで、 <u>コスト重視</u> の設計に最適です。	Gタイプは、さまざまな設計的要求にも適用可能で、 <u>性能重視</u> の設計に最適です。

②柱脚部の埋め込み

ハイベース工法の標準仕様は、エコタイプ、高強度柱適用タイプ、Gタイプ、偏心タイプによって異なります。

	エコタイプ、高強度柱適用タイプ	Gタイプおよび一方向偏心タイプ
標準仕様	 <ul style="list-style-type: none"> ●コンクリートスラブへ埋め込み ●アンカーボルトの上部ナットは専用ナット(エコナット、1重)を使用 	 <ul style="list-style-type: none"> ●柱脚部は露出させることが可能(コンクリートスラブへの埋め込みも可能) ●アンカーボルトの上部ナットは2重(標準) ●上部ナットは1重ナットにすることも可能(但し強度区分8のナットを用い、コンクリートスラブへの埋め込みを行う必要があります)
特長	コンクリートスラブへの埋め込みによるせん断力の向上	コンクリートスラブへの埋め込みを行う場合、別途検討することによりせん断耐力の向上が可能

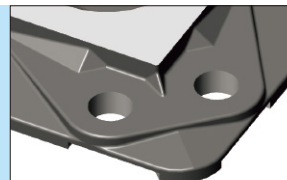
※角形鋼管柱用二方向偏心タイプ上部ナットは1重のため、コンクリートスラブへの埋め込みが必要です。

③柱脚部性能

	エコタイプ (EB500-8-36)	Gタイプ (GB500-8-36)
耐力図		
	耐力はほぼ同等	
回転ばね定数	210 (×10 ³ kN·m/rad)	354 (×10 ³ kN·m/rad)
	回転ばね定数はGタイプの方が高い	

Gタイプのベースプレートは、アンカーボルト周辺部の凸部効果により、ベースプレート剛性を向上し、高い回転ばね定数を保有しています。

ベースプレート形状例 (Gタイプ、アンカーボルト8本) ▶



④適用柱

	エコタイプ	Gタイプ
柱サイズ	□150×150～□550×550 φ190.7～φ558.8 H150×150シリーズ～H700×300シリーズ	□350×350～□1200×1200 φ500～φ1016 H400×400シリーズ～H900×400シリーズ
特長	小～中サイズの柱	中～大サイズの柱 極厚、CFT造柱など ・溶接組立箱形断面柱等の板厚が厚い鋼管にも適用可能 ・コンクリート充填鋼管(CFT造柱)にも適用可能 ・評定の範囲内で標準外の形状または高応力条件に適用可能なベースプレートの設計が可能です(特形品対応)。

※高強度柱適用タイプ(KB型式)は、溶接組立箱形断面柱にも適用します。

⑤根切り

ハイベースNEO工法のエコタイプ(EB・EM型式アンカーボルト4本の場合)は、アンカーボルト短尺化により根切りを浅くすることが出来ます。(d:アンカーボルト径)

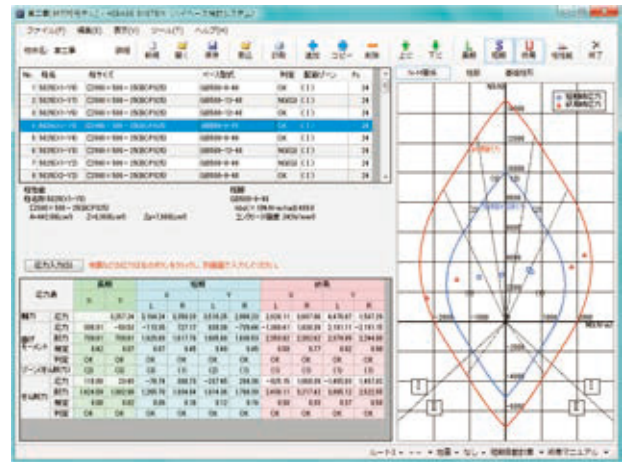
	エコタイプ (アンカーボルト4本)	その他型式
アンカーボルト定着長さ	13.3d ※アンカーボルト径M24は16.6d	20d
	浅い	

構造計算支援ソフト【ハイベース検討システム（Windows版）】

ハイベース NEO 工法およびスーパーハイベース工法の設計を支援するソフトを用意しています。柱脚の応力を入力することにより以下を確認、検討することが可能です。

（各社一貫構造計算ソフトから出力したデータをインポートして利用することが可能です。）

- ・ 柱脚曲げ耐力の確認
- ・ せん断耐力の確認およびせん断耐力が不足する場合の各対処方法による検討
- ・ 基礎柱形鉄筋量の判定（I、IIゾーン）
- ・ コンクリート設計基準強度が 24 N /mm²以外の場合の基礎柱形設計例の確認
- ・ 検討結果を印刷して検討書として利用可能



ハイベース検討システム イメージ図

ダウンロードサービス

柱脚検討システム、設計施工標準図、柱脚詳細図等 CAD データ、評定書（写）、認定書（写）等各種資料は、センクシア Web サイトよりダウンロードしていただけます。



センクシア株式会社 Web サイト

資料ダウンロードページ

<https://www.senqcia.co.jp/download/>

*各資料は予告なく変更することがあります。最新版はセンクシア Web サイトに掲載しておりますのでご確認ください。



センクシア株式会社

お問い合わせ、詳細な資料のご請求は下記の営業担当者までご用命ください。

- 東京支店 〒105-8319 東京都港区東新橋二丁目3番17号(モメント汐留)
TEL.(03)4214-1928 FAX.(03)3438-1061
- 札幌支店 〒001-0018 北海道札幌市北区北十八条西五丁目1番12号(3F)
TEL.(011)708-1177 FAX.(011)708-1178
- 東北支店 〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央二丁目8番13号(大和証券仙台ビル7F)
TEL.(022)213-5595 FAX.(022)213-5590
- 関東支店 〒370-0841 群馬県高崎市栄町16番11号(高崎イースタワー9F)
TEL.(027)322-9411 FAX.(027)322-9343
- 中部支店 〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南一丁目17番29号(広小路ESビル5F)
TEL.(052)582-3356 FAX.(052)583-9858
- 北陸支店 〒920-0024 石川県金沢市西念一丁目1番3号(コンフィデンス金沢8F)
TEL.(076)233-5260 FAX.(076)233-5262
- 関西支店 〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原三丁目4番30号(ニッセイ新大阪ビル15F)
TEL.(06)6395-2113 FAX.(06)6395-2102
- 中四国支店 〒730-0031 広島県広島市中区紙屋町一丁目1番20号(いよぎん広島ビル4F)
TEL.(082)240-1630 FAX.(082)240-1606
- 九州支店 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前三丁目26番29号(九勤博多ビル8階)
TEL.(092)452-0341 FAX.(092)452-0350

URL <https://www.senqcia.co.jp/>
E-Mail kenzai@senqcia.com

センクシアWebサイトから最新版のCADデータを無償でダウンロードしていただけます。

最新のカatalog等の資料はこちらからご覧ください

